P-06B

ISSUE DATE: '10.7

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書〈詳細版〉

docomo

docomo STYLE series

ドコモ W-CDMA・GSM/GPRS方式

このたびは、「docomo STYLE series P-06B」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

P-06Bは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。
  しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSL/TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL/TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL/TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（P.117）に対応しております。
きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書ではFOMA端末を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書の手順や画面は、主に本体色「Black」のお買い上げ時の設定（P.498参照）で記載しています。ただし、下記の設定を変更しています。
  ・「待受画面設定」→「待受画面・待受画面（ビューアスタイル）」：OFF
  ・「カラーテーマ設定」「ソフトキー」：Gray
- 本書の手順や画面は、主にノーマルスタイルの状態で記載しています。ビューアスタイル時の操作（タッチパネル）についてはP.45参照。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しております。
- 本書では、「P-06B」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の操作説明では、ボタンを押す操作を簡略なボタンイラストで表現しています。
- 本書ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要となります。microSDカードについてはP.386参照。

知りたい機能の探しかた

次のような検索方法で、機能やサービスの説明ページを探せます。

索引から

機能名・サービスがわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから

表紙のインデックスを利用して探します。

詳しくは次ページで説明しています。

目次から ▶▶P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から ▶▶P.8

主な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

機能一覧から ▶▶P.498

機能一覧表を利用して探します。

「アラーム」を検索する方法を例にして説明します。

索引から

▶▶P.560

機能名称やサービス名などを右記の例のように探します。



かんたん検索から

▶▶P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能を右記の例のように探します。

こんなこともできます

P.424「アラームを利用する」の説明ページへ

表紙インデックスから

▶▶表紙

右記の例のように「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能を探します。

機能名称
索引から引くことのできる名称です。

画面に表示される項目名
（実行できない項目もあります）

操作手順
（P.41参照）

ポイントとなる画面
（文字や設定は一例です）

各項目の操作や補足説明

サブメニューの小項目

各機能を利用する際の注意事項、参考事項

機能に関連した動作や補足的な操作などの説明

章ごとに検索できます。

章タイトル

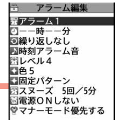
選択肢とその説明

<アラーム>

アラームを利用する

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーション、イルミネーションでお知らせします。10件まで登録できます。

1 MENU▶便利ツール▶アラーム
▶アラームを選んで📷TV(編集)
▶以下の操作を行う



タイトル	▶タイトルを入力 ●全角6文字/半角12文字まで入力できます。
時刻	▶アラームを鳴らす時刻を入力
アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択 ▶アラーム音を選択
アラーム音量	▶◎で音量を調節 ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
アラーム音優先	マナーモード中のアラーム音量について設定します。 ▶項目を選択 マナーモード優先する . . . アラーム音は鳴りません。 アラーム優先する. . . . . . . 本機能で設定した音量で鳴ります。

2 📷TV(完了)を押す

便利な機能

アラーム表示中のサブメニュー

編集	P.424手順1へ進みます。
詳細表示	登録内容を表示します。 ●◉(選択)を押しても表示できます。
1件OFF	登録済みのアラームをOFFにします。 ▶YES ●i𝛼(ON/OFF)を押してもON／OFFできます。
全件OFF	登録済みのアラームをすべてOFFにします。 ▶YES
削除	
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- 通話中にアラームが鳴ったときはいずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。もう一度いずれかのボタンを押すとスヌーズを含めてアラームが終了します。通話中の相手が電話を切った場合は、スヌーズを含めてアラームが終了します。
- 通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDoリスト」のアラームを設定したときは

待受画面にアイコンが表示されます。
「🔔」. . . . 当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合に表示されます。
「🔔」. . . . 明日以降の設定のみの場合に表示されます。
- スケジュール・ToDoリストの「アラーム通知」を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

注：上記ページはサンプルです。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

※1 有料サービスです。

※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

ワンセグを使いこなしたい

こんなこともできます

目次

P-06Bの主な機能

◆オートGPS ▶▶P.340

オートGPS機能により、お客様の居場所付近の天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせする便利なサービスをご利用いただけます。
また、お客様の居場所や移動した距離などを利用するゲームもご利用いただけます。

◆ｉコンシェル ▶▶P.226

ｉコンシェルとは、待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）が役立つ情報（インフォメーション）を教えてくれたり、サイトからスケジュール（ｉスケジュール）をダウンロードすることにより便利にご利用いただけるサービスです。
ダウンロードしたｉスケジュールやトルカは自動で最新の情報に更新されたり、電話帳にはお店や会社の住所情報などが自動で追加されます。

◆国際ローミング ▶▶P.482

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3G・GSMエリアに対応）。
また、海外でも3G・GPRSエリアにいるときはGPS機能を利用して現在地を確認したり、対応ｉアプリを利用することができます。

◆使いかたガイド ▶▶P.49

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。
手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。
キーワードを入力したり、機能一覧から検索することにより、機能の説明や操作方法を確認することができ、さらにその機能を呼び出すこともできます。

◆ｉウィジェット ▶▶P.317

ｉウィジェットとは電卓・時計やテレビ番組表、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）に簡単にアクセスすることが可能となる便利な機能です。
ｉウィジェット画面を立ち上げるだけで、欲しい最新の情報を一目で確認することが可能です。

◆ｉモード ▶▶P.190

操作性が向上し、より便利にホームページから情報をご利用いただけるようになったほか、Flash® VideoやWindows Media® Videoにも対応し、さらに多彩な動画コンテンツをお楽しみいただけます。

◆防水性能 ▶▶P.21

外部接続端子カバー、内蓋をしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けた状態でIPX5、IPX7の防水性能を有しています。
雨の中やキッチン、風呂場、プールサイドでの水際でもご使用できます。汚れた場合には、水道水で手洗いができます。

◆タッチパネル ▶▶P.45、P.419、P.421

ビューアスタイルではタッチ操作ができ、タッチメニューでお気に入りの機能をワンタッチで起動できます。
本体色に合わせた付属のタッチペンで細かい文字や模様もらくらく書き込め、「手書きダイアリー」や「手書きフォト／メモ」などの機能を利用することができます。

◆高画質・高速カメラ ▶▶P.230

約1320万画素の高画質カメラで、被写体の隅々までくっきり鮮やかに撮影できます。また、起動からオートフォーカス、撮影までの動作が速く、撮りたいシーンですぐに撮影できます。

■インテリジェントオート ▶▶P.246

夜景や接写など、シーンを自動で判別して撮影できます。

■おまかせチョイス ▶▶P.235

連写した6枚または8枚の静止画の中で、よく撮れている静止画をピントや構図から自動的に判別して表示します。

■オートシャッター ▶▶P.247

被写体の顔の距離や人数・笑顔などを認識して、自動的に撮影できます。

◆ピクチャアルバム ▶▶P.358

エフェクト機能を利用して表現力豊かなスライドショーをフォトフレーム感覚で再生できます。

また、再生中の静止画から人物の顔を検出して拡大したり、検出した顔に補正効果をかけることもできます。

◆ワンセグ ▶▶P.252

モバイル向け地上デジタル放送の「ワンセグ」を視聴できます。モバイルWスピードにより描画を自動的に補って、視聴中の映像をスムーズに表示します。また、光センサーで周囲の明るさに合わせてディスプレイの明るさを自動調整したり、液晶AIにより明るさに合わせて画質を補正することもできます。

◆Bluetooth機能 ▶▶P.443

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続し、FOMA端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

◆着もじ ▶▶P.68

◆テレビ電話 ▶▶P.62

◆ｉモードメール／デコメール®／デコメ絵文字® ▶▶P.144、P.147、P.350

◆ｉアプリ／メガｉアプリ ▶▶P.294

◆高速通信対応 ▶▶P.492

◆Music&Videoチャネル／うた・ホーダイ／着うたフル® ▶▶P.272、P.279

●「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

◆ミュージックプレーヤー ▶▶P.281

◆GPS ▶▶P.334

◆おサイフケータイ／トルカ ▶▶P.322、P.325

◆きせかえツール ▶▶P.117、P.385

◆各種ネットワークサービス ▶▶P.463

◆あんしん設定 ▶▶P.123

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の7項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、タッチペン、FOMAカードの取り扱いについて〈共通〉

危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはP.21「防水性能」をご参照ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

つづく↳

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック･アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

フォトライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてフォトライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

ディスプレイの表面には、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保(強化ガラスパネルの飛散防止)を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。
フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
P.17「材質一覧」参照。

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示
電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁止
落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示
電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示
ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

禁止
一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止
濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示
電池パック内部の液体が漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

警告

禁止
アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止
コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ:AC100V
DCアダプタ:DC12V･24V
(マイナスアース車専用)
海外で使用可能なACアダプタ:
AC100V～240V
(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

タッチペンの取り扱いについて

注意

禁止

タッチペンは人に向けないでください。
本人や他の人などに突起が当たり、けがや失明の原因となります。

禁止

タッチペンをストラップでFOMA端末に取り付けている場合は、タッチペンを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
キャップが外れたりストラップが切れたりして本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

注意

指示

FOMAカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	ディスプレイ面、ディスプレイ側面	ポリカーボネート＋ガラス繊維／スズ蒸着＋UV塗装
	ディスプレイ背面、操作ボタン面	ポリアミド＋ガラス繊維／UV塗装
	電池面、リアカバー	ポリカーボネート＋ABS樹脂／UV塗装
	ディスプレイパネル下部、電池面ヒンジ側キャップ	ABS樹脂／UV塗装
外部接続端子		ステンレス鋼／ニッケルメッキ＋スズメッキ
外部接続端子カバー	カバー	ポリカーボネート＋エラストマー樹脂／UV塗装
	パッキン	シリコンゴム
カメラレンズ部		アクリル樹脂／表面ハードコート
サイドボタン		ポリカーボネート／アルミ蒸着＋UV塗装
充電端子		黄銅／ニッケルメッキ＋パラジウムメッキ＋金メッキ
受話口周辺		アクリル樹脂／スズ蒸着＋ハードコートフィルム
操作ボタン、着信／充電ランプ部（ディスプレイ背面側）、カメラリング部、操作ボタン面開閉ストッパー、操作ボタン面ヒンジ側キャップ		アクリルウレタン
ディスプレイのコーナー部		エラストマー樹脂
ディスプレイパネル		PET樹脂／表面ハードコート
電池収納面		ポリカーボネート
電池端子	樹脂部分	PPS樹脂
	端子部	ベリリウム銅／ニッケルメッキ＋金メッキ
電池パック	樹脂部分	ポリカーボネート
	ラベル	PET樹脂
	端子部	ガラスエポキシ基板／ニッケルメッキ＋金メッキ
ネジ（電池収納部）		鉄／クロムメッキ
ヒンジ部	ディスプレイ側	ポリアミド＋ガラス繊維／UV塗装
	ディスプレイ背面側	ポリカーボネート＋ABS樹脂／スズ蒸着＋UV塗装
	キャップ	PET樹脂
フォトライト部、赤外線ポート部		ポリカーボネート／UV塗装
リアカバー内部の内蓋		ポリカーボネート＋シリコンゴム
ワンセグアンテナ	先端樹脂部分	ABS樹脂／UV塗装
	金属部分（上段・中段）	ステンレス鋼
	金属部分（下段）	ニッケル・チタン合金
	根元ヒンジ部	ステンレス鋼
	根元ヒンジ部（リフトアップ部）	黄銅／スズ・コバルトメッキ
	根元キャップ	ABS樹脂／UV塗装
	根元キャップ（金属部）	ステンレス鋼
microSDカード挿入口（電池収納部）	樹脂部分	LCP樹脂
	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■P-06Bは防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。

FOMA端末は、外部接続端子カバー、内蓋をしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けた状態でIPX5、IPX7の防水性能を有しておりますが、完全防水というわけではありません。
雨の中や水滴がついたままでの電池パックの取り付け／取り外しや、外部接続端子カバーおよびリアカバーの開閉は行わないでください。水が侵入して内部が腐食する原因となります。また、付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものがつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子(イヤホンマイク端子)に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■FOMA端末、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

■タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。

タッチパネルが破損する原因となります。

■極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～40℃(ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る)、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■外部接続端子(イヤホンマイク端子)に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■タッチペンやストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。

故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■通常は外部接続端子カバーをはめた状態でご使用ください。

ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■リアカバーを外したまま使用しないでください。

電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。

故障、破損、誤動作の原因となります。

■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
・満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をお勧めします。

アダプタ、卓上ホルダについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

■卓上ホルダのスタンドを収める場合は、指やアダプタのコードなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

タッチペンについてのお願い

■タッチペンは対応機種以外で使用しないでください。
機器の故障、破損の原因となります。

■水に濡れたときは、キャップ内に水分が残っている場合がありますのでご注意ください。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。(対応しているBluetooth機器のみ)

■周波数帯について
FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 FH 1

2.4　:2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH　:変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1　:想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
▭▭▭　:2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCa リーダー／ライターについてのお願い

■FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

■使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

■FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水性能

P-06Bは、外部接続端子カバーや内蓋をしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けて隙間や浮きがない状態でIPX5(旧JIS保護等級5)※1、IPX7(旧JIS保護等級7)※2の防水性能があります。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽にP-06Bを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

(注) 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。浸水や異物混入を防ぎ、安全にお使いいただくために、本書をよくお読みになってからご使用ください。

雨の中やキッチン、風呂場、プールサイドなどの水際でもご使用できます。

雨の中

- 雨の中で傘をささずに濡れた手で通話できます。(1時間の雨量が20mm未満、地面からの跳ね返りで足元が濡れる程度)

※手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け/取り外し、外部接続端子カバーの開閉は行わないでください。

洗う



石けん･洗剤

- FOMA端末が汚れた場合は、洗面器などに張った真水･常温の水道水につけて静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水に当てながら手で洗うことができます。
- リアカバーをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子カバーを押さえたまま洗ってください。
- 洗うときは、ブラシやスポンジ、石けん、洗剤などを使用しないでください。
- 洗い流したあとは表面を乾いた布でよく拭いて、水抜き(P.24参照)を行ったのち、自然乾燥させてください。

レジャー



海水･プール

- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水や海水がかかった場合は所定の方法(P.21参照)で洗ってください。

風呂場



温泉･入浴剤

- 浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- 石けん、洗剤、入浴剤の入った水、温泉には浸けないでください。
- 規定(P.21参照)以上の強い水流(例:蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流)を直接当てないでください。
- 風呂場での長時間のご使用はお避けください。
- 寒いところから暖かい風呂場などにFOMA端末を持ち込むと、急激な温度変化による結露の原因となります。FOMA端末が常温になってから持ち込んでください。

キッチン

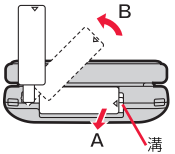
- 常温の真水や水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- お湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。

ご使用にあたっての重要事項

- ご使用前に、外部接続端子カバーや内蓋をしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けている状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。外部接続端子カバー、内蓋を閉じるときやリアカバーを取り付けるときは、カバー周辺（特にパッキン）にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- 外部接続端子カバー、内蓋、リアカバーが浮いていないようにしっかりと閉じていることを確認してください。確実に閉じていないと浸水の恐れがあります。
- 防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

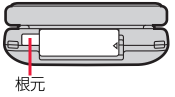
外部接続端子カバーの開けかた

①溝に指をかけてAの方向に引っ張り出したあと、Bの方向に回転させる



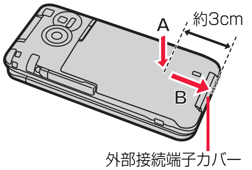
外部接続端子カバーの閉じかた

①FOMA端末と平行に揃えて外部接続端子カバーの根元をしっかり押さえながら押し込む
②外部接続端子カバー全体に浮きがないことを確認する

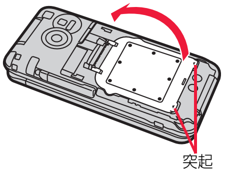


リアカバーの取り外しかた

①外部接続端子カバーから約3cmの部分をAの方向に押しながら、ロックが外れるまで（2mm以上）Bの方向にスライドさせてリアカバーを取り外す

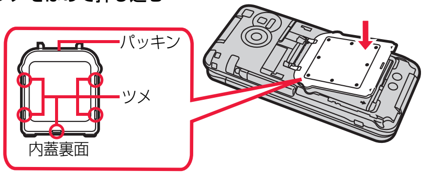


②内蓋の突起を利用して矢印方向に持ち上げ、止まる位置まで開ける
- 内蓋は防水性能を維持するため、しっかりと閉じる構造になっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

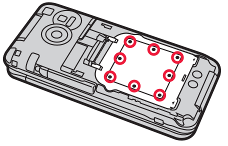


リアカバーの取り付けかた

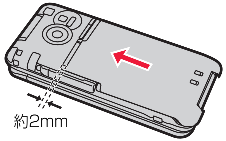
①内蓋の左右と下側のツメをはめて押し込む



②内蓋のシール上の●印部分（8箇所）を押して内蓋全体に浮きがないことを確認する



③リアカバーを約2mm開けた状態でFOMA端末の溝に合わせて、リアカバー全体を下方向に押さえながら矢印方向にスライドさせて取り付ける



④リアカバーとFOMA端末に隙間がないことを確認する

注意意事項

■FOMA端末について

- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。
  - ･外部接続端子がショートする恐れがあります。
  - ･ボタンやヒンジ部などの隙間から水分が入り込む場合があります。また、寒冷地では、FOMA端末に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。

  水で濡れた場合は、リアカバーを取り付けた状態で外部接続端子カバーを閉じたまま水抜き(P.24参照)を行い、FOMA端末から出た水分を乾いたきれいな布で直ちに拭き取ってください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  破損により防水性能の劣化を招くことがあります。
- お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 規定(P.21参照)以上の強い水流に当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
  - ･送話口、受話口、スピーカー部の穴などに砂などが入り、音が小さくなる恐れがあります。
  - ･水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合があります。
  - ･外部接続端子カバー、内蓋、リアカバーに砂などがわずかでも挟まると浸水の原因となります。

■外部接続端子カバー･内蓋･リアカバーについて

- 手袋などをしたまま開閉しないでください。
  パッキンの接着面に微細なゴミが付着する場合があります。
- 乾いたきれいな布で水分を拭き取る際は、パッキンに繊維が付着しないようにご注意ください。
- パッキンをはがさないでください。また、外部接続端子カバーや内蓋の隙間に先の尖ったものを差し込まないでください。
  パッキンが傷つき、浸水の原因となります。
- 外部接続端子カバー、内蓋のパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。
  破損箇所から内部に水などの液体が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子カバーまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

■送話口、受話口、スピーカー部について

- 送話口、受話口、スピーカー部の穴を尖ったものでつつかないでください。
- 水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。

■その他

- 付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。付属の卓上ホルダにFOMA端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続しない状態でも、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

- FOMA端末に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、音質が変化する場合があります。
- ボタンやヒンジ部などの隙間から水分が入り込んでいる場合があります。

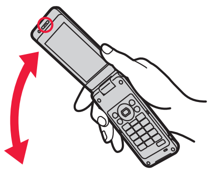
下記の手順でFOMA端末の水分を取り除いてください。

①FOMA端末表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る

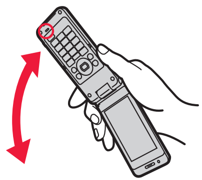


②FOMA端末を確実に持って、各面を少なくとも20回程度、水滴が飛ばなくなるまでしっかり振る

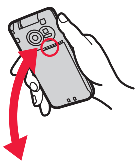
＜受話口の水抜き＞



＜送話口の水抜き＞



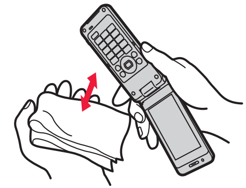
＜スピーカーの水抜き＞



③乾いたきれいな布にFOMA端末を軽く押し当て、送話口、受話口、スピーカー、ボタン、ヒンジ部などの隙間に入った水分を拭き取る

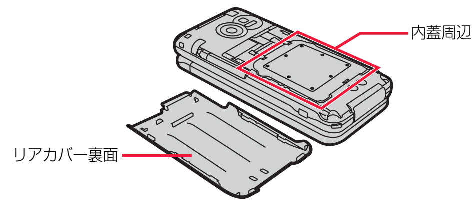
- 隙間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。





④リアカバーを取り外して、内蓋周辺とリアカバー裏面の水滴を拭き取り、再度リアカバーを取り付ける

- 内蓋は絶対に開けないでください。
- リアカバーの取り外しかたについてはP.22参照。



⑤十分に水分を取り除いてからご使用ください。

- 上記の手順を行っても、FOMA端末に水分が残っている場合がありますので、しばらく自然乾燥させてからご使用ください。また、水が染み出ることがありますので濡れては困るものをそばに置かないようにご注意ください。

充電のときには

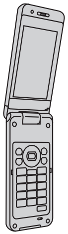
付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点を確認してください。

- FOMA端末が濡れた状態では絶対に充電しないでください。FOMA端末が濡れたときはよく水抜きをして乾いたきれいな布で拭き取ってから充電してください。
- 外部接続端子カバーを開けて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子カバーを閉じてください。外部接続端子からの浸水を防ぐため、付属の卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りで使用しないでください。

本体付属品および主なオプション品

＜本体付属品＞

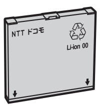
●P-06B本体
（リアカバー P44、保証書含む）



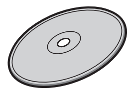
●取扱説明書



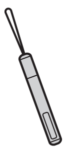
●電池パック P22



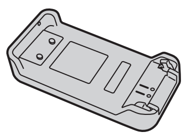
●P-06B用CD-ROM
PDF版「パソコン接続マニュアル」
PDF版「区点コード一覧」を収録しています。



●タッチペン P01

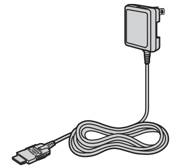


●卓上ホルダ P40



＜主なオプション品＞

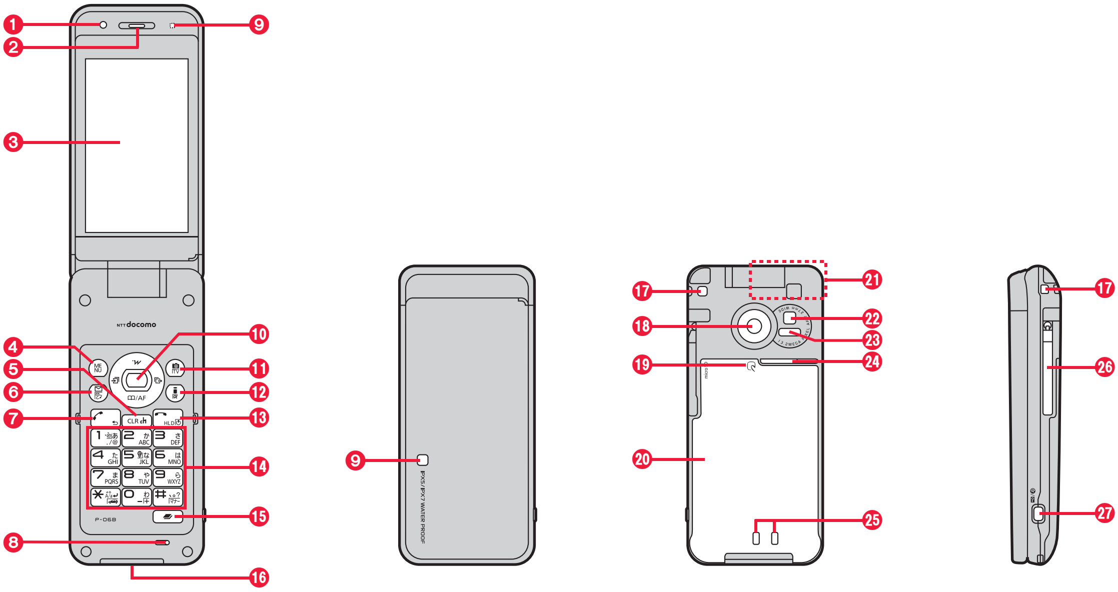
●FOMA ACアダプタ 01/02
（保証書、取扱説明書付き）



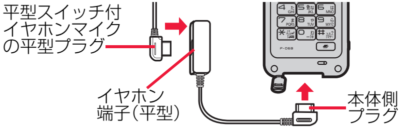
その他オプション品について→P.527

ご使用前の確認

各部の名称と機能



■イヤホンのご利用について
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。
- 変換アダプタを抜き差しするときは、本体側プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。また、抜くときは、外部接続端子カバーと本体側プラグを一緒に持たないようにご注意ください。
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01（別売）は3極のミニプラグのみ接続することができます。詳しくは外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01の取扱説明書をご覧ください。



平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続例

❶光センサー
・明るさを感知する（P.114参照）
●光センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。

❷受話口
・相手の声をここから聞く

❸ディスプレイ（表示部）／タッチパネル
・ディスプレイを表示する（P.34参照）
・タッチパネルで操作する（P.45参照）

❹MENUメニューボタン

❺CLRクリアボタン／ｉチャネルボタン
・操作を1つ前の状態に戻す
・入力した文字や電話番号を消す

❻メールボタン

❼開始ボタン
・電話をかける／受ける（P.62、P.77参照）

❽送話口
・自分の声をここから相手に送る

❾着信／充電ランプ
・電話の着信時／通話中／メールの受信時などに光る（P.118参照）
・充電中に赤色に点灯
●ディスプレイ側の着信／充電ランプは充電中のみ点灯します。
●ご使用のFOMA端末や設定によっては、着信／充電ランプの光の見えかた、色味、点灯／点滅パターンが異なる場合があります。

❿コマンドナビゲーションボタン
・機能操作やメニュー操作を行う（P.32参照）

⓫カメラボタン／ワンセグボタン

⓬ｉモードボタン／ｉアプリボタン

⓭電源／終了ボタン
・通話を終了する
・各機能を終了する
・電源を入れる（1秒以上）／切る（2秒以上）（P.56参照）

⓮ダイヤルボタン
・電話番号や文字を入力

⓯マルチボタン

⓰外部接続端子
・ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）、ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続
●充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。

⓱ストラップ取り付け穴

⓲カメラ
・人や風景を撮影（P.230参照）
・テレビ電話時に人や風景を写す

⓳マーク
・ICカードを搭載
●このマークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用ください。なお、ICカードは取り外しできません。（P.323参照）

⓴リアカバー
・電池パック、FOMAカード、microSDカードの付け外しをするときに取り外す（P.50、P.52、P.387参照）
●リアカバーの内部には内蓋があります。

㉑FOMAアンテナ
●FOMAアンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉒フォトライト
・カメラ撮影時に点灯／点滅
・暗いところなどでの撮影に使用（P.246参照）

㉓赤外線ポート
・赤外線通信や赤外線リモコンに使用（P.402、P.407参照）

㉔スピーカー
・着信音が鳴る
・ハンズフリー設定中に相手の声をここから聞く（P.76参照）

㉕充電端子

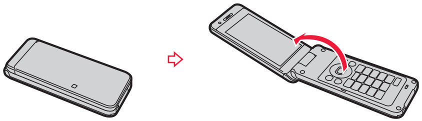
㉖ワンセグアンテナ
・ワンセグ放送を受信（P.253参照）

㉗サイドボタン
・ビューアスタイル時に各機能を終了する
●半押しすると、カメラ撮影時にフォーカスを合わせることができます。（P.241参照）

スタイル

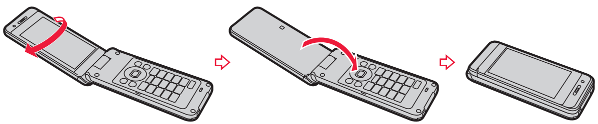
P-06Bには2つのスタイルがあります。

■ノーマルスタイル
ボタン操作に対応しているスタイルです。



■ビューアスタイル
タッチ操作に対応しているスタイルです。
ディスプレイ部を右回りに180度回転させ、手前に閉じた状態で使用します。

- ノーマルスタイルに戻すときは、ディスプレイ部を開き、左回りに180度回転させます。

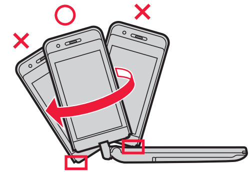


お知らせ

- スタイルを切り替えたときに、元のスタイルに戻す旨のメッセージが表示された場合は、元のスタイルに戻して操作を続けるか、[終話](ビューアスタイルでは[ロック])を押して機能を終了してください。ノーマルスタイルでは[切替]を押して操作する画面を切り替えることもできます。
- 「YES／NO」を選択する確認画面などが表示されているときにスタイルを切り替えると、確認画面の表示が消える場合があります。

ディスプレイ部回転時のご注意

- ディスプレイ部をボタン面や机などに当てないようにしてください。
- 反対方向に回転させないでください。
- 180度以上回転させないでください。



スタイル連動設定

待受画面表示中にビューアスタイルに切り替えたときの動作を設定します。

1 [MENU]▶**本体設定**▶**その他設定**▶**スタイル連動設定**▶**項目を選択**

タッチメニュー	ホームメニュー、カスタマイズメニュー、ノーマルメニュー、待受画面(ビューアスタイル)のうち、前回表示していた画面を表示します。(P.48参照)
カメラ	デジカメモードでカメラを起動します。(P.234参照)
ワンセグ	ワンセグを起動します。(P.256参照)
OFF	待受画面(ビューアスタイル)を表示します。(P.48参照)

お知らせ

- 「タッチパネル調整」を行っていない場合は、待受画面表示中にビューアスタイルに切り替えると、「タッチパネル調整」の画面が表示されます。
- メインメニュー表示中にビューアスタイルに切り替えると、ホームメニューを表示します。

モーションコントロール設定

P-06Bには、FOMA端末の動きを感知するモーションコントロールセンサーが搭載されています。モーションコントロール設定を有効にすることで、FOMA端末を傾けるだけで画面の表示方向を自動で切り替えることができます。

- 以下の場合にモーションコントロールで画面が切り替わります。
  ・ビューアスタイルでピクチャアルバムを起動した場合※1
  ・ビューアスタイルでフルブラウザを起動した場合※2
  また、カメラのデジカメモード、フォトモードで撮影した画像については、「モーションコントロール設定」の設定に関わらず、撮影した際のFOMA端末の向きによって天地の情報が保存されます。
  ※1 左右に90度傾けるか、180度回転すると端末の向きに合った天地で表示されます。
  ※2 左に90度傾けると、横画面で表示されます。

1 MENU▶**本体設定**▶**その他設定**▶**モーションコントロール設定**▶**ON・OFF**

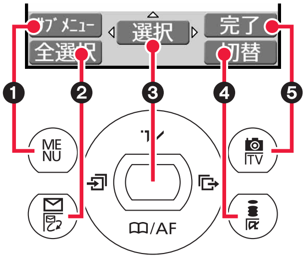
お知らせ

- 「YES／NO」を選択する確認画面などが表示されているときにFOMA端末を傾けると、確認画面の表示が消える場合があります。

ナビゲーション表示とボタン操作

ディスプレイに表示されている操作を行うには、表示に対応するボタンを押します。

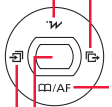
■ボタン割り当てと主な表示例



❶	MENUボタンで行う操作を表示	ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ　閉
❷	✉ボタンで行う操作を表示	全選択　▲ページ
❸	●ボタンで行う操作を表示	選択　確定
	◎ボタンで行うスクロールや項目の選択が可能な方向を表示	△ ◁ ▷ ▽
❹	ボタンで行う操作を表示	切替　▼ページ
❺	TVボタンで行う操作を表示	完了　送信

つづく

■コマンドナビゲーションボタンの操作



- ・カーソルまたは反転表示を上方向へ移動します。（押し続けると連続スクロールになります）
- ・表示内容を上方向へスクロールします。

- ・カーソルを左方向へ移動します。
- ・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールします。（押し続けると連続スクロールになります）

- ・操作を決定します。

- ・カーソルを右方向へ移動します。
- ・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールします。（押し続けると連続スクロールになります）

- ・カーソルまたは反転表示を下方向へ移動します。（押し続けると連続スクロールになります）
- ・表示内容を下方向へスクロールします。

待受画面での主なボタン操作

待受画面で各ボタンを操作すると以下のような動作になります。

ボタン操作	短く押す	1秒以上押す
	待受画面のアイコンなどの選択画面を表示（P.39、P.82、P.112参照）	－
	ｉウィジェットを起動（P.317参照）	－
	電話帳検索画面を表示（P.96参照）	電話帳の登録画面を表示（P.92参照）
	着信履歴一覧画面を表示（P.67参照）	受信アドレス一覧画面を表示（P.175参照）
	リダイヤル一覧画面を表示（P.66参照）	送信アドレス一覧画面を表示（P.175参照）
MENU	メインメニューを表示（P.41参照）	－
TV	デジカメモードでカメラを起動（P.234参照）	ワンセグを起動（P.256参照）
	メールメニューを表示（P.166参照）	メール／メッセージ問合せを実行（P.160参照）
	ｉMenuを表示（P.190参照） ｉモードメニューを表示（P.190参照）	ソフト一覧画面を表示（P.295参照）
	電話をかける（P.62参照）	－
	待受画面に設定したアニメーション･Flash画像･ｉモーションの停止／再生（P.112参照）	電源を切る（2秒以上押す）（P.56参照）
CLR	チャネル一覧画面を表示（P.225参照）	デスクトップのお知らせアイコンを削除（P.39参照）

ボタン操作	短く押す	1秒以上押す
0	「0」を入力	「+」を入力
1	「1」を入力	現在地を測位してGPS機能を実行(P.335参照)
2	「2」を入力	2in1をONに設定(P.474参照)
3	「3」を入力	ICカードロックの設定／解除(P.324参照)
4	「4」を入力	シークレットモードの設定／解除(P.133参照)
5	「5」を入力	ecoモードの設定／解除(P.115参照)
6	「6」を入力	フェムトセルの画面を表示(P.452参照)
7	「7」を入力	フォント設定の画面を表示(P.120参照)
8	「8」を入力	ビューブラインドのON／OFF(P.115参照)
9	「9」を入力	メニュー画面リセットを実行(P.117参照)
*	「*」を入力	公共モード(ドライブモード)の設定／解除(P.81参照)
#	「#」を入力	マナーモードの設定／解除(P.108参照)
	タスクメニューを表示(P.423参照)	画面の切り替え(P.423参照)
	ｉアプリ待受画面と通常のｉアプリを切り替え(P.315参照)	マナーモードの設定／解除(P.108参照)

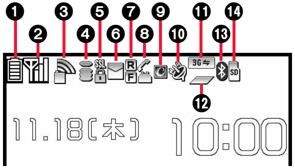
ビューアスタイルでのボタン操作

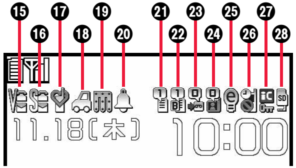
ボタン操作	短く押す	1秒以上押す
	画面ロックの設定／解除(P.47参照)	－

FOMA端末を閉じた状態でのボタン操作

ボタン操作	短く押す	1秒以上押す
	不在着信や新着メールを確認(P.120参照)	マナーモードの設定／解除(P.108参照)

ディスプレイの見かた





No.	アイコン	説明
❶		電池残量(目安)(P.55参照)
		温度監視中(P.52参照)
❷		電波の受信レベル(目安) 強 ←→ 弱
	圏外	FOMAサービスエリア外や電波の届いていないところにいるとき
	self	セルフモード中(P.128参照)
	TML	使用できないFOMAカードを挿入中(P.50参照)
❸		フェムトセル利用可能(P.452参照)
❹		ｉモード中(P.190参照)
		ｉモード通信中(P.190参照)
		パケット通信中(通信状態によって表示は異なります。)
		ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定中に圏外になったとき(P.486参照)
❺		SSL/TLS通信中(P.191参照)

No.	アイコン	説明
❻		未読ｉモードメール･SMSあり(P.158、P.186参照)
	(橙色)	FOMA端末内のｉモードメール･SMSが一杯(P.159、P.186参照)
		FOMAカード内のSMSが一杯
		ｉモードセンターにｉモードメールあり(P.160参照)
	(橙色)	ｉモードセンターのｉモードメールが一杯(P.159参照)
		メール選択受信設定を「ON」に設定中にｉモードセンターにｉモードメールあり(P.159参照)
		未読エリアメールあり(P.184参照)
❼	R F	未読メッセージR/Fあり(P.181参照)
	R F (橙色)	FOMA端末内のメッセージR/Fが一杯(P.181参照)
	R F	ｉモードセンターにメッセージR/Fあり(P.181参照)
	R F (橙色)	ｉモードセンターのメッセージR/Fが一杯(P.181参照)

No.	アイコン	説明
❽		音声電話中
		テレビ電話中
		音声電話／テレビ電話切り替え中(P.65参照)
		64Kデータ通信中
		ダイヤルロック中(P.127参照)
		オリジナルロック中(P.129参照)
		シークレットモード、シークレット専用モード中(P.133参照)
		オリジナルロック中･シークレットモード、シークレット専用モード中
		赤外線通信中(P.402参照)
		赤外線リモコン操作中(P.407参照)
		iC通信中(P.407参照)
❾		ｉコンシェルの新着インフォメーションあり(P.227参照)
		未返信のｉアプリコールあり(P.314参照)

番号	アイコン	説明
⑩		現在地測位中(P.335参照)
		位置提供設定を「位置提供OFF」以外に設定中で許可期間内(P.343参照)
	(グレー)	位置提供設定を「位置提供OFF」以外に設定中で許可期間外(P.343参照)
		オートGPS機能動作中(P.340参照)
		オートGPS機能動作中、位置提供設定を「位置提供OFF」以外に設定中で許可期間内
	(グレー)	オートGPS機能動作中、位置提供設定を「位置提供OFF」以外に設定中で許可期間外
⑪	3G 3G GSM GPRS	海外利用時のネットワークの種類(P.483参照)
	OFFICEED	OFFICEEDエリア内にいるとき(P.479参照)
⑫		1つの機能が起動中(P.423参照)
		複数の機能が起動中(P.423参照)
		ワンセグ視聴中(P.256参照)
		ワンセグ録画中(P.262参照)
		ワンセグ予約録画中(P.266参照)
		ワンセグ録画一時停止中(P.262参照)
		ミュージック再生中(P.282参照)
		ミュージック一時停止中(P.282参照)
⑬	(青色)	Bluetooth機器との接続中など(P.446、P.447参照)
	(黒色)	Bluetooth機器との接続が低消費電力状態(P.446参照)
		Bluetooth機器で通話中(P.447参照)
		Bluetooth機器で音楽などを再生中(P.448、P.449参照)

番号	アイコン	説明
⑭		microSDカードを装着中(P.387参照)
		microSDカードのデータを読み込み／書き込み中
		ライトプロテクトがかかったmicroSDカードを装着中(P.387参照)
		装着しているmicroSDカードが使用不可(P.387参照)
		microSDカードを装着し、microSDモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)接続中(P.398参照)
		microSDカードを装着し、MTPモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)接続中(P.397参照)
⑮		バイブレータ設定を「OFF」以外に設定中(P.106参照)
⑯		着信音量を「消去」に設定中またはメール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中(P.105、P.108参照)
⑰		マナーモード中(P.108参照)
		マナー解除時間設定を「ON」に設定中(P.109参照)
	(グレー)	マナー起動時間設定を「ON」に設定中(P.109参照)
⑱		公共モード(ドライブモード)中(P.81参照)
⑲		Music&Videoチャネル番組予約中(P.272参照)
⑳		アラーム設定中(P.265、P.425参照)
㉑	～ ・	留守番電話サービスの伝言メッセージあり(P.464参照)
㉒	～ ・	2in1のモードがデュアルモードの場合で、Bナンバーへ留守番電話サービスの伝言メッセージあり(P.478参照)

番号	アイコン	説明
㉓	～	伝言メモの録音件数(P.83参照)
	～	自動音声メモの録音件数(P.436参照)
㉔	～	テレビ電話伝言メモの録画件数(P.83参照)
㉕		ecoモード中(P.115参照)
		ビューブラインドを「ON」に設定中(P.115参照)
㉖		キー操作ロック設定中(P.132参照)
㉗		ICカードロック中(P.324参照)
		サイドボタン設定を「閉じた時無効」に設定中(P.133参照)
㉘		USBモード(microSDモード／MTPモード)(P.397参照)
		FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02(別売)接続中のUSBモード(通信モード／microSDモード／MTPモード)(P.397参照)
		USBハンズフリー対応機器接続中のUSBモード(通信モード／microSDモード／MTPモード)(P.76参照)
		FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02(別売)とUSBハンズフリー対応機器接続中のUSBモード

つづく

お知らせ

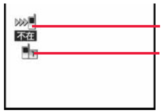
- 各アイコンは、FOMA端末の状態や設定により、縮小･変形して組み合わされた状態で表示されることがあります。
- 横画面表示の場合、アイコンの表示位置が異なることがあります。
- ディスプレイに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。
- カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境の変化などで点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。

<デスクトップ>

デスクトップのアイコンを利用する



状態表示アイコン



お知らせアイコン

貼り付けアイコン

■状態表示アイコンを選択したときの動作

	バイブレータ設定、メール／メッセージ鳴動の画面を表示(P.106、P.108参照)
	着信音量(オリジナルマナー設定時はオリジナルマナー)、メール／メッセージ鳴動の画面を表示(P.105、P.108、P.111参照)
	マナーモード選択の画面を表示(P.111参照)
	マナー解除時間設定の画面を表示(P.109参照)
(グレー)	マナー起動時間設定の画面を表示(P.109参照)
	スケジュール、アラーム、ToDoリスト、視聴予約、録画予約の一覧画面を表示(P.263、P.264、P.424、P.428、P.431参照)
～ ·	留守番メッセージ再生の画面を表示(P.465参照)
～ ·	留守番メッセージ再生の画面を表示(P.465参照)
～	メモ一覧画面を表示(P.84参照)
～	メモ一覧画面を表示(P.84参照)
～	テレビ電話伝言メモ一覧画面を表示(P.85参照)
	ビューブラインドの画面を表示(P.115参照)
	キー操作ロックの画面を表示(P.132参照)
	ICカードロックの解除画面を表示(P.324参照)
	サイドボタン設定の画面を表示(P.133参照)
	USBモードの画面を表示(P.397参照)

■お知らせアイコンを選択したときの動作

不在	**不在着信あり** 不在着信の着信履歴一覧画面を表示(P.67参照)
伝言	**伝言メモあり** メモ一覧画面を表示(P.84参照)
伝言	**テレビ電話伝言メモあり** テレビ電話伝言メモ一覧画面を表示(P.85参照)
メール	**新着メールあり** 受信メール詳細画面を表示(P.164参照)
メッセージ	**新着メッセージR/Fあり** メッセージR/F詳細画面を表示(P.182参照)
送信結果	**送信予約メールの送信結果あり** 送信結果を表示(P.145参照)
ソフト	**ｉアプリの自動起動ができなかったとき** ｉアプリの自動起動情報を表示(P.313参照)
ソフト	**未返信のｉアプリコールあり** ｉアプリコール履歴を表示(P.314参照)
トルカ	**読み取り機からトルカを取得** トルカ一覧画面を表示(P.328参照)
アプリ	**ｉアプリ待受画面でセキュリティエラーが発生** セキュリティエラー履歴を表示(P.297参照)

アイコン	内容
更新	**Music&Videoチャネルのダウンロードが成功** Music&Videoチャネルを起動(P.272参照)
失敗	**Music&Videoチャネルのダウンロードが失敗** Music&Videoチャネルを起動(P.273参照)
アラーム	**未通知アラームあり** 通知できなかったアラームの内容を表示(P.426参照)
アラーム	**未視聴予約あり** 通知できなかった視聴予約の内容を表示(P.267参照)
終了	**予約録画が完了したとき** 録画予約の内容と結果を表示(P.267参照)
上限	**通話料金通知の上限料金を超えたとき** 通話料金の情報を表示(P.438参照)
留守	**留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり** 留守番メッセージ再生の画面を表示(P.465参照)
更新	**ケータイデータお預かりサービスの更新あり** ケータイデータお預かりサービスの更新画面を表示(P.137参照)
成功	**自動で位置提供したとき** 位置履歴を表示(P.339参照)
失敗	**自動で位置提供できなかったとき** 位置履歴を表示(P.339参照)
不在	**位置提供の要求に応えなかったとき** 位置履歴を表示(P.339参照)
検索	**ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定中に圏外になったとき** 通信事業者の一覧を表示(P.486参照)
更新	**ソフトウェア更新が必要になったとき** ソフトウェア更新を起動(P.543参照)
	ソフトウェア更新を行ったとき 更新完了画面または完了しなかった理由を表示(P.544参照)
	ソフトウェアの書き換えが可能になったとき 書き換えの確認画面を表示(P.542参照)
更新	**パターンデータの自動更新を行ったとき** 更新結果を表示(P.547参照)
接続中	**FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続** USBモードの画面を表示(P.397参照)
充電停止	**充電が途中で停止したとき** 充電が自動的に停止した旨のメッセージを表示(P.54参照)

■貼り付けアイコンを選択したときの動作

アイコン	動作
	電話番号が入力された状態でダイヤル発信の画面を表示(P.62参照)
	サイトを表示(P.190参照)
	フルブラウザでサイトを表示(P.192参照)
	宛先が入力された状態でメール作成画面を表示(P.144参照)
	宛先が入力された状態でSMS作成画面を表示(P.185参照)
	受信メール一覧画面を表示※1(P.164参照)
	ｉアプリを起動※1※2(P.295参照)
	おサイフケータイ対応ｉアプリを起動※1※2(P.295参照)
	ｉアプリDXを起動※1※2(P.295参照)
	メール連動型ｉアプリを起動※1※2(P.295参照)
	ピクチャビューアで表示※1(P.353参照)
	ｉモーションプレーヤーで再生※1(P.365参照)
	キャラ電プレーヤーで再生※1(P.378参照)
	メロディプレーヤーで再生※1(P.382参照)
	PDF対応ビューアで表示※1(P.410参照)
	現在地を通知(P.339参照)
	クイック検索画面を表示(P.200参照)
	ｉコンシェルの画面を表示(P.227参照)
	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示(P.203参照)
	チャネル一覧画面を表示(P.225参照)
	ピクチャアルバムを起動(P.358参照)
	ピクチャアルバムでスライドショーを再生(P.360参照)
	手書きフォト／メモの一覧画面を表示(P.353参照)
	バーコードリーダーの画面を表示(P.248参照)

つづく

	赤外線受信の画面を表示(P.405、P.406参照)
	Bluetooth機能の選択画面を表示(P.445、P.446、P.447、P.451参照)
	電卓を表示(P.438参照)
	カレンダー画面を表示(P.428参照)
	アラームの一覧画面を表示(P.424参照)
	歩数計測履歴画面を表示(P.418参照)
	ToDoリストの一覧画面を表示(P.431参照)
	メモ帳の一覧画面を表示(P.439参照)
	ボイスレコーダー録音画面を表示(P.408参照)
	使いかたガイドの画面を表示(P.49参照)
	辞典を起動(P.439参照)
	カメラメニューを表示(P.234、P.236、P.238参照)
	ミュージックプレーヤーを起動(P.281参照)
	Music&Videoチャネル画面を表示(P.274参照)
	視聴画面を表示(P.256参照)
	番組表ｉアプリを起動(P.259参照)
	プライベートメニューを表示(P.433参照)
	電池残量の画面を表示(P.55参照)

※1 登録元のデータが削除された場合は、貼り付けアイコンは無効になります。
※2 登録元のデータによっては、表示される貼り付けアイコンが異なることがあります。

表示アイコン設定

状態表示アイコンを選択できるように設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**表示アイコン設定**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 「ON」に設定すると、状態表示アイコン以外のアイコン(P.34参照)を選んだときにもアイコンの説明などが表示されます。

デスクトップにアイコンを貼り付ける

電卓や電話番号などを「貼り付けアイコン」としてデスクトップに貼り付けます。3件のデスクトップテーマそれぞれに15件ずつ貼り付けることができます。

1 **貼り付けたい項目の画面**▶MENU(サブメニュー)▶**デスクトップ貼付**▶**YES**

現在設定されているデスクトップテーマにアイコンが貼り付きます。

- メール詳細画面のサブメニューから操作した場合、送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、貼り付けたいメールアドレスや電話番号を選択します。
- 貼り付ける項目によっては、「YES」を選択する操作は不要です。
- 待受画面で●を押し、サブメニューから「アイコン作成」を選択してもアイコンを貼り付けることができます。貼り付けたい機能を選択し、デスクトップテーマを選択します。

お知らせ

- サイトによっては、URLをデスクトップ貼付できないことがあります。
- URLのタイトルが全角16文字/半角32文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが半角22文字まで表示されます。
- ファイルやデータによってはデスクトップ貼付できない場合があります。

デスクトップのアイコンからそれぞれの機能に進む

1 **●を押す**

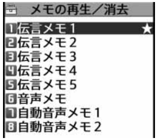


- 📷TV(設定)を押すと、待受画面の表示に関する以下の機能を設定できます。
  - ・デスクトップ切替(P.39参照)
  - ・デスクトップ表示設定(P.39参照)
  - ・待受画面設定(P.111参照)
  - ・きせかえツール設定(P.117参照)
  - ・時計設定(P.121参照)

2 **◎でアイコンを選んで●(選択)を押す**



→



伝言メモのアイコンを選択した場合

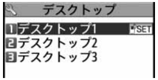
- 「貼り付けアイコン」は5件まで表示されます。6件以上ある場合は「◀」「▶」が表示されます。
- 「お知らせアイコン」はそれぞれの機能を実行すると削除されます。すべての「お知らせアイコン」を削除するには、待受画面でCLRを1秒以上押します。(一部削除されないアイコンもあります。)

お知らせ

- 海外で「留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり」のお知らせアイコン(留守)が表示された場合、お知らせアイコンからの操作では留守番電話機能を使用できません。P.489「滞在国で留守番電話サービスの操作をする」の手順に従って操作してください。

デスクトップテーマを切り替える

1 **MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶待受画面設定▶デスクトップ▶デスクトップテーマを選択▶YES**



デスクトップテーマ一覧画面

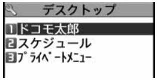
- 現在設定されているデスクトップテーマには、「SET」が付いています。

デスクトップテーマ一覧画面のサブメニュー

デスクトップ表示設定	▶常に表示・使用時のみ表示 ●「使用時のみ表示」に設定した場合は、待受画面で●を押すと、貼り付けアイコンやカレンダーが表示されます。
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角11文字/半角22文字まで入力できます。

貼り付けアイコンの詳細を確認する

1 **デスクトップテーマ一覧画面▶📷TV(詳細)▶貼り付けアイコンを選択**



貼り付けアイコン一覧画面

貼り付けアイコン一覧画面のサブメニュー

- 待受画面でアイコンを選んでMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押してもサブメニューが表示されます。

アイコン作成	P.38「デスクトップにアイコンを貼り付ける」参照
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。ただし、アイコンを選んだときに表示されるタイトルは、入力したタイトルの先頭から全角11文字/半角22文字までです。

つづく

項目		説明
アイコン変更		貼り付けアイコンの画像を変更します。 ▶ユーザ選択▶フォルダを選択▶画像を選択 ●お買い上げ時の画像に戻す場合は、「初期アイコン」を選択します。 ●設定できる画像はSub-QCIF(128×96)以下のJPEG画像、GIF画像です。
並び替え		▶で順番を変更▶(配置) ●待受画面でアイコンを選んだときのサブメニューから操作した場合は「YES」を選択し、で順番を変更します。
コピー		
	1件コピー	▶コピー先のデスクトップテーマを選択
	選択コピー	▶コピー先のデスクトップテーマを選択 ▶コピーしたい貼り付けアイコンにチェック ▶(完了)▶YES
	全コピー	▶コピー先のデスクトップテーマを選択▶YES
移動		
	1件移動	▶移動先のデスクトップテーマを選択▶YES
	選択移動	▶移動先のデスクトップテーマを選択 ▶移動したい貼り付けアイコンにチェック ▶(完了)▶YES
	全移動	▶移動先のデスクトップテーマを選択▶YES
アイコン情報		貼り付けアイコンの情報を表示します。
デスクトップ初期化		貼り付けアイコンをお買い上げ時の状態に戻します。 ▶YES
プライベートメニュー		プライベートメニューを表示します。(P.433参照)
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したい貼り付けアイコンにチェック ▶(完了)▶YES
	全削除	▶YES

お知らせ

<アイコン作成><アイコン情報><プライベートメニュー>
- 待受画面でアイコンを選んだときのサブメニューでのみ表示されます。

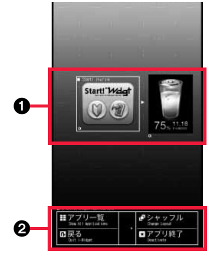
iウィジェットの表示と操作

iウィジェット画面では、複数のウィジェットアプリを同時に起動して一覧で表示できます。

❶ウィジェットアプリ
ウィジェットアプリを表示します。
ウィジェットアプリを選択するとウィジェットアプリ操作画面が表示されます。

❷ナビゲーション表示
ボタン操作に対応したナビゲーションを表示します。

- iウィジェット画面で(シャッフル)を押すと、ウィジェットアプリの表示順をランダムに入れ替えることができます。
- iウィジェットの詳しい操作についてはP.317参照。



iウィジェット画面

<表示アイコン説明>
アイコンの説明を表示する

画面に表示されるマーク(など)をアイコンといいます。アイコンの説明を画面上で確認できます。

1 MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶表示アイコン説明▶でアイコンを選ぶ

メニューの選択方法

FOMA端末では MENU を押してメインメニューを表示し、各種機能を実行、設定、確認します。本書では、メインメニューから機能を呼び出す方法を基準に説明しています。
メニューは機能ごとに分類されています。(P.498参照)

- MENU を押す以外の操作でも機能を選択できるものがあります。このような場合は、簡単に選択できる方法で記載しています。
- 本FOMA端末は、きせかえツール(P.117参照)に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号(項目番号)が適用されないものがあります。

■スクロール選択

メインメニューは、機能をイメージした12個の大項目アイコンで構成されています。

- 大項目アイコンを選択すると中項目の選択画面、さらに選択すると小項目の選択画面が表示されます。
- 選択を繰り返して設定、確認を行います。

■マルチタスクに対応

- メインメニューの中には、同時に使用することができる機能もあります。(P.423参照)

スクロール選択

本書では、コマンドナビゲーションボタンの操作(上下左右の選択と機能項目を選択、入力したあとの ●)を省略して記載しています。ここでは、以下の記載例に基づき、「通話品質アラーム」の機能を選択する方法を例にしてスクロール選択を説明します。

手順の記載例

大項目のアイコン　中項目　小項目　機能名称

1 MENU ▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**通話品質アラーム**▶**アラームを選択**

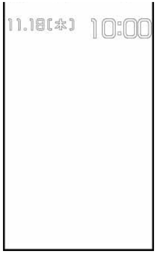
アラームなし. . . お知らせしません。
アラーム高音. . . 高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音. . . 低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

画面に表示される項目

つづく

ステップ 1 メニュー機能の大項目アイコンを選択します

メインメニューから「電話機能」を選択します。お買い上げ時のメインメニューは本体色によって異なります。



MENU



メインメニュー

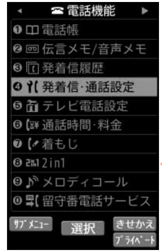




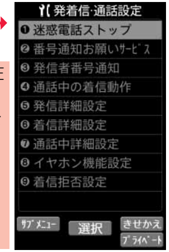
- ◎を押してアイコンを選択します。◎を押し続けると連続スクロールします。
- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

ステップ 2 メニュー機能の中項目を選択します

「電話機能」から「発着信・通話設定」を選択します。



- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- ◎を押すと下の項目、◎を押すと上の項目を選べます。
- ◎を押し続けると連続スクロールします。
- ◎を押すとページ単位でスクロールします。

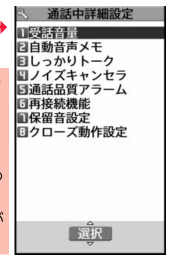


ステップ 3 メニュー機能の小項目を選択します

「発着信・通話設定」から「通話中詳細設定」を選択します。

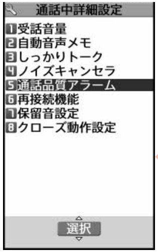


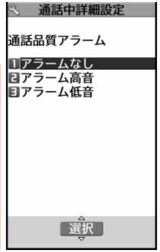
- ◎を押すと下の項目、◎を押すと上の項目を選べます。
- ◎を押し続けると連続スクロールします。
- 項目が複数のページにわたるときは、画面の右上に全体のページ数と現在のページ数が表示されます。



ステップ 4 機能を選択します

「通話中詳細設定」から「通話品質アラーム」を選択します。

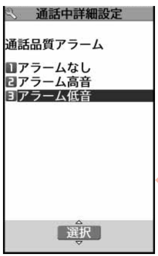


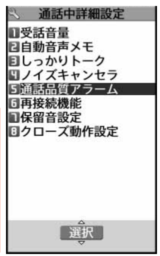


- ◯を押すと下の項目、◯を押すと上の項目を選べます。
- ◯を押し続けると連続スクロールします。
- 項目が複数のページにわたるときは、画面の右上に全体のページ数と現在のページ数が表示されます。

ステップ 5 機能の設定や確認をします

「通話品質アラーム」を「アラーム低音」に設定します。





- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- ◯を押すと下の項目、◯を押すと上の項目を選べます。
- ◯を押し続けると連続スクロールします。

シンプルメニュー

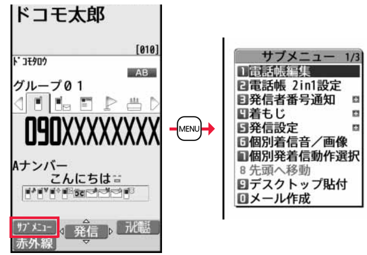
シンプルメニューとは、基本機能に絞って使いやすくしたメニューです。きせかえツールで「シンプルメニュー」に設定し、待受画面でMENUを押すと、シンプルメニューが表示されます。

- シンプルメニューでの操作手順や画面に表示される項目は、本書に記載しているものとは一部異なります。
- シンプルメニューの内容については、P.516「シンプルメニュー機能一覧表」を参照してください。

サブメニュー

画面の左下に「ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ」が表示されているときにMENUを押すと、それぞれの操作において、登録や編集、削除など操作可能な項目を含んだサブメニューが表示されます。サブメニューを表示させたときの画面によって、サブメニューの内容は異なります。

- 項目が複数のページにわたるときは、サブメニュー画面の右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。
- 項目の配下にさらに項目がある場合は、「+」が表示されます。



サブメニューの記載例

本書では、サブメニューの操作を以下のように記載しています。

サブメニューに表示される項目 → 全削除

サブメニューの項目を選択したあとの操作手順 → ▶端末暗証番号を入力▶YES

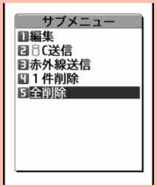
全削除	すべてのデータを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

実際の操作は以下のように行います。

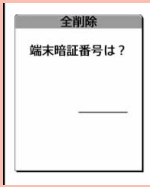
MENU(サブメニュー)を押す

↓

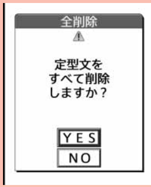
Ⓞで「全削除」を選んで◉(選択)を押す



→ 端末暗証番号を入力して◉(確定)を押す



→ Ⓞで「YES」を選んで◉(選択)を押す

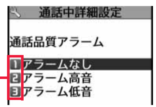


素早く項目を選択するには<ダイレクト選択>

表示されている項目番号と同じダイヤルボタンを押します。

- メインメニューでダイヤルボタンを押しても大項目アイコンを選択できます。

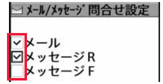
項目番号



項目のスクロールについて

メニュー項目などが複数のページにわたるときは、画面の一番上、下の項目からⓄを押すと前、次のページが表示できます。Ⓞを押すとページ単位でスクロールします。▲ページ／▼ページなどが画面に表示されているときは、✉(▲ページ)／iα(▼ページ)を押してもページ単位でスクロールできます。

チェックボックスについて



複数の項目を選択できる機能では、チェックボックスにチェックを付けて項目を選択します。

◉(選択)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

機能によってはMENU(サブメニュー)を押して「全選択／全解除」を選択したり、✉(全選択／全解除)を押して、一括でチェックを付けたり外したりできる場合があります。

- 機能によっては選択した項目に「☑」が表示されます。

操作を終えたあとは

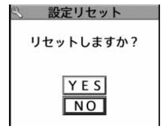
機能の選択画面が表示されます。⌒を押すと待受画面に戻ります(マルチタスク中を除く)。機能によっては自動的に待受画面や元の画面に戻るものもあります。

操作を途中でやめるには

⌒を押します。設定中の内容が破棄されて待受画面や元の画面に戻ります。機能によっては設定中の内容を破棄するかしないかの確認画面が表示される場合があります。CLRを押すと操作を1つ前の状態に戻せます。

「YES／NO」を選択する画面では

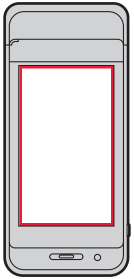
Ⓞを押して項目を選び、◉(選択)を押します。



タッチパネル

ノーマルスタイルでのボタン操作の代わりに、ビューアスタイルではタッチパネル(画面)をタッチペンで触れて操作します。

- ノーマルスタイルではタッチパネルで操作できません。
- お買い上げ時にディスプレイに貼られているシートをはがしてからお使いください。
- 本書の手順や画面は、主にノーマルスタイルの状態で記載しています。また、ボタンでもタッチパネルでも操作できる機能の場合は、ボタン操作を優先して記載しています。
- タッチパネルで操作できる範囲は以下のとおりです。ただし、機能によって範囲は異なります。



■タッチパネル利用上のご注意

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ･異物を操作面にのせたままでの操作
  - ･保護シートやシールなどを貼っての操作
- 爪やボールペン、ピンなど先の尖ったものや、指で強く押さないでください。

お知らせ

- ｉアプリによっては、タッチパネルによる操作ができない場合があります。タッチパネルによる操作ができない場合は、ノーマルスタイルで操作してください。

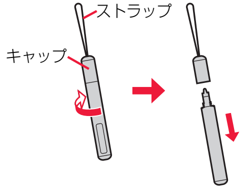
タッチペン

タッチペンを使用するときは、先端面で軽くタッチパネル(画面)に触れてください。

- タッチペンをストラップでFOMA端末に取り付ける場合は、キャップを外して取り付けてください。

キャップの取り外しかた

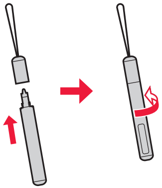
1 キャップを手で持ち、ペン側を左に回して取り外す



キャップの取り付けかた

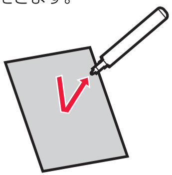
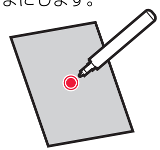
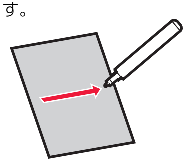
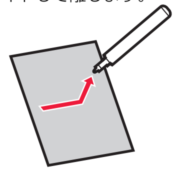
1 キャップを手で持ち、ペン側を右に回して取り付ける

- ロックされるまで回してください。



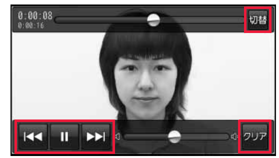
タッチパネルでの基本操作

タッチパネルの操作はタッチペンで行ってください。

操作	主な動作	ノーマルスタイルでのボタン操作例
タッチ タッチパネルをトンとたたきます。 	**選択・決定** ●画面に表示される項目やコントロールボタンをタッチします。	
ロングタッチ タッチパネルに触れたままにします。 	**カーソルまたは反転表示の移動** ●一覧画面などで項目をロングタッチします。	
	連続操作 ●早送りなどのコントロールボタンをロングタッチします。	(1秒以上)
スライド タッチパネルに触れたまま上下左右に動かします。 	**画面のスクロール** ●一覧画面などで項目をスライドします。	
	前後のデータの表示 ●前後のデータやページなどを表示します。	
すばやくスライド 上下左右にすばやくスライドして離します。 	**画面のスクロール** ●画面によっては離したあともしばらくの間スクロールし続けます。スクロール中にタッチすると停止します。	−
	前後のデータの表示 ●前後のデータやページなどを表示します。	

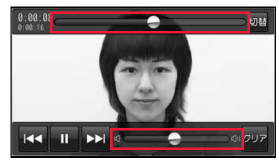
コントロールボタン

ノーマルスタイルでのコマンドナビゲーションボタン操作、ダイヤルボタン操作、サブメニュー操作などの代わりに、ビューアスタイルではコントロールボタンをタッチ(ロングタッチ)して操作できます。



スライドレバー

スライドレバーの位置を調節することで、音量やズーム倍率などを調節できます。動画などの再生中に再生位置を変更することもできます。



お知らせ

●機能によって、コントロールボタンやスライドレバーが常に表示される場合と、画面をタッチして表示／非表示を切り替えられる場合があります。
●コントロールボタンやスライドレバーの表示位置、表示内容などは機能によって異なります。

画面ロックを設定／解除する

タッチパネルでの操作ができなくなるよう設定します。
かばんの中での誤動作が防止できます。

画面ロックを設定する

1 ビューアスタイルでを押す

ディスプレイの表示が消え、画面ロックが設定されます。

- 各機能の画面が表示されている状態ではを1秒以上押します。
- 「照明設定」の設定により省電力モードに切り替わった場合も、画面ロックが設定されます。

お知らせ

- キー操作ロック中は省電力モードに切り替わっても画面ロックは設定されません。
- デジカメモードでカメラ起動中は、を1秒以上押しても画面ロックを設定できません。
- データの移動中·コピー中などに画面ロックが設定されると、処理が中断される場合があります。

画面ロックを解除する

1 ビューアスタイルで▶「」を右にスライド

- 10秒以内に「」までスライドしてください。
- ノーマルスタイルに切り替えても画面ロックが解除されます。



お知らせ

- 画面ロック中に「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」のアラームが鳴った場合は、「」を右にスライドしてください。

機能を終了する

ビューアスタイル時に各機能の画面が表示されている状態でを押すと、その機能が終了します。

お知らせ

- デジカメモードでカメラ起動中は、を押しても機能を終了できません。

タッチ操作ガイド

ビューアスタイルでの操作方法などを確認します。

1 ノーマルメニュー▶タッチ操作ガイド▶確認したい操作をタッチ

- タッチパネルについての確認画面が表示された場合は、「OK」をタッチします。「OK(以後確認しない)」をタッチすると、以後同様の確認画面は表示されません。

タッチパネル調整

タッチパネルの動作(タッチした位置の検出)の補正を行います。

1 MENU▶本体設定▶その他設定▶タッチパネル調整

ビューアスタイルに切り替えて以降の操作を行います。

2 「+」の中心をタッチ

画面に従って手順2の操作を繰り返します。

- 調整が終了すると、調整後の動作を確認できます。「やり直し」をタッチすると、再度調整できます。

ビューアスタイルでタッチメニューを表示する

ホームメニュー

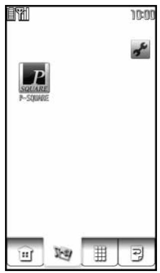
ビューアスタイルに切り替えて「 」をタッチすると、ホームメニューが表示されます。
ホームメニューにはショートカットアイコン(P.49参照)を6件まで登録でき、ショートカットアイコンをタッチすることでそれぞれの機能を起動できます。また、お知らせアイコンやｉチャネルのテロップも表示されます。

- 日時をタッチすると手書きダイアリーが起動します。



カスタマイズメニュー

ビューアスタイルに切り替えて「 」をタッチすると、カスタマイズメニューが表示されます。
カスタマイズメニューにはショートカットアイコン(P.49参照)を27件まで登録でき、ショートカットアイコンをタッチすることでそれぞれの機能を起動できます。



ノーマルメニュー

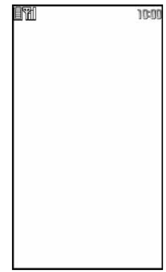
ビューアスタイルに切り替えて「 」をタッチすると、ノーマルメニューが表示されます。
アイコンをタッチすることでそれぞれの機能を起動できます。ノーマルメニューのアイコンは変更できません。

- ノーマルメニューの内容については、P.517「ノーマルメニュー機能一覧表」を参照してください。



待受画面(ビューアスタイル)

ビューアスタイルに切り替えて「 」をタッチすると、待受画面(ビューアスタイル)が表示されます。
待受画面(ビューアスタイル)で画面をタッチするとホームメニューが表示されます。



タッチメニューの表示を設定する

ショートカットアイコンや背景の画像を変更します。

1 ホームメニュー・カスタマイズメニュー▶ ▶以下の操作を行う

- ショートカットアイコンを並び替える場合は、ショートカットアイコンをロングタッチしてからスライドします。

追加	ショートカットアイコンを追加します。 **▶登録したい機能をタッチ▶OK**
削除	ショートカットアイコンを削除します。 **▶ショートカットアイコンをタッチ▶YES▶OK** ●ショートカットアイコンを1件または複数件タッチしてから「削除」をタッチしても削除できます。
変更	ショートカットアイコンを変更します。 **▶ショートカットアイコンをタッチ** **▶登録したい機能をタッチ▶OK** ●ショートカットアイコンをタッチしてから「変更」をタッチしても変更できます。
背景	背景に表示する画像を設定します。(P.112「待受画面(ビューアスタイル)を設定する」参照) **▶フォルダをタッチ▶画像をタッチ▶確定**

お知らせ

＜追加＞＜変更＞

- 機能によっては数回タッチして登録します。「フォルダ登録」をタッチすると直前にタッチした機能が登録されます。
- 登録元のデータが削除された場合は、ショートカットアイコンは無効になります。

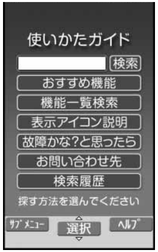
＜使いかたガイド＞

ボタン操作を忘れてしまったとき

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法などを確認します。機能によっては「使いかたガイド」から実行できるものもあります。

1 MENU▶便利ツール▶使いかたガイド ▶以下の操作を行う

- 各項目を選んで(ﾍﾙﾌﾟ)を押すと詳しい操作方法が表示されます。
- お買い上げ時にデスクトップに貼り付けられている使いかたガイドのアイコン「 」を選んで、使いかたガイドの画面を表示させることもできます。



キーワード入力欄を選択		**▶キーワードを入力▶検索** 検索結果が50件まで表示されます。 ●全角24文字/半角48文字まで入力できます。 **▶機能を選択** **▶機能の説明・操作のしかた・この機能を使う**
おすすめ機能		**▶機能を選択** **▶機能の説明・操作のしかた・この機能を使う**
機能一覧検索		
表示アイコン説明		P.40参照
故障かな？と思ったら		**▶機能を選択▶症状を選択**
お問い合わせ先		
	ドコモへのお問い合わせ	P.471参照
	おまかせロックの設定／解除	おまかせロックの設定／解除や、紛失などによる緊急利用中断・再開などができるフリーダイヤルを表示します。

つづく

検索履歴	▶機能を選択 ▶機能の説明･操作のしかた･この機能を使う ●検索履歴は30件まで記憶されます。類似機能を検索した場合は、検索履歴一覧画面に30件表示されない場合があります。 ●検索履歴を削除するにはMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

お知らせ

<キーワード入力欄を選択><おすすめ機能><機能一覧検索><検索履歴>

- 機能によっては●(選択)を数回押して選択します。
- 機能を選んで📷TV(説明)を押しても機能の説明が表示されます。

FOMAカードを使う

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳やSMSなどのデータも保存できます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

FOMAカードを差し込まないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、iモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用できません。

FOMAカードの詳しい取り扱いにつきましては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

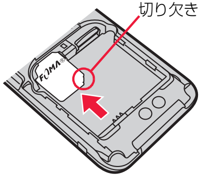
FOMAカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り付けます。(P.52参照)

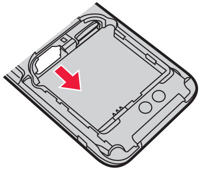
取り付けかた

1 FOMAカードの金色のIC面を下にして、カードの表面を押しながら、ゆっくりと奥まで差し込む



取り外しかた

1 FOMAカードをスライドさせながら、ゆっくりと引き抜く



お知らせ

- FOMAカードの付け外しは、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
- FOMAカードを無理に付けようとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。端末暗証番号が正しく入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)
- 本FOMA端末では、FOMAカード(青色)はご使用できません。FOMAカード(青色)をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取替えください。

暗証番号

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。(P.125参照)

FOMAカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカードセキュリティ機能(FOMAカード動作制限機能)が搭載されています。

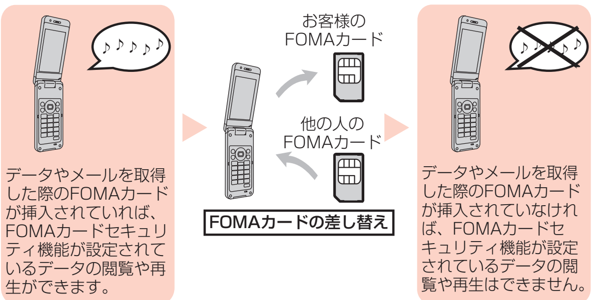
FOMAカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカードセキュリティ機能が設定されます。

・サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどをダウンロードしたとき

・ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき

FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などを実行できます。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入していなかったり、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作ができなくなります。

- このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。



- FOMAカードを挿入していなかったり、他の人のFOMAカードを挿入すると次のようなデータやファイルでは、制限を示す「 」が表示されます。

・テレビ電話伝言メモ　・テンプレート　・ｉアプリ　・画像
・ｉモーション　・キャラ電　・マチキャラ　・メロディ
・きせかえツール　・PDFデータ　・Music&Videoチャネル
・データやファイルを含んだ画面メモ　・着うた®／着うたフル®
・ダウンロード辞書
・受信BOX内のｉモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル
・送信BOX／保存BOX内のｉモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル(ただし、FOMA端末で撮影／編集したデータは除く)
・ファイル(メロディ／画像)が添付されている、または貼り付けられているメッセージR/F
・デコメール®本文中に挿入されている画像

※あらかじめ登録されているｉアプリ／キャラ電／デコメ絵文字®などは、サイトから再びインストール(バージョンアップ)すると本機能の対象になります。

※「着うた」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

- FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータのプレビュー画像は右のように表示されます。



お知らせ

- FOMAカードセキュリティ機能が設定されると、他の人のFOMAカードに差し替えたときは、本機能が設定されたデータやファイルを「待受画面設定」や「着信音選択」などに設定できません。
- FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルを「待受画面設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
- 赤外線通信機能やデータの送受信(OBEX™通信)機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影／編集した静止画／動画には、FOMAカードセキュリティ機能が設定されません。

つづく

お知らせ

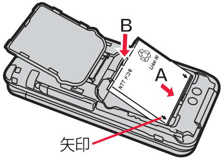
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの移動／削除は可能です。
- 下記の機能は設定内容がFOMAカードに保存されます。
  - ･有効期間設定　･センター設定　･Select language
  - ･優先ネットワーク設定　･PIN1コード、PIN2コード　･PIN1コード入力設定
  - ･ドコモ証明書1、ユーザ証明書の有効／無効の設定

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末専用の電池パック P22を使用してください。
電池パックは、リアカバーを取り外してから内蓋を開けて取り付けます。（P.22参照）

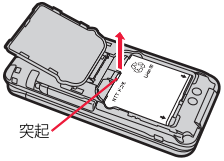
取り付けかた

1 矢印面を上にして、FOMA端末と電池パックのツメ側を確実に合わせ、Aの方向に押し付けながら、Bの方向に押し込む



取り外しかた

1 電池パックの突起を利用して上方向に持ち上げる



お知らせ

- 電池パックの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。

お知らせ

- 電池パックを無理に付けようとするとFOMA端末の端子部やFOMAカードが壊れることがあります。

充電する

FOMA端末専用の電池パック P22を使用してください。

電池パックの寿命は？

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。　Li-ion 00

充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01/02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01/02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。また、開いた状態で充電すると、待受時間や通話時間などが短くなる場合があります。
- 着信／充電ランプが点滅し、「℃」が点滅しているときは、温度監視中のため充電可能温度になるまで充電はできません。

- 充電中に、テレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。
- 充電中はカメラを起動できない場合があります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。
- 使用状況によっては電池残量が100%になる前に充電が停止することがあります。このようなときは、使用しているすべての機能を終了してから再度充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または付属の卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

電源を入れたままでの長時間(数日間)充電はおやめください。

- 充電中にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

電池パックの使用時間の目安（電池パックの使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります。）

連続待受時間	FOMA/3G	3G/GSM切替[3G]	移動時：約350時間
		3G/GSM切替[自動]	静止時：約540時間 移動時：約340時間
	GSM	3G/GSM切替[自動]	静止時：約240時間
連続通話時間	FOMA/3G		音声電話時　：約190分 テレビ電話時：約120分
	GSM		音声電話時　：約230分
ワンセグ視聴時間			約210分 （モバイルWスピード OFF時：約260分） （ワンセグecoモード時：約290分）

※連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。

※連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。iモード通信を行うと通話（通信）･待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくても、ワンセグの視聴、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリやiアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用、オートGPS機能の使用、iモーションやムービーの再生、音楽再生･Bluetooth接続を使用すると通話（通信）･待受時間は短くなります。

※滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。

※静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

電池パックの充電時間の目安

ACアダプタ	約120分	DCアダプタ	約120分

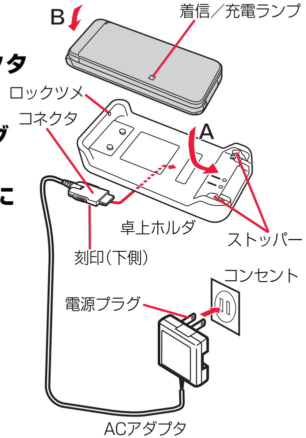
※充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ご使用前の確認

ACアダプタと卓上ホルダでの充電方法

1 ACアダプタ(別売)のコネクタの刻印面を下にして、卓上ホルダのコネクタ端子へ水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込む



3 卓上ホルダのストッパーにFOMA端末の底部を押し込み(A)、そのままFOMA端末の頭部をロックツメに合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む(B)

着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。
着信／充電ランプが点滅した場合は、FOMA端末からACアダプタと電池パックを一旦外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。
再び同じ動作をする場合はACアダプタ、卓上ホルダや電池パックの異常や故障が考えられますのでドコモショップなど窓口までご相談ください。

- FOMA端末は、必ず閉じた状態で充電してください。
- 充電開始、終了時に「充電確認音」(P.107参照)が鳴ります。ただし、電源を切っているときや、マナーモード中、公共モード(ドライブモード)中は鳴りません。
- FOMA端末は、卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。

4 充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の頭部をつかんで持ち上げ、取り外す

- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

■充電中･充電完了時の表示について

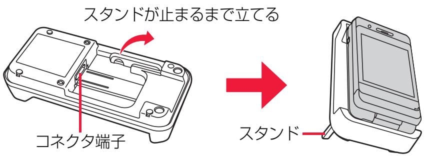
	着信／充電ランプ	電池アイコン
充電中	赤く点灯	点滅
充電完了	消灯	点灯

- FOMA端末の電源を切っているときは、電池アイコンは表示されません。電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。
- FOMA端末を使用しながら充電した場合や自動的に充電が停止した場合、デスクトップに「 」が表示されることがあります。

■卓上ホルダのスタンドについて

卓上ホルダのスタンドを立てて、斜めに立てた状態にすると、ビューアスタイルでワンセグなどを視聴しやすくなります。FOMA端末を操作するときは、卓上ホルダから外れたり、倒れたりしないように、手でしっかりと押さえながら行ってください。

※上から押したりしてスタンドに過度な力を加えると、破損する場合がありますのでご注意ください。

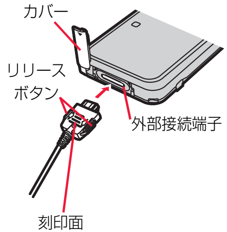


ACアダプタのみで充電するときは

刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで外部接続端子に差し込んでください。抜く場合は、リリースボタンを押しながら抜きます。

- 充電するときは、外部接続端子のカバーを図の位置にしてください。
  外部接続端子カバーの開けかたについてはP.22参照。

※ACアダプタの抜き差しは、向き（表裏）を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると故障の原因となります。



■DCアダプタ（別売）

DCアダプタは、FOMA端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライターソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。詳しくはFOMA DCアダプタ 01/02の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- DCアダプタで充電中、ヒューズが切れたときは、必ず2Aのヒューズをご使用ください。ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

<電池残量>

電池残量の確認のしかた

FOMA端末の電源を入れると、電池残量の目安が表示されます。

電池残量	アイコン表示
十分残っているとき（80～100%）	
すこし少なくなっているとき（60～79%）	
少なくなっているとき（40～59%）	
かなり少なくなっているとき（20～39%）	
ほとんど残っていないとき（0～19%）	

お知らせ

- 電池の残量がほとんど残っていないときは、充電してください。
- 使用状況によっては電池残量の表示が大きく変動することがあります。

電池残量を画面と音で確認する

電池残量の目安が画面と音で確認できます。

1 MENU▶**本体設定**▶**電池残量**

十分残っているとき
ピッピッピッピッピッ



すこし少なくなっているとき
ピッピッピッピッ



少なくなっているとき
ピッピッピッ



かなり少なくなっているとき
ピッピッ



ほとんど残っていないとき
ピッ



※電池残量がほとんどありません。
充電してください。

- 絵表示の上には、電池残量の目安がパーセントで表示されます。
- 絵表示は約5秒後に消えます。
- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定しているときは、電池残量確認音は鳴りません。

電池が切れるときは

電池残量がなくなると右のような画面が表示され、電池切れアラームが約10秒間鳴ります。電池切れアラームを止めるにはいずれかのボタンを押してください。約1分後に電源が切れます。



電池切れ画面

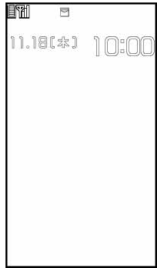
- 通話中は、画面とともに受話口からの「ピピピ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れます。
- 電池切れアラームは、電池残量が約10%以下でも鳴ることがあります。

＜電源ON／OFF＞
電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を1秒以上押す

ウェイクアップ画面（P.113参照）と防水についての確認事項が表示されたあと、待受画面が表示されます。
- ウェイクアップ画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- メイン時計設定が設定されていれば現在の日付時刻が表示されます。
- 「圏外」が表示されているときはFOMAサービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。「圏外」が消えるところまで移動してください。



待受画面

FOMAカードを差し替えたときは

電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力します。端末暗証番号を正しく入力すると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。（ただし、再度電源を入れることは可能です。）

「PIN設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しているときは

電源を入れたあと4～8桁のPIN1コードを入力します。PIN1コードを正しく入力すると待受画面が表示されます。PIN1コードについてはP.125参照。

「積算料金自動リセット」を「ON」に設定しているときは

電源を入れたあと4～8桁のPIN2コードを入力します。PIN2コードを正しく入力すると待受画面が表示されます。PIN2コードを正しく入力せずにCLRを押すと「積算料金自動リセット」が「OFF」に設定され、待受画面が表示されます。PIN2コードについてはP.125参照。

Welcomeメールを確認する

お買い上げ時は、「Welcome NEW ドコモwebメール」「撮った画像できせかえツールが簡単に作れちゃう！」「デコメをプレゼント」「Welcome! P-06B」のメールが保存されています。P.163「受信BOXのメールを表示する」手順1の操作を行うと、受信メール一覧画面が表示されます。

お知らせ
- 各入力画面は、「PIN1コード」→「端末暗証番号」→「PIN2コード」の順に表示されます。

電源を切る

1 を2秒以上押す

終了画面が表示され、電源が切れます。
- 電源を切った直後に電源を入れることはできません。数秒お待ちください。

＜初期設定＞
初期設定を行う

日付時刻、端末暗証番号、文字サイズ、位置提供設定、ボタン確認音が設定されていない場合は、電源を入れると初期設定の画面が表示されます。各機能はメニュー機能からも個別に設定できます。

1 電源を入れる▶YES

- 端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コードの入力画面が表示された場合はP.56の操作を行います。



2 日付時刻を設定する

日付時刻を設定します。自動で日付時刻を補正することもできます。（P.57参照）

3 端末暗証番号を設定する

各種機能の設定に必要な端末暗証番号を設定します。(P.126参照)

4 文字サイズを設定する

画面に表示される文字の大きさを設定します。(P.120参照)

5 位置提供設定を設定する

GPSの位置提供要求があったとき、現在地を知らせるかどうかを設定します。(P.343参照)

6 ボタン確認音を設定する

ボタン確認音を鳴らすかどうかを設定します。(P.107参照)

お知らせ

- 未設定の機能がある場合は、電源を入れるたびに未設定の初期設定の画面が表示されます。
- 設定中に電話がかかってきたり、[終話]または[CLR]を押すなどして初期設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
- アラーム通知により自動的に電源がONになった場合、未設定の機能があっても初期設定の画面は表示されません。
- 初期設定を終了すると、ソフトウェア更新を自動で行う旨の確認画面が表示されます。この画面は初回のみ表示され、以降設定リセットまたは端末初期化を行うまで表示されません。

<メイン時計設定>

日付･時刻を合わせる

時刻を自動で補正するか、手動で設定するかを切り替えることができます。また、時差の補正方法も設定します。時刻は24時間制で設定／表示します。

1 [MENU]▶**本体設定**▶**時計**▶**メイン時計設定**▶**以下の操作を行う**

自動時刻時差補正		
	自動	日付･時刻を自動で補正します。 ▶**時差の補正方法を選択** **自動**……時差補正の情報をもとに、時差を自動で補正します。 **手動(タイムゾーン選択)** ……手動でタイムゾーンを選択し、その地域との時差で補正します。 ●「変更」が表示されている場合は、[カメラ/TV](変更)を押すと地域や都市を変更できます。
	手動(時刻入力)	日付･時刻を手動で設定します。 ▶**タイムゾーンを選択**▶**日付･時刻を入力** ●「変更」が表示されている場合は、[カメラ/TV](変更)を押すと地域や都市を変更できます。 ●[マルチカーソル]でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。
サマータイム		時刻を1時間進めて表示します。 ▶ON･OFF

日付・時刻の補正機能について

電源を入れたときにネットワークから取得した時刻情報と時差補正の情報をもとに、FOMA端末の時刻を補正する機能です。
「自動時刻時差補正」や時差の補正方法を「自動」に設定している状態で待受画面を表示中に時刻が補正されます。
電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れ直してください。

- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況やｉアプリ待受画面に設定したｉアプリによっては補正できない場合があります。
- 海外で時刻情報を受信した際、時差補正の情報が前回受信した情報と異なる場合、「時差を補正しました　アラームなどは現地時間で起動します」と表示され、自動的に時差が補正されます。「OK」を押すと時刻が更新されてリダイヤル、発信履歴、着信履歴、メールの送受信などの表示時間も現地時間になります。
- 海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。

お知らせ

- メイン時計設定を行わないと、スケジュールなど時計を利用する機能が正しく利用できません。また、リダイヤルや着信履歴などの日時が記録されません。
- 設定した時刻は、電池パックを交換するときでも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その際は、FOMA端末を充電してから、もう一度メイン時計設定を行ってください。
- 本機能で設定できるのは、2004年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。(「タイムゾーン」を「GMT+09」に設定している場合)

<サブ時計設定>

サブ時計の表示を設定する

1 MENU▶本体設定▶時計▶サブ時計設定▶以下の操作を行う

表示方法	▶表示方法を選択 **自動(ローミング時自動表示)** . . . . 国際ローミング中は、サブ時計を自動で表示します。 **常時表示(タイムゾーン選択)** . . . . タイムゾーンを選択し、その地域や都市の時計を表示します。 **OFF** . . . . サブ時計を表示しません。 ●「変更」が表示されている場合は、📷TV(変更)を押すと地域や都市を変更できます。
サマータイム	P.57参照
エリア名表示	サブ時計にエリア名を表示するかどうかを設定します。 ▶表示する・表示しない ●「表示する」に設定していても、「表示方法」を「OFF」に設定すると表示されません。

お知らせ

- 「待受時計表示」の「表示サイズ」を「上に小さく表示」に設定している場合、サブ時計は表示されません。
- 「表示方法」を「自動(ローミング時自動表示)」に設定した場合、「メイン時計設定」のタイムゾーンが「GMT+09」以外の場合は、サブ時計に日本の時計が表示されます。ただし、日本国内ではサブ時計は表示されません。

＜発信者番号通知＞
相手に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は、発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせできます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
この機能は、相手の電話機が発信者番号表示可能なときだけ利用できます。

ネットワークに設定する

発信者番号を通知するかどうかをネットワークに設定します。

1 **MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶発信者番号通知▶以下の操作を行う**

設定	▶通知する・通知しない
設定確認	発信者番号通知の設定内容を確認します。

お知らせ

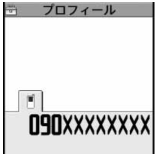
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス(P.469参照)が聞こえたときは、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてからおかけ直しください。
- 「圏外」が表示されているときは設定できません。

＜プロフィール＞
自分の電話番号を確認する

- 自局番号はFOMAカードに登録されています。

1 **MENU▶プロフィール**

- 個人データの登録/表示についてはP.434参照。



プロフィール画面

お知らせ

- 2in1のモードがデュアルモードの場合はプロフィール画面で○を押すと、AナンバーまたはBナンバーに切り替えることができます。Bナンバーには「B」が表示されます。
- 2in1利用中にFOMAカードの差し替えを行う場合、正しいBナンバーを取得するには「2in1機能OFF」(P.475参照)を行ってから再度2in1をONにするか、プロフィール画面のサブメニューから「2in1」(P.435参照)を行ってください。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話を使いこなす

テレビ電話

ドコモのテレビ電話対応端末どうしで、送受信する映像を見ながら通話できます。お買い上げ時には、送信映像の位置に代替画像が表示されます。

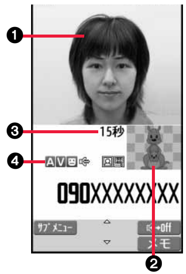
本FOMA端末は内側にカメラを搭載しておりませんので、相手に送る画像はキャラ電、静止画または外側のカメラで撮影中の映像となります。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

- 3GPP(3rd Generation Partnership Project)：
  第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
- 3G-324M：
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
- P-06Bは通信速度64kbpsのテレビ電話にのみ対応しています。
  32kbpsでの通話はできません。

■テレビ電話中の画面について

❶… 受信映像(相手側のカメラ映像または代替画像)
❷… 送信映像(代替画像または自分側のカメラ映像)
❸… 通話時間
❹… 状態表示



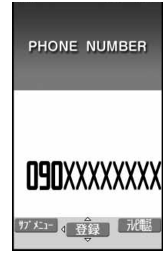
- A：音声送信／受信中
- A：音声送信／受信失敗※1
- V：映像送信／受信中
- V：映像送信／受信失敗※2
- ：カメラ映像送信中
- ：静止画送信中
- ：キャラ電通話中
- ：ハンズフリーON
- (グレー)：ハンズフリーOFF
- ：人物
- ：風景
- ：接写
- ：キャラ電全体アクションモード
- ：キャラ電パーツアクションモード
- ：DTMF送信モード

※1 音声の送信に失敗すると、自分の音声が相手に流れません。
　　音声の受信に失敗すると、相手の音声が流れません。
※2 映像の送信に失敗すると、送信映像は相手に表示されません。
　　映像の受信に失敗すると、受信映像は表示されません。

音声、映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。

電話／テレビ電話をかける

1 相手の市外局番から電話番号を入力する



- 27桁以上入力した場合は、下26桁のみが表示されます。
- 入力した電話番号を電話帳に登録する場合は、◉(登録)を押します。P.95手順2へ進みます。
- 同一市内への通話でも、必ず市外局番から電話番号を入力してください。

2 音声電話をかける場合

を押す



- 発信中は「」が点滅し、通話中は点灯します。

テレビ電話をかける場合

📷TV（テレビ電話）を押す

- 発信中は「📷」が点滅し、通話中は点灯します。
- テレビ電話中にサブメニューから「カメラ画像切替」「代替画像切替」を選択すると、相手に送信する映像を代替画像とカメラ映像とで切り替えることができます。



この画面からデジタル通信料課金が始まります。

3 お話が終わったら⌒で通話を終了する

お知らせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス（P.469参照）が聞こえたときは、「発信者番号通知」を「通知する」に設定するか、「186」を付けてからおかけ直しください。
- イヤホンマイク（別売）を接続すると、相手の声をイヤホンから聞けます。（P.441参照）
- 通話中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。（P.79参照）
- 通話中にビューアスタイルに切り替えると「ミュート」（P.79参照）になります。テレビ電話の場合は、相手に「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が表示されます。
- 通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送信できます。キャラ電通話中は、DTMF送信モードに切り替えてください。（P.88参照）
- 2in1のモードがデュアルモードの場合はAナンバーまたはBナンバーを選択してから発信します。（P.476参照）

お知らせ

- ビューアスタイルで電話をかけることはできません。ただし、イヤホンマイク（別売）を接続中はビューアスタイルで音声電話をかけることができます。

<音声電話の場合>

- ⌒を押してから相手の電話番号を入力しても音声電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときは⌒を押して表示を消してからおかけ直しください。

<テレビ電話の場合>

- お買い上げ時は「ハンズフリー切替」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。（P.88参照）ただし、マナーモード中は「ハンズフリー切替」の設定に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 代替画像を送信してテレビ電話をかけたときも音声電話料金ではなくデジタル通信料がかかりますのでご注意ください。
- FOMA端末から110番・119番・118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- ドコモの国際電話サービスWORLD CALLを利用して国際テレビ電話を利用できます。（P.72参照）

発信中の表示について

電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、相手の名前とアイコンが表示されます。ただし、電話帳に画像が登録されていても、画像は表示されません。

- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順（P.97参照）で先に表示される名前が表示されます。
- 「オリジナルロック」で「電話帳」をロックしたときや、通常のモード（「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外）でシークレット登録した相手に発信したときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。

電話番号を押し間違えたときは

■番号を挿入する

○を押して挿入したい位置の左にカーソルを移動し、番号を入力します。

■番号を削除する

○を押して削除したい番号にカーソルを合わせ、CLRを押します。

CLRを1秒以上押すと、カーソル上にある数字とカーソルから左にある数字がすべて消えます。

テレビ電話がかからなかったときは

接続できなかった理由が表示されます。（通話する相手の電話機種別やネットワークサービスの契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。）

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手が話し中（相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。）
パケット通信中です	相手がパケット通信中
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または、電源を切っている
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合（ビジュアルネットなどへの発信時）
転送致しますのでお待ちください	転送中
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
電話番号を通知しておかけ直しください	相手が番号通知お願いサービスを設定している場合
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付料金プランの上限額を超えている場合
接続できませんでした	発信者番号非通知で接続した場合（ビジュアルネットなどへの発信時） 「発信者番号通知」を「通知する」に設定のうえ、おかけ直しください。 ●上記以外の場合にも表示されることがあります。

自動再発信について

「音声自動再発信」を「ON」に設定している場合、テレビ電話がつながらなかったときは自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

●テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。「音声自動再発信」を「ON」にしているときは、テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64Kの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2010年6月現在）、間違い電話をした場合などは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もありますので、ご注意ください。

電話番号入力中のサブメニュー

発信者番号通知	P.70参照
プレフィックス	P.74参照
着もじ	P.69参照
国際電話発信	P.73参照
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。（P.473参照）
電話帳登録	P.95参照
メール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。 P.144手順3へ進みます。
テレビ電話画像選択	P.89参照

電話／テレビ電話を切り替える

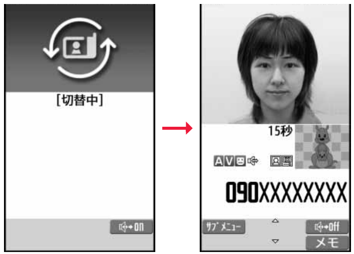
発信者が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。音声電話／テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。

音声電話からテレビ電話へ切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、「ﾃﾚﾋﾞ電話」が表示され、音声電話からテレビ電話への切り替えができます。

1 音声電話中▶◉(ﾃﾚﾋﾞ電話)▶YES

- 「NO」を選択した場合、切り替えを中止し、音声電話に戻ります。
- 切り替え中は「⏱」が表示され、音声ガイダンスが流れます。

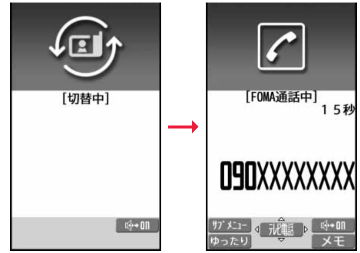


テレビ電話から音声電話へ切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、サブメニューの「音声電話切替」を選択してテレビ電話から音声電話への切り替えができます。

1 テレビ電話中▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶音声電話切替

- 切り替え中は「⏱」が表示され、音声ガイダンスが流れます。



お知らせ

- 音声電話／テレビ電話の切り替えは、繰り返し行えます。
- ｉモード通信中、パケット通信中の場合は通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中の場合は切り替えできない旨のメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声電話を継続します。
- キャッチホンを契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。
- 切り替えには5秒程度の時間がかかります。電波状況によりさらに時間がかかる場合があります。
- 相手側の利用状況や電波状況によっては音声電話とテレビ電話を切り替えることができず、接続が切れてしまう場合があります。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、「通話時間･料金」の「通話時間」には音声電話とテレビ電話の合計が表示され、「通話料金」には音声電話とテレビ電話の料金が個別に表示されます。「切替中」が表示されている間は料金は課金されません。

つづく↳

お知らせ

- 相手がP.90「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定していない場合は、テレビ電話と音声電話の切り替えはできません。
- テレビ電話から音声電話に切り替えた場合、ハンズフリーはOFFになります。

<リダイヤル><発信履歴><着信履歴>
履歴を利用する

発着信した相手の電話番号や日時を記憶し、相手にかけ直したりできます。

■リダイヤル

音声電話･テレビ電話の発信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータは削除されます。ただし、「発信者番号通知」の設定が異なる場合は、別のリダイヤルとして記憶されます。

■発信履歴

音声電話･テレビ電話の発信が合わせて30件、64Kデータ通信･パケット通信の発信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータも残ります。

■着信履歴

音声電話･テレビ電話の着信が合わせて30件、64Kデータ通信･パケット通信の着信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータも残ります。

- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合、最初に発着信した種類の電話が履歴に記憶されます。
- 30件を超えると古いデータは自動的に削除されます。なお、電源を切っても削除されません。
- 2in1利用時はモードに関わらず、それぞれの履歴はAナンバーで30件ずつ、Bナンバーで30件ずつまで記憶されます。

■リダイヤル･発信履歴･着信履歴のアイコン

一覧画面	詳細画面	説明
／※	電話／不在	音声電話の発着信／不在着信
／※	電話／不在	テレビ電話の発着信／不在着信
	伝言	伝言メモに用件を録音
	伝言	テレビ電話伝言メモに用件を録画
／※	／	国際電話の発着信／不在着信
／※	／	国際テレビ電話の発着信／不在着信
	64K	64Kデータ通信の発信
／※	64K／不在	64Kデータ通信の着信／不在着信
	パケット	パケット通信の発信
／※	パケット／不在	パケット通信の着信／不在着信
接続ナシ	接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けた64Kデータ通信･パケット通信の着信
	フェムトセル	フェムトセルでの発信
		着もじの受信
GMT		時刻が時差補正された履歴
B		Bナンバーの履歴（2in1のモードがデュアルモードの場合のみ）

※確認済みの不在着信の場合は一覧画面のアイコンにチェックが付きます。

リダイヤル･発信履歴を利用する

1 **リダイヤルの場合**

Oを押す

発信履歴の場合

MENU▶電話機能▶発着信履歴▶発信履歴

履歴の一覧画面が表示されます。



リダイヤルの場合

2 **履歴を選択**

履歴の詳細画面が表示されます。

- 電話をかけた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順（P.97参照）で先に表示される名前、アイコンが表示されます。



リダイヤルの場合

着信履歴を利用する

1 **◯を押す**



着信履歴一覧画面

- 「MENU▶電話機能▶発着信履歴▶着信履歴▶全着信･不在着信」の操作を行っても着信履歴一覧画面が表示されます。
  全着信 .....不在着信を含むすべての履歴
  不在着信....不在着信の履歴
  2in1のモードがデュアルモードの場合、Aナンバー･Bナンバーそれぞれの不在着信の件数も表示されます。
  (未確認の不在着信がある場合は、未確認件数も表示されます。)

2 **着信履歴を選択**



着信履歴詳細画面

- 相手が発信者番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。電話帳に登録しておらず、リダイヤルに音声電話の履歴が残っている電話番号の場合は、「折り返し着信」と表示されます。
  また、発信者番号を通知してきた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.97参照)で先に表示される名前、アイコンが表示されます。
  パケット通信の着信があったときは、発信元の接続先(APN)が表示されます。
  相手の電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 不在着信の場合は、着信日付･時刻の右に呼出時間が表示されます。
- 着もじを受信した場合は、メッセージが表示されます。

表示中のリダイヤル･発信履歴･着信履歴に電話をかけるには

を押して音声電話発信します。詳細画面では◉(発信)を押しても音声電話発信できます。また、TV(ﾃﾚﾋﾞ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

お知らせ

- 待受画面でを押して◯を押すと最新のリダイヤルまたは着信履歴の電話番号に音声電話をかけることができます。
- テレビ電話着信の場合は「折り返し着信」は表示されません。

お知らせ

- マルチナンバーの付加番号で発着信した場合は、履歴の詳細画面で電話番号の下に付加番号の登録名と電話番号が表示されます。ただし、リダイヤル･発信履歴に付加番号が表示されるのは、発信時にサブメニューから付加番号を選択したときのみです。
- 着もじが表示されている着信履歴の電話番号に電話をかけても、届いたメッセージは送信されません。
- ダイヤルインを利用の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。

リダイヤル･発信履歴･着信履歴表示中のサブメニュー

発信者番号通知	P.70参照
プレフィックス	P.74参照
着もじ	P.69参照
国際電話発信	P.73参照
2in1／マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。(P.473、P.476参照)
呼出時間表示 [着信履歴一覧画面のみ]	不在着信の呼出時間を表示します。「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定していても、無音時間内の不在着信と呼出時間が表示されます。
電話帳登録	P.95参照
電話帳参照	電話帳詳細画面を表示します。
デスクトップ貼付	P.38参照
メール作成	iモードメールを作成します。 P.144手順3へ進みます。
SMS作成	電話番号を宛先としたSMSを作成します。 P.185手順3へ進みます。
居場所を確認	「イマドコかんたんサーチ」のサイトへ接続します。 ▶YES

つづく↳

送信アドレス一覧 [リダイヤル･発信履歴のみ]	送信アドレス一覧画面を表示します。(P.175参照) ●リダイヤル、発信履歴の一覧画面で[iα]([表示切替])を押しても送信アドレス一覧画面を表示できます。
受信アドレス一覧 [着信履歴のみ]	受信アドレス一覧画面を表示します。(P.175参照) ●着信履歴一覧画面で[iα]([表示切替])を押しても受信アドレス一覧画面を表示できます。
テレビ電話画像選択	P.89参照
拡大表示･標準表示	リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧の文字サイズを切り替えます。(P.121「発着信履歴」参照)
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいリダイヤル･発信履歴･着信履歴にチェック▶[カメラ]([完了])▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<メール作成>
- 相手の電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、メールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスが宛先に設定されます。

<削除>
- リダイヤル･発信履歴のサブメニューから「全削除」を行うと、リダイヤル･発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残ります。発信履歴を削除するときは、発信履歴表示中のサブメニューから削除してください。

<着もじ>
着もじを使う

電話をかける際に相手側へメッセージを送り、呼び出し中に用件を伝えることができます。

- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金はかかりません。

メッセージを受信したときは

着信画面に着もじが表示されます。また、着信履歴にも着もじが記憶されます。



- 着もじは着信中のみ表示されます。通話中は表示されません。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間内の着信でも、着もじは受信され、着信履歴にも残ります。
- ダイヤルロック中、おまかせロック中、「オリジナルロック」で「着もじ」をロック中に着もじは表示されません。ただし、ロック解除後に着信履歴から確認することはできます。

メッセージを登録する

メッセージ一覧に着もじを30件(お買い上げ時に登録されている5件を含む)まで登録できます。

1 **[MENU]▶電話機能▶着もじ▶メッセージ作成▶<未登録>を選んで[カメラ]([編集])▶メッセージを入力**

- 登録済みの着もじを選択すると、登録内容を確認できます。
- 変更する場合は、登録済みのメッセージを選んで[カメラ]([編集])を押します。お買い上げ時に登録されている着もじも編集できます。
- 絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで入力できます。

メッセージ作成中のサブメニュー

編集		P.68手順1へ進みます。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいメッセージにチェック▶📷TV(完了)▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<削除>
- お買い上げ時に登録されている着もじは削除できません。

メッセージをつけて発信する

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **MENU(サブメニュー)▶着もじ▶以下の操作を行う**

メッセージ作成	送信する着もじを発信時に作成します。 ▶**メッセージを入力** ●絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで入力できます。 ●本機能で作成した着もじは、メッセージ一覧には登録されません。
メッセージ選択	メッセージ一覧から登録済みのメッセージを選択します。 ▶**メッセージを選択**
送信メッセージ履歴	送信する着もじを送信メッセージ履歴から選択します。送信メッセージ履歴には送信した着もじのみが30件まで記憶され、同じ着もじを送信した古いデータは削除されます。また、30件を超えると古いデータから順に削除されます。 ▶**送信メッセージ履歴を選択** ●2in1のモードがデュアルモードの場合は、AナンバーとBナンバー合わせて最新の履歴を60件まで表示できます。

3 **📞または●(発信)を押す**
- 📷TV(ﾃﾚﾋﾞ電話)を押すとテレビ電話発信になります。
- 発信中は送信している着もじが表示されます。

お知らせ

- 着もじが相手側の端末に届いた場合は、「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
- 相手が対応端末でない場合や相手側の「メッセージ表示設定」で許容していない送信を行った場合など、着もじが相手側の端末に届かなかった場合は、「送信できませんでした」と表示されます。このとき送信料金はかかりません。
- 電波状態によって、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合、送信料金はかかります。
- 相手が圏外にいるとき、電源を切っているとき、公共モード(ドライブモード)中、伝言メモ設定の呼出時間を0秒に設定しているときなどは、着もじを付けて発信しても着もじは表示されず、送信料金がかかりません(相手側の着信履歴にも保存されません)。また、送信側の画面には送信結果が表示されません。
- テレビ電話がつながらなかった場合に、自動的に音声電話に切り替えて再発信した場合は、着もじも再送信されます。
- 海外での利用時には着もじを送受信できません。

送信メッセージ履歴表示中のサブメニュー

削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい履歴にチェック▶[カメラ/TV](完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

メッセージ表示設定

着もじを受信した場合の表示について設定します。

1 [MENU]▶**電話機能**▶**着もじ**▶**メッセージ表示設定**▶**項目を選択**

すべて表示……すべての相手からの着もじを表示します。
電話帳登録番号のみ……電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示します。
番号通知ありのみ……電話番号を通知してきた相手からの着もじのみを表示します。
表示しない……着もじを表示しません。

お知らせ

- 「電話帳登録番号のみ」に設定していると、2in1のモードがAモードの場合はB設定の電話帳の相手（Bモードの場合はA設定の電話帳の相手）から着もじを受信できません。

<186／184>

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

発信者番号を通知するかどうかを1回の通話のたびに設定します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 [MENU](サブメニュー)▶**発信者番号通知**▶**通知しない・通知する**

- 「発信者番号通知」を解除するには、「設定消去」を選択します。このとき、通知／非通知はネットワークの設定（P.59参照）に従って動作します。

「186」／「184」で「通知する」／「通知しない」を設定する

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けて電話番号を入力することにより、お客様の電話番号を相手に「通知する」／「通知しない」を選択することもできます。

発信者番号を通知する場合

1 **186→相手先の電話番号の順に入力**▶[発信]

- [カメラ/TV](テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

発信者番号を通知しない場合

1 **184→相手先の電話番号の順に入力**▶[発信]

- [カメラ/TV](テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

お知らせ

- 電話をかけたときに、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス(P.469参照)が聞こえたときは、「発信者番号通知」を「通知する」に設定するか、「186」を付けてからおかけ直しください。

<ポーズダイヤル>
プッシュ信号を送る

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ポーズダイヤルを登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ(p)を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

1 **MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶発信詳細設定▶ポーズダイヤル▶📷TV(編集)**

- すでにダイヤルデータが登録されているときは、登録されているダイヤルデータが表示されます。
- 登録したポーズダイヤルを削除するにはMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 **ダイヤルデータを入力**

- ポーズ(p)は＊を1秒以上押して入力します。
- 入力できる文字は、0～9、＊、#およびポーズ(p)のみです。
- 128桁まで入力できます。
- ポーズダイヤルの先頭と最後にポーズ(p)を入力したり、連続して入力したりできません。

ポーズダイヤルを送信する

1 **MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶発信詳細設定▶ポーズダイヤル▶●(送信)▶電話番号を入力▶📞または●(発信)**

相手に音声電話がかかり、通話中になるとポーズダイヤルに登録されているダイヤルデータの最初のポーズ(p)までが表示されます。

- 相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、○を押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。
- ○を押して着信履歴、○を押してリダイヤルから検索することもできます。

2 **相手が応じたことを確認▶📞または●(送信)**

最初のポーズ(p)までのダイヤルデータが送出され、次のポーズ(p)までのダイヤルデータが表示されます。

📞または●(送信)を押すごとに、ポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。

最後の番号を送り終えると通話画面になります。

- ダイヤルデータをまとめて送出するときは、○を1秒以上押して「一括送出」を選択します。

お知らせ

- 通話中にポーズダイヤル画面のサブメニューを表示させても、ダイヤルデータを送信できます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- テレビ電話では、ポーズダイヤルを送信できません。

<WORLD CALL>
国際電話を利用する

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- WORLD CALLの料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 一部の料金プランではご利用いただけません。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 通信事業者によっては発信者番号が通知されなかったり、正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

国際テレビ電話について

海外の特定3G通信事業者をご利用のお客様、またはFOMA端末をご利用のお客様と国際テレビ電話がご利用いただけます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

「＋」を利用して国際電話をかける

発信時や電話帳登録時などで電話番号を入力しているときに[0]を1秒以上押すと「＋」が入力できます。「＋」を利用すれば、国際電話アクセス番号を入力することなく、国際電話をかけることができます。

- 「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能」を「ON」に設定していると、「国際プレフィックス」の国際電話アクセス番号が自動的に入力されます。

1 [0](1秒以上)▶国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶[発信キー]▶発信

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- [カメラ/TVキー]([テレビ電話])を押すと国際テレビ電話発信になります。
- 「元の番号で発信」を選択した場合は、端末に入力した番号のままで発信され、国際電話がかかります。

電話番号を入力して国際電話をかける

1 010→国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶[発信キー]

- 「009130→010→国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号」でも国際電話をかけることができます。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- [カメラ/TVキー]([テレビ電話])を押すと国際テレビ電話発信になります。

国際電話発信

電話番号に国番号や国際電話アクセス番号を付加して発信します。(一部の国・地域を除き、電話番号が「0」で始まる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。)

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **MENU(サブメニュー)▶国際電話発信▶国名称を選択▶国際電話アクセス番号の名称を選択▶発信キー**

- 電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「国際電話発信」を選択します。
- 電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面では●(発信)を押しても発信できます。
- 📷TV(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。
- 電話番号の先頭が「+」のときは、国名称を選択する画面は表示されません。
- 国名称に「日本」を選択した場合、国際電話アクセス番号の名称を選択する画面は表示されません。

<国際ダイヤルアシスト>

国際電話の設定をする

自動変換機能

日本から国際電話をかけるときに、電話番号の先頭の「+」を国際電話アクセス番号に置き換えて発信するかどうかを設定します。

1 **MENU▶地図/海外▶海外設定▶国際ダイヤルアシスト▶自動変換機能▶ON・OFF▶国名称を選択▶国際電話アクセス番号の名称を選択**

- 現在設定されている国番号、国際電話アクセス番号には「★」マークが付いています。
- 国番号や国際電話アクセス番号が登録されていないときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、国番号の場合はP.73「国番号」手順2、国際電話アクセス番号の場合はP.74「国際プレフィックス」手順2へ進みます。

国番号

海外から国際電話をかけるときに付加される国番号を22件まで登録できます。

1 **MENU▶地図/海外▶海外設定▶国際ダイヤルアシスト▶国番号▶国名称を選んで📷TV(編集)**

- 「自動変換機能」で設定されている国名称には「★」マークが付いています。
- 登録済みの国名称を選択すると、登録内容を確認できます。

2 **国名称を入力▶国番号を入力**

- 国名称は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
- 国番号は5桁まで入力できます。ただし、#、＊、+は使用できません。

国番号表示中のサブメニュー

編集		P.73「国番号」手順2へ進みます。 ●[カメラ/TV](編集)を押しても編集できます。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したい国番号にチェック▶[カメラ/TV](完了)▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<削除>
●「自動変換機能」で設定されている国番号は削除できません。

国際プレフィックス

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加される国際電話アクセス番号を3件まで登録できます。

1 [MENU]▶地図／海外▶海外設定▶国際ダイヤルアシスト▶国際プレフィックス▶<未登録>を選んで[カメラ/TV](編集)

●「自動変換機能」で設定されている国際電話アクセス番号には「★」マークが付いています。
●登録済みの項目を選択すると、登録内容を確認できます。

2 名称を入力▶国際電話アクセス番号を入力

●名称は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
●国際電話アクセス番号は10桁まで入力できます。

国際プレフィックス表示中のサブメニュー

編集	P.74「国際プレフィックス」手順2へ進みます。 ●[カメラ/TV](編集)を押しても編集できます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<1件削除><全削除>
●「自動変換機能」で設定されている国際電話アクセス番号は削除できません。

<プレフィックス設定>

電話番号の先頭に付加する番号を登録する

国際電話アクセス番号や「186」「184」など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。7件まで登録できます。

1 [MENU]▶電話機能▶発着信・通話設定▶発信詳細設定▶プレフィックス設定▶<未登録>を選んで[カメラ/TV](編集)

●登録済みのプレフィックスを選択すると、登録内容を確認できます。
●登録済みのプレフィックスを削除するには[MENU](ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

2 登録名を入力▶プレフィックス番号を入力

●登録名は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
●プレフィックス番号は10桁まで入力できます。入力に使用できるボタンは、[0]～[9]、[*]、[#]のみです。

プレフィックス

電話番号の先頭にプレフィックス番号を付けて発信します。

1 電話番号を入力
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 MENU(サブメニュー)▶プレフィックス▶登録名を選択▶

- 電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「プレフィックス」を選択します。
- 電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面では●(発信)を押しても発信できます。
- (TV電話)を押すとテレビ電話発信になります。

<サブアドレス設定>

サブアドレスを指定して電話をかける

電話番号の「＊」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出すかどうかを設定します。

- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**発信詳細設定**▶**サブアドレス設定**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 「サブアドレス設定」を「ON」にしていても、電話番号の先頭の「＊」、プレフィックス番号や「186／184」の直後の「＊」はサブアドレス区切記号とは認識されません。

<再接続機能>

再接続するときのアラームを設定する

電波の状態が悪くなって通話が途切れた場合に、再接続するまでのアラームを設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**再接続機能**▶**アラームを選択**

お知らせ

- 利用状態、電波の状態により再接続が可能な時間は異なります。目安としては約10秒間で、その間も通話料金はかかります。

お知らせ

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。

<しっかりトーク>

周囲の騒音に合わせて音声を明瞭にする

周囲の騒音に合わせて、電話中の相手の声が大きくなります。相手の声が受話口から流れている場合のみ有効です。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**しっかりトーク**▶**ON・OFF**

<ノイズキャンセラ>

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

周囲の騒音に合わせて、電話中の相手に送るノイズを抑えます。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**ノイズキャンセラ**▶**ON・OFF**

<ゆったりトーク>

通話中の相手の音声速度をゆっくりにする

1 **音声電話中**▶✉(ゆったり)

ゆったりトーク設定中は、「ゆったりトーク　ON」が表示されます。

- もう一度✉(元の速さ)を押すと、通常速度に戻ります。

お知らせ

- ゆったりトークの設定は音声通話の通話中にのみ有効です。通話終了後やマルチ接続中に通話相手を切り替えたり、音声電話からテレビ電話に切り替えた場合は通常速度に戻ります。

<ハンズフリー>
ハンズフリーに切り替える

ハンズフリーに設定すると、通話中の相手の音声などがスピーカーから流れます。

1 通話中▶TV（ON）

ハンズフリー設定中は、「」が表示されます。

- テレビ電話の場合、発信中や接続中もハンズフリーのON／OFFを切り替えることができます。
- TV（OFF）を押すと、ハンズフリーはOFFになります。
- ハンズフリー通話時の音量は、「受話音量」の設定に従います。
- マナーモード設定中でもハンズフリーに切り替えることができます。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、音声はスピーカーから流れます。

お知らせ

- イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、ハンズフリーに切り替えても音声はスピーカーから流れません。
- ハンズフリーに設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に障害を与えたりする可能性があります。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。

<車載ハンズフリー>
ハンズフリー対応機器を利用する

FOMA端末を車載ハンズフリーキット 01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
FOMA端末は、2つの方法でハンズフリー対応機器と接続できます。

- **ケーブル接続（USB接続）で利用する：**
  車載ハンズフリーキット 01（別売）で利用／充電する場合、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01（別売）が必要です。
- **Bluetooth接続（ワイヤレス）で利用する：**
  Bluetooth通信対応のハンズフリー機器と接続するには、FOMA端末にて機器の登録や接続が必要です。

※ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ケーブル接続（USB接続）で使用する場合には、「USBモード」を「通信モード」に設定してください。
- USBハンズフリー対応機器で通話・通信中は「」などが表示されます。
- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ設定」の設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を閉じたときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信／充電ランプが光る

- 着信時に振動させるには、「バイブレータ設定」の「電話」または「テレビ電話」を「OFF」以外に設定します。
- 音声電話着信中は「FOMA着信中」、テレビ電話着信中は「FOMA テレビ電話着信中」と表示されます。
- 国際電話がかかってきたときは、電話番号の右上に「（アイコン）」（音声電話）または「（アイコン）」（テレビ電話）が表示されます。

着もじ（P.68参照）



2 音声電話に出る場合

（通話キー）または（●）（通話）で電話に出る



テレビ電話に出る場合

（通話キー）または（●）（代替画像）でテレビ電話に出る

代替画像が相手に送信されます。

- テレビ電話中にサブメニューから「カメラ画像切替」「代替画像切替」を選択すると、相手に送信する映像を代替画像とカメラ映像とで切り替えることができます。



3 お話が終わったら（終話キー）で通話を終了する

お知らせ

- 通話中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。（P.79参照）
- お話し中に「ププ…ププ…」という音「通話中着信音」が聞こえることがあります。
  留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約し、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。
  留守番電話サービス . . . 留守番電話サービスセンターへ転送できます。（P.465参照）
  キャッチホン . . . . 通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。（P.466参照）
  転送でんわサービス . . . 登録した転送先へ転送できます。（P.468参照）
- 「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」で電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。
- ビューアスタイルで電話を受けることはできません。ただし、イヤホンマイク（別売）を接続中はビューアスタイルで電話を受けることができます。

つづく

お知らせ

<音声電話の場合>
- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、FOMA端末を閉じているときに[キー]を押して電話に出ると、通話中保留になります。「クローズ動作設定」を「ミュート」または「終話」に設定していた場合は相手には無音となり、「保留」に設定していた場合は保留音が流れます。FOMA端末を開くと、通話を開始できます。

<テレビ電話の場合>
- お買い上げ時は「ハンズフリー切替」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.88参照)ただし、マナーモード中は「ハンズフリー切替」の設定に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機(P.62参照)に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめ確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。(相手のFOMA端末によっては、転送する旨のメッセージが画面に表示されます。)
- 「迷惑電話ストップサービス」で拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示され、切断されます。

着信中の表示について

相手の電話番号が通知されたとき

電話番号が表示されます。電話帳に登録しておらず、リダイヤルに履歴が残っている電話番号の場合は、「折り返し着信」と表示されます。
電話帳に相手の名前、電話番号および画像を登録している場合は、相手の名前、電話番号とアイコン、画像が表示されます。
- テレビ電話着信の場合は「折り返し着信」は表示されません。
- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録している場合、検索順(P.97参照)で先に表示される名前が表示されます。
- 「オリジナルロック」で「電話帳」をロック中は、名前が表示されずに電話番号が表示されます。
- 転送されてきた電話の場合は、発信元の下に転送元の電話番号が表示されます。(転送元によっては表示されないことがあります。)
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、発信元の下に付加番号の登録名が表示されます。(転送されてきた電話の場合は、サブメニューから「表示切替」を選択して転送元の表示と切り替えることができます。)

相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。(P.136参照)

着信中のサブメニュー

着信拒否	電話に出ないで着信をそのまま切ります。
転送でんわ	P.468参照
留守番電話	P.465参照
表示切替	P.78参照

電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。
電話をかけてきた相手が音声電話／テレビ電話に切り替えると、「[アイコン]」と切り替え中であるメッセージが表示され、音声ガイダンスが流れて切り替わります。
- 着信側から切り替えることはできません。

<着信アンサー設定>
着信時のボタン動作を設定する

電話がかかってきたときに[発信]、[中央]以外のボタンで通話を開始したり(エニーキーアンサー)、着信音を止める(クイックサイレント)ように設定できます。

1 **[MENU]▶電話機能▶発着信・通話設定▶着信詳細設定▶着信アンサー設定▶ボタン動作を選択**

エニーキーアンサー
以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	[発信]、[中央]、[方向]、[0]～[9]、[*]、[CLR]、[カメラ/TV]※、[メール]、[iα]、[キー]

- テレビ電話がかかってきた場合、[発信]、[中央]で通話を開始できます。

クイックサイレント

以下のボタン操作で着信音、バイブレータを止められます。「オープン時自動応答設定」を「OFF」に設定している場合は、FOMA端末を開いても音声電話の着信音、バイブレータを止められます。着信音、バイブレータを止めても相手には呼び出し音が鳴っています。

音声電話	(電源/終話)、0〜9、*、CLR、(カメラ/TV)※、(メール)、(iα)、(サイド)
テレビ電話	(電源/終話)、0〜9、*、CLR、(メール)、(iα)

●着信音、バイブレータを止めたあとに、(発信)、(決定)を押すと通話を開始できます。

OFF

以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	(発信)、(決定)
テレビ電話	

※「切替」が表示されているときは、(カメラ/TV)を押してもエニーキーアンサーやクイックサイレントの動作になりません。

お知らせ

●「クイックサイレント」に設定していても、マナーモード中は「エニーキーアンサー」の動作になります。

●イヤホンマイク(別売)を接続しているときは、「着信アンサー設定」に関わらず、イヤホンマイクのスイッチを押しても通話を開始できます。(P.442参照)

<オープン時自動応答設定>
着信中にFOMA端末を開いたときの動作を設定する

音声電話の着信中にFOMA端末を開くだけで着信に応答できます。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**着信詳細設定**▶**オープン時自動応答設定**▶**ON・OFF**

ON . . . 着信に応答します。
OFF. . . 着信動作を継続します。

<クローズ動作設定>
通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**クローズ動作設定**▶**項目を選択**

ミュート . . . . 音声をミュート(消音)します。保留音は流れません。設定が終了します。
保留 . . . . 相手には「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が表示されます。
終話 . . . . 通話を終了します。通話中に(終話)を押す操作と同じです。設定が終了します。

2 **スピーカー鳴動する・スピーカー鳴動しない**

スピーカー鳴動する . . . . . 保留音をスピーカーから流します。
スピーカー鳴動しない . . . 保留音をスピーカーから流しません。

つづく

お知らせ

- 本機能は、イヤホンマイク(別売)を接続しているときは無効になります。音声電話中にFOMA端末を閉じても通話状態は変化しません。テレビ電話中にFOMA端末を閉じた場合は、相手には代替画像が送信され通話が継続します。
- テレビ電話中にFOMA端末を閉じたときは、「ミュート」に設定していると、相手には代替画像が送信されます。

＜受話音量＞
相手の声の音量を調節する

1 **MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶通話中詳細設定▶受話音量▶○で受話音量を調節**

レベル1(最小)～レベル6(最大)の6段階で調節します。
- 電話番号入力中、音声電話中、呼び出し中は○または○(1秒以上)、テレビ電話中は○を押して受話音量を調節します。2秒以内に○を押して受話音量を調節してください。

お知らせ

- 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。
- 受話音量を調節すると、ハンズフリー通話時の音量も調節されます。

＜応答保留＞
すぐに電話に出られないときに保留にする

1 **着信中▶○**

「ピッピッピッ」という確認音が鳴り、応答保留の状態になります。
- ビューアスタイルで○を押しても応答保留できます。
- マナーモード中や「着信音量」を「消去」に設定しているときは確認音は鳴りません。
- 相手には「保留音設定」の「応答保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「応答保留選択」で設定した静止画が表示されます。

2 **電話に出られるようになったら○または○で保留を解除する**

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、○、○、○以外のボタンを押すと音声電話の保留を解除できます。

お知らせ

- 応答保留中でも、相手に通話料金はかかります。
- 応答保留中に○を押すと、通話が切れます。

＜通話中保留＞
通話中に保留にする

1 **通話中▶CLR**

- 相手には「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が表示されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定している場合は、通話中にFOMA端末を閉じても保留できます。

2 電話に出られるようになったら(電話キー)、CLRまたは●で保留を解除する

- テレビ電話を保留していた場合、●(代替画像)を押して保留を解除すると、代替画像が相手に送信されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定し、FOMA端末を閉じて保留にしていた場合、FOMA端末を開くか、イヤホンマイク(別売)を接続すると保留を解除できます。
  イヤホンマイクを接続してテレビ電話の保留を解除した場合、相手には代替画像が送信されます。

お知らせ

- 通話を保留している間も、通話料金はかかります。
- 通話を保留している間に新しく着信があると、通話中保留は解除されます。

<保留音設定>

保留音を設定する

保留中に相手側に流れるガイダンスを設定します。

1 MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶通話中詳細設定▶保留音設定▶応答保留音・通話中保留音▶保留音を選択

応答保留音1・2. . . FOMA端末にあらかじめ登録されているガイダンスが流れます。

通話中保留音. . . . . FOMA端末にあらかじめ登録されているメロディが流れます。

おしゃべり1・2. . . 「おしゃべり機能」で録音した音が流れます。録音されていないときは表示されません。

- 📷TV(デモ)を押すと保留音が再生されます。CLRを押すとデモ再生が終了します。

公共モードを利用する

公共モード(ドライブモード)を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。

- 留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。
  ※1 呼出時間が0秒以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスのあとにサービスが動作します。
  ※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。

1 ✱を1秒以上押す

公共モードが設定され、「🚗」が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- 公共モードを解除するには、同様の操作を行います。公共モードが解除され、「🚗」が消えます。

お知らせ

- 公共モードの設定／解除ができるのは、待受中のみです。「圏外」表示が出ているときも、設定／解除はできます。
- 公共モードを設定していても通常どおり電話をかけることができます。
- 緊急通報110番／119番／118番に電話をかけると公共モードは解除されます。
- 公共モードとマナーモードを同時に設定しているときは、公共モードが優先されます。
- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。(公共モードガイダンスは流れません。)
- 本機能は、データ通信中は利用できません。

公共モード(ドライブモード)に設定したときは

・電話がかかってきても着信音は鳴りません。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、「着信履歴」に記憶されます。電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。
ただし、電源が入っていないときや画面に「圏外」表示が出ているときは、公共モードガイダンスは流れずに「圏外」表示が出ているときと同じガイダンスが流れます。
・メールやメッセージを受信しても着信音は鳴らず、着信／充電ランプも光りません。また、バイブレータを設定していても振動しません。
・64Kデータ通信の着信音、ウェイクアップ画面の音声、アラーム音、充電確認音、ｉアプリ実行中のメロディ、ｉアプリコールの受信音、ｉウィジェット起動時の効果音も鳴りません。
・ｉチャネルのテロップは表示されません。
・公共モード(ドライブモード)と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作についてはP.81参照。

公共モード(電源OFF)を利用する

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。

1 「＊25251」を入力▶(発信)

公共モード(電源OFF)が設定されます。(待受画面上の変化はありません。)
公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
●公共モード(電源OFF)を解除するには、「＊25250」に発信します。
●公共モード(電源OFF)の設定状況を確認するには、「＊25259」に発信します。

公共モード(電源OFF)に設定したときは

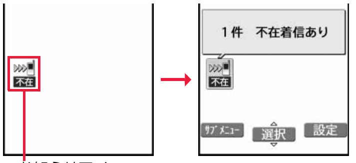
「＊25250」に発信して公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。
・公共モード(電源OFF)と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作についてはP.81参照。

<不在着信>
かかってきた電話に出られなかったとき

かかってきた電話に出られなかったとき(不在着信)は、待受画面に「お知らせアイコン」が表示されます。アイコンを選択して着信履歴を確認します。

1 ◉▶◉(選択)

●(終話)または(CLR)を押すと元の状態に戻ります。
●アイコンが複数あるときは(◎)でアイコンを選んで◉(選択)を押します。



お知らせアイコン

<伝言メモ設定>

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを設定しておくと、留守番電話サービスを契約されていなくても、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音・録画できます。
1件につき約20秒間で、音声電話は5件、テレビ電話は2件まで録音・録画できます。

伝言メモを設定する

1 **MENU▶電話機能▶伝言メモ／音声メモ▶伝言メモ設定▶ON▶電話・テレビ電話▶応答メッセージを選択**

- 伝言メモ設定を解除する場合は「OFF」を選択します。
- 📷TV（ デモ ）を押すと応答メッセージが再生されます。CLRを押すとデモ再生が終了します。
- 「標準」「プライベート」「英語」に設定した場合、相手に応答メッセージが流れたあと、「ピーッ」という音が鳴ります。「おしゃべり1･2」に設定した場合、音は鳴りません。

2 **呼出時間（秒）を入力**

- 「000」～「120」の3桁を入力します。
- オート着信設定、伝言メモ設定の呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。
- 伝言メモ設定中は「0」～「5」（音声電話の録音件数）、「0」～「2」（テレビ電話の録画件数）が表示されます。

伝言メモ設定を「ON」に設定中に電話がかかってきたときは



着信 → 呼出時間が経過 → 応答メッセージを再生 → 伝言メモを録音・録画



デスクトップにアイコンを表示（P.36参照）

（P.36参照）

テレビ電話の場合、応答メッセージ再生中は相手に「画像選択」の「伝言メモ準備選択」で設定した静止画が表示され、録画中は「画像選択」の「伝言メモ選択」で設定した静止画が表示されます。

- 録音･録画中は相手の声が受話口から流れます。ただし、マナーモード中は流れません。
- 応答メッセージ再生中や録音･録画中に電話に出るときは📞または◉を押します。テレビ電話の場合、相手には代替画像が送信されます。
  イヤホンマイク（別売）のスイッチを押しても電話に出ることができます。

お知らせ

- 「 圏外 」が表示されているときは動作しません。
- 公共モード（ドライブモード）と伝言メモを同時に設定しているときは公共モード（ドライブモード）が優先され、伝言メモは動作しません。
- 応答メッセージの優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「伝言メモ設定」の順になります。
- 応答メッセージを「おしゃべり1･2」に設定しているときに、「おしゃべり1･2」を消去した場合、応答メッセージは「標準」になります。
- 2in1のモードがAモードの場合はAナンバーの応答メッセージ、Bモードの場合はBナンバーの応答メッセージが設定されます。デュアルモードの場合はどちらの応答メッセージを設定するかを選択します。なお、呼出時間の設定は各モードで共通です。

つづく

お知らせ

- 「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモ設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。この場合でも、伝言メモがいっぱいのときは、留守番電話または転送でんわとなります。
- 録音･録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。

＜クイック伝言メモ＞

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモが設定されていないときに電話がかかってきても、その着信に限り用件を録音･録画できます。

1 着信中▶#

相手には応答メッセージが再生され、伝言メモの録音･録画が開始されます。

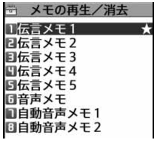
- すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音･録画されている場合は、伝言メモは動作しません。

＜メモの再生／消去＞＜テレビ電話メモの再生／消去＞

伝言メモ･音声メモ･テレビ電話伝言メモを再生／消去する

伝言メモ･音声メモを再生／消去する

1 MENU▶電話機能▶伝言メモ／音声メモ▶メモの再生／消去▶メモを選択



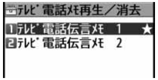
メモ一覧画面

「ピッ」という音が鳴って再生が始まります。

- メモ一覧画面では録音されている項目に「★」マークが付きます。
- 「受話音量」で設定した音量で再生されます。
- 再生中はメモが録音された日付･時刻が表示されます。
- 相手が電話番号を通知してきたときは、伝言メモの再生中に相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されていると名前も表示されます。
  ただし、以下の場合は名前の表示は行わず、電話番号だけが表示されます。
  ･シークレット登録された相手からの伝言メモを通常モードで再生したとき
- 伝言メモの再生中に相手の電話番号が表示されているときは、✉(発信)を押して📞を押すと相手の電話番号に音声電話をかけることができます。また、📷TV(TV電話)を押すとテレビ電話発信できます。
- 再生が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。
- 再生を途中で止めるには●(停止)またはCLRを押します。
- 2in1をご利用中は、AモードではAナンバーの伝言メモ･通話中音声メモを、BモードではBナンバーの伝言メモ･通話中音声メモを再生できます。

テレビ電話伝言メモを再生／消去する

1 **MENU▶電話機能▶伝言メモ／音声メモ▶テレビ電話メモの再生／消去▶テレビ電話伝言メモを選択**



テレビ電話伝言メモ一覧画面

- テレビ電話伝言メモ一覧画面では録画されている項目に「★」マークが付きます。
- ｉモーションの再生音と同じ音量で再生されます。
- 再生中はメモが録画された日付･時刻が表示されます。
- 再生を途中で止めるには●(■)またはCLRを押します。

メモ一覧画面･テレビ電話伝言メモ一覧画面のサブメニュー

再生	再生します。
1件消去	▶YES ●再生中にMENU(サブメニュー)を押して「消去」を選択しても1件消去できます。テレビ電話伝言メモの場合は、📷TV(消去)を押しても1件消去できます。
伝言メモ全消去	メモ一覧画面で伝言メモをすべて消去します。 ▶YES
全消去	メモ一覧画面では伝言メモ、音声メモ、自動音声メモを、テレビ電話伝言メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモをすべて消去します。 ▶YES

キャラ電を利用する

キャラ電を相手に送信するための設定を行います。

- キャラ電についてはP.377参照。

通話ごとに設定する

キャラ電を相手に送信する画像に設定してテレビ電話をかけます。

1 **キャラ電表示画面･キャラ電一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶キャラ電発信**

相手の電話番号を入力し、📷TV(テレビ電話)を押してテレビ電話をかけます。

- キャラ電一覧画面で📷TV(テレビ電話)を押してもテレビ電話をかけることができます。
- 相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、○を押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。
- ○を押して着信履歴、○を押してリダイヤルから検索することもできます。

お知らせ

- 相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「電話帳に登録したキャラ電」→「画像選択」の順になります。

代替画像設定

キャラ電を「画像選択」の「代替画像選択」に設定します。

1 **キャラ電表示画面･キャラ電一覧画面･キャラ電撮影画面▶MENU(サブメニュー)▶代替画像設定**

キャラ電設定

キャラ電通話の設定をします。通話中のテレビ電話にのみ有効です。

1 キャラ電通話中▶MENU(サブメニュー)▶キャラ電設定▶以下の操作を行う

キャラ電切替	▶キャラ電を選択 ●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●TV(詳細)を押すとアクションの詳細を確認できます。 ●＊を押してもアクション一覧を表示できます。
アクション切替 テレビ電話起動時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード(全)またはパーツアクションモード(部)に切り替えます。
静止画切替	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「自作」の静止画に切り替えます。

テレビ電話に関する便利な機能

送信映像を切り替える

相手に送信する映像を、代替画像に設定した静止画またはキャラ電からカメラ映像に切り替えます。
キャラ電についてはP.377参照。

1 テレビ電話中▶MENU(サブメニュー)▶カメラ画像切替

相手にはカメラ映像が送信されます。
カメラ映像送信中は「 」が表示されます。
●「代替画像切替」を選択すると、カメラ映像から代替画像に切り替わります。

お知らせ

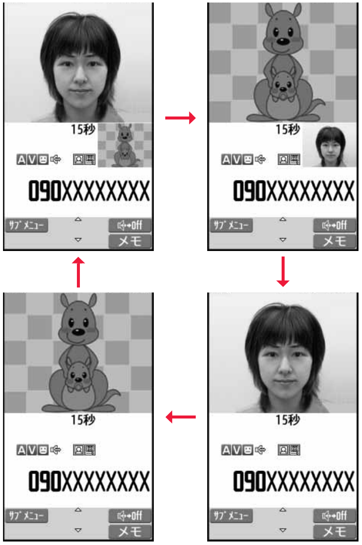
●相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「電話帳に登録したキャラ電」→「画像選択」の順になります。
テレビ電話がかかってきた場合、相手が発信者番号を通知してこないときは「個別着信音／画像」「グループ着信音／画像」「電話帳に登録したキャラ電」は無効になりますのでご注意ください。
●代替画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。
●FOMA端末内部の温度が上昇している場合、カメラ映像に切り替えることができなかったり、カメラ映像から代替画像に切り替わることがあります。

映像の表示位置を切り替える

受信映像と送信映像の表示位置を切り替えます。

1 **テレビ電話中▶MENU（サブメニュー）▶親画面表示切替**

- 「親画面表示切替」を選択するごとに表示が切り替わります。



ズームする

テレビ電話起動時	広角

相手に送信するカメラ映像のズームを調節します。テレビ電話中のカメラの最大倍率は約3.6倍です。

1 **テレビ電話中▶でズーム倍率を調節**

- テレビ電話を終了した場合は、ズームの設定は元に戻ります。

テレビ電話中のサブメニュー

項目	説明
カメラ画像切替・代替画像切替	P.86参照
親画面表示切替	P.87参照
通話機切替	FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを設定します。（P.448参照）
テレビ電話設定	
受信画質設定	P.88参照
明るさ調節 テレビ電話起動時：0	相手に送るカメラ映像の明るさを－2（暗い）～＋2（明るい）で調節します。 ▶**明るさを選択**
ホワイトバランス設定 テレビ電話起動時：オート	相手に送るカメラ映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 ▶**項目を選択** **オート**．．．ホワイトバランスを自動調整するとき **晴天**．．．．．屋外晴天下で通話するとき **曇天**．．．．．曇天や日陰で通話するとき **電球**．．．．．電球照明下で通話するとき **蛍光灯**．．．蛍光灯照明下で通話するとき
色調切替 テレビ電話起動時：通常	相手に送るカメラ映像の色調を切り替えます。 ▶**色調を選択**

つづく

撮影モード選択 テレビ電話起動時 人物	テレビ電話中のカメラの撮影モードを設定します。 ▶**人物・風景・接写**
キャラ電設定	P.86参照
照明設定	画面の照明を常時点灯させるか、P.114「照明設定」の点灯時間に従うかを設定します。 ▶**常時点灯・通常時の設定と同じ**
液晶AI	P.115参照
自局番号	自分の電話番号を表示します。 ●2in1のモードがデュアルモードの場合は(○)を押すとAナンバーまたはBナンバーに切り替えることができます。
DTMF送信・DTMF解除	キャラ電通話中にダイヤルデータを入力してDTMF(プッシュ信号)を送ることができるDTMF送信モードに切り替えます。キャラ電通話中のみ操作できます。 ●現在DTMF送信モードでない場合は「DTMF送信」、DTMF送信モードの場合は「DTMF解除」と表示されます。 ●DTMF送信モード中は、キャラ電のアクション操作はできません。 ●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
音声電話切替	P.65参照
現在地通知	P.339参照

<ハンズフリー切替>
テレビ電話のハンズフリーについて設定する

テレビ電話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**テレビ電話設定**▶**ハンズフリー切替**▶**ON・OFF**

●ハンズフリー設定中の動作、ハンズフリー切替についてはP.76参照。

<受信画質設定>
テレビ電話の画質を設定する

画面に表示される受信映像の画質を設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**テレビ電話設定**▶**受信画質設定**▶**画質を選択**

●「動き優先」は映像に動きがある場合に有効です。動きが少ない場合は「画質優先」に設定すると画質が向上します。
●テレビ電話中のサブメニューから操作した場合、設定は通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

●テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、映像がモザイク状になるときがあります。

<画像選択>

テレビ電話の表示を変更する

相手に送信する画像を設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**テレビ電話設定**▶**画像選択**▶**項目を選択**

応答保留選択. . . . . . . 応答保留中の画像を設定します。
通話保留選択. . . . . . . 通話保留中の画像を設定します。
代替画像選択. . . . . . . カメラOFF時の代替画像(静止画またはキャラ電)を設定します。
伝言メモ選択. . . . . . . 伝言メモ録画中の画像を設定します。
伝言メモ準備選択 . . . 伝言メモ応答メッセージ再生中の画像を設定します。
音声メモ選択. . . . . . . 音声メモ録音中の画像を設定します。

2 **画像を選択**

内蔵 . . . . .FOMA端末にあらかじめ保存されている静止画を相手に送信します。
自作 . . . . .状態に応じたメッセージと「ピクチャ貼付」で登録した静止画を合成したものを相手に送信します。
キャラ電 . . . . .「代替画像設定」で選択したキャラ電を相手に送信します。(P.85参照)
(手順1で「代替画像選択」を選択した場合のみ表示されます。)

- 📷TV(デモ)を押すとデモ再生され、静止画またはキャラ電を確認できます。
- 「自作」または「キャラ電」の設定を変更するには、MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「設定内容変更」を選択し、静止画またはキャラ電を選択します。「自作」を選択していた場合はフォルダを選択してから静止画を選択します。

お知らせ

- 「自作」で選択した静止画を削除した場合、「内蔵」の画像を相手に送信します。

通話ごとに設定する

テレビ電話をかけるときに相手に送信する画像を設定します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳詳細画面・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶**テレビ電話画像選択**▶**キャラ電**

- 電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「テレビ電話画像選択」を選択します。
- 通話ごとの設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。設定が終了します。

3 **キャラ電を選択**

<音声自動再発信>

テレビ電話がつながらなかった場合に音声電話で再発信する

テレビ電話をかけてつながらなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

1 MENU▶**電話機能**▶**テレビ電話設定**▶**音声自動再発信**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 音声電話の発信動作に切り替わった場合、音声電話料金になります。
- 相手が話し中や公共モード(ドライブモード)中などのためにテレビ電話がつながらなかった場合は、音声自動再発信は行いません。ただし、テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合は、音声自動再発信を行います。

<テレビ電話切替機能通知>

電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを相手に通知する機能です。
ご契約時は「開始」に設定されています。「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手がテレビ電話と音声電話を切り替えることができます。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所、または通話中は「テレビ電話切替機能通知」の操作はできません。

1 MENU▶電話機能▶テレビ電話設定▶テレビ電話切替機能通知▶以下の操作を行う

切替機能通知開始	▶YES
切替機能通知停止	▶YES
切替機能通知設定確認	テレビ電話切替機能の設定を確認します。 ▶OK

<パケット通信中着信設定>

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を選択する

1 MENU▶電話機能▶テレビ電話設定▶パケット通信中着信設定▶項目を選択

テレビ電話優先 . . . . .テレビ電話の着信画面を表示します。テレビ電話に応答するとパケット通信が切断されます。
パケット通信優先 . . .テレビ電話着信を拒否し、通信を継続します。
留守番電話 . . . . .かかってきたテレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ . . . . .かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。

お知らせ

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスが未契約の場合は、「留守番電話」「転送でんわ」に設定していても「パケット通信優先」の動作になります。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトはドコモのホームページからダウンロードしてご利用ください。

お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンを契約していると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、現在の通話を終了してから着信に応答することができます。外部機器からのテレビ電話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

FOMA端末では、FOMA端末(本体)の電話帳と、FOMAカードの電話帳の2種類の電話帳が利用できます。

			FOMA端末(本体)	FOMAカード
件数			1000件	50件
電話帳の登録項目		名前(フリガナ)	○	○
		グループ	19グループ	10グループ
		電話番号	4件	1件
		電話番号アイコン	○	×
		メールアドレス	3件	1件
		メールアドレスアイコン	○	×
		住所	○	×
		位置情報	○	×
		誕生日	○	×
		メモ	○	×
		静止画	100件	×
		キャラ電	100件	×
		メモリ番号	000〜999	×
	個別着信音/画像	着信音設定	○	×
		着信画面設定	○	
		キャラ電設定	○	
		イルミネーション設定	○	
		バイブレーション設定	○	
		応答メッセージ設定	○	
	個別発着信動作選択	指定発信制限	○	×
		指定着信拒否		
		指定着信許可		
		指定転送でんわ		
		指定留守番電話		
	シークレットコード		○	×
	シークレットモード、シークレット専用モードでの登録		○	×

			FOMA端末(本体)	FOMAカード
グループの登録項目	グループ名		○	○
	グループ着信音/画像	着信音設定	○	×
		着信画面設定		
		キャラ電設定		
		イルミネーション設定		
		バイブレーション設定		
		応答メッセージ設定		

○:登録できます。　×:登録できません。

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

<電話帳登録>

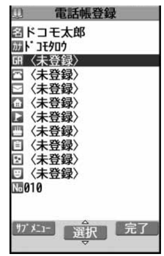
電話帳を登録する

FOMA端末(本体)またはFOMAカードの電話帳に登録します。

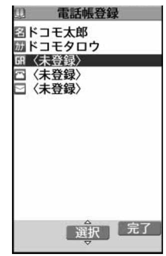
1 **◎(1秒以上)▶本体・FOMAカード(UIM)**

名前の入力画面が表示されます。手順2へ進んで名前を入力します。

2 **以下の操作を行う**



FOMA端末(本体)の場合



FOMAカードの場合

項目	説明
名前	名前や会社名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。 ▶**名前を入力** ●FOMA端末(本体)の場合、全角16文字/半角32文字まで入力できます。絵文字や記号も入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角10文字/半角英数のみなら21文字まで入力できます。(半角カタカナは入力できません。)なお、半角と全角が混在している場合は、半角／全角を問わず先頭から10文字まで登録できます。
フリガナ	フリガナをカタカナ、英字、数字で入力します。 ▶**フリガナを編集** ●FOMA端末(本体)の場合、半角32文字まで入力できます。半角の記号も入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角12文字/半角英数のみなら25文字まで入力できます。(半角カタカナは入力できません。)なお、半角と全角が混在している場合は、半角／全角を問わず先頭から12文字まで登録できます。 ●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありませんが、名前に入力した文字や入力方法によっては、フリガナに反映されないことがあります。 ●名前に「ゎ(小文字)」、「ヮ(小文字)」を入力すると、フリガナには「ﾜ(半角大文字)」(FOMA端末(本体)の場合)、「ワ(大文字)」(FOMAカードの場合)として表示されます。
グループ	FOMA端末(本体)には19個のグループ、FOMAカードには10個のグループがあります。 ▶**グループを選択** ●グループを選択していない状態で登録を完了した場合、「グループなし」に登録されます。
電話番号	FOMA端末(本体)には電話帳1件に4番号まで登録できます。それぞれの電話番号に、「携帯電話の番号」「会社の電話番号」などを区別するためのアイコンを設定できます。 FOMAカードには電話帳1件に1番号のみ登録できます。 ▶**電話番号を入力** ●電話番号は市外局番から入力します。 ●26桁まで入力できます。 ●(＊)を1秒以上押して、登録する電話番号にポーズ(p)を入力できます。ただし、電話番号の先頭にポーズ(p)を入力したり、連続しての入力はできません。また、電話番号の最後に入力したポーズ(p)は登録されません。 ●「＊」を電話番号の途中に入力した場合は、電話がかかりません。ただし、リダイヤル･発信履歴は残ります。 ●情報ダイヤルなどの「＃」を使用した番号も登録できます。 ▶**アイコンを選択** ●FOMA端末(本体)に電話番号を登録すると電話帳新規登録画面に「<追加登録>」が1つ増えます。別の電話番号を登録するときは、「<追加登録>」を選択します。
メールアドレス	FOMA端末(本体)には電話帳1件に3アドレスまで登録できます。それぞれのメールアドレスに、「携帯電話のアドレス」「自宅のアドレス」などを区別するためのアイコンを設定できます。 FOMAカードには電話帳1件に1アドレスのみ登録できます。 ▶**メールアドレスを入力** ●半角の英字、数字、記号を使って50文字まで入力できます。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。 ●FOMA端末(本体)にはシークレットコードも設定できます。(P.100参照) ▶**アイコンを選択** ●FOMA端末(本体)にメールアドレスを登録すると電話帳新規登録画面に「<追加登録>」が1つ増えます。別のメールアドレスを登録するときは、「<追加登録>」を選択します。

つづく

項目	内容
住所	▶郵便番号を入力▶住所を入力 ●郵便番号は7桁まで入力できます。 ●住所は全角50文字/半角100文字まで入力できます。また、絵文字や記号も入力できます。 ●郵便番号に「〒」や「-」(ハイフン)は入力できません。
位置情報	P.347参照
誕生日	▶誕生日を入力 ●1800年1月1日から2099年12月31日まで入力できます。 ●誕生日はスケジュールでも確認できます。(P.428参照)
メモ	▶メモを入力 ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。また、絵文字や記号も入力できます。
静止画	登録した静止画は、電話帳を呼び出したときに表示されます。 ▶項目を選択 **カメラ撮影**. . . 撮影した静止画を登録します。撮影方法についてはP.236参照。 **静止画選択**. . . データBOX内の静止画を登録します。 ●登録済みの静止画を解除する場合は、「静止画解除」を選択します。 ●設定できる画像はJPEG画像、GIF画像です。ただし、待受(480×854)を超える画像サイズまたは300Kバイトを超えるファイルサイズの画像は電話帳に設定できません。 ●256×192ドットより大きい静止画を登録した場合、電話帳詳細画面には縮小されて表示されます。 ●480×360ドットより大きい静止画を登録した場合、着信画面には縮小されて表示されます。 ●「電話帳画像着信設定」を「ON」にしていると、登録した静止画が着信時に表示されます。ただし、「個別着信音／画像」や「グループ着信音／画像」にも画像を登録している場合、着信時にはそれらの設定が優先されます。
キャラ電	登録したキャラ電は、電話帳の相手とのテレビ電話時に代替画像として表示されます。 ▶キャラ電選択▶キャラ電を選択 ●登録済みのキャラ電を解除する場合は、「キャラ電解除」を選択します。 ●「個別着信音／画像」や「グループ着信音／画像」にもキャラ電を登録している場合、着信時にはそれらの設定が優先されます。
メモリ番号	▶メモリ番号を入力 ●「000」～「999」の3桁を入力します。 ●あらかじめ「010」～「999」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。「010」～「999」がすべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。

3 **TV(完了)を押す**

- 名前を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合は電話帳2in1設定を変更できます。

編集中の電話帳について

電池切れアラームが鳴ったときは

編集中の電話帳が自動的に保存されます。充電して電話帳の編集を続けるか、充電済みの電池パックと交換したあとに、P.92手順1の操作を行って編集を中断した登録先を選択すると、再編集するかどうかの確認画面が表示されます。

再編集 . . . .電話帳編集の続きを行うことができます。

新規. . . . . .新しく他の電話帳を編集できます。この場合、編集中のデータは消去されません。新しい電話帳の登録終了後に電話帳登録を行うと、確認画面が再度表示されます。

- 編集中データとして登録されているのは一番新しい1件のみです。
- 編集中データを呼び出して電話帳の編集の続きを行っているときに、登録しないで編集を中止すると編集中データは消去されます。一度呼び出したら、最後まで登録を行ってください。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

マルチタスク機能が働くため、編集中の電話帳のデータはそのままで応対できます。(マルチ)を押してタスクメニューを表示し、編集中の機能を選択すると電話帳の編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、電話帳の編集画面に戻ります。

表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

表示／選択している電話番号やメールアドレス、静止画をFOMA端末(本体)やFOMAカードの電話帳に登録します。

操作	登録可能な項目
電話番号を入力中	電話番号
リダイヤル表示中･発信履歴表示中･着信履歴表示中	電話番号
送信アドレス一覧表示中･受信アドレス一覧表示中	電話番号･メールアドレス
サイト表示中･画面メモ表示中	電話番号･メールアドレス
メッセージR/Fの本文表示中･メールの本文表示中	電話番号･メールアドレス
バーコードリーダーで読み取ったデータを表示中	電話番号･メールアドレス
トルカ表示中	電話番号･メールアドレス
現在地表示中	位置情報
位置履歴表示中	位置情報
現在地通知先表示中	名前･電話番号
静止画一覧表示中･静止画再生中	静止画

1 登録したい項目のサブメニュー ▶電話帳登録･電話帳･アドレス／番号登録

- メール詳細画面のサブメニューから操作した場合、送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、メール詳細画面で選んだメールアドレスや電話番号が登録されます。
- バーコードリーダーのコード読取結果画面で「電話帳登録」と表示されている場合、「電話帳登録」を選択すると読み取ったコードに付加されている電話番号やメールアドレス以外の情報も電話帳に入力されます。

2 本体･FOMAカード(UIM)▶登録方法を選択

新規登録 . . . P.92手順2へ進みます。
追加登録 . . . すでにある電話帳に追加登録します。FOMAカードの電話帳に登録するときは「上書き登録」と表示されます。

3 検索方法を選択▶電話帳を検索 ▶登録する電話帳を選択▶◉(選択)

電話番号やメールアドレスなどが自動的に入力されます。
- 電話帳の他の項目を修正する場合は、P.92手順2参照。
- サイト表示中のサブメニューから操作した場合、検索方法の選択画面に「自動検索」が表示される場合があります。「自動検索」を選択すると、同じ名前、フリガナの電話帳を検索できます。
- FOMA端末(本体)の電話帳に登録する場合、メモリ番号を変更すると、登録前の電話帳を元の内容のまま残し、登録後の内容を別のメモリ番号で登録できます。

4 📷TV(完了)▶YES

- FOMAカードの電話帳に登録する場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。

お知らせ

- リダイヤル、発信履歴の「発信者番号通知」の情報は、電話帳に登録されません。発信者番号通知を設定するときは、電話番号に「186／184」を付けて登録してください。
- 登録できない文字はスペースに変換されたり削除されたりして登録されることがあります。
- サイトによっては電話帳登録できない場合があります。

＜グループ設定＞
グループを設定する

「会社」や「友達」などのグループや、「野球」や「陶芸」などの趣味ごとに、電話帳を分類して活用できます。「グループ着信音／画像」でグループごとに着信音やバイブレータ、イルミネーションなどを設定できます。

1 **MENU▶電話機能▶電話帳▶電話帳設定・確認▶グループ設定**

●FOMAカードのグループには「　」が表示されます。

2 **グループを選択▶グループ名を入力**

●全角10文字/半角21文字まで登録できます。ただし、FOMAカードのグループ名に全角／半角が混在しているグループ名を入力した場合は、全角／半角問わず最大10文字まで登録されます。

グループ設定表示中のサブメニュー

グループ名編集	P.96手順2へ進みます。
グループ着信音／画像	グループごとに着信音などを設定します。 P.101「電話番号やメールアドレスごとに着信音などを設定する」手順1へ進みます。
グループ名初期化	グループ名をお買い上げ時のグループ名に戻します。 ▶YES

お知らせ

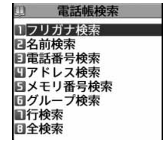
＜グループ着信音／画像＞

●「グループなし」には設定できません。

＜電話帳検索＞
電話帳を利用して電話をかける

登録した電話帳を8つの検索方法で呼び出します。

1 **Ｏ▶以下の操作を行う**



電話帳検索画面

●「MENU▶電話機能▶電話帳▶電話帳検索」の操作を行っても電話帳検索画面が表示されます。

●電話帳検索画面で優先したい検索方法を選んでａ（優先）を押すと、優先検索方法を設定できます。優先検索方法を設定すると、電話帳検索画面を表示することなく設定した検索方法の画面を表示できます。各検索方法の画面でCLRを押して電話帳検索画面を表示し、ａ（解除）を押すと設定を解除できます。優先検索方法に設定した項目には「★」マークが付きます。

フリガナ検索	フリガナを先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。 **▶フリガナの一部を入力▶Ｏ**
名前検索	名前を先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。 **▶名前の一部を入力▶Ｏ**
電話番号検索	電話番号の一部を入力して検索します。電話番号の途中だけでも検索できます。 **▶電話番号の一部を入力▶Ｏ** ●待受画面または通話中画面で電話番号の一部を入力し、Ｏを押しても電話帳一覧画面が表示されます。
アドレス検索	メールアドレスの一部を入力して検索します。メールアドレスの途中だけでも検索できます。 **▶メールアドレスの一部を入力▶Ｏ**

メモリ番号検索 ［FOMA端末（本体）のみ］	メモリ番号を入力して検索します。 ▶**メモリ番号を入力** ●「000」～「999」の3桁を入力します。 ●待受画面でを押してを押すとメモリ番号発信画面が表示されます。メモリ番号を入力すると、そのメモリ番号に登録されている電話番号に音声電話をかけることができます。
グループ検索	指定したグループに登録されている電話帳を表示します。 ▶**グループを選択** ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。（P.97参照） ●グループの一覧画面でMENU（サブメニュー）を押すと、「グループ設定」のサブメニューが表示されます。
行検索	フリガナの行ごとに電話帳を検索します。 ▶**検索したい行に対応したダイヤルボタンを押す** ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。（P.97参照） ●音声電話の通話中画面でを押しても行検索の画面が表示されます。
全検索	すべての電話帳を表示します。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。（P.97参照）

2 電話帳を選択▶または（発信）

●同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合や、「アドレス検索」を行った場合は、詳細画面でを押して電話番号を選択します。
●TV（テレビ電話）を押すとテレビ電話発信になります。

お知らせ

●「グループ検索」以外の検索方法で何も入力せずにを押すと、すべての電話帳が表示されます。

検索順について

電話帳を登録するときに入力したフリガナによって次のような順で検索されます。
「フリガナの頭文字がスペースのもの」→「50音（ア、イ、ウ、エ、オ、･･･ン）」→「英字（A、a、B、b、･･･Z、z）」→「数字（0～9）」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」
※メモリ番号で検索した場合はメモリ番号順で検索されます。

一覧画面について

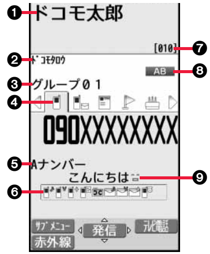


電話帳一覧画面

「グループ検索」「行検索」「全検索」を行ったときは、一覧画面の上部にタブが表示されます。「グループ検索」の場合はグループごとに、「行検索」「全検索」の場合はフリガナの行ごとに分類されます。
を押すと左右のタブ内の電話帳が表示されます。
●一覧画面でを押すと、反転している名前に登録されている電話番号へ音声電話をかけることができます。複数の電話番号が登録されているときは、電話番号の中で1番目に登録されている電話番号に発信します。
●FOMAカードに登録した電話帳には「」が表示されます。
●ｉコンシェルの情報が登録されている電話帳には「」が表示されます。
●電話帳2in1設定がAの電話帳には「A」、Bの電話帳には「B」、共通設定の電話帳には「AB」が表示されます。（デュアルモード時のみ）

詳細画面について

❶名前　❷フリガナ　❸グループ名
❹登録内容
- ●でタブを選ぶと登録内容の詳細が表示されます。
- 電話番号を選択すると電話をかけることができます。(P.97手順2参照)
- メールアドレスを選択すると宛先欄にメールアドレスが入力されたｉモードメールが作成されます。
- 住所･ｉコンシェル住所を選択すると､｢地図設定｣の｢地図選択｣で設定されているGPS対応ｉアプリを起動して地図を表示します。
- 位置情報を選択すると位置情報を利用した操作を実行することができます。(P.335参照)
- メモ･ｉコンシェルメモを選択すると全画面表示になります。
- キャラ電を選択するとキャラ電が再生されます。
- ｉコンシェルURLを選択して｢YES｣を選択すると､サイトを表示します。
- ｉコンシェルで登録された情報のタブには｢ ｣が付きます。ケータイデータお預かりサービスのサーバで登録データが更新されると情報が自動的に表示されます。
- ｉコンシェル住所､ｉコンシェルメモ､ｉコンシェルURLは､ｉコンシェルをご契約されていない場合は表示されません。



電話帳詳細画面

❺2in1／マルチナンバーの設定
❻個別着信音／画像の設定･発信者番号通知
／ :着信音(音声電話･テレビ電話／ｉモードメール･SMS)
:着信画面(音声電話･テレビ電話)
／ :イルミネーション(音声電話･テレビ電話／ｉモードメール･SMS)
／ :バイブレーション(音声電話･テレビ電話／ｉモードメール･SMS)
:応答メッセージ　:キャラ電
[通知]／[非通知]:発信者番号の通知／非通知
❼メモリ番号
- FOMAカードの電話帳の場合は｢ ｣を表示します。

❽電話帳2in1設定(デュアルモード時のみ)
A :A設定の電話帳　B :B設定の電話帳　AB :共通設定の電話帳
❾着もじ

電話帳一覧画面のサブメニュー

電話帳登録	電話帳を新規登録します。 P.92手順1へ進みます。
電話帳2in1設定	P.474参照
ソート	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択 ●｢昇順｣または｢降順｣を選択すると逆順に並べ替えます。 ●一覧画面にタブが表示されているときは､ソートできません。
タブ表示切替	一覧画面の表示方法をタブ表示に切り替えます。 ▶表示方法を選択
個別発着信動作選択	P.134参照
グループ設定	P.96参照
microSDへコピー	
1件コピー	P.389参照
選択コピー	P.389参照
全コピー	P.389参照
iC送信	P.407参照
iC全送信	P.408参照
赤外線送信	P.405参照
赤外線全送信	P.406参照
Bluetooth送信	P.450参照
Bluetooth全送信	P.450参照
電話帳登録件数	P.102参照
居場所を確認	｢イマドコかんたんサーチ｣のサイトへ接続します。 ▶YES

メール添付	電話帳をｉモードメールに添付して送信します。 P.144手順2へ進みます。
拡大表示・標準表示	電話帳・プロフィールの文字サイズを切り替えます。（P.120「電話帳」参照）
microSD参照・本体参照	microSDカードに保存している電話帳を参照します。 P.388手順2へ進みます。 ●FOMA端末（本体）の電話帳一覧画面を表示するには「本体参照」を選択します。
お預かりセンターに接続	P.138参照
電話帳削除	P.101参照

電話帳詳細画面のサブメニュー

電話帳編集		P.100参照
電話帳2in1設定		FOMA端末（本体）に登録した電話帳の電話帳2in1設定を変更します。 ▶端末暗証番号を入力▶項目を選択 A . . . . .A設定の電話帳に変更します。Aモードとデュアルモードのときに利用できます。 B. . . . . .B設定の電話帳に変更します。Bモードとデュアルモードのときに利用できます。 共通 . . .共通設定の電話帳に変更します。すべてのモードで利用できます。
発信者番号通知		P.70参照
着もじ		P.69参照
発信設定		
	プレフィックス	P.74参照
	国際電話発信	P.73参照
	2in1／マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。（P.473、P.476参照）
	テレビ電話画像選択	P.89参照

個別着信音／画像		P.101参照
個別発着信動作選択		P.134参照
先頭へ移動		詳細画面で選んだ電話番号／メールアドレスを1番目に移動します。
デスクトップ貼付		P.38参照
メール作成		メールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。 P.144手順3へ進みます。
メール添付		電話帳をｉモードメールに添付して送信します。 P.144手順2へ進みます。
SMS作成		電話番号を宛先としたSMSを作成します。 P.185手順3へ進みます。
iC送信		P.407参照
iC全送信		P.408参照
赤外線送信		P.405参照 ●電話帳詳細画面で[メール]（赤外線）を押しても操作できます。
赤外線全送信		P.406参照
Bluetooth送信		P.450参照
Bluetooth全送信		P.450参照
microSDへコピー		P.389参照
コピー		
	名前	名前をコピーします。
	電話番号・メールアドレス・住所・位置情報・誕生日・メモ・ｉコンシェルURL・ｉコンシェルメモ	各項目をコピーします。 ●詳細画面で[○]を押してコピーする項目を選びます。選んだ項目によって選択できるサブメニュー項目は異なります。

シークレットコード	シークレットコード登録をしている相手にｉモードメールを送るときには、相手のシークレットコードをメールアドレスに追加する必要があります。電話帳のメールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に追加されます。 ▶端末暗証番号を入力▶コード設定 ●詳細画面で◎を押してシークレットコードを設定する電話番号またはメールアドレスを選びます。 ●シークレットコードを確認する場合は、「コード参照」を選択します。 ●シークレットコードを解除する場合は、「設定解除」を選択します。 ▶4桁のシークレットコードを入力▶YES ●シークレットコードを設定するとサブメニューの「シークレットコード」に「★」マークが付きます。 ●シークレットコードは数字4桁で入力してください。「0000」は設定できません。
シークレット設定・シークレット解除	電話帳をシークレットに設定／解除します。
FOMAカード(UIM)コピー	P.440参照
本体へコピー	P.440参照
居場所を確認	P.98参照
GPSアプリ一覧	P.335参照
地図を見る	P.335参照
メール貼り付け	P.335参照
画像に付加	P.335参照
拡大表示・標準表示	電話帳・プロフィールの文字サイズを切り替えます。(P.120「電話帳」参照)
電話帳削除	P.101参照

お知らせ

<シークレットコード>
- FOMAカードの電話帳には、シークレットコードを設定できません。
- 送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときのみシークレットコードが追加されます。他のメールアドレスにはシークレットコードは追加されません。
- メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手からのメールに返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

<電話帳修正>

電話帳を修正する

1 電話帳詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶電話帳編集▶修正したい項目を選択▶内容を修正

- 電話帳の修正方法についてはP.92手順2参照。
- FOMA端末(本体)の電話帳を修正した場合、メモリ番号を変更すると、修正前の電話帳を元の内容のまま残し、修正後の内容を別のメモリ番号で登録できます。
- 複数の電話番号、メールアドレスが登録されている場合、サブメニューから「先頭へ移動」を選択すると電話番号、メールアドレスの登録順を変更できます。

2 TV(完了)▶YES

- FOMAカードの電話帳を修正した場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。

<電話帳削除>

電話帳を削除する

電話帳詳細画面から削除する

1 電話帳詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶電話帳削除▶以下の操作を行う

電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・位置情報削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除・キャラ電削除	▶YES ●詳細画面で◎を押して削除する項目を選びます。選んだ項目によって選択できるサブメニューは異なります。 ●ｉコンシェルで取得した情報は削除できません。
1件削除	▶YES

電話帳一覧画面から削除する

1 電話帳一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶電話帳削除▶以下の操作を行う

1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい電話帳にチェック▶📷TV(完了)▶YES ●シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を選択した場合は、「全削除」と同様の操作を行います。
全削除	シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

<個別着信音／画像>

電話番号やメールアドレスごとに着信音などを設定する

FOMA端末(本体)の電話帳の電話番号ごと、メールアドレスごとに着信音などを設定します。

1 電話帳詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶個別着信音／画像▶項目を選択

音声着信 .... 音声電話着信時の動作を設定します。
テレビ電話着信設定 ... テレビ電話着信時の動作を設定します。
SMS着信設定 .... SMS受信時の動作を設定します。
メール着信設定 ...... ｉモードメール受信時の動作を設定します。

2 以下の操作を行う

●登録済みの設定を解除するには、解除したい項目を選んでサブメニューから「設定解除」を選択するか、📷TV(解除)を押します。

着信音設定	電話着信時、メール受信時の着信音を設定します。 P.104手順2へ進みます。
着信画面設定	電話着信時に表示する画像を設定します。 ▶画像の種類を選択▶フォルダを選択▶画像を選択
キャラ電設定	テレビ電話時に代替画像として表示するキャラ電を設定します。 ▶キャラ電を選択
イルミネーション設定	電話着信時、メール受信時のイルミネーションを設定します。 ▶項目を選択
バイブレーション設定	電話着信時、メール受信時のバイブレータを設定します。 ▶バイブレータのパターンを選択
応答メッセージ設定	伝言メモの応答メッセージを設定します。 ▶応答メッセージを選択

つづく↳

お知らせ

- シークレット登録されている電話帳には「個別着信音／画像」を設定できません。また、シークレット登録されている電話帳を含むグループに「グループ着信音／画像」を設定することはできますが、シークレット登録されている電話帳には設定は無効です。

<電話帳登録件数>

電話帳の登録状況を確認する

1 **MENU▶電話機能▶電話帳▶電話帳設定・確認▶電話帳登録件数**

本体
電話帳. . . . . FOMA端末(本体)に登録されている電話帳の件数
シークレット. . . . . シークレット登録されている電話帳の件数(シークレットモード／シークレット専用モード中に表示)
静止画. . . . . 静止画が登録されている電話帳の件数
キャラ電 . . . . キャラ電が登録されている電話帳の件数
FOMAカード(UIM)
電話帳. . . . . FOMAカードに登録されている電話帳の件数

お知らせ

- 2in1をご利用中は、設定中のモードで利用できる電話帳の登録件数が表示されます。(P.477参照)

<ツータッチダイヤル>

少ないダイヤル操作で電話をかける

FOMA端末(本体)の電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録した相手には、メモリ番号の下1桁を押すだけで電話をかけることができます。

ツータッチダイヤルで電話をかける

1 **ダイヤルボタン(0～9)▶発信**

- 📷TV(TV電話)を押すとテレビ電話発信になります。

お知らせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に発信します。
- メモリ番号000～009の電話帳に「指定発信制限」を設定するときは、1番目の電話番号を設定してください。
- メモリ番号000～009の電話帳をシークレット登録したときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードで操作してください。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

＜着信音選択＞

着信音を変える

着信音を着信の種類ごとに設定します。
ｉモーションを選択すると、着信時にｉモーションが再生され、音声が流れます。(着モーション)

- 着信音は、PCM音源　128和音　ADPCM対応です。
- 着信音を電話帳ごとに設定するにはP.101「個別着信音／画像」、グループごとに設定するにはP.96「グループ着信音／画像」参照。

■着信音一覧(プリインストール)

表示	曲名	作詞者名･作曲者名
着信音1	−	−
着信音2	−	−
着信音3	−	−
着信音4	−	−
着信音5	−	−
ワルキューレの騎行	ワルキューレの騎行	作曲：WAGNER RICHARD WILHELM
Minimal Techno※	Minimal Techno	−
ハイ･ホオ	ハイ･ホオ	作曲：CHURCHILL FRANK E
ソナチネ第1番／第4楽章※	ソナチネ第1番／第4楽章	作曲：WOLFGANG AMADEUS MOZART
おもちゃの兵隊の行進※	おもちゃの兵隊の行進	作曲：JESSEL LEON
サマータイム	サマータイム	作曲：GERSHWIN GEORGE
SOMEDAY MY PRINCE WI	SOMEDAY MY PRINCE WILL COME	作曲：CHURCHILL FRANK E
ペール･ギュント第1組曲 朝	ペール･ギュント第1組曲 朝	作曲：GRIEG EDVARD HAGERUP
黒電話	−	−
キラキラ	−	−
Simple	−	−
Minimal※	−	−
Magical Stick※	−	−
ウクレレ	−	−
ウォータードロップ	−	−
メール(無線風)	−	−

※ 3Dサウンド対応。3DサウンドについてはP.105参照。
(注) 作詞者名･作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。
曲名が長い場合、画面サイズの関係で曲名をすべて表示できないことがあります。

■ｉモーション(プリインストール)

表示	曲名	作詞者名･作曲者名
Tokyo Night Flight	Tokyo Night Flight	−

1 MENU▶本体設定▶音／バイブ／マナー▶着信音選択▶着信の種類を選択

- 📷TV(デモ)を押すと、実際に再生／表示される内容を確認できます。

2 着信音▶着信音の種類を選択

メロディ . . . . . . メロディを着信音に設定します。
ｉモーション . . . ｉモーションを着信音に設定します。(着モーション／着うた®)
ミュージック . . . 着うたフル®を着信音に設定します。
おしゃべり . . . . . 「おしゃべり機能」で録音した音を着信音に設定します。「おしゃべり1」または「おしゃべり2」を選択すると設定が終了します。
OFF . . . . 着信音をOFFにします。設定が終了します。

3 フォルダを選択▶着信音を選択

- 手順2で「ミュージック」を選択した場合は、「まるごと着信音設定」または「オススメ着信音設定」を選択します。(P.287参照)
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。

お知らせ

- 「電話」「テレビ電話」を選択し、「着信画面」を選択すると、着信画面を設定できます。「メール」「メッセージR」「メッセージF」を選択し、「メール着信画面」を選択すると、メール着信画面を設定できます。P.113手順2へ進みます。
- 「電話」「テレビ電話」「メール」を選択すると、2in1のモードがAモードの場合はAナンバー（Aアドレス）の着信音、Bモードの場合はBナンバー（Bアドレス）の着信音が設定されます。デュアルモードの場合はどちらの着信音を設定するかを選択します。
- 着信音の優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「マルチナンバー」の「着信音設定」→「着信音選択」の順になります。
- 映像と音を含んだｉモーションをメール着信音に設定した場合、CLRなどを押すと着信音を停止できます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）と着信画面に設定した場合、着信時には着信画面よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーションを着信音に設定した場合は、着信画面に設定したｉモーションが再生されます。
- 着信音と着信画面の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の設定で動作することがあります。
- 着信音に設定可能なｉモーションかどうかを確認するには「ｉモーション情報」参照。
- 映像のあるｉモーションは、「ｉコンシェル」には設定できません。
- 異なる種類のｉモードメール･SMS、メッセージR/Fを同時に受信した場合の着信音の優先順位は、「ｉモードメール･SMS」→「メッセージR」→「メッセージF」の順になります。同じ種類のメールを同時に受信した場合は、最後に受信したメールに対応した着信音が鳴ります。
- ダウンロードしたメロディやメールに添付されているメロディ、メールへの添付･FOMA端末外への出力が禁止されているメロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。再生部分が指定されたメロディを着信音などに設定したときは指定された箇所のみが再生されます。

＜着信音量＞

着信音の音量を調節する

電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに鳴る着信音の大きさを調節します。

1 **MENU▶本体設定▶音／バイブ／マナー▶着信音量▶着信の種類を選択▶で音量を調節**

- 「着信音量」を「消去」に設定中は、待受画面に以下のアイコンが表示されます。
  - ：「電話」「テレビ電話」のいずれかを設定
  - ：「メール」「メッセージR」「メッセージF」のいずれかを設定
  - ：「電話」「テレビ電話」のいずれかと、「メール」「メッセージR」「メッセージF」のいずれかを設定
- 「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。

＜ステレオ･3Dサウンド設定＞

着信音やメロディなどの音響効果を設定する

ステレオイヤホンマイク（別売）から流れるメロディ再生音、着信音、効果音、ｉモーション再生音に3次元の立体音響効果を加えるかどうかを設定します。

1 **MENU▶本体設定▶音／バイブ／マナー▶ステレオ･3Dサウンド設定▶ON･OFF**

3Dサウンドとは

ステレオイヤホンマイクを使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド対応のｉアプリによるゲームや着信音、ｉモーションを臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。

つづく

お知らせ

- 個人差により、立体感が異なる場合があります。違和感を感じる場合は、「OFF」に設定してください。

<バイブレータ設定>

着信を振動で知らせる

電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。

1 MENU ▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**バイブレータ設定**▶**着信の種類を選択**▶**バイブレータのパターンを選択**

- 「メロディ連動」に設定すると、メロディに登録されている振動パターンに合わせて振動します。
- 選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。ただし、「メロディ連動」を選択した場合は、振動しません。
- 「バイブレータ設定」を「OFF」以外に設定中は待受画面に以下のアイコンが表示されます。
  - ：「電話」「テレビ電話」のいずれかを設定
  - ：「メール」「メッセージR」「メッセージF」のいずれかを設定
  - ：「電話」「テレビ電話」のいずれかと、「メール」「メッセージR」「メッセージF」のいずれかを設定

お知らせ

- バイブレータ鳴動パターンの優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」の順になります。
- 「メロディ連動」に設定しても、振動パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合は「パターン2」で振動します。
- 「電話」「テレビ電話」「メール」を選択すると、2in1のモードがAモードの場合はAナンバー（Aアドレス）のバイブレータ、Bモードの場合はBナンバー（Bアドレス）のバイブレータが設定されます。デュアルモードの場合はどちらのバイブレータを選択するかを選択します。
- バイブレータに設定して机などの上に置くと、電話がかかってきたとき振動で落下する恐れがありますのでご注意ください。

<おしゃべり機能>

録音した音を着信音などに使用する

FOMA端末で録音した音を各種着信音、応答／通話中保留音、「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」「通話料金通知」のアラーム音、伝言メモの応答メッセージに設定できます。
1件につき約15秒間、2件まで録音できます。

1 MENU ▶**便利ツール**▶**おしゃべり機能**▶**おしゃべり1・おしゃべり2**▶**YES**

録音された項目に「★」マークが付きます。

- サブメニューから「録音」を選択しても録音できます。
- 録音を途中でやめるときは●（停止）、または CLR を押します。それまでの録音内容は保存されます。
- 録音時間（約15秒間）が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。
- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」「録画予約」「通話料金通知」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音を停止します。（それまでの録音内容は保存されます。）
- 録音した音を再生するには録音済みの項目を選択するか、サブメニューから「再生」を選択します。再生を途中でやめるときは●（停止）、または CLR を押します。
- 録音した音を消去するにはサブメニューから「消去」を選択し、「YES」を選択します。

<メロディコール>
呼び出し音を変える

メロディコールとは、音声電話をかけてきた相手に流れる「プルルル」という呼び出し音をお好みの楽曲などに変更できるサービスです。
詳しくは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

- メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 MENU▶**電話機能**▶**メロディコール**▶**YES**
▶**画面の表示に従って操作**

お知らせ

- テレビ電話からの発信にはメロディコールは流れません。
- サイトへ接続するかどうかの確認画面で「YES」を選択するとｉモードサイトに接続されます。設定サイトはパケット通信料無料ですが、IPサイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。

<ボタン確認音>
ボタンを押したときの音を設定する

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**その他音設定**
▶**ボタン確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ

- ボタン確認音の音量は変更できません。
- 本機能を「OFF」に設定したときは、電池残量確認音(P.55参照)や各種警告音も鳴りません。
- 着信中、ｉモーション再生中、ムービー再生中などは、ボタン確認音は鳴りません。
- FOMA端末を閉じた状態で[]を押した場合は、P.120「不在／新着確認設定」に従って動作します。

<充電確認音>
充電開始／終了時の音を設定する

充電開始、終了時に「ピピッ」と確認音を鳴らします。

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**その他音設定**
▶**充電確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 充電確認音の音量は変更できません。
- 電源を切っているときや、待受画面以外を表示中、マナーモード中、公共モード(ドライブモード)中は、充電確認音は鳴りません。

<通話品質アラーム>
通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

電波の状態が悪く、途中で通話が切れそうなとき、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**
▶**通話品質アラーム**▶**アラームを選択**

アラームなし. . . .お知らせしません。
アラーム高音. . . .高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音. . . .低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

お知らせ

- 急に電波の状態が悪くなったときは、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

＜メール／メッセージ鳴動＞

メールやメッセージR/Fの着信音が鳴る時間を設定する

iモードメール、SMS、メッセージR/F、iコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音が鳴る時間を設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**音／バイブ／マナー**▶**その他音設定**
▶**メール／メッセージ鳴動**
▶**メールやメッセージの種類を選択**▶**ON･OFF**
▶**鳴動時間(秒)を入力**

- 「01」～「30」の2桁を入力します。

＜イヤホン切替設定＞

イヤホンからのみ着信音を鳴らす

イヤホンマイク(別売)を接続したとき、着信音やアラームの鳴る場所を設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信･通話設定**
▶**イヤホン機能設定**▶**イヤホン切替設定**
▶**イヤホンとスピーカー･イヤホンのみ**

お知らせ

- 「イヤホンのみ」に設定していても、着信中は着信音が鳴って約20秒後にイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。ただし、電話やメールなどの着信時やアラーム通知時以外の操作で着信音を鳴らしている場合は、約20秒たってもスピーカーから音は鳴らずにイヤホンのみから音が鳴ります。
- 「イヤホンのみ」に設定していても、イヤホンマイクを接続していないときや、カメラでの撮影開始時は、スピーカーから音が鳴ります。

お知らせ

- 以下の場合は本機能の設定に関わらず、イヤホンマイクを接続しているときはイヤホンから、接続していないときはスピーカーから音が鳴ります。
  - ･ワンセグ視聴中　･ビデオ再生中　･iモーション再生中
  - ･ムービー再生中　･メロディ再生中　･iアプリ起動中
  - ･ミュージックプレーヤーで音楽を再生中
  - ･Music&Videoチャネルで番組を再生中
- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。
- 通話中にイヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

＜マナーモード＞

電話から鳴る音を消す

着信音やボタン確認音、アラーム音などの音がFOMA端末から鳴らないようにボタン1つで設定できます。
マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選べます。
「マナーモード」、「スーパーサイレント」設定中、または「オリジナルマナー」で「通話中マイク感度」を「アップ」に設定中は、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。

1 **#または を1秒以上押す**

「マナーモード選択」で選択したマナーモードに設定されます。

- 通話中、音声電話の呼び出し中に#を1秒以上押してもマナーモードに設定できます。「ピピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定した旨のメッセージが表示されます。
- マナーモードに設定中は「 」が表示されます。また、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。
  - ：「バイブレータ」でお知らせ
  - ･ ･ ：「着信音量」を「消去」に設定

お知らせ

- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音･フォーカスロック音や、ボイスレコーダーの録音開始音･終了音は鳴ります。

お知らせ

- マナーモード設定中にメロディを再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「着信音量」の「電話」で設定した音量でメロディが鳴ります。「消去」、「ステップ」に設定したときはレベル2で鳴ります。
- マナーモード設定中に以下の操作を行うと、音声や音楽を再生するかどうかの確認画面が表示されます。
  ･デコメアニメの再生　･ワンセグの視聴　･ビデオの再生
  ･サイト表示中のFlash画像再生　･ｉモーションの再生　･ムービーの再生
  ･ミュージックプレーヤーでの音楽再生
  ･Music&Videoチャネルでの番組再生
  「YES」を選択すると各プレーヤーで設定した音量で再生されます。音量を変更した場合、次回も設定した音量で再生されます。
- イヤホンマイク（別売）を接続しているときはイヤホンから音が鳴ります。マナーモード設定中に音声や音楽を再生する際の確認画面は表示されません。また、各プレーヤーで音声や音楽などを再生中にイヤホンマイクを外しても、スピーカーから音は鳴りません。

マナーモードを解除するには

#または[マナーキー]を1秒以上押します。
- 通話中、音声電話の呼び出し中に#を1秒以上押してもマナーモードを解除できます。「ピピッ」という音が鳴り、解除した旨のメッセージが表示されます。

マナーモードを自動的に設定／解除する

設定した時刻にマナーモードを自動的に設定／解除できます。マナーモードの起動時間、解除時間をそれぞれ2件まで登録できます。

1 **MENU▶本体設定▶音／バイブ／マナー▶マナーモード設定▶マナー起動時間設定･マナー解除時間設定▶登録したい項目を選んで📷TV（編集）▶以下の操作を行う**

時刻	▶起動時刻、解除時刻を入力
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて📷TV（完了）を押します。

2 **📷TV（完了）を押す**
- 他の設定が同じ時刻で登録されている場合は、設定OFFで登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
  D：毎日繰り返し
  W：曜日指定繰り返し

マナー起動時間設定･マナー解除時間設定のサブメニュー

編集	P.109手順1へ進みます。
詳細表示	登録内容を表示します。 ●●（選択）を押しても表示できます。
完了（1件ON）	登録済みの設定をONにします。 ●iα（ON/OFF）を押してもON／OFFできます。
1件OFF	登録済みの設定をOFFにします。 ▶YES ●iα（ON/OFF）を押してもON／OFFできます。
全件OFF	登録済みの設定をすべてOFFにします。 ▶YES

お知らせ

- 電源を切っているときや、他の機能が起動中は、起動時間･解除時間になってもマナーモードの起動･解除は行われません。起動時間･解除時間に他の機能が起動中だった場合、機能の終了後にマナーモードの起動･解除が行われます。

<マナーモード選択>

マナーモードを選択する

マナーモード設定中の動作を3種類から選択します。

■マナーモード設定中の動作

<table>
<tr><th></th><th>マナーモード</th><th>スーパーサイレント</th><th>オリジナルマナー</th></tr>
<tr><td>伝言メモ</td><td colspan="2">伝言メモ設定値</td><td>ONまたはOFF</td></tr>
<tr><td>バイブレータ※1</td><td colspan="2">ON</td><td>ONまたはOFF</td></tr>
<tr><td>電話着信音量</td><td colspan="2">消去</td><td>消去～レベル6･ステップ①</td></tr>
<tr><td>メール着信音量</td><td colspan="2">消去</td><td>消去～レベル6･ステップ②</td></tr>
<tr><td>アラーム音量</td><td colspan="2">消去※2</td><td>消去～レベル6･ステップ</td></tr>
<tr><td>ｉアプリ音量</td><td colspan="2">消去</td><td>消去～レベル6</td></tr>
<tr><td>メモ確認音</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>ONまたはOFF③</td></tr>
<tr><td>ボタン確認音</td><td colspan="2">OFF</td><td>ONまたはOFF④</td></tr>
<tr><td>通話中マイク感度</td><td colspan="2">アップ</td><td>標準またはアップ</td></tr>
<tr><td>低電圧アラーム
（電池切れアラーム）</td><td colspan="2">OFF</td><td>ONまたはOFF
ONのときは①と同じ設定値で動作※3</td></tr>
<tr><td>着信音選択中の確認音</td><td colspan="2">消去</td><td>①･②と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>応答保留音</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作※4</td></tr>
<tr><td>通話中保留音</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作※5</td></tr>
<tr><td>トルカ取得音･取得失敗音</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作※5</td></tr>
<tr><td>おしゃべり録音時の確認音</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>③と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>電池残量確認音</td><td colspan="2">消去</td><td>④と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>不在着信･新着メールの確認音</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作※4</td></tr>
<tr><td>添付メロディの鳴動音</td><td colspan="2">消去</td><td>消去</td></tr>
<tr><td>デコメアニメ®の効果音</td><td colspan="2">消去</td><td>消去</td></tr>
<tr><td>各種警告音</td><td colspan="2">消去</td><td>④と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>スケジュールアラーム</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>ToDoリストアラーム</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>視聴予約アラーム※6</td><td colspan="2">消去</td><td>消去</td></tr>
<tr><td>録画予約アラーム</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>カメラのシャッター音･フォーカスロック音
ボイスレコーダーの録音開始音･終了音</td><td colspan="2">レベル4</td><td>レベル4</td></tr>
<tr><td>シャッター音選択中の確認音</td><td colspan="2">OFF</td><td>①と同じ設定値で動作※4</td></tr>
<tr><td>「ハンズフリー切替」によるハンズフリー切替</td><td colspan="2">OFF</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>サイト表示中のFlash画像の効果音</td><td colspan="2">消去</td><td>消去</td></tr>
<tr><td>ピクチャビューアで表示したFlash画像の効果音</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作※4</td></tr>
<tr><td>ｉウィジェット起動時の効果音</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作※4</td></tr>
</table>

※1 以下の音を振動でお知らせします。
着信音･「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」「録画予約」のアラーム音
バイブレータのパターンはP.106での設定と同じになります。ただし、P.106の設定を「OFF」にした場合は、「パターン2」で振動します。
不在着信、新着メール確認音
不在着信または新着メールがあるときは約1秒間振動します。不在着信も新着メールもないときは約0.2秒間振動します。

※2 P.425「アラーム音優先」を「アラーム優先する」に設定しているときは、アラームで設定した音量で鳴ります。

※3 ①が「消去」のときはレベル1で鳴ります。

※4 ①が「ステップ」のときはレベル2で鳴ります。

※5 ①が「消去」以外のときはレベル4で鳴ります。

※6 P.264「アラーム音優先設定」を「アラーム優先する」に設定しているときは、視聴予約で設定した音量で鳴ります。

電話やメールの着信をバイブレータでお知らせする標準的な「マナーモード」、受話口から鳴る確認音なども消去する「スーパーサイレント」、動作をお好みで設定できる「オリジナルマナー」から選択できます。

1 MENU ▶**本体設定**▶**音/バイブ/マナー**▶**マナーモード設定**▶**マナーモード選択**▶**マナーモード・スーパーサイレント・オリジナルマナー**▶**オリジナルマナー設定時は以下の操作を行う**

伝言メモ	▶ON・OFF ●呼出時間は「伝言メモ設定」で設定した時間になります。「伝言メモ設定」を「OFF」に設定している場合は約13秒になります。 ●伝言メモ設定についてはP.83参照。
バイブレータ	電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。 ▶ON・OFF ●バイブレータについてはP.106参照。
電話着信音量	音声電話、テレビ電話の着信音量を調節します。 ▶◎で音量を調節 ●着信音量についてはP.105参照。
メール着信音量	iモードメール、SMS、メッセージR/F、iコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音量を調節します。 ▶◎で音量を調節 ●着信音量についてはP.105参照。
アラーム音量	▶◎で音量を調節 ●アラームについてはP.424参照。
iアプリ音量	▶◎で音量を調節
メモ確認音	伝言メモの再生時、音声メモの録音・再生時の確認音を鳴らします。 ▶ON・OFF
ボタン確認音	▶ON・OFF ●ボタン確認音についてはP.107参照。
通話中マイク感度	▶標準・アップ
低電圧アラーム	▶ON・OFF ●低電圧アラーム(電池切れアラーム)についてはP.55参照。

2 📷TV(完了)**を押す**

<待受画面設定>

待受画面の表示を変更する

待受画面に表示する画像を設定します。待受画面を表示するたびに指定したフォルダの画像をランダムに表示したり、FOMA端末で撮影した動画やサイトから取得したiモーションなどを待受画面に設定したりできます。

1 MENU ▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**待受画面設定**▶**待受画面**▶**画像の種類を選択**

●「カレンダー」を選択した場合は、「背景画像あり」または「背景画像なし」を選択します。「背景画像なし」を選択すると設定が終了します。

●「iアプリ待受画面」を選択した場合は、iアプリを選択します。設定が終了します。

2 **フォルダを選択**▶**画像を選択**▶**表示方法を選択**

センタリング表示‥‥‥画面の中央に表示します。
画面サイズで表示‥‥‥画面サイズに合わせて表示します。
並べて表示‥‥‥‥‥画面の左上から並べて表示します。
全画面表示‥‥‥‥‥全画面で表示します。

●手順1で選択した項目によっては、画像や表示方法を選択できない場合があります。

●選択した画像によっては、設定可能な画像サイズ、ファイルサイズに変換した画像が新規保存され、待受画面に設定されます。

●「iモードで探す」を選択した場合はP.209参照。

カレンダーを設定したときは

簡単な操作でカレンダーを確認したり、スケジュールを登録(P.427参照)できます。
待受画面で●を押すと、カレンダーの操作が可能になります。
カレンダーを選択し、○を押すと前後のカレンダーを表示できます。
●(選択)を押すとスケジュールを登録できます。

自作アニメ、アニメーションGIFを設定したときは

待受画面を表示したとき、待受画面表示中に[終話]を押したとき、FOMA端末を開いたときにアニメーションで表示され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

Flash画像を設定したときは

待受画面を表示したとき、待受画面表示中に[終話]を押したとき、FOMA端末を開いたときに再生され、画像が停止したときの画面が待受画面として表示されます。
- プログレッシブ型のFLVを含んだFlash画像を設定した場合、FLVは再生されません。

ｉモーションを設定したときは

待受画面表示中に[終話]を押したとき、FOMA端末を開いたときに再生され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。
- 再生中に○を押すと、音量を調節できます。
  ●、○、MENU、[カメラ/TV]、[メール]、[iα]、CLR、[開始]、[終話]を押すと、再生が終了します。
- マナーモード中に再生すると音声は再生されません。

お知らせ
- ｉモーションによっては、正しく表示されない場合があります。
- 設定できる画像はJPEG画像、GIF画像、SWF画像です。ただし、GIF画像、SWF画像、著作権のあるJPEG画像で待受(480×854)を超える画像サイズまたは500Kバイトを超えるファイルサイズの場合、待受画面に設定できません。
- 「カレンダー」を選択した場合、背景にきせかえツールやFlashの画像を設定することはできません。
- 「カレンダー」、「ｉアプリ待受画面」を選択した場合、マチキャラは解除されます。

お知らせ
- 本機能の設定に関わらず、ecoモード中は専用の画像が表示されます。
- 2in1利用中はそれぞれのモードでの待受画面が設定されます。ただし、「ｉアプリ待受画面」、「ランダム待受画面」はAモード中のみ選択できます。
- 画像やｉモーションによっては、待受画面に設定できない場合や「ランダム待受画面」で表示できない場合があります。また、画像によっては正しい表示方向で表示されない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

待受画面(ビューアスタイル)を設定する

1 **MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶待受画面設定▶待受画面(ビューアスタイル)▶マイピクチャ▶フォルダを選択▶画像を選択**

- 選択した画像によっては、設定可能な画像サイズ、ファイルサイズに変換した画像が新規保存され、待受画面(ビューアスタイル)に設定されます。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。

お知らせ
- 設定できる画像はJPEG画像です。ただし、著作権のあるJPEG画像で1520×854ドットを超える画像サイズまたは500Kバイトを超えるファイルサイズの場合、待受画面(ビューアスタイル)に設定できません。
- 画像サイズが縦854ドットを超える画像は、縦横比を保ったまま縦854ドット以下に縮小されます。縮小後の画像サイズが横1520ドットを超える画像は、待受画面(ビューアスタイル)に設定できません。
- 2in1利用中はそれぞれのモードでの待受画面(ビューアスタイル)が設定されます。
- 設定した画像は、ホームメニュー、カスタマイズメニュー、ノーマルメニューでも表示されます。
- 画像のサイズによっては、待受画面(ビューアスタイル)とホームメニューでは画像の左端部分、カスタマイズメニューでは中央部分、ノーマルメニューでは右端部分が表示されます。また、サイズによっては画像の一部を表示できない場合があります。

電池アイコンやアンテナアイコンを設定する

電池アイコンやアンテナアイコンの表示を設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**待受画面設定**▶**アイコンパターン**▶**電池アイコン・アンテナアイコン**▶**パターンを選択**

<各種画面設定>

ウェイクアップ画面や発着信時などの画面を設定する

ウェイクアップ画面を設定する

電源を入れたときに表示する画像やメッセージを設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**各種画面設定**▶**ウェイクアップ表示**▶**画像の種類を選択**▶**フォルダを選択**▶**画像を選択**

- 「メッセージ」を選択した場合は、メッセージを入力します。全角50文字/半角100文字まで入力できます。
- 選択した画像によっては、設定可能な画像サイズ、ファイルサイズに変換した画像が新規保存され、ウェイクアップ画面に設定されます。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。

発着信時などの画面を設定する

発着信、メール送受信、問い合わせ中に表示する画像を設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**各種画面設定**▶**画面の種類を選択**

- 「電話着信」「テレビ電話着信」を選択した場合は、「着信画面」を選択します。
- 「メール受信」を選択した場合は、「メール着信画面」を選択します。
- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択して📷TV（デモ）を押すと、実際に再生／表示される内容を確認できます。

2 **画像の種類を選択**▶**フォルダを選択**▶**画像を選択**

- 手順1で選択した項目によっては、画像の種類を選択できない場合があります。
- 選択した画像によっては、設定可能な画像サイズ、ファイルサイズに変換した画像が新規保存され、それぞれの画面に設定されます。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。

お知らせ

- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択し、「着信音」を選択すると、着信音を設定できます。P.104手順2へ進みます。
- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択すると、2in1のモードがAモードの場合はAナンバー（Aアドレス）の着信画面、Bモードの場合はBナンバー（Bアドレス）の着信画面が設定されます。デュアルモードの場合はどちらの着信画面を設定するか選択します。
- 本機能の設定に関わらず、ecoモード中は専用の画像が表示されます。
- 着信画面の優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「電話帳画像着信設定」→「各種画面設定」の順になります。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）と着信画面に設定した場合、着信時には着信画面よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーションを着信音に設定した場合は、着信画面に設定したｉモーションが再生されます。
- 着信音と着信画面の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の設定で動作することがあります。

お知らせ

- 画像やｉモーションによっては各種画面に設定できない場合があります。また、画像によっては正しい表示方向で表示されない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

<電話帳画像着信設定>

電話帳に登録した画像を着信中に表示する

相手が通知してきた発信者番号と電話帳に登録した電話番号が同じである場合、電話帳に登録してある静止画を表示します。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**着信詳細設定**▶**電話帳画像着信設定**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 着信画面の優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「電話帳画像着信設定」→「各種画面設定」の順になります。

<照明設定>

ディスプレイとボタンの照明を設定する

1 MENU▶**本体設定**▶**照明・イルミネーション**▶**照明設定**▶**以下の操作を行う**

通常時	通常時にディスプレイを明るく点灯させるかどうかを設定します。また、省電力モードになるまでの時間も設定します。 ▶ON・OFF ●「ON」に設定した場合は、点灯時間を選択します。 ▶**省電力移行時間(秒)を入力** ●「015」～「300」の3桁を入力します。
充電時	▶**通常時と同じ・長時間点灯** **通常時と同じ**．．．通常時と同じ設定で充電中も点灯します。 **長時間点灯**．．．．．通常時と同じ設定で充電中も点灯しますが、省電力モードに切り替わるのは約3時間後になります。 ●ACアダプタ（別売）などを接続しているときは、充電完了後も本機能の設定に従って点灯します。
範囲	点灯させる範囲を設定します。 ▶**液晶＋ボタン・液晶**
明るさ	ディスプレイの明るさを自動調整するかどうかを設定します。また、明るさをレベル1（暗い）～レベル6（明るい）で調節します。 ▶**自動調整ON・自動調整OFF**▶**明るさを選択** ●「自動調整ON」に設定すると、「範囲」で設定した箇所が、光センサーで感知した周囲の明るさに合わせて自動調整されます。

お知らせ

- 「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときなどに「範囲」で設定した箇所が、「点灯時間」で設定した秒数点灯します。カメラ起動中、ｉモーション再生中、ムービー再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定に関わらず、常時点灯します。
- テレビ電話中の照明設定についてはP.88参照。
- ワンセグ視聴中の照明設定についてはP.268参照。
- ｉモードメールやメッセージR/Fの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
- 何も操作しないで設定した時間が経過すると省電力モードに切り替わり、ディスプレイの表示が消えます。ただし、起動中の機能によっては省電力モードに切り替わらない場合があります。
- 待受画面にｉモーションを設定している場合は、再生終了後に省電力移行時間が経過すると省電力モードに切り替わります。

お知らせ

- FOMA端末を操作したときや電話がかかってきたときなどにはディスプレイが表示されます。ただし、公共モード（ドライブモード）中に電話がかかってきたときはディスプレイは表示されません。
- 省電力モード中にイヤホンマイク（別売）のスイッチを押すと、省電力モードは解除されますが、電話発信などの動作は行いません。ただし、通話中（マルチ接続中を除く）にイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押した場合は、省電力モードが解除されると同時に通話を終了します。

＜ecoモード＞
ecoモードに切り替える

電池の消費を抑えるecoモードにボタン1つで設定できます。

1 **5を1秒以上押す**

「」が表示され、ecoモードに設定されます。
- ecoモードを解除するには、同様の操作を行います。
- ｉアプリ起動中、文字入力中は、5を1秒以上押してもecoモードの設定／解除はできません。

お知らせ

- ecoモードに設定しても各機能の設定は変更されません。また、ecoモード中に各機能で設定を変更してもecoモードの動作には影響しません。（発着信番号表示設定は除く）
- 「待受画面設定」の「待受画面」、「各種画面設定」（「ウェイクアップ表示」を除く）、「カラーテーマ設定」の設定に関わらず、ecoモード中は専用の画像やカラーテーマでディスプレイが表示されます。
- ecoモード中にFOMA端末の電源を切ると、ecoモードは解除されます。

＜液晶AI＞
ディスプレイの画質を自動的に調整する

ｉモーション・ムービー・Music&Videoチャネル・ビデオの再生中や、テレビ電話中、ワンセグ視聴中にディスプレイの明るさを自動的に調整し、その明るさに合わせて画質補正をするかどうかを設定します。

1 **MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶液晶AI▶ON・OFF**

- テレビ電話中やワンセグ視聴中のサブメニューから操作した場合、設定は通話中のテレビ電話や視聴中のワンセグにのみ有効です。

お知らせ

- 「ON」に設定した場合、「照明設定」の「明るさ」で設定したレベル内で明るさを調整します。メニューを選択中も調整されます。
- バックグラウンド再生中は、本機能は無効になります。

＜ビューブラインド＞
周りの人からディスプレイを見えにくくする

コントラスト（濃淡）を調整して、斜めの角度からディスプレイを見えにくくします。

1 **MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶ビューブラインド▶ON・OFF**

- 「ON」に設定したときは待受画面に「」が表示されます。

ビューブラインドのON／OFFをワンタッチで切り替えるには

8を1秒以上押します。
- ｉアプリ起動中、文字入力中は8を1秒以上押してもビューブラインドのON／OFFを切り替えられません。また、デコメアニメ®やFlash画像によっては、表示中にON／OFFを切り替えられない場合があります。

＜表示画質モード設定＞

ディスプレイの画質を設定する

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**表示画質モード設定**▶**項目を選択**

ノーマル .... 標準的な画質
ビビッド .... 色調の鮮やかな画質
ダイナミック.... 動きを強調したダイナミックな画質

●選択中は、確認のためプレビュー画像が表示されます。

＜カラーテーマ設定＞

画面の色の組み合わせを設定する

文字や背景など、画面の配色を設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**カラーテーマ設定**▶**カラーテーマを選択**

●選択中は、確認のため選択しているカラーテーマで画面が表示されます。

お知らせ

●本機能の設定に関わらず、ecoモード中は専用のカラーテーマでディスプレイが表示されます。
●複数の色で表示されているアイコンや画像、ドコモの絵文字、iモード対応のインターネットホームページ（サイト）の色は変わりません。

＜ソフトキー＞

ナビゲーション表示の背景を設定する

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**ソフトキー**▶**パターンを選択**

●選択中は、確認のため選択しているパターンでナビゲーション表示が表示されます。

＜メニューテーマ＞

メインメニューの表示を設定する

メインメニューに表示されるアイコンや背景の画像を変更します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**メニューテーマ**▶**メニュー・オリジナルテーマ**

●「メニュー」に設定すると、きせかえツールで「ノーマル」に設定したときと同じメインメニューが表示されます。

2 **手順1で「オリジナルテーマ」を選択した場合は、変更したいメニューアイコンまたは背景を選択**▶**フォルダを選択**▶**画像を選択**

手順2を繰り返してメニューアイコンまたは背景の画像を設定します。

●メニューアイコンまたは背景選択中に📷TV（デモ）を押すと、現在設定されている画像を確認できます。
●「オリジナルテーマ」に設定したメニューアイコンと背景を「プリインストール」フォルダ内の「スタンダード」に戻すには、MENU（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）を押して「1件リセット」または「全リセット」を選択し、「YES」を選択します。
●「iモードで探す」を選択した場合はP.209参照。

お知らせ

●「オリジナルテーマ」で設定できる画像はJPEG画像、GIF画像です。ただし、GIF画像や著作権のあるJPEG画像で待受（480×854）を超える画像サイズまたは500Kバイトを超えるファイルサイズの場合、「オリジナルテーマ」に設定できません。
●選択した画像によっては、設定可能な画像サイズ、ファイルサイズに変換した画像が新規保存され、「オリジナルテーマ」に設定されます。
●「オリジナルテーマ」で設定した画像を削除した場合は、「プリインストール」フォルダ内の「スタンダード」に戻ります。
●「オリジナルテーマ」に設定し、プリインストールデータ以外の画像を選択した場合、「オリジナルロック」で「マイピクチャ」をロック中はお買い上げ時の画像が表示されます。
●「オリジナルテーマ」に設定すると、「Select language」の設定を切り替えても、メインメニューのアイコンは切り替わりません。

<きせかえツール>

きせかえツールを利用する

きせかえツールを利用すると、着信音や待受画面、メニューアイコンなどをまとめて変更できます。

●きせかえツールのダウンロードについてはP.208参照。
●データBOXからの操作についてはP.385参照。

■きせかえツールで設定できる機能

・着信音選択
・待受画面設定
・各種画面設定
・カラーテーマ設定
・メニューテーマ
・フォント設定
・「待受時計表示」の「表示方法」「表示サイズ」「文字色」
・テロップ文字サイズ設定
・テロップ色設定
・ｉアプリコール音
・アラーム音

●設定できる機能はきせかえツールによって異なります。
●2in1のモードにより個別の設定ができる機能の変更は、変更時のモードに関わらずAモードにのみ反映されます。その他の機能の変更はすべてのモードに反映されます。

1 **MENU▶📷TV(きせかえ)▶フォルダを選択▶きせかえツールを選んで📷TV(一括設定)▶YES**

●現在一括設定されているきせかえツールには、「★」マークが付いています。
●選んだきせかえツールによっては、文字のサイズを変更するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「NO」を選択すると、きせかえツールが正しく設定できない場合があります。
●きせかえツール一覧画面でiα(切替)を押すと、表示方法を変更します。

お知らせ

●きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号(項目番号)が適用されないものがあります。

メインメニューのサブメニュー

機能	説明
入替え機能	メインメニューの項目を手動で入れ替えます。 **▶◎で入れ替え先を選択▶●(選択)▶並び替える▶OK** ●中項目以下のメニューに入れ替えるには、入れ替え先を選択してから「項目から選択」を選択します。
基本構造メニュー呼出	きせかえツールで「ノーマル」に設定したときと同じメインメニューを一時的に表示します。 ●一度メインメニューの表示を終了すると、現在設定されているメインメニューに戻ります。
リセット機能	P.117参照

変更したデザインを元に戻す

きせかえツールで変更された機能をお買い上げ時の状態にリセットできます。

1 **MENU▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶リセット機能▶端末暗証番号を入力▶項目を選択▶YES**

画面／音設定初期化……「■きせかえツールで設定できる機能」をすべてお買い上げ時の状態に戻します。
メニュー画面リセット……メインメニューをお買い上げ時の状態に戻します。
メニュー操作履歴リセット……メインメニューの操作履歴をリセットします。

●待受画面で9を1秒以上押しても、「メニュー画面リセット」を行うことができます。

お知らせ

●「画面／音設定初期化」「メニュー画面リセット」を行っても、「文字サイズ」はリセットされません。
●「メニュー画面リセット」を行っても、「入替え機能」で手動で入れ替えたメインメニューの項目はリセットされません。

<マチキャラ設定>

マチキャラを設定する

マチキャラを設定すると、待受画面で不在着信や新着メール、iコンシェルの新着インフォメーションなどの情報をマチキャラがお知らせします。

- マチキャラのダウンロードについてはP.208参照。
- データBOXからの操作についてはP.381参照。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**マチキャラ設定**▶**ON・OFF**

- マチキャラを解除するには「OFF」を選択します。

2 **フォルダを選択**▶**マチキャラを選んで**📷TV(設定)

- 現在設定されているマチキャラには、「★」マークが付いています。
- マチキャラを選んで●(選択)を押すと、マチキャラを確認できます。

お知らせ

- 以下の場合はマチキャラは表示されません。
  - ・ダイヤルロック中　　・おまかせロック中
  - ・待受画面のアイコンなどを選択中

  ただし、待受画面にiコンシェルのインフォメーションを表示している場合は、アイコンなどを選択中でもマチキャラは表示されます。
- 「待受画面設定」の「待受画面」に「カレンダー」もしくは「iアプリ待受画面」を設定している場合は、マチキャラを設定できません。
- マチキャラによっては、設定後の経過時間、積算時間、メール送受信数により、表示が変化するものがあります。これらのマチキャラをmicroSDカードに移動したり、「一括情報リセット」を行うと、最初の表示に戻ります。

<イルミネーション設定>

着信／充電ランプの色などを設定する

1 MENU▶**本体設定**▶**照明・イルミネーション**▶**イルミネーション設定**▶**以下の操作を行う**

項目	内容
着信イルミネーション	P.119参照
通話中イルミネーション	通話中のイルミネーションを設定します。 ▶**項目を選択** ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが光ります。 ●伝言メモの動作中、応答保留中なども通話中と同じ色で光ります。
Music&Video Chイルミネーション	Music&Videoチャネルの番組取得が完了すると約5秒間隔で約30分間光ります。 ▶**ON・OFF**
時報イルミネーション	音と着信／充電ランプで定時刻(毎時0分)をお知らせします。 ▶**パターンを選択** **OFF** . . . . 着信／充電ランプは光りません。 **パターン1** . . . 固定の音が鳴り、着信／充電ランプが固定の色で光ります。 **パターン2** . . . 時刻ごとに、音や着信／充電ランプのパターンが変化します。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが光り、時報音が鳴ります。 ●待受画面以外を表示中やダイヤルロック、おまかせロック中は動作しません。 ●時報の音量は変更できません。
ミュージックイルミネーション	ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネルの再生開始時に光ります。 ▶**ON・OFF**

Bluetooth イルミネーション	Bluetooth機器と接続中に光ります。 ▶ON･OFF ●接続が完了すると、約5秒間隔で約5分間光ります。

着信イルミネーション

着信の種類ごとにイルミネーションを設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**照明･イルミネーション**▶**イルミネーション設定**▶**着信イルミネーション**▶**以下の操作を行う**

項目		操作・補足
着信イルミネーション選択		▶**着信の種類を選択**▶**項目を選択** ●色1～12を順番に光らせる場合は「グラデーション」を選択します。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが光ります。
パターン設定		着信イルミネーションが光るパターンを設定します。 ▶**パターンを選択** **固定パターン**...同じパターンを繰り返して光ります。 **メロディ連動**...着信音に合わせて光ります。
カラー設定		
	カラー名編集	▶**色を選択**▶**名前を入力** ●「色1～12」のみ編集できます。 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
	カラー調節	▶**色を選択**▶**カラーを調節** ●「色1～12」のみ調節できます。 ●Ⓞで色を選びⓄで色調を変更します。 ●調節中は、確認のため着信／充電ランプが光ります。
不在お知らせ		不在着信や新着メール、新着メッセージR/Fがあるときに約5秒間隔で光ります。 ▶**項目を選択** **確認後に消灯**.....不在着信などを確認するまでイルミネーションが光ります。 **24時間後に消灯**...不在着信などを確認していなくても、約24時間後に自動的に消灯します。 OFF............着信／充電ランプは光りません。

お知らせ

<着信イルミネーション選択>
- 着信イルミネーションの優先順位は、「個別着信音／画像」→「グループ着信音／画像」→「着信イルミネーション選択」の順になります。
- 「電話」「テレビ電話」「メール」を選択すると、2in1のモードがAモードの場合はAナンバー(Aアドレス)の着信イルミネーション、Bモードの場合はBナンバー(Bアドレス)の着信イルミネーションが設定されます。デュアルモードの場合はどちらの着信イルミネーションを設定するかを選択します。

<パターン設定>
- 「着信イルミネーション選択」を「色1～12」、「グラデーション」以外に設定した場合は、各イルミネーション固有のパターンで光ります。
- パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合は、「固定パターン」で光ります。

<不在／新着確認設定>

不在着信や新着メールを音と着信／充電ランプで確認する

不在着信・新着メール・伝言メモ・留守番電話があるかないかを、FOMA端末を閉じたまま[?]を押して確認します。本機能を利用するには、「サイドボタン設定」を「閉じた時有効」に設定しておく必要があります。

1 **[MENU]▶電話機能▶発着信・通話設定▶着信詳細設定▶不在／新着確認設定▶ON・OFF**

ON . . . . . . 不在着信や新着メールがあるかないかを確認音と着信／充電ランプでお知らせします。
OFF . . . . . 確認の機能をOFFにします。

FOMA端末を閉じた状態で[?]を押すと

不在着信や新着メールがあるとき
（待受画面に「不在着信あり」、「新着メールあり」のアイコンのいずれかが表示されているとき）
「ピピ、ピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約6秒間光ります。
不在着信や新着メールがないとき
「ピピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約6秒間光ります。

お知らせ

- ｉモードセンターに保管されているメールは本機能で確認できません。
- 起動中の機能によっては、確認機能が動作しない場合があります。
- 確認音の音量は変更できません。
- 「バイブレータ設定」の「電話」を「OFF」以外に設定しているときは、不在着信、新着メールともに着信／充電ランプと振動でお知らせします。
- 振動でのお知らせは次のようになります。
  - ・不在着信または新着メールがあるときは約1秒間振動します。
  - ・不在着信も新着メールもないときは約0.2秒間振動します。

<フォント設定>

文字のフォント（書体）やサイズを変更する

1 **[7]（1秒以上）▶以下の操作を行う**

項目	説明
太さ	文字の太さを変更します。 ▶**細字・太字**
文字サイズ	
中	文字サイズなど変更可能な項目を一括で「中」に設定します。
特大	文字サイズなど変更可能な項目を一括で「特大」に設定します。 ●「ｉチャネル」の「テロップ表示設定」内の「テロップ文字サイズ設定」は「大」に設定されます。
個別設定	
文字入力	文字入力中やメール作成画面、SMS作成画面の文字サイズを設定します。 ▶**「小」・「中」・「大」・「特大」▶[📷TV]（完了）**
メール	メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面や「メール設定」内などの文字サイズを設定します。 ▶**「極小」・「小」・「中」・「大」・「特大」▶[📷TV]（完了）** ●メール詳細画面表示中は[○]を1秒以上押しても文字サイズを変更できます。 ●デコメアニメ®の本文やデコメ絵文字®の文字サイズは変わりません。
ｉモード	ｉモード表示時の文字サイズを設定します。 ▶**「小」・「中」・「大」・「特大」・「超大」▶[📷TV]（完了）**
フルブラウザ	フルブラウザ表示時の文字サイズを設定します。 ▶**「小」・「中」・「大」・「特大」・「超大」▶[📷TV]（完了）**
電話帳	電話帳・プロフィールの文字サイズを設定します。 ▶**「中」・「特大」▶[📷TV]（完了）**

発着信履歴	リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧の文字サイズを設定します。 ▶「中」・「特大」▶ 📷TV（完了）
ｉチャネルテロップ	ｉチャネルのテロップの文字サイズを設定します。 ▶「小」・「中」・「大」▶ 📷TV（完了）

お知らせ

- 電話番号入力や時計表示などの文字は変更できません。
- 機能によっては、設定した文字サイズで表示されない場合があります。

<発着信番号表示設定>

発着信中の文字の色を変更する

以下の画面に表示される電話番号や名前などの文字色を設定します。

・発信中／着信中／通話中画面　・発信履歴／着信履歴／リダイヤル
・着もじの送信メッセージ履歴　・送受信アドレス一覧

1 **MENU ▶ 電話機能 ▶ 発着信・通話設定 ▶ 着信詳細設定 ▶ 発着信番号表示設定 ▶ 色を選択**

- iα（切替）を押して16色・256色を切り替えることができます。
- 📷TV（リセット）を押すと設定した色をリセットできます。

お知らせ

- 「カラーテーマ設定」「きせかえツール」で背景色を変更すると、文字色も自動的に変更されます。
- 絵文字の色は変更できません。
- 2in1のモードがAモードの場合はAナンバー（Aアドレス）の文字色、Bモードの場合はBナンバー（Bアドレス）の文字色が設定されます。デュアルモードの場合はどちらの文字色を設定するかを選択します。

<待受時計表示>

待受時計の表示を設定する

待受画面に表示される時計の表示方法などを設定します。

1 **MENU ▶ 本体設定 ▶ 時計 ▶ 待受時計表示**

- 「MENU ▶ 本体設定 ▶ 画面・ディスプレイ ▶ 待受画面設定 ▶ 待受時計表示」の操作を行っても「待受時計表示」を設定できます。

2 **以下の操作を行う**

- 各機能の設定やFOMA端末の状態によっては、本機能の設定が反映されないことがあります。

表示方法	時計の表示方法を設定します。 ▶日本語・英語・OFF
表示サイズ	▶大きく表示・小さく表示・上に小さく表示
文字色	▶ブラック・ホワイト

<Select language>

画面を英語表示に切り替える

1 **MENU ▶ 本体設定 ▶ 文字表示／入力 ▶ Select language ▶ 日本語・English**

- 英語表示から日本語表示に戻すには「MENU ▶ Setting ▶ Text display/input ▶ バイリンガル ▶ 日本語」の操作を行います。
- 日本語（日本語表示）とEnglish（英語表示）では、以下の機能の項目が異なります。

機能	日本語	English
待受時計表示の「表示方法」	日本語 英語 OFF	選択不可 ON OFF
使いかたガイド	操作可能	操作不可
タッチ操作ガイド	操作可能	操作不可

つづく

お知らせ

- FOMAカードを挿入している場合、「Select language」の設定はFOMAカードに保存されます。

あんしん設定

暗証番号

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

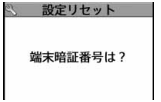
■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とFOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.126参照）

端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、●（確定）を押します。



- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してからもう一度操作してください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、iモードからは、「iMenu」→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ネットワーク暗証番号変更」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります。（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）
iモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.192参照）
iモードから変更される場合は、「iMenu」→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「iモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.126参照）
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4〜8桁の番号（コード）です。
PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4〜8桁の暗証番号です。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コード／PIN2コード入力の画面が表示された場合は、4〜8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、●（確定）を押します。

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。
- 3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。（入力可能な残りの回数は画面に表示されます）
  正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると、入力可能な残りの回数が3回に戻ります。



PIN1コードの場合

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。



＜端末暗証番号変更＞

端末暗証番号を変更する

FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の各種機能用の端末暗証番号（4～8桁）に変更しておきましょう。変更した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**端末暗証番号変更**▶**現在設定されている端末暗証番号を入力**

- お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。

2 **新しい端末暗証番号（4～8桁）を入力**▶**YES**

＜PIN設定＞

PINコードを設定する

PIN1コード入力設定

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力しないと使用できないように設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**PIN設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**PIN1コード入力設定**▶**ON・OFF**▶**PIN1コードを入力**

- PIN1コードについてはP.125参照。

PIN1コード変更・PIN2コード変更

PIN1コードを変更するには、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**PIN設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**PIN1コード変更・PIN2コード変更**▶**現在設定されているPIN1コード／PIN2コードを入力**

- PIN1コード／PIN2コードについてはP.125参照。

2 **新しいPIN1コード／PIN2コード（4～8桁）を入力**

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

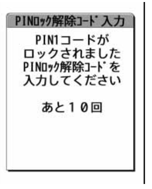
3 **新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力**

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力が必要な画面で、3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。その場合は、いったんPIN1コード／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

1 **PINロック解除コード（8桁）を入力**

- 入力した解除コードは「_」で表示されます。



2 新しいPIN1コード／PIN2コード(4～8桁)を入力

●入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力

<ダイヤルロック>

他の人が使用できないようにする

ダイヤルロックをかけると電話の応答、電源のON／OFF以外の操作ができなくなります。また、ダイヤルロック中はICカードロックがかかります。

1 MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶ロック▶端末暗証番号を入力▶ダイヤルロック

「 」と「ダイヤルロック」が表示され、ダイヤルロックが設定されます。

●ダイヤルロックを解除するには、待受画面で端末暗証番号を入力します。電源を切ってもダイヤルロックは解除されません。

お知らせ

●ダイヤルロック中は電話をかけることができません。ただし、緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると発信できます。
●電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている名前、画像などは表示されず、電話番号だけが表示されます。
●着信画面や着信音にプリインストールデータ以外の画像や音が設定されている場合は、お買い上げ時の設定で動作します。
●ダイヤルロック中でもGPSの位置提供は可能です。
●ダイヤルロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度の電源ONは可能です。
●ダイヤルロック中は、メールやメッセージR/Fの受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージR/F受信中、受信結果の画面は表示されません。ダイヤルロック解除後に「 」「 」「 」などのアイコンが表示されます。

お知らせ

●ダイヤルロック中は、「 」「 」「 」を除きデスクトップのお知らせアイコン、貼り付けアイコンは表示されません。ダイヤルロック解除後に再表示されます。
●ダイヤルロック中は、ｉチャネルのテロップは表示されません。

<おまかせロック>

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからなくても、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、解約・利用休止・電話番号変更・紛失時などで新しいFOMAカードの発行(番号を指定してロックした場合のみ)を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかかりません。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります(ただしご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります)。
※おまかせロック中も「位置提供設定」を許可する設定にしていれば、ケータイお探しサービスなどのGPS機能の位置提供要求に対応します。

■おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間 24時間(年中無休)
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
●パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

●おまかせロックの詳細については「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

おまかせロックを設定すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- おまかせロック中は、音声電話／テレビ電話の着信に対する応答･応答保留、電源ON／OFF、通話中の受話音量調節の操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ICカード機能を含む）を使用することができなくなります。
- 音声電話、テレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録されている相手の名前や画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。また、着信画面や着信音にプリインストールデータ以外の画像や音を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- おまかせロック中に受信したメールは、iモードセンターに保存されます。
- 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 他の機能が起動中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用できます。ただし、おまかせロックをかける前に公共モード（ドライブモード）を設定していた場合は、音声電話、テレビ電話の着信もできなくなります。
- FOMA端末の圏外･電源OFF時･海外での使用時はロックおよびロック解除はできません。その他お客様の利用方法などにより、ロックおよび解除ができない場合があります。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

<セルフモード>
セルフモードを利用する

すべての通話、通信機能が使用できないように設定します。
セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスを利用できます。

1 MENU▶**本体設定**▶**その他設定**▶**セルフモード**▶**YES**

「self」が表示され、セルフモードが設定されます。

- セルフモードを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- セルフモード中でも緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると、セルフモードを解除して発信します。
- セルフモード中は、メール、エリアメール、メッセージR/Fは受信できません。
- セルフモード中に電話がかかってきても、セルフモード解除後「不在着信あり」や留守番電話サービスのメッセージがあることをお知らせするアイコンなどは表示されません。

<オリジナルロック>

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

個人情報を利用する機能などを利用できないように設定し、他の人にそれらの情報を見られたり操作されたりすることを防ぎます。
お買い上げ時にはオリジナルロック(高)・(中)・(低)それぞれにロックの対象となる機能が設定されていますが、変更することもできます。

オリジナルロックを設定／解除する

1 **MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶ロック▶端末暗証番号を入力▶オリジナルロックのレベルを選択**

「 」が表示され、オリジナルロックが設定されます。

- オリジナルロックを解除するには、「OFF」を選択します。
- オリジナルロックのタイトルを変更する場合は、MENU(サブメニュー)を押して「タイトル編集」を選択します。

オリジナルロックを一時解除するには

オリジナルロック中にロックの対象となっている機能を操作すると、機能によっては、端末暗証番号入力の画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると「 」が消え、機能を一時的に使用できます。

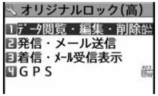
- 他のメニュー機能が起動していない状態で待受画面を表示したときは、再度、オリジナルロックが設定されます。

お知らせ

- オリジナルロック中は、ロックの対象となっている機能によって表示されないお知らせアイコン、貼り付けアイコンがありますが、オリジナルロック解除後に再表示されます。
- オリジナルロック中に「ダイヤルロック」を設定すると「 」が消え、「 」が表示されます。
- オリジナルロック中は、「設定リセット」や「端末初期化」は行えません。また、ロックの対象となっている機能のデータ転送も行えません。

オリジナルロックの対象となる機能を設定する

1 **MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶ロック▶端末暗証番号を入力▶オリジナルロックのレベルを選んで📷TV(詳細)**



オリジナルロック
詳細設定画面

2 **カテゴリを選択▶機能グループを選択**

- 「着信・メール受信表示」、「GPS」のカテゴリを選択した場合は、機能グループを選択する操作は不要です。
- 機能に一括でチェックを付けたり外したりするには、MENU(サブメニュー)を押して「グループ選択／グループ解除」や「全グループ選択／全グループ解除」を選択します。「グループ選択／グループ解除」を選択した場合は選んでいるカテゴリまたは機能グループ内の機能、「全グループ選択／全グループ解除」を選択した場合は全カテゴリまたは全機能グループ内の機能にチェックを付けたり外したりできます。
- いずれかの機能にチェックが付いているカテゴリや機能グループには「 」、すべての機能にチェックが付いているカテゴリや機能グループには「 」が表示されます。

3 **ロックしたい機能にチェック▶📷TV(完了)**

- 機能によってはもう一度📷TV(完了)を押します。

4 **オリジナルロック詳細設定画面で📷TV(完了)を押す**

つづく

■ロックの対象となる機能と動作、およびオリジナルロック(高)・(中)・(低)のお買い上げ時の状態

カテゴリ／機能グループ／機能	動作・補足	高	中	低
データ閲覧・編集・削除				
メール				
メール	メールの作成、送信、受信メールの表示などができません。 ●エリアメール受信時の内容の表示はできます。	○	○	○
ブログ・メールメンバー	ブログ・メールメンバーを利用できません。	○	○	○
iモード				
iモード	iモードやフルブラウザ、iチャネルを利用できません。 ●メールの送受信や、iアプリの通信はできます。 ● iチャネルのテロップも表示されません。 ●「iモード」にチェックを付けると、Bookmarkも利用できません。	○	－	－
Bookmark	Bookmarkを利用できません。	○	－	－
iアプリ				
iアプリ	iアプリやiウィジェットの起動、ICカード一覧の表示ができません。 ● iアプリを待受画面に設定している場合は、お買い上げ時の設定になります。	○	－	－
トルカ				
トルカ	トルカを利用できません。 ●DCMX、トルカは、起動はできませんが、読み取り機にかざして利用することはできます。	○	－	－

カテゴリ／機能グループ／機能	動作・補足	高	中	低
iコンシェル				
iコンシェル	iコンシェルを利用できません。	○	－	－
データBOX・ツール類				
マイピクチャ※1※2	「データBOX」内の各データを表示できません。 ●各データは他の機能からも呼び出せません。	○	○	－
ミュージック※1		○	○	－
Music&Videoチャネル※3		○	○	－
iモーション／ムービー※1		○	○	－
メロディ※1		○	○	－
ワンセグ録画データ		○	○	－
きせかえツール		○	○	－
マチキャラ※4		○	○	－
マイドキュメント		○	○	－
キャラ電※2		○	○	－
ドキュメントビューア		○	○	－
SDその他ファイル		○	○	－
カメラ	カメラを起動できません。	○	○	－
バーコードリーダー	バーコードリーダーの起動や、読み取ったデータの表示ができません。	○	○	－
歩数計	歩数計を利用できません。	○	○	－
手書きフォト／メモ	手書きフォト／メモを利用できません。	○	○	－
おしゃべり機能※1	おしゃべり機能を利用できません。	○	○	－

あんしん設定

カテゴリ／機能グループ／機能	動作・補足	高	中	低
スケジュール				
スケジュール	スケジュールを利用できません。 ●スケジュールのアラーム通知もしません。	○	－	－
アラーム	アラームを利用できません。 ●アラーム通知もしません。	○	－	－
ToDoリスト	ToDoリストを利用できません。 ●ToDoリストのアラーム通知もしません。	○	－	－
手書きダイアリー	手書きダイアリーを利用できません。	○	－	－
メモ				
メモの再生／消去	伝言メモ・音声メモの再生／消去ができません。	○	－	－
テレビ電話メモの再生／消去	テレビ電話伝言メモの再生／消去ができません。	○	－	－
待受中音声メモ	待受中に音声メモの録音ができません。	○	－	－
通話中音声メモ	通話中に音声メモの録音ができません。	○	－	－
電話帳				
電話帳	電話帳を利用できません。 ●他の機能で電話帳を呼び出し／参照することもできません。 ●「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」を「拒否」に設定中はロックできません。 ●電話やメールの着信時は、電話番号やメールアドレスのみが表示され、画像や着信音はお買い上げ時の設定で動作します。	○	○	－
プロフィール	プロフィールを利用できません。	○	○	－
発信履歴	発信履歴、リダイヤル、送信アドレス一覧を利用できません。	○	○	－
着信履歴	着信履歴、受信アドレス一覧を利用できません。	○	○	－
その他				
メモ帳	メモ帳を利用できません。	○	－	－
通話料金通知	通話料金の上限値を超過したときの通知を行いません。	○	－	－
着もじ	着もじを利用できません。	○	－	－
発信・メール送信				
ダイヤル発信				
ダイヤル発信	直接ダイヤル入力した電話などの発信ができません。 ●電話帳の登録、編集、削除もできません。 ●相手の電話番号が電話帳に登録されている場合、電話帳、リダイヤル、発信履歴、着信履歴から発信することはできます。 ●緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。	－	－	－
メール送信				
メールアドレス直接入力	宛先を直接入力したメールなどの作成ができません。 ●電話帳の登録、編集、削除もできません。 ●相手のメールアドレスや電話番号が電話帳に登録されている場合、電話帳、リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から宛先を入力したメールの作成はできます。	－	－	－
メール送信	メールの送信ができません。	－	－	－

つづく

カテゴリ／機能グループ／機能	動作・補足	高	中	低
着信・メール受信表示				
着信	電話やパケット通信の着信ができません。 ●着信があった場合、オリジナルロック解除後に「不在着信あり」のアイコンが表示されます。	－	－	－
メール／メッセージ受信表示	メールやメッセージR/Fを受信しても、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信動作を行わず、受信をお知らせしません。 ●ｉコンシェルのインフォメーションも表示されません。 ●メールやメッセージR/Fを受信した場合、オリジナルロック解除後に「✉」「R」「F」などのアイコンが表示されます。 ●エリアメールを受信した場合は、受信画面や内容の表示を行います。	－	－	－
GPS				
GPS	現在地確認や現在地通知などのGPS機能を利用できません。 ●位置提供は可能です。	○	－	－

○：チェックあり　－：チェックなし

※1　「各種画面設定」や「着信音選択」などにプリインストールデータ以外の画像や音を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。ただし、待受画面は設定している画像が表示されます。

※2　テレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。

※3　Music&Videoチャネルの起動もできません。

※4　待受画面にマチキャラは表示されます。

＜キー操作ロック＞

ボタン操作を自動的にロックする

FOMA端末を閉じたときや、何も操作しないで設定した時間が経過したときに、キー操作ロックが自動的にかかるように設定します。キー操作ロックがかかると、[終話]以外のボタンやタッチパネルでの操作ができなくなります。

●キー操作ロックがかかったときは、着信／充電ランプが水色で光ります。

1 **[MENU]▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶キー操作ロック▶端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う**

クローズ時	FOMA端末を閉じたときにロックがかかります。 ▶**ON・OFF**
タイマー	FOMA端末を何も操作しないで設定した時間が経過したときにロックがかかります。 ▶**OFF・1分後ON・5分後ON・15分後ON・30分後ON**

2 **[📷TV]（完了）を押す**

お知らせ

●「クローズ時」や「タイマー」を「OFF」以外に設定した場合、FOMA端末の電源を切ったときにもキー操作ロックがかかります。

●「クローズ時」と「タイマー」は同時に設定することもできます。

●他の機能が起動しているときは、機能によっては自動でロックがかからないことがあります。その場合は、他の機能が終了したあとにロックがかかります。

キー操作ロックがかかっているときは

- FOMA端末の電源を切ることはできません。
- 音声電話やテレビ電話の着信に対する応答や、「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」「録画予約」のアラーム停止の操作はできます。
- 緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。
- メールやメッセージR/Fの受信はできますが、内容の表示はできません。
- 緊急速報エリアメールを受信したときは、受信結果画面から内容を表示できます。
- 「イヤホンスイッチ発信設定」を「音声発信」に設定していても、イヤホンマイク（別売）のスイッチを押して発信することはできません。
- GPSの位置提供は可能です。
- ｉチャネルのテロップは表示されません。

キー操作ロックを一時解除するには

待受画面で端末暗証番号を入力します。キー操作ロックが解除され、一時的に機能が使用できます。

- メールやメッセージR/Fの受信結果画面で●（選択）を押したときなど、機能によってはロック解除の画面が表示され、キー操作ロックを一時的に解除できます。

<サイドボタン設定>

サイドボタンを操作できないようにする

FOMA端末を閉じたときに[サイドボタン]が効かなくなるよう設定します。かばんの中での誤動作が防止できます。

1 **MENU▶＊（1秒以上）**

「[KEY]」が表示され、「閉じた時無効」に設定されます。

- 「閉じた時有効」に設定するには、同様の操作を行います。

<シークレットモード><シークレット専用モード>

知られたくない電話帳やスケジュールを守る

シークレットデータとして登録した電話帳やスケジュールは、通常のモードでは呼び出し／参照できません。シークレットモード、シークレット専用モードで登録／編集した電話帳やスケジュールはシークレットデータとして登録されます。
シークレットモードではすべてのデータ、シークレット専用モードではシークレットデータだけを呼び出し／参照できます。

1 **MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶シークレットモード・シークレット専用モード▶端末暗証番号を入力**

「シークレットモード」を選択したときは、「[S]」が表示され、シークレットモードになります。
「シークレット専用モード」を選択したときは、「[S]」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されたあと、シークレット専用モードになります。

- 待受画面で4を1秒以上押して端末暗証番号を入力してもシークレットモードになります。
- シークレットモードで電話帳またはスケジュールを呼び出したとき、通常データの場合は「[S]」が点灯したままとなり、シークレットデータの場合は「[S]」が点滅します。
- シークレットモード、シークレット専用モードを解除するには、同様の操作を行うか待受画面で4（1秒以上）または[終話]を押します。

シークレットデータを通常の電話帳・スケジュールに変更するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードで、解除する電話帳・スケジュールのサブメニューから「シークレット解除」を選択します。

お知らせ

- シークレット登録できる電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のみです。
- 通常のモード（「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外）でシークレット登録した相手に電話をかけたときは、発信中や通話中の画面には名前は表示されずに電話番号が表示されます。

つづく

お知らせ

- シークレットデータを呼び出して電話をかけたり、メールを送信したときは、「リダイヤル」「発信履歴」「送信アドレス一覧」には記憶されません。
- シークレット登録した相手からメールを受信したときは、「受信アドレス一覧」には記憶されません。
- 「ダイヤルロック」や「おまかせロック」と、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合、「ダイヤルロック」や「おまかせロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。

<BOXロック>

メールBOX内のメールを無断で表示できないようにする

メールメニューの受信・送信・保存BOXにロックを設定します。ロックを設定したBOX内を表示するときは、端末暗証番号の入力が必要になります。

1 **[メール]▶メール設定▶BOXロック▶端末暗証番号を入力▶設定したいBOXにチェック▶[カメラ/TV]([完了])**

- ロックを設定すると、メールメニューの設定したBOXに「[鍵]」が付きます。(「メニューテーマ」や「きせかえツール」の設定によっては、表示されるマークが異なることがあります。)

お知らせ

- 送信BOXまたは受信BOXにロックを設定すると、送受信BOX内を表示するときにも端末暗証番号の入力が必要になります。
- 送信BOX、受信BOXにロックを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

<個別発着信動作選択>

電話帳に指定機能を設定する

指定発信制限

指定した電話番号以外へ電話をかけられないようにします。FOMA端末を業務用としてお使いになるときは、私用電話の防止に有効です。音声電話をかけるときは、指定した電話帳を呼び出して[発信]または[●]([発信])を押します。(テレビ電話をかけるときは[カメラ/TV]([テレビ電話])を押します。)電話番号は20件まで指定できます。

指定着信拒否

指定した電話番号からの電話がつながらないようにします。「電話を受けたくない相手」からの電話だけがつながらないように設定できます。発信者側には話中音が流れます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「着信拒否設定」もあわせて設定することをおすすめします。

指定着信許可

指定した電話番号からの電話だけがつながるようにします。「電話を受けたい相手」からの電話だけがつながるように設定できます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」もあわせて設定することをおすすめします。

指定発信制限・指定着信拒否・指定着信許可

1 電話帳詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶個別発着信動作選択▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

指定発信制限......指定した番号にだけ発信できます。
指定着信拒否......指定した番号からの電話は受けません。
指定着信許可......指定した番号からの電話だけを受けます。
指定転送でんわ....P.468参照
指定留守番電話....P.466参照

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面で◎を押して個別発着信動作選択を設定する電話番号を選びます。
- 複数の電話番号に指定発信制限を設定したいときは、指定発信制限を設定したあとにCLRを押して電話帳の詳細画面に戻り、◎で設定したい電話番号を選んで操作を行ってください。
  ⌒を押して待受画面に戻ると追加設定ができなくなります。追加設定をするときは、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含め、指定発信制限を設定し直してください。
- 個別発着信動作選択を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレット登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「指定着信拒否」、「指定着信許可」を設定中に「オリジナルロック」で「電話帳」をロックすると、すべての着信を許可します。
- 「指定発信制限」を設定すると、リダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧は削除されます。
- 「指定発信制限」を設定すると、以下の操作はできません。
  ・指定した電話番号以外の呼び出し、参照
  ・ダイヤル発信
  ・着信履歴、受信アドレス一覧からの発信
  ・電話帳の登録、修正、削除、microSDカードからのコピー、microSDカードによるバックアップ／復元、FOMAカードへのコピー
- 「指定発信制限」を設定していても、緊急通報110番／119番／118番に電話をかけることはできます。

お知らせ

- 「指定着信拒否」に設定した電話番号から電話がかかってきたときや、「指定着信許可」に設定した電話番号以外から電話がかかってきたときは、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- SMSやｉモードメールは、「指定着信拒否」、「指定着信許可」に関係なく受信されます。

個別発着信動作選択を確認／解除する

1 電話帳一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶個別発着信動作選択▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

- それぞれの個別発着信動作選択に設定されている電話帳をすべて解除するには、MENU(サブメニュー)を押して「設定解除」を選択し、「YES」を選択します。

2 電話帳を選択

個別発着信動作選択が設定されている電話番号が表示されます。

- 電話番号ごとに個別発着信動作選択を解除するには、解除したい電話番号を選択し、「YES」を選択します。

<着信拒否設定>
着信を拒否する

電話帳に登録されていない相手からの着信や、電話番号が通知されない着信の発信者番号非通知理由によって、電話を受ける(許可)か受けない(拒否)かを設定します。発信者番号非通知理由には「非通知設定」、「公衆電話」、「通知不可能」の3つがあります。

1 MENU▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**着信拒否設定**

●「MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶着信拒否設定」の操作を行っても「着信拒否設定」を設定できます。

2 **端末暗証番号を入力**▶**項目を選択**

登録外着信拒否・・・・電話帳に電話番号が登録されていない相手から、発信者番号を通知して発信した場合

非通知設定・・・・・・・発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

公衆電話・・・・・・・・・・公衆電話などから発信した場合

通知不可能・・・・・・・海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合
(ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。)

3 **許可・拒否**

●「非通知設定」、「公衆電話」、「通知不可能」の場合、「許可」を選択すると、着信音や着信画面を設定できます。着信音を設定する場合は「着信音」を選択し、P.104手順2へ進みます。
着信画面を設定する場合は「着信画面」を選択し、P.113手順2へ進みます。

お知らせ

●「拒否」に設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らず、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
●SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
●「登録外着信拒否」を「拒否」に設定していても、シークレットで登録されている電話帳の相手からの着信は拒否されません。
●「登録外着信拒否」と「個別発着信動作選択」の「指定着信許可」を同時に設定している場合は、「指定着信許可」が優先されます。
●「オリジナルロック」で「電話帳」をロックしている場合や、「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を「ON」に設定している場合は、「登録外着信拒否」を「拒否」に設定できません。

<呼出時間表示設定>
呼出動作をすぐに開始しないようにする

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**着信詳細設定**▶**呼出時間表示設定**▶**以下の操作を行う**

無音時間設定	電話帳に電話番号が登録されていない相手から電話がかかってきたときに呼出動作をすぐに開始しないように設定します。ワン切りなどの迷惑電話対策に利用できます。 ▶**ON・OFF**▶**無音時間(秒)を入力** ●「01」～「99」の2桁を入力します。
時間内不在着信表示	「無音時間設定」で設定した時間内に切れた着信を着信履歴に表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**

お知らせ

- 電話帳に電話番号が登録されている相手から着信があった場合は、「186／184」を付加して登録されていても、着信と同時に呼出動作を開始します。ただし、「オリジナルロック」で「電話帳」をロックしている場合は本機能の設定に従って動作します。
- 無音時間が伝言メモ設定の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモ設定の呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信設定の呼出時間でも同様です。
- 「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」を「拒否」に設定中は、「無音時間設定」を設定できません。

<テレビ電話着信拒否>

テレビ電話の着信を拒否する

1 MENU▶**電話機能**▶**テレビ電話設定**▶**テレビ電話着信拒否**▶**端末暗証番号を入力**▶**ON・OFF**

<ケータイデータお預かりサービス>

ケータイデータお預かりサービスを利用する

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・動画・メール・Bookmark・メモ帳・スケジュール・トルカ・ToDoリスト・現在地通知先・メロディ・メール自動振分け設定などの設定情報(以下「保存データ」といいます)を、ドコモのお預かりセンターに預けることができ、万が一の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。一斉通知メール送信時パケット通信料はかかりません。パソコン(My docomo)があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳、画像、Bookmark、スケジュール、トルカ、メール自動振分け設定などの設定情報は、自動更新機能※により、定期的に自動で預けることができます。
  ※保存データにより、自動更新の初期設定状態(自動更新する／しない)が異なりますので、「MENU▶便利ツール▶ケータイデータお預かりサービス▶詳細設定／通信履歴▶自動更新設定」よりご確認・変更ください。
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になる恐れがありますのでご注意ください。
- WORLD WINGご契約の場合、海外でも利用することができます。ただし、パケット通信料が日本国内よりも高額になる恐れがありますのでご注意ください(お客様がｉモードパケット定額サービスをご契約されていても、国際ローミング利用中におけるFOMAパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの対象外となります)。
- ケータイデータお預かりサービスの詳細については「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです(お申し込みにはｉモード契約が必要です)。

お知らせ

- 自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。
- 更新がある場合、デスクトップに「更新」が表示されます。「更新」を選択すると更新画面が表示されます。
- お預かりセンターから、ダウンロード後のデータを保存中に保存処理が中断した場合、再度保存処理を行うと同じデータが複数件登録されることがあります。

お預かりセンターに保存する

1 **保存したいデータのサブメニュー ▶お預かりセンターに接続・お預かりセンター接続・お預かりセンターに保存▶端末暗証番号を入力▶YES**

- データを選択する画面が表示された場合は、保存したいデータにチェックを付けて📷(完了)を押します。30件まで選択できます。

お知らせ

- 以下のデータは保存できません。
  - ・FOMAカードやmicroSDカード内のデータ
  - ・メールに添付されたデータ
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されているデータ
  - ・FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ
  - ・JPEG形式、GIF形式以外の画像
  - ・MP4形式以外の動画
  - ・10Mバイトを超える画像や動画
  - ・部分保存した動画

FOMA端末に復元する

FOMA端末の電話帳を削除した場合、お預かりセンターに保存を行うとお預かりセンターの電話帳も削除されますのでご注意ください。お預かりセンターの電話帳をFOMA端末に復元する場合、以下の操作を行ってください。

1 **iα▶マイページ▶マイメニュー/マイボックス▶ケータイデータお預かり※▶お預かりデータ確認▶ｉモードパスワードを入力▶決定**

※ｉコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり/ｉコンシェル」と表示されます。

2 **「ケータイへダウンロード」から電話帳を選択▶OK**

- 約15秒後にダウンロードが開始されます。待受画面を表示させてお待ちください。

お知らせ

- お預かりセンターに登録されている電話帳が、FOMA端末の電話帳に登録できる件数を超えた場合、超えている部分の電話帳データは更新されません。

ケータイデータお預かりサービスの設定を行う

1 **MENU▶便利ツール▶ケータイデータお預かりサービス▶以下の操作を行う**

データ確認/ダウンロード	お預かりセンターに接続し、保存されているデータの確認などを行います。 ▶YES
電話帳等を更新	お預かりセンターとFOMA端末の電話帳、Bookmark、スケジュール、トルカを最新の状態にします。 ▶更新したいデータにチェック▶実行 ▶端末暗証番号を入力▶📷(完了)
画像を更新	「マイピクチャ」内の「自動お預かり」フォルダ内の画像をお預かりセンターに保存します。 ▶端末暗証番号を入力▶追加▶📷(完了) ●「自動お預かり」フォルダ内の画像は、自動更新設定に従い定期的にお預かりセンターに自動保存することもできます。 ●「お預かり済アイコンクリア」(P.355参照)で自動保存未完了に変更された画像は再度お預かりセンターに保存されます。また、自動更新が行われた場合も、自動保存未完了に変更された画像は再度お預かりセンターに保存されます。
設定情報を更新	メール自動振分け設定などの設定情報をお預かりセンターに保存またはお預かりセンターから復元します。 ▶設定情報のお預かり・設定情報のダウンロード ▶実行▶端末暗証番号を入力▶📷(完了)
詳細設定/通信履歴	
自動更新設定	お預かりセンターに接続し、電話帳などを定期的に自動で預けるかどうかを設定します。 ▶YES

電話帳画像送信設定	電話帳に設定している画像をお預かりセンターに保存するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
その他設定	お預かりセンターに接続し、その他の設定を行います。 ▶YES
通信履歴確認	お預かりセンターとの通信記録を表示します。お預かりセンターへの保存結果やFOMA端末への復元結果を確認できます。 ▶**履歴を選択** ●一覧画面で通信完了時刻を選択すると詳細画面に変わります。 ●設定情報を復元した際の詳細画面では、復元に成功した項目のみが表示されます。また、一部の設定情報が復元できなかった項目は、件数の前に「※」が表示されます。 ●最大30件まで保存されます。30件を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。 ●通信履歴を削除する場合は、MENU(サブメニュー)を押して「1件削除」、「選択削除」、「全削除」を選択します。

ｉコンシェルでケータイデータお預かりサービスを利用する

1 MENU▶ｉコンシェル▶MENU▶設定▶お預かりデータ確認／設定／更新

画面に従って操作を行います。

＜設定リセット＞

各種機能の設定をリセットする

「機能一覧表」の ［　　］ の項目をお買い上げ時の状態に戻します。(P.498参照)

1 MENU▶本体設定▶その他設定▶設定リセット▶端末暗証番号を入力▶YES

＜端末初期化＞

登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
お買い上げ時の状態についてはP.498「機能一覧表」を参照してください。

●お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
●「iD 設定アプリ」以外のおサイフケータイ対応ｉアプリは削除されます。ただし、使用状況によっては削除されないことがあります。
●お買い上げ時に登録されているｉアプリに保存されたデータは削除されます。ただし、削除されなかったおサイフケータイ対応ｉアプリに保存されたデータは削除されません。
●保護しているデータも削除されます。
●2in1のモードに関わらず、すべての登録データが削除されます。
●お買い上げ時に登録されているデータを削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は元に戻りません。
●端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
●端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。
●端末初期化を行っているときは、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信などもできません。

1 MENU▶本体設定▶その他設定▶端末初期化▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

初期化が完了すると、自動的に電源が切れたあと、再度電源が入り、「初期設定」の画面が表示されます。

お知らせ

●FOMAカードやmicroSDカードに保存・登録されているデータは削除されません。
●FOMAカードに保存されている設定は初期化されない場合があります。
●パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。

つづく

お知らせ

- ｉアプリを元に戻したいときは、「P-SQUARE」のサイトからダウンロードしてください。ダウンロードには別途通信料がかかります。
- 端末初期化を行った場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、CLRを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 端末初期化を行った場合、Music&Videoチャネルの番組は自動取得されなくなりますので、Music&Videoチャネルメニューから設定確認画面へ接続し、番組設定を反映させてください。
- 削除するデータが多いときなどは端末初期化に時間がかかる場合があります。

<遠隔初期化>

遠隔操作でデータを初期化する

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／microSDカード／FOMAカード内のメモリ）を初期化することができます。

■お問い合わせ先
ドコモの法人向けサイト
docomo Business Online　パソコンから　http://www.docomo.biz/
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

遠隔初期化が起動すると

操作ができなくなる旨の画面が表示され、初期化が開始されます。

- 遠隔初期化が起動すると、音声電話の着信に対する応答･応答保留を除いてすべてのボタン操作がロックされ、各機能を使用することができなくなります。初期化が開始されると、すべての機能を使用することができなくなります。
- 着信中、通話中に遠隔初期化が起動した場合、（発信キー）と（終話キー）を除いてすべてのボタン操作がロックされます。初期化が開始されると、自動で着信や通話を終了します。

お知らせ

- 「メイン時計設定」は初期化されません。

お知らせ

- パソコンとFOMA端末を接続しているときはmicroSDカードを初期化できない場合があります。

その他の「あんしん設定」

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがございますのでご活用ください。

機能／サービス名称	目的	参照先
ICカードロック	ICカード機能の不正使用を防止したい	324
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	469
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	469
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※ FirstPass対応サイトに限ります	218
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	541
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	546
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	159

機能／サービス名称	目的	参照先
「ｉモード災害用伝言板」サービス	「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 （URL付きメール拒否設定） （受信／拒否設定） （かんたん設定） （ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限） （SMS拒否設定） （未承諾広告※メール拒否） （メール設定確認）		
メール機能停止／再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

お知らせ

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は、「迷惑電話ストップサービス」→「指定着信拒否」→「着信拒否設定」→「呼出時間表示設定」の順になります。

メール

ｉモードメール

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル(写真や動画ファイルなど)を10個まで添付できます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色･大きさや背景色を変えられるほか、デコメ絵文字®も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。
さらにメッセージや画像を挿入したFlash画像のデコメアニメ®にも対応しております。

● ｉモードメールの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

メール

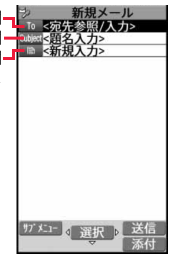
＜ｉモードメール作成＞
ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメールを作成して送信します。
送信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大1000件まで送信BOXに保存できます。
デコメール®を作成するにはP.147を参照してください。

1 ✉▶✉(New)

- 2in1のモードがデュアルモードの場合、「送信アドレス切替A/B」で送信者アドレスを選択できます。(P.476参照)送信者アドレスが設定されていない場合は「AB」が、送信者アドレスがBアドレスに設定されている場合は「B」が表示されます。

宛先欄
題名欄
本文欄
(本文を入力すると、入力したバイト数が表示されます。)



メール作成画面

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳	電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。
送信アドレス一覧	電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。
受信アドレス一覧	電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。
ブログ･メールメンバー	ブログ･メールメンバーを選択します。
直接編集	メールアドレスや電話番号を入力します。

- 半角50文字まで入力できます。
- 送信する相手がｉモード端末の場合は、メールアドレスの@より前の部分だけを入力しても送信できます。
- 宛先欄を選んで◯を押すと送信アドレス一覧を、◯を押すと受信アドレス一覧を表示できます。
- 未入力の宛先欄を選んで上記操作を繰り返すと、複数の宛先を入力できます。入力できる宛先は5件までです。
- 追加した宛先を削除する場合はP.146参照。

3 題名欄を選択▶題名を入力

- 全角100文字/半角200文字まで入力できます。

4 本文欄を選択▶本文を入力

- 全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。
- 冒頭文／署名を貼り付けるときはP.146参照。
- 文字入力(編集)中のサブメニューについてはP.456参照。



メール本文入力画面

5 **(送信)を押す**

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

- 2in1のモードがデュアルモードで送信者アドレスが設定されていない場合、送信者アドレスを選択します。
- 送信を途中で中止する場合は、(中止)またはCLR(1秒以上)を押します。ただし、タイミングにより送信されることがあります。

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 圏外で送信できなかった場合は、送信予約するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると圏内自動送信予約メールとして保存BOXに保存されます。「NO」を選択すると、通常の保存メールとして保存BOXに保存されます。
- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または＝に変換されることがあります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- 保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、ｉモードメールを作成できません。
  保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 電話番号入力中などのサブメニューから「メール作成」を選択した場合は、電話番号が宛先に入力されます。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると発信者番号通知の設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 宛先の電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が宛先欄に表示されます。
- 宛先の電話帳2in1設定と送信者アドレスが異なる場合は、そのまま送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 宛先に「,(カンマ)」やスペースが入力されている場合は送信できません。
- 宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信できます。

お知らせ

- シークレットコードを設定して登録した電話帳を宛先に入力した場合、送信するときにシークレットコードが自動的に追加されます。ただし、宛先が電話番号以外、または「電話番号@docomo.ne.jp」以外の場合は、電話帳にシークレットコードを設定していても、シークレットコードは追加されず、通常のｉモードメールとして送信されます。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 受信側の端末によっては、題名がすべて受信できない場合があります。
- movaサービスのｉモード端末へは、本文は全角2000文字まで送信できます。
- 改行は全角1文字、スペースは全角または半角1文字分としてカウントされます。
- デコメ絵文字®を入力するとデコメール®になります。

送信予約メールについて

作成したメールを送信予約メールとして保存すると、自動的にメールを送信できます。送信予約メールには、以下の2種類があります。

日時指定送信予約メール
. . . . 日時を指定して送信予約します。(P.146、P.170参照)
指定した日時になると自動的に送信されます。

圏内自動送信予約メール
. . . . 圏外で送信できなかったときに送信予約できます。
圏内に移動したときに自動的に送信されます。

- 2in1のモードやシークレットモード／シークレット専用モードに関わらず送信されます。
- 「受信時動作設定」に従って、送信中や送信結果画面が表示されます。
- 自動送信に失敗した日時指定送信予約メールは、自動送信失敗メールとして保存BOXに保存されます。
- 圏内自動送信予約メールを自動送信する際、圏外により送信が失敗した場合は、再度圏内自動送信予約メールとして保存BOXに保存されます。自動送信に3回失敗すると、自動送信失敗メールとして保存BOXに保存されます。
- 自動送信に成功／失敗した場合、デスクトップに「」が表示されます。
  「」を選択すると送信結果が表示されます。

メール作成画面のサブメニュー

項目		内容
送信		P.145参照
送信予約		送信したい日時を指定して、日時指定送信予約メールとして保存BOXに保存します。 ▶**送信する日時を入力** ●2in1のモードがデュアルモードで送信者アドレスが設定されていない場合、送信者アドレスを選択します。
保存		作成中や編集中のメールを保存BOXに保存します。 ●2in1のモードがデュアルモードで送信者アドレスが設定されていない場合、送信者アドレスを選択します。
宛先操作		
	宛先削除	宛先が複数あるときに、選択している宛先を削除します。 ▶**YES**
	宛先タイプ変更	▶**宛先のタイプを選択** To. . . . .直接の宛先です。宛先は受信側に表示されます。※ Cc . . . .直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。宛先は受信側に表示されます。※ Bcc . . .他の送信相手に知られたくないときに指定します。宛先は受信側に表示されません。 ※受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。
添付ファイル操作		
	カメラ起動	静止画や動画を撮影して添付します。 ▶**撮影モードを選択** ●撮影方法についてはP.234、P.238参照。 ●画像に位置情報が付いている場合は、本文に位置情報のURLを貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。
	添付ファイル追加	P.156参照
	添付ファイル削除	P.158参照
	添付ファイル全削除	P.158参照
デコメール		
	デコメール読込み	デコメール®テンプレートを読み込んでデコメール®を作成します。 ●すでに本文が入力されている場合は、内容を破棄するかどうかの確認画面が表示されます。 ●すでに添付ファイルを追加している場合は、添付ファイルを削除するかどうかの確認画面が表示されます。 ▶**テンプレートを選択** テンプレートの内容が本文に入力されます。 ●テンプレート選択中に📷TV（デモ）を押すとテンプレートの内容を確認できます。 ●デコメール®の作成についてはP.147参照。
	デコメール保存	デコメール®をテンプレートとして保存します。 ▶**YES** ●保存しているテンプレートがいっぱいのときはP.210参照。 ●保存したテンプレートの確認方法についてはP.153参照。
冒頭文／署名貼付		
	冒頭文貼付	冒頭文をｉモードメールの本文の先頭に貼り付けます。 ●あらかじめ冒頭文を登録しておく必要があります。（P.180参照） ●2in1のモードがデュアルモードで送信者アドレスが設定されていない場合、貼り付ける冒頭文を選択します。

署名貼付	署名をｉモードメールの本文の最後に貼り付けます。 ●あらかじめ署名を登録しておく必要があります。（P.180参照） ●2in1のモードがデュアルモードで送信者アドレスが設定されていない場合、貼り付ける署名を選択します。
送信アドレス切替A/B	2in1のモードがデュアルモードの場合に送信者アドレスを選択します。（P.476参照）
本文消去	本文に入力されている文章や挿入されている画像をすべて削除します。宛先や題名、添付ファイルなどは削除されません。 ▶YES
メール削除	編集中のｉモードメールを削除します。 ▶YES

お知らせ

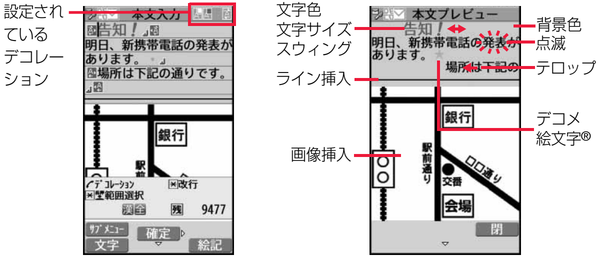
＜宛先タイプ変更＞
- 宛先に「To」設定がないｉモードメールは送信できません。

＜デコメール保存＞
- メールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。
（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）

＜冒頭文／署名貼付＞
- 冒頭文と本文または署名と本文の合計が全角5000文字、半角10000文字を超える場合は貼り付けできません。
- 冒頭文や署名を装飾していなくても、本文の先頭や文末に文字色や文字サイズのデコレーションが設定されている場合は、冒頭文や署名もあわせてデコレーションされます。

デコメール®を作成して送信する

ｉモードメール本文編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を挿入することによって自分のオリジナルメールを作成して送信できます。
また、テンプレート（ひな形）を使用して作成できます。（P.153参照）



本文入力中　　プレビュー表示中

1 P.144手順1～手順3の操作を行う

2 本文欄を選択▶本文をデコレーションする

- デコレーション方法についてはP.148参照。

デコレーションを選択してから本文を入力する場合

パレットからデコレーションを選択▶本文を入力

本文を入力してからデコレーションを設定する場合

本文を入力▶パレットから 変更（デコレーション変更）を選択

P.150「デコレーション変更」へ進みます。
- 全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。（デコレーションにより、入力できる文字数は少なくなります。）
- メール本文をデコレーションすると、「 」が表示されます。

メール

つづく

3 ◉(確定)を押す

メール作成画面が表示されます。
P.145手順5へ進みます。

お知らせ

- デコレーションした文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押して文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。
- 受信したデコメール®を引用返信、転送した場合、デコレーションや挿入した画像はそのままの状態で本文に入力されます。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除されます。
- 送信先のｉモード端末によっては、10000バイトを超えるデコメール®を送信した場合、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、機種によっては、本文のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。
- パソコンなどとデコメール®送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。
- テロップ・スウィングの動作や点滅、アニメーションは、一定の時間が経過すると停止します。

デコレーション

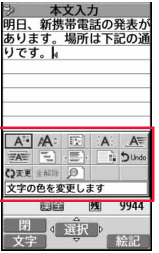
パレットを使って、ｉモードメールの本文をデコレーションします。
1箇所に複数のデコレーションを設定できます。

- 文字位置・テロップ・スウィングを1箇所に組み合わせることはできません。
- ライン挿入は文字色で指定している色で挿入されます。
- 画像挿入は文字位置・テロップ・スウィングで指定している状態で挿入されます。
- デコメ絵文字®は「画像挿入」で入力できますが、サブメニューの「絵文字入力」からも入力できます。

■パレットの表示方法

メール本文入力画面で(📞)を押すとパレットが表示されます。

- 予測変換候補や関係候補が表示されている場合は、それらを閉じてから(📞)を押します。



パレット

■デコレーションの操作方法

文字色	入力する文字の色、ラインの色を変更します。 ▶**色を選択**▶**文字を入力** ●📷TV(切替)を押して25色・256色を切り替えることができます。 ●文字色を変更中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●「デコレーション変更」中は、文字を入力する必要はありません。
文字サイズ	入力する文字のサイズを変更します。 ▶**サイズを選択**▶**文字を入力** ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●文字サイズを変更中は画面の右上に「 」「 」が表示されます。 ●「デコレーション変更」中は、文字を入力する必要はありません。

画像挿入	「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。 ▶**フォルダを選択**▶**画像を選択** ●画像に位置情報が付いている場合は、本文に位置情報のURLを貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。 ●Flash画像を挿入した場合は、自動的に改行が挿入されます。 ●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、CLRを押します。
点滅	入力する文字を点滅表示させせます。 ▶**A開始(開始)**▶**文字を入力** 文字が点滅表示されます。 ●点滅を設定中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶**(点滅)**▶**A終了(終了)**
テロップ	入力する文字、挿入する画像をテロップ表示(右から左へ流れる表示)させせます。 ▶**A開始(開始)**▶**文字を入力** 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「 」「 」が表示されます。 ●テロップを設定中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶**(テロップ)**▶**A終了(終了)** 自動的に改行が挿入されます。
スウィング	入力する文字、挿入する画像をスウィング表示(左右を往復する表示)させせます。 ▶**A開始(開始)**▶**文字を入力** 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「 」「 」が表示されます。 ●スウィングを設定中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶**(スウィング)**▶**A終了(終了)** 自動的に改行が挿入されます。
文字位置	入力する文字、挿入する画像の位置を変更します。 ▶**文字位置を選択**▶**文字を入力** 自動的に改行が入力され、文字位置が設定されます。 ●文字位置を設定中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●「デコレーション変更」中は、文字を入力する必要はありません。
ライン挿入	メール本文にライン(水平線)を挿入します。 自動的に改行が挿入され、ラインが挿入されます。 ●ラインを削除するには、ラインにカーソルをあて、CLRを押します。
背景色	メール本文の背景色を変更します。 ▶**色を選択** ●TV(切替)を押して25色・256色を切り替えることができます。
Undo	設定したデコレーションなどを元の状態に戻します。5回まで戻せます。 ●(発信キー)を1秒以上押しても戻せます。

メール

つづく↪

変更 **デコレーション変更**	入力済みの文字を選択して文字色、点滅、文字サイズ、文字位置、テロップ、スウィングを設定します。また、設定済みのデコレーションを変更、追加、解除できます。 ▶**始点を選択** ●📷TV(全選択)を押して「YES」を選択すると全文を選択できます。 ▶**終点を選択** 各デコレーションを設定、変更、追加、解除します。 ●範囲選択中は画面の右上に「AAAAA」が表示されます。 **<デコレーションを設定、変更、追加する>** ▶**アイコンを選択し、デコレーションを設定、変更、追加** ●点滅、テロップ、スウィングを設定する場合は 設定 (設定)を押します。 ●複数のデコレーションを変更する場合やデコレーションを追加する場合は、続けて他のアイコンを選択します。 ●デコレーション変更を終了する場合は、MENU(閉)またはCLRを押します。 **<デコレーションを解除する>** ▶ 解除 **(解除)** ●点滅、テロップ、スウィングを個別に解除する場合は、それぞれのアイコンを選択して 解除 (解除)を押します。
全解除 **全解除**	すべてのデコレーションを解除します。 ▶YES ●挿入した画像がある場合は、「挿入画像を削除しました」と表示されます。
プレビュー	デコレーションしたメール本文を確認します。 ●📷TV(閉)を押すと元の画面に戻ります。

お知らせ

<文字色>
- 別の色が設定されている文字にカーソルを移動させると、その文字色に設定が変わります。
- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したいときは「指定なし」に設定してください。
- デコメ絵文字®の色は変更できません。

お知らせ

<文字サイズ>
- 別の文字サイズが設定されている文字にカーソルを移動させると、移動先の文字サイズに設定が変わります。
- デコメ絵文字®のサイズは変更できません。

<画像挿入>
- 画像は20種類まで、合計90Kバイトまで挿入できます。ただし、Flash画像は2種類までです。操作によっては20種類以下でも画像の数がオーバーするため再編集する旨の確認画面が表示されます。
- 同一の画像を複数挿入した場合、挿入数は1種類として扱われます。既に挿入されている画像をコピー／ペーストした場合も同一画像の挿入と見なされ合わせて1種類として扱われます。ただし、Flash画像の場合は、同一の画像を挿入すると2種類目として扱われます。
- 挿入した画像にもテロップ、スウィング、文字位置を設定できますが、Flash画像の場合は設定できません。

<点滅>
- デコメ絵文字®は点滅させることはできません。

<背景色>
- 冒頭文や署名の編集時は背景色を変更できません。

デコメアニメ®を作成して送信する

デコメアニメ®は、デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。お買い上げ時に登録されているテンプレートやIP(情報サービス提供者)のサイトから購入したテンプレートを利用して作成できます。



デコメアニメ®編集画面



プレビュー表示中

1 ✉▶**新規デコメアニメ作成**

- 2in1のモードがデュアルモードの場合、「送信アドレス切替A/B」で送信者アドレスを選択できます。(P.476参照)送信者アドレスが設定されていない場合は「AB」が、送信者アドレスがBアドレスに設定されている場合は「B」が表示されます。



デコメアニメ®作成画面

2 **P.144手順2～手順3の操作を行う**

3 **本文欄を選択**
▶デコメアニメ®テンプレートを選んで📷TV(確定)

- すでにデコメアニメ®テンプレートを選択している場合は、デコメアニメ®編集画面が表示されます。手順4へ進みます。
- デコメアニメ®テンプレートを選択すると、プレビューが表示されます。
- デコメアニメ®テンプレートによっては、内容を編集できないものもあります。
- デコメアニメ®テンプレートの内容のまま送信する場合は、手順5へ進みます。
- 保存BOX、送信BOXから再編集する場合や、受信BOXから転送する場合は、デコメアニメ®の本文は編集できません。

4 **編集したい内容欄を選択**

文字を編集する場合

文字入力欄を選択▶文字を編集

画像を変更する場合

画像挿入欄を選択▶画像・カメラ起動

画像. . . . . フォルダを選択し、画像を選択します。
カメラ起動. . . 静止画を撮影します。撮影方法についてはP.236参照。

- デコメアニメ®編集画面でiα(ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ)を押すとプレビューが表示されます。
- 文字入力欄ごとに文字色を変更できますが、文字を入力する際にデコレーションすることやデコメ絵文字®を入力することはできません。また、冒頭文や署名は貼り付けられません。
- 文字入力行の途中で改行した場合、入力できる文字数が少なくなります。
- デコメアニメ®テンプレート、文字、画像の合計が90Kバイトを超える場合は、デコメアニメ®を作成できません。
- デコメアニメ®テンプレートによっては合計が90Kバイト以下でも画像を挿入できない場合があります。
- 画像や文字の表示位置やフォントは固定されていて編集できません。
- 文字入力欄によっては、文字入力(編集)画面に改行位置を示す」(赤色)や文字入力不可能範囲を示す▶(橙色)が表示される場合があります。

つづく

5 [カメラ/TV]（ 完了 ）を押す

デコメアニメ®の編集を終了します。
P.145手順5へ進みます。

お知らせ

- 保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、デコメアニメ®作成できません。
- デコメアニメ®に挿入できる画像は、GIFファイル（アニメーションGIFを含む）、JPEGファイル、SWFファイルです。
- アニメーションGIFファイルやSWFファイルを挿入すると、送信時にサイズオーバーになることがあります。
- 送信に失敗した場合でも、再編集はできません。
- デコメアニメ®によっては、文字入力欄に「使い方」などが入力されていることがあります。それらを削除してから送信してください。
- 送信先のｉモード端末によっては、デコメアニメ®を送信した場合、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、機種によっては、デコメアニメ®の文字部分のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。
- 受信したデコメアニメ®をテンプレートとして利用することはできません。

デコメアニメ®作成画面のサブメニュー

送信		デコメアニメ®を送信します。
送信予約		P.146参照
プレビュー		送信する前にデコメアニメ®を再生して確認します。 ●デコメアニメ®再生時の動作についてはP.154参照。 ●[カメラ/TV]（ 閉 ）を押すと元の画面に戻ります。
保存		作成中のデコメアニメ®を保存BOXに保存します。保存すると、デコメアニメ®本文は再編集できません。 ▶YES ●2in1のモードがデュアルモードで送信者アドレスが設定されていない場合、送信者アドレスを選択します。
宛先操作		
	宛先削除	P.146参照
	宛先タイプ変更	P.146参照
添付ファイル操作		
	カメラ起動	P.146参照
	添付ファイル追加	P.156参照
	添付ファイル削除	P.158参照
	添付ファイル全削除	P.158参照
テンプレート選択		デコメアニメ®テンプレートを読み込んでデコメアニメ®を作成します。 ▶デコメアニメ®テンプレートを選んで[カメラ/TV]（ 確定 ） P.151手順4へ進みます。 ●すでにデコメアニメ®テンプレートを選択している場合は、内容を破棄して読み込むかどうかの確認画面が表示されます。
送信アドレス切替A/B		2in1のモードがデュアルモードの場合に送信者アドレスを選択します。（P.476参照）
本文消去		P.147参照
メール削除		P.147参照

デコメアニメ®編集画面のサブメニュー

テンプレート選択	P.152参照
プレビュー	P.152参照
文字色選択	選択している文字入力欄の文字色を変更します。 ▶色を選択 ●[カメラ/TV]（ 切替 ）を押して25色・256色を切り替えることができます。
画像削除	挿入画像を削除します。

<デコメ®テンプレート>

テンプレートを利用してデコメール®／デコメアニメ®を作成する

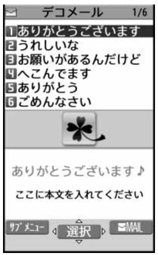
テンプレートは文字や画像で作られたひな形データです。デコメール®テンプレートとデコメアニメ®テンプレートの2種類があります。
お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードもできます。(P.208参照)また、デコメール®テンプレートでは送受信したデコメール®や作成中のデコメール®をデコメール®テンプレートとして保存できます。(P.146、P.174参照)保存したデコメール®テンプレートはパレットで編集できます。デコメアニメ®テンプレートは編集できません。

- お買い上げ時に保存されているテンプレートは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.209参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.51参照)が設定されます。

デコメール®テンプレート

1 ✉▶デコメテンプレート▶デコメール▶テンプレートを選択

- 📷(MAIL)を押すと、テンプレートの内容でデコメール®の作成になります。P.144手順2へ進みます。
- 「iモードで探す」を選択した場合はP.209参照。



デコメール®
テンプレート一覧画面

→



デコメール®
テンプレート詳細画面

デコメール®テンプレート一覧画面のサブメニュー

メール作成		テンプレートの内容でデコメール®を作成します。 P.144手順2へ進みます。
ソート		表示される順番を変更します。 ▶順番を選択
タイトル編集		▶タイトルを入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
情報表示		テンプレートのファイルサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。
保存件数確認		保存件数を表示します。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいテンプレートにチェック▶📷(完了) ▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

デコメール®テンプレート詳細画面のサブメニュー

メール作成	テンプレートの内容でデコメール®を作成します。 P.144手順2へ進みます。
編集	テンプレートの内容を編集して保存します。 ▶本文を編集▶●(保存)▶YES・NO YES . . . .上書きして保存します。 NO . . . . .別データとして保存します。 ●本文の編集方法についてはP.147手順2～手順3参照。 ●保存しているテンプレートがいっぱいのときはP.210参照。

挿入画像保存	テンプレートやデコメール®の本文に挿入された画像を保存して、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。 ▶**画像を選択▶YES▶保存したいフォルダを選択** P.208手順3へ進みます。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。

お知らせ

<編集>

●別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

<挿入画像保存>

●デコメ絵文字®の場合は「デコメ絵文字」フォルダの「お気に入り」フォルダに保存されます。

デコメアニメ®テンプレート

1 **[メール]▶デコメテンプレート▶デコメアニメ▶テンプレートを選択**

●[カメラ/TV](MAIL)を押すと、テンプレートの内容でデコメアニメ®の作成になります。P.151手順2へ進みます。

●デコメアニメ®テンプレート一覧画面で[メール](microSD)を押すと、microSDカード内のデコメアニメ®テンプレートフォルダ一覧画面を表示します。フォルダを選択し、テンプレートを選択します。

[メール](本体)を押すと戻ります。

●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。



デコメアニメ®テンプレート一覧画面



プレビュー

デコメアニメ®の再生画面やプレビューを表示したときは

自動的にアニメーションが再生されます。デコメアニメ®には効果音が鳴るものやFOMA端末を振動させるものがあります。また、デコメアニメ®によっては、再生画面やプレビュー表示中に[●]、[○]、[0]～[9]、[＊]、[＃]で操作できるものもあります。

●アニメーションや効果音の再生中に[iα](停止)を押すと、一時停止します。再度、[iα](再生)を押すと再開されます。

●バックグラウンド再生中は、効果音は鳴りません。

●FOMA端末が振動する場合は、「バイブレータ設定」や「マナーモード選択」の設定に関わらず振動します。

●デコメアニメ®によってはお客様のFOMA端末の端末情報を利用するものがあります。端末情報を利用するには、「ｉモード／web設定」の「ｉモードブラウザ設定」内の「端末情報利用設定」を「利用する」に設定してください。(お買い上げ時は「利用する」に設定されています。)

●Flash画像に含まれているFLVは再生されません。

デコメアニメ®テンプレートフォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダタイトル編集	追加したフォルダのタイトルを編集します。 ▶**フォルダ名を編集** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ作成	▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	追加したフォルダとフォルダ内のデコメアニメ®テンプレートを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力▶YES**

デコメアニメ®テンプレート一覧画面・プレビュー表示中のサブメニュー

デコメアニメ作成	テンプレートの内容でデコメアニメ®を作成します。 P.151手順2へ進みます。
タイトル編集	▶**タイトルを入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

項目	内容
情報表示	テンプレートのタイトル名、ファイル名、ファイル種別、ファイル制限の有無を表示します。
保存件数確認	保存件数を表示します。
外部送信	
赤外線送信	P.405参照
赤外線全送信	P.406参照
iC送信	P.407参照
microSDへコピー	
1件コピー	P.391参照
選択コピー	P.391参照
全コピー	P.391参照
本体へコピー	
1件コピー	P.392参照
選択コピー	P.392参照
全コピー	P.392参照
削除	
1件削除	P.153参照
選択削除	P.153参照
全削除	P.153参照

お知らせ

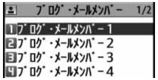
<microSDへコピー><本体へコピー>
- プレビュー表示中では、「1件コピー」の動作になります。

<ブログ・メールメンバー>

ブログ・メールメンバーを作成する

メールアドレスをグループごとに登録します。決まった複数の相手にメールを送信できます。
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。グループは20件まで作成できます。

1 MENU▶電話機能▶電話帳▶電話帳設定・確認▶ブログ・メールメンバー▶登録したいブログ・メールメンバーを選択



ブログ・メールメンバー一覧画面

- ブログ・メールメンバーにメールアドレスを登録すると「MAIL」が表示されます。📷TV(MAIL)を押すと、選択しているブログ・メールメンバーを宛先としたｉモードメールを作成します。
P.144手順3へ進みます。
- ブログ・メールメンバーにメールアドレスを登録すると「ﾌﾞﾛｸﾞ」が表示されます。iα(ﾌﾞﾛｸﾞ)を押すと、「ブログ投稿」の投稿先に設定します。設定したブログ・メールメンバーには「★」が付きます。設定を解除するにはiα(解除)を押します。

2 <未登録>を選んで📷TV(編集)を押す



ブログ・メールメンバー詳細画面

- 登録済みのメールアドレスを選択すると、ブログ・メールメンバーアドレス確認画面が表示されます。

3 メールアドレスを入力

- 半角50文字まで入力できます。
- 複数のメールアドレスを登録する場合は、手順2～手順3を繰り返します。

ブログ･メールメンバー一覧画面のサブメニュー

メール作成	ブログ･メールメンバー宛のｉモードメールを作成します。P.144手順3へ進みます。
メンバー名編集	▶ブログ･メールメンバー名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
メンバー名初期化	ブログ･メールメンバー名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶YES

ブログ･メールメンバー詳細画面･ブログ･メールメンバーアドレス確認画面のサブメニュー

アドレス編集	P.155手順3へ進みます。 ●📷TV(編集)を押してもアドレス編集できます。
アドレス参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶項目を選択 **電話帳**. . . . . .電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧**. . . .電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **受信アドレス一覧**. . . .電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 ●ブログ･メールメンバー詳細画面で<未登録>を選択してもアドレス参照入力の操作が行えます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<添付ファイル>

ファイルを添付する

ｉモードメールにファイルやデータを添付して送信します。
以下のファイルを添付できます。

･静止画　･メロディ　･ｉモーション　･トルカ　･PDF
･電話帳(プロフィール含む)　･スケジュール　･ToDoリスト
･Bookmark　･Word　･Excel　･PowerPoint
･Text　･SDその他ファイル　･ムービー※

最大10件まで、合計2Mバイトまで添付できます。

※ムービーが添付された受信メールを転送するときのみ添付されます。

- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
- 自端末で撮影した静止画や動画、赤外線で受信したファイルは、｢ファイル制限｣の設定に関わらず添付できます。
- ファイルを添付するとメール作成画面にデータのファイル名などが表示されます。
- 送信先のｉモード端末によっては、その端末のメール受信容量内で、対応しているファイルのみ受信します。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信に時間がかかる場合があります。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信済みメールが複数件削除される場合があります。

1 **メール作成画面▶iα(添付)▶以下の操作を行う**

イメージ	▶フォルダを選択▶画像を選択 ●画像に位置情報が付いている場合は、本文に位置情報のURLを貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。 ●添付した画像を選択すると、画像を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
メロディ	▶フォルダを選択▶メロディを選択 ●添付したメロディを選択すると、メロディを再生できます。いずれかのボタンを押すと再生は停止します。

iモーション	▶フォルダを選択▶iモーションを選択 ●添付したiモーションを選択すると、iモーションを再生できます。元の画面に戻るには再生中にCLRを押すか、再生を停止します。
トルカ	▶フォルダを選択▶トルカを選択 ●添付したトルカを選択すると、プレビューが表示されます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
PDF	▶フォルダを選択▶PDFを選択 ●添付したPDFを選択すると、PDFを表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
電話帳	▶本体･microSD▶電話帳を検索▶電話帳を選択▶●(選択) ●一覧画面で📷TV(確定)を押しても添付できます。 ●添付した電話帳を選択すると、電話帳の詳細を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
プロフィール	▶端末暗証番号を入力▶●(確定) ●2in1のモードがデュアルモードの場合、「プロフィールA」「プロフィールB」を選択します。 ●添付したプロフィールを選択すると、詳細を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
スケジュール	▶スケジュール･To Doリスト ▶スケジュール･ToDoリストを選択▶●(選択) ●一覧画面で📷TV(確定)を押しても添付できます。 ●添付したスケジュール･ToDoリストを選択すると、スケジュール･ToDoリストの詳細を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
Bookmark	▶フォルダを選択▶Bookmarkを選択 ●添付したBookmarkを選択すると、Bookmarkのタイトルやアドレスを表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
ドキュメント	Word、Excel、PowerPoint、Textのファイルを添付します。 ▶フォルダを選択▶ファイルを選択 ●添付したドキュメントを選択すると、ドキュメントの詳細を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
その他	「SDその他ファイル」に保存しているファイルを添付します。 ▶フォルダを選択▶ファイルを選択

2 P.144手順2へ進む

●ファイルを添付するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。「NO」を選択すると100Kバイト以上の添付ファイルが削除されます。

お知らせ

<イメージ>
- movaサービスのiモード端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選ぶことで画像を取得できます。movaサービスのiモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字(369バイト)です。(受信するmova端末の受信文字数が「全角250文字」の場合)
  複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。
- GIF画像はmovaサービスのiモード端末では受信できません。
- Flash画像も添付できます。
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいJPEG画像(Progressive形式のファイルを除く)の場合は、2Mバイト以下に変換します。
- 受信側の機種によっては、静止画が正しく受信できなかったり、受信した画像が表示できない場合や粗く表示される場合があります。

<メロディ>
- microSDカードに保存しているメロディは添付できません。メロディをFOMA端末にコピーしてください。(P.392参照)
- 受信側の端末によっては、送信したメロディが正しく再生されないことや添付削除されることがあります。
- 添付されたメロディはmovaサービスのiモード端末では受信できません。

つづく↳

お知らせ

＜ｉモーション＞

- ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減したり、メールに添付できない場合があります。
- microSDカードに保存しているｉモーションは添付できません。ｉモーションをFOMA端末にコピーしてください。(P.392参照)
- 受信側の端末によっては、正しく受信、表示ができない場合や、画質が粗くなったり連続静止画に変換される場合があります。
  2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に送信する場合には、以下の設定で撮影した動画がおすすめです。
  動画容量設定：メール制限(小)
  画質設定：ノーマル

＜Bookmark＞

- microSDカードに保存しているBookmarkは添付できません。BookmarkをFOMA端末にコピーしてください。(P.390参照)

添付ファイル削除

添付ファイルを削除／全削除します。

1 メール作成画面▶MENU(サブメニュー)▶添付ファイル操作▶添付ファイル削除・添付ファイル全削除▶YES

- 1件削除の場合は削除したい添付ファイルを選んでおきます。

＜メール自動受信＞

ｉモードメールを自動的に受信する

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にｉモードメール・SMS・SMS送達通知が送られてきます。(ｉモードメールを選択して受信するにはP.159参照。)
メールが届くと画面の上部に「 」が表示されます。
受信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大2500件まで保存できます。

1 ｉモードメールを受信すると「 」が点滅し、受信中のメッセージが表示される



受信結果画面

受信が終わると、受信したｉモードメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

- 「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。
- 受信を途中で中止する場合は、「メール受信中･･･」と表示されている間にTV(中止)を押すかCLRを1秒以上押します。ただし、タイミングによっては受信されます。
- 何も操作しなかった場合はデスクトップに「 」(P.36参照)が表示され、元の画面に戻ります。
  ●を押し、「 」を選んで●(選択)を押すと、受信メール詳細画面が表示されます。

お知らせ

- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。(P.162参照)
- 受信メールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い受信メールから順に削除されます。ただし、未読または保護している受信メールは削除されません。

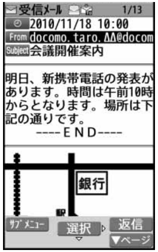
お知らせ

- FOMA端末に保存している、未読または保護している受信メールの合計が最大保存件数／最大保存容量になった場合は、新しいメールを受信できず、「（橙色）」が表示されます。ｉモードメールを受信するには、「（橙色）」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「メール／メッセージ問合せ」を行ってください。
- ｉモードメールではメロディや静止画などを添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルは受信は可能ですが表示はできません。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からメールが送信された場合、自分がTo、Cc、Bccのどれにあてはまるか FOMA端末で確認できます。
- 以下のような場合にメールを受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
  ･電源OFFのとき　･テレビ電話中　･セルフモード設定中
  ･圏外のとき　･赤外線通信中　･FirstPassセンター接続中
  ･おまかせロック中　･iC通信中　･お預かりセンターに接続中
  ･保護または未読メールにより、受信BOXの容量が満杯のとき
  ･お預かりセンターからメールデータダウンロード後のメールデータ保存中
- ｉモードセンターにｉモードメールが保存されているときは「」が、ｉモードセンターのｉモードメールが一杯のときは「（橙色）」が表示されます。

新着ｉモードメールを表示する

1 **受信結果画面▶メール▶表示したいｉモードメールを選択**

- デコメアニメ®の場合は、デコメアニメ®の再生画面が表示されます。（閉）を押すと、詳細画面が表示されます。
- ｉモードメールの詳細画面でを1秒以上押すと文字の大きさが変わります。（P.120「メール」参照）



お知らせ

- 正しく表示できない文字はスペースや「･」などで表示されます。

お知らせ

- ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- メール表示時に自動的に表示される静止画は正しく表示できない場合があります。また、画像サイズがディスプレイより大きい場合は、縦横比を保ったまま縮小して表示されます。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

＜メール選択受信＞

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。
メール選択受信を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。
なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。メールがｉモードセンターに届くと、ｉモードセンターにメールがある旨のメッセージと「」が表示されます。いずれかのボタンを押すと、メッセージと「」が消えます。

メール選択受信設定

ｉモードメールを選択受信するかどうかを設定します。

1 **▶メール設定▶受信設定▶メール選択受信設定▶ON・OFF**

メールを選択受信する

1 **[メール]▶メール選択受信▶「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」の手順に従って操作**

- 「[iα]▶メニューリスト▶メール選択受信」の操作を行ってもメール選択受信画面が表示されます。
- 「メール選択受信設定」が「OFF」の場合は、「ON」に設定する旨の画面が表示されます。
  ●（選択）を押すと「メール選択受信設定」を設定できます。

お知らせ

- メール選択受信設定を「ON」に設定していても「メール／メッセージ問合せ」を行うとすべてのメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目から「メール」を外してください。（P.179参照）
- ｉモードセンターにメールがある旨のメッセージを消去したり、メール選択受信画面を表示した場合、「[アイコン]」のアイコンは消灯します。また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「[アイコン]」のアイコンは消灯します。
- SMSは選択して受信できません。

<メール／メッセージ問合せ>

ｉモードメールがあるかを問い合わせる

ｉモードセンターに届いたｉモードメールやメッセージR/Fは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定が「ON」のときは、ｉモードセンターに保管されます。
「[アイコン]」が表示された場合は、ｉモードセンターへ問い合わせを行い、それらを受信します。
「[アイコン]」が表示された場合は、「メール選択受信」参照。

1 **[メール]を1秒以上押す**

「[アイコン]」と「[R]・[F]」が点滅して「問い合わせ中」と表示され、ｉモードメールやメッセージR/Fを受信します。
問い合わせ結果には、新しく受信したｉモードメールとメッセージR/Fの件数を表示します。

- 受信を途中で中止する場合は、[カメラ/TV]（中止）を押すか[CLR]を1秒以上押します。ただし、タイミングにより受信されることがあります。

お知らせ

- 「[アイコン]（橙色）」「[R]（橙色）・[F]（橙色）」が表示されたときは、FOMA端末はこれ以上ｉモードメールやメッセージR/Fを受信できません。不要なメールやメッセージを削除するか、未読のメールやメッセージを読むか、保護を解除してください。（読んだり、保護を解除したりしたメールやメッセージは、古いものから順に自動的に削除されます。）
- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、そのことを示すアイコン「[アイコン]」や、ｉモードセンターのｉモードメールが一杯になっていることを示すアイコン「[アイコン]（橙色）」が表示されないことがあります。（FOMA端末の電源が入っていないときにセンターに届いた場合など）
- 問い合わせをする項目を「メール／メッセージ問合せ設定」で選択できます。
- 本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問合せ」で受信してください。

<返信><引用返信>

受信したｉモードメールに返信する

「ｉモードメール返信」では通常のｉモードメールとして、「デコメアニメ返信」ではデコメアニメ®を作成して返信できます。また、「引用返信」では受信したｉモードメールの本文を引用して返信できます。デコメアニメ®、SMSは引用返信できません。

1 受信メール一覧画面・受信メール詳細画面 ▶MENU(サブメニュー)▶返信・返信／転送▶ｉモードメール返信・デコメアニメ返信・引用返信・SMS返信

- 📷TV(返信)を押すと、ｉモードメール･SMSとして返信できます。
- 自分以外に同報先があるときは、送信元のみに返信するか、すべての宛先に返信するかを選択できます。
  「送信元へ」または「すべてへ」を選択します。
- 引用符(P.180参照)は、引用返信するｉモードメールの本文の先頭に1つだけ付きます。

2 題名、本文を入力して送信する

ｉモードメールで返信する場合はP.144手順3へ進みます。
デコメアニメ®で返信する場合はP.151手順2へ進みます。
SMSを返信する場合はP.185手順3へ進みます。
送信すると「✉」が「↩」に変わります。

お知らせ

- 返信できない送信元(メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど)には「Fm✕↩」が表示されます。
- 返信または引用返信する際は題名に「Re:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で100文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。(すでに「Re:」が付いているときは「Re2:」となり、「Re99:」まで付きます。)
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、引用返信をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.167参照。

お知らせ

- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメール®の本文に挿入されている場合、画像が削除されて返信されます。

<転送>

受信したｉモードメールを転送する

ｉモードメールやデコメアニメ®、SMSを他の人に転送できます。

1 受信メール詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶返信／転送▶転送▶題名、宛先を入力して送信する

ｉモードメール、デコメアニメ®を転送する場合はP.144手順2へ進みます。
SMSを転送する場合はP.185手順2へ進みます。
送信すると「✉」が「⮥」に変わります。

お知らせ

- 転送する際は題名に「Fw:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で100文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。(すでに「Fw:」が付いているときは「Fw2:」となり、「Fw99:」まで付きます。)
- 取得されていないファイルがあるｉモードメールを転送すると、ファイルの情報は削除されます。
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、転送をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.167参照。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)が添付されているメールを転送する場合、添付ファイルは詳細を取得する前のトルカになります。
- microSDカード内に保存されているメールを転送する場合は、添付ファイルは削除されます。
- 2in1のモードがデュアルモード中にBナンバー宛のSMSを「転送」した場合は、Aモードに切り替えても送信BOXまたは保存BOXに送信SMSが残ります。

ファイルが添付または貼り付けられた iモードメールを受信したときは

FOMA端末では、2Mバイトまでの添付ファイルを受信できます。ただし、添付ファイルの合計が100Kバイトを超える場合は、一部またはすべての添付ファイルは情報だけが受信されますので、改めてｉモードセンターから取得する必要があります。
FOMA端末が対応しているのは以下のファイルです。

・静止画　・メロディ　・ｉモーション　・ムービー
・トルカ　・PDF　・電話帳　・スケジュール
・ToDoリスト　・Bookmark　・Word　・Excel
・PowerPoint　・Text

上記以外のファイルはFOMA端末で再生・表示できません。「SDその他ファイル」内の任意のフォルダに保存するか、またはｉモードメールで転送できます。
「添付ファイル優先受信設定」で受信するファイルを選択できます。

- 複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。
- 添付ファイルのサイズによっては、受信メールが複数件削除される場合があります。

選択受信添付ファイルを取得する

ｉモードセンターに保管されている選択受信添付ファイルを取得します。

1 受信メール詳細画面
▶取得前の添付ファイルを選択

取得完了後、ファイルが再生／表示されます。



添付または貼り付けられたファイルを再生／表示する

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを再生または表示できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面
▶添付ファイルを選択

ファイルが再生または表示されます。

- ムービーの場合は、再生できない旨の確認画面が表示されます。ムービーを保存してから再生してください。
- 1ファイルが複数のデータを含んでいる電話帳、スケジュール、ToDoリスト、Bookmarkが添付されている場合、1件目のみが表示できます。

お知らせ

- 送信元の端末によっては、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
- 添付ファイルの1件目が取得済みの静止画の場合は、メール表示時にその静止画のみ自動的に表示されます。自動的に表示される静止画のサイズは13M(3120×4160)までです。ただし、メール本文に画像が挿入されているメールでは表示されません。
- 画像のサイズがディスプレイより大きいときは、縮小して表示されます。
- 100Kバイトを超えるメロディの場合は再生できません。
- 500Kバイトを超えるFlash画像の場合は再生できません。
- Flash画像に含まれているFLVは再生されません。
- トルカの場合1Kバイト、トルカ(詳細)の場合100Kバイトを超えていると表示できません。

添付または貼り付けられたファイルを保存する

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを保存できます。ファイルによっては着信音に設定できたり、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面▶添付ファイルを選んで MENU (サブメニュー)▶ファイル操作▶データ保存▶YES

- ムービーの場合は、「ムービー」内の「SDムービー」フォルダ内の保存先フォルダに保存されます。
- ドキュメントファイルの場合は、「ドキュメントビューア」内の保存先フォルダに保存されます。
- FOMA端末では対応していないファイルの場合は、「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。
- FOMA端末に対応しているファイルでも、サイズが大きすぎたり無効なデータのファイルなど、ファイルによってはFOMA端末に保存できないものがあります。この場合microSDカードに保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。
- 添付ファイルによっては、一部登録できない旨の確認画面が表示される場合があります。

2 保存したい保存先またはフォルダを選択

メロディの場合はP.209手順3へ進みます。
静止画の場合はP.208手順3へ進みます。

- 保存しているデータがいっぱいのときは、削除して保存するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択して削除したいデータを選択するか、P.210の操作を行います。

お知らせ

- 100Kバイトを超えるメロディの場合、FOMA端末には保存できません。
- 500Kバイトを超えるFlash画像の場合、FOMA端末には保存できません。
- トルカの場合1Kバイト、トルカ(詳細)の場合100Kバイトを超えていると、FOMA端末には保存できません。

＜受信BOX＞＜送信BOX＞＜保存BOX＞

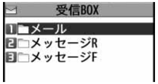
受信／送信／保存BOXのメールを表示する

受信BOXのメールを表示する

受信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大2500件まで保存できます。
エリアメールはｉモードメール、SMSとは別に最大100件まで保存できます。
受信したｉモードメールやSMS、エリアメールを確認できます。

- お買い上げ時は、Welcomeメールが保存されています。

1 ✉▶受信BOX▶フォルダを選択



受信フォルダ一覧画面

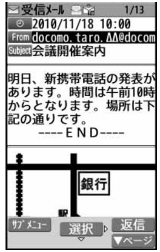
- メッセージR、メッセージFを表示する場合はP.182参照。
- ｉアプリメール用フォルダを選択すると、対応するメール連動型ｉアプリが起動します。

2 メールを選択

- 未読のメールを選択した場合は「[未読メール]」が「[既読メール]」に変わります。
- デコメアニメ®の場合は、デコメアニメ®の再生画面が表示されます。また、デコメアニメ®によっては繰り返し再生されるものもあります。[カメラ/TV]([閉])を押すと、受信メール詳細画面が表示されます。デコメアニメ®再生時の動作についてはP.154参照。



受信メール一覧画面



受信メール詳細画面

- [上下キー]で他のメールを確認できます。受信メール詳細画面で[上下キー]でデコメアニメ®を表示した場合は、デコメアニメ®の再生画面は表示されません。
- メールの本文が長い場合は[上下キー]で画面をスクロールして確認できます。

お知らせ

- Welcomeメールには通信料はかかっていません。
- Welcomeメールには返信できません。
- 添付メロディ、メール本文中のFlash画像の効果音、デコメアニメ®本文の効果音は、「添付ファイル自動再生設定」の設定に従って鳴ります。ただし、メロディが添付されているメールで、メール本文中のFlash画像の効果音やデコメアニメ®本文の効果音がある場合は、メロディが優先され、効果音は鳴りません。
- バックグラウンド再生中は、メロディや効果音は鳴りません。
- Flash画像に含まれているFLVは再生されません。

送信BOXのメールを表示する

送信したｉモードメールやSMSは合わせて最大1000件まで保存できます。送信したｉモードメールやSMSを確認できます。

1 [メール]▶送信BOX▶フォルダを選択

- ｉアプリメール用フォルダを選択すると、対応するメール連動型ｉアプリが起動します。



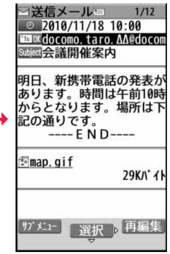
送信フォルダ一覧画面

2 メールを選択

- デコメアニメ®の場合は、デコメアニメ®の再生画面が表示されます。[カメラ/TV]([閉])を押すと、送信メール詳細画面が表示されます。デコメアニメ®再生時の動作についてはP.154参照。
- [上下キー]で他のメールを確認できます。送信メール詳細画面で[上下キー]でデコメアニメ®を表示した場合は、デコメアニメ®の再生画面は表示されません。
- メールの本文が長い場合は[上下キー]で画面をスクロールして確認できます。



送信メール一覧画面



送信メール詳細画面

お知らせ

- 添付メロディ、メール本文中のFlash画像の効果音、デコメアニメ®本文の効果音は、「添付ファイル自動再生設定」の設定に従って鳴ります。ただし、メロディが添付されているメールで、メール本文中のFlash画像の効果音やデコメアニメ®本文の効果音がある場合は、メロディが優先され、効果音は鳴りません。
- バックグラウンド再生中は、メロディや効果音は鳴りません。

保存BOXのメールを表示する

送信せずに保存してあるｉモードメールやSMSを編集して送信できます。また、送信予約メールを設定／解除／確認できます。
ｉモードメールとSMSを合わせて最大20件まで保存できます。

1 ✉▶**保存BOX**



保存メール一覧画面

2 **メールを選択**

ｉモードメールを選択していた場合はP.144手順2へ進みます。デコメアニメ®を選択していた場合はP.151手順2へ進みます。SMSを選択していた場合はP.185手順2へ進みます。
- 送信予約メールを選択した場合、送信予約は解除されます。

<送受信BOX>

特定の相手と送受信したメールをまとめて表示する

1つのフォルダに特定のアドレスを登録することで、その相手と送受信したメールをまとめて表示できます。
- 送受信BOXには10個のフォルダが用意されています。(追加することはできません。)
- 1つのフォルダに1件のアドレスを登録できます。

アドレスを登録する

フォルダに電話番号またはメールアドレスを登録します。
- フォルダ名は登録した電話番号またはメールアドレスとなります。電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。(先頭から表示可能な文字数分まで。)
- すでに他のフォルダに登録されているアドレスは登録できません。

1 ✉▶**送受信BOX**
▶**フォルダを選んで**📷TV(登録)
▶**項目を選択**



送受信フォルダ一覧画面

電話帳 . . . . .電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。
送信アドレス一覧 . . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。
受信アドレス一覧 . . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。
直接編集 . . . . .メールアドレスや電話番号を入力します。
- すでにアドレスが登録されている場合は上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「直接編集」を選択した場合はアドレスを編集できます。

送受信フォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。 ▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
登録解除	登録されているアドレスを解除し、フォルダ名をお買い上げ時の状態に戻します。 ▶**YES**
フォルダ内メール全削除	フォルダ内のメールをすべて削除します。削除したメールは、「受信BOX」「送信BOX」からも削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

送受信したメールを表示する

登録した相手と送受信したメールを表示します。

1 ✉▶**送受信BOX**▶**フォルダを選択**▶**メールを選択**

- メールの一覧画面や詳細画面の操作は、「受信BOX」「送信BOX」と同様です。

受信／送信／保存メール一覧画面・詳細画面の見かた

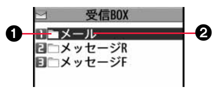
■メールメニュー

受信BOX、送信BOX、保存BOXには以下のマークが付きます。(「メニューテーマ」や「きせかえツール」の設定によっては、表示されるマークが異なることがあります。)



NEW	受信BOXに未読メール、メッセージあり
!	送信BOXに送信に失敗したメールあり 保存BOXに保存メールあり
	BOXロック設定中

■受信フォルダ一覧画面



❶**フォルダの状態**

未読のメールがあるときは「✉」、フォルダロックを設定すると「🔒」、自動振り分けを設定すると「」が表示されます。

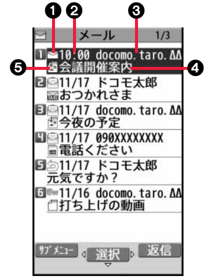
	通常のフォルダ
	ｉアプリメール用フォルダ

❷**フォルダ名**

■受信メール一覧画面と受信メール詳細画面



受信メール一覧画面
1行＋本文表示／
名前表示の場合



受信メール一覧画面
2行表示／名前表示の場合



受信メール詳細画面

❶**メールの状態やタイプ**

保護設定すると「」が表示されます。

	未読メール
	既読メール
	転送済みメール
	返信済みメール
To Cc Bcc	受信したメールのタイプ(詳細画面のみ)

❷**受信した時刻や日付**

メール一覧画面では、当日受信したメールは時刻が表示され、前日までに受信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。日付・時刻はセンターから受信した日本時間が表示されます。海外から送信されたSMSの場合は「GMT」が表示されることがあります。

❸**送信元・同報先の電話番号またはメールアドレス**

電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されている場合、電話帳に登録されているアイコンも表示されます。(詳細画面のみ)

From	送信元メールアドレス(詳細画面のみ)
Fm	返信できない送信元メールアドレス(詳細画面のみ)
To Cc	同報メールアドレス(詳細画面のみ)
To Cc	返信できない同報メールアドレス(詳細画面のみ)

❹題名

一覧画面で表示可能な文字数は「メール一覧表示設定」や文字サイズの設定により異なります。また、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。
SMS、エリアメールの場合は、本文の最初の部分が表示されます。(詳細画面では「SMS」、「エリアメール」と表示されます。)

	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS
	エリアメール

❺添付/貼付データ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。
添付ファイルが削除されているとアイコンに「」が付きます。

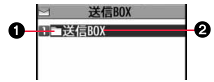
	メロディデータ
	貼付メロディデータ(詳細画面のみ)
	画像データ
	不正な挿入画像データ(詳細画面のみ)
	iモーションデータ
	ムービーデータ
	トルカデータ
	PDFデータ
	ドキュメントデータ
	電話帳、スケジュール、ToDoリスト、Bookmarkデータ
	その他ファイルデータ

	取得前の添付データ
	取得途中で中断された添付データ
	取得に失敗した添付データ
	iアプリ起動情報(一覧画面のみ)
	iアプリメール(一覧画面のみ)
	複数のデータ(一覧画面のみ)データの一部が削除されていると「」が、全部削除されていると「」が表示されます。
	複数の貼付データ
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ

❻本文

本文に続きがある場合は「」が表示されます。(一覧画面のみ)

■**送信フォルダー一覧画面**



❶フォルダの状態

フォルダロックを設定すると「」、自動振り分けを設定すると「」が表示されます。

	通常のフォルダ
	iアプリメール用フォルダ

❷フォルダ名

■**送信メール一覧画面と送信メール詳細画面**



送信メール一覧画面
1行+本文表示/
名前表示の場合



送信メール一覧画面
2行表示/名前表示の場合



送信メール詳細画面

❶メールの状態

保護設定すると「」が表示されます。

	送信に成功したメール
	送信に失敗したメール
	すべての宛先に送信できた同報メール
	一部の宛先に送信できた同報メール
	すべての宛先に送信できなかった同報メール

❷送信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日送信したメールは時刻が表示され、前日までに送信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、送信した日時が表示されます。
日付・時刻が補正されている場合は「」が表示されます

つづく

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

	送信に成功したメールアドレス（詳細画面のみ）
	送信に失敗したメールアドレス（詳細画面のみ）

❹題名

一覧画面で表示可能な文字数は「メール一覧表示設定」や文字サイズの設定により異なります。また、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。
SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。（詳細画面では「SMS」と表示されます。）

	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS
	SMS送達通知受信済み

❺添付データ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。
添付ファイルが削除されているとアイコンに「🗑」が付きます。

	メロディデータ
	画像データ
	不正な挿入画像データ（詳細画面のみ）
	ｉモーションデータ
	ムービーデータ
	トルカデータ
	PDFデータ
	ドキュメントデータ

	電話帳、スケジュール、ToDoリスト、Bookmarkデータ
	その他ファイルデータ
	ｉアプリメール（一覧画面のみ）
	複数のデータ（一覧画面のみ）データの一部が削除されていると「」が、全部削除されていると「」が表示されます。
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ

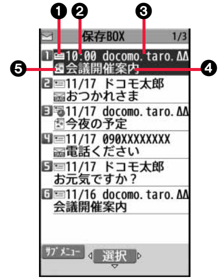
❻本文

本文に続きがある場合は「」が表示されます。（一覧画面のみ）

■保存メール一覧画面



1行＋本文表示／名前表示の場合



2行表示／名前表示の場合

❶メールの状態

	通常のメール
	同報メール

	日時指定送信予約メール
	圏内自動送信予約メール
	自動送信失敗メール

❷保存した時刻や日付

メール一覧画面では、当日保存／送信予約／自動送信失敗したメールは時刻が表示され、前日までに保存／送信予約／自動送信失敗したメールは日付が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

❹題名

一覧画面で表示可能な文字数は「メール一覧表示設定」や文字サイズの設定により異なります。また、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。
SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。

	SMS

❺添付データ

アイコン	種類
	メロディデータ
	画像データ
	iモーションデータ
	ムービーデータ
	トルカデータ
PDF	PDFデータ
	ドキュメントデータ
	電話帳、スケジュール、ToDoリスト、Bookmarkデータ
	その他ファイルデータ
	複数のデータ
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ

❻本文
本文に続きがある場合は「 」が表示されます。

お知らせ

- 受信メール／送信メール／保存メール一覧画面の表示を変更するには、P.179「メール一覧表示設定」をご覧ください。
- 「メール一覧表示設定」で「名前表示」を選択していると、送信元や送信先は電話帳に登録されている名前が表示されます。また、送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録された電話帳と一致したメールは表示されません。シークレットモードもしくはシークレット専用モードに設定すると表示されます。
  送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録されていない電話帳と一致しても、シークレット専用モードに設定していると表示されません。シークレットモードに設定するかシークレット専用モードを解除すると表示されます。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、Bアドレス／Bナンバー宛の受信メール、送信者アドレスがBアドレスの送信メール・保存メールには、「B」が表示されます。

メールを管理する

受信フォルダ一覧画面・送信フォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ操作

項目	説明
フォルダ追加	新規フォルダを追加します。また、追加したフォルダに自動振り分けを設定したり、受信BOXと送信BOXに同じフォルダを追加したりできます。 受信、送信それぞれ22件までフォルダを追加できます。 ▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ▶YES・NO YES. . . .自動振り分けを設定します。(P.177「自動振分け設定画面のサブメニュー」参照) NO. . . . .自動振り分けを設定しません。 ▶YES・NO YES. . . .受信BOXまたは送信BOXにも同じフォルダを追加します。 NO. . . . .受信BOXまたは送信BOXに同じフォルダは追加しません。 ●自動振り分けを設定していた場合、同じ振り分け条件でフォルダが追加されます。(「返信不可振分け」「送信失敗振分け」「電話帳登録なし」に設定していた場合を除く) ●すでに受信BOXまたは送信BOXに最大件数までフォルダが追加されている場合は、確認画面が表示されません。
フォルダ名編集	追加したフォルダのみ編集できます。 ▶**フォルダ名を編集** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ並び替え	フォルダを並べ替えます。追加したフォルダ、メッセージR/Fフォルダを並べ替えできます。 ▶**で順番を変更**▶(選択)

つづく

項目	説明
フォルダ削除	フォルダ内のメールもシークレットメールを含めてすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
フォルダロック	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES** ●解除する場合も同様の操作を行います。
フォルダ内表示	メール連動型ｉアプリを起動することなくｉアプリ用メールフォルダ内のメールを表示できます。
自動振分け設定	P.176参照
デスクトップ貼付 ［受信フォルダのみ］	P.38参照
外部送信	
赤外線全送信	P.406参照
iC全送信	P.408参照
Bluetooth全送信	P.450参照
microSDへ全コピー	P.389参照
保存件数確認	受信メール、送信メールの保存件数を表示します。
削除	
既読メール全削除 ［受信フォルダのみ］	全受信フォルダ内の既読メールをすべて削除します。FOMAカード内の既読SMSもすべて削除されます。 ▶**YES**
受信メール全削除 ［受信フォルダのみ］	全受信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の受信SMSもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
送信メール全削除 ［送信フォルダのみ］	全送信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の送信SMSもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

お知らせ

<フォルダ削除>

●2in1のモードに関わらず、Aモード･Bモードのすべてのｉモードメール･SMSが削除されます。

●対応するメール連動型ｉアプリがある場合、ｉアプリメール用フォルダは削除できません。
ソフトがない場合はｉアプリメール用フォルダを削除できますが、送信フォルダ一覧画面、受信フォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。

<フォルダロック>

●フォルダロックが設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名編集できません。

●送受信時にフォルダロックが設定されたフォルダに保存されたメールは、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

<受信メール全削除><送信メール全削除>

●2in1のモードに関わらず、Aモード･Bモードのすべてのｉモードメール･SMSが削除されます。

受信メール一覧画面･送信メール一覧画面･保存メール一覧画面のサブメニュー

項目	説明
返信 ［受信メールのみ］	▶**項目を選択** **ｉモードメール返信** . . . P.161参照 **デコメアニメ返信**. . . . . P.161参照 ●SMSの場合は、項目を選択する操作は不要です。（P.161参照）
再編集 ［送信メールのみ］	送信したメールを再編集して送信します。 ｉモードメールを選択していた場合はP.144手順2へ進みます。 デコメアニメ®を選択していた場合はP.151手順2へ進みます。 SMSを選択していた場合はP.185手順2へ進みます。 ●（再編集）を押しても再編集できます。
送信予約	

項目	説明
設定 ［保存メールのみ］	送信したい日時を指定して、日時指定送信予約メールとして設定します。 ▶**送信する日時を入力** ●2in1のモードがデュアルモードで送信者アドレスが設定されていない場合、送信者アドレスを選択します。
解除 ［保存メールのみ］	送信予約メールや自動送信失敗メールを通常の保存メールに変更します。
予約確認 ［保存メールのみ］	日時指定送信予約メールの送信日時を表示します。
送信失敗確認 ［保存メールのみ］	自動送信に失敗した理由を表示します。
保護	
保護・保護解除	
1件保護・1件保護解除 ［受信メールのみ］ **選択保護・選択保護解除** ［受信メールのみ］ **全保護・全保護解除** ［受信メールのみ］ **保護／保護解除** ［送信メールのみ］ **全保護解除** ［送信メールのみ］	メールを上書き・削除されないように保護します。受信メールは2500件まで、送信メールは500件まで保護できます。 保護すると「🔑」が表示されます。 また、保護しているメールを解除できます。 ●「選択保護」「選択保護解除」の場合は、保護・保護解除したいメールにチェックして📷TV（ 完了 ）を押します。 ●「全保護」「全保護解除」の場合は、「YES」を選択します。
移動／コピー	
フォルダ移動	
1件移動 ［受信メール・送信メール］	▶**移動先のフォルダを選択**▶**YES**
選択移動 ［受信メール・送信メール］	▶**移動先のフォルダを選択** ▶**移動したいメールにチェック**▶📷TV（ 完了 ） ▶**YES**
全移動 ［受信メール・送信メール］	フォルダ内のメールをすべて別のフォルダに移動します。 ▶**移動先のフォルダを選択**▶**YES**
FOMAカード操作 ［受信メール・送信メール］	FOMAカードまたはFOMA端末（本体）へコピー、移動します。（P.441参照）
microSDへコピー	
1件コピー	P.389参照
選択コピー	P.389参照
全コピー	P.389参照
お預かりセンターに保存	P.138参照
検索／並び替え	
メール検索	
送信元検索／宛先検索 ［受信メール・送信メール］	送信元／宛先のメールアドレスや電話番号からメールを検索します。 受信メールの場合は「送信元検索」、送信メールの場合は「宛先検索」と表示されます。 ▶**項目を選択** **電話帳**．．．．．電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **受信アドレス一覧** ．．．．．．．．．．電話番号またはメールアドレスを選択して●（ 選択 ）を押します。 **送信アドレス一覧** ．．．．．．．．．．電話番号またはメールアドレスを選択して●（ 選択 ）を押します。 **直接入力**．．．メールアドレスや電話番号を入力します。 ●半角50文字まで入力できます。

	題名検索 [受信メール･送信メール]	題名からメールを検索します。 ▶**題名を入力** ●全角15文字/半角30文字まで入力できます。
	ソート [受信メール･送信メール]	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択**
	フィルタ [受信メール･送信メール]	条件に合うメールのみを表示します。 ▶**種類を選択**
	全表示 [受信メール･送信メール]	メール検索･ソート機能･フィルタ機能を行ったあと、すべてのメールを「新しい順」で表示します。
表示設定		
	色分け [受信メール･送信メール]	受信メール一覧画面や送信メール一覧画面の文字に色を付け分別できます。「指定なし」を選択すると通常の文字色になります。 ▶**カラーを選択** ●(*)を1秒以上押すごとに色を変えることもできます。
	一覧表示切替	一覧画面で表示する内容を選択します。送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを選択できます。 「メール一覧表示設定」の設定によっては題名で表示するように設定できます。 ▶**表示する内容を選択** ●(#)を1秒以上押すごとに切り替えることもできます。
すべて既読 [受信メールのみ]		フォルダ内の未読メールをすべて既読にします。メール検索機能やフィルタ機能利用中は、表示されているメールのみ既読になります。 ▶YES
外部送信		
	赤外線送信	P.405参照
	赤外線全送信 [保存メールのみ]	P.406参照
	iC送信	P.407参照
	iC全送信 [保存メールのみ]	P.408参照
	Bluetooth送信	P.450参照
	Bluetooth全送信 [保存メールのみ]	P.450参照
メール情報 [受信メールのみ]		送信元のメールアドレスや電話番号、受信日時、題名を表示します。
保存件数確認		受信メール、送信メール、保存メールの保存件数を表示します。
受信／拒否設定 [受信メールのみ]		送信元のアドレスに対して、受信の許可、拒否の設定をサイトで登録します。 ▶YES 画面に従って操作を行います。 ●受信／拒否設定の詳細については、「ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）」をご覧ください。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶**削除したいメールにチェック**▶(📷TV)(完了) ▶YES
	既読削除 [受信メールのみ]	フォルダ内の既に読んだメールをすべて削除します。 ▶YES
	SMS送達通知全削除 [受信メールのみ]	SMS送達通知をすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
	全削除	一覧画面に表示されているメールをすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES

お知らせ

<送信予約>

- すでに送信予約を設定しているメールや自動送信失敗メールを再度送信予約設定しようとすると、送信予約が一度解除されます。

<題名検索>

- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

<色分け>

- microSDカードへコピーした場合や、FOMAカードへコピー･移動、FOMAカードからコピー･移動した場合、または赤外線送信、iC送信した場合は、色分けは解除されます。
- FOMAカード内のSMSには色分けを設定できません。

<既読削除><SMS送達通知全削除><全削除>

- 2in1のモードやシークレットモードまたはシークレット専用モードで表示されていないｉモードメール･SMSは削除されません。

受信メール詳細画面･送信メール詳細画面のサブメニュー

項目	内容
返信／転送	
ｉモードメール返信 ［受信メールのみ］	P.161参照
デコメアニメ返信 ［受信メールのみ］	P.161参照
引用返信 ［受信メールのみ］	P.161参照
SMS返信 ［受信メールのみ］	P.161参照
転送 ［受信メールのみ］	P.161参照
再編集 ［送信メールのみ］	P.170参照
再送信 ［送信メールのみ］	送信したメールを再送信します。 ▶YES
保護／保護解除	P.171参照
移動／コピー	
コピー	▶**コピーしたい項目を選択** ●コピーの方法についてはP.459参照。 ●送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、コピーしたいメールアドレスや電話番号を選択します。
フォルダ移動	▶**移動先のフォルダを選択**
FOMAカード操作	FOMAカードまたはFOMA端末（本体）へコピー、移動します。（P.441参照）
microSDへコピー	P.389参照
クイック検索 ［受信メールのみ］	P.200参照
辞典検索 ［送信メールのみ］	P.439参照
ファイル操作	
データ保存	P.163参照
挿入画像保存	P.154参照
デコメ絵文字保存	
選択保存 ［受信メールのみ］	メール本文中にあるデコメ絵文字®を選択して保存します。最大20個のデコメ絵文字®から選択できます。 ▶**保存したいデコメ絵文字®にチェック** ▶📷TV（完了）▶YES▶**フォルダを選択** ●保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。 ●保存したデコメ絵文字®の確認方法についてはP.353参照。

項目	内容
全保存 ［受信メールのみ］	メール本文中にあるデコメ絵文字®を一括して保存します。最大20個まで保存できます。 ▶YES ●保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。 ●保存したデコメ絵文字®の確認方法についてはP.353参照。
デコメール保存	P.146参照
プロパティ	本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。 ▶画像を選択
添付ファイル削除	▶YES
添付ファイル全削除	▶YES
受信／拒否設定 （迷惑メール対策） ［受信メールのみ］	選択しているアドレス（送信元や同報先またはメール本文に記載されているアドレス）に対して、受信の許可、拒否の設定をサイトで登録します。 ▶YES 画面に従って操作を行います。 ●迷惑メール対策の詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）」をご覧ください。
登録	
アドレス／番号登録	
電話帳	P.95参照
ブログ･メールメンバー	▶ブログ･メールメンバーを選択▶＜未登録＞ ●登録済みのメールアドレスを選択すると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
デスクトップ貼付	P.38参照
表示設定	
スクロール設定	P.179参照
文字サイズ設定	P.120「メール」参照
SMS送達通知表示 ［送信メールのみ］	SMSの送信結果や相手に届いた日時などを確認します。SMS送達通知を受信するには、「送達通知設定」を「要求する」に設定してください。
外部送信	
赤外線送信	P.405参照
iC送信	P.407参照
Bluetooth送信	P.450参照
削除	▶YES

お知らせ

＜再送信＞

●送信に失敗したメールは、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。すべての宛先に送信失敗している同報メールも、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。

<送信アドレス一覧><受信アドレス一覧>

送受信したメールの履歴を表示する

ｉモードメールやSMSを送受信すると、送信アドレス一覧と受信アドレス一覧にそれぞれ30件まで記憶され、相手のメールアドレスや電話番号を確認できます。同じメールアドレスまたは電話番号との送受信があった場合、古いデータは削除されます。

- 2in1利用時はモードに関わらず、それぞれの履歴はAアドレス（Aナンバー）で30件ずつ、Bアドレス（Bナンバー）で30件ずつまで記憶されます。

■送信アドレス一覧・受信アドレス一覧のアイコン

一覧画面	詳細画面	説明
／	／	送受信したｉモードメール／送信に失敗したｉモードメール
／	SMS／SMS	送受信したSMS／送信に失敗したSMS
	フェムトセル	フェムトセルでの受信
GMT		時差補正による時刻
B		Bアドレスで送受信したｉモードメール、Bナンバーで受信したSMS（2in1のモードがデュアルモードの場合のみ）

1

送信アドレス一覧の場合

を1秒以上押す



送信アドレス一覧画面

受信アドレス一覧の場合

を1秒以上押す



受信アドレス一覧画面

2 表示したい履歴を選択

アドレス一覧の詳細画面が表示されます。

- 相手の電話番号が通知されなかったSMSの場合は、非通知理由が表示されます。

送信アドレス一覧・受信アドレス一覧表示中のサブメニュー

電話帳登録	P.95参照 ●アドレス一覧の詳細画面で（登録）を押しても電話帳に登録できます。
電話帳参照	電話帳詳細画面を表示します。
デスクトップ貼付	P.38参照
メール作成	ｉモードメールを作成します。宛先欄にメールアドレスが入力されます。 P.144手順3へ進みます。 ●ｉモードメールのアドレス一覧の詳細画面で（MAIL）を押してもｉモードメールを作成できます。
SMS作成	SMSを作成します。宛先欄に電話番号が入力されます。 P.185手順3へ進みます。 ●SMSのアドレス一覧の詳細画面で（MAIL）を押してもSMSを作成できます。

メール

つづく

電話発信	メールアドレスが電話帳に登録されているとき、電話帳の電話番号に電話をかけます。 **▶発信方法を選択** ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。設定を解除する場合は「設定解除」を選択します。 ●「SMS作成」を選択すると電話番号を宛先としたSMSを作成します。P.185手順3へ進みます。 ●電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。 **▶[発信]を押す** ●テレビ電話発信の場合は「発信」を選択します。 ●国際電話をかける場合はサブメニューまたは発信確認の画面で「国際電話発信」を選択します。(P.73参照) ●発信者番号通知を設定する場合はサブメニューまたは発信確認の画面で「発信者番号通知」を選択します。(P.70手順2参照)
リダイヤル表示・発信履歴表示 ［送信アドレス一覧のみ］	リダイヤル一覧画面または発信履歴一覧画面を表示します。(P.66参照) ●送信アドレス一覧画面で[iα]([表示切替])を押してもリダイヤル一覧画面が表示されます。 発信履歴一覧画面から送信アドレス一覧画面を表示していた場合は、[iα]([表示切替])を押すと発信履歴一覧画面が表示されます。
着信履歴表示 ［受信アドレス一覧のみ］	着信履歴一覧画面を表示します。すべての着信履歴(全着信)を表示します。(P.67参照) ●受信アドレス一覧画面で[iα]([表示切替])を押しても着信履歴一覧画面が表示されます。
拡大表示・標準表示	リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧の文字サイズを切り替えます。(P.121「発着信履歴」参照)
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい履歴にチェック▶[📷TV]([完了])▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

＜自動振分け設定＞

送受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

設定した条件に合うメールを、自動的に指定のフォルダに保存します。追加したフォルダ、iアプリメール用フォルダにのみ設定できます。

1 受信フォルダ一覧画面・送信フォルダ一覧画面▶[MENU]([ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ])▶自動振分け設定

P.177のサブメニュー表の操作を行って自動振り分けを設定します。
すでに振り分け条件を設定しているフォルダを選択した場合は、自動振分け設定画面が表示されます。

条件を変更するときは

再設定するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると以前に設定されていた条件が解除され、新たに再設定されます。

同じ条件が他のフォルダに設定されているときは

変更するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると他のフォルダに設定されていた条件は解除され、選択しているフォルダに設定を変更します。
●フォルダロックがかかっているフォルダに設定されている場合は、設定を変更できません。

お知らせ

●各フォルダに登録したアドレスの合計が700件まで登録できます。

お知らせ

- 複数の条件にあてはまる場合、以下の優先順位で自動振り分けをします。
  ①すべて振分け
  ②題名振分け
  ③返信不可振分け・送信失敗振分け
  ④アドレス振分け(アドレス参照入力、直接入力)
  ⑤アドレス振分け(ブログ・メールメンバー参照)
  ⑥アドレス振分け(グループ参照)
  ⑦A/Bモード振分け
  ⑧電話帳登録なし
- エリアメールは「すべて振分け」でのみ振り分けできます。
- 振り分け条件にあてはまらないメールは「メール」フォルダまたは「送信BOX」フォルダに振り分けられます。

自動振分け設定画面のサブメニュー

項目		説明
アドレス振分け		
	アドレス参照入力	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を電話帳や受信・送信アドレス一覧から設定します。 ▶**項目を選択** **電話帳**. . . .電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **受信アドレス一覧** . . . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。 **送信アドレス一覧** . . . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。
	グループ参照	フォルダに振り分けるグループを設定します。 ▶**グループを選択**
	ブログ・メールメンバー参照	フォルダに振り分けるブログ・メールメンバーを設定します。 ▶**ブログ・メールメンバーを選択**
	直接入力	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を、直接入力します。 ▶**メールアドレスや電話番号を入力** ●半角50文字まで入力できます。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。電話番号のみを入力するとSMSも振り分けることができます。
題名振分け		フォルダに振り分けるｉモードメールの題名を入力します。1つのフォルダに設定できる題名は1件です。 ▶**題名を入力** ●全角15文字/半角30文字まで入力できます。
返信不可振分け [受信フォルダのみ]		返信不可のメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
送信失敗振分け [送信フォルダのみ]		送信に失敗したメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
すべて振分け		すべてのメールをｉアプリメール用フォルダに振り分けるよう設定します。受信と送信それぞれ1つのｉアプリメール用フォルダにのみ設定できます。 「すべて振分け」を設定すると、他の振り分け設定は無効となります。 ▶**YES**
A/Bモード振分け		2in1のAアドレス/Bアドレスを振り分けるように設定します。受信と送信それぞれ1つのフォルダにのみ設定できます。デュアルモード中に設定・確認できます。 ▶**Aアドレス・Bアドレス**
電話帳登録なし		送信元/宛先が電話帳に登録されていないメールを振り分けるように設定します。受信と送信それぞれ1つのフォルダにのみ設定できます。
アドレス/題名編集		フォルダに設定したメールアドレス、電話番号、題名を編集・登録します。 ▶**メールアドレス、電話番号、題名を編集**

つづく

一覧表示切替	メールの宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ▶名前表示・アドレス表示 ●(#)を1秒以上押しても切り替えることができます。

解除

1件解除	振り分け条件を解除します。(自動振分け設定画面から削除されます。) ▶YES
選択解除	メールアドレスや電話番号などを選択して解除します。(自動振分け設定画面から削除されます。) ▶解除したいメールアドレスや電話番号などにチェック▶(📷TV)(完了)▶YES
全解除	振り分け条件をすべて解除します。(自動振分け設定画面から削除されます。) ▶YES

お知らせ

<グループ参照>
- 自動振分け設定画面では、グループ名の前に「GR」が表示されます。
- FOMAカード内のグループは設定できません。
- 通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)でシークレットメールを受信した場合は、フォルダに振り分けられません。

<ブログ・メールメンバー参照>
- 自動振分け設定画面では、ブログ・メールメンバー名の前に「B·M」が表示されます。

<題名振分け>
- 題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、「メール」フォルダや「送信BOX」フォルダに最も近いフォルダに振り分けられます。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けできません。
- SMSは題名振り分けできません。

<すべて振分け>
- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けされません。

<メール設定>

メールやメッセージR/Fの設定を行う

1 (✉)▶メール設定▶以下の操作を行う

受信設定

メール選択受信設定	P.159参照
添付ファイル優先受信設定	ｉモードメール受信時に添付ファイルも受信するかどうかを設定します。チェックを外している添付ファイルはｉモードセンターに保管されます。(チェックを付けていても、添付ファイルの合計が100Kバイトを超える場合は一部またはすべての添付ファイルがｉモードセンターに保管されます。) ▶受信したい項目にチェック▶(📷TV)(完了) ●「ツールデータ」にチェックを付けると電話帳、スケジュール、ToDoリスト、Bookmarkを受信します。 ●「その他」にチェックを付けるとムービー、ドキュメントファイル、FOMA端末では対応していないファイルを受信します。
添付ファイル自動再生設定	メールの本文を表示時またはメッセージR/F表示時に、添付または貼り付けられているメロディや効果音を自動再生するかどうかを設定します。 ▶自動再生する・自動再生しない
メール着信音	メール、メッセージR/Fの着信音や鳴動時間を設定します。 ▶項目を選択 メール . . . . P.104手順2へ進みます。 メッセージR. . . . . P.104手順2へ進みます。 メッセージF. . . . . P.104手順2へ進みます。 メール／メッセージ鳴動 . . . P.108参照

表示設定

	項目	説明
	受信時動作設定	他の機能を操作中でもメール受信中やメール受信結果の画面を表示するかどうかを設定します。 ▶**通知優先・操作優先** **通知優先**. . . FOMA端末を操作しているときや通話中も受信中や受信結果の画面を表示します。 **操作優先**. . . 待受画面表示中にのみ受信中や受信結果の画面を表示します。
	メッセージ自動表示設定	P.181参照
	スクロール設定	メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面・メール作成画面・プレビュー表示の画面などでを押したときにスクロールする行数を設定します。 ▶**行数を選択**
	文字サイズ設定	P.120「メール」参照
	メール一覧表示設定	メール一覧画面の表示方法を設定します。 ▶**表示行数を選択**▶**表示内容を選択**
	メッセージ一覧表示設定	メッセージR/F一覧画面の表示方法を設定します。 ▶**2行表示・1行表示**
	メール本文表示設定	受信メールを通常表示(先頭から表示)するか、本文から表示するか設定します。 ▶**通常表示・本文から表示**
冒頭文/署名設定		P.180参照
定型文/単語登録		
	定型文	P.458参照
	単語登録	P.460参照
BOXロック		P.134参照
メール/メッセージ問合せ設定		「メール/メッセージ問合せ」をするときに問い合わせる項目をｉモードメール、メッセージR、メッセージFの中から設定します。 ▶**問い合わせたい項目にチェック**▶(完了)

	項目	説明
アドレス・迷惑メール設定		メール設定のサイトに接続し、メールアドレスや迷惑メール対策の設定や確認を行います。 ▶**YES** 画面に従って操作を行います。
編集時自動保存設定		メール作成時にを連続で押して終了してしまった場合、編集中のメールを自動で保存するかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF**
SMS設定		
	送達通知設定	P.187参照
	有効期間設定	P.187参照
	本文入力設定	P.188参照
	センター設定	P.188参照
緊急速報「エリアメール」設定		
	受信設定	P.184参照
	ブザー鳴動時間	P.184参照
	マナー/公共モード時設定	P.184参照
	着信音確認	P.184参照
	その他	P.184参照
メール設定確認		「メール設定」の各設定内容を確認します。
メール設定リセット		「メール設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。リセットされる項目についてはP.498「機能一覧表」を参照してください。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

お知らせ

<添付ファイル自動再生設定>

- バックグラウンド再生中は、「添付ファイル自動再生設定」を「自動再生する」に設定していても、添付または貼り付けられているメロディや効果音は再生されません。

つづく

お知らせ

<メール／メッセージ問合せ設定>
- メッセージRやメッセージFをメール／メッセージ問合せで受信したくない場合は、「□」にしてください。

<編集時自動保存設定>
- 「ON」に設定した場合、宛先や題名、本文を入力中に[終話]を連続で押して終了したときは、確定済みの文字が入力された状態で保存BOXに保存されます。

冒頭文／署名設定

冒頭文・署名・引用符を登録します。また、冒頭文や署名を自動的に貼り付けるかどうかも設定します。

1 [メール]▶**メール設定**▶**冒頭文／署名設定**▶**以下の操作を行う**

冒頭文編集	冒頭文とは、本文の最初に書く挨拶文のことです。 ▶[●](編集)▶**冒頭文を入力**▶[カメラTV](完了) ●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。
署名編集	署名とは、本文の最後に書く自分の名前などのことです。 ▶[●](編集)▶**署名を入力**▶[カメラTV](完了) ●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。
引用符編集	引用符とは、引用返信するときなどに受信メールから引用したことを表す記号です。 ▶**引用符を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
自動貼付設定	冒頭文／署名を自動で貼り付けるかどうかを設定します。 ▶**自動で貼り付けたい項目にチェック**▶[カメラTV](完了) ●1通ごとの冒頭文貼付、署名貼付についてはP.146、P.147参照。

お知らせ
- 冒頭文や署名にもデコレーションを設定できます。

お知らせ
- 「自動貼付設定」でチェックを付けていても、テンプレートからｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。また、2in1のモードがデュアルモードで送信者アドレスが設定されていない場合も、貼り付けられません。ｉアプリから作成するときは貼り付けられない場合があります。
- デコメアニメ®、SMSには冒頭文、署名、引用符を貼り付けることはできません。
- 2in1のAアドレス、Bアドレスそれぞれに冒頭文／署名を設定できます。デュアルモード中は、「Aアドレス」「Bアドレス」から設定する冒頭文／署名を選択します。
- 自動貼り付けを設定すると、2in1のモードによりAアドレスまたはBアドレスの冒頭文／署名が自動的に貼り付けられます。デュアルモード中は、送信者アドレスが設定されると対応した冒頭文／署名が自動的に貼り付けられます。一度貼り付けられた冒頭文／署名は、送信者アドレスを切り替えても自動的には切り替わりません。

<メッセージR/F受信>

メッセージR/Fを自動的に受信する

メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
FOMA端末が圏内にあるときには、iモードセンターから自動的にメッセージR/Fが送られてきます。
メッセージR/Fが届くと画面の上部に「R」や「F」が表示されます。
受信したメッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保存できます。

1 メッセージR/Fを受信すると「R」または「F」が点滅し、受信中のメッセージが表示される



受信結果画面

受信が終わると、受信したメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

- 「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージR/F一覧画面が表示されます。
- 「メッセージ自動表示設定」が「自動表示しない」以外に設定されていると、受信したメッセージR/Fの内容が自動で表示されます。自動表示は約15秒間行われます。
- 何も操作しなかった場合はデスクトップに「R/F メッセージ」(P.36参照)が表示され、元の画面に戻ります。
  ●を押し、「R/F メッセージ」を選んで●(選択)を押すと、メッセージR/F詳細画面が表示されます。

お知らせ

- iアプリ起動中、公共モード(ドライブモード)中、ダイヤルロック中、「オリジナルロック」で「メール」「メール/メッセージ受信表示」をロック中は、メッセージR/Fを受信しても自動表示しません。
- 最大保存件数/最大保存容量を超えた場合は、古いメッセージR/Fから順に削除されます。ただし、未読または保護しているメッセージR/Fは削除されません。
- FOMA端末がこれ以上メッセージR/Fを受信できない場合は、「R(橙色)」または「F(橙色)」が表示されます。不要なメッセージR/Fを削除するか、未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除してください。

お知らせ

- 「R」または「F」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR/Fが保管されています。「R(橙色)」または「F(橙色)」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR/Fがいっぱいです。「メール/メッセージ問合せ」を行ってメッセージR/Fを受信してください。
- 自動表示後も、メッセージR/F一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中にスクロールなどの操作を行ったときは既読となります。
- 以下のような場合にメッセージR/Fを受信したときは、iモードセンターに保管されます。
  - ･電源OFFのとき　･テレビ電話中　･セルフモード設定中
  - ･圏外のとき　･赤外線通信中　･FirstPassセンター接続中
  - ･おまかせロック中　･iC通信中　･お預かりセンターに接続中
  - ･保護または未読のメッセージにより、メッセージR/Fの容量が満杯のとき
  - ･お預かりセンターからメールデータダウンロード後のメールデータ保存中

メッセージ自動表示設定

待受中、音声電話中にメッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 ✉▶メール設定▶表示設定▶メッセージ自動表示設定▶項目を選択

- **メッセージR優先**……メッセージRを自動表示します。メッセージRがないときはメッセージFを表示します。
- **メッセージF優先**……メッセージFを自動表示します。メッセージFがないときはメッセージRを表示します。
- **メッセージRのみ**……メッセージRのみを自動表示します。
- **メッセージFのみ**……メッセージFのみを自動表示します。
- **自動表示しない**……自動表示しません。

お知らせ

- 音声電話中にメッセージR/Fを受信した場合、自動表示は通話終了後に行われます。
- 「受信BOX」に「BOXロック」が設定されている場合は、自動表示されません。

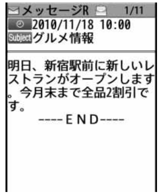
<メッセージR/F表示>
受信したメッセージR/Fを見る

1 **[✉]▶受信BOX▶メッセージR・メッセージF▶表示したいメッセージR/Fを選択**

- 未読のメッセージR/Fを選択した場合は「✉」が「既読アイコン」に変わります。
- [○]で他のメッセージR/Fを確認できます。
- メッセージR/Fの本文が長い場合は[○]で画面をスクロールして確認できます。

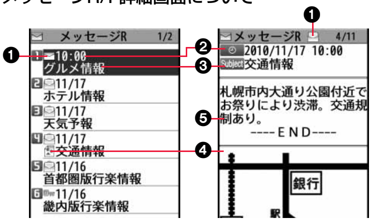


メッセージR/F一覧画面



メッセージR/F詳細画面

■メッセージR/F一覧画面とメッセージR/F詳細画面について



メッセージR/F一覧画面
2行表示の場合

メッセージR/F詳細画面

❶**メッセージR/Fの状態**
保護設定すると「保護アイコン」が表示されます。

✉	未読のメッセージR/F
	既読のメッセージR/F

❷**受信した時刻や日付**
一覧画面では、当日受信したメッセージR/Fは時刻が表示され、前日までに受信したメッセージR/Fは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。

❸**題名**

❹**添付または貼り付けられているデータ**
詳細画面ではデータの容量も表示されます。

♫	正常なメロディデータ
	正常な画像データ
	正常なトルカデータ
	複数の添付データ
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ

❺**本文**
電話帳に登録されている電話番号は、電話帳に登録されている名前で表示されます。

メッセージR/F一覧画面のサブメニュー

保護	
保護／保護解除	メッセージR/Fを上書き・削除されないように保護します。 最大50件（メッセージRとメッセージFそれぞれ）まで保護できます。 保護すると「保護アイコン」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
全保護解除	▶YES
検索／並び替え	
ソート	表示される順番を変更します。 **▶順番を選択**
フィルタ	条件に合うメッセージR/Fのみを表示します。 **▶種類を選択**

	全表示	ソート機能やフィルタ機能を行ったあとに、それらを解除してすべてのメッセージR/Fを「新しい順」で表示します。
保存件数確認		FOMA端末に保存しているメッセージR/Fの総件数、未読件数、保護件数を表示します。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいメッセージR/Fにチェック▶📷TV(完了)▶YES
	既読削除	既に読んだメッセージR/Fをすべて削除します。▶YES
	全削除	メッセージR/Fをすべて削除します。▶端末暗証番号を入力▶YES

メッセージR/F詳細画面のサブメニュー

保護/保護解除		P.182参照
クイック検索		P.200参照
ファイル操作		
	データ保存	P.163参照
	挿入画像保存	P.154参照
	背景画像保存	▶YES▶保存したいフォルダを選択 P.208手順3へ進みます。
文字サイズ設定		P.120「メール」参照
アドレス/番号登録		P.95参照
削除		▶YES

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 下記のような場合は受信できません。※1
  ･おまかせロック中
  ･セルフモード設定中
  ･国際ローミング中
  ･音声電話中
  ･テレビ電話中
  ･赤外線通信中
  ･iC通信中
  ･Bluetooth通信中
  ･圏外のとき
  ･電源OFFのとき
- 下記のような場合は受信できないことがあります。※1※2
  ･ｉモード通信中
  ･データ通信中
  ･お預かりセンターに接続中
  ･ソフトウェア更新中
  ･パターンデータ更新中
  ･USB接続で通信中

※1 受信できなかったメッセージを再度受信することはできません。

※2 受信できた場合でも、内容は自動表示されません。

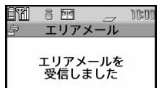
- 下記のような場合などは受信しても内容は自動表示されません。
  ･公共モード(ドライブモード)中
  (「マナー/公共モード時設定」を「各モードに従う」に設定している場合)
  ･microSDカード操作中
  ･ｉモーション、ムービーのストリーミング再生中

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、エリアメール専用の着信音が鳴ります。「着信音量」や「鳴動時間」「バイブレータ設定」は「メール」の設定に従います。
緊急地震速報を受信した場合は、専用のブザー(警報音)が鳴り、バイブレータでお知らせします。また、内容が自動的に表示されます。「着信音量」は「レベル6」、「バイブレータ設定」は「メロディ連動」に固定されており、変更できません。「鳴動時間」については、「緊急速報「エリアメール」設定」で設定できます。
受信したエリアメールは受信BOXに保存され、iモードメール、SMSとは別に最大100件まで保存されます。

- お買い上げ時は「マナー／公共モード時設定」が「マナー／公共モード時でも鳴動」に設定されているため、マナーモード、公共モード(ドライブモード)の設定に関わらず、ブザーや着信音、バイブレータが鳴動します。

1 エリアメールを受信すると「 」が点灯し、受信した旨のメッセージが表示され、着信／充電ランプが光る



受信結果画面

- いずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。
- エリアメールによっては、受信時に内容が画面に自動表示されるものがあります。表示を消すには「OK」を選択するかCLRまたは終話を押します。
- エリアメールを表示するにはP.163参照。

お知らせ

- エリアメールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、既読の古いエリアメールから順に削除されます。すべてのエリアメールが未読の場合は、古いものから順に削除されます。
- 受信時に内容が表示されるかどうかについては、エリアメールの提供者側の設定によります。
- 電波状況により、エリアメールを受信できない場合があります。

<緊急速報「エリアメール」設定>

緊急速報「エリアメール」の設定を行う

1 メール▶メール設定▶緊急速報「エリアメール」設定▶以下の操作を行う

受信設定	エリアメールを利用するかどうかを設定します。 ▶**利用する・利用しない**
ブザー鳴動時間	ブザーが鳴る時間を設定します。 ▶**鳴動時間(秒)を入力** ●「01」～「30」の2桁を入力します。
マナー／公共モード時設定	マナーモード中、公共モード(ドライブモード)中にエリアメールを受信したときの動作を設定します。 ▶**項目を選択** **マナー／公共モード時でも鳴動** ・・・・・・・・・・・・・・マナーモード、公共モード(ドライブモード)の設定に関わらず、ブザーや着信音、バイブレータが鳴動します。 **各モードに従う**・・マナーモード、公共モード(ドライブモード)の設定に従います。
着信音確認	「緊急地震速報」「災害・避難情報」を受信したときのブザー、着信音、バイブレータ、着信／充電ランプの動作を確認できます。 ▶**緊急地震速報・災害・避難情報**
その他	

受信登録	緊急地震速報、災害･避難情報の他に受信したい情報のMessage IDを登録します。20件まで登録できます。 ●緊急地震速報、災害･避難情報のみを受信する場合には受信登録の必要はありません。 **▶<未登録>▶端末暗証番号を入力▶名称欄を選択▶登録名を入力▶Message ID欄を選択▶Message IDを入力▶📷TV(完了)** ●登録名は任意の名称を全角15文字/半角30文字まで入力できます。Message IDはサービス提供者から連絡を受けた半角4文字で入力します。 ●登録済みの設定を選択して端末暗証番号を入力すると編集できます。 ●登録済みの設定を選んで📷TV(削除)を押して端末暗証番号を入力すると、設定を削除できます。 ●「緊急地震速報」「災害･避難情報」は編集／削除できません。

お知らせ

<マナー／公共モード時設定>

●「各モードに従う」に設定し、「マナーモード」、「スーパーサイレント」で設定したマナー設定の場合に緊急地震速報を受信したときは、ブザーは鳴りません。ただし、「オリジナルマナー」で以下のいずれかの音が鳴るマナー設定の場合は、ブザーが鳴ります。すべて鳴らない設定の場合には、ブザー音は鳴りません。
　･電話着信音量　･メール着信音量　･アラーム音量　･ｉアプリ音量
　･メモ確認音　･ボタン確認音　･電池切れアラーム

●「各モードに従う」に設定し、「オリジナルマナー」で「バイブレータ」を「OFF」に設定していても、緊急地震速報を受信した場合は、バイブレータは振動します。

<SMS作成>

SMSを作成して送信する

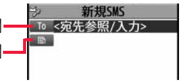
SMSを作成して送信します。送信したSMSは、ｉモードメールと合わせて最大1000件まで送信BOXに保存できます。

●ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国･海外通信事業者については「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●送信したSMSはFOMAカードへ移動･コピーできます。(P.440参照)

1 ✉▶新規SMS作成

宛先欄
本文欄



SMS作成画面

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳............電話帳を呼び出して電話番号を選択します。
送信アドレス一覧....電話番号を選択して◉(選択)を押します。
受信アドレス一覧....電話番号を選択して◉(選択)を押します。
直接編集..........電話番号を入力します。

宛先は1件のみ指定できます。

●21桁まで入力できます。(「＋」を含む)

●宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「＋」(0を1秒以上押す)、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。)

●宛先欄を選んで◐を押すと送信アドレス一覧を、◑を押すと受信アドレス一覧を表示できます。

3 本文欄を選択▶本文を入力

●入力できる文字数は「SMS本文入力設定」により異なります。

4 📷TV(送信)を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

メール

つづく↳

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- 保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、SMSを作成できません。
  保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 「発信者番号通知」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。また、宛先の先頭に「184」または「186」が入力されているSMSを送信しようとすると発信者番号通知の設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「送達通知設定」を「要求する」にしている場合は、movaサービスのｉモード端末へ送ることができません。
- 「＋」は宛先の先頭でのみ有効です。
- 宛先に数字、「＊」、「＃」、「＋」以外の文字が含まれている場合は送信できません。
- 本文に特殊記号を入力した場合、半角スペースに置き換えられることがあります。
- スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
- 2in1のモードがBモードの場合は、SMS作成はできません。

SMS作成画面のサブメニュー

送信	P.185参照
送信プレビュー	送信する前に宛先、本文の内容を確認します。 ●📷TV(送信)を押すとSMSを送信できます。
保存	作成中や編集中のSMSを保存BOXに保存します。 ●宛先と本文が未入力の場合は保存できません。
SMS送達通知設定	P.187参照
SMS有効期間設定	P.187参照
SMS本文入力設定	P.188参照
本文消去	本文に入力されている文章をすべて削除します。宛先は削除されません。 ▶YES
SMS削除	編集中のSMSを削除します。 ▶YES

<SMS受信>

SMSを自動的に受信する

受信したSMSは、ｉモードメールと合わせて最大2500件まで保存できます。

- 受信したSMSはFOMAカードへ移動･コピーできます。(P.440参照)

1 SMSを受信すると「✉」が点灯し、受信中のメッセージが表示される

受信が終わると、受信したSMSの件数が表示されます。

- 「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。
- 何も操作しなかった場合はデスクトップに「メール」(P.36参照)が表示され、元の画面に戻ります。
  ●を押し、「メール」を選んで●(選択)を押すと、受信メール詳細画面が表示されます。



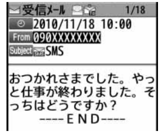
受信結果画面

お知らせ

- FOMA端末に保存している、未読または保護している受信メールの合計が最大保存件数／最大保存容量になった場合は、新しいメールを受信できず、「✉(橙色)」が表示されます。SMSを受信するには、「✉(橙色)」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「SMS問合せ」を行ってください。
- 連結SMSを受信した場合、受信メール一覧画面では連結SMSの順に従って表示されます。

新着SMSを表示する

1 受信結果画面▶メール▶表示したいSMSを選択



- SMSの詳細画面で●を1秒以上押すと文字の大きさが変わります。（P.120「メール」参照）

お知らせ

- 受信したSMSに入力されている文字によっては、「･」で表示されることがあります。
- 表示したSMSの送信元（電話番号）を反転表示した状態で●（選択）を押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。（Phone To／AV Phone To 機能）
  また、送信元の電話番号を電話帳に登録しているときは、登録している「名前」が反転表示されます。この場合も同様の操作で電話をかけることができます。
- FOMA端末では、ショートメールをSMSとして受信します。相手の電話番号が通知されない場合は、その理由が送信元欄に表示されます。

<SMS問合せ>

SMSがあるかを問い合わせる

SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないときはSMSセンターに保管されます。
SMSセンターへ問い合わせを行い、それらを受信してください。

1 ▶SMS問合せ

センターにSMSが保管されていれば受信されます。

2 戻る

お知らせ

- 問い合わせを行っても、すぐにSMSが届かない場合があります。
- 「（橙色）」が表示されたときは、これ以上SMSを受信できません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してください。（読んだり、保護を解除したりしたメールは、古いものから順に自動的に削除されます。）
- 本機能でｉモードメールやメッセージR/Fは受信できません。ｉモードメールやメッセージR/Fは「メール／メッセージ問合せ」で受信してください。

<SMS設定>

SMSの設定を行う

送達通知設定

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。
SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするメールです。
受信したSMS送達通知は「メール」フォルダで確認できます。

1 ▶メール設定▶SMS設定▶送達通知設定▶要求する・要求しない

- SMS作成画面のサブメニューから操作した場合は、「SMS送達通知設定」を選択します。設定は作成中のSMSにのみ有効です。

有効期間設定

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保存される期間を設定します。

1 ▶メール設定▶SMS設定▶有効期間設定▶保存期間を選択

- 「0日」に設定すると、一定時間経過後に再送され、SMSセンターから削除されます。
- SMS作成画面のサブメニューから操作した場合は、「SMS有効期間設定」を選択します。設定は作成中のSMSにのみ有効です。

つづく

お知らせ

- 本機能の設定はFOMAカードに保存されます。

本文入力設定

SMSの本文に入力できる文字を設定します。半角英数字、半角記号のみ入力できるように設定できます。

1 ✉▶メール設定▶SMS設定▶本文入力設定▶項目を選択

日本語入力(70文字)
. . . . . . 全角文字、半角文字が入力できます。「♥」「☎」(P.519参照)を除く絵文字は入力できません。本文は70文字まで入力できます。

半角英数入力(160文字)
. . . . . . 半角英数字、半角記号のみ入力できます。本文は160文字まで入力できます。

- SMS作成画面のサブメニューから操作した場合は、「SMS本文入力設定」を選択します。設定は作成中のSMSにのみ有効です。

センター設定

※通常は、設定を変更する必要はありません。

SMSセンターの接続先アドレスと「Type of number」の設定をします。現在利用しているSMSサービスとは別のサービスを受けるときに設定します。

1 ✉▶メール設定▶SMS設定▶センター設定▶ユーザ設定▶アドレスを入力▶International・Unknown

- アドレスは半角20文字まで入力できます。ただし、「*」や「#」が含まれている場合は「International」に設定できません。
- 接続先をドコモに戻すには「ドコモ」を選択します。
- ユーザ設定をリセットするには、「リセット▶端末暗証番号を入力▶YES」の操作を行います。リセットすると接続先はドコモになります。

お知らせ

- 本機能の設定はFOMAカードに保存されます。

ｉモード／フルブラウザ

iモード

iモードでは、iモード対応FOMA端末(以下iモード端末)のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- iモードの詳細については、「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

■ iモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからiモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画･動画･メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画･動画･メロディなど)、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示･再生できません。
- FOMAカードにより表示･再生が制限されているファイルを待受画面･指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

< i Menu>

サイトに接続する

IP(情報サービス提供者)が提供する各種サービスを利用します。FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。(IPによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。)

1 iαを押す



通信中は「」が点滅します。

- iモードのサービスを受けているとき(iモード待機中)は「」が点滅します。
- ページを取得中に中止する場合は📷TV(中止)を押します。
- iモードを終了するにはサイト表示中に⌒を押して「YES」を選択します。「」が消灯し、iモードが終了します。iモード終了までに時間がかかる場合があります。
- 「iモード／web設定」の「共通設定」内の「iモードボタン設定」を「iモードメニュー表示」に設定すると、待受画面でiαを押したあとiモードメニューが表示されます。

2 項目(リンク先)を選択

項目(リンク先)の選択を繰り返して目的のサイトを表示します。

- 表示したサイトの画面などで下線が表示されているときは、その項目を選択できます。項目を選ぶと反転表示されます。
- リンク先を示す項目の前に番号が表示されているときは、その番号と同じダイヤルボタンを押して直接リンク先に接続できます。(サイトによっては接続できない場合があります。)

SSL/TLSに対応したサイト(SSL/TLSページ)を取得するときは

認証中の画面が表示されます。取得が完了するとSSL/TLSページが表示され、「🔒」が表示されます。

- 認証中に中止する場合は「Cancel」を選択します。認証後のページを取得中に中止する場合は📷(中止)を押します。
- ｉモード、フルブラウザでSSL/TLS※対応のページを表示できます。
  ※SSL/TLSは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL/TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、書き換えを防止できます。また、サーバ認証によりなりすましを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL/TLSに対応していないサイトに戻るときは

SSL/TLSページを終了するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると通常のサイトが表示されます。

お知らせ

- サイトによっては、利用する前に別途書面などで申し込みが必要なものや、利用するために情報料が必要なものがあります。
- サイトで表示される画像の最大表示サイズは480×1324ドットです。480×1324ドットを超える場合、縦横比を固定して縮小して表示されます。
- サイトによっては、画像を正しく表示できず、「✕」が表示される場合があります。
- サイトやデータによっては、メロディやPDFデータ、ソフトなどのダウンロードや保存ができない場合があります。
- ｉモード対応のインターネットホームページ(サイト)によっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。
- ｉモードの場合、受信したページのデータが規定のサイズを超えたときは、受信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、取得可能なサイズまでのデータが表示される場合もあります。フルブラウザの場合、「ｉモード／web設定」の「フルブラウザ設定」内の「自動通信サイズ設定」の設定に従って動作します。
- サイトから、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求されたときは、楽曲情報の送信に関する確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報(タイトル名、アーティスト名、再生日時)が送信されます。送信される楽曲情報は、IP(情報サービス提供者)がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

<マイメニュー>

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。
最大45件まで登録できます。

マイメニューに登録する

1 **登録したいサイトのページを表示▶マイメニュー登録**

- 各サイトによりページ構成が異なります。

2 **ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶ｉモードパスワードを入力▶決定**

- 入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
- ｉモードパスワードについてはP.125参照。

お知らせ

- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- メニューリスト内の有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1 **iα▶マイページ▶マイメニュー／マイボックス▶接続したいサイトを選択**

お知らせ

- デュアルネットワークサービスを利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末で利用できない場合があります。

＜ｉモードパスワード変更＞

ｉモードパスワードを変更する

メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは「ｉモードパスワード」(4桁)が必要になります。
なお、ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。

1 **[iα]▶お客様サポート▶各種設定(確認・変更・利用)▶ｉモードパスワード変更▶「現在のパスワード」のテキストボックスを選択▶ｉモードパスワード(4桁)を入力**

- 初回は契約時にｉモードパスワードとして設定されている「0000」(数字のゼロ4つ)を入力します。
- 入力した数字は「＊」で表示されます。

2 **「新パスワード」のテキストボックスを選択▶新しいｉモードパスワード(4桁)を入力**

- お客様独自のｉモードパスワードを入力してください。

3 **「新パスワード確認」のテキストボックスを選択▶新しいｉモードパスワード(4桁)を入力▶決定**

- 手順2で入力した数字と同じものを入力します。

お知らせ

- ｉモードパスワードを万が一お忘れになったときは、契約された本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

＜フルブラウザ＞

パソコン向けのホームページを表示する

パソコン向けに作成されたインターネットホームページを、フルブラウザの機能を利用して閲覧できます。ｉモードでは正しく表示できないインターネットホームページでも、表示が可能です。ただし、インターネットホームページによっては表示できない場合や、正しく表示できない場合があります。

- フルブラウザで登録したホームURL、Bookmarkなどのデータはｉモードで利用することはできません。また、フルブラウザで設定した内容はｉモードには反映されません。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

1 **[MENU]▶ｉモード／web▶フルブラウザホーム**

ホームURLに設定したインターネットホームページを表示します。

- 「フルブラウザ利用設定」を「利用しない」に設定している場合、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「利用する」を選んで「OK」を選択すると「フルブラウザ利用設定」の設定が切り替わり、フルブラウザが起動します。
また、「定額サービスのお申し込みはこちら」を選択すると、サービス申し込みのサイトへｉモードで接続できます。
- フルブラウザを終了するにはインターネットホームページを表示中に[終話]を押して「YES」を選択します。

お知らせ

- インターネットホームページによっては表示に時間がかかる場合があります。
- フルブラウザではｉアプリ To 機能は利用できません。

表示モードを切り替える

フルブラウザの画面には「PCレイアウトモード」と「ケータイモード」の2つのモードがあります。

1 **MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶フルブラウザ設定▶表示モード設定▶PCレイアウトモード・ケータイモード**

PCレイアウトモード
. . . .パソコン上で横1024×縦600ドットの表示をしたときと同じようにインターネットホームページを表示します。上下左右にスクロールしてインターネットホームページを閲覧できます。

ケータイモード
. . . .FOMA端末の画面幅でインターネットホームページを表示します。横スクロールは不要で、上下のスクロール操作だけでインターネットホームページを閲覧できます。

ｉモードからフルブラウザに切り替える

ｉモードで正しく表示できなかったインターネットホームページをフルブラウザに切り替えて表示します。

1 **ｉモードでページを表示中▶MENU（サブメニュー）▶フルブラウザ▶フルブラウザ切替▶YES**

お知らせ

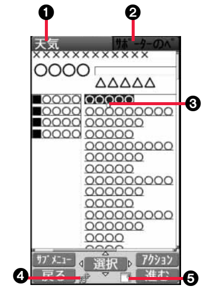
- フルブラウザを利用する場合、ｉモードとは別の料金体系となりますのでご注意ください。
- 複数のタブを開いた状態で切り替えた場合、別タブのページは閉じられ、✉（戻る）で戻ることもできません。
- インターネットホームページによっては、正しく表示できない場合があります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

サイト表示中の画面について

❶…複数のサイトを起動中で表示中のタブ
❷…複数のサイトを起動中で裏で起動中のタブ
❸…（通常のポインタ）：通常のポインタ
（リンクを選択中）：リンクを選択中
（ドラッグモード中）：ドラッグモード中
（ドラッグ中）：ドラッグ中
❹…（PCレイアウトモード）：フルブラウザのPCレイアウトモードで接続中
FB：フルブラウザのケータイモードで接続中
❺…（フレーム拡大表示中）：フレーム拡大表示中
（フレーム通信中）：フレーム拡大表示中に別フレーム通信中



つづく

■サイト表示中の操作（お買い上げ時）

操作	ボタン操作		
	iモード	フルブラウザ	
		ケータイモード	PCレイアウトモード
画面をスクロール／反転表示を移動	◎		
ドラッグモードに切替（ポインタ表示中のみ）	–		●（1秒以上）
前のページへ戻る	✉（戻る）	✉（戻る）または7	
次のページへ進む	iα（進む）	iα（進む）または9	
Bookmarkフォルダ一覧を表示	–	0	
画面を拡大・縮小	–	1で縮小、3で拡大	
上下方向へページ単位に画面をスクロール	–	2 8	
左右方向へページ単位に画面をスクロール	–		4 6
PagePilotに移行	–	5	
タブ切替	–	* #	

取得済みのページに戻る・進む

表示したインターネットホームページなどのデータは、キャッシュと呼ばれる一時的な記憶領域に記憶されます。✉（戻る）またはiα（進む）を押すことで、通信を行わずにキャッシュに記憶されたページを表示できます。
iモード、フルブラウザ間でも移動できます。

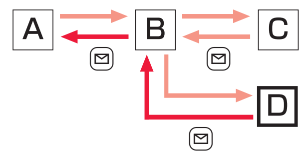
- FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしているページや、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示する場合は、通信を行います。
- iモード、フルブラウザを終了するとキャッシュはクリアされます。

1 **前のページを表示させるときは✉（戻る）を押す**
次のページを表示させるときはiα（進む）を押す

ページを移動するには

✉（戻る）を続けて押すことにより、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、前のページ（「B」）から他のページ（「D」）を表示させたときは、「D」から✉（戻る）を2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページが表示されます。

<画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき>



…ページの表示の順番
…画面「D」から前のページを表示させたときの順番

お知らせ

- キャッシュに記憶されたページを表示する際、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。

お知らせ

- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。

複数のサイトを表示する

新しいウィンドウ(タブ)を開いて、サイトやPDFデータを同時に開くことができます。(マルチウィンドウ)
同時に開くことができるタブは、最大5つまでです。ただし、PDFデータを複数開くことはできません。また、5つのタブとは別のタブとしてチャネル一覧画面も開くことができます。

- 同時に開いたサイトは1つずつ切り替えて表示します。

1 サイト表示中・PDFデータ表示中▶MENU(サブメニュー)▶タブ操作▶新しいタブで開く▶項目を選択

リンク ....反転表示したリンクを新しいタブで開きます。チャネル一覧画面のサブメニューでは表示されません。
Bookmark一覧 ......Bookmarkに登録したサイトを新しいタブで開きます。(P.203参照)
サイト閲覧履歴 ....サイト閲覧履歴から選択して新しいタブで開きます。(P.201参照)
ｉMenu・検索 ....ｉMenuをｉモードで開きます。
フルブラウザホーム ...ホームURLに設定したインターネットホームページをフルブラウザで開きます。
URL入力............URLを新規入力して新しいタブで開きます。(P.201参照)
URL入力履歴 ....URL入力履歴から選択して新しいタブで開きます。(P.202参照)

- タブの切り替えかた、閉じかたについてはP.198参照。

お知らせ

- サイトによっては、新しいウィンドウで開くように設定されたリンクがある場合があります。そのリンクを開いたときは、上記の操作を行わなくても新しいタブが開きます。

ポインタで操作する

「ポインタ表示設定」を「表示する」に設定していると、画面にポインタが表示され、ポインタによって画面のスクロールやコンテンツの選択などの操作ができます。「ポインタ表示設定」は、ｉモード、フルブラウザそれぞれ設定できます。

- サイトによっては、ポインタによる操作ができない場合があります。ポインタによる操作ができない場合は、P.213「ポインタ表示設定」を「表示しない」に設定することで、○や●による操作ができるようになることがあります。

ドラッグモードに切り替えて操作する

ポインタ表示中に●を1秒以上押すと、ドラッグモードに切り替わります。ドラッグモードに切り替えると、ドラッグモードに対応したコンテンツを操作できます。ドラッグモード中はポインタが「✋」になります。

1 ポインタ表示中に●(1秒以上)▶操作したいコンテンツを選んで●

ポインタが「✊」に切り替わります。

2 ○でコンテンツを移動▶●

ポインタが「✋」に戻りコンテンツが離れます。

- ドラッグモードを解除するには●を1秒以上押すか、CLRを押します。

お知らせ

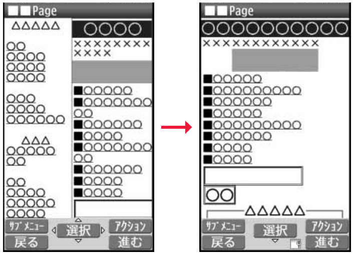
- コンテンツによって、可能な操作は異なります。
- ドラッグモード中は、コンテンツの操作以外の操作はできません。ただし、入力ボックスを選択した場合や、ファイルをアップロードする場合はドラッグモードが解除されて操作できます。
- ｉモードで接続中やフルブラウザのケータイモードで接続中はドラッグ操作ができません。

フレーム対応のサイトを表示する

フレームで構成されたサイトを表示します。フレームを選択し、フレームごとに拡大して表示できます。

1 フレームのあるサイト表示中
▶ でフレームを選んで (選択)

- 全体表示に戻るには、CLRを押すかサブメニューから「表示」を選択し、「フレーム全体表示」を選択します。

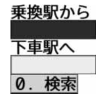


全体表示　　　フレーム拡大表示

お知らせ
- フレームでの分割数が多いサイトでは、すべてのフレームを表示できない場合があります。表示できなかったフレームには「 」が表示されます。

サイトで選択・入力する

サイトでは、ラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニューが表示されることがあります。

名称	表示例	操作・補足
ラジオボタン	:非選択状態 :選択状態	選択肢の中から1つだけ選択できます。
チェックボックス	:非選択状態 :選択状態	選択肢の中から複数の項目を選択できます。
テキストボックス		文字を入力できます。テキストボックスを選んで (選択)を押すと文字入力(編集)画面が表示されます。 ●「プロフィール引用」が表示されている場合は、選択することによってプロフィールを引用して文字を入力できる場合があります。
プルダウンメニュー		選択肢の一覧から項目を選択できます。プルダウンメニューを選んで (選択)を押すと選択肢一覧が表示されます。 ●プルダウンメニューによっては、複数の項目を選択できる場合があります。項目を選んで (選択)を押すごとに項目の選択／選択解除を繰り返します。項目を選択し終わったらCLRを押します。

お知らせ
- サイトによってはUser IDやPasswordなどの認証画面が表示される場合があります。
User IDとPasswordを入力して「OK」を選択します。

携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号

項目を選択すると、携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。

- 送信される「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

サイト表示中のサブメニュー

項目		説明
Bookmark		
	Bookmark一覧	P.203手順1へ進みます。
	Bookmark登録	P.202参照
画面メモ		
	画面メモ一覧	P.205手順2へ進みます。
	画面メモ保存	P.204参照
サイト閲覧履歴		P.201参照
ｉMenu･検索		ｉMenuに戻ります。
フルブラウザホーム		ホームURLに設定したインターネットホームページをフルブラウザで開きます。
フルブラウザ		
	フルブラウザホーム	ホームURLに設定したインターネットホームページをフルブラウザで開きます。 ▶YES
	フルブラウザ切替	P.193参照
再読み込み		サイトの内容が最新の情報に更新されます。
URL入力･情報		
	URL入力	URLを入力してインターネットホームページを表示します。 P.201手順2へ進みます。 ●URL入力履歴がある場合は、あらかじめ一番新しい履歴のURLが入力されています。
	URL入力履歴	P.202参照
	URL表示	表示中のサイトのURLを表示します。 ●URL表示中に[iα]([コピー])を押すか、[MENU]([ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ])を押して「コピー」を選択するとURLをコピーします。
ｉモードブラウザ		
	ｉMenu･検索	ｉMenuをｉモードで開きます。
	ｉモードブラウザ切替	フルブラウザで表示中のサイトをｉモードに切り替えて表示します。
表示履歴		すべてのウィンドウ(タブ)で表示したページの履歴をサムネイルで表示します。 ▶[○]で前または次のページを選んで[●]([選択]) ●複数のタブで表示していた場合は[○]でタブを変更できます。 ●ｉモードで接続したページには「[i]」、フルブラウザで接続したページには「[FB]」のブラウザ種別アイコンが表示されます。
画像保存		P.207参照
表示		
	ズームイン	フルブラウザで表示中の画面の表示サイズを1段階拡大します。複数のタブを開いている場合でも、表示中のタブのみ拡大します。
	ズームアウト	フルブラウザで表示中の画面の表示サイズを1段階縮小します。複数のタブを開いている場合でも、表示中のタブのみ縮小します。
	ポインタ位置でズーム	ポインタの位置を中心にして画面の表示サイズを拡大します。 ●ズームインまたはズームアウト後に操作した場合は、ズームする前のサイズで拡大します。
	拡大縮小表示	P.215参照
	文字サイズ変更	P.120「ｉモード」または「フルブラウザ」参照
	表示モード設定	P.193参照
	PagePilot	表示中のサイトを画面内に収まるまで縮小し、選択枠を移動させることによってサイト内を素早く移動できます。 ▶[○]で表示したい場所を選んで[●]([選択])
	フレーム全体表示	フレーム拡大表示画面から、すべてのフレームの表示画面へ戻ります。

つづく↪

	タブ表示切替	タブの表示／非表示を切り替えます。
タブ操作		
	新しいタブで開く	P.195参照
	リンクを新規タブ起動	P.195「複数のサイトを表示する」の「リンク」参照
	タブを閉じる	複数のタブを開いているときにタブを閉じます。 ▶**閉じたいタブを選択**▶**YES** ●「裏のタブを全て」を選択すると、表示中のタブ以外のタブをすべて閉じます。
	タブ切替	複数のタブを開いているときに、表示するタブを切り替えます。 ▶**表示したいタブを選択**
ドラッグモード		P.195参照
テキスト範囲選択		サイトに表示されている文字を選択して利用します。 ▶**始点を選択**▶**終点を選択**▶**項目を選択** **検索**……選択した文字を利用してサイトから検索します。 **テキストコピー**…選択した文字をコピーします。 **地図を見る**……選択した文字を利用して、GPS対応ｉアプリを起動します。(P.335参照)
ページ内検索		指定した文字列を含む箇所を、サイト内で表示します。指定した文字と一致した箇所は反転表示されます。 ▶**検索文字の欄を選択**▶**検索したい文字を入力** ●全角25文字/半角50文字まで入力できます。 ▶**指定したい検索条件にチェック**▶**📷TV**(**検索**) ●✉(前検索)やiα(次検索)を押すと、同じ条件で続けて検索できます。 ●📷TV(編集)を押すと検索文字を編集できます。
メール作成		表示中のサイトや画面メモのURLをｉモードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.144手順2へ進みます。

文字コード変換		文字が正しく表示されないときに、正しい文字に変換します。 ●表示中のサイト、インターネットホームページにのみ有効です。
リトライ		アニメーションやFlash画像を最初から再生します。 ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。
クイック検索		P.200参照
タイトル表示		表示中のサイトのタイトルを表示します。
証明書参照		SSL/TLS通信で使用している証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を確認します。最大5枚まで表示されます。 ▶**証明書を選択**
設定		
	Cookie設定	P.217参照
	Referer設定	P.217参照
	画像表示設定	P.213参照
	PagePilot表示	P.215参照
	ポインタ表示設定	P.213参照
	ポインタ移動距離セット	P.216参照
	ポインタ加速度設定	P.216参照
	Bookmark表示設定	P.216参照
	タブ自動起動設定	P.213参照
	Script動作設定	P.213参照
	サウンド設定	P.213参照
	端末情報利用設定	P.213参照

	動画自動再生設定	P.224参照
	ページ内動画取得	P.213参照
	自動通信サイズ設定	P.214参照
ページ先頭に移動		ページの先頭に移動します。
ページ末尾に移動		ページの末尾に移動します。
電話帳登録		サイト上で表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。 ▶YES P.95手順2へ進みます。 ●複数の電話番号やメールアドレスがある場合は、登録したい電話番号やメールアドレスを選択します。
ホーム登録		表示中のインターネットホームページをホームURLに登録します。 ▶YES▶OK
iチャネル		チャネル一覧画面を表示します。(P.225参照)
ショートカット一覧		フルブラウザの画面でのボタン操作で行える機能を表示します。機能を変更することもできます。(P.215参照)

お知らせ

<テキスト範囲選択>
- 選択できる文字数は全角1000文字/半角2000文字までです。ただし、「検索」を行う場合は、全角27文字/半角55文字を超えると超えた部分が削除されます。
- サイトによってはコピーできない場合があります。

<メール作成>
- URLが半角256文字(フルブラウザの場合は半角512文字)を超える場合は貼り付けできません。

お知らせ

<文字コード変換>
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。

<タイトル表示>
- タイトルは全角64文字/半角128文字まで表示されます。

アクションメニューを利用する

ポインタを使用してサイトを表示中に📷TV(アクション)を押すと、アクションメニューが表示されます。
アクションメニューとは、ポインタで選択している項目や画像などに基づいて、関連するサブメニューだけを表示したメニューです。

- それぞれのメニュー項目を選択したあとの操作は、サブメニューから操作したときと同様です。
- アクションメニューを閉じるときはMENU(閉)またはCLRを押します。

<クイック検索>

クイック検索を利用する

各機能からクイック検索画面を表示し、知りたいキーワードをｉモードやGoogleなどの検索サイトですばやく検索できます。また、辞典や地図を起動することもできます。

1 各機能起動中のサブメニュー ▶クイック検索▶以下の操作を行う

●クイック検索をデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.38参照)



クイック検索画面

直接入力	**▶キーワードを入力** ●全角128文字/半角256文字まで入力できます。
音声入力	**▶YES▶キーワードを音声で入力** ●音声入力についてはP.462参照 ●全角27文字/半角55文字まで入力できます。
範囲選択	キーワードを起動元の画面からコピーします。 **▶始点を選択▶終点を選択** ●メールやスケジュールから起動している場合は、コピーしたい項目を選択します。 ●全角27文字/半角55文字までコピーできます。
検索履歴	**▶履歴を選択** ●検索履歴は10件まで記憶されます。 ●検索履歴を削除するにはMENU(サブメニュー)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。
ｉMenu･検索	クイック検索を終了し、ｉMenuをｉモードで開きます。

2 検索方法選択の欄を選択▶検索方法を選択 ▶📷TV(検索)

ｉモード ……… ｉモードから検索します。
辞典検索 ……… 辞典から検索します。(P.439参照)
地図を見る……… 地図を表示します。(P.335参照)
Google検索……… フルブラウザでGoogleから検索します。
Google画像検索 … フルブラウザでGoogle画像検索から検索します。
Googleニュース検索
……………… フルブラウザでGoogleニュース検索から検索します。

●キーワードを編集する場合は、入力ボックスの欄を選択します。
●「辞典検索」の場合は全角32文字/半角64文字、「地図を見る」の場合は全角27文字/半角55文字を超えると文字数がオーバーする旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

●文字のコピーが禁止されているページでは、範囲選択でコピーできない場合があります。
●検索履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

クイック検索接続先設定

クイック検索の際にフルブラウザで接続する検索先(URL)を設定します。検索先が登録されているサイトから検索先をｉモードでダウンロードします。最大6件まで登録できます。

1 MENU▶本体設定▶その他設定 ▶クイック検索接続先設定▶<未登録>▶YES

検索先が登録されているサイトに接続します。

●登録済みの検索先を選択すると、検索先を上書きします。
●登録済みの検索先を削除する場合は、MENU(サブメニュー)を押して「1件削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 ダウンロードしたい検索先を選択▶OK

<サイト閲覧履歴>

過去に見たサイトのページを表示する

サイト閲覧履歴を表示する

iモードやフルブラウザでサイトを表示するたびに、表示していたページのURLが「サイト閲覧履歴」に記憶されます。iモード、フルブラウザ合わせて50件まで記憶されます。
「サイト閲覧履歴」を選択すると、過去に見たページの一覧を表示します。

1 **MENU▶iモード／web▶サイト閲覧履歴▶表示したいページを選択**

- iモードで接続したURLには「i」、フルブラウザで接続したURLには「FB」のブラウザ種別アイコンが表示されます。

お知らせ
- ページによっては「サイト閲覧履歴」に記憶されない場合があります。
- 50件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- 同じURLのサイトを表示した場合は、最後に表示したサイトのURLが記憶されます。ただし、異なるブラウザでの接続の場合は、別のURLとして記憶されます。

サイト閲覧履歴表示中のサブメニュー

接続	P.201「サイト閲覧履歴を表示する」手順1へ進みます。
URL表示	URLを表示します。 ●URL表示中に📷TV(接続)を押すか、MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「接続」を選択するとURLに接続します。 ●URL表示中にiα(コピー)を押すか、MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「コピー」を選択するとURLをコピーします。
メール作成	URLをiモードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.144手順2へ進みます。
削除	
1件削除	▶YES▶OK
選択削除	▶削除したいサイト閲覧履歴にチェック▶📷TV(完了)▶YES▶OK
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES▶OK

<URL入力>

インターネットホームページを表示する

1 **MENU▶iモード／web▶URL入力▶URL入力**

2 **URLのテキストボックスを選択▶URLを入力▶iモードで接続・フルブラウザで接続**

- 半角の英数字や記号で2033文字まで入力できます。

お知らせ
- iモードの場合、iモードに対応していないインターネットホームページや接続するインターネットホームページによっては、正しく表示されないことがあります。

URL入力履歴を使って表示する

入力したURLはURL入力履歴として50件まで記憶されます。

1 **MENU▶ｉモード／web▶URL入力▶URL入力履歴▶表示したいURLを選択▶ｉモードで接続・フルブラウザで接続**



URL入力履歴一覧画面

- ｉモードで接続したURLには「」、フルブラウザで接続したURLには「FB」のブラウザ種別アイコンが表示されます。
- URLのテキストボックスを選択するとURLを編集できます。

お知らせ

- 履歴が50件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- URLを新規入力して接続した場合は、同じURLでも別の履歴として記憶されます。ただし、URLを編集せずにブラウザのみを変更して接続した場合は、ブラウザ種別アイコンのみ変更して記憶されます。

URL入力履歴一覧画面のサブメニュー

接続	P.202「URL入力履歴を使って表示する」手順1へ進みます。
URL表示	URLを表示します。(P.201参照)
メール作成	選択中のURLをｉモードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.144手順2へ進みます。
削除	
1件削除	▶YES▶OK
選択削除	▶削除したいURL入力履歴にチェック▶📷TV(完了)▶YES▶OK
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES▶OK

＜Bookmark＞

ホームページやサイトを登録して素早く表示する

Bookmarkに登録する

よく見るサイトのURLをBookmarkに登録しておくと、直接目的のページを表示できます。ｉモード、フルブラウザ合わせて600件まで登録できます。

1 **登録したいページを表示中▶MENU(サブメニュー)▶Bookmark▶Bookmark登録▶OK▶登録したいフォルダを選択▶OK**

- 保存しているBookmarkがいっぱいのときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択して削除したいBookmarkを選択すると保存できます。

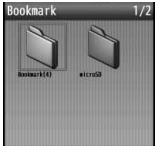
お知らせ

- 1件あたりのURLが半角256文字(フルブラウザの場合は半角512文字)を超える場合は登録できません。
- タイトルが全角12文字/半角24文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、Bookmark一覧画面ではURLが表示されます。タイトルを編集する場合は、タイトル欄を選択してタイトルを入力します。
- 同じURLでも、ブラウザ種別が異なる場合は、別のBookmarkとして登録できます。
- ページによっては、Bookmarkに登録できないことがあります。
- サイト表示中からBookmarkを登録する場合は、サムネイルも登録されます。サムネイルは50件まで登録でき、50件を超えた場合は、古いサムネイルから順に削除されます。

Bookmarkからホームページやサイトを表示する

1 MENU▶ｉモード／web▶Bookmark▶フォルダを選択▶表示したいBookmarkを選択

- Bookmarkフォルダ一覧画面で「microSD」を選択すると、microSDカード内のBookmarkフォルダ一覧画面を表示します。
- ｉモードのBookmarkには「i」、フルブラウザのBookmarkには「FB」が表示され、選択するとそれぞれに対応したブラウザで接続されます。



Bookmarkフォルダ一覧画面



Bookmark一覧画面

Bookmarkフォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ管理		
	フォルダ追加	新規フォルダを追加します。「Bookmark」フォルダ以外に39件まで追加できます。 ▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
	フォルダ名編集	▶**フォルダ名を編集** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
	フォルダ並べ替え	フォルダを並べ替えます。追加したフォルダのみ並べ替えできます。 ▶**◎で順番を変更**▶●(選択)
	フォルダセキュリティ	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES** ●解除する場合も同様の操作を行います。
赤外線全送信	P.406参照	
iC全送信	P.408参照	
microSD全コピー	P.389参照	
Bluetooth全送信	P.450参照	
お預かりセンター接続	P.138参照	
件数確認	全フォルダに登録されているBookmarkの件数とｉモードブラウザ、フルブラウザそれぞれのBookmarkの件数を表示します。	
Bookmark表示切替	Bookmarkフォルダ一覧画面の表示方法を一時的に変更します。別の画面などを表示したあとに、再度Bookmarkフォルダ一覧画面を表示すると、変更前の表示方法に戻ります。	
Bookmark削除		
	フォルダ削除	フォルダとフォルダ内のすべてのBookmarkを削除します。「Bookmark」フォルダは削除できません。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**▶**OK**
	Bookmark全削除	フォルダ内のすべてのBookmarkを削除します。フォルダは削除されません。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**▶**OK**

Bookmark一覧画面のサブメニュー

接続	P.203手順1へ進みます。
編集	BookmarkのタイトルやURLを編集します。 ▶**タイトル欄またはURL欄を選択** ▶**タイトルまたはURLを編集**▶**OK** ●タイトルは、全角12文字/半角24文字まで入力できます。空白で「OK」を選択した場合は、URLが表示されます。 ●URLはｉモードの場合256文字まで、フルブラウザの場合512文字まで入力できます。
URL表示	BookmarkのURLを表示します。(P.201参照)
フォルダ移動	

つづく

	1件移動	▶移動先のフォルダを選択▶OK
	選択移動	▶移動したいBookmarkにチェック▶[カメラ/TV](完了) ▶移動先のフォルダを選択▶OK
	全移動	フォルダ内に登録されているすべてのBookmarkを別のフォルダに移動します。 ▶移動先のフォルダを選択▶OK
メール作成		Bookmarkをｉモードメールに添付して送信します。 P.144手順2へ進みます。
赤外線送信		
	赤外線送信	P.405参照
	赤外線全送信	P.406参照
iC送信		
	送信	P.407参照
	全送信	P.408参照
microSDへコピー		
	1件コピー	P.389参照
	選択コピー	P.389参照
	全コピー	P.389参照
Bluetooth送信		
	送信	P.450参照
	全送信	P.450参照
件数確認		表示しているフォルダ内に登録されているBookmarkの件数を表示します。
Bookmark表示切替		P.203参照
デスクトップ貼付		P.38参照
削除		
	1件削除	▶YES▶OK
	選択削除	▶削除したいBookmarkにチェック▶[カメラ/TV](完了) ▶YES▶OK
	全削除	フォルダ内に登録されているすべてのBookmarkを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES▶OK
Bookmark情報表示		microSDメモリーカード内に登録されているBookmarkのタイトルやURLを表示します。

<画面メモ>

サイトの内容を保存する

画面メモを保存する

一度表示したページを画面メモとして保存できます。
ｉモード、フルブラウザ合わせて最大3500件まで保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。

1 保存したいページを表示中▶[MENU](サブメニュー)▶画面メモ▶画面メモ保存▶本体・microSD

- 取得完了の画面はmicroSDカードには画面メモ保存できません。

2 YES▶OK

画面メモを保存すると、同時にプレビュー表示用の画像（キャプチャ画像）も保存されます。

- 「表示のみ保存」を選択すると、キャプチャ画像のみ保存します。
- 保存している画面メモがいっぱいのときで、キャプチャ画像のみ保存できる場合は、キャプチャ画像のみ保存するかどうかの確認画面が表示されます。キャプチャ画像もいっぱいで保存できないときは、P.210参照。

お知らせ

- タイトルが全角12文字/半角24文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。

お知らせ

- データ取得完了の画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。（着うたフル®、再生期限付きのｉモーション、FOMA端末外への出力が禁止されているトルカ取得完了の画面は保存できません。）データ取得完了の画面は、画面メモとして保存できない場合があります。データ取得完了の画面以外は、そのページのURLが半角2033文字まで保存されます。
- SSL/TLS対応のページの画面を保存すると、画面とともにそのページのSSL/TLS証明書も保存されます。
- テキストボックスに入力した内容や、プルダウンメニュー、チェックボックス、ラジオボタンで選択した内容は保存されません。
- 1件あたりｉモードでは最大500Kバイトまで、フルブラウザでは1524Kバイトまでのページを保存できます。
  ただし、取得完了の画面はデータの最大サイズまで保存できます。
- サイト側で画面メモを保存できないように設定している場合など、サイトによっては画面メモを正しく保存できないことがあります。
- Flashを利用したページをmicroSDカードに保存する際、ページ上で変更された内容（ゲームスコアやお客様が更新された記録など）はmicroSDカードには保存できず削除されます。
- 画面メモをmicroSDカードへ保存／移動する際、ページサイズが取得時より大きくなります。そのため、本体へ画面メモを戻す際、容量不足になる場合があります。

画面メモを表示する

1 **MENU▶ｉモード／web▶画面メモ▶本体・microSD**



画面メモ一覧画面

- 画面メモ一覧画面で[メール]を押すごとに、FOMA端末の画面メモと、microSDカードの画面メモが切り替わります。
- ｉモードの画面メモには「i」、フルブラウザの画面メモには「FB」が表示されます。

2 **画面メモを選択**



画面メモ詳細画面

- サイト表示中のサブメニューから画面メモを表示する場合、microSDカード内の画面メモは選択できません。
- 「ｉモード／web設定」の「フルブラウザ設定」内の「フルブラウザ利用設定」を「利用しない」に設定している場合、フルブラウザの画面メモを選択すると、キャプチャ画像が表示されます。
- [メール]（前へ）または[iα]（次へ）を押すと、他の画面メモを確認できます。
- 画面メモ内のリンクを選択すると、ｉモード、フルブラウザそれぞれに自動で接続します。ただし、microSDカードに保存している画面メモの場合、リンク先によっては接続できない場合があります。

お知らせ

- 画面メモに保存したページは保存したときの情報です。最新のページの情報と異なる場合があります。

画面メモ一覧画面のサブメニュー

表示		P.205手順2へ進みます。
タイトル編集		▶タイトルを編集 ●全角12文字/半角24文字まで入力できます。
URL表示		画面メモのURLを表示します。（P.201参照）
保護／保護解除		
	1件保護／解除	▶YES▶OK ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
	選択保護／解除	▶保護したい画面メモにチェック▶[カメラ/TV]（完了）▶YES▶OK ●すでに保護されている画面メモにはチェックが付いています。
	全件保護	▶YES▶OK
	全件保護解除	▶YES▶OK

つづく

件数確認	保存している画面メモの件数と保護している画面メモの件数を表示します。
microSDへ移動	
1件移動	P.393参照
選択移動	P.393参照
全移動	P.393参照
本体へ移動	
1件移動	P.394参照
選択移動	P.394参照
全移動	P.394参照
microSD参照	microSDカード内の画面メモ一覧画面を表示します。
本体参照	FOMA端末内の画面メモ一覧画面に戻ります。
削除	
1件削除	▶YES▶OK
選択削除	▶削除したい画面メモにチェック▶（完了） ▶YES▶OK
全削除	すべての画面メモを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES▶OK

お知らせ

＜保護／保護解除＞

●保護した画面メモには「」が表示されます。

画面メモ詳細画面・キャプチャ画像表示中のサブメニュー

タイトル編集	P.205参照
保護／保護解除	P.205「1件保護／解除」参照
キャプチャ表示	キャプチャ画像を表示します。
画面メモ表示	画面メモを表示します。
取得元URL接続	キャプチャ画像の取得元となるサイトに接続します。
画像保存	P.207参照
表示	
ズームイン	P.197参照
ズームアウト	P.197参照
ポインタ位置でズーム	P.197参照
拡大縮小表示	P.215参照
文字サイズ変更	P.120「ｉモード」または「フルブラウザ」参照
表示モード設定	P.193参照
PagePilot	P.197参照
フレーム全体表示	フレーム拡大表示画面から、すべてのフレームの表示画面へ戻ります。
タブ表示切替	タブの表示／非表示を切り替えます。
ドラッグモード	P.195参照
テキスト範囲選択	P.198参照
ページ内検索	P.198参照
メール作成	P.198参照
文字コード変換	P.198参照
リトライ	アニメーションやFlash画像を最初から再生します。 ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。
クイック検索	P.200参照
タイトル表示	表示中の画面メモのサイトのタイトルを表示します。
URL表示	画面メモのURLを表示します。（P.201参照）
証明書参照	P.198参照
設定	

	Cookie設定	P.217参照
	Referer設定	P.217参照
	画像表示設定	P.213参照
	PagePilot表示	P.215参照
	ポインタ表示設定	P.213参照
	ポインタ移動距離セット	P.216参照
	ポインタ加速度設定	P.216参照
	Bookmark表示設定	P.216参照
	タブ自動起動設定	P.213参照
	Script動作設定	P.213参照
	サウンド設定	P.213参照
	端末情報利用設定	P.213参照
	動画自動再生設定	P.224参照
	ページ内動画取得	P.213参照
	自動通信サイズ設定	P.214参照
ページ先頭に移動		ページの先頭に移動します。
ページ末尾に移動		ページの末尾に移動します。
電話帳登録		P.199参照
削除		▶YES▶OK

<画像保存>

サイトから画像を保存する

サイト、画面メモに表示されている画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。
JPEG形式、GIF形式の他に、SWF形式、BMP形式、PNG形式などの画像を保存できます。また、デコメール®用の画像やフレーム、スタンプ画像なども保存できます。
容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.553参照)

1 サイト表示中・画面メモ詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶画像保存▶項目を選択

画像1件保存 . . . . . . 画像を1件保存します。「OK」を選択し、保存したい画像を選択します。
画像複数保存 . . . . . . 画像を複数件保存します。保存したい画像を複数選択し、📷TV(完了)を押します。
画像一括保存 . . . . . . サイトに表示されている画像のうち、保存できる画像を一括ですべて保存します。
選択中画像 . . . . ポインタで選択中の画像を保存します。
背景画像1件保存 . . . 背景として表示されている画像を1件保存します。「OK」を選択し、保存したい画像を選択します。
背景画像複数保存 . . . 背景として表示されている画像を複数件保存します。保存したい画像を複数選択し、📷TV(完了)を押します。
背景画像一括保存 . . . 背景として表示されている画像のうち、保存できる画像を一括ですべて保存します。

つづく↳

2 YES▶保存したいフォルダを選択

- 手順1で「選択中画像」を選択した場合は、「YES」を選択する操作は不要です。
- 複数保存や一括保存でデコメ絵文字®やフレーム、スタンプまたはBMP形式、PNG形式の画像が含まれている場合は、「本体」か「microSD」を選択します。「本体」を選択した場合は、デコメ絵文字®は「デコメ絵文字」フォルダに、フレーム、スタンプは「フレーム／スタンプ」フォルダに、その他の画像は「ｉモード」フォルダに振り分けて保存されます。BMP形式、PNG形式の画像は「microSD」のみ選択できます。
「microSD」を選択した場合の保存先についてはP.401参照。
また、BMP形式、PNG形式の画像が含まれている場合に「本体」を選択すると、保存に失敗します。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。

3 ピクチャ貼付するかどうかの確認画面が表示された場合、ピクチャ貼付するには「YES」を選択

P.354「ピクチャ貼付」へ進みます。

お知らせ

- ファイル名は半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合には、ダウンロードしたURLの一部または「imageXXX」(XXXは数字)で保存されます。
- サイト上では表示されていても、FOMA端末に保存してピクチャビューアで表示すると、表示されない場合があります。
- 以下の条件を満たす画像は、デコメ絵文字®として保存されます。
  ･GIFまたはJPEGの画像　･20ドット×20ドットの画像
  ･ファイル制限なしの画像　･6Kバイト以下の画像
- 拡張子が「ifm」で透過GIF(アニメーションGIFを除く)の画像は、フレームまたはスタンプ画像として保存されます。
- 1件あたりｉモードでは最大500Kバイトまで、フルブラウザでは最大1524Kバイトまでの画像を保存できます。
- 画像によっては保存できない場合があります。また、BMP形式、PNG形式の画像はmicroSDカードにのみ保存できます。

<ダウンロード>

サイトからデータをダウンロードする

サイトからファイルやデータをダウンロードしてFOMA端末に保存できます。ファイルによってはmicroSDカードに直接保存できるものもあります。
メロディ、PDFデータ、キャラ電、マチキャラ、きせかえツール、トルカ、テンプレート、辞書、スケジュールなどを保存できます。

- ｉモーション･ムービーの取得についてはP.223参照。
- 着うた®フルのダウンロードについてはP.278参照。

■ダウンロード可能な最大サイズ

種類	最大サイズ	最大保存件数
メロディ	100Kバイト	最大3500※1
PDFデータ	2Mバイト	最大3500※1
キャラ電	100Kバイト	3
マチキャラ	2Mバイト	最大3500※1
きせかえツール	2Mバイト	最大3500※1
トルカ	100Kバイト	最大495※1
テンプレート(デコメール®)	200Kバイト	最大100※2
テンプレート(デコメアニメ®)	100Kバイト	最大100※2
辞書	20Kバイト	5
スケジュール	1Mバイト	2500

※1 他のデータと共通で、データ量により保存件数は少なくなります。(P.553参照)
※2 データ量により保存件数は少なくなります。

1 データダウンロード可能なサイトを表示▶データを選択

データをダウンロードします。ダウンロードが完了すると、データ取得完了の画面が表示されます。

- PDFデータの場合は、ダウンロードが完了すると、PDFデータが表示されます。PDFデータ表示中の操作についてはP.410参照。

2 保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

ファイルによっては保存先を選択する画面が表示されます。

- トルカの場合は、✉を押すごとにFOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- 「情報表示」を選択するとデータの情報が表示されます。
- 「microSD」を選択した場合の保存先についてはP.401参照。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。
- 画面メモを保存したいときはP.204参照。

3 ダウンロードしたデータをそれぞれの機能に設定する場合は「YES」を選択

- メロディを着信音に設定する場合は着信の種類を選択します。
- テンプレートでデコメール®作成やデコメアニメ®作成する場合はP.147、P.151参照。

お知らせ

- ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。

きせかえツールやマチキャラのダウンロードが中断したときは

「Cancel」を選択してダウンロードを中断したり、着信などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択するとデータ取得完了の画面が表示されます。データ取得完了の画面で「部分保存」を選択すると保存できます。「部分保存」の場合は「本体」にのみ保存できます。
部分保存した残りのデータは「データBOX」の「きせかえツール」や「マチキャラ」から再ダウンロードできます。

ｉモードで探す

サイトから好みのデータを探してダウンロードします。保存できる件数はそれぞれダウンロードするデータによって異なります。サイトの変更はできません。

1 各種選択画面▶ｉモードで探す▶YES▶データを選択

- ダウンロードの方法はデータによって異なります。
- ｉスケジュール一覧画面では「ｉスケジュールリストへ」または「スケジュールリストへ」を選択します。

お知らせ

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

「P-SQUARE」について

お買い上げ時に登録されているキャラ電、マチキャラ、きせかえツール、テンプレート、辞書、デコメ絵文字®は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

保存しているデータがいっぱいのときは

データを保存するときに、すでに最大保存件数まで保存している場合や、メモリの空きが不足している場合は、不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

1. YES▶削除したいデータにチェック▶Ⓣ(削除)▶YES

データによっては同じ保存領域に保存されているため、データを削除する際に、別のデータを選択できます。フォルダを選択して削除したいデータにチェックを付けます。チェックの付いたデータがあるフォルダには「＊」が表示されます。不足している容量分にチェックを付けると「完了」が表示されます。

- MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「ページ内全選択／ページ内選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
- ⌒またはMENU(容量)を押すか、MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「表示モード切替」を選択するごとに、フォルダ容量やデータ容量の表示／非表示が切り替わります。
- MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「再生」を選択すると内容を確認できるデータもあります。
- フォルダに階層があるファイルを選択する場合、Ⓣ(フォルダ)を押して下の階層のフォルダを表示できます。CLRを押すごとに上の階層に戻ります。
- データ量が多いファイルの場合、他のデータを削除するときは多くのデータを削除する必要があります。
- 番組で「番組移動」を行ったときや、iアプリ·トルカを保存したときに、最大保存件数まで保存されていた場合は、同じ種類のデータを1件以上削除する必要があります。
- データBOX配下の階層にある「手書きダイアリー」を選択すると、手書きダイアリーのデータを削除できます。
- 他の機能で設定しているデータには「★」マークが付いている場合があります。
- microSDカード内のｉアプリをFOMA端末に移動する際に、本操作を行う場合、ICカード内にデータがあるｉアプリは削除できません。

Flash機能について

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。Flash画像を利用した画像をFOMA端末にダウンロードして再生したり、待受画面に設定したりできます。

■Flash® Videoとは

Flash® Video（FLV）とは、Adobe Flash Player で再生できる映像です。Flash® Videoはｉモード、フルブラウザ、画面メモ、データBOXで再生できます。また、待受画面などに設定しても再生されます。ただし、画面メモやデータBOXに保存したり、待受画面などに設定して利用できるのは埋め込み型のFLVのみです。

- 再生可能なFLVは以下の2種類です。

種類	説明
プログレッシブ型再生	Flash画像とは別に作成されたビデオデータを、配信サーバからダウンロードしながら再生するタイプの方法です。
埋め込み型再生	Flash画像の中に、要素の1つとしてビデオデータを埋め込むタイプの方法です。

- サイトによっては再生できないことがあります。
- プログレッシブ型のFLVは最大約10Mバイトまでのファイル再生に対応しており、大容量データを受信する可能性があります。データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますのでご注意ください。
- プログレッシブ型のFLVはデータBOXに保存したり、画面メモに保存したりできません。

■FLV再生の仕様について

コーデック	ビデオ	Sorenson Spark／On2VP6
	オーディオ	MP3
ビットレート	ビデオ	400kbps
	オーディオ	96kbps
ビデオサイズ	QVGA（320×240）以下のファイル	
フレームレート	15fps	

- 対応しているファイル形式でも、ファイルによってはデータ取得や再生ができない場合があります。

お知らせ

- サイトで表示されるFlash画像の表示サイズは最大480×662ドットです。480×662ドットを超える場合は縦横比を固定して縮小して表示されます。
- Flash画像によってはお客様のFOMA端末の端末情報を利用するものがあります。端末情報を利用するには、「端末情報利用設定」を「利用する」に設定してください。（お買い上げ時は「利用する」に設定されています。）
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合には、「サウンド設定」を「レベル0」に設定してください。
- 待受画面に設定されたFlash画像の効果音やバイブレータは動作しません。
- バックグラウンド再生中は、Flash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像によっては再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。「バイブレータ設定」の設定に関わらず振動します。
- Flash画像をデータBOXやmicroSDカード、画面メモなどに保存して再生すると、保存した場所によって見えかたが異なる場合があります。
- Flash画像によっては、正しく動作しない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によってはや で操作できることがあります。「 」が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができることがあります。フルブラウザで表示している場合は、ポインタ表示中のみ操作できます。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。

サイトにファイルをアップロードする

FOMA端末に保存しているJPEGまたはGIF形式の画像やｉモーションをサイトにアップロードします。

1 **ファイルのアップロードが可能なサイトを表示▶参照▶マイピクチャ・ｉモーション▶アップロードしたいファイルを選択**

- サイトによってはアップロード方法が異なる場合があります。

お知らせ

- 合計2Mバイトまでのファイルをアップロードできます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているファイルはアップロードできません。

反転した情報を使っていろいろな操作をする

サイトのページやメールなどで反転表示された情報（電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像など）を利用して簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したり、ワンセグの起動や視聴予約・録画予約を登録したりできます。

- パソコンなどから送信されたメールや、サイトによっては、Web To、Phone To／AV Phone To、Mail To、ｉアプリ To、Media To、住所リンク機能が使用できない場合があります。
- 電話番号、メールアドレス、URL以外の反転表示された情報を使ってWeb To、Phone To／AV Phone To、Mail To、ｉアプリ To 機能を利用できる場合もあります。
- デコメアニメ®では反転表示されません。

Phone To／AV Phone To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている電話番号などの情報を使って、音声電話やテレビ電話をかけます。

- テレビ電話でのPhone To 機能のことをAV Phone To 機能と呼びます。

1 **電話番号などの情報を選択▶発信方法を選択**

- 「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。
- 「SMS作成」を選択すると電話番号を宛先としたSMSを作成します。P.185手順3へ進みます。
- 電話番号の前に「tel:」または「tel-av:」があった場合などは、発信方法の選択肢が表示されないことがあります。手順2へ進みます。

2 **を押す**

- テレビ電話発信の場合は「発信」を選択します。
- 国際電話をかける場合はサブメニューまたは発信確認の画面で「国際電話発信」を選択します。（P.73参照）
- 発信者番号通知を設定する場合はサブメニューまたは発信確認の画面で「発信者番号通知」を選択します。（P.70手順2参照）

お知らせ

- ビューアスタイルの場合は発信できません。

Mail To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているメールアドレスなどの情報を使って、メールを送ります。

1 メールアドレスなどの情報を選択

宛先にはメールアドレスなどがすでに入力されています。
P.144手順3へ進みます。

Web To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURLなどの情報から、ｉモードまたはフルブラウザを使って、インターネットホームページに接続します。

1 URLなどの情報を選択▶ｉモードで接続・フルブラウザで接続

- URLなどの情報が、それぞれｉモード、フルブラウザの情報を含んでいる場合は、「YES」を選択すると情報に対応した機能で接続します。
- ページを取得中に中止する場合は📷TV(中止)を押します。

ｉアプリ To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURL(リンク)からｉアプリを起動します。

1 ｉアプリの情報を選択

ｉアプリが起動します。

お知らせ

- ｉモードメール本文にｉアプリを起動させるリンクがある場合、返信や転送をするとｉアプリを起動させるリンクは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時もｉアプリを起動させるリンクは引用できません。

Media To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている情報(リンク)からワンセグを起動したり、視聴予約・録画予約を行います。

1 ワンセグの情報を選択▶YES

ワンセグや視聴予約・録画予約が起動します。

- 予約機能が起動したときは📷TV(完了)を押して視聴予約・録画予約を登録します。
  予約したい内容を変更する場合はP.263手順1、P.264手順1へ進みます。

お知らせ

- 反転表示されていてもMedia To 機能が利用できない場合があります。

住所リンク機能

サイトなどの中に表示されている住所などから地図を表示したり、GPS対応ｉアプリで位置情報を利用したりできます。また、位置情報をｉモードメールで送信することもできます。

1 住所などの位置情報を選択▶項目を選択

地図を見る . . . . 選択した位置情報から地図を表示します。(P.335参照)

対応ｉアプリ . . . . GPS対応ｉアプリを選択して起動します。(P.336「GPS対応ｉアプリを起動する」参照)

メール貼り付け . . . . . . 位置情報をURL化し、本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。(P.335参照)

位置情報確認 . . . . 選択した位置情報の内容を表示します。

<ｉモード／web設定>

ｉモードの設定を行う

ｉモード、フルブラウザ利用時の設定や共通の設定を行います。ｉモードの設定、フルブラウザの設定はそれぞれ個別に設定でき、設定は共有されません。

- サイト表示中のサブメニューから設定を変更できる項目は、ｉモードで接続中は「ｉモードブラウザ設定」の設定が、フルブラウザで接続中は「フルブラウザ設定」の設定が変更されます。
- 各項目を選んで「設定説明」を選択すると、機能の説明画面が表示されます。

ｉモードブラウザ設定

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶ｉモードブラウザ設定▶以下の操作を行う

画像表示設定	サイトや画面メモなどに含まれる画像やFlash画像を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
サウンド設定	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際の効果音の音量を設定します。 ▶**ON・OFF**▶**音量レベルを選択**▶📷TV（完了）
動画自動再生設定	P.224参照
ページ内動画取得設定	サイト表示中にFlash® Videoを表示する際、動画を取得するかどうかを設定します。 ▶**項目を選択** **取得する**．．．．．確認画面は表示されず、自動で取得します。「YES」を選択します。 **毎回確認**．．．．．表示するごとに確認画面が表示されます。 **取得しない**．．．．データを取得しません。
Script動作設定	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。 JavaScriptとは、ブラウザ上で動作する簡易なプログラミング言語です。お客様の操作に合わせて、インターネットホームページの表示を動的に変更するなどダイナミックな表現を行なうことができます。例えば、ページ全体を再読み込みすることなく、お客様の操作に応じて地図部分のみをスクロールさせて表示するようなことができるのはJavaScriptによるものです。 JavaScriptを有効にすることによって、お客様がインターネットホームページに入力した情報やインターネットホームページの訪問履歴などが第三者に知られる可能性もありますので、十分にご注意ください。 ▶**有効・無効**
端末情報利用設定	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、FOMA端末の情報を利用する場合があります。その場合に、情報を利用するかどうかを設定します。 ▶**利用する・利用しない**
文字サイズ設定	P.120「ｉモード」参照
Cookie設定	P.217参照
Cookie削除	P.217参照
Referer設定	P.217参照
タブ自動起動設定	JavaScriptで新規タブを自動で開かないようにするかどうかを設定します。 ▶**自動起動する・自動起動しない**
ポインタ表示設定	ポインタ表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**

つづく

お知らせ

<画像表示設定>

- 「表示する」に設定していても、正しく表示されない場合があります。その場合、「 」が表示されます。
- 「表示しない」に設定すると、「 」で表示され、データの受信を行いません。
- 「ｉモードブラウザ設定」の「画像表示設定」の設定を変更した場合は、ワンセグの「ユーザ設定」の「画像表示設定」も変更されます。ただし、ワンセグ起動中に「ｉモードブラウザ設定」の「画像表示設定」を変更しても、ワンセグの「ユーザ設定」は変更されず、次回ワンセグ起動時に変更が反映されます。

<サウンド設定>

- 効果音を鳴らす設定にしていても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<Script動作設定>

- インターネットホームページによっては、「有効」に設定しないと正常に表示できない場合があります。
- 「有効」に設定してもJavaScriptによっては動作しない場合があります。

<端末情報利用設定>

- 利用できる情報は以下のとおりです。
  - ・「メイン時計設定」で設定した日付時刻
  - ・電波の受信レベル
  - ・「着信音量」の「電話」で設定した音量
  - ・電池残量
  - ・「Select language」で設定した言語
  - ・FOMA端末の機種や製造番号

<ポインタ表示設定>

- ビューアスタイルでｉモードを利用する場合、「ポインタ表示設定」の設定に関わらず、ポインタは表示されません。また、ビューアスタイルでフルブラウザを利用する場合、「ポインタ表示設定」の設定に関わらず、ポインタが表示されます。

フルブラウザ設定

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶フルブラウザ設定▶以下の操作を行う

画像表示設定	P.213参照
サウンド設定	P.213参照
動画自動再生設定	P.224参照
ページ内動画取得設定	P.213参照
Script動作設定	P.213参照
端末情報利用設定	P.213参照
文字サイズ設定	P.120「フルブラウザ」参照
Cookie設定	P.217参照
Cookie削除	P.217参照
Referer設定	P.217参照
タブ自動起動設定	P.213参照
ポインタ表示設定	P.213参照
フルブラウザホーム設定	ホームURLを設定します。 ▶**URL欄を選択**▶**URLを入力**▶ (完了)
表示モード設定	P.193参照
フルブラウザ確認表示	フルブラウザを起動する際に、接続するかどうかの確認画面を表示するかどうかを設定します。 ▶**項目を選択** **毎回表示**．．．．．フルブラウザを起動するたびに接続するかどうかの確認画面が表示されます。 **表示しない**．．．確認画面を表示しません。 ●「毎回表示」に設定していても、確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択すると「表示しない」に設定されます。
自動通信サイズ設定	フルブラウザで受信したページのデータが規定のサイズを超えたときの動作を設定します。 ▶**項目を選択** **制限なし**．．．確認画面は表示せずにそのまま受信します。 **毎回確認**．．．規定のサイズを超えるたびに受信するかどうかの確認画面を表示します。 **制限あり**．．．確認画面は表示せずに受信を中止します。 ●「毎回確認」に設定していても、確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択すると「制限なし」に設定されます。

フルブラウザ利用設定	フルブラウザの起動時に注意事項を表示します。注意事項を確認し、フルブラウザを利用するかどうかを設定します。 ▶**利用する・利用しない**▶**OK**
拡大縮小表示	インターネットホームページの画面の表示サイズを設定します。サイト表示中のサブメニューでは、タブごとに拡大／縮小できます。 ▶**表示サイズを選択**▶📷TV(完了)
ショートカット	サイト表示中にボタン操作で起動できる機能を一覧表示します。ボタンに割り当てられた機能は変更することもできます。 ●変更したい機能を選んで●(編集)を押すと、別の機能を選択できます。 ●📷TV(完了)を押すと変更が反映されます。 ●iα(リセット)を押して「YES」を選択すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
検索サイト設定	「テキスト範囲選択」で検索する際に接続する検索先(URL)を設定します。「クイック検索接続先設定」で登録した検索先から選択します。 ▶**検索先を選択**

お知らせ

＜自動通信サイズ設定＞

●「毎回確認」に設定していても、大容量のファイル(ムービー、Flashなど)をダウンロードする際は、確認画面は表示されません。

＜フルブラウザ利用設定＞

●「利用する」に設定しているときに別のFOMAカードに差し替えると、「利用しない」に設定が変更されます。

＜検索サイト設定＞

●ビューアスタイルでサイト表示中に利用できる検索窓の検索先にも設定されます。

共通設定

1 MENU▶**iモード／web**▶**iモード／web設定**▶**共通設定**▶**以下の操作を行う**

証明書設定	P.218参照
接続先設定	P.216参照
セキュア通信サービス設定	
ユーザ証明書操作	P.219参照
センター接続先設定	P.220参照
iモードボタン設定	待受画面でiαを押したときの動作を設定します。 ▶**項目を選択** **iMenu・検索接続** . . . . . . iMenuに接続します。 **iモードメニュー表示** . . . iモードメニューを表示します。
スクロール設定	サイト表示中の画面で◎を押したときにスクロールする行数を設定します。 ▶**行数を選択**
表示履歴設定	✉(戻る)やiα(進む)を押してページを移動する際に、履歴をサムネイルで表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
PagePilot表示設定	大きいページのサイトをポインタで移動する際に、PagePilotの画面で移動するかどうかを設定します。 ▶**項目を選択** **移動中に表示する** . . . ポインタ移動を行った際に、自動でPagePilotの画面を表示します。 **移動中に表示しない** . . . ポインタ移動を行っても、PagePilotの画面は表示しません。

つづく↳

ポインタ移動距離設定	でポインタを移動させるときの、ポインタが最初に動く移動距離を設定します。 ▶短い･普通･長い
ポインタ加速度設定	ポインタの移動速度を設定します。 ▶遅い･普通･速い
Bookmark表示設定	Bookmarkフォルダ一覧画面やBookmark一覧画面の表示方法を設定します。 ▶サムネイル･リスト

お知らせ

<ｉモードボタン設定>
- 海外では設定に関わらず、ｉモードメニューが表示されます。

<Bookmark表示設定>
- microSDカード内のBookmark一覧画面では、サムネイル表示できません。

ｉモード設定確認

「ｉモード／web設定」の各設定内容を一覧で表示します。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶ｉモード設定確認

ｉモード設定リセット

「ｉモード／web設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。リセットされる項目についてはP.498「機能一覧表」を参照してください。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶ｉモード設定リセット▶端末暗証番号を入力▶YES▶OK

ｉモードから接続先を変更する(ISP接続通信)

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ｉモード(ドコモ)以外のサービスを受けるときに使う接続先(APN)の設定をします。
登録した接続先に変更したときはｉモードを利用できなくなります。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶共通設定▶接続先設定▶<未登録>を選んで📷TV(編集)▶端末暗証番号を入力

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- 登録済みの接続先を削除するにはMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

2 以下の操作を行う

接続先名称	▶接続先名称を入力 ●全角9文字/半角18文字まで入力できます。
接続先番号	▶接続先番号を入力 ●半角英数字で99文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶接続先アドレスを入力 ●半角英数字で30文字まで入力できます。
接続先アドレス2	▶接続先アドレス2を入力 ●半角英数字で30文字まで入力できます。

3 📷TV(完了)を押す

Cookieについて設定する

Cookieを利用すると、一度接続したインターネットホームページに効率よく接続できます。
Cookieとは、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数など、お客様に関する情報を一時的に保存しておく仕組みです。サーバからFOMA端末に書き込まれて一時的に保存され、コンテンツサービスなどに利用されます。

- Cookieを送信した場合、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数などの情報がサイト側に送信されます。Cookieを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。ただし、インターネットホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieの設定を有効にしていないと正常に表示／利用できない場合があります。

Cookie設定

Cookieを有効にするかどうかを設定します。i モード、フルブラウザそれぞれ設定できます。

1 **MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶ｉモードブラウザ設定・フルブラウザ設定▶Cookie設定▶項目を選択**

有効. . . . . Cookieを常に有効にします。Cookieの送受信時に確認画面は表示されません。
毎回確認(送信時のみ). . . Cookieの送受信ともに有効にしますが、Cookieの送信のたびに確認画面が表示されます。
毎回確認(受信時のみ). . . Cookieの送受信ともに有効にしますが、Cookieの受信のたびに確認画面が表示されます。
毎回確認(送受信時). . . . . Cookieの送受信のたびに許可するかどうかの確認画面が表示されます。
無効. . . . . Cookieを常に無効にします。

- 別のFOMAカードに差し替えると、「無効」に設定されます。別のFOMAカードのまま設定を変更すると、端末暗証番号の入力画面が表示される場合があります。

お知らせ

- 「毎回確認」に設定すると、インターネットホームページによってはCookieを送受信(更新)するかどうかの確認画面が連続して表示される場合があります。

Cookieを削除する

1 **MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶ｉモードブラウザ設定・フルブラウザ設定▶Cookie削除▶端末暗証番号を入力▶YES▶OK**

Refererについて設定する

Refererとは、リンク元情報のことです。Refererを送信すると、自分がどのページから接続しているかの情報がサイトに送信されます。
Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Referer設定

インターネットホームページ表示中にRefererを送信するかしないかの設定をします。i モード、フルブラウザそれぞれ設定できます。

1 **MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶ｉモードブラウザ設定・フルブラウザ設定▶Referer設定▶有効・無効**

有効. . . Refererを送信します。
無効. . . Refererを送信しません。

<SSL/TLS証明書設定>
SSL/TLS証明書を操作する

1 MENU▶iモード／web▶iモード／web設定▶共通設定▶証明書設定▶証明書を選んでMENU(サブメニュー)▶以下の操作を行う

証明書表示	証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を表示します。 ●MENU(サブメニュー)を押す代わりに●(選択)を押しても証明書を確認できます。
有効／無効設定	無効に設定され、「」が「」になります。 ●すでに無効に設定されている証明書を選択した場合は、有効に設定されます。 ●無効に設定すると、そのSSL/TLS証明書を持っているサイトは表示できなくなります。 ●「ドコモ証明書2」は無効に設定できません。

SSL/TLS通信で使用する証明書について

証明書 . . . 認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

ドコモ証明書
. . . . FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード内に保存されています。

ユーザ証明書
. . . . 「iモード／web設定」の「共通設定」内の「セキュア通信サービス設定」から「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード内に保存されます。

<ユーザ証明書操作>
FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスと契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトでご利用になれます。
FOMAカードに保存されているユーザ証明書が有効期限切れであったり、または必要なユーザ証明書がFOMAカードに保存されていないために、FirstPass対応サイトが表示できない場合、FirstPassセンターに更新申請を行い、そのユーザ証明書をダウンロードできます。

●FirstPassセンターへユーザ証明書の発行を要求し、ダウンロードができます。
●FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
●FirstPass対応サイトはフルブラウザでもご利用になれます。
●FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
●FirstPassセンターに接続する際は、あらかじめ「メイン時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。
●オートGPS機能を設定中はご利用になれません。
●海外ではご利用になれません。

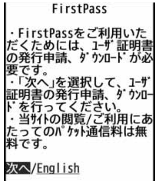
クライアント認証について

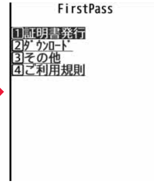
●FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。
●クライアント認証は、FOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためにはFirstPass PCソフトが必要です。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターのサイトから行います。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶共通設定▶セキュア通信サービス設定▶ユーザ証明書操作▶次へ





FirstPassセンターのサイト画面

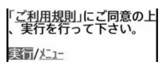
お知らせ

- FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。

ユーザ証明書の発行を申請し、ダウンロードする

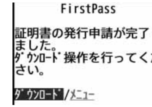
ユーザ証明書のダウンロードを行う前には、必ずユーザ証明書の発行を申請します。発行申請が完了したら、ユーザ証明書をダウンロードします。ダウンロードが完了すると、ユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトが表示できるようになります。

1 FirstPassセンターのサイト画面▶証明書発行▶実行



- 更新の場合、「証明書の更新発行申請を行います。」と表示されます。
- ユーザ証明書の発行を申請済みの場合は、FirstPassセンターのサイト画面で「ダウンロード」を選択し、手順3へ進みます。

2 PIN2コードを入力



- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
- PIN2コードについてはP.125参照。

3 ダウンロード▶実行

- すぐにユーザ証明書をダウンロードしない場合は、「メニュー」を選択します。SSL/TLSページを終了するかどうかの確認画面で「YES」を選択し、FirstPassセンターのサイト画面に戻ります。

お知らせ

- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

ユーザ証明書でサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応サイトに接続します。

1 FirstPass対応サイトを表示▶項目を選択▶YES

2 PIN2コードを入力

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
- PIN2コードについてはP.125参照。

お知らせ

- ユーザ証明書がない状態や、ユーザ証明書の有効期限が切れている状態でFirstPass対応サイトに接続しようとした場合、継続するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択すると元のページに戻りますので、FirstPassセンターのサイトでユーザ証明書をダウンロード／更新してから再度接続してください。
- FirstPass対応サイトへの接続に発生するパケット通信料はｉモードパケット定額サービスの料金に含まれます。

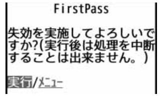
ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 FirstPassセンターのサイト画面▶その他▶証明書失効▶YES▶PIN2コードを入力

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
- PIN2コードについてはP.125参照。

2 実行▶次へ▶実行



お知らせ

- 失効が完了したあとにFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を見る場合はP.218参照。

<センター接続先設定>

証明書発行接続先を変更する

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定▶共通設定▶セキュア通信サービス設定▶センター接続先設定▶<未登録>を選んで📷TV(編集)

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- 登録済みの接続先を削除するにはMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

2 端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う

初期画面URL	▶初期画面URLを入力 ●半角英数字で100文字まで入力できます。
接続先番号	▶接続先番号を入力 ●半角英数字で99文字まで入力できます。

3 📷TV(完了)を押す

■FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものと見なされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSL/TLSのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

ｉモーション･ムービー／ｉチャネル／ｉコンシェル

ｉモーション･ムービーを利用する

ｉチャネルを利用する

ｉコンシェルを利用する

iモーション・ムービー

iモーションは、映像や音声、音楽のデータで、iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み再生できます。また、iモーションを着信音に設定することもできます。
また、高速通信を利用して、インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されている様々なムービーを、滑らかに高画質で再生できます。
iモーション、ムービーには、それぞれ大きく分けて2つのタイプがあります。取得したiモーション、ムービーがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。
1件あたり10Mバイトまで取得できます。ただし、フルブラウザでストリーミングタイプのムービーを再生する場合は、容量の制限がありませんのでご注意ください。

- ムービープレーヤーはWindows Media VideoやWindows Media Audioの再生に対応しています。
- iモーション・ムービーのダウンロード、ストリーミング時には大容量データを受信する可能性があります。フルブラウザでの容量制限のないストリーミングタイプのムービーなど、送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、「ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）」をご覧ください。

■ iモーションのタイプ

種類	説明
ストリーミングタイプ（保存不可）	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったiモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存したりできません。
標準タイプ（保存可）	iモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	iモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、「データ取得後の再生」と同様に再生できます。

■ムービーのタイプ

種類	説明
ストリーミングタイプ（保存不可）	受信しながら同時に再生を行います。再生が終わったムービーデータは消去され、繰り返し再生したり、保存したりできません。
ダウンロードタイプ（保存可）	ムービーのデータをすべて取得してから再生します。
	受信しながら同時に再生を行います。ダウンロードが完了したあとに、FOMA端末やmicroSDカードに保存することで通信せずに再生できます。1件あたり10Mバイトまでダウンロードできます。
	FOMA端末で取得したデータだけでなく、パソコンで取得したり、作成したムービーをFOMA端末やmicroSDカードに保存して、映像を再生できます。1件あたりの容量は、FOMA端末、microSDカードの容量内なら無制限に保存できます。

- ストリーミングタイプの配信サーバはWindows Media Services 4.1、Windows Media Services 9に対応しています。Windows Media Services 4.1、Windows Media Services 9以外から配信されるストリーミングタイプのムービーの再生はできません。
  配信方式には、リアルタイムに配信されるライブ配信やあらかじめ用意されたムービーが配信されるオンデマンド配信があります。
- サイトによっては動作環境（ブラウザ種別、OS種別など）を確認する場合があり、ムービーの再生ができないことがあります。
- 対応するムービーのファイル形式についてはP.366参照。

<ｉモーション･ムービー取得>

サイトからｉモーション･ムービーを取得する

サイトからｉモーション･ムービーを取得して再生する

1 ｉモーション･ムービー取得可能なサイトでｉモーション･ムービーを選択

データの取得を開始します。

- ストリーミングタイプのムービーの場合は再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- ストリーミングタイプのｉモーション･ムービーの場合は、取得中にｉモーション･ムービーが再生されます。
  「動画自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていると、取得しながら再生できるｉモーションやダウンロードタイプのムービーの場合も、取得中にｉモーション･ムービーが再生されます。
- データをすべて取得してから再生できるｉモーションの場合は、「動画自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていると、取得したあとに自動的にｉモーションが再生されます。

2 データ取得完了の画面で「再生」を選択

再生中の操作についてはP.365参照。

- 「情報表示」を選択するとｉモーション･ムービーの情報が表示されます。（P.367「ｉモーション情報」、P.367「コンテンツ情報」参照）
- 画面メモを保存したいときはP.204参照。

ライセンス（Windows Media DRM）について

- ライセンスにより保護されたムービーで再生できるのはストリーミングタイプのみです。ライセンスに保護されたダウンロードタイプのムービーは再生できません。
- ムービーのライセンス設定によってはムービーの再生ができない場合があります。
- ライセンスを取得してFOMA端末に保存する際、データがいっぱいのときはすでに保存されているライセンスを削除して保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとすでに保存されているライセンスをすべて削除して保存します。ライセンスを削除してしまったムービーを再生する場合は、再度ライセンスを取得する必要があります。

ｉモーションのダウンロードが中断したときは

「Cancel」を選択してダウンロードを中断したり、着信などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択すると、部分保存可能なｉモーションの場合はデータ取得完了の画面が表示されます。「部分保存」を選択した場合は、「データBOX」の「ｉモーション」内の任意のフォルダを選択して保存します。
部分保存した残りのデータは「データBOX」から再ダウンロードできます。

- 部分保存したｉモーションの再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません。また、取得操作を行う際、部分保存されていたデータを削除できます。

ムービーの取得が中断したときは

取得中のムービーのタイプや中断理由によって、それぞれ動作が異なります。

ストリーミングタイプの場合

着信やアラーム通知、通信の切断によって中断した場合、中断後は一時停止状態となります。●（▶）を押すと、続きから再生を再開します。
CLRや⌒を押して中断した場合は、再生前の画面に戻ります。

ダウンロードタイプの場合

着信やアラーム通知、通信の切断によって中断した場合、中断後にダウンロードが継続できないときはデータ取得完了の画面が表示されます。CLRや⌒を押した場合は、ダウンロードを中止してデータ取得完了の画面が表示されます。
「再生」を選択すると取得したところまでの再生を行います。「部分保存」を選択すると取得したところまでのデータを保存します。（P.224「ｉモーション･ムービーを保存する」参照）「再DL」を選択すると続きから取得を再開します。

- ダウンロードタイプの場合、音声電話着信、メールやメッセージR/Fの受信、アラーム通知があったときもダウンロードは継続されます。
- 接続するサイトおよびムービーによっては、●（▶）を押したり、「再DL」を選択したりしても、続きから再開できない場合があります。その場合、ファイルの先頭から取得を再開します。

お知らせ

- フルブラウザで取得する際のストリーミングタイプのムービーはサイズに上限がなく、パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。取得の際には再生するかどうかの確認画面が表示されます。

つづく

お知らせ

- 接続するサイトやｉモーション･ムービーによっては、データの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。また、ASF形式のｉモーションは取得できません。
- 再生できるｉモーションのファイル形式についてはP.366参照。
- 標準タイプのｉモーションの場合、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。ダウンロードタイプのムービーの場合、データ取得中の再生を途中で停止するとデータ取得完了の画面が表示されます。
- 「動画自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取得したあとに自動再生はされません。
- 再生回数･再生期間･再生期限に制限があるｉモーションは、タイトルの先頭に「◷」が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーション･ムービーは、期間前や期間後（ダウンロード中に期間後になった場合も含む）には再生できません。また、長い間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーション･ムービーは再生できません。再生制限を確認するには「ｉモーション情報」、「コンテンツ情報」参照。
- 回線速度･回線状況･電波環境により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。標準タイプのｉモーションやダウンロードタイプのムービーはデータ取得完了後に繰り返し再生できますが、ストリーミングタイプのｉモーション･ムービーは再生できません。
- 電池残量が少ない状態でムービーを再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

ｉモーション･ムービーを保存する

取得したｉモーション･ムービーをFOMA端末、microSDカードに保存します。FOMA端末に保存できるｉモーションの容量は他のデータと共通で、合わせて約210Mバイトです。（P.548参照）

1 データ取得完了の画面▶保存▶YES ▶保存したいフォルダを選択

- ｉモーションやムービーをmicroSDカードに保存する場合の保存先についてはP.401参照。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。

お知らせ

- ｉモーション･ムービーによっては取得したデータを保存できない場合があります。
- 部分保存したｉモーションをデータBOXから再生することはできません。部分保存したムービーの場合は、取得したところまで再生できます。

<動画自動再生設定>

ｉモーション･ムービーの自動再生を設定する

サイトから標準タイプのｉモーション、ダウンロードタイプのムービーを取得した場合や、標準タイプのｉモーション、ダウンロードタイプのムービーが登録されている画面メモを選択した場合に、ｉモーション･ムービーを自動的に再生するかどうかを設定します。ｉモード、フルブラウザそれぞれ設定できます。

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉモード／web設定 ▶ｉモードブラウザ設定･フルブラウザ設定 ▶動画自動再生設定▶自動再生する･自動再生しない

お知らせ

- 「自動再生しない」に設定していても、ストリーミングタイプのｉモーション･ムービーは自動再生されますので、ご注意ください。

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、ｉチャネル対応ボタンを押すことで最新情報がチャネル一覧画面に表示されます。(P.225参照)
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP(情報サービス提供者)が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。
お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」共に詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはｉモード契約が必要です)。
- ｉチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

- ｉチャネル契約後、FOMA端末の電源が「OFF」または「圏外」など電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。その場合は、CLRを押して表示される未契約者用のチャネルを選択することで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。また、お買い上げ時の状態のままでは情報を受信できない場合があります。その場合は、CLRを押すことで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。
- ｉチャネルは海外では、ｉチャネル受信ごとに通信料がかかります。
- ｉチャネルサービス解約後などは、自動的にテロップが「表示しない」に設定されます。
- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合は、テロップは「表示する」に設定されたままになります。

ｉチャネルを使う

「テロップ表示設定」を「表示する」に設定すると、最新のものから最大10件のテロップが待受画面に繰り返し流れます。詳しい情報を知りたいときはチャネル一覧画面から取得できます。

1 CLRを押す

「テロップ表示設定」の設定に関わらず、チャネル一覧画面が表示されます。
- 情報を受信中は「」が点滅します。
- チャネル一覧画面でMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押すと、「リトライ」(P.198参照)、「サウンド設定」(P.213参照)、「タブ操作」(P.198参照)、「クイック検索」(P.200参照)の操作が行えます。

2 項目(リンク先)を選択

お知らせ

- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。また、着信／充電ランプも光りません。
- 以下の場合は、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、CLRを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
  ・FOMAカードを差し替えた場合　・「接続先設定」を変更した場合
  ・「ｉチャネル初期化」を行った場合　・「端末初期化」を行った場合
  ただし、「接続先設定」を変更すると、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、CLRを押してチャネル一覧画面を表示してください。
- 「接続先設定」を変更した場合は、ｉチャネルの接続先も変更されます。(通常は、設定を変更する必要はありません。)
- 利用している状況により、チャネル一覧画面を表示したタイミングで情報を受信することがあります。
- 「フォント設定」の「ｉモード」を変更しても、チャネル一覧画面の文字サイズは、すぐに変更されない場合があります。

テロップの表示を設定する

1 MENU▶ｉモード／web▶ｉチャネル▶以下の操作を行う

ｉチャネル一覧		チャネル一覧画面を表示します。 P.225手順2へ進みます。
テロップ表示設定		
	テロップ表示設定	待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。 ▶表示する･表示しない
	テロップ文字サイズ設定	テロップの文字サイズを設定します。 ▶大･中･小
	テロップ色設定	テロップの背景色と文字色を設定します。 ▶パターンを選択
	テロップ速度	テロップが流れる速度を設定します。 ▶速度を選択
ｉチャネル初期化		取得したｉチャネルの情報を初期化し、「テロップ表示設定」「テロップ文字サイズ設定」「テロップ色設定」「テロップ速度」をお買い上げ時の設定に戻します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- 「テロップ表示設定」は2in1の各モードごとに設定できます。また、2in1がOFFのときはAモード中の設定と共通になります。

<テロップ表示設定>
- 公共モード(ドライブモード)中、ダイヤルロック中は、テロップは表示されません。

<ｉチャネル初期化>
- 初期化を行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、CLRを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

ｉコンシェル

「ｉコンシェル」とは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ(お住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳など)をお預かりし、生活エリアやお客様の居場所、趣味趣向に合わせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されているスケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ(待受画面上のキャラクタ)がお知らせします。

- ｉコンシェルの詳細については「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

■ ｉコンシェルのご利用にあたって
- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモードの契約が必要です)
- ケータイデータお預かりサービス(P.137参照)のご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- コンテンツ(インフォメーション、ｉスケジュールなど)によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 国際ローミングサービスご利用の際は、受信･詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉコンシェルを海外でご利用になる場合は海外利用設定が必要となります。(P.487参照)
- ｉスケジュール･トルカ･電話帳の自動更新時には別途パケット通信料がかかります。

インフォメーションを受信する

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にインフォメーションが送られてきます。
インフォメーションが届くと画面の上部に「◙」が表示されます。
受信したインフォメーションは、最大50件まで保存でき、古いインフォメーションから上書きされます。

1 インフォメーションを受信すると「◙」が点滅し、待受画面に内容が表示される

- 一度に複数のインフォメーションを受信した場合、待受画面には最新の1件が表示されます。
- 待受画面以外を表示中は、受信した旨のメッセージが表示されます。「確認」を選択するとインフォメーションの詳細を確認できます。

2 メッセージを選択する

インフォメーションの詳細が表示されます。

- 待受画面で[終話]または[CLR]（1秒以上）を押すか、メッセージを選んで[終話]または[CLR]（1秒以上）を押すとメッセージを消去できます。

お知らせ

- 「メール設定」の「受信時動作設定」を「操作優先」に設定している場合、待受画面以外を表示中にインフォメーションを受信しても、受信した旨のメッセージは表示されません。

ｉコンシェルを表示する

1 [MENU]▶ｉコンシェル▶インフォメーションを選択

- 未読のインフォメーションには未読マークが表示されます。
- インフォメーションには、スケジュールデータやトルカが添付されていたり、より詳細な情報や関連情報を見るためのサイトへのリンクが記載されていることがあります。内容を確認するにはインフォメーションを選択します。
- [MENU]を押すと、ｉコンシェルのメニューが選択できます。
ｉコンシェルメニューの内容は、機能の追加などにより変更する場合があります。

インフォメーション表示設定

受信したインフォメーションを待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 [MENU]▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶インフォメーション表示設定▶表示する・表示しない

カメラ

■著作権・肖像権
お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

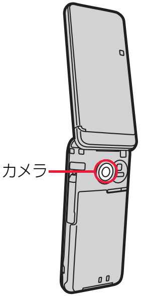
カメラをご利用になる前に

撮影時の留意事項

・撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
・撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
・撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
・レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上下または左右に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
・日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
・カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
・電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
・●(撮影)などを押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、●(撮影)などを押したときに画面に表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
・microSDカードへ保存中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
・ファイル保存中に電源を切った場合など、不完全なファイルが保存されることがあります。
・本体またはmicroSDカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなります。
・microSDカードをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。(P.386参照)

カメラの使用について

カメラを使って静止画や動画を撮影します。
撮影するときは、フォーカス機能により自動的にフォーカスを合わせることができます。(P.241参照)
また、手ブレ補正機能により、ぶれを少なくできます。(P.242参照)
撮影時の主な設定は、サブメニューからだけでなくボタンを操作することで簡単に変更できます。



■撮影時の操作

操作	キー
サブメニュー呼出	MENU
ボタン操作ガイド／アイコンメニュー操作	📷TV
撮影モード選択※1	📷TV（1秒以上）
フォルダジャンプ※2	✉
シャッター・保存	●、O、🔒
望遠	○（右）
広角	○（左）
フォーカス設定※3	○（上）
フォーカス機能	○（下）、＊、🔒（半押し）
カメラモード切替※4	iα
画像サイズ設定	1

操作	キー
画質設定	2
明るさ調節※5	3
ホワイトバランス設定※5	4
撮影モード選択（「シーン」設定時）	5
アイコン表示※6	6
セルフタイマー設定※7	7
フォトライト設定※6	8
保存先設定※8	9
オートシャッター※9	#
カメラ終了（通常時）フォーカスロック解除（フォーカスロック時）	CLR
カメラ終了	⌒

※1 デジカメモードでは操作できません。
※2 ムービーモードでは操作できません。
※3 「撮影モード選択」が「インテリジェントオート」に設定されているときは、フォーカス設定を「追尾AF」に切り替えます。再度押すと、「インテリジェントオート」によるフォーカス設定に戻ります。
※4 押すごとに「デジカメモード」「ムービーモード」を切り替えます。フォト・連写モードでは操作できません。
※5 「撮影モード選択」が「インテリジェントオート」に設定されているときは操作できません。
※6 押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
※7 フォト・連写・ムービーモードでは押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
※8 フォト・連写・ムービーモードでは押すごとに「本体」「microSD」を切り替え
※9 デジカメモード時に、押すごとに「OFF」→「ラブシャッター」→「グループシャッター」→「笑顔シャッター」を切り替え

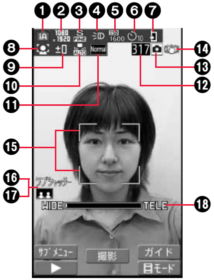
お知らせ

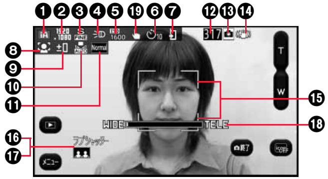
- カメラ起動中や撮影時・録画中に「フォトライト設定」が「OFF」の場合はフォトライトが点滅します。ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合は、フォトライトが点灯します。消灯はできません。
- シャッター音の音量を変更したり消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することもできません。
- 撮影画面で約3分間何も操作しないと、自動的にカメラが終了します。
- 暗い場所で撮影する場合は、「撮影モード選択」を「シーン」の「ナイトモード」に設定したり、「ISO設定」を変更してください。
- アイコンメニューで操作できるのは、「画像サイズ設定」「画質設定」「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「撮影モード選択」「フォーカス設定」です。

カメラの設定と撮影画面の見かた

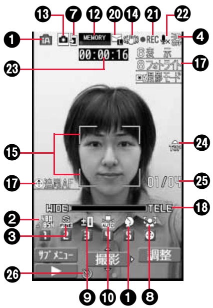
撮影画面には、さまざまな設定がアイコンやバーで表示されています。

■デジカメモード





■フォト・ムービー・連写モード



アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❶撮影モード選択	iA	インテリジェントオート(標準)	246
		人物	
		風景	
		夜景	
		接写	
		夕焼け	
		雪	
		食べ物	
		ビーチ	
		文字	
		通常撮影	
	SCN	シーン	
		ポートレート	
		スポーツ	
		料理	
		風景	
		ナイトモード	
		逆光	
	ABC	文字	
		雪	
		夕焼け	
		ペット	
	My	Myオリジナル設定	

アイコン・バー名	アイコン		説明	参照先
❷画像サイズ設定（デジカメモード）	3120×4160・4160×3120		13M（3120×4160）	242
	2336×4160・4160×2336		9.7Mワイド（2336×4160）	
	3120×3120		正方形（大）（3120×3120）	
	2448×3264・3264×2448		8M（2448×3264）	
	1944×2592・2592×1944		5M（1944×2592）	
	1536×2048・2048×1536	連写	3M（1536×2048）	
	1080×1920・1920×1080	連写	2Mワイド（1080×1920）	
	1200×1600・1600×1200	連写	2M（1200×1600）	
	480×854・854×480	連写	待受（480×854）	
	480×640・640×480		VGA（480×640）	
	480×480		正方形（小）（480×480）	
画像サイズ設定（フォト・連写モード）	1536×2048	フォト	3M（1536×2048）	
	1080×1920	フォト	2Mワイド（1080×1920）	
	1200×1600	フォト	2M（1200×1600）	
	480×854	フォト	待受（480×854）	
	480×640	フォト・連写	VGA（480×640）	
	240×320	フォト・連写	QVGA（240×320）	
	144×176	フォト・連写	QCIF（144×176）	
	96×128	フォト・連写	Sub-QCIF（96×128）	
画像サイズ設定（ムービーモード）	640×480		VGA（640×480）	
	640×352		HVGAワイド（640×352）	
	320×240		QVGA（320×240）	
	176×144		QCIF（176×144）	
	128×96		Sub-QCIF（128×96）	
❸画質設定	NORMAL		ノーマル	242
	FINE		ファイン	
	S FINE		スーパーファイン	
❹フォトライト設定	ON		ON	246
	OFF		OFF	

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❺ISO設定	ISO 200 ～ ISO 12800	撮影時の感度	243
❻セルフタイマー設定	10	10秒	247
	2	2秒	
❼保存先設定		本体（カメラ・自動お預かり）	243
		microSD	
❽フォーカス設定		顔認識	242
	AF	オート	
		接写	
		風景	
		追尾AF	
❾明るさ調節	－ ～ ＋	撮影画像の明るさ	242
❿ホワイトバランス設定	AUTO	オート	242
		晴天	
		曇天	
		電球	
		蛍光灯	
⓫色調切替	Normal	通常	242
	Sepia	セピア	
	Mono	白黒	
	Vivid	ヴィヴィッド	
	Natural	ナチュラル	
	White	美白	
	Suntan	日焼け	
⓬記録可能枚数	－	静止画の残り撮影可能枚数 ●999枚まで表示されます。	－
使用メモリ量バー	MEMORY	ムービーモード時のメモリ使用状況（目安） ●メモリがいっぱいのときは赤色で表示されます。	－

カメラ

つづく

アイコン・バー名		アイコン	説明	参照先
⑬	連写設定		1枚	234
		・	連写・おまかせチョイス	235
	カメラモード		フォトモード	236
			ムービーモード	238
		A・M・	連写モード(オート・マニュアル・オートブラケット)	236
⑭手ブレ補正			オート	242
⑮フォーカス枠		－	フォーカスの状態を表します。	－
⑯オートシャッター		・・	ラブシャッター(お友達・恋人・恋人+笑顔)	247
			グループシャッター(5人まで)	
			笑顔シャッター	
⑰ボタンガイダンス		－	ボタン操作を表示します。	－
⑱ズームバー		WIDE TELE	望遠・広角の状態	240
⑲タッチAF／AE設定			有効	243
		OFF	無効	
⑳動画容量設定		S	メール制限(小)	242
		L	メール制限(大)	
		LONG	長時間	
㉑撮影状態		●REC	動画撮影中	238
㉒撮影種別設定			映像のみ録画	244
㉓記録可能時間		－	動画の記録可能時間(目安)	－
㉔天地アイコン		TOP	撮影時の上下方向を示します。	－
㉕連続撮影枚数		01/04	連写モードのマニュアル時の撮影枚数	244
㉖セルフタイマー設定			ON	247

<静止画撮影>

静止画を撮影する

デジカメモード、フォトモード、連写モードの各モードを利用して静止画を撮影します。

- 保存した静止画を再生するには、P.353、P.358参照。

デジカメモードで撮影する

正方形(小)(480×480)～13M(3120×4160)のサイズの静止画を撮影します。デジカメモードでカメラ起動中にビューアスタイルに変更すると、横画面に切り替わります。

1 [カメラTV]を押す

- 「MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。カメラメニューから「デジカメモード」を選択しても起動できます。
- 「スタイル連動設定」を「カメラ」に設定しているときは、待受画面でビューアスタイルに切り替えても、デジカメモードでカメラを起動できます。
- カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.38参照)



撮影画面

2 ●(撮影)、Oまたは[シャッター]を押す

静止画を撮影します。撮影した静止画は「保存先設定」で設定した保存先に自動的に保存されます。「オートレビュー」が「OFF」以外に設定されている場合は確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- 「フォーカス設定」を「顔認識」「オート」「追尾AF」に設定しているときに●(撮影)またはOを押すと、フォーカス動作後に撮影されます。
- [シャッター]を押して撮影するときは、[シャッター](半押し)でフォーカスを合わせることができます。(P.241参照)

デジカメモードで連続撮影する

デジカメモードで、待受(480×854)～3M(1536×2048)のサイズの静止画を連続撮影します。約0.3秒間隔で6枚または8枚撮影できます。

1 デジカメモードの撮影画面▶MENU(サブメニュー)▶連写設定▶連写・おまかせチョイス

2 ●(撮影)、Oまたは[シャッター]を押す

連続撮影を開始します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。手順1で「おまかせチョイス」を選択した場合のポストビュー画面についてはP.235参照。

- 「フォーカス設定」を「顔認識」「オート」「追尾AF」に設定しているときに●(撮影)またはOを押すと、フォーカス動作後に撮影されます。
- [シャッター]を押して撮影するときは、[シャッター](半押し)でフォーカスを合わせることができます。(P.241参照)
- 撮影を途中で中止する場合は📷TV(中止)またはCLRを押します。また、FOMA端末を閉じても撮影を中止します。撮影済みの静止画のポストビュー画面が表示されます。

3

1枚ずつ選択して保存する場合

保存したい静止画を選んで●(保存)を押す

- 静止画を選んで[iα](拡大表示)を押すと、拡大表示されます。拡大表示中に[左右キー]を押すと、前または次の静止画を表示します。

すべての静止画を保存する場合

📷TV(全保存)を押す

撮影した静止画が「保存先設定」で設定した保存先に保存されます。

- ポストビュー画面でCLRを押すと撮影した静止画を取り消して連写での撮影画面に戻ります。

「おまかせチョイス」で撮影したときは

FOMA端末が、撮影された静止画の中からピントや構図などを自動的に判断して、1番よく撮れている静止画をポストビュー画面に大きく表示します。

上位の3枚には「♛」が付きます。

- ✉(切替)を押すごとに表示方法を、「1番目の1枚を大きく表示」→「上位3枚を大きく表示」→「すべてを表示」の順で切り替えることができます。
- 撮影の途中やポストビュー画面が表示される前に📷TV(中止)やCLRを押した場合は、よく撮れている静止画が選択されません。



お知らせ

- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらずシャッター音が鳴ります。シャッター音やシャッター音の音量は変更できません。
- 撮影中にマルチタスクによりカメラ機能が終了した場合などは、未保存の静止画は削除されます。
- 撮影時に動くと画像がぶれる原因となりますので撮影の際はFOMA端末をしっかり固定してください。

フォトモードで撮影する

Sub-QCIF(96×128)～3M(1536×2048)のサイズの静止画を撮影します。

1 **[カメラ/TV]▶[MENU](サブメニュー)▶カメラモード切替▶フォトモード**

- 「[MENU]▶カメラ／TV／MUSIC▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。カメラメニューから「フォトモード」を選択しても起動できます。
- カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.38参照)



撮影画面

2 **[●](撮影)、[O]または[シャッター]を押す**

静止画を撮影します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- 「フォーカス設定」を「顔認識」「オート」「追尾AF」に設定しているときに[●](撮影)または[O]を押すと、フォーカス動作後に撮影されます。
- [シャッター]を押して撮影するときは、[シャッター](半押し)でフォーカスを合わせることができます。(P.241参照)
- 「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、自動的に保存されます。

3 **[●](保存)、[O]または[シャッター]を押す**

撮影した静止画が「保存先設定」で設定した保存先に保存されます。

- [CLR]を押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。



ポストビュー画面

連写モードで撮影する

Sub-QCIF(96×128)～VGA(480×640)のサイズの静止画を連続撮影します。撮影枚数やオート撮影時の撮影間隔を設定できます。(P.244参照)

1 **フォトモード・ムービーモードの撮影画面▶[MENU](サブメニュー)▶カメラモード切替▶連写モード**

- 「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動したモードで起動します。連写モードを変更するには「連写設定」の「連写モード設定」参照。



撮影画面

2 **[●](撮影)、[O]または[シャッター]を押す**

連続撮影を開始します。

「連写モード設定」を「マニュアル」に設定している場合は、撮影枚数分[●](撮影)、[O]または[シャッター]を押します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- 「フォーカス設定」を「オート」に設定しているときに[●](撮影)または[O]を押すと、フォーカス動作後に撮影されます。
- [シャッター]を押して撮影するときは、[シャッター](半押し)でフォーカスを合わせることができます。(P.241参照)
- 撮影を途中で中止する場合は[CLR]を押します。「連写モード設定」を「オート」または「オートブラケット」モードで撮影している場合は、[カメラ/TV](中止)を押しても撮影を中止できます。また、FOMA端末を閉じても撮影を中止します。撮影済みの静止画のポストビュー画面が表示されます。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、自動的に保存されます。

3 1枚ずつ選択して保存する場合

静止画を選んでi（詳細）

▶●（保存）、Oまたは

●詳細表示画面でOを押すと、前または次の静止画を表示します。



ポストビュー画面



詳細表示画面

複数の静止画を選択して保存する場合

保存したい静止画を選んで●（選択）、Oまたは

▶（保存）▶保存

●選択した静止画には「」が付きます。

すべての静止画を保存する場合

（全保存）▶保存

撮影した静止画が「保存先設定」で設定した保存先に保存されます。

●ポストビュー画面でCLRを押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

お知らせ

●「画像サイズ設定」や「表示サイズ設定」により画質が粗くなることがあります。

●撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。

お知らせ

●撮影中にメールを受信しても撮影動作は継続されます。未読メールアイコンは表示されますが、メール受信画面は表示されません。

●撮影中にマルチタスクによりカメラ機能が終了した場合などは、未保存の静止画は削除されます。

●撮影時に動くと画像がぶれる原因となりますので撮影の際はFOMA端末をしっかり固定してください。

フォトモードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面のサブメニュー

保存		P.236、P.237参照
メール添付／ブログ		
	iモードメール添付	撮影した静止画を保存し、iモードメールに添付します。 P.144手順2へ進みます。 ●（MAIL）を押してもiモードメールを作成できます。
	ブログ投稿	撮影した静止画を保存し、「ブログ・メールメンバー」で設定済みの投稿先を宛先にしたiモードメールを作成します。 P.144手順3へ進みます。
位置情報付加		P.347参照
ピクチャ貼付		撮影した静止画を保存し、待受画面などに貼り付けて表示します。 P.354「ピクチャ貼付」へ進みます。 ●「保存先設定」を「microSD」に設定していても、本体の「マイピクチャ」内の「カメラ」フォルダ、または「自動お預かり」フォルダに保存されます。

つづく

フレーム取替え	フレームを合成して撮影した静止画のフレームを取り替えます。 ▶**フレームを選択** ●[◎]を押すと、前または次のフレームを表示します。 ●フレームを選択し直す場合は[カメラTV]（取消）を押します。 ▶[●]（確定） ●フレームの解除はできません。
保存先設定	P.243参照
表示サイズ設定	P.244参照
ファイル制限	P.243参照
アイコン表示	P.244参照
取消	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

<ブログ投稿>
- 画像によってはFOMA端末で表示されている向きから回転してアップロードされることがあります。

連写モードのポストビュー画面のサブメニュー

保存	P.237参照
全保存＆自作アニメ	撮影した全静止画を保存し、自作アニメとして登録します。 ▶**保存**▶**<未登録>**
保存先設定	P.243参照
ファイル制限	P.243参照
取消	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

<全保存＆自作アニメ>
- 「保存先設定」を「microSD」に設定しているときは、この機能は使用できません。
- 1枚だけ撮影した場合は、この機能は使用できません。

<動画撮影>

動画を撮影する

- 保存した動画を再生するには、P.365参照。

1 **[カメラTV]▶[iα]（モード）**

- 「[MENU]▶カメラ／TV／MUSIC▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。カメラメニューから「ムービーモード」を選択しても起動できます。
- カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。（P.38参照）



撮影画面

2 **[●]（撮影）、[○]または[シャッター]を押す**

録画を開始します。
- 「フォーカス設定」を「顔認識」「オート」に設定しているときに[●]（撮影）または[○]を押すと、フォーカス動作後に撮影が始まります。撮影中は「フォーカス設定」に関わらず、自動的に被写体にフォーカスを合わせます。
- [シャッター]を押して撮影するときは、[シャッター]（半押し）でフォーカスを合わせることができます。（P.241参照）

3 ◉(終了)、◯または[📷]を押す

録画を終了します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- 録画中に電話がかかってきた場合、電池切れアラームが鳴った場合、FOMA端末を閉じた場合は、自動的に録画が終了します。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定している場合や「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合は、自動的に保存されます。

4 ◉(保存)、◯または[📷]を押す

撮影した動画が「保存先設定」で設定した保存先に保存されます。

- CLRを押すと撮影した動画を取り消して撮影画面に戻ります。



ポストビュー画面

撮影中に録画が終了したり画質が悪くなったときは

データの保存や削除を繰り返しているmicroSDカードを使用していると、データの書き込み速度が遅くなり、途中で録画が終了したり画質が悪くなったりすることがあります。
以下の操作を行うと改善される場合があります。

1.microSDカード内のすべてのデータを、そのままパソコンにコピーする。

- パソコンの設定で、隠しフォルダや隠しファイルが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- パソコン上にコピーしたデータのフォルダ名やファイル名は変更しないでください。

2.パソコンでmicroSDカード内のすべてのデータを削除する。

- フォーマットしないでください。データが再生できなくなる場合があります。

3.手順1でコピーしておいたデータを、microSDカードにコピーして戻す。

- 必ず同じmicroSDカードにコピーして戻してください。他のmicroSDカードに保存しても、著作権のあるデータは再生できません。

お知らせ

- 撮影開始時・終了時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- 録画中・録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 撮影中、遠近の差のあるものに被写体を変えると、ピントが合うまでに時間がかかります。
- 被写体によりピントが合いにくい場合は、被写体を変えるとピントが合う場合があります。
- 暗いところではフォーカスを合わせる動作は遅くなります。

ムービーモードのポストビュー画面のサブメニュー

項目		説明
再生		撮影した動画を再生して確認できます。 ●再生時の操作についてはP.365参照。 ●[✉](再生)を押しても動画を再生できます。
保存		P.239参照
メール添付／ブログ		
	iモードメール添付	撮影した動画を保存し、iモードメールに添付します。 P.144手順2へ進みます。 ●[📷TV](MAIL)を押してもiモードメールを作成できます。
	ブログ投稿	撮影した動画を保存し、「ブログ・メールメンバー」で設定済みの投稿先を宛先にしたiモードメールを作成します。 P.144手順3へ進みます。
待受画面設定		撮影した動画を保存し、待受画面に設定します。
保存先設定		P.243参照
表示サイズ設定		P.244参照
ファイル制限		P.243参照
アイコン表示		P.244参照
取消		撮影した動画を保存しません。

つづく

お知らせ

＜待受画面設定＞
- 動画によっては、正しく表示されない場合があります。
- 待受画面に設定した動画の再生についてはP.112参照。
- 2in1のモードに関わらずAモードの待受画面として設定されます。

撮影時の設定を変える

撮影時にカメラの設定をします。

ズームを使う

カメラで写している映像を広角(WIDE)・望遠(TELE)で表示します。各サイズにおける最大倍率は、以下のとおりです。

カメラモード	サイズ	ズーム段階	最大倍率
デジカメ	13M(3120×4160)	21段階	約2.0倍
	9.7Mワイド(2336×4160)	21段階	約2.0倍
	正方形(大)(3120×3120)	21段階	約2.0倍
	8M(2448×3264)	21段階	約3.0倍
	5M(1944×2592)	21段階	約3.0倍
	3M(1536×2048)	21段階	約6.0倍 (約3.0倍)※
	2Mワイド(1080×1920)	21段階	約6.0倍 (約3.0倍)※
	2M(1200×1600)	21段階	約6.0倍 (約3.0倍)※
	待受(480×854)	21段階	約6.0倍 (約3.0倍)※
	VGA(480×640)	21段階	約6.0倍
	正方形(小)(480×480)	21段階	約6.0倍

カメラモード	サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォト	3M(1536×2048)	21段階	約3.0倍
	2Mワイド(1080×1920)	21段階	約3.0倍
	2M(1200×1600)	21段階	約3.0倍
	待受(480×854)	21段階	約3.0倍
	VGA(480×640)	21段階	約3.0倍
	QVGA(240×320)	21段階	約6.0倍
	QCIF(144×176)	21段階	約10.8倍
	Sub-QCIF(96×128)	21段階	約16.2倍
連写	VGA(480×640)	21段階	約3.2倍
	QVGA(240×320)	21段階	約6.5倍
	QCIF(144×176)	21段階	約10.8倍
	Sub-QCIF(96×128)	21段階	約16.2倍
ムービー	VGA(640×480)	21段階	約1.5倍
	HVGAワイド(640×352)	21段階	約1.5倍
	QVGA(320×240)	21段階	約2.1倍
	QCIF(176×144)	21段階	約3.6倍
	Sub-QCIF(128×96)	21段階	約4.7倍

※ 連写設定時の最大倍率

1 撮影画面▶でズーム倍率を調節

お知らせ

- 広角・望遠にすると画質は多少変化することがあります。
- 以下の場合、望遠は解除されます。
  - ・を押してカメラを終了したとき
  - ・サイズを変更したとき
  - ・カメラモードを切り替えたとき

フォーカス機能を使う

撮影時にフォーカスを合わせます。

●フォーカス機能は約10cm以上の距離でフォーカスが合います。

1 撮影画面▶[○]、[＊]または[撮](半押し)

フォーカスが合うとロック音が鳴ってフォーカス枠が緑色になり、フォーカスがロックされます。

フォーカスが合わなかった場合はフォーカス枠が赤色になります。

- [○]や[＊]を押してロックしたフォーカスを解除する場合は[CLR]を押します。
- [撮](半押し)でフォーカスがロックされているときに、そのまま[撮]を深く押すと撮影されます。[撮](半押し)を離すとフォーカスのロックが解除されます。

お知らせ

- フォーカス動作中はカメラ部から動作音が発生します。
  以下の場合はフォーカスを自動的に合わせるため、フォーカス動作音が断続的に発生します。
  ･「フォーカス設定」を「追尾AF」に設定している場合
  ･「撮影モード選択」を「インテリジェントオート」に設定している場合
  ･動画撮影中

「フォーカス設定」を「顔認識」に設定しているときは

はじめに人物の顔を検出します。顔を検出すると黄色のフォーカス枠が表示されます。最大5人までの顔を検出し、顔の大きさや位置に合わせて自動的にその中の1人にフォーカスを合わせて撮影します。複数の人物の顔がある場合は、フォーカスを合わせる顔のフォーカス枠が黄色になります。検出に失敗した場合は、「オート」でフォーカスを合わせます。

お知らせ

- 以下の場合は顔を検出できないことがあります。
  ･顔が横や斜めを向いている場合
  ･顔が傾いている場合
  ･眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている場合
  ･顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い場合
  ･顔が画面の端にある場合
  ･被写体やFOMA端末の動きが速い場合
- 顔を検出できる距離は約1.7m以内です。

「フォーカス設定」を「追尾AF」に設定しているときは

フォーカス枠が撮影画面の中央に表示されます。被写体にフォーカス枠を合わせて[○]を押します。被写体を認識するとフォーカス枠が黄色になり、被写体の動きを追いかけてフォーカスを合わせ続ける追尾状態になります。

追尾状態で[●]([撮影])、[O]を押すと、被写体の位置にフォーカスをロックして撮影します。また、[撮](半押し)でフォーカスをロックしてから、[撮]を押して撮影することもできます。

●追尾状態で[○]を押すと追尾状態が解除されます。

お知らせ

- 被写体が撮影画面の外に出たときなど、被写体を追尾できなくなった場合は、追尾状態が解除されます。
- 以下の場合は被写体を追尾できなかったり、他の被写体を追尾することがあります。
  ･被写体が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い場合
  ･ズームを使っている場合
  ･類似した色の被写体や背景がある場合
  ･被写体やFOMA端末の動きが速い場合
  ･手ブレが大きい場合

画像サイズや画質などを設定する

撮影画面のサブメニュー

●デジカメモードの場合、表示される機能名や順番、階層が異なります。

カメラモード切替	▶**モードを選択** ●「連写モード」に設定した場合は、「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動していたモードで起動します。
フォルダジャンプ ［フォト･連写モード］	ピクチャアルバムでカメラの保存先のフォルダ内の静止画を表示します。
撮影モード選択	P.246参照
画像サイズ設定	▶**画像サイズを選択**
動画容量設定 ［ムービーモードのみ］	▶**項目を選択** **メール制限(小)** . . . .500Kバイトまで撮影できます。 **メール制限(大)** . . . .2Mバイトまで撮影できます。 **長時間**. . . . . .長時間撮影できます。microSDカードに保存します。
画質設定	保存する際の画質を設定します。 ▶**画質を選択** **ノーマル** . . . . 標準の画質で撮影します。 **ファイン** . . . . やや高画質で撮影します。 **スーパーファイン** . . . 高画質で撮影します。
撮影設定	
明るさ調節 カメラ起動時 ±0	−3(暗い)〜+3(明るい)で調節します。 ▶**明るさを選択**
ホワイトバランス設定 カメラ起動時 オート	カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 ▶**項目を選択** **オート** . . . .ホワイトバランスを自動調整するとき **晴天** . . . . . .屋外晴天下で撮影するとき **曇天** . . . . . .曇天や日陰で撮影するとき **電球** . . . . . .電球照明下で撮影するとき **蛍光灯** . . . .蛍光灯照明下で撮影するとき
色調切替 カメラ起動時 通常	▶**色調を選択** **通常** . . . . .標準の色調で撮影します。 **セピア** . . . . .セピア調で撮影します。 **白黒** . . . . .白黒調で撮影します。 **ヴィヴィッド** . . .輪郭をくっきりさせて彩度を上げて撮影します。 **ナチュラル** . . . . .輪郭をなめらかにさせて彩度を下げて撮影します。 **美白** . . . . .顔を明るめに撮影します。 **日焼け** . . . . .顔の色合いを濃くして撮影します。
フォーカス設定 カメラ起動時 デジカメ･フォト･ムービーモード:顔認識 連写モード:オート	フォーカスを設定します。 ▶**項目を選択** **顔認識** . . . .人物の顔にフォーカスを合わせます。(P.241参照) **オート** . . . .撮影前に自動的にフォーカスを合わせます。 **接写** . . . . . .近くの物にフォーカスを合わせます。 **風景** . . . . . .遠い風景にフォーカスを合わせます。 **追尾AF**. . . .被写体を自動で追尾しフォーカスを合わせます。(P.241参照)
手ブレ補正 ［フォト･ムービーモード］	撮影するときの手ブレを補正します。「オート」に設定すると、撮影モードや撮影状況に応じて自動で手ブレを補正します。デジカメモードの場合は、常に「オート」になるため設定できません。 ▶**オート･OFF**

項目	説明
フレーム撮影 カメラ起動時 OFF ［フォトモードのみ］	フレームを合成して撮影します。 ▶**ON・OFF**▶**フレームを選択**
シャッター音選択 ［フォト・連写・ムービーモード］	シャッター音を設定します。フォトモード時（連写モード時）とムービーモード時それぞれ個別のシャッター音が設定できます。 ▶**シャッター音を選択** ●選択中は、確認のためシャッター音が鳴ります。
ちらつき補正設定 ［フォト・連写・ムービーモード］	撮影時の撮影画面のちらつきを抑制します。 ▶**自動・モード1（50Hz地域）・モード2（60Hz地域）**
保存設定	
保存先設定	撮影した静止画や動画の保存先を設定します。 ▶**項目を選択** **本体**．．．デジカメモード・ムービーモードの場合、「カメラ」フォルダを保存先に設定します。フォトモード・連写モードの場合、「カメラ」または「自動お預かり」を選択します。 **microSD** ．．．．．．．microSDカード内の「保存先フォルダ選択」で選択したフォルダを保存先に設定します。 **自動お預かり** ．．．．．．．デジカメモードの保存先を「自動お預かり」フォルダに設定します。
自動保存設定 ［フォト・連写・ムービーモード］	撮影後、自動的に保存するかどうかを設定します。「保存先設定」で設定した保存先に保存されます。 ▶**ON・OFF**
ファイル制限 ［フォト・連写・ムービーモード］	撮影中の静止画や動画を保存したときのファイル制限を設定します。一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。 ▶**なし・あり** ●連写モードのポストビュー画面の場合、チェックを入れた画像に対してファイル制限の設定を変更できます。
タッチAF／AE設定 ［デジカメモードのみ］	ビューアスタイルで撮影する際に、フォーカスを合わせたい被写体をタッチするだけで、被写体の動きを追いかけてフォーカスを合わせ続ける追尾状態にできる機能を有効にするかどうかを設定します。 ▶**有効・無効**
ISO設定 カメラ起動時 400オート または 1600オート ［デジカメモードのみ］	「撮影モード選択」が「通常撮影」のときに、撮影時のカメラの感度を設定します。 ▶**感度を選択** ●連写撮影時は設定できません。
フォトライト設定	P.246参照
オートシャッター ［デジカメモードのみ］	P.247参照
きせかえ設定 ［デジカメモードのみ］	デジカメモード中のデザインを変更します。 ▶**パターン1・パターン2**
セルフタイマー設定	P.247参照
オートレビュー ［デジカメモードのみ］	1枚撮影後にポストビュー画面を表示する際の時間を設定します。 ▶**項目を選択** **OFF**．．．．．．．ポストビュー画面を表示しません。 **1秒**．．．．．．．ポストビュー画面を約1秒間表示します。 **2秒**．．．．．．．ポストビュー画面を約2秒間表示します。 **ホールド**．．．．ポストビュー画面を表示し続けます。●、◎、CLR、O、＊、ⓘを押すと撮影画面に戻ります。

カメラ

つづく

連写設定	
1枚 [デジカメモードのみ]	連続撮影を終了して通常の撮影を行います。
連写 [デジカメモードのみ]	P.235参照
おまかせチョイス [デジカメモードのみ]	P.235参照
連写モード設定 [連写モードのみ]	▶**モードを選択** **オート** . . .「撮影間隔」、「撮影枚数」で設定した間隔、枚数を自動で撮影します。 **マニュアル** . . .「撮影枚数」で設定した枚数を1枚ずつ手動で撮影します。 **オートブラケット** . . . 約0.3秒間隔で9枚の静止画を1枚ずつ明るさや色調を変えて自動で撮影します。 ●「マニュアル」に設定すると連続撮影枚数が表示されます。
撮影間隔 [連写モードのみ]	▶**撮影間隔を選択** ●連写モードのオート時のみ設定できます。
撮影枚数 [連写モードのみ]	▶**撮影枚数(枚)を入力** ●「画像サイズ設定」が「VGA(480×640)」に設定されている場合、「撮影枚数」は変更できません。 ●連写モードのオート・マニュアル時のみ設定できます。
撮影種別設定 カメラ起動時 通常 [ムービーモードのみ]	動画撮影時に映像と音声の両方、またはどちらか一方のみを記録するように設定します。 ▶**通常・映像のみ・音声のみ**
表示サイズ設定 [フォト・連写・ムービーモード]	撮影画面で静止画・動画を本来のサイズで表示(等倍表示)するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**等倍表示・画面サイズで表示**
共通再生モード [ムービーモードのみ]	iモードメールの添付に適した撮影サイズに設定します。 ▶**YES** ●画像サイズ設定が「QCIF」、動画容量設定が「メール制限(小)」、画質設定(ムービーモード)が「ノーマル」に設定されます。
アイコン表示 [フォト・連写・ムービーモード]	アイコンを表示するかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF**
保存容量確認 [フォト・連写・ムービーモード]	保存容量(目安)／件数を表示します。

お知らせ

<カメラモード切替>

●デジカメモードの場合は、連写モードへ切り替えることはできません。

<動画容量設定>

●「長時間」に設定した場合、「保存先設定」が「microSD」に設定されます。その後、カメラを終了せずに「動画容量設定」を「長時間」以外に切り替えると、「保存先設定」は「本体」に戻ります。

<フォーカス設定>

●「顔認識」はデジカメモード時・フォトモード時・ムービーモード時に設定できます。

●「追尾AF」はデジカメモード時・フォトモード時に設定できます。

●「追尾AF」設定中に「画像サイズ設定」を「QCIF(144×176)」または「Sub-QCIF(96×128)」に設定した場合は、「フォーカス設定」は「顔認識」に設定されます。

●「画像サイズ設定」を「QCIF(144×176)」または「Sub-QCIF(96×128)」に設定している場合は、「追尾AF」には設定できません。

お知らせ

<手ブレ補正>
- 手ブレ補正機能はあくまでも手ブレを軽減するものであり、効果は被写体や条件によって異なります。
- 以下のような場合は、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  ・手ブレが大きい場合　・ズームを使っている場合
  ・動きのある被写体を撮影している場合
- 被写体が動いていて、被写体の動いている箇所に残像が残る場合や、全体にノイズ感が出る場合があります。このような場合は、「OFF」に設定してください。
- ムービーモード時は手ブレ補正の処理に周辺の画素が使用されますので、「オート」「OFF」の設定によって撮影範囲が異なります。

<フレーム撮影>
- 「画像サイズ設定」を「2M（1200×1600）」以上に設定している場合はフレームを合成できません。

<ちらつき補正設定>
- 「自動」に設定した場合、自動調整に時間がかかることがあります。その場合、撮影場所の電源周波数に合わせてモード1・モード2に切り替えてください。

<保存設定>
- 「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「保存先設定」は「microSD」に設定され、「保存設定」は操作できません。
- 「自動保存設定」が「ON」の場合、「保存先フォルダ選択」が設定されていない場合や設定されたフォルダが削除された場合は、最新のフォルダに保存されます。

<ファイル制限>
- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。
- 保存後もP.355「ファイル制限」で設定を変更できます。
- ムービーモード時に「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「ファイル制限」は「なし」になります。

<タッチAF／AE設定>
- 「タッチAF／AE設定」を「有効」に設定していても、「オートシャッター」が「OFF」以外に設定された場合は、被写体をタッチしても追尾状態にはなりません。

お知らせ

<ISO設定>
- 「画像サイズ設定」が「5M（1944×2592）」以上の場合は、「200オート」～「800オート」のみ設定できます。「1600オート」以上に設定すると「画像サイズ設定」が「3M（1536×2048）」に変更されます。

<撮影枚数>
- 画像サイズによって設定できる枚数は異なります。設定できる枚数については以下のとおりです。
  VGA（480×640）　：4枚
  QVGA（240×320）　：5枚～10枚
  QCIF（144×176）　：5枚～20枚
  Sub-QCIF（96×128）：5枚～20枚

<表示サイズ設定>
- 「画像サイズ設定」を「VGA（480×640）」以上に設定している場合は、常に「画面サイズで表示」になります。
- 「画像サイズ設定」を「QCIF（144×176）」、「Sub-QCIF（96×128）」に設定している場合、「等倍表示」では縦横2倍のサイズで表示されます。
- 撮影画面での設定はポストビュー画面にも反映されますが、ポストビュー画面での設定は撮影画面には反映されません。

<共通再生モード>
- 「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合は操作できません。

撮影モード選択

カメラ起動時	デジカメ・フォトモード:インテリジェントオート 連写・ムービーモード:通常撮影

撮影する際に、場面に適した撮影モードを設定します。お好みの撮影時の設定を「Myオリジナル設定」に登録しておいて、設定を呼び出して撮影することもできます。

- 撮影モードを変更すると、「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「色調切替」「フォーカス設定」「ISO設定」の設定が選択したモードに合わせて変更されます。

1 **撮影画面▶MENU(サブメニュー)▶撮影モード選択▶撮影モードを選択**

インテリジェントオート
. . . . 撮影する際に、被写体や撮影状況に合わせて撮影モードを自動で判別し、切り替えます。撮影モードが切り替わると、アイコンがアニメーション表示されてお知らせします。

通常撮影 . . . . 通常のモードで撮影します。

シーン . . . . . . 撮影する場面に合わせて撮影モードを選択します。

Myオリジナル設定
. . . . Myオリジナル設定として登録した設定で撮影します。デジカメモードの場合は、撮影したい設定を選択して「この設定で撮影」を選択します。フォトモード、連写モードの場合は、撮影したい設定を選択します。

- デジカメモードの場合は📷TV(説明)を押すと、各機能の説明が表示されます。
- 「インテリジェントオート」に設定すると、撮影モードに合わせて変更される設定は手動では変更できません。
- 「通常撮影」に設定すると、撮影モードに合わせて変更される設定はカメラ起動時の設定に戻ります。

お知らせ

- 「インテリジェントオート」に設定していても、フォーカスをロックしたあとは撮影モードは切り替わりません。撮影モードを判別し直すには、フォーカスのロックを解除してください。

お知らせ

- ナイトモード時は露光が長くなり画像がぶれやすくなるので、ご注意ください。
- 意図した場面に合わせて撮影する場合は、目的にあった撮影モードで撮影してください。

「Myオリジナル設定」に登録するには

デジカメモードの場合は、設定したい登録先を選択して「現在の設定を保存」を選択します。
フォトモード、連写モードの場合は、登録先を選んで✉(保存)を押して、名前を入力します。

- フォトモード、連写モードの場合は、登録したMyオリジナル設定を選んで、MENU(編集)を押すと名前を編集できます。📷TV(詳細)を押すと、選んでいるMyオリジナル設定の詳細を確認できます。登録したMyオリジナル設定を削除する場合は、削除したいMyオリジナル設定を選んでi α(削除)を押して「YES」を選択してください。
- Myオリジナル設定は、フォトモードと連写モードでそれぞれ3件ずつ登録できます。
- ズーム倍率と「フレーム撮影」、「ちらつき補正設定」はMyオリジナル設定に登録されません。

フォトライト設定

カメラ起動時	OFF

暗い場所などで撮影するときに、フォトライトを補助光として点灯させるかどうかを設定します。

1 **撮影画面▶MENU(サブメニュー)▶フォトライト設定▶ON・OFF**

お知らせ

- 電池残量が少ないときは、「フォトライト設定」は「OFF」に設定されます。
- 近くで撮影したりフォトライト付近を持って撮影すると、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

オートシャッター

カメラ起動時	OFF

デジカメモード時に「フォーカス設定」の「顔認識」により、認識した顔の人数や距離を判別して自動で撮影するように設定します。

1 撮影画面▶MENU(サブメニュー)▶オートシャッター▶以下の操作を行う

- カメラTV(説明)を押すと、各機能の説明が表示されます。

OFF	オートシャッターを使用せず、通常の撮影をします。
ラブシャッター	検出された顔の距離や状態によって自動で撮影されるように設定します。 **▶項目を選択** **お友達**……顔の距離がある程度の距離まで近づいたときに撮影されます。 **恋人**……顔の距離が「お友達」よりもさらに近い距離まで近づいたときに撮影されます。 **恋人+笑顔**…顔の距離が恋人レベルまで近づいた状態で、2人が笑顔になると撮影されます。 ●「お友達」「恋人」のモードによって、自動で撮影されるときの顔の距離が異なります。
グループシャッター	設定した人数の顔を検出すると自動でセルフタイマーが作動し、約3秒後に撮影されます。 **▶人数を選択**
笑顔シャッター	検出した顔が笑顔になったときに撮影します。複数の顔が検出されている場合、黄色のフォーカス枠で表示されている人の顔が笑顔になったときに撮影されます。

お知らせ

- 「オートシャッター」を設定していても、●(撮影)、Oまたは[シャッター]を押すと撮影できます。
- 撮影が終了すると「オートシャッター」は「OFF」になります。
- 「フォーカス設定」が「顔認識」以外に設定されている場合は、「オートシャッター」は使用できません。

お知らせ

- 「オートシャッター」を設定中に「フォーカス設定」「セルフタイマー設定」「撮影モード選択」「きせかえ設定」を変更した場合は、「オートシャッター」は「OFF」になります。

セルフタイマー設定

カメラ起動時	OFF

1 撮影画面▶MENU(サブメニュー)▶セルフタイマー設定▶OFF・10秒・2秒

- フォトモード・連写モード・ムービーモードの場合、「ON」または「OFF」を選択します。「ON」を選択したときは、作動時間(秒)を「01」〜「15」の2桁で入力します。

セルフタイマーで撮影するときは

「セルフタイマー設定」を「OFF」以外に設定すると、撮影画面に「⏲10」「⏲2」「⏲」のいずれかのアイコンが表示されます。

●(撮影)、Oまたは[シャッター]を押すと確認音が鳴り、アイコンが点滅します。

「フォトライト設定」を「OFF」に設定している場合は、撮影の約5秒前までは約1秒ごとにフォトライトが点滅します。撮影の約5秒前からは約0.5秒ごとにフォトライトが点滅し、約1秒ごとに確認音が鳴ります。設定している作動時間の経過後に撮影されます。

- 撮影を中止する場合は、カメラTV(中止)またはCLRを押します。撮影を中止しても「セルフタイマー設定」は「ON」のままです。
- セルフタイマー作動中に●(撮影)、Oまたは[シャッター]を押すとすぐに撮影できます。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず確認音が鳴ります。確認音の音量は変更できません。

お知らせ

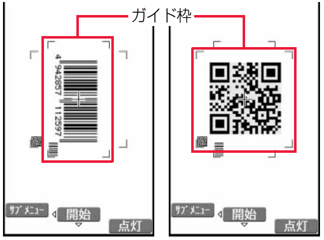
- 連写モードのマニュアル時はセルフタイマーで撮影できません。
- 撮影が終了するとセルフタイマーは「OFF」になります。

＜バーコードリーダー＞
バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってJANコードやQRコードを読み取り、データとして登録できます。また、CODE128は、対応しているｉアプリをダウンロードして、コードを読み取ると、データが登録できます。(P.297参照)
データを使って電話をかけたり、ｉモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

- できるだけコードがガイド枠内に大きく写るようにします。
- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。



コード読取画面

■JANコードとは
幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
読み取れるのは8桁(JAN8)または13桁(JAN13)のJANコードです。

4 942857 112597

- FOMA端末で読み取ると「4942857112597」と表示されます。

■QRコードとは
縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。
読み取ると、漢字・カナ・英数字・絵文字が表示されます。画像やメロディ情報を持つQRコードもあります。

- FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

■CODE128とは
幅の異なる縦の線(バー)で、アスキーコード128文字(数字、アルファベット、記号など)を表現しているバーコードです。

- 対応しているｉアプリをダウンロードして読み取ると「NTT DOCOMO」と表示されます。

コード読み取り

バーコードリーダー起動時	明るさ：±0 ズーム：拡大

読み取ったデータは5件まで登録できます。
最大で16個まで分割されたQRコードを読み取れます。

1 **MENU▶便利ツール▶バーコードリーダー▶コード読み取り**

- バーコードリーダー機能をデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.38参照)

2 **読み取りたいコードをガイド枠に合わせて◎を押す**

フォーカスが合うとロック音が鳴り、十字マークが緑色になります。

- MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「明るさ調節」を選択すると、明るさを−3(暗い)〜＋3(明るい)で調節できます。
- ◎を押すと縮小表示され、◎を押すと拡大表示に戻ります。

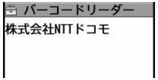
3 ●(開始)を押す

コードが読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)

- 読み取りを中止する場合はCLRまたは●(中止)を押します。
- 読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが光ります。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」に設定中は音が鳴りません。
- メロディのデータは「 」や「 」、対応していないデータや破損しているデータは「 」や「 」で表示されます。
- メール本文入力画面以外の文字入力(編集)中の場合はコード読取結果画面は表示されず、読み取ったコードの文字データ確認画面が表示されます。読み取った文字を入力する場合は●(確定)を押します。破棄する場合はCLRを押します。メール本文入力画面の場合は読み取ったコードの文字が直接入力されます。表示できない文字は半角スペースに置き換えて表示されます。また、文字データのないコードを読み取った場合、正しく表示されません。
- 読み取り中に一定の時間が経過しても読み取れない場合は、読み取りが中断されます。「OK」を選択すると、コード読取画面に戻ります。
- 読み取ったコードが分割されたQRコードの一部の場合、「OK」を選択して手順2～手順3を繰り返して残りのデータを読み取ります。

4 MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶認識結果保存▶OK

読み取ったデータが登録されます。



コード読取結果画面

お知らせ

- JANコード、QRコード、CODE128以外のバーコード･二次元コードは読み取れません。
- 読み取りに時間がかかる場合があります。読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 傷、汚れ、破損、印刷物の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては、正しく読み取りできない場合があります。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。

コード読取結果画面のサブメニュー

認識結果保存	P.249参照
一覧表示	登録データが1件以上ある場合に、バーコードリーダー一覧画面を表示します。
Internet	選択中のURLにｉモードまたはフルブラウザで接続します。 ▶ｉモードで接続･フルブラウザで接続 ●URLを選んで●(選択)を押しても接続できます。
ｉモードメール作成	選択中のメールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。P.144手順3へ進みます。 ●メールアドレスを選んで●(選択)を押してもｉモードメールを作成できます。 ●コード読取結果画面で「メール作成」を選択すると、新規メールの宛先、題名、本文にコード読取結果画面のデータが入力されます。
電話発信	選択中の電話番号に電話をかけます。 ▶発信方法を選択 ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。 ●「SMS作成」を選択すると電話番号を宛先としたSMSを作成します。P.185手順3へ進みます。 ●電話番号を選んで●(選択)を押しても発信できます。 ▶発信 ●国際電話をかける場合は「国際電話発信」を選択します。(P.73参照) ●発信者番号通知を設定する場合は「発信者番号通知」を選択します。(P.70手順2参照)
電話帳登録	P.95参照
Bookmark登録	サイト名とURLをBookmarkに登録します。 ▶YES ●「ページタイトル」を選択するとタイトルを編集できます。 ▶OK▶登録したいフォルダを選択

つづく

画像保存	読み取った画像データを保存して、待受画面などに設定します。 ▶**保存したいフォルダを選択** P.208手順3へ進みます。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。
メロディ保存	読み取ったメロディデータを保存して、着信音などに設定します。 ▶**YES**▶**保存したいフォルダを選択** P.209手順3へ進みます。 ●「 」を選択するとメロディが再生されます。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。
トルカ保存	読み取ったトルカデータを保存します。 ▶**保存したいフォルダを選択** ●「 」を選択するとトルカが表示されます。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。
ｉアプリ起動	読み取ったデータからｉアプリを起動します。 ▶**YES**
コピー	▶**コピーする始点を選択**▶**コピーする終点を選択** ●全角5000文字/半角10000文字までコピーできます。 ●コピーした文字を貼り付けるにはP.460参照。

お知らせ

＜Internet＞
- URLは半角512文字まで表示されます。

＜ｉモードメール作成＞
- 入力できない文字が含まれていた場合、宛先は入力されません。また、本文は文字がスペースになることがあります。

＜Bookmark登録＞
- URLは半角512文字まで表示され、先頭から256文字のみ登録できます。

＜画像保存＞
- 保存された画像のファイル名、タイトル名は「imageXXXX」（XXXXは数字）となります。

お知らせ

＜メロディ保存＞
- 保存されたメロディのファイル名は「melodyXXXX」（XXXXは数字）となります。
- タイトルが付けられていないメロディはファイル名がタイトルになります。
- メロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定した音量で再生されます。

保存データ一覧を表示する

1 MENU▶**便利ツール**▶**バーコードリーダー**▶**保存データ一覧**



バーコードリーダー一覧画面

登録済みのデータのタイトルが登録時の新しいものから順に表示されます。
- タイトルを選択すると、コード読取結果画面が表示されます。

お知らせ

- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
（例）2010年11月18日10時00分に保存した場合
　タイトル名：20101118_1000_0000
　・同じ日時で複数保存した場合は下4桁の数字が「9999」まで順に増えます。

バーコードリーダー一覧画面のサブメニュー

タイトル編集		▶**タイトルを入力** 全角9文字/半角18文字まで入力できます。
結果表示		登録されているデータのコード読取結果画面が表示されます。
削除		
	1件削除	▶**YES**
	全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

ワンセグ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像･音声と共にデータ放送を受信することができます。また、iモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
パソコン：http://www.dpa.or.jp/
iモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

■ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報には、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像･音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。また、「iモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途iモードのご契約が必要です。
- 「データ放送サイト」「iモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（iモード有料サイト）があります。
- ワンセグの視聴中に自動的にトルカを保存する場合があります。保存したトルカから詳細情報を取得する場合は、パケット通信料がかかります。

■電波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
･放送波が送信される電波塔から離れている場所
･山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
･トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

■初めてワンセグを利用する場合の画面表示について

お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
◉（OK）を押したあとに表示される確認画面で「NO」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

- 別のFOMAカードに差し替えたときやFOMAカードを取り外したときも免責事項の確認画面が表示されます。

■放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。

- 放送用保存領域の情報を消去するにはP.269参照。
  別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカード未挿入の場合は、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「NO」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■放送用保存領域の読み出し時の画面表示について
番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。
「YES」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、「YES（以後確認しない）」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

ワンセグをご利用になる前に

ワンセグの視聴手順

<例>はじめてワンセグを視聴するとき

ステップ **1** チャンネル設定

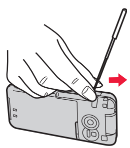
ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを登録します。（P.254参照）

ステップ **2** ワンセグの起動

ワンセグアンテナを伸ばし、ワンセグを起動します。（P.256参照）

■ワンセグアンテナについて
ワンセグを視聴するときは、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。
- ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。
- ワンセグアンテナを収納するときは、無理に収納しないでください。破損の原因となります。止まるところまでまっすぐ押し込み、ワンセグアンテナの向きを合わせてから倒して収納してください。
- ワンセグを視聴しないときは、ワンセグアンテナを収納してください。また、通話するときは、ワンセグアンテナを収納してから通話してください。


ワンセグアンテナの先端に指先をかけて引き出し、止まるまで伸ばす


無理に力を加えずに方向を変える

■電池残量について
電池残量が少ないときにワンセグを利用しようとしたり、視聴予約でワンセグが自動的に起動しようとすると、電池残量警告音が鳴り、起動するかどうかの確認画面が表示されます。また、視聴中や録画中に電池残量が少なくなると、電池残量警告音が鳴り、終了するかどうかの確認画面が表示されます。電池残量警告音は、「ボタン確認音」の設定に関わらず鳴ります。
- 確認画面で約1分間何も操作しないと、自動的にワンセグが終了します。
- 「電池少量時録画設定」を「録画を継続する」に設定しておくと、録画中は電池残量警告音が鳴らず確認画面は表示されません。（P.269参照）
- 録画中に電池残量が少なくなり録画が終了した場合、それまで録画したビデオは自動的に保存されます。
- マルチタスク中は、電池残量警告音は鳴りますが、確認画面は表示されません。視聴画面に切り替えて操作してください。

■視聴中や録画中に着信などがあったときは
視聴中や録画中に以下の動作が発生した場合は、映像と音声は中断し、各機能が動作します。録画は中断されません。
各機能終了後は視聴を再開できます。iモードメール、SMS、メッセージR/F受信については「メールテロップ表示設定」参照。
- 音声電話、テレビ電話の着信
（着信時に録画を開始するには「視聴中着信録画設定」参照。）
- アラーム、スケジュール、ToDoリスト、視聴予約の通知
（「アラーム通知設定」が「通知優先」のとき）
- 録画予約の通知
（開始日時になったときは「録画動作設定」の設定に従って動作します。）

お知らせ
- 「USBモード」を「microSDモード」または「MTPモード」に設定してパソコンと接続しているときは、ワンセグを利用できない場合があります。
- 通話終了後など、自動的にワンセグ視聴を開始する場合があります。その際、ワンセグ用の音量でワンセグの音声が鳴りますので耳元でご使用の際はご注意ください。
- 充電しながらワンセグの視聴を長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 海外では、ワンセグは利用できません。

つづく

■お願い
FOMA端末の故障･修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失･変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、端末内に保存した情報（静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など）は移し替えできません。

<チャンネル設定>
チャンネルを設定する

ワンセグを視聴するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを選択しておく必要があります。チャンネルリストは10件まで登録できます。

- 受信できる放送局は地域によって異なります。旅行先や出張先などの地域別にチャンネルリストを登録しておくと、チャンネルリストを選択するだけでその地域の放送局を視聴できます。
- 各放送局には、選局のときに利用するリモコン番号があらかじめ設定されています。
- ワンセグの録画中はチャンネル設定できません。

自動チャンネル設定

現在その地域で受信できる放送局を自動で検索し、チャンネルリストに登録します。

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で、ワンセグアンテナを伸ばして設定してください。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶チャンネル設定▶自動チャンネル設定▶YES

検索を開始します。
- チャンネルリスト一覧画面ではMENU(サブメニュー)を押して「チャンネル設定」→「自動チャンネル設定」を選択します。
  視聴画面ではMENU(サブメニュー)を押して「チャンネル表示／操作」→「チャンネル設定」→「自動チャンネル設定」を選択します。

2 YES▶タイトルを入力

- 全角11文字/半角22文字まで入力できます。
- タイトルを入力せずに●(確定)を押した場合、タイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
- 検索を途中で中止する場合は📷TV(中止)またはCLRを押して「YES」を選択します。検索された放送局は、チャンネルリストに登録できます。

お知らせ
- リモコン番号が同じ放送局が複数見つかったときは、リモコン番号が重複した旨のメッセージが表示されます。「OK」を選択し、地域の選択画面でお使いの地域を選択してください。選択した地域の放送局がリモコン番号1～12に優先的に割り当てられ、選択しなかった地域の放送局はリモコン番号13以降に割り当てられます。
- チャンネルの検索には約30～50秒かかります。ただし、放送局の数や放送電波の状態によってかかる時間は異なり、100秒を超える場合もあります。

地域選択

都道府県ごとに設定されている放送局をチャンネルリストに登録します。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶チャンネル設定▶地域選択▶地域を選択▶都道府県を選択▶YES

- チャンネルリスト一覧画面ではMENU(サブメニュー)を押して「チャンネル設定」→「地域選択」を選択します。
  視聴画面ではMENU(サブメニュー)を押して「チャンネル表示／操作」→「チャンネル設定」→「地域選択」を選択します。

お知らせ
- 放送局の周波数が変更された場合や、地域によっては「地域選択」では放送局を正しく登録できないことがあります。その場合は、「自動チャンネル設定」で放送局を検索してください。

チャンネルリスト選択

チャンネルリストを選択して、受信する放送局を設定します。また、登録済みのチャンネルリストを編集できます。

1 MENU▶**カメラ／TV／MUSIC**▶**ワンセグ**▶**チャンネルリスト選択**▶**チャンネルリストを選択**

受信するチャンネルリストが設定され、詳細画面が表示されます。



チャンネルリスト一覧画面



チャンネルリスト詳細画面

- 放送局を選択するとワンセグを視聴できます。
- 視聴画面のサブメニューから「チャンネル表示／操作」を選択し、「チャンネルリスト選択」を選択した場合、チャンネルリストを選択すると視聴画面に戻ります。
- チャンネルリスト一覧画面で📷TV(詳細)を押し、放送局を選択してもワンセグを視聴できます。

チャンネルリスト一覧画面のサブメニュー

チャンネル設定	P.254参照
タイトル編集	▶**タイトルを入力** ●全角11文字/半角22文字まで入力できます。
削除	▶YES ●現在設定しているチャンネルリストは削除できません。

チャンネルリスト詳細画面のサブメニュー

リモコン番号設定	リモコン番号に設定されている放送局を変更します。 ▶**変更したい放送局を選択**▶**設定先のリモコン番号を選択** ●設定先のリモコン番号に放送局が登録されていた場合は放送局が入れ替わります。操作を繰り返してリモコン番号に放送局を設定します。 ▶📷TV(完了)▶YES
削除	▶YES ●チャンネルリスト内の放送局をすべて削除した場合は、チャンネルリストも削除されます。 ●現在設定しているチャンネルリスト内の放送局は削除できません。

<ワンセグ視聴>

ワンセグを見る

視聴中にスタイルを変更するだけで、縦画面と横画面が自動で切り替わります。ノーマルスタイルでは を押して手動で切り替えることもできます。

- 初めてワンセグを利用する場合は免責事項の確認画面が表示されます。（P.252参照）
- 番組表ｉアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報（リンク）を使ってワンセグを起動することもできます。（P.212「Media To 機能」参照）
- ステレオイヤホンマイク（別売）を接続してステレオサウンドでワンセグの音声を再生できます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音声を再生できます。（P.448参照）

1 TVを1秒以上押す

前回視聴していたチャンネルでワンセグが起動します。

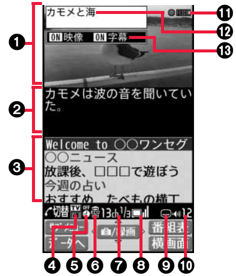
視聴中は「 」が表示されます。

- 「スタイル連動設定」を「ワンセグ」に設定しているときは、待受画面でビューアスタイルに切り替えてもワンセグを起動できます。
- 視聴を終了するときは を押して「ワンセグ終了」を選択します。「BGMへ遷移」を選択するとバックグラウンド再生になります。バックグラウンド再生中にビューアスタイルに切り替えてもバックグラウンド再生は継続します。



視聴画面

■視聴画面について



❶映像
横画面で視聴中に番組と連動したデータ放送がある場合、右上に「 」が表示されます。

❷字幕
横画面での表示位置は「横画面字幕表示設定」で設定できます。

❸データ放送

❹操作モード
映像モード：
映像や音声の画面を操作します。（P.256参照）
データ放送モード：
データ放送の画面を操作します。（P.260参照）

❺オフタイマー
オフタイマー設定中は「 」が表示されます。

❻ワンセグecoモード
ワンセグecoモード中は「 」が表示されます。

❼チャンネル（リモコン番号）
- 同じ放送局で複数のサービス（番組）が放送されている場合、「視聴サービス番号／全サービス数」も表示されます。
- チャンネルサーチなどで選局したときは、チャンネル（リモコン番号）が表示されない場合があります。

❽放送電波の受信レベル（目安）
強 ⟷ 弱
放送圏外の場合は「 」が表示されます。

❾字幕受信
字幕情報を受信しているときは「 」が表示されます。

❿音量

⓫ビデオ録画
ビデオ録画中は「 REC 」が、録画予約による録画中は「 REC 」が表示されます。録画一時停止中は「 PAUSE 」が表示されます。

⓬番組情報（概要）
縦画面表示では番組名、横画面表示ではチャンネル・開始時間・終了時間・番組名が表示されます。

ワンセグ

⑬縦画面表示では映像／字幕設定値
　映像：映像表示のON／OFF／拡大
　字幕：字幕のON／OFF
横画面表示ではアイコン／字幕設定値
　アイコン：アイコン表示のON／OFF
　字幕：字幕の表示位置（[icon]：下部に表示、[icon]：上部に表示）、OFF
●⑫、⑬はボタン操作を行ったときやスタイルを切り替えたときに表示されます。

■チャンネルの切り替え操作（映像モードのみ）

操作	ボタン操作
チャンネル切替	[icon]
チャンネルサーチ	[icon]（1秒以上） ●押すごとに受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替え ●中止するには[icon]（中止）または[CLR]
ダイレクト選局	1～9ch：[1]～[9]　10ch：[＊]　11ch：[0]　12ch：[#]

■視聴時の操作

操作	ボタン操作
音量調節	[icon]※1
消音／消音解除	[CLR]※1
番組表ｉアプリ起動	[icon]（番組表）※2
番組情報表示	[icon]（1秒以上）
静止画録画	[icon]（[icon]/録画）※1または[icon]
ビデオ録画	[icon]（[icon]/録画）（1秒以上）※1または[icon]（1秒以上） ●終了するには[icon]（停止）※1または[icon]
映像／データ放送切替	[icon]※3 ●押すごとに映像モードとデータ放送モードを切り替え
表示方向切替／全画面切替	[icon]※4 ●映像モードでは押すごとに表示方向を切り替え ●データ放送モードでは押すごとに半画面表示／全画面表示を切り替え
番組情報（概要）表示	[icon]
映像／字幕表示切替	番組情報（概要）表示中に[icon] ●横画面表示では、押すごとにアイコン表示のON／OFFと「横画面字幕表示設定」の設定を切り替え

※1　データ放送モードでは操作できません。
※2　横画面表示中は操作できません。
※3　横画面表示中は番組情報（概要）表示の操作になります。
※4　FOMA端末を閉じると縦画面表示に戻ります。また、ビューアスタイルでは自動的に横画面表示になり、縦画面表示にはできません。

お知らせ

●チャンネルリストを登録していない場合は、ワンセグを起動したときに確認画面が表示されます。「OK」を選択し、チャンネル設定を行います。（P.254参照）
●ノーマルスタイルでワンセグを起動したときにチャンネルを検出できなかった場合は、エリア変更するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとチャンネルリスト一覧画面が表示されます。
●視聴中にマルチタスクで画面を切り替えた場合でも、ワンセグの音声は流れます。（バックグラウンド再生）ただし、機能や番組によっては音声が流れない場合もあります。（P.525参照）
●放送電波の状態などにより、以下のようになることがあります。
・音声がとぎれる　・データ放送が操作できない
・映像にブロック状のノイズが入る、または停止する
・映像やデータ放送が表示されない（黒い画面が表示される）
●番組によっては字幕が表示されない場合があります。
●横画面ではデータ放送を表示できません。

つづく

お知らせ

- 場所を移動すると、山やビルの影響で受信できる放送電波や放送局が異なる場合があります。移動して映りが悪くなった場合、自動チャンネル設定を行うと違った放送電波により映りがよくなったり、異なった放送局にて視聴できる場合があります。
- 場所を移動したときなどにチャンネルサーチで選局を行うと、自動チャンネル設定で登録できなかった放送局が見つかる場合があります。見つかった放送局を「チャンネル追加登録」で登録すると、次回から視聴できます。
- ワンセグ起動時やチャンネルを切り替えたときは、視聴できるまでに少し時間がかかります。

視聴画面のサブメニュー

項目	説明
番組情報表示	視聴している番組の情報を表示します。
番組表表示	P.259参照
チャンネル表示／操作	
チャンネル情報	選択しているチャンネルリストの詳細画面を表示します。放送局を選択すると選択した放送局に切り替わります。
チャンネルリスト選択	P.255手順1へ進みます。
チャンネル設定	P.254参照
チャンネル追加登録	現在視聴中の放送局をチャンネルリストに追加登録します。 ▶YES ●リモコン番号13以降で空いているリモコン番号の中で、最も小さいリモコン番号に登録されます。
サービス選局	同じ放送局で複数のサービス（番組）が放送されているときに、どのサービスを視聴するかを選択します。 ▶**チャンネルを選択**
データ放送操作	
データ放送へ戻る	データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送に戻ります。
コンテンツ再読み込み	表示中のデータ放送サイトを再読み込みします。 ●サイトによっては、入力したデータを再度送信するかどうかの確認画面が表示されます。
証明書表示	P.198参照
画像表示設定	P.213参照
サウンド設定	P.269参照
ワンセグからトルカ取得	P.331「放送トルカ取得設定」参照
確認表示設定リセット	P.269参照
テレビリンクリスト	テレビリンク一覧画面を表示します。（P.261参照）
メール作成	
新規メール作成	新しくｉモードメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。
お勧めメール作成	視聴中のチャンネル情報が本文に入力されたｉモードメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。 ●「Media To 機能」に対応したFOMA端末へｉモードメールを送信した場合、受信側では「Media To 機能」を利用してワンセグを起動できます。
各種設定	
表示／操作設定	
映像／字幕表示	P.267参照
映像／データ放送切替 ワンセグ起動時 映像モード	縦画面で視聴中に、映像モードとデータ放送モードを切り替えます。
アイコン常時表示設定	P.268参照
横画面字幕表示	P.267参照
映像設定	

項目	説明
明るさ設定	ディスプレイの明るさを自動調整するかどうかを設定します。また、明るさをレベル1（暗い）～レベル6（明るい）で調節します。 ▶**自動調整ON・自動調整OFF**▶**明るさを選択** ●「自動調整ON」に設定すると、光センサーで感知した周囲の明るさに合わせて自動調整されます。 ●ここでの設定は視聴を終了するまで有効です。ワンセグ起動時の設定はP.114「照明設定」の「明るさ」の設定に従います。
モバイルWスピード	P.268参照
画質モード設定	P.268参照
液晶AI	P.115参照
音声設定	
サウンド効果	
自動音量設定	P.268参照
リ.マスター設定	P.268参照
リスニング設定	P.268参照
イコライザー設定	P.268参照
主／副音声設定 ワンセグ起動時 主音声	▶**主音声・副音声・主／副同時**
音声切替	▶**音声1・音声2** ●切り替えできる音声があるときのみ操作できます。
クローズ音声継続	P.269参照
ワンセグecoモード	P.269参照
オフタイマー ワンセグ起動時 OFF	設定した時間が経過すると、視聴や録画（予約録画を除く）を終了するかどうかの確認画面を表示します。 ▶**時間を選択**
ボタン操作ガイド	ワンセグ視聴中のボタン操作のガイドを表示します。

お知らせ

<オフタイマー>
- 以下の場合、各動作の終了後にオフタイマーの確認画面が表示されます。
  - ･静止画保存中
  - ･未保存の静止画があるとき
  - ･自動チャンネル設定でチャンネルを検索中

<番組表ｉアプリ>
番組表ｉアプリを利用する

番組表ｉアプリを利用して、番組表から番組を選択してワンセグを起動したり、視聴予約・録画予約を行ったりできます。
- 「Gガイド番組表リモコン」についてはP.304参照。

1 MENU▶**カメラ／TV／MUSIC**▶**ワンセグ**▶**番組表**
- Gガイド番組表リモコンの画面でiα（ワンセグ）を押すと、選択しているチャンネルで現在放送している番組を視聴できます。
- 詳しくは「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

お知らせ
- 番組表ｉアプリは「ソフト設定」の「番組表ボタン設定」で設定できます。

＜データ放送＞

データ放送を利用する

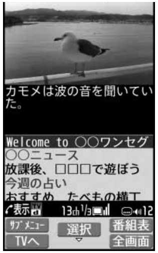
ワンセグでは、映像･音声に加えてデータ放送を利用できます。番組と連動したサイトなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

●データ放送、データ放送サイトについてはP.252参照。

1 視聴画面(映像モード)▶[✉](データへ)

データ放送モードに切り替わり、「TV d」が表示されます。

- データ放送モード中もワンセグの音声は流れます。
- データ放送モードで[iα](全画面)を押すと、データ放送のみを表示できます。[iα](半画面)を押すと元の表示に戻ります。



2 項目(リンク先)を選択

- データ放送、データ放送サイトによっては、iモード接続するかどうかの確認画面が表示されます。
- データ放送、データ放送サイト表示中に[◎]を押すと、画面のスクロール、反転表示の移動ができます。
- データ放送サイト表示中に[◎]を押すと、前後のページに戻る／進むことができます。

お知らせ

- [✉]を押すたびに映像モードとデータ放送モードが切り替わります。
- 横画面ではデータ放送を表示できません。
- データ放送、データ放送サイトでの文字入力時は、絵文字は入力できません。
- 番組によってはiモードサイトの表示中にワンセグの音声が再生されることがあります。ただし、ワンセグの映像は表示されません。
- 番組によってはデータ放送、データ放送サイト表示時に音が鳴ることがあります。その場合、ワンセグの映像の音声が一時的に停止し、データ放送の音が優先して再生されます。

お知らせ

- データ放送、データ放送サイトを表示中に、サイトで入力した内容を送信したり、携帯電話情報の取得を許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- データ放送の確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択している場合は、自動的にデータ放送の情報が更新され、ワンセグ視聴中やビデオ再生中にパケット通信料がかかることがあります。(P.269参照)
- 視聴中に放送電波が不安定な場所で移動すると、映像およびデータ放送･データ放送サイトが自動的に更新される場合があります。その場合、データ放送のトップページが表示され、データ放送･データ放送サイトへ接続して入力した情報はクリアされます。データ放送･データ放送サイトを利用するときは、放送電波が安定した場所で視聴してください。

反転した情報を使っていろいろな操作をする

データ放送サイトで反転表示された情報を利用して簡単な操作で電話発信、メール送信などの機能が利用できます。
項目(リンク先)を選択することで、Phone To／AV Phone To、Mail To 機能などを利用できます。(P.211参照)

お知らせ

- データ放送、データ放送サイトによっては、自動的にiモードメール作成や電話帳登録などの機能を利用する場合があります。それぞれの機能を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

<テレビリンク>

テレビリンクを利用する

データ放送には、番組の詳細や関連情報サイトに導くテレビリンクが用意されている場合があります。
テレビリンクを利用するとサイトのアドレス情報などがテレビリンクリストに登録でき、あとで簡単に呼び出して閲覧できます。

テレビリンクに登録する

テレビリンク登録可能な項目（リンク先）を選択すると、テレビリンクに登録するかどうかの確認画面が表示されます。
テレビリンクは50件まで登録できます。

1 データ放送モードで、テレビリンク登録可能な項目（リンク先）を選択▶YES

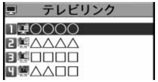
- 同じURLやメモ情報を登録しようとした場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
- すでにテレビリンクが最大保存件数まで登録されている場合は、削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- リンク先によっては有効期限が設定されているものもあります。
- 1件あたりのURLが半角60文字を超える場合は登録できません。

登録したテレビリンクを表示する

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶テレビリンク▶表示したいテレビリンクを選択



テレビリンク一覧画面

- ｉモード接続するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
- 有効期限が切れたテレビリンクの場合は、削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■テレビリンク一覧画面のアイコンについて

アイコン	種別	説明
	メモ情報	メモ情報を表示
	リンク通信コンテンツ	データ放送サイトに接続 （映像・字幕は表示されません。）
	ｉモードコンテンツ	ｉモードサイトに接続
	フルブラウザコンテンツ	フルブラウザで接続

テレビリンク一覧画面のサブメニュー

項目		操作・説明
詳細表示		テレビリンクのタイトル、URL、概要、コンテンツ種別、有効期限を表示します。
登録件数確認		登録されているテレビリンクの件数を表示します。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいテレビリンクにチェック▶ TV（完了）▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

視聴中にワンセグを録画する

視聴中の番組をビデオまたは静止画として保存します。

- ワンセグには、コピー制御信号（「録画不可（コピーネバー）」、「1回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」を制御する信号）が加えられています。コピー制御信号は、個々の放送局が設定します。
- コピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」の番組は録画できません。また、録画中にコピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」に変化した場合、録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

ビデオ録画

録画したビデオはmicroSDカード(「データBOX」→「ワンセグ」→「ビデオ」)に保存されます。

●録画したビデオを再生するにはP.374参照。
●FOMA端末には保存できません。

1 視聴画面▶[](1秒以上)

確認音が鳴り、「●REC」が表示され、録画が開始されます。
●映像モードでは◉(録画)を1秒以上押しても録画が開始されます。
●放送電波の受信レベルが「」のときは録画できません。また、「」のときでも放送電波の状況によっては録画できないことがあります。
●録画中はチャンネルを変えられません。

2 []を押す

確認音が鳴り、ビデオが保存されます。
●映像モードでは◉(停止)を押してもビデオが保存されます。
●ファイルサイズが2Gバイトを超えたときや、保存領域がいっぱいになったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

■録画時間と保存件数の目安

カードの容量	最大録画時間(合計)	最大保存件数
2Gバイト	約640分	99件
4Gバイト	約1280分	
8Gバイト	約2560分	
16Gバイト	約5120分	

●最大録画時間は、映像:224kbps、音声:48kbps、データ(字幕含む):52kbpsの場合の目安であり、放送局、番組によって録画時間は異なります。
●SD-VIDEO規格では、連続録画最大ファイルサイズは2Gバイトまでです。
●データ量により保存件数は少なくなります。

お知らせ

●放送電波の状況によっては、保存したデータの再生時間が録画した時間より短くなる場合があります。
●録画中にマルチタスクで画面を切り替えた場合や着信があった場合でも、録画は中断されません。

お知らせ

●録画中に放送電波の状況が「」になったときは、録画は一時停止状態になり、「」「IIPAUSE」が表示されます。その間の映像・音声は保存されません。
●録画中はカメラを起動できない場合があります。
●録画中に電池パックやmicroSDカードを外した場合は、それまでに録画したデータが再生できないファイルとしてmicroSDカード内に保存されます。
●放送局、番組によっては、録画開始操作から数秒程度の誤差が生じて、映像・音声が保存される場合があります。
●ビデオの保存領域がいっぱいの場合は録画できません。また、保存領域の残りが少ない場合、録画できない場合があります。不要なビデオを削除してから再度操作してください。
●番組によっては保存領域をすべて使用できない場合があります。
●保存されたビデオのファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
ファイル名:PRGXXX
タイトル名:YYYY/MM/DD hh:mm
(X:数字、Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)
●録画したビデオは待受画面や着信音、着信画面などには設定できません。また、メールへの添付や赤外線送信・iC送信もできません。

静止画録画

録画した静止画はFOMA端末(「データBOX」→「ワンセグ」→「イメージ」)に保存されます。容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.553参照)

●録画した静止画を再生するにはP.353参照。
●microSDカードには保存できません。

1 視聴画面▶[]

確認音が鳴り、静止画が保存されます。
●映像モードでは◉(録画)を押しても静止画録画できます。
●放送電波の受信レベルが「」のときは録画できません。

お知らせ

●保存された静止画のファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
ファイル名:YYYYMMDDhhmmXXX
タイトル名:YYYY/MM/DD hh:mm
(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分、X:数字)

お知らせ

- 録画した静止画は待受画面や着信画面などには設定できません。また、メールへの添付やFOMA端末外への出力もできません。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。
- 字幕やデータ放送は静止画録画できません。

<視聴予約><録画予約>

ワンセグの視聴や録画を予約する

ワンセグの視聴予約・録画予約を行います。設定した日時にアラームで番組の開始をお知らせします。

- 番組表 i アプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報（リンク）を使って視聴予約・録画予約を登録することもできます。（P.212「Media To 機能」参照）

視聴予約リスト

日時、チャンネル、番組名などを設定して視聴予約を登録します。「連携起動設定」を利用して、設定した時刻に自動的にワンセグ視聴を開始できます。視聴予約は100件まで登録できます。

1 **MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶視聴予約リスト▶📷TV（新規）▶以下の操作を行う**

- 登録済みの視聴予約を選択すると登録内容を確認でき、📷TV（編集）を押すと編集できます。

項目	操作
チャンネル	▶チャンネルを選択
番組名	▶番組名を入力 ●全角60文字/半角120文字まで入力できます。
開始日時	視聴を開始する日付、時刻を入力します。 ▶項目を選択 **直接入力**……日付、時刻を直接入力します。 **カレンダーから入力**……カレンダーから日付を選択し、時刻を入力します。
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて📷TV（完了）を押します。 ●繰り返す設定にしても、件数は1件としてカウントされます。
アラーム通知	▶通知方法を選択 **通知する**……開始日時に設定した時刻に通知します。通知の設定が終了します。 **事前通知する**……設定した事前通知時刻にのみ通知します。 **通知しない**……通知しません。通知の設定が終了します。（ワンセグを視聴できません。） ▶何秒（分）前に通知するかを選択 ●「自動電源ON」を「ON」に設定した場合、事前通知時間に「15秒前」「30秒前」「45秒前」は設定できません。
アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択 ▶アラーム音を選択
アラーム音量	▶◎で音量を調節 ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
連携起動設定	▶項目を選択 **自動連携する**……予約アラーム通知の画面を表示後、自動的にワンセグが起動します。 **手動連携する**……予約アラーム通知の画面から手動でワンセグを起動します。 **連携しない**……予約アラーム通知のみ行います。予約アラーム通知の画面からはワンセグを起動できません。
自動電源ON	電源を切っているときに予約アラーム通知時刻になった場合、自動的に電源をONにして予約アラーム通知するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF

ワンセグ音量	「連携起動設定」によりワンセグが自動的に起動したときの音量を設定します。 ▶で音量を調節
オフタイマー	「連携起動設定」によりワンセグが自動的に起動したあと、設定した時間が経過するとワンセグ視聴を終了するように設定できます。 ▶時間を選択
アラーム音優先設定	マナーモード中の予約アラーム音量について設定します。 ▶項目を選択 **マナーモード優先する**. . .アラーム音は鳴りません。 **アラーム優先する**. . . . . . .本機能で設定した音量で鳴ります。

2 (完了)を押す

録画予約リスト

日時、チャンネル、番組名などを設定して録画予約を登録します。録画予約は100件まで登録できます。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶録画予約リスト▶(新規)▶以下の操作を行う

- 登録済みの録画予約を選択すると登録内容を確認でき、(編集)を押すと編集できます。

チャンネル	▶チャンネルを選択
番組名	▶番組名を入力 ●全角60文字/半角120文字まで入力できます。
開始日時 終了日時	録画を開始･終了する日付、時刻を入力します。開始日時の約1分前になると、予約アラーム通知します。 ▶項目を選択 **直接入力** . . . . 日付、時刻を直接入力します。 **カレンダーから入力**. . . . カレンダーから日付を選択し、時刻を入力します。
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて(完了)を押します。 ●繰り返す設定にしても、件数は1件としてカウントされます。
アラーム音設定	予約アラーム通知時にアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶ON･OFF
アラーム音量	▶で音量を調節 ●「ステップ」には設定できません。
録画動作設定	同時に起動できない機能を操作中に開始日時になったときの動作を設定します。 ▶録画優先･操作優先 **録画優先**. . . . .操作中の機能を中断、終了して録画を開始します。 **操作優先**. . . . .録画を開始するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、操作中の機能を中断、終了して録画を開始します。 ●同時起動が可能な場合は、マルチタスク機能により録画を開始します。 ●通話中(発着信中を含む)に開始日時になったときは、通話を終了すると録画が開始されます。通話中に他の機能を使用していた場合は、通話と他の機能を終了すると録画が開始されます。
上書き録画設定	録画予約を繰り返す設定にし、「上書き録画する」に設定すると、前回録画したビデオを自動的に削除して上書き録画します。 ▶上書き録画しない･上書き録画する

2 (完了)を押す

- 録画予約を登録するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

お知らせ

- 番組表ｉアプリや、サイトやメールなどの中に表示されている番組などの情報を使って視聴予約･録画予約を登録することもできます。その場合、開始日時、終了日時、チャンネル、番組名があらかじめ入力された状態で登録画面が表示される場合があります。
- 同じ日時に予約アラーム通知を行う視聴予約を複数登録した場合は、開始日時の早い視聴予約の通知が優先されます。開始日時も同じ場合は、あとから登録した視聴予約の通知が優先されます。
- 録画時間が重複する複数の録画予約は登録できません。なお、録画終了時間と録画開始時間が同時刻となる2つの録画予約を登録した場合は、前の番組の録画が約1分間早く終了します。
- 繰り返す設定にした予約を除き、開始日時や予約アラーム通知日時(録画予約の場合は開始日時の約1分前)を過ぎた視聴予約･録画予約は登録できません。
- 予約アラーム通知日時を過ぎた視聴予約･録画予約は自動的に削除されます。ただし、繰り返す設定にした予約や、「アラーム通知」を「通知しない」に設定した視聴予約は削除されません。また、通知日時に視聴予約･録画予約機能を操作していた場合も削除されません。
- チャンネルリストが設定されていない場合、視聴予約･録画予約はできません。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。
- 「録画動作設定」を「操作優先」に設定した場合、確認画面表示中は録画開始時間を過ぎても録画されず、「YES」を選択した時点から録画されます。ただし、録画終了時間を過ぎていたときは録画されません。
- 「上書き録画する」に設定した録画予約の場合、前回録画したビデオを削除してから録画を開始します。前回分のビデオの視聴済み／未視聴や予約録画の成功／失敗に関わらず、前回録画したビデオは削除されます。また、録画開始時刻までに前回分の削除ができなかった場合など、録画開始が遅れる場合があります。
- 「上書き録画する」に設定した録画の場合、録画(視聴)環境や番組によってファイルサイズが変動するため、録画したビデオのファイルサイズが前回録画したビデオのファイルサイズを上回る場合があります。保存先の空き容量が少ない場合、正しく録画できないことがありますのでご注意ください。
- 録画したビデオのタイトルは、録画予約で登録した番組名になります。

お知らせ

- 録画予約による録画中は、視聴画面に「●REC」が表示されます。
- 録画予約による録画中はワンセグの音声は流れません。ただし、CLRを押すか音量調節を行うと音声が流れます。

視聴予約リスト･録画予約リスト表示中のサブメニュー

新規登録		視聴予約はP.263手順1へ進みます。 録画予約はP.264手順1へ進みます。
編集		視聴予約はP.263手順1へ進みます。 録画予約はP.264手順1へ進みます。
ソート		表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択**
削除		
	1件削除	▶YES
	過去削除	視聴予約の場合は開始日時、録画予約の場合は終了日時が現在の日付、時刻より前に設定されている予約を削除します。 ▶YES
	選択削除	▶**削除したい視聴予約･録画予約にチェック** ▶📷TV(完了)▶YES
	全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES
保存容量確認 [録画予約リストのみ]		保存容量(目安)を表示します。

視聴予約･録画予約のアラームを設定したときは

デスクトップにアイコンが表示されます。

「🔔」. . . 当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合に表示されます。

「🔔」. . . 明日以降の設定のみの場合に表示されます。

- 視聴予約の「アラーム通知」を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

視聴予約・録画予約で設定した時刻になったときは

＜視聴予約＞

「アラーム通知」を「通知する」に設定し、「連携起動設定」を「自動連携する」以外に設定している場合、アラーム音が約5分間鳴り、イルミネーションが光ります。また、「バイブレータ設定」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、設定した開始日時、チャンネル、番組名とアニメーションが表示されます。

「アラーム通知」を「通知する」に設定し、「連携起動設定」を「自動連携する」に設定している場合は、設定した時刻になると自動的にワンセグが起動します。アラーム音は鳴りません。

視聴を終了するには を押して「ワンセグ終了」を選択します。

「オフタイマー」を設定している場合、設定した時間が経過すると、視聴を継続するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択するか、約15秒間何も操作しないとワンセグが終了します。

＜録画予約＞

開始日時の約1分前にアラーム音が約2秒間鳴り、イルミネーションが光ります。また、「バイブレータ設定」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、設定した開始日時、終了日時、チャンネル、番組名とアニメーションが表示されたあと、視聴画面が表示されます。録画開始から約1分間何も操作しないと、待受画面が表示されます。 を押し、「ワンセグ視聴」を選択すると視聴画面を表示できます。

録画予約による録画を中止してビデオを保存するには、視聴画面で を押して「YES」を選択します。映像モードでは （停止）を押して「YES」を選択しても録画を中止してビデオを保存できます。

- 通話中は
  受話口からアラームが鳴ります。
- 操作中は
  ＜視聴予約＞
  「アラーム通知設定」の設定に従って動作します。(P.432参照)
  ＜録画予約＞
  「録画動作設定」の設定に従って動作します。(P.264参照)ただし、microSDカードの読み書きを行っているときや、お預かりセンターに接続中は、録画されないことがあります。
- 予約アラーム通知の設定を「アラーム」、「ToDoリスト」、「スケジュール」と同じ時刻にしたときは
  「アラーム」→「録画予約」→「ToDoリスト」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。ただし、「アラーム」と「視聴予約」の両方が同じ時刻に「自動電源ON」で自動的に電源をONにしてアラーム通知を行う場合は、「視聴予約」の予約アラーム通知は行われず、デスクトップにアイコンは表示されません。
- 電源OFFのときは
  「自動電源ON」を設定した視聴予約を除き、予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に電源がONになっていないと録画されません。
  電源をONにしたあともデスクトップにアイコンは表示されません。
- マナーモード中は
  アラーム音量とバイブレータについてはマナーモードの設定に従って動作します。(P.110参照)
- ダイヤルロック中、オリジナルロック中、おまかせロック中は
  予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に各ロックが解除されていないと録画されません。
- 赤外線通信中、iC通信中、ソフトウェア更新中は
  予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に各機能が終了していないと録画されません。

お知らせ

- 「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合の視聴予約や録画予約では、発信中に予約アラーム時刻になったときは、相手を呼び出したあとにお知らせします。着信中に予約アラーム時刻になったときは、通話を開始したあとにお知らせします。
- 「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定し、「自動電源ON」で自動的に電源をONにして視聴予約の予約アラーム通知を行う場合、自動的に電源がONになったあと、PIN1コードの入力画面が表示されます。予約アラーム通知はPIN1コードを入力するまで行われません。
- ｉモーション／着うたフル®によっては視聴予約のアラーム音に設定できない場合があります。
- 視聴予約のアラーム音に設定したｉモーションによっては予約アラーム通知時に音声のみが再生される場合があります。

お知らせ

- 着うたフル®を視聴予約のアラーム音に設定した場合は、アラーム通知時に音声のみが再生されます。また、アラーム音選択時のデモ再生時とアラーム通知時のイルミネーションは異なります。
- オリジナルロック中に録画予約を行っている場合、放送用保存領域の読み出しはできません。また、データ放送、データ放送サイトから自動的にｉモードメール作成や電話帳登録などの機能を利用することはできません。ワンセグがこのような機能を利用しようとした場合、オリジナルロック中のため実行できない旨のメッセージが表示されます。

視聴予約でアラーム音／予約アラームメッセージ・アニメーション／ｉモーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーション／ｉモーションは静止画になり、予約アラームメッセージは表示されたまま残ります。「連携起動設定」が「連携しない」の場合、もう一度いずれかのボタンを押すと消せます。ただし、FOMA端末を閉じているときは、[サイドキー]を押しても予約アラームメッセージの表示は消せません。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。

視聴予約で「連携起動設定」を「手動連携する」に設定しているときは

予約アラーム通知画面で●(起動)を押して「YES」を選択するとワンセグが起動し、視聴予約した番組を視聴できます。録画中の場合はそれまでに録画したビデオが保存されます。

「予約アラーム通知」がされなかったときや録画が完了したときは

デスクトップにアイコンが表示されることがあります。そのアイコンから通知できなかった予約アラームの内容（予約情報）や録画結果を確認できます。
予約情報や録画結果は通知できなかった最新のものを表示します。

- 「連携起動設定」が「連携しない」以外に設定されていた場合は、予約情報の画面で●(起動)を押して「YES」を選択するとワンセグを起動できます。
- 録画したビデオが保存されている場合は、録画結果の画面で●(再生)を押してもビデオを再生できます。

予約録画結果

録画結果を最新のものから最大20件まで表示します。

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶予約録画結果▶録画結果を選択



- 録画結果をすべて削除するには[カメラ/TV](全削除)を押して端末暗証番号を入力し、「YES」を選択します。

<ユーザ設定>

ワンセグの設定を行う

1 MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ワンセグ▶ユーザ設定▶以下の操作を行う

表示設定		
	映像／字幕表示設定	画面の表示内容を切り替えます。 ▶項目を選択 ●「データ放送」は視聴画面やビデオプレーヤーのサブメニューから操作した場合に選択できます。「データ放送」に設定して視聴や再生を終了した場合、次回起動時は「映像＋字幕＋データ放送」として起動します。
	横画面字幕表示設定	横画面表示中に字幕を表示するかどうかを設定します。 ▶上部に表示・下部に表示・OFF ●ビデオ一時停止中・再生終了時のサブメニューから操作した場合は、「上部に表示」「下部に表示」の代わりに「ON」が表示されます。

ワンセグ

つづく↪

設定項目	説明
アイコン常時表示設定	横画面表示中にアイコンを表示するかどうかを設定します。 ▶**すべて表示・状態アイコンのみ表示・表示しない** ●「状態アイコンのみ表示」に設定すると、電池アイコンやアンテナアイコンなどが表示されます。 ●「表示しない」に設定していても、通信中やメール、メッセージR/Fを受信した場合は、「⇕」「✉」「R」「F」などのアイコンが表示されます。
メールテロップ表示設定	視聴中にｉモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信したとき、受信を視聴画面のテロップ表示で知らせるかどうかを設定します。 ▶**項目を選択** **差出人+題名** . . . . 差出人と題名をテロップ表示します。 **受信通知のみ** . . . 受信のお知らせのみテロップ表示します。 **OFF** . . . . 視聴画面でテロップ表示を行いません。 ●メール着信音は鳴りません。 ●テロップ表示中に(✉)(✉MAIL)を押すと受信メール詳細画面が表示されます。
映像設定	
モバイルWスピード	映像の描画を自動的に補って、ワンセグ視聴中の映像をスムーズに表示します。 ▶**ON・OFF**
画質モード設定	画質を変更します。 ▶**項目を選択** **スタンダード** . . .標準的な画質 **スポーツ** . . . . .スポーツ番組などに適した画質 **シネマ** . . . . .映画などに適した画質 **ダイナミック** . . .動きを強調したダイナミックな画質
照明設定	視聴中にディスプレイが点灯する時間を設定します。 ▶**常時点灯・時間設定**▶**点灯時間(分)を入力** ●「01」～「30」の2桁を入力します。
音声設定	
サウンド効果	
自動音量設定	小さな音を大きくして聞き取りやすくするかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF**
リ.マスター設定	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶**ON・OFF**
リスニング設定	イヤホンやBluetooth機器からの音にリスニングの効果を設定します。 ▶**項目を選択** **サラウンド**. . . . . .自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1・2** . . . .イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 **OFF**. . . . . .リスニング設定をOFFにします。
イコライザー設定	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶**項目を選択** **ノーマル** . . . . . . .通常の音質です。 **H.BASS1** . . . . . .低音を強調します。 **H.BASS2**. . . . . .H.BASS1よりさらに低音を強調します。 **ボイス** . . . . .会話を聞き取りやすくします。 **トレイン** . . . . . . .音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。

項目	内容
クローズ音声継続設定	視聴中にFOMA端末を閉じたときに、音声の出力を継続するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「OFF」に設定した場合、FOMA端末を閉じると音声は消音されます。FOMA端末を開き、「OK」を選択すると再び音声が鳴ります。
録画設定	
電池少量時録画設定	録画中に電池残量が少なくなったときに、録画を継続するかどうかを設定します。 ▶**録画を継続する・録画を終了する** **録画を継続する**. . . 確認画面は表示されず、録画を継続します。 **録画を終了する**. . . 録画を終了するかどうかの確認画面が表示されます。
視聴中着信録画設定	ワンセグ視聴中に電話がかかってきたときに、自動的に録画を開始するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
データ放送設定	
画像表示設定	データ放送サイトの画像を表示するかどうかを設定します。(P.213参照)
サウンド設定	データ放送、データ放送サイトの効果音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
確認表示設定リセット	ワンセグ視聴中、ビデオ再生中のデータ放送の確認画面では「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面はワンセグ視聴中、ビデオ再生中ともに表示されなくなります。確認表示設定リセットを行うと、それらの確認画面が再度表示されるようになります。 ▶YES
ワンセグecoモード	ワンセグ視聴時に電池の消費を抑える設定にします。 ▶YES ●ワンセグecoモードを解除するには、同様の操作を行います。
チャンネル設定初期化	チャンネルリストをすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
放送用保存領域消去	▶MENU(サブメニュー)▶**削除**▶**1件削除・全削除** **1件削除**. . . . . 放送用保存領域のうち、選んでいる系列放送局の情報のみを削除します。 **全削除**. . . . . . 放送用保存領域に作成されたすべての系列放送局の情報を削除します。 ▶YES ●「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。
TV設定リセット	「ユーザ設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。 リセットされる項目についてはP.498「機能一覧表」を参照してください。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
TV設定確認	「ユーザ設定」の各設定内容を確認します。

お知らせ

＜映像／字幕表示設定＞

- 「映像拡大＋データ放送」に設定すると、縦画面表示の映像を拡大します。ただし、番組によっては映像の左右が切り取られて表示される場合があります。
- 「データ放送」に設定するとデータ放送を全画面表示し、操作モードが自動的にデータ放送モードに切り替わります。全画面表示を解除すると、直前に設定していた操作モードに戻ります。
- 「データ放送」に設定しても音声は流れます。
- 「データ放送」に設定しても横画面表示では映像が表示されます。字幕は表示されません。

つづく

お知らせ

<アイコン常時表示設定>

●「すべて表示」以外に設定していても、ボタン操作を行ったときやスタイルを切り替えたときはアイコンが表示されます。また、放送電波の状態が悪くなったときにも表示される場合があります。

<メールテロップ表示設定>

●公共モード(ドライブモード)中はテロップ表示できません。

●メッセージR/Fおよび電話帳に登録されていない相手からのｉモードメール、SMSの場合、「差出人+題名」に設定していてもテロップに題名は表示されません。

<モバイルWスピード>

●「ON」に設定すると、「画質モード設定」の効果が十分に得られない場合があります。

●放送状況によってはモバイルWスピードの効果が得られない場合があります。

●録画中、予約録画中に「ON」に設定していても、録画したビデオの再生時にはモバイルWスピードは無効です。

<クローズ音声継続設定>

●「ON」に設定した場合はFOMA端末を閉じた状態でも、自動的にデータ放送の情報が更新され、パケット通信料がかかることがあります。

●本機能の設定に関わらず、視聴中にマルチタスクで画面を切り替えた場合は、FOMA端末を閉じても音声は流れます。

<視聴中着信録画設定>

●以下の場合は着信があっても録画を開始できません。

・バックグラウンド再生中　・録画中　・予約録画中　・予約録画準備中

<画像表示設定>

●本機能の設定を変更した場合は、「ｉモード／web設定」の「ｉモードブラウザ設定」内の「画像表示設定」も変更されます。ただし、ｉモードでサイト接続中は「ユーザ設定」での「画像表示設定」は変更できません。

<確認表示設定リセット>

●ワンセグ起動時の確認画面(P.252参照)や録画予約時の確認画面(P.264参照)はリセットされません。

お知らせ

<ワンセグecoモード>

●ワンセグecoモードを設定すると、以下の設定内容になり、変更できません。ただし、ワンセグecoモードを解除すると、設定内容は元に戻ります。

モバイルWスピード:OFF　画質モード設定:スタンダード
リ.マスター設定:OFF　リスニング設定:OFF
イコライザー設定:ノーマル　液晶AI:専用の設定値

Music

Music&Videoチャネル

ミュージックプレーヤー

■音楽データの取り扱いについて
microSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご使用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分にご配慮ください。

Music&Videoチャネル

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービスの契約が必要です。)
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます(バックグラウンド再生)。バックグラウンド再生中にビューアスタイルに切り替えてもバックグラウンド再生は継続します。同時に使用可能な機能の組み合わせについてはP.525参照。
- Music&Videoチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

番組を設定する

利用したい番組を事前に設定すると、夜間に番組データが自動的に取得されます。

1 MENU▶**カメラ／TV／MUSIC▶Music&Videoチャネル**

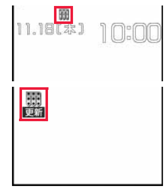
2 **番組設定▶画面に従って番組の設定操作を行う**

詳しくは「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。

番組を設定したときは

番組取得を開始する12時間前に、待受画面に「 」が表示されます。ただし、設定したときと異なるFOMAカードを挿入している場合は表示されません。

番組取得は夜間に自動的に行われます。このとき番組取得中の画面は表示されません。成功するとデスクトップに「更新」が表示されます。●を押し、「更新」を選んで●(選択)を押すと、Music&Videoチャネル画面が表示されます。
取得に失敗した場合は「失敗」が表示されます。



お知らせ

- 番組取得中に通信が途切れた場合は、約3分間隔で5回まで自動的に再取得を行います。ただし、取得中の画面を表示している場合は、再取得するかどうかの確認画面が表示されます。
- 番組取得の開始や完了をお知らせするための着信音･バイブレータの鳴動機能はありません。「イルミネーション設定」の「Music&Video Chイルミネーション」を「ON」に設定した場合、番組の取得が完了すると着信／充電ランプが光ります。(P.118参照)
- 一度に設定できる番組の数は2つまでです。

お知らせ

- 新しく番組を取得すると、保存されている番組は上書きされるため、再生できなくなりますのでご注意ください。上書きされないようにするためには、「番組移動」を行って「保存番組」フォルダまたはmicroSDカードに番組を移動してください。
- 取得した番組はコピーできません。
- 番組を設定するには、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要なものもあります。(P.191参照)
- Music&Videoチャネルをご契約されていない場合は、「サービスのご案内」を選択するとMusic&Videoチャネルの紹介ページが表示されます。
- 番組取得開始時に「電源が入っていない」、「電池残量が少ない」などにより番組の取得ができなかった場合は、翌日の夜間に再度番組の取得を行います。
- 番組の取得には時間がかかる場合がありますので、十分に充電をして電波状況の良い環境で使用してください。
- Music&Videoチャネル画面で選んでいる番組や利用中の番組は、番組の設定操作および自動取得ができません。
- Music&Videoチャネルの解約を行った場合、「番組移動」で移動した番組以外は削除されます。
- 番組を設定したときと異なるFOMAカードを挿入した場合は、番組を自動で取得できなくなります。Music&Videoチャネル画面から、再度番組を設定してください。
- Music&Videoチャネルのサービスメニューを選択したときに「番組設定情報を確認しますか?」と表示された場合、「YES」を選択すると配信済みの番組は削除される場合があります。ただし、配信停止設定中は削除されません。
- すでに番組を設定しているFOMA端末のFOMAカードを別のMusic&Videoチャネル対応のFOMA端末に差し替えた場合、番組は自動で取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度「番組設定」を選択すると、FOMA端末の番組設定が自動的に更新され、番組を自動で取得することができます。

番組の設定内容を確認・解除する

1 Music&Videoチャネル画面▶番組設定▶画面に従って操作する

設定中の番組の確認や、設定の解除を行うことができます。詳しくは「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

- 番組の設定を解除してもマイメニューは削除されません。

番組を手動で取得する

番組の自動取得に失敗した場合や番組配信日を過ぎても更新されなかった場合(未更新)は、デスクトップに「失敗」が表示されます。自動取得に失敗した番組は、手動で取得できます。

1 Music&Videoチャネル画面▶番組を選択▶YES

- 部分取得した番組の場合、「Play」を選択すると再生できます。
- 未更新の番組の場合、「Play」を選択すると更新前の番組を再生できます。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。

お知らせ

- 番組の取得が中断された場合は、中断されるまでの部分的に取得した番組は保存されます。続きを取得するときは、一部の時間帯を除いて手動で取得できます。番組が更新されていたり、別の番組に変更されていたりしたときは、続きからではなく最初から取得を開始します。
- 再生制限が切れた番組は、再取得できません。次回配信日まで更新ができません。
- ご利用になる時間帯によっては、手動で番組取得ができない場合があります。

番組の再生／操作

●ステレオイヤホンマイク（別売）を接続してステレオサウンドで番組を楽しめます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで番組を楽しめます。（P.449参照）

1 **MENU▶カメラ／TV／MUSIC ▶Music&Videoチャネル ▶番組を選択**



Music&Videoチャネル画面

Music&Videoチャネル起動中は「 」、バックグラウンド再生中に一時停止状態になった場合は「 」が表示されます。

●番組を選んでいると、番組名の下に次回の番組配信日が表示されます。番組が配信停止になったときは表示されません。また、自動取得に失敗したときも表示されない場合があります。

●前回再生した番組の情報がある場合は、情報に従った再生位置やモードで再生されます。

●番組を選んで📷TV（チャプター）を押すとチャプター一覧が表示されます。

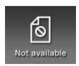
●番組を選んで✉（サイト接続）を押すと番組のURL情報のURLに接続します。

●iα（データBOX）を押すと番組フォルダ一覧画面が表示されます。

●プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。



番組取得中



再生不可



音声のみの番組

●再生中･一時停止中にクリアを1秒以上押すか終話を押すと、番組の再生が終了します。

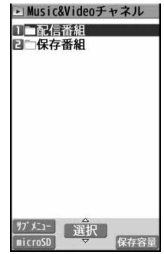
データBOXからMusic&Videoチャネルを操作する

データBOXからも番組を再生できます。データBOXでは、現在配信されている番組の他に、過去に配信されていた番組で「保存番組」フォルダやmicroSDカードに移動した番組も再生できます。

1 **MENU▶データBOX▶Music&Videoチャネル ▶フォルダを選択▶番組を選択**

●番組フォルダ一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。

●番組一覧画面でiα（切替）を押すごとに表示方法を変更します。



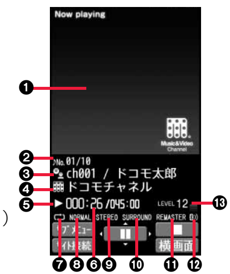
番組フォルダ一覧画面

→



番組一覧画面

■Music&Videoチャネル再生時の画面について



❶…番組画像または番組の映像（画像が登録されていない場合は、アニメーションが表示されます。）
❷…チャプター番号／チャプター数
❸…チャプター名／アーティスト名
❹…番組名
❺…再生状態
❻…再生時間／総演奏時間
❼…再生モード（「ノーマル」の場合は、何も表示されません。）
　　🔁：リピート
❽…イコライザー設定
　　NORMAL：ノーマル　H.BASS1：H.BASS1
　　H.BASS2：H.BASS2　TRAIN：トレイン
❾…ステレオ／モノラル種別
　　STEREO：ステレオ　MONO：モノラル

⑩…リスニング設定(「OFF」の場合は、何も表示されません。)
SURROUND:サラウンド　NATUR1:ナチュア1　NATUR2:ナチュア2
⑪…リ.マスター設定(「OFF」の場合は、何も表示されません。)
REMASTER:ON
⑫…Bluetooth接続アイコン(未接続の場合は、何も表示されません。)
:接続中
⑬…音量

■Music&Videoチャネル再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	( )
一時停止	( )または ●再生するには( )または
音量調節	
次のチャプターに切り替え	
前のチャプターに切り替え	 ●再生時間が3秒以上の場合、前のチャプターがない場合は頭出し
サーチ(早送り)※	を押し続ける
サーチ(早戻し)※	を押し続ける
サイトに接続	(サイト接続)
縦画面／横画面切替	(横画面) ●押すごとに縦画面で再生→画面サイズに合わせて横画面で再生→拡大して全画面での再生を切り替え
次の画像を表示	3
前の画像を表示	1
リ.マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	7 ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「トレイン」の順に切り替え

※ 一時停止中は操作できません。

Music&Videoチャネル再生時の画面でイヤホンマイク(別売)のスイッチを使って下記の操作ができます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す。
次のチャプターに切り替え	連続2回押す
前のチャプターに切り替え	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合、前のチャプターがない場合は頭出し

■Music&Videoチャネル画面・番組一覧画面のアイコンについて

表示されているアイコンで、番組の取得状況などを確認できます。

アイコン	説明
	取得に成功した番組
	壊れている番組
	部分的に取得した番組や、取得に失敗した番組

●新しく取得した番組には「NEW」が付きます。
●番組によっては、再生できる回数・期限・期間が制限されているものがあります。再生制限のある番組のアイコンには、「 」、再生制限切れの番組のアイコンには「 」が付きます。「番組情報」で番組の再生制限を確認できます。
●番組によっては操作が制限されているものがあります。操作制限のある番組のアイコンには「 」が付きます。
●番組によっては、再生できる時間帯が決まっているものがあります。時間帯制限のある番組のアイコンには「 」が付きます。時間は、ネットワークから取得した時刻情報に従います。
●定期的に更新された番組を取得開始できなかった場合は、未更新の番組として「 」が表示されます。「 」は番組を取得開始できた時点で消えます。
●Music&Videoチャネルの番組はすべてファイル制限ありのファイルになります。ファイル制限についてはP.355参照。

つづく

お知らせ

- 以下の操作を行うと、前回再生した番組の情報は消去されます。
  - ･番組を更新した場合
  - ･前回再生した番組を削除したり、移動した場合
  - ･FOMA端末の電源をOFF／ONした場合
- 電池残量が少ない状態で番組を再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中(バックグラウンド再生中も含む)に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- 以下の場合は、再生が一時停止され、操作終了後に再生を再開します。
  - ･音声電話、テレビ電話の発着信があった場合
  - ･「受信時動作設定」を「通知優先」に設定しているとき、または待受画面を表示しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信した場合
  - ･「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合

  また、発生した機能によってはMusic&Videoチャネルを終了するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- 時間帯制限のある番組で、再生終了後に黒画面を表示した場合は、次回の再生時間帯に再生が開始されます。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。
- 音声のみの音楽番組やQCIF(176×144)以下の動画番組の場合は全画面で再生できません。

Music&Videoチャネル画面･番組フォルダ一覧画面･番組一覧画面のサブメニュー

チャプター一覧		番組に設定されているチャプターの一覧を表示します。 チャプターを選択することによって、選択したチャプター以降から再生します。 ●MENU(サブメニュー)を押して「チャプター情報」を選択すると、チャプターのタイトルや再生時間などの情報が表示されます。
再生モード変更		▶**ノーマル･リピート** **ノーマル**....番組をチャプター順に1回再生します。 **リピート**....番組をチャプター順に繰り返し再生します。
番組情報		番組のタイトルや配信元、再生制限などを表示します。
番組移動		現在配信中の番組は、次の配信日に新しい番組に更新されます。配信番組が更新される前に、番組を「保存番組」フォルダやmicroSDカードに移動することで保存できます。保存できる空き容量は「保存容量確認」で確認できます。 ▶**保存番組･microSD** **保存番組**....「YES」を選択し、「保存番組」フォルダに移動します。容量は他のデータと共通で、最大10件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.553参照) **microSD**...microSDカードに移動します。(P.393参照) ●保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。
microSDへ移動		番組をmicroSDカードに1件移動します。(P.393参照)
本体へ移動		microSDカード内の番組をFOMA端末に1件移動します。(P.394参照)
デスクトップ貼付		P.38参照
編集	**タイトル編集**	番組の表示名を編集します。 ▶**タイトルを入力** ●全角31文字/半角63文字まで入力できます。
	タイトル初期化	表示名を編集前の表示名に戻します。 ▶**YES**
サイト接続		番組やチャプターにURL情報がある場合に、そのURLに接続します。 ▶**YES**

画像表示	番組に登録されている番組画像を表示します。 ●CLRを押すと一覧画面に戻ります。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。 ●iα(保存容量)を押しても表示できます。
番組削除・1件削除	番組を1件削除します。 ▶YES
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	フォルダに保存されている番組を複数選択して削除します。 ▶**削除したい番組にチェック**▶📷TV(完了)▶YES
全削除	フォルダに保存されているすべての番組を削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES

お知らせ

<再生モード変更>
- 時間帯制限がある番組の場合、再生モードの設定は無効になります。
- 時間帯制限がない番組で再生回数制限がある場合、「リピート」に設定しても繰り返し再生はされません。

<番組移動>
- 取得が完了していない番組や移動制限、時間帯制限が設定されている番組は移動できません。
- 番組によってはmicroSDカードに移動できない場合があります。

<タイトル編集>
- 編集した表示名は、次回の番組が配信されると新しい表示名に上書きされます。

<番組削除・1件削除><削除>
- 番組を削除しても、番組設定は解除されません。

再生中・一時停止中のサブメニュー

チャプター一覧	P.276参照
再生モード変更	P.276参照
サウンド効果	
リ.マスター設定	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶ON・OFF
リスニング設定	イヤホンやBluetooth機器からの音にリスニングの効果を設定します。 ▶**項目を選択** **サラウンド**.....自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1・2**...イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 **OFF**..........リスニング設定をOFFにします。
イコライザー設定	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶**項目を選択** **ノーマル**.....通常の音質です。 **H.BASS1**...低音を強調します。 **H.BASS2**...H.BASS1よりさらに低音を強調します。 **トレイン**.....音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
番組情報	P.276参照
チャプター情報	現在、再生中のチャプターのタイトルや再生時間などを表示します。
サイト接続	P.276参照
前画像表示	前の画像を表示します。
次画像表示	次の画像を表示します。

つづく

お知らせ

<サウンド効果>
- イヤホンやBluetooth機器と接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。

<前画像表示><次画像表示>
- 1チャプターあたり最大3枚まで表示できますが、番組によっては表示できない場合があります。

音楽の再生方法について

ミュージックプレーヤー、i モーションプレーヤーを使ってFOMA端末で音楽を再生できます。

■ミュージックプレーヤー(P.281参照)

音楽CDなどからパソコンを利用してmicroSDカードに保存した音楽データや着うたフル®を「カメラ／TV／MUSIC」の「ミュージックプレーヤー」で再生します。
- ミュージックプレーヤーで音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます(バックグラウンド再生)。バックグラウンド再生中にビューアスタイルに切り替えてもバックグラウンド再生は継続します。同時に使用可能な機能の組み合わせについてはP.525参照。

■ｉモーションプレーヤー(P.365参照)

「データBOX」の「ｉモーション･ムービー」フォルダから、音声のみのｉモーション(AAC型式の音楽データを含む)やmicroSDカードに保存したAAC形式のファイルを再生します。

音楽データを保存する

着うたフル®をダウンロードする

サイトから着うたフル®をダウンロードします。容量は他のデータと共通で、合わせて約210Mバイト保存できます。(P.548参照)

1 着うたフル®ダウンロードが可能なサイトを表示▶着うたフル®を選択▶保存▶YES
- 「再生」を選択すると着うたフル®が再生されます。着うたフル®再生中の操作についてはP.283参照。
- 「情報表示」を選択すると着うたフル®の情報が表示されます。(P.287「ミュージック情報」参照)
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。

2 保存したいフォルダを選択
- 第2階層目以降にフォルダがある場合は、[カメラ/TV]([フォルダ])を押すと表示できます。上の階層に戻すには[CLR]を押します。

着うたフル®ダウンロードが中断したときは

「Cancel」を選択してダウンロードを中断したり、着信などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択するとデータ取得完了の画面が表示されます。「部分保存」を選択した場合は、「データBOX」の「ミュージック」内の「ｉモード」フォルダ内のフォルダを選択して保存します。部分保存した残りのデータは「データBOX」から再ダウンロードできます。
- 部分保存した着うたフル®のタイトルは、ダウンロードした日時となります。
- 部分保存した着うたフル®の再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません。また、再取得したデータを保存する際、部分保存されていたデータは削除されます。

うた・ホーダイについて

お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な着うたフル®です。再生期限は、音楽データと共にダウンロードされるライセンス情報により指定されます。
再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。

- ミュージックプレーヤー起動時に再生期限切れの音楽データ(会員制サービスでダウンロードした着うたフル®)が存在すると、再生期限を更新するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、データを更新します。(パケット通信料有料)「NO」を選択すると、音楽データファイルを利用することができません。ミュージックプレーヤーの起動についてはP.281参照。
- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎたあとでも数日間の再生猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても再生ができます。再生猶予期間を過ぎると、ファイルの再生ができません。また、再生期限の更新を行っていない状態で楽曲ダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。
- 登録できるミュージック(会員制)サービスの上限を超えていると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードしたミュージックは再生できなくなります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料は、iモードパケット定額サービスの適用対象外です。

お知らせ

- 1件あたり5Mバイトまでの着うたフル®を保存できます。
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生期限切れのため更新が必要になった場合は、着信時やアラーム鳴動時にお買い上げ時の音が鳴ります。
- 再生回数・再生期間・再生期限に制限がある着うたフル®は、タイトルの先頭に「🕘」が表示されます。長い間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている着うたフル®は再生できません。再生制限を確認するには「ミュージック情報」参照。
- 部分保存した着うたフル®はデータBOXから再生できません。

WMAファイルを保存する

パソコン内のWindows Media Audio(WMA)ファイルをmicroSDカードへ保存するには、Windows Media Player 10/11/12を使用します。
WMAファイルは最大1000曲保存できます。

- 楽曲データのほか、プレイリスト・ジャケット画像・ライセンスキーが保存されます。

ステップ 1 WMAファイルを保存するために必要なものを準備する

はじめにWMAファイルを保存するために必要なものを準備します。

- P-06B本体
- microSDカード
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)
- Windows Media Player 10(10.00.00.3802以降)/11/12がインストール済みのパソコン
  Windows XPではWindows Media Player 10/11をご利用ください。
  Windows VistaではWindows Media Player 11をご利用ください。
  Windows 7ではWindows Media Player 12をご利用ください。
- パソコンとFOMA端末を接続する前に、Windows Media Playerのバージョンを必ず確認してください。

ステップ 2 FOMA端末をリーダーライターとして使う

「USBモード」を「MTPモード」に設定します。(P.397参照)

つづく

ステップ
3 microSDカードに音楽を保存する

Windows Media Player 10/11/12を起動してWMAファイルをmicroSDカードに保存します。

- WMAファイルはFOMA端末には保存できません。
- Windows Media Player 10/11/12の操作方法についてはWindows Media Player 10/11/12のヘルプをご覧ください。
- 保存が完了したら、FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02を取り外します。
  FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取り外すときは、ご使用のソフトウェアを終了させてから取り外してください。

お知らせ

- データを保存中にmicroSDカードを抜かないでください。データが失われることがあります。
- 楽曲データおよびジャケット画像は、microSDカードの/PRIVATE/DOCOMO/MMFILE/WM/へ保存されます。
- 他のFOMA端末でmicroSDカードに保存したWMAデータは、P-06Bで認識されない場合があります。また、「USBモード」を「MTPモード」に設定してパソコンと接続しても認識されない場合があります。
  この場合は、パソコンなどでmicroSDカード内の「WM」フォルダと「WM_SYSTEM」フォルダを削除するか、microSDカードをフォーマット(P.396参照)してください。なお、microSDカードをフォーマットすると、音楽データ以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。
- microSDカード内の空き容量が300Kバイトより少なくなると、パソコンで認識しなくなる場合があります。microSDカード内の空き容量を確認し、300Kバイト以下であれば不要なファイルを削除したあと、再度「USBモード」を「MTPモード」に設定し、パソコンと接続してください。

SDオーディオを利用して音楽を保存する

SD-Jukebox(市販品)を利用すると、音楽CDの曲をAAC形式のデータとしてmicroSDカードに保存できます。

- microSDカードアダプタ(別売)を使って、パソコンから直接microSDカードに保存することもできます。

※以下のステップは、FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使用し、音楽を保存する場合の一例です。

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは次のホームページより購入できます。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

- 動作環境詳細は次のホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

ステップ
1 音楽を保存するために必要なものを準備する

はじめに音楽を保存するために必要なものを準備します。

- P-06B本体
- microSDカード
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)
- パソコン(Windows XP、Windows Vista、Windows 7)
- SD-Jukebox(市販品)
- 保存したい音楽CD

ステップ
2 SD-Jukeboxをインストールする

パソコンにSD-Jukeboxをインストールします。

ステップ
3 FOMA端末をリーダーライターとして使う

「USBモード」を「microSDモード」に設定します。(P.397参照)

ステップ

4 microSDカードに音楽を保存する

SD-Jukeboxを起動してパソコンに音楽CDを入れます。
SD-Jukeboxを使用してmicroSDカードに音楽を保存します。

- SD-Jukeboxの操作方法についてはSD-Jukeboxのヘルプをご覧ください。
- 保存が完了したら、FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取り外します。

＜ミュージックプレーヤー＞

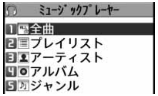
ミュージックプレーヤーを利用する

サイトから取得した着うたフル®やmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。
音楽を再生するには、メインメニューの「カメラ／TV／MUSIC」から「ミュージックプレーヤー」を選択します。音楽を聴きながらメールやサイトの閲覧などを利用できるバックグラウンド再生もできます。
フォルダや、データなどの管理を行うには、メインメニューの「データBOX」から「ミュージック」を選択します。

- ミュージックプレーヤーを使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- ステレオイヤホンマイク(別売)を接続してステレオサウンドで音楽を楽しめます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音楽を楽しめます。(P.449参照)
- 保存している曲数が多くなると、起動に時間がかかる場合があります。
- ミュージックプレーヤーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

音楽データを再生する

1 **MENU▶カメラ／TV／MUSIC▶ミュージックプレーヤー**



プレーヤーメニュー画面

プレーヤーメニュー画面が表示されます。

- 前回再生した曲の情報がある場合は、情報に従った再生位置やモードで再生されます。
- プレーヤーメニュー画面でCLRを押すと、ミュージックプレーヤーを終了するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **項目を選択**

全曲 . . . . FOMA端末、microSDカードに保存している音楽データのすべてを表示します。

プレイリスト . . . FOMA端末、パソコンで作成されたすべてのプレイリストを表示します。
プレイリストの再生についてはP.290参照。

アーティスト . . . 全アーティスト名を表示します。
聴きたいアーティストを選んで●(選択)を押すと、選択したアーティストの全アルバム名を表示します。(アルバムへ進みます)

アルバム . . . . . . 全アルバム名を表示します。
聴きたいアルバム名を選んで●(選択)を押します。
「アーティスト」を選んでいた場合、アルバム名の一覧で「全曲」を選択すると、選んだアーティストのすべての曲が表示された曲一覧画面が表示されます。

ジャンル . . . . . . 全ジャンルを表示します。
聴きたいジャンルを選んで●(選択)を押します。

つづく

- 現在再生中のプレイリストや前回再生したプレイリストには「★」マークが付いています。
- 「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」を選択したときは、種別一覧画面で📷TV(再生)を押すと、選択している項目に登録している音楽がすべて再生されます。
- 曲一覧画面でiα(切替)を押すごとに表示方法を変更します。



種別一覧画面
（アーティストの場合）

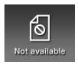


曲一覧画面

- プレーヤーメニュー画面・種別一覧画面・曲一覧画面で「ﾌﾟﾚｰﾔｰ」が表示されているときは、✉(ﾌﾟﾚｰﾔｰ)を押すと、前回再生した曲または再生中の曲の再生画面が表示されます。
- 保存している曲のサイズによってはすべての曲を表示できない場合があります。
- プレビュー画像が表示できないときなどは、右の画像が表示されます。



ダウンロード未完了



表示不可



画像がない場合など

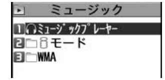
3 曲を選択

種別一覧やプレイリスト内の曲が、選択した曲から順に再生されます。ミュージックプレーヤー起動中は「 」、バックグラウンド再生中に一時停止状態になった場合は「 」が表示されます。

- 現在再生中の曲や前回再生した曲には「★」マークが付いています。
- 再生中に✉(曲ﾘｽﾄ)またはCLRを押すと、1つ前の曲一覧画面が表示されます。

フォルダや音楽データを管理する

1 MENU▶データBOX▶ミュージック



ミュージック
フォルダ一覧画面

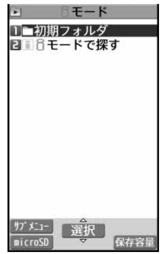
2 項目を選択

ミュージックプレーヤー . . . . ミュージックプレーヤーが起動します。(P.281参照)

iモード . . . . iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面が表示されます。フォルダを選択します。

WMA. . . . . WMA一覧画面が表示されます。

- iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- 着うたフル®一覧画面、WMA一覧画面でiα(切替)を押すごとに表示方法を変更します。
- プレビュー画像が表示できないときなどはP.282参照。



iモード(着うたフル®)
フォルダ一覧画面

→



着うたフル®一覧画面

- 「iモードで探す」を選択した場合はP.209参照。
- WMAファイルには再生できるライセンス(回数・期間・期限)の付いているものがあります。



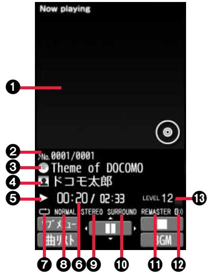
WMA一覧画面

3 着うたフル®またはWMAファイルを選んで[カメラ/TV]（デモ）を押す

選択した曲のみをデモ再生します。

- 再生中にFOMA端末を閉じると再生は中止されます。
- 他の機能で着うたフル®を選択中に[カメラ/TV]（デモ）を押したり、サブメニューから「再生」を選択して着うたフル®を再生できる場合があります。

■ミュージックプレーヤー使用中の再生画面について



❶…音楽に登録されているジャケット画像（画像が登録されていない場合は、アニメーションが表示されます。）
❷…曲番号／総曲数
❸…曲名
❹…アーティスト名
❺…再生状態
❻…再生時間／総演奏時間
❼…再生モード（「ノーマル」の場合は、何も表示されません。）
[→]：1曲終了　[1曲リピートアイコン]：1曲リピート
[全曲リピートアイコン]：全曲リピート　[ランダムアイコン]：ランダム
[ランダムリピートアイコン]：ランダムリピート
DEMO：デモ（デモ再生時のみ表示されます。）
❽…イコライザー設定
NORMAL：ノーマル　H.BASS1：H.BASS1　H.BASS2：H.BASS2
TRAIN：トレイン
❾…ステレオ／モノラル種別
STEREO：ステレオ　MONO：モノラル
❿…リスニング設定（「OFF」の場合は、何も表示されません。）
SURROUND：サラウンド　NATUR1：ナチュア1　NATUR2：ナチュア2
⓫…リ. マスター設定（「OFF」の場合は、何も表示されません。）
REMASTER：ON
⓬…Bluetooth接続アイコン（未接続の場合は、何も表示されません。）
[Bluetoothアイコン]：接続中
⓭…音量

■ミュージックプレーヤー使用中の操作

操作	ボタン操作
停止	[カメラ/TV]（■） ●再生するには[●]（▶）または[サイドキー]
一時停止	[●]（❚❚）または[サイドキー] ●再生するには[●]（▶）または[サイドキー]
音量調節	[上下キー]
次の曲を再生	[右キー]
前の曲を再生	[左キー] ●再生時間が3秒以上の場合、前の曲がない場合、「ランダム」「ランダムリピート」時は頭出し
サーチ（早送り）※	[右キー]を押し続ける
サーチ（早戻し）※	[左キー]を押し続ける
一覧画面を表示	[メール]（曲リスト）
バックグラウンド再生	[iα]（BGM）
画像表示・歌詞表示・プレーヤー	[2] ●押すごとに「再生画面（ジャケット画像）」→「全画面歌詞画像」→「全画面ジャケット画像」の順に切り替え
次の画像を表示	[3]
前の画像を表示	[1]
リ. マスター設定	[9] ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	[8] ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	[7] ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「トレイン」の順に切り替え

※ 停止中・一時停止中は操作できません。

- デモ再生時は操作できないものもあります。

つづく↓

ミュージックプレーヤー使用中の再生画面でイヤホンマイク(別売)のスイッチを使って下記の操作ができます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す
次の曲を再生	連続2回押す
前の曲を再生	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合、前の曲がない場合、「ランダム」「ランダムリピート」時は頭出し

■着うたフル®再生の仕様について

ファイル形式	MP4
コーデック	MPEG-4 AAC
	MPEG-4 AAC+(HE-AAC)
	Enhanced aacPlus
ビットレート	8～128kbps
拡張子	3gp

■SDオーディオファイル再生の仕様と保存曲数について

ファイル形式	MPEG-2 AAC、MPEG-2 AAC+SBR
ビットレート	32～256kbps
最大保存可能曲数	999曲
最大プレイリスト数	99件(1件のプレイリストには最大99曲まで登録可能)※

※「全曲リスト」を除く。

■WMAファイル再生の仕様と保存曲数について

ファイル形式	WMA(Windows Media Audio 9 Standard)
ビットレート	32～192kbps
最大保存可能曲数	最大1000曲
最大プレイリスト数	100件(1件のプレイリストには最大250曲まで登録可能)

■曲一覧表示中のアイコンについて

「カメラ／TV／MUSIC→ミュージックプレーヤー」から曲を選択する場合は、以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	FOMA端末に保存
	microSDカードに保存
	SDオーディオファイル形式
	着うたフル®ファイル形式
	WMAファイル形式
	FOMAカードセキュリティ機能
	再生制限あり着うたフル®
	再生制限切れ着うたフル®
	再生可能なうた・ホーダイ
	再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイ
	再生不可のうた・ホーダイ
	ファイル制限あり

■着うたフル®一覧表示中のアイコンについて

「データBOX→ミュージック」から着うたフル®を選択する場合は、以下のアイコンが表示されます。

アイコン	音声の形式	種別
	AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus	MP4ファイル
	−	部分保存されている着うたフル®

●着うたフル®、うた・ホーダイによっては、再生できる回数・期限・期間が制限されているものがあり、以下のアイコンが付きます。
・再生制限のあるファイル……………………「」
・再生制限切れファイル ……………………「」
・再生可能なうた・ホーダイ…………………「」
・再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイ…「」
・NGの着うたフル®、うた・ホーダイ…………「」
「ミュージック情報」で着うたフル®の再生制限を確認できます。

●着うたフル®はすべてファイル制限ありのファイルになります。ファイル制限についてはP.355参照。

アイコン	取得元
※	サイト

※ 著作権のあるファイルでmicroSDカードに移動可の場合は「」が表示されます。

お知らせ

●保存している曲数に関わらず、ミュージックプレーヤーで認識できる曲数は、全曲リストの表示順で最大1500曲です。ただし、曲の情報量によっては認識できる曲数は少なくなります。

●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

お知らせ

●以下の操作を行うと、前回再生した音楽の情報は消去されます。
・microSDカードを取り外し／取り付けした場合
・FOMA端末の電源をOFF／ONした場合
・「設定リセット」や「端末初期化」を行った場合
・前回再生した曲を削除した場合
・前回再生したプレイリストを削除した場合
・前回再生した曲がmicroSDカード内の曲で、microSDカードが挿入されていない場合
・「USBモード」を「microSDモード」「MTPモード」に設定してパソコンを接続した場合
・前回再生した曲がプレイリスト以外から再生していた場合で、「ミュージック情報編集」「ミュージック情報初期化」を行った場合、着うたフル®を新たにダウンロード・保存または削除した場合、FOMA端末とmicroSDカード間で移動した場合
・前回再生した曲が再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイの場合
・前回再生した曲がWMAファイルで、WMAライセンスが無効になった場合

●部分保存した着うたフル®はミュージックプレーヤーから操作した場合、表示されません。

●電池残量が少ない状態で音楽を再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中(バックグラウンド再生中も含む)に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

●早送りなどを頻繁に行うと電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。

●以下の場合は、再生が一時停止され、操作終了後に再生を再開します。
・音声電話、テレビ電話の発着信があった場合
・「受信時動作設定」を「通知優先」に設定しているとき、または待受画面を表示しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信した場合
・「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合
また、発生した機能によってはミュージックプレーヤーを終了するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

●前後の曲に切り替わる際、再生期限、再生期間の切れた曲やWMAライセンスが無効になったWMAファイルはスキップされます。また、再生回数が制限されている着うたフル®の場合は、残りの再生回数に関わらず再生するかどうかの確認画面が表示されます。再生回数が終了した曲はスキップされます。

つづく

お知らせ

●microSDカード内の空き容量が300Kバイトより少なくなると、WMAファイルが再生できなくなります。WMAファイルを再生するには、microSDカード内の空き容量を確認し、300Kバイト以下であれば不要なファイルを削除してください。

ミュージックフォルダ一覧画面・iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面・プレーヤーメニュー画面のサブメニュー

再生モード変更		▶再生モードを選択 ノーマル……種別で分けられた曲またはプレイリストの曲を一覧画面の並び順に再生します。 最後の曲まで再生すると終了します。 1曲終了……選択した曲を1回再生します。 1曲リピート…選択した曲を繰り返し再生します。 全曲リピート…種別で分けられた曲またはプレイリストの曲を一覧画面の並び順に繰り返し再生します。 ランダム……種別で分けられた曲またはプレイリストの曲をランダムに再生します。すべての曲を再生すると終了します。 ランダムリピート ……………種別で分けられた曲またはプレイリスト内の曲をランダムに繰り返し再生します。
フォルダ追加		▶フォルダ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●FOMA端末内では第2階層まで、合わせて25件まで作成できます。microSDカード内では第7階層までフォルダを作成できます。
フォルダ名編集		▶フォルダ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	1件削除	選択しているユーザフォルダを1件削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
	選択削除	▶削除したいユーザフォルダにチェック ▶[カメラ/TV](完了)▶端末暗証番号を入力▶YES
	全削除	同じ階層にあるユーザフォルダをすべて削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
保存先フォルダ選択		着うたフル®をmicroSDカードに移動する際の保存先フォルダを設定します。7階層までのフォルダに対して設定できます。 ▶YES
保存容量確認		保存容量(目安)/件数を表示します。 ●[iα](保存容量)を押しても表示できます。

お知らせ

<フォルダ追加>

●「WMA」フォルダにはユーザフォルダを作成できません。

<フォルダ削除>

●フォルダ内のファイルもすべて削除されます。

●microSDカード内では、「1件削除」の動作になります。

●他の機能に設定していた着うたフル®を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

<保存先フォルダ選択>

●保存先に設定されたフォルダには「[アイコン]」が表示されます。

●microSDカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

着うたフル®一覧画面・種別一覧画面・曲一覧画面・WMA一覧画面のサブメニュー

プレーヤーメニュー	種別一覧画面または曲一覧画面からプレーヤーメニュー画面を表示します。
再生モード変更	P.286参照

Music

項目		説明
着信音設定		
	まるごと着信音設定	着うたフル®を1曲そのまま着信音に設定します。 ▶項目を選択 ●microSDカード内の着うたフル®の場合、FOMA端末に移動するかどうかの確認画面が表示されます。（P.394参照）
	オススメ着信音設定	着うたフル®の一部分を指定して着信音に設定します。 ▶設定したい部分を選択▶項目を選択 ●📷TV（デモ）を押すと設定したい部分を確認できます。 ●microSDカード内の着うたフル®の場合、FOMA端末に移動するかどうかの確認画面が表示されます。（P.394参照）
ミュージック情報		曲名やアーティスト名、再生時間などを表示します。 ●着うたフル®一覧画面でミュージック情報を表示した場合は、MENU（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）を押して「ミュージック情報編集」を選択すると情報内容を編集できます。編集したい情報を選択して編集します。「ミュージック情報初期化」を選択すると、編集した情報を編集前の情報に戻せます。戻したい情報を選択し、「YES」を選択します。
プレイリストへ登録		▶登録方法を選択 1件登録 . . . . 曲を1件登録します。 選択登録 . . . . 登録したい曲を選択し、📷TV（完了）を押します。 ●曲は表示されている順に登録されます。 ▶登録したいプレイリストを選択 ●新しくプレイリストを作成して登録する場合は、「新規プレイリスト」を選択し、プレイリスト名を入力します。すでにプレイリストが30件登録されている場合は、削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。
フォルダ移動		
	1件移動	FOMA端末内の着うたフル®をFOMA端末内の別のフォルダに、microSDカード内の着うたフル®をmicroSDカード内の別のフォルダに移動します。 ▶移動先を選択 ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、📷TV（📁↓）を押すと表示できます。上の階層に戻すにはCLRを押します。
	選択移動	▶移動したい着うたフル®にチェック ▶📷TV（完了）▶移動先を選択
	全移動	▶移動先を選択
microSDへ移動		
	1件移動	P.393参照
	選択移動	P.393参照
	全移動	P.393参照
本体へ移動		
	1件移動	P.394参照
	選択移動	P.394参照
	全移動	P.394参照
フォルダ追加		P.286参照
フォルダ名編集		P.286参照
フォルダ削除		
	1件削除	P.286参照
	選択削除	P.286参照
	全削除	P.286参照
サイト接続		着うたフル®にURL情報がある場合に、そのURLに接続します。 ▶YES

つづく↪

画像表示	曲に登録されているジャケット画像を表示します。 ●複数のジャケット画像が登録されている場合は、◎を押すと前または次のジャケット画像を表示できます。 ●画像が保存可能な場合は◉（保存）を押して「YES」を選択し、任意のフォルダを選択して保存できます。
保存先フォルダ選択	P.286参照
保存容量確認	保存容量（目安）／件数を表示します。
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい着うたフル®またはWMAファイルにチェック▶📷TV（完了）▶YES
全削除	フォルダ内に保存されているすべての着うたフル®またはWMAファイルを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<着信音設定>

- 着信音に設定したうた・ホーダイが再生不可の場合や再生期限切れのため更新が必要になったり、FOMAカードセキュリティ機能が設定された場合は、お買い上げ時の着信音に戻ります。
- 着信音に設定できるかどうかを確認するには「ミュージック情報」参照。

<プレイリストへ登録>

- パソコンで作成したプレイリストには曲を追加できません。

<画像表示>

- 画像によっては正しく表示されない場合があります。

<削除>

- 他の機能に設定していた着うたフル®を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- WMAプレイリストに登録したWMAファイルを削除すると、WMAプレイリストから解除されます。
- 最後のWMAファイルを削除するときや、すべてのWMAファイルを削除するときは、ライセンスファイルもあわせて削除されます。

再生中・一時停止中・停止中のサブメニュー

プレーヤーメニュー	ミュージックプレーヤー使用中の再生画面からプレーヤーメニュー画面を表示します。 ●プレーヤーメニュー画面を表示しても再生状態は継続されます。
再生モード変更	P.286参照
サウンド効果	
リ.マスター設定	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶ON・OFF
リスニング設定	イヤホンやBluetooth機器からの音にリスニングの効果を設定します。 ▶項目を選択 サラウンド．．．．．自然で立体感のある音にします。 ナチュア1・2．．．イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 OFF．．．．．．．．．．リスニング設定をOFFにします。
イコライザー設定	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶項目を選択 ノーマル．．．．．通常の音質です。 H.BASS1．．．低音を強調します。 H.BASS2．．．H.BASS1よりさらに低音を強調します。 トレイン．．．．．音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
ミュージック情報	P.287参照
サイト接続	P.287参照
画像表示・歌詞表示・プレーヤー	再生画面の表示を変更します。 画像表示．．．．．ジャケット画像を全画面で表示します。 歌詞表示．．．．．歌詞画像を全画面で表示します。 プレーヤー．．．再生画面を表示します。

前画像表示・ 前歌詞表示	前のジャケット画像・歌詞画像を表示します。
次画像表示・ 次歌詞表示	次のジャケット画像・歌詞画像を表示します。

お知らせ

＜サウンド効果＞
- イヤホンやBluetooth機器と接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。

＜画像表示・歌詞表示・プレーヤー＞＜前画像表示・前歌詞表示＞
＜次画像表示・次歌詞表示＞
- 着うたフル®はジャケット画像を最大3枚まで、歌詞画像を最大7枚まで表示できます。
  SD-Jukeboxで保存したSDオーディオファイルは、ジャケット画像を最大20枚まで、WMAファイルはファイルに埋め込まれた画像を最大2枚まで表示できます。

プレイリストを利用する

聴きたい曲のリストを作成し、好きな順に音楽を再生します。FOMA端末やWindows Media Playerで作成したプレイリスト、SD-Jukeboxで作成したSDオーディオプレイリストを利用して再生できます。

- 作成可能な最大プレイリスト数とプレイリスト1件あたりに登録可能な曲数は以下のとおりです。

作成元	プレイリスト件数	1件あたりの 登録可能曲数
FOMA端末で作成したプレイリスト	最大30 （全曲リストを除く）	100
Windows Media Playerで作成したプレイリスト	最大100	250
SD-Jukeboxで作成したSDオーディオプレイリスト	最大99 （全曲リストを除く）	99

- FOMA端末でプレイリストを作成する場合、FOMA端末、microSDカードに保存した着うたフル®とWindows Media Playerで保存したWMAファイルやSD-Jukeboxで保存したSDオーディオファイルを同じプレイリストに登録できます。

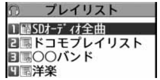
■プレイリスト一覧表示中のアイコンについて

アイコン	種類
	SDオーディオ全曲リスト
	FOMAプレイリスト
	SDオーディオプレイリスト
	WMAプレイリスト

Music

プレイリスト作成

1 **プレーヤーメニュー画面**
▶プレイリスト



プレイリスト一覧画面

2 **MENU（サブメニュー）▶プレイリスト新規作成**
▶種別を選択して曲一覧画面を表示
▶登録したい曲にチェック▶📷TV（完了）

●曲は表示されている順に登録されます。

3 **プレイリスト名を入力**

●全角126文字/半角252文字まで入力できます。

お知らせ

●部分保存した着うたフル®や再生制限切れのファイルはプレイリストに登録できません。

プレイリスト再生

1 **プレイリスト一覧画面**
▶プレイリストを選択▶曲を選択



プレイリスト曲一覧画面

●プレイリスト一覧画面で📷TV（再生）を押すと、選択しているプレイリストの先頭の曲から再生されます。

●プレイリスト一覧画面で「プレーヤー」が表示されているときは、✉（プレーヤー）を押すと、前回再生した曲または再生中の曲の再生画面が表示されます。

●データBOXの「ミュージック」からフォルダを選択した場合は、プレイリストを再生できません。

プレイリスト一覧画面のサブメニュー

プレーヤーメニュー	プレーヤーメニュー画面を表示します。
再生モード変更	P.286参照
プレイリスト新規作成	P.290参照
プレイリストコピー	**▶プレイリスト名を入力** ●全角126文字/半角252文字まで入力できます。 ●SDオーディオプレイリストまたはWMAプレイリストをコピーした場合、FOMA端末内にFOMAプレイリストとしてコピーされます。
プレイリスト名編集	FOMAプレイリストの名前を編集します。 **▶プレイリスト名を編集** ●全角126文字/半角252文字まで入力できます。
追加登録	FOMAプレイリストに曲を追加します。 **▶種別を選択して曲一覧画面を表示** **▶追加したい曲にチェック▶📷TV（完了）** ●曲は表示されている順で一覧の末尾に登録されます。
プレイリスト削除	FOMAプレイリストを削除します。 **▶削除方法を選択** **1件削除** . . . . .プレイリストを1件削除します。 **選択削除** . . . . .削除したいプレイリストを選択し、📷TV（完了）を押します。 **全削除**. . . . . . .端末暗証番号を入力します。 **▶YES**

お知らせ

<プレイリストコピー>

●曲が登録されていないWMAプレイリストはコピーできません。

プレイリスト曲一覧画面のサブメニュー

プレーヤーメニュー	プレーヤーメニュー画面を表示します。 ●プレーヤーメニュー画面を表示しても、再生状態は継続されます。
再生モード変更	P.286参照
ミュージック情報	P.287参照
追加登録	P.290参照
プレイリストから解除	FOMAプレイリストから曲を解除します。 ▶**解除方法を選択** **1件解除**. . . . . 曲を1件解除します。 **選択解除** . . . . 解除したい曲を選択し、[カメラTV](完了)を押します。 **全解除** . . . . . . プレイリストごと削除します。 ▶**YES**
曲順変更	FOMAプレイリストの曲順を変更します。 ▶**曲を選択**▶[方向キー]**で曲順を変更**▶[決定](選択) ●続けて変更する場合は、上記の操作を繰り返します。 ▶[カメラTV](確定)
プレイリストへ登録	P.287参照
画像表示	P.288参照

お知らせ

＜プレイリストから解除＞

●パソコンで作成したプレイリストからは曲を解除できません。

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリ

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロード※すれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。
さらに、リアルタイム通信やｉアプリコール(P.313参照)を用いた、多人数でのオンライン通信が可能なｉアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。
また、ｉアプリにはｉウィジェット(P.317参照)対応のものがあります。

※別途パケット通信料がかかります。

- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。(P.482参照)
- ｉアプリの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

<ｉアプリダウンロード>

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをFOMA端末にダウンロードします。最大100件(1件あたり最大約2Mバイトまで)登録できますが、容量は他のデータと共通のため、データ量により登録件数は少なくなります。(P.553参照)

1 ｉアプリダウンロードが可能なサイトを表示▶ソフトを選択

2 ダウンロードが完了したら「OK」を選択

- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。
- 「カスタマイズメニュー」に登録できるソフトの場合、登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- ダウンロード完了後にソフト設定(通信設定、待受画面設定、位置情報利用、番組表ボタン設定、ｉアプリコール、オートGPS許可)の画面が表示されることがあります。各設定は、ソフト一覧からも設定できます。

3 YES・NO

YES. . . . ｉアプリが起動します。
NO. . . . . サイト画面に戻ります。

ダウンロードが中断したときは

100Kバイト以上のｉアプリをダウンロード中にCLRや終話キーを押してダウンロードを中断したり、電波状況などによりダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択すると途中までダウンロードしたデータを保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択した場合は部分保存できます。
部分保存した残りのデータはソフト一覧画面から再ダウンロードできます。

メール連動型ｉアプリをダウンロードしたときは

送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが自動的に作成され、メール連動型ｉアプリのタイトルがフォルダ名になります。

- メール連動型ｉアプリは5件まで保存できます。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリがすでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- 「BOXロック」または「フォルダロック」設定中はメール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリが5件保存されている場合は、削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。また、メール連動型ｉアプリは5件未満でも、送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが5つある場合、既存のｉアプリメール用フォルダを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリメール用フォルダのみが残っているメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、既存のｉアプリメール用フォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、既存のフォルダを利用します。利用しない場合は「NO」を選択すると、既存のフォルダを削除し、フォルダを新規作成するかどうかの確認画面が表示されます。フォルダを新規作成せずにメール連動型ｉアプリをダウンロードすることはできません。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
  ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- ｉアプリのソフトによっては、ダウンロードしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するには、あらかじめ「ソフト設定」の「通信設定」での設定が必要です。
- SSL/TLS対応のページからソフトの情報やソフトをダウンロード中のときは、画面の上に「🔒」が表示されます。
- ダウンロード時に、「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- 異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。おサイフケータイ対応ｉアプリの場合、ICカード内のデータも削除する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。ダウンロード終了後、異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトとICカード内のデータは削除されます。
- ソフトによっては、ICカード機能動作中やICカードロック中はダウンロードできない場合があります。
- ダウンロード完了後すぐに起動するソフトによっては、保存できないソフトもあります。

お知らせ

- ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。（ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります。）
  ソフトによってはお客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- 「ｉアプリメール」とは、メール連動型ｉアプリで送信･保存、メール連動型ｉアプリ用として受信したメールのことです。ｉアプリメールは、ｉアプリメール用フォルダに自動的に保存されます。

ソフト情報表示設定

ソフトダウンロード時にソフト情報を表示できます。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ソフト情報表示設定▶表示する･表示しない

＜ｉアプリ実行＞

ｉアプリを起動する

1 ｉα（1秒以上）▶起動したいソフトを選択

- ソフト一覧画面では、ｉアプリの種類や対応している機能がアイコンで表示されます。
  - ：GPS対応ｉアプリ
  - ：おサイフケータイ対応ｉアプリ
  - ：iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータ
  - ：microSDカード対応ｉアプリ
  - ：縦全画面表示対応ｉアプリ
  - ：横表示対応ｉアプリ（全画面非対応）
  - ：横全画面表示対応ｉアプリ
  - ：オートGPS対応ｉアプリ
  - ：ｉアプリDX
  - ：メール連動型ｉアプリ



ソフト一覧画面

つづく

:部分保存しているｉアプリ
:自動起動に設定中
:ｉアプリ待受画面に設定中
:自動起動とｉアプリ待受画面の両方に設定中
:ｉアプリ待受画面に設定可能
:SSL/TLSページからダウンロード済み
:ICアプリが未設定のｉアプリ
:ダウンロードする必要のあるｉアプリ
:異なるFOMAカードでダウンロード／バージョンアップされているｉアプリ

●microSDカード内のソフト一覧画面を表示するには、「MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ(microSD)▶ソフト一覧(microSD)」の操作を行います。
●FOMA端末内のソフト一覧画面で（表示切替）を押すごとに表示方法を変更します。
●ｉアプリDXの起動時や実行中に、FOMA端末内の情報や機能を利用する旨の確認画面が表示される場合があります。
●おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動した際は、FOMAカードとICカードの対応付けを行うかどうかの確認画面が表示されます。対応付けを行ったFOMAカード情報は、ICオーナー情報としてICカードに登録されます。
●部分保存しているｉアプリを選択した場合は、残りのデータを取得できます。
●「」が表示されているｉアプリは、初めて利用するときのみダウンロードする必要があります。ダウンロードには、別途パケット通信料がかかるものもあります。ダウンロードする前に、表示される説明内容をよくお読みください。
●ｉアプリ実行中は「」や「」が表示されます。
●ｉアプリを終了するにはCLRを1秒以上またはを押して「YES」を選択します。
●最後に起動したソフトが最上段に表示されます。ソフトの並び順は手動で変更できません。
●「ICカード一覧へ」を選択すると、おサイフケータイ対応ｉアプリの一覧が表示されます。元に戻すには「ソフト一覧へ」を選択します。
●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。

お知らせ

●ソフトから他のソフトを起動できるときは確認画面が表示されます。起動するソフトが指定されていない場合はソフトを選択します。
●ｉアプリDXを起動するには、あらかじめ「メイン時計設定」で日付･時刻を設定しておいてください。
●ソフトを実行中に、通信設定が必要な場合があります。
●ｉアプリ実行中に一定時間内の通信回数が極端に多い場合は、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
●ソフトによっては、2in1のモードがBモードまたはデュアルモードのときに利用できないことがあります。
●ソフトによっては、ｉアプリからWeb To 機能やPhone To／AV Phone To 機能なども利用できます。ただし、機能によってはｉアプリ待受画面として実行している場合利用できません。
●ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は通常の画像と一緒には保存されず、ｉアプリの一部として保存、利用されます。
●ｉアプリからカメラを起動した場合、ｉアプリによっては、フレームの設定や画質などを設定できることがあります。
●ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
※ｉアプリで利用する画像とは
･カメラ連携(連動)アプリからカメラを起動して撮影した画像
･ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像
･サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像
･ｉアプリがデータBOXから取得した画像
●メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。
●ｉアプリによっては、ｉアプリ上で使用している各種情報をｉアプリ終了時に保存することがありますが、ｉアプリ実行中に電池切れアラームが鳴ったり、電池パックを外した場合は、各種情報が保存されないことがあります。電池残量が少ないときは、を押すか各ソフトの操作に従ってｉアプリを終了してください。
●ソフトによっては、microSDカードにデータを保存できるものもありますが、他の機種では利用できないことがあります。microSDカードを利用するソフトは「ｉアプリデータ」で確認できます。

お知らせ

- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなります。削除やソフト情報の表示などは可能です。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP(情報サービス提供者)にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP(情報サービス提供者)がソフトに対し、停止･再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、「 」が表示されます。この際、通信料はかかりません。
- ソフトによっては、ｉアプリ上でマイメニューの登録や削除ができるものがあります。
- ソフトによっては、ｉアプリから着うたフル®をダウンロードすることができるものがあります。取得した着うたフル®は、通常の着うたフル®と同じ場所に保存できます。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報表示が参考になる場合があります。
  トレース情報の確認方法は、P.297「トレース情報」をご覧ください。

バーコードリーダーを利用する

ソフトによってはカメラを利用してJANコード、QRコード、CODE128を読み取れます。
ｉアプリ起動中にバーコードリーダーを起動させる操作を行うと、カメラ(バーコードリーダー)が起動します。読み取りたいバーコードをガイド枠に合わせて撮影します。

- CODE128を読み取るには、対応しているｉアプリをダウンロードする必要があります。
- 読み取ったデータはｉアプリで利用･保存されます。

ｉアプリタッチを利用する

Bluetooth通信を利用して対戦などができるソフトの場合、ｉアプリタッチが搭載された他のFOMA端末と マークをかざすことで、簡単にBluetooth接続を行うことができます。

- ｉアプリ待受画面から起動している場合やICカードが使用中の場合は利用できません。
- ヘッドセットなどのBluetooth機器と接続しているときは、ｉアプリタッチが利用できないことがあります。その場合は、Bluetooth機器との接続を解除してから利用してください。
- ICカードロック中や充電中は、ｉアプリタッチを利用できません。

トレース情報

ソフトに異常があった場合に、その内容を確認できます。

1 MENU ▶ ｉアプリ ▶ ｉアプリ実行情報 ▶ トレース情報

- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- トレース情報の画面で「サブメニュー」が表示されているときは、MENU(サブメニュー)を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。
  「microSDへ保存」を選択し、「YES」を選択すると情報をmicroSDカードへ保存します。

セキュリティエラー履歴

セキュリティエラーによりｉアプリが終了した場合に、その内容を確認できます。

1 MENU ▶ ｉアプリ ▶ ｉアプリ実行情報 ▶ セキュリティエラー履歴

- セキュリティエラー履歴の画面で「サブメニュー」が表示されているときは、MENU(サブメニュー)を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。
- セキュリティエラー履歴が作成された場合、デスクトップに「 」が表示されます。「 」を選択してもセキュリティエラー履歴が表示されます。

ソフト一覧画面のサブメニュー

項目		説明
ｉアプリ To 設定		サイトやメールの中のリンクからｉアプリの起動を許可するかどうかを設定します。また、ICカード機能対応読み取り機にFOMA端末をかざしたときなどについても設定できます。ソフトごとに設定できます。 ▶**設定したい項目にチェック**▶📷TV(完了) ●ソフトによっては設定できない項目があります。
自動起動時刻設定		P.313参照
ソフト設定		
	待受画面設定	P.315参照
	通信設定	ｉアプリ実行中に通信するかどうかを設定します。 ▶**通信する・通信しない**▶📷TV(完了)
	待受画面通信	P.316参照
	アイコン情報	ｉモードメール、SMS、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内／圏外アイコンの情報をｉアプリに利用させるかどうかを設定します。 ▶**利用する・利用しない**▶📷TV(完了)
	着信音／画像変更	ｉアプリが着信音・待受画面などの設定を変更するかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**許可する・許可しない・変更ごとに確認** ▶📷TV(完了) ●「変更ごとに確認」を選択した場合は、ｉアプリから着信音・待受画面などの設定を変更しようとするたびに確認画面が表示されます。
	電話帳／履歴参照	ｉアプリが電話帳・リダイヤル・着信履歴の参照をするかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**許可する・許可しない**▶📷TV(完了)
	トルカ参照	ｉアプリがトルカの参照をするかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**許可する・許可しない**▶📷TV(完了)
	位置情報利用	ｉアプリが位置情報を利用するかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**利用する・利用しない**▶📷TV(完了)
	番組表ボタン設定	ワンセグから起動する番組表ｉアプリに設定します。ワンセグと連携機能があるｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**設定する・設定しない**▶📷TV(完了)
	地図設定	GPS機能で使用するｉアプリに設定します。GPS対応のｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**設定する・設定しない**▶📷TV(完了)
	ｉアプリコール	P.314参照
	オートGPS許可	ｉアプリごとにオートGPS機能を利用することを許可するかどうかを設定します。GPS対応のｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**許可する・許可しない**▶📷TV(完了)
ソフト情報		ｉアプリのソフト名、バージョンなどを表示します。
バージョンアップ		▶**YES**
デスクトップ貼付		P.38参照
microSDへ移動		P.394参照
本体へ移動		P.394参照
省電力設定		「α省電力設定」を「設定する」にしているときに、ｉアプリごとに省電力モードを有効にするかどうかを設定します。 ▶**有効にする・無効にする**
削除		
	1件削除	▶**YES**
	選択削除	▶**削除したいソフトにチェック**▶📷TV(完了)▶**YES**
	全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

ｉアプリ／ｉウィジェット

お知らせ

<アイコン情報>

- ｉアプリ待受画面の「アイコン情報」を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、電波受信レベル、圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号と同様にインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- アイコン情報が必要なソフトの場合、「利用しない」に設定すると動作しない場合があります。

<バージョンアップ>

- ソフトによっては、起動時にバージョンアップできるものもあります。
- バージョンアップ時に、「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとバージョンアップが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- 以下の場合は、メール連動型ｉアプリをバージョンアップできません。
  - ･対応するｉアプリメール用フォルダの詳細を表示中
  - ･BOXロック設定中
  - ･対応するｉアプリメール用フォルダにフォルダロックが設定されているとき

<削除>

- microSDカード内のソフト一覧画面では「1件削除」の動作になります。

メール連動型ｉアプリを削除するときは

ｉアプリメール用フォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。
フォルダを残した場合、送信／受信メール一覧からメール本文を確認できます。

YES . . . . . . ソフト･ｉアプリメール用フォルダとも削除します。
NO . . . . ソフトのみ削除して、ｉアプリメール用フォルダは残します。
Cancel . . . ソフト･ｉアプリメール用フォルダとも削除せず元の画面に戻ります。

- 以下の場合は、「YES」を選択してもソフト、ｉアプリメール用フォルダともに削除できません。
  - ･BOXロック設定中
  - ･フォルダにフォルダロックが設定されているとき
  - ･フォルダの詳細を表示中
  - ･フォルダに保護メールが含まれているとき

microSDカード内にデータがあるｉアプリを削除するときは

microSDカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されます。

YES . . . . . ソフト･microSDカード内のデータとも削除します。確認画面で再度「YES」を選択します。「削除」または「選択削除」を実行した場合は端末暗証番号の入力が必要になります。
NO . . . . . . ソフトのみ削除して、microSDカード内のデータは残します。
Cancel . . . ソフト･microSDカード内のデータとも削除せず元の画面に戻ります。

おサイフケータイ対応ｉアプリを削除するときは

ICカード内のデータも削除する旨の確認画面が表示されます。

- 「iD 設定アプリ」は削除できません。
- ICカード機能動作中やICカードロック中は削除できない場合があります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、お客様がソフトを起動してICカード内のデータを削除しないと、ソフトを削除できないものがあります。

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

お買い上げ時には以下のｉアプリが登録されています。

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除できます。削除したｉアプリは「P-SQUARE」のサイト（P.209参照）から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能（P.51参照）が設定されます。
- 再ダウンロードサービス期限
  - ･「モバイルGoogleマップ」：2013年7月末日
  - ･「リバーシ」：2014年3月末日
  - ･「ハイパー四川省」：2014年3月末日
- 再ダウンロードサービスは、期限内であっても予告なく休止または終了する場合があります。

モバイルGoogleマップ

地図を表示して、地域情報やお店情報、ユーザ作成コンテンツを簡単に探し出すことができます。また、航空写真モードに切り替えることや、ストリートビューを見ることができます。また、路線検索で目的地までの移動方法を調べ、目的地までのナビゲーションをすることもできます。



■地図画面について

- MENU：メニューの表示
- 📷TV：検索（地域のお店やサービスの情報、場所を検索して地図上に表示）
- 〔方向キー〕：カーソルの移動
- 〔決定キー〕：コンテキストメニュー（現在地の住所、ここまでの経路、ここからの経路、ストリートビュー、お気に入りに保存、付近を検索）
- 1：ズームアウト
- 2：地図／航空写真の切り替え
- 3：ズームイン
- 0：現在地の表示
- ＊：お気に入りに保存／表示

ビューアスタイルでは画面上のメニューやアイコンを直接タッチして操作することができます。

- ●初めて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。
- ●ご利用には別途パケット通信料がかかります。本ソフトはｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめいたします。
- ●詳細はメニューの「ヘルプ」をご覧ください。

リバーシ

8×8のテーブルの中央に白黒4つの石が対角線上に置かれています。
相手の色の石を自分の色の石で挟むことで、自分の石の色に裏返します。
縦、横、斜め方向から挟むことができます。
白黒交互に石を置き、相手のすべての色を裏返すか、終了時点で相手よりも石の数が多いと勝利です。



ハイパー四川省

ランダムに配置された麻雀牌の中から、同じ種類の牌を2個1組にして消していくパズルゲームです。



ズーキーパーDX スコアアタック



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

一度遊んだら止められなくなるアクションパズルゲームの決定版です。同じ動物を3つ並べて消すだけのシンプルなルールです。アクティブ連鎖でハイスコアを目指してください。
プリインストール版では、スコアアタックモードをお楽しみいただくことができます。
「トコトンモード」や「タイムアタックモード」をお楽しみいただくには、画面の案内に従ってマイメニュー登録し、有料版のダウンロードを行ってください。
- 有料版のご利用には、株式会社バンダイナムコゲームスの「ｉズーキーパー」サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- 有料版のダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

pop’n music



© 2010 Konami Digital Entertainment
※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「pop’n music」は落ちてくるマークに合わせてFOMA端末のボタンを押すことで音楽のリズムに乗って遊ぶゲームです。ボタンを押すタイミングによって「GREAT」「GOOD」「BAD」と判定が表示され、「GREAT」がもっとも得点が高くなります。プリインストール版では、「FREE」のみプレイでき、配信されているすべての楽曲をプレイすることはできません。
有料版をお楽しみいただくには、画面の案内に従ってマイメニュー登録を行ってください。
- 有料版のご利用には、株式会社コナミデジタルエンタテインメントの「コナミネットDX」サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- ご利用および有料版のダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

コミック／小説ビューア



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

話題のコミックや小説を立ち読みできるｉアプリです。アプリを起動後、「オススメ無料ブックコーナー」に接続すると、様々なジャンルの中から、お好みの作品をお楽しみいただくことができます。
小説は名探偵･浅見光彦が活躍する『天河伝説殺人事件』、コミックでは『ONE PIECE』や『君に届け』などの人気作品をお楽しみいただけます。
- コミックや小説のタイトルについては変更される場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ご利用にはｉモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。

99のなみだモバイル体験版



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

心にしみるショートストーリーを通して、安らぎや癒しを得ることができる読書アプリです。プリインストール版では「家族」「愛」「別れ」「人生」の4つのテーマから厳選した人気作品を、1話ずつお楽しみいただくことができます。
その他のストーリーをお楽しみいただくには、画面の案内に従ってマイメニュー登録し、製品版のダウンロードを行ってください。
- 製品版のご利用には、株式会社バンダイナムコゲームスの「ナムコ･ゲームス」サイトへのマイメニュー登録が必要です。
- 製品版のダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

DCMXクレジットアプリ

「DCMX」とは、「iD」に対応した、NTTドコモが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMX/DCMX GOLDの各サービスがございます。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

入会申し込み・審査※1
↓
カード情報設定
↓

使う
面倒なチャージは不要！カード情報設定済みのケータイを下のiDのマークがあるお店でかざすだけで、サインレス※2でショッピングが楽しめます。

確認する
DCMXのサービス内容や今月の利用可能額※3、ご利用明細などもアプリから確認！

変更する
機種変更の設定や有効期限の更新もアプリから設定可能！

※1 DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、iモードのお申し込みページに接続します。
※2 一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。
※3 DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細については、DCMXのiモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：i Menu→メニューリスト→DCMX

サイト接続用QRコード

お知らせ

- カード情報設定が完了するまでは、ソフト一覧画面に「 」または「 」と表示されます。
- 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

■おサイフケータイ対応 i アプリに関するご注意
ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

iD 設定アプリ



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイや「iD」対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単･便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じてお店によって使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、「iD」に対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、「iD 設定アプリ」またはカード発行会社が提供するカードアプリで設定を行う必要があります。なお、ご利用のカードによっては「iD 設定アプリ」で設定の上、カードアプリの設定を行う必要があります。
- 「iD」対応のサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 「iD 設定アプリ」は削除できません。ICオーナーを初期化する場合は、事前に「iD 設定アプリ」の「設定メニュー」から「iDアプリ初期化」を行ってください。
- 「iD」に関する情報については、「iD」のｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→「iD」

サイト接続用QRコード

ドコモwebメール



※画面はイメージです。

「ドコモwebメール」は、パソコンからもFOMA端末からも便利にご利用いただけるメールサービスです。新しいメールアドレス（○○@dwmail.jp）をご利用いただけるほか、現在パソコンなどでご利用中のメールアドレスをそのままご利用いただくこともできます。ｉモードメールの設定により、FOMA端末で送受信したｉモードメールを自動でドコモwebメールへ保存（最大2Gバイト）することもできます。また、蓄積されたメールを簡単に整理できるので、過去にやりとりしたメールが一覧で見やすく表示されます。

- お申し込みにはｉモードのご契約が必要です。ｉモードを解約した場合も引き続きご利用になれますが、パスワードの再発行などの一部機能はご利用になれません。
- FOMA端末からご利用の際は、別途パケット通信料がかかります。ご利用にはｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめいたします。
- ｉモードメールを「ドコモwebメール」へ保存するには、ｉモードメール自動保存設定を行ってください。
- 「ドコモwebメール」に6ヶ月ログインしない状態が続くと、サービスが停止され、メールボックスの保存データ･設定情報がすべて削除されます。
- 現在パソコンなどでご利用中のメールアドレスをそのままお使いいただくには、パソコンサイトで設定する必要があります。設定できるメールサービスや設定方法などの詳細はパソコンサイトをご確認ください。
  パソコンサイト：http://dwmail.jp
- 「ドコモwebメール」に関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→「webメール」

サイト接続用QRコード

Gガイド番組表リモコン

テレビ番組表とテレビのリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利なｉアプリです。知りたい時間の地上デジタル、BSデジタルのテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル･番組内容･開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグを起動することができます。ワンセグから番組表を起動することもできます。

気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をBDレコーダー、DVDレコーダーなどに録画予約をすることができます。（リモート録画予約機能に対応しているBDレコーダー、DVDレコーダーなどが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です。）

さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組の検索が可能です。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の時刻を日本時間に合わせてください。なお、ご利用は番組表の閲覧のみになります。
- 詳しくは、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。



TOPページ



番組表ページ

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

視聴予約機能について

本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

視聴予約の方法

本アプリを立ち上げ番組表を表示して、視聴予約したい番組を選んで◉を押し、「ワンセグ視聴予約」を選択して、「予約実行」を選択してください。視聴予約が起動しますので、画面に従って視聴予約を行ってください。

録画予約機能について

本アプリの番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約をすることができます。

録画予約の方法

本アプリを立ち上げ番組表を表示して、録画予約したい番組を選んで◉を押し、「ワンセグ録画予約」を選択して、「予約実行」を選択してください。録画予約が起動しますので、画面に従って録画予約を行ってください。

リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているBDレコーダー、DVDレコーダーなどをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。

リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

初期設定方法

①BDレコーダー、DVDレコーダーなどにインターネット接続の設定をしてください。（ご利用のBDレコーダー、DVDレコーダーなどの取扱説明書をご確認ください）

②次に本アプリを立ち上げ、「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。

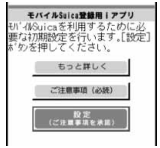
番組予約の方法

初期設定が完了したあと、番組表を表示して、録画予約したい番組を選んで◉を押し、「リモート録画予約」を選択すると、本アプリで設定したBDレコーダー、DVDレコーダーなどへ録画予約をすることができます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- リモート録画予約をミニアプリから削除した場合、再度ダウンロードが必要です。

モバイルSuica登録用ｉアプリ

「モバイルSuica登録用ｉアプリ」は、JR東日本が提供するおサイフケータイ対応サービス「モバイルSuica」をご利用いただく前に必要な初期設定を行う、ドコモが提供するｉアプリです。本アプリにて初期設定を行った後、画面に従ってJR東日本サイトからモバイルSuicaアプリをダウンロードし、会員登録を行ってください。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- はじめてご利用される際には、「ご注意事項（必読）」に承諾いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 本アプリは、初期設定が完了した後に削除できますが、モバイルSuicaサービスで利用していたエリアを他のサービスでご利用いただくためには、ICカード内のデータをすべて初期化（以下、フルフォーマット）していただく必要があります。
- フルフォーマットを実施するには、ドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
- フルフォーマットを実施すると、ICカード内のすべてのデータが削除されます。
- フルフォーマットを行った後にモバイルSuicaサービスを再度ご利用になる場合は、本ｉアプリにて再度初期設定をしていただく必要があります。
- モバイルSuicaに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→【生活情報】おサイフケータイ→モバイルSuica
- 「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

いっしょにデコ

お互いのFOMA端末の マークをかざすだけで、一緒に撮影した静止画に2人でスタンプを貼ったり、線や文字を描いたりしてデコレーションできるｉアプリタッチ（P.297参照）対応アプリです。

- デコレーションした画像は「マイピクチャ」内のフォルダに保存することができます。
- 詳細は、メニューの「ヘルプ」をご覧ください。
- 「いっしょにデコ」は、ソニー株式会社の商標です。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

iアバターメーカー

iアバターメーカーでできること

■アバターをつくる

iアバターメーカーに用意された様々なパーツを利用して、アバターを作成することができます。カメラで撮影した写真やデータBOXに保存してある画像を見ながら作成することや、あらかじめ用意されたアバターの見本を元に作成できます。

■アバターをつかう

作成したアバターは、デコメール®、デコメ絵文字®、デコメアニメ®の素材や、iコンシェルに対応したマチキャラに変換して利用できます。

また、作成したアバターをiアバターサイトに登録することで、いろいろな洋服アイテムに着せ替えたり、コンテストや対応サイトで公開することができます。



© 2010 Acrodea, Inc./ © eitarosoft

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- アバターをデコメアニメ®やマチキャラに変換する際には別途パケット通信料がかかります。
- iアバターサイトにアバターを登録する際には別途パケット通信料がかかります。
- iアバターサイトで着せ替えを行うには、アイテム購入が必要な場合があります。
- iアバターは、株式会社ディーツーコミュニケーションズの商標です。
- アバターメーカーは、株式会社アクロディアの商標です。

マクドナルド トクするアプリ

マクドナルドの新商品など、おすすめ情報をいち早くチェックできるほか、マクドナルドで使える割引クーポン「かざすクーポン」や対象商品の購入でスタンプがたまる「かざす会員証」としても利用できます。

「かざすクーポン」のご利用は「トクするケータイサイト」への会員登録後、アプリからお好みのクーポンを選択・設定し、マクドナルドの店頭に設置されている読み取り機にかざしてご利用ください。



© 2009 McDonald's

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- 「マクドナルド トクするアプリ」に関する情報はマクドナルド公式サイト「トクするケータイサイト」をご覧ください。
  iモードサイト：iMenu→メニューリスト
  →グルメ／レシピ→マクドナルド 🍔 トクする
- 「かざすクーポン」はご利用いただけない店舗があります。「かざすクーポン」が使えない地域では、「見せるクーポン」をご利用いただけます。
- 「おすすめ情報」は「トクするケータイサイト」の非会員でもご覧いただけます。
- 「マクドナルド トクするアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

<かざすクーポンの利用方法>

本アプリを起動

▼

クーポンと使用枚数を選ぶ

▼

「決定」を押してクーポン情報を設定完了

▼

店頭の読み取り機にかざして注文

■ウィジェットアプリ対応(P.317参照)

マクドナルドの「おすすめ情報」が更新されると、ウィジェットアプリのマクドナルドの看板が回転してお知らせします。
看板を選択するとおすすめ情報が表示されます。
おすすめ情報の「もっと詳しく」を押すと、より詳しい情報を見ることができます。



地図アプリ

位置情報を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地までのナビゲーションなどができる便利なｉアプリです。災害時に役立つ施設情報なども検索できます。また、オートGPS機能を利用すれば、自分の居場所に応じた便利な情報を受信することができます。

●詳しくは、P.336をご覧ください。

ｉアプリバンキング

ｉアプリバンキングとは、FOMA端末からモバイルバンキング(ご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込·振替など)を、便利にご利用いただくためのｉアプリです。ｉアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。ペイジーによる請求書·納付書のお支払いも可能です。



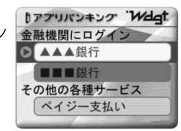
※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

● ｉアプリバンキングでモバイルバンキングを利用するには、ｉアプリバンキングに対応した金融機関の口座およびインターネットバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
●ご利用には別途パケット通信料がかかります。
● ｉアプリバンキングの詳細については「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
● ｉアプリバンキングに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト
→モバイルバンキング
→ ｉアプリバンキング

サイト接続用
QRコード

■ウィジェットアプリ対応(P.317参照)

ｉアプリバンキングウィジェットでは、ウィジェット上でパスワードを入力するだけで簡単にｉアプリバンキングを起動することができ、ご自身の登録している金融機関やオプション機能の利用がより便利に行えます。



楽オク☆アプリ

「楽オク☆アプリ」は、楽オクに簡単に出品できる便利なアプリです。写真撮影から説明文入力、出品設定まで、ステップを進めていくだけで簡単に出品ができ、オークションがはじめてという方でも安心して使えます。説明文が簡単に作れる「かんたん入力」機能や、写真編集、履歴の保存など便利な機能もたくさんあるので、サイトからの出品よりも時間がかからずに出品することができます。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。

  ｉモードサイト：ｉMenu→オークション

サイト接続用QRコード

■**ウィジェットアプリ対応（P.317参照）**

楽オクのおすすめ商品や自分で出品･入札した商品の情報が表示されるので、気になるオークションの状況が簡単に確認できます。



Start! ｉウィジェット

「Start! ｉウィジェット」は、ｉウィジェットの使いかたを動画で見ることのできるアプリです。

また、ｉモード接続を行い、FOMA端末に保存されているもの以外のアプリをダウンロードできるサイトを表示することもできます。

- 「ダウンロード」を選択し、ｉモード接続を行う際は、別途パケット通信料がかかります。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

ROID ウィジェット2

「ROID ウィジェット2」は、モバイルゲームサイト「ROID」の更新情報（ゲームアプリの配信情報など）を自動で取得し、カレンダーウィジェットに表示することができる便利なウィジェットアプリです。

ウィジェットの画面デザインは3種類から選ぶことができ、さらに「ROID」で配信されているゲームの画像などからお好みに応じて変更することもできます。また、専用ゲームアプリをダウンロードするページへジャンプすることもできます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

株価アプリ

「株価アプリ」は、iウィジェットにて株価情報を簡単に見ることのできるアプリです。
表示できる株価情報は、「日経225／TOPIX／ヘラクレス指数」の3指数になります。
それぞれの指数の現在値および前日比を表示することが可能です。
また、チャート情報についても、「日中足／日足／週足／月足」と切り替えることができます。

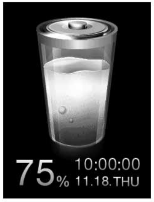


※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 指数の現在値については、約20分遅れの情報となります。
- 本アプリの情報は株式など売買及び売買の支援をするものではありません。
- 本アプリの情報の内容につきましては万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねます。

iWウォッチ

「iWウォッチ」は、iウィジェットにてグラフィカルに時計や電池残量を確認することができるアプリです。
デザインや色は、お好みに応じて変更することが可能です。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

i Bodymo

i Bodymoは、「歩く」や「食べる」など、普段やっていることを気軽に楽しみながら続けることを応援するドコモの健康サービスです。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- 初めてご利用される際には、iアプリをダウンロードする必要があります。
- お申し込みが必要な有料サービスです。また、初めてご利用される際には、初期設定を行う必要があります。
- お申し込み手続きを行う際はネットワーク暗証番号、初期設定を行う際はiモードパスワードが必要となります。
- i Bodymoを利用して歩数のカウントおよび歩数データの記録を行うには、「歩数計設定」を「ON」にする必要があります。（P.419参照）
  また、記録した歩数データを自動でサーバに送信するためには、iアプリの「自動起動設定」を「許可する」にする必要があります。（P.313参照）
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- i Bodymoでゲームを行う際は、専用iアプリのダウンロードが必要です。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 2in1のモードがBモードの場合は、本アプリをご利用いただくことができません。
- i Bodymoに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：i Menu→メニューリスト→i Bodymo

サイト接続用QRコード

かざす請求書

かざす請求書とは、毎月のご利用料金の情報をおサイフケータイに取得し、コンビニエンスストアでお支払いいただくためのｉアプリです。請求書が手元になくても、おサイフケータイがあればお支払いが可能です。また、支払料金の情報をｉアプリで確認できます。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- 初めてご利用される際には、ｉアプリをダウンロードし、初期設定を行う必要があります。
- ｉアプリのダウンロードが完了するまでは、ソフトー覧画面で「（アイコン）」と表示されます。
- ダウンロードにはパケット通信料はかかりません。初期設定および支払料金の取得には別途パケット通信料がかかります。
- かざす請求書に関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。

ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト
→おサイフケータイ→クーポン＆会員証
→かざす請求書

サイト接続用
QRコード

ドコモ料金案内

ドコモ料金案内とは、通話料・パケット通信料など、簡易なご利用履歴が一覧やグラフで確認できるｉアプリです。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

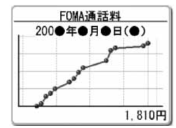
- 初めてご利用される際には、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
- ダウンロードおよびご利用のパケット通信料は無料です。ただし、海外でのご利用は有料となります。
- 案内内容は概算であり、実際の請求金額とは異なる場合があります。
- ドコモ料金案内に関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。

ｉモードサイト：ｉMenu→お客様サポート
→料金確認・診断→料金の確認・お支払い→請求内容のご確認

■ウィジェットアプリ対応（P.317参照）

ウィジェットアプリでは、通話料・パケット通信料などの利用履歴をグラフで簡単に確認できます。





FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリは、測定した場所がFOMAハイスピードエリアであるかどうか、またフェムトセル※を利用できるかどうか確認することのできるアプリです。

※フェムトセルの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意したうえでご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。
- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、iアプリをダウンロードする必要があります。

ヨドバシゴールドポイントカード

「ヨドバシゴールドポイントカード」は、おサイフケータイでゴールドポイントを貯めたり、お買い物に利用したりすることができるアプリです。また、ポイント残高やゴールドポイントカード会員番号を確認することもできます。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- 本アプリをご利用する前に、iモードサイトの「モバイルヨドバシ」で会員登録を行ってください。
- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、iアプリをダウンロードする必要があります。
- iアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 「ヨドバシゴールドポイントカード」に関する情報は、iモードサイトをご覧ください。

  iモードサイト：iMenu→メニューリスト→【生活情報】おサイフケータイ→ヨドバシカメラ

ビックポイント機能付きケータイ

「ビックポイント機能付きケータイ」は、おサイフケータイをビックポイントカードとしてご利用いただけ、ビックカメラの店頭に設置されている読み取り機にかざすだけで、ポイントを貯めたり使ったりすることができるアプリです。また、現在のポイント残高をすぐに確認することもできます。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- 本アプリをご利用する前に、iモードサイトの「ビックカメラドットコム」で会員登録を行ってください。
- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、iアプリをダウンロードする必要があります。
- iアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 「ビックポイント機能付きケータイ」に関する情報は、iモードサイトをご覧ください。

  iモードサイト：iMenu→メニューリスト→【生活情報】おサイフケータイ→ビックカメラ

モバイルAMCアプリ

「モバイルAMCアプリ」は、おサイフケータイを使ってANAの便利なサービスをご利用いただくためのアプリです。

搭乗口でおサイフケータイをタッチするだけでご搭乗いただける国内線「SKiPサービス」や、電子マネー「Edy」でのお支払いでマイルが貯まる「ケータイ de Edyマイル」サービスがご利用いただけます。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- 「ケータイ de Edyマイル」の登録には、あらかじめ「Edy」アプリの登録が必要です。
- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、iアプリをダウンロードする必要があります。
- iアプリのダウンロードが完了するまでは、ソフト一覧画面で「」と表示されます。
- iアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 「モバイルAMCアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- 「モバイルAMCアプリ」に関する情報や「SKiPサービス」・「ケータイ de Edyマイル」の詳細については、iモードサイトをご覧ください。

  iモードサイト：iMenu→メニューリスト→乗換／地図／交通→ANA全日空

<ｉアプリ設定>

ｉアプリの設定を行う

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶以下の操作を行う

自動起動設定	P.313参照
ソフト情報表示設定	P.295参照
ｉウィジェット海外利用設定	P.318参照
ｉウィジェット効果音設定	P.318参照
オートGPS優先設定	オートGPSが動作しているときにｉアプリを起動する際に、ｉアプリ起動中もオートGPSを動作させるかどうかを設定します。 ▶**ON･OFF**
ｉアプリコール機能設定	
ｉアプリコールダウンロード設定	P.315参照
ｉアプリコール音設定	P.315参照
ｉアプリ音量設定	ｉアプリ起動中の音量を設定します。 ▶◎**で音量を調節**
ｉアプリ音優先設定	ミュージック再生中やワンセグ起動中にｉアプリを起動した際に、音声の出力をミュージック／ワンセグ優先にするかｉアプリ優先にするかを設定します。 ▶**ミュージック／ワンセグ優先･ｉアプリ優先**
α照明設定	ｉアプリ起動中のディスプレイの点灯のしかたを設定します。 ▶**項目を選択** **システム依存**. . .「照明設定」に従います。 **ソフト依存**. . . . .ソフトの設定に従います。 **常時点灯**. . . . . . .常時点灯します。
α省電力設定	ｉアプリ起動中にFOMA端末を閉じた際に、ｉアプリを一時停止状態にして電池の消費を抑える省電力モードに設定します。 ▶**設定する･設定しない** ●本機能を「設定する」にしていても、ｉアプリごとに設定できる「省電力設定」を「無効にする」にしたｉアプリを起動中は、省電力モードは無効になります。
αバイブレータ	ｉアプリ起動中のバイブレータの振動のしかたを設定します。 ▶**システム依存･ソフト依存** **システム依存**. . .「バイブレータ設定」の設定に関わらず動作しません。ソフトによっては動作する場合があります。 **ソフト依存**. . . . .ソフトの設定に従います。
ｉアプリ設定確認	「ｉアプリ設定」の各設定内容を確認します。

お知らせ

<α照明設定><αバイブレータ>

●ソフトによってはディスプレイの明るさ、バイブレータの設定が「OFF」になっているものがあります。「ソフト依存」で実行するとそれらは動作しないので、動作させたいときは、「システム依存」に設定してください。

ｉアプリを自動起動する

設定した日時に自動的にｉアプリが起動します。自動起動時刻設定で起動する日時を設定します。

自動起動設定

ｉアプリの自動起動を許可するかどうかを設定します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶自動起動設定▶許可する・許可しない

自動起動時刻設定

自動起動する日時を設定します。3件まで設定できます。

1 ソフト一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶自動起動時刻設定

2 設定したい項目にチェック▶📷TV(完了)

時間間隔設定. . . ソフトに設定された間隔で起動します。設定が終了します。

起動時刻設定. . . 設定した時刻に自動的に起動します。

3 起動時刻を選択▶設定する日付・時刻を入力

4 繰り返しなし▶繰り返しの種類を選択

●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて📷TV(完了)を押します。

5 📷TV(完了)を押す

自動起動情報

ソフトが正しく自動起動したかどうかを確認します。また、ICカードからの起動に失敗した場合の情報も確認できます。自動起動情報は3件まで、ｉアプリから設定された自動起動は1件、ICカードからの起動に失敗した場合の情報は1件記憶されます。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶自動起動情報

起動○ . . . 正常に自動起動しました。

起動× . . . 自動起動しませんでした。

「起動」が表示されている場合は、◉(起動)を押してソフトを起動できます。

未起動 . . . まだ自動起動していません。

●自動起動ができなかった場合、デスクトップに「ソフト」が表示されます。「ソフト」を選択しても、自動起動情報が表示されます。

お知らせ

●次の場合、ソフトは自動起動しません。
- ・FOMA端末の電源がOFFの場合
- ・日付・時刻が設定されていない場合
- ・他の機能が起動中の場合
- ・ダイヤルロック中
- ・「オリジナルロック」で「ｉアプリ」をロック中
- ・アニメーション、Flash画像再生中
- ・「ソフトウェア更新」の予約時刻、「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」「録画予約」のアラームの設定時刻と同じ時刻の場合
- ・同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分以内の起動時刻が設定されていた場合

ｉアプリコールを利用する

ｉアプリコールとは離れた場所にいる友達をｉアプリ上で呼び出し、ネットワーク対戦や情報を共有したりできる機能です。

●ｉアプリコールは友達から直接呼び出される場合と、IP(情報サービス提供者)から呼び出される場合の2通りあります。

●ｉアプリコールの受信を一括拒否することもできます。
詳細は「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA編>)」をご覧ください。

ｉアプリコールを送信して招集する

1 ｉアプリコール対応ｉアプリを起動中▶ｉアプリコールの操作を行う▶YES

- ｉアプリによって操作は異なります。

ｉアプリコールを受信する

ｉアプリコールを受信すると、ｉアプリコール受信音が鳴り、ｉアプリコールに応答するかどうかの確認画面が表示されます。

1 ｉアプリコールの確認画面が表示される▶項目を選択

応答 . . . ｉアプリコールに応答します。対象のｉアプリが起動します。
拒否 . . . ｉアプリコールに応答しません。
保留 . . . ｉアプリコールを一旦保留します。画面上部に「 」が表示され、デスクトップに「 」が表示されます。◉を押し、「 」を選んで◉を押すと、ｉアプリコール履歴が表示されます。

- ｉアプリコールによっては確認画面を表示せずに直接ｉアプリを起動させるものもあります。
- ｉアプリコールに応答するとパケット通信料がかかる場合があります。
- 待受画面以外を表示中は、「 」でのみお知らせします。
- すでに呼び出し対象のｉアプリを起動中の場合の操作は、ｉアプリによって異なります。

「応答」を選択した際に対象となるｉアプリがFOMA端末になかったときは

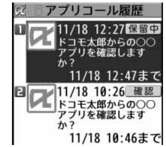
対象となるｉアプリをダウンロードするかどうかの確認画面やサイトに接続するかどうかの確認画面が表示される場合があります。ダウンロードしたり、サイトに接続したりするときは「YES」を選択します。「NO」を選択すると待受画面に戻りますが、この場合、ｉアプリコール履歴は「確認」になります。

ｉアプリコール履歴を確認する

ｉアプリコールを受信すると、ｉアプリコール履歴に30件まで記憶され、相手への返信状況を確認できます。

- 30件を超えると古い履歴から自動的に削除されますが、保留中のｉアプリコールの履歴は削除されません。（30件すべてが保留中の場合は削除されます。）

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリコール履歴



保留中：保留中のｉアプリコール（未返信）
確認：応答済みのｉアプリコール
拒否：拒否したｉアプリコール
期限切れ：期限切れのｉアプリコール

- 保留中のｉアプリコールの履歴を選んで◉（起動）を押すと、再度ｉアプリコールの確認画面を表示できます。（P.314「ｉアプリコールを受信する」参照）
「確認」を選択すると対象のｉアプリが起動します。ただし、有効期間を過ぎたｉアプリコール履歴からは起動できません。
- ｉアプリコール履歴を削除するにはMENU（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

ｉアプリコールの設定を行う

ソフト設定（ｉアプリコール）

ｉアプリごとに、ｉアプリコールからの起動を許可するかどうかを設定します。ｉアプリコール対応のｉアプリDXにのみ設定できます。「設定しない」に設定すると、設定したｉアプリに対するｉアプリコールは受信できません。

1 ソフト一覧画面▶MENU（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）▶ソフト設定▶ｉアプリコール▶項目を選択▶📷TV（完了）

設定する . . . . ｉアプリコールからの起動を許可します。
設定しない . . . ｉアプリコールからの起動ができません。

- 「設定しない」に設定しても、ｉアプリによっては有効にならない場合があります。

ｉアプリコールダウンロード設定

ｉアプリコールの対象となるｉアプリがない場合のｉアプリのダウンロード通知を拒否するかどうかを設定します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定
▶ｉアプリコール機能設定
▶ｉアプリコールダウンロード設定
▶拒否する・拒否しない

ｉアプリコール音設定

ｉアプリコールを受信したときの動作について設定します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定
▶ｉアプリコール機能設定
▶ｉアプリコール音設定▶以下の操作を行う

着信鳴動音選択	▶フォルダを選択▶受信音を選択 ●選択中は、確認のため選択している音が鳴ります。
鳴動時間設定	ｉアプリコール受信音の鳴動時間を設定します。 ▶鳴動時間（秒）を入力 ●「00」～「15」の2桁を入力します。
バイブレータ選択	▶バイブレータのパターンを選択 ●「メロディ連動」を選択するとメロディに合わせて振動します。 ●選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。
イルミネーション選択	▶項目を選択 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが光ります。

＜ｉアプリ待受画面＞

ｉアプリ待受画面を操作する

ソフト設定（待受画面設定）

ｉアプリを待受画面に設定します。一度設定すると、待受画面を表示するたびに自動的にｉアプリ待受画面が表示されます。

1 ソフト一覧画面▶MENU（サブメニュー）▶ソフト設定
▶待受画面設定▶設定する・設定しない▶📷TV（完了）

待受画面に設定すると「」が表示されます。
ｉアプリ待受画面実行中は「」や「」が表示されます。

ｉアプリ待受画面実行中に通常のｉアプリとして操作するには

ｉアプリ待受画面で[i]を押します。
「」や「」が「」や「」の点滅に変わり、通常のｉアプリとして操作できます。
● ｉアプリ待受画面に戻る場合は、CLRを1秒以上押すか、[終話]を押して「終了する」を選択します。「解除する」を選択し、「YES」を選択するとｉアプリ待受画面が解除されます。

お知らせ

● ｉアプリ待受画面を実行した状態でFOMA端末の電源を切った場合、次回電源を入れたときにｉアプリを起動するかどうかの確認画面が表示されます。
● ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1つのみです。
● ｉアプリによっては、待受画面に設定できないものがあります。
●ソフトによっては、ｉアプリ待受画面設定中にボタン操作により通常のｉアプリの状態からｉアプリ待受画面の状態に戻せるものもあります。ただし、他のメニュー機能が起動中はｉアプリ待受画面の状態に戻せません。
●「ソフト設定」の「待受画面通信」を「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
● ｉアプリ待受画面からはWeb To 機能やPhone To／AV Phone To 機能などは利用できません。
●ネットワークに接続するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。

つづく

お知らせ

- メニュー機能の起動中に待受画面を表示したときには、ｉアプリ待受画面を設定していても「待受画面設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面を実行中にｉアプリの通信回数が一定時間内で極端に多い場合は、確認を行う旨の画面が表示されます。[鍵]を押すと、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面表示中にダイヤルロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了し、「待受画面設定」の「待受画面」で設定した画像が表示されます。ロックを解除すると、ｉアプリ待受画面が再表示されます。

ソフト設定(待受画面通信)

ｉアプリ待受画面実行中の通信を許可するかどうかを設定します。

1 ソフト一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶ソフト設定▶待受画面通信▶通信する・通信しない▶📷TV(完了)

待受画面終了

実行中のｉアプリ待受画面を一時的に終了します。また、ｉアプリ待受画面を解除します。

1 MENU▶本体設定▶画面・ディスプレイ▶待受画面設定▶待受画面▶ｉアプリ待受画面終了▶終了・設定解除

- 「設定解除」を選択した場合は「YES」を選択します。

待受画面終了情報

ｉアプリ待受画面が正しく終了しなかった場合に、その日時と理由を確認します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶待受画面終了情報

- 待受画面終了情報の画面で「サブメニュー」が表示されているときは、MENU(サブメニュー)を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。

＜ｉアプリ使用データ＞

microSDカード内のｉアプリ使用データを表示する

ｉアプリによってはmicroSDカード内にデータを保存できるものがあります。

microSDカード内に保存されているｉアプリ使用データを表示します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ(microSD)▶ｉアプリ使用データ

ｉアプリ使用データ表示中のサブメニュー

フォルダ情報	選択したフォルダを利用するソフトやフォルダの利用可／不可、利用不可の場合の原因を表示します。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のデータを削除します。▶端末暗証番号を入力▶YES

ｉウィジェット

ｉウィジェットとは電卓や時計、株価情報など頻繁に利用するコンテンツ(ウィジェットアプリ)にｉウィジェットボタン(◎)1つでアクセスできる便利な機能です。
ウィジェットアプリはIP(情報サービス提供者)などが提供するサイトからダウンロードすることにより追加できます。(P.294参照)
また、ｉウィジェット画面には最大8つのウィジェットアプリを貼り付けることができ、より自分仕様の画面にすることができます。

- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信を行うことがあります。
- ウィジェットアプリをダウンロードする場合、ｉウィジェット画面を表示する場合などは別途パケット通信料がかかります。
- 海外では、ウィジェットアプリの通信が行われるごとにパケット通信料がかかります。
- ｉウィジェットの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

■ウィジェットアプリ一覧

アプリ	参照
マクドナルド トクするアプリ	P.306参照
地図アプリ	P.307参照
ｉアプリバンキング	P.307参照
楽オク☆アプリ	P.308参照
Start! ｉウィジェット	P.308参照
ROID ウィジェット2	P.308参照
株価アプリ	P.309参照
iWウォッチ	P.309参照

ｉウィジェットを利用する

ｉウィジェットを起動する

ｉウィジェットを起動すると、複数のウィジェットアプリを同時に起動できます。複数起動したウィジェットアプリは、ｉウィジェット画面上で同時に表示できます。

1 ◎を押す

ｉウィジェットが起動します。
すでにウィジェットアプリを起動している場合は、ｉウィジェット画面が表示されます。ウィジェットアプリを1件も起動していない場合は、ウィジェットアプリ一覧画面が表示されます。

- ソフト一覧画面でウィジェットアプリを選択しても、ｉウィジェットが起動します。



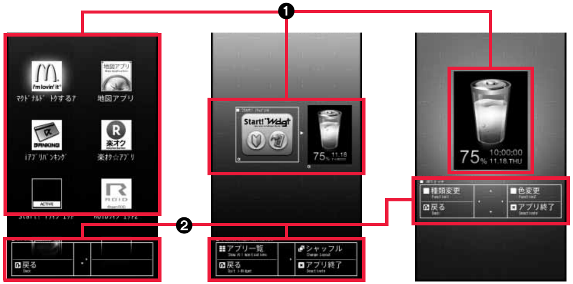
ｉウィジェット画面

お知らせ

- ｉウィジェットで同時に起動、表示できるウィジェットアプリは最大8件までです。ウィジェットアプリを8件起動した状態で、表示するウィジェットアプリを変更したい場合は、使用しないウィジェットアプリを終了してから、ウィジェットアプリ一覧画面から起動してください。ウィジェットアプリの終了についてはP.319参照。
- ウィジェットアプリ一覧画面・ｉウィジェット画面で約3分間何も操作しなかった場合は、自動的に待受画面に戻ります。ウィジェットアプリ操作画面では、自動的に待受画面に戻りません。
- お買い上げ時に登録されているウィジェットアプリを起動中にｉウィジェットを終了して、FOMAカードを差し替えたり、端末初期化を行ったりしても、ウィジェットアプリは終了せずに、ｉウィジェット上で起動した状態のままとなります。

つづく

■ｉウィジェットの画面について



ウィジェットアプリ一覧画面　ｉウィジェット画面　ウィジェットアプリ操作画面

❶ウィジェットアプリ表示部
ウィジェットアプリ一覧画面ではすべてのウィジェットアプリが表示され、起動中のウィジェットアプリには「ACTIVE」と表示されます。
ｉウィジェット画面・ウィジェットアプリ操作画面では、それぞれのアプリが起動した状態で表示されます。

- α：ウィジェットアプリ
- dx：ｉアプリDXに対応したウィジェットアプリ
- ：通信を行うウィジェットアプリ
- ：GPS対応のウィジェットアプリ
- iC：おサイフケータイ対応ウィジェットアプリ
- ：SSL/TLSページからダウンロード済み

❷ナビゲーション表示部
ボタン操作に対応したナビゲーションが表示されます。

ｉウィジェットをシャッフルする

ｉウィジェット画面でのウィジェットアプリの表示位置を変更します。自動で変更されるため、任意で位置を決めることはできません。

1 ｉウィジェット画面▶TV(シャッフル)

ｉウィジェットを終了する

ｉウィジェットを終了し、待受画面に戻ります。

1 ウィジェットアプリ一覧画面・ｉウィジェット画面・ウィジェットアプリ操作画面▶

- ｉウィジェット画面でCLRまたは(戻る)を押しても待受画面に戻ります。
- ウィジェットアプリ操作画面の場合、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

ｉウィジェットの設定を行う

ｉウィジェット海外利用設定

海外での利用時に、ｉウィジェットによる通信を行うかどうかを設定します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ｉウィジェット海外利用設定▶通信する・通信しない

お知らせ

- 海外に到着すると、設定は「通信しない」に設定され、ｉウィジェットを起動する際に確認画面が表示されます。

ｉウィジェット効果音設定

ｉウィジェット起動時に効果音を鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ｉウィジェット効果音設定▶ON・OFF

お知らせ

- ｉウィジェット起動時の効果音は、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「ステップ」に設定しているときはレベル2で鳴ります。

<ウィジェットアプリ起動>

ウィジェットアプリを起動する

1 ウィジェットアプリ一覧画面 ▶起動したいウィジェットアプリを選択

ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。

- ソフト一覧画面でウィジェットアプリを選択しても起動できます。
- すでに起動中のウィジェットアプリを選択しても、ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。
- ウィジェットアプリ操作画面で[CLR]または[✉](戻る)を押すと、iウィジェット画面が表示されます。

ウィジェットアプリを終了する

1 iウィジェット画面・ウィジェットアプリ操作画面 ▶終了したいウィジェットアプリを選んで[iα](アプリ終了)▶YES

ウィジェットアプリ終了情報

ウィジェットアプリが正しく終了しなかった場合に、その日時と理由を確認できます。

1 [MENU]▶iアプリ▶iアプリ実行情報 ▶ウィジェットアプリ終了情報

- ウィジェットアプリ終了情報の画面で「[ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ]」が表示されているときは、[MENU]([ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ])を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ※1も充実しています。
おサイフケータイの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※2よりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードし、設定を行う必要があります。
  - ※1 おまかせロック、ICカードロックをご利用いただけます。(P.127、P.324参照)
  - ※2 ｉMenu→メニューリスト→おサイフケータイ
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ(電子マネー、ポイントなど含む)が消失･変化してしまう場合があります(修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます)。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失･変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難･紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイに移し替える※3ことができるサービスです。
ICカード内データを移し替えたあとは、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード※4するだけで、引き続きおサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

※1 お取り替え元、お取り替え先ともに、iCお引っこしサービス対応のFOMA端末である必要があります。ご利用にあたってはお近くのドコモショップなど窓口にご来店ください。
※2 おサイフケータイ対応サービスによっては、一部iCお引っこしサービス対象外のサービスがあり、移行できるのはiCお引っこしサービス対象のおサイフケータイ対応サービスのICカード内データのみになります。
※3 このサービスは、「コピー」ではなく「移行」されるため、ICカード内データは、お取り替え元のFOMA端末に残りません。iCお引っこしサービスをご利用いただけない場合もございますので、各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスなどをご利用ください。
※4 ｉアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。

<ICカード一覧>

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

ICカード内のデータの読み書きを行う

ソフト一覧画面からおサイフケータイ対応ｉアプリを起動します。おサイフケータイ対応ｉアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーをチャージ(入金)したり、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動する際やダウンロードする際は、「FOMAカード(UIM)情報とICカードの対応付けを行いますか？」と表示されます。「YES」を選択すると、それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用することはできません。
  なお、別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合は、「ICオーナー変更」でICカード内の情報をすべて削除し、「iD 設定アプリ」以外のおサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとICカード機能を利用することはできません。
- 以下の場合は、ソフトからICカード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  ・ｉアプリ起動中に電話がかかってきた場合
  ・電池が切れた場合

1 **MENU▶おサイフケータイ▶ICカード一覧**

おサイフケータイ対応ｉアプリの一覧が表示されます。ｉアプリを選択すると起動します。
- ソフト一覧画面についてはP.295参照。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。

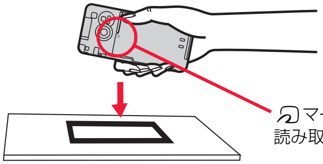
おサイフケータイを利用する

FOMA端末の マークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- 通話中やｉモード接続中でも、マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけます。

1 **FOMA端末の マークを読み取り機にかざして、目的のサービスを利用する**

- FOMA端末を読み取り機に近づけて通信が可能な状態になると、「ICカード通知設定」の設定に従ってFOMA端末が振動したり着信／充電ランプが光ります。



お知らせ

- おサイフケータイご利用時は、電池パックを装着してください。また、電源が入っていないときや電池が消耗してからも マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけますが、おサイフケータイ対応ｉアプリは起動できません。ただし、電池パックを長期間利用しなかったり、電池切れアラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。
- FOMA端末の マークを読み取り機にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 読み取り機にかざすと、おサイフケータイ対応ｉアプリが起動する場合があります。

<ICカードロック>

ICカード機能をロックする

他人に無断でICカード機能を使用されるのを防ぐために、おサイフケータイやトルカ取得、iC通信などを使用できないようにします。

- ICカードロックを設定しているときに電池が切れた場合、ICカードロックは保持されます。

1 **③を1秒以上押す**

「[IC]」が表示され、ICカードロックが設定されます。

- ICカードロックを解除するには、同様の操作を行い、端末暗証番号を入力します。

電源OFF時ICロック設定

電源を切っているときにICカード機能をロックするかどうかを設定します。

1 **MENU▶おサイフケータイ▶ICカードロック設定▶端末暗証番号を入力**

2 **電源OFF時ICロック設定▶項目を選択**

直前の状態を保持 . . . . .電源を切る直前のICカードロックの設定に従います。

ICカードロックON . . . .ICカードロックを設定します。

<ICカード通知設定>

ICカード利用時のFOMA端末の動作を設定する

ICカード利用時にイルミネーションやバイブレータの動作で知らせるかどうかを設定します。

1 **MENU▶おサイフケータイ▶設定▶ICカード通知設定▶以下の操作を行う**

イルミネーション	ICカード利用時に着信／充電ランプが光るように設定します。 ▶ON・OFF
バイブレータ	ICカード利用時に振動するように設定します。 ▶ON・OFF

<ICオーナー確認>

ICカードのオーナー情報を確認する

ICカードを利用する際に求められるICオーナー情報が、現在挿入されているFOMAカードの情報と一致しているかどうかを確認します。

1 **MENU▶おサイフケータイ▶ICオーナー確認**

- 登録されているFOMAカードとは異なるFOMAカードの場合は、●(変更)を押してICカード内のデータを初期化すると、新たにFOMAカード情報を登録できます。

ICオーナー変更

ICカード内のデータを削除してICオーナー情報を初期化します。初期化すると、現在挿入しているFOMAカードで新たに登録し直せます。

- ICオーナー情報を初期化する際は、「iD 設定アプリ」以外のおサイフケータイ対応ｉアプリを削除します。ただし、使用状況によっては削除されないことがあるため、個別に削除する必要があります。

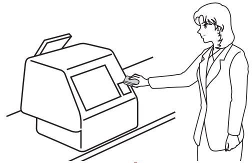
1 **MENU▶おサイフケータイ▶ICオーナー変更▶初期化▶YES▶端末暗証番号を入力▶YES**

<トルカ>
トルカ

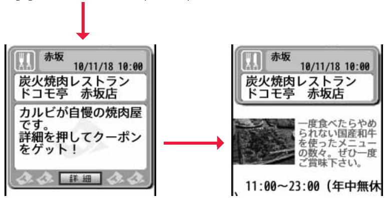
トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り機やサイト、データ放送などから取得が可能で、メールや赤外線通信、iC通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは「おサイフケータイ」の「トルカ」内に保存されます。

- トルカの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

■トルカ利用の流れ

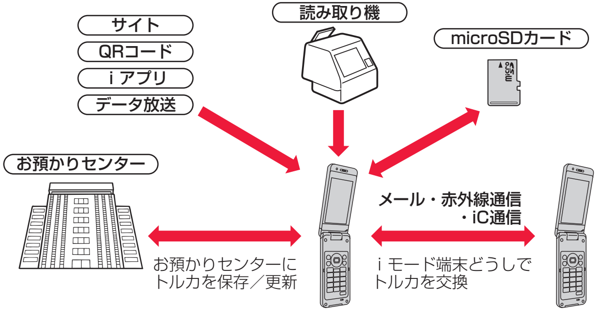


おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得。



「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

■トルカの取得手段



＜トルカ取得＞

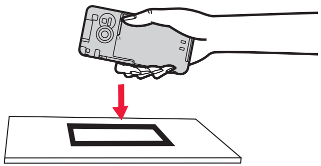
トルカを取得する

読み取り機から取得する

ICカード機能を利用して、読み取り機からトルカを取得します。詳細を取得する前のトルカの場合は詳細情報を取得することにより、より詳しい情報を持ったトルカ(詳細)になります。

- トルカが詳細を取得する前のトルカの場合は1件あたり1Kバイトまで、トルカ(詳細)の場合は1件あたり100Kバイトまでダウンロードできます。

1 FOMA端末の マークを読み取り機にかざす



トルカを取得したときは

トルカ取得音が鳴り、「ICカード通知設定」の設定に従ってFOMA端末が振動したり着信／充電ランプが光ります。

- 詳細を取得する前のトルカの場合は、詳細をダウンロードするためサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると詳細を取得したトルカ(詳細)を表示します。「NO」を選択すると詳細を取得する前のトルカを表示します。
- 何も操作しないで約15秒経過した場合は、デスクトップに「トルカ」が表示されます。●を押し、「トルカ」を選んで●(選択)を押すと、トルカ一覧画面が表示されます。

トルカの自動読み取り機能について

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際に、「自動読取設定」を「ON」に設定していると、利用可能なトルカが自動的に認識されます。利用したトルカは「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。「利用済みトルカ」フォルダ内には20件まで保存され、20件を超えると取得日時の古いものから順に削除されます。

- 「自動読取設定」を「OFF」に設定していても、読み取り機にかざすと、「自動読取設定」を利用するかどうかの確認画面が表示される場合があります。トルカを利用する場合は「YES」を選択して、「自動読取設定」を「ON」にしてください。

お知らせ

- トルカの取得に失敗した場合は、トルカ取得失敗音が鳴り、着信／充電ランプが光ります。
- トルカ取得音や取得失敗音は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で鳴ります。「ステップ」に設定したときはレベル4で鳴ります。
- IP(情報サービス提供者)の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線などで送付できないことがあります。

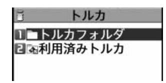
＜トルカビューア＞

トルカを表示する

ICカード機能を利用して取得したり、サイトやメールなどから取得したトルカを表示します。

1 MENU▶おサイフケータイ▶トルカ▶フォルダを選択

- トルカフォルダ一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。



トルカフォルダ一覧画面

2 トルカを選択

おサイフケータイ／トルカ

トルカから詳細情報を取得するときは

詳細を取得する前のトルカはそのままでは詳細な情報は表示されません。トルカに表示されている「詳細」を選択し、「YES」を選択すると、サイトに接続して詳しい情報を取得できます。
トルカは詳細を取得すると上書き保存されます。

お知らせ
- 取得の際は通常のパケット料金がかかります。

トルカフォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。 ▶**フォルダ名を入力** ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 ▶**フォルダ名を入力** ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。
自動振分け設定	トルカを取得した際に、フォルダに設定した条件に合うトルカを自動で振り分けて保存するように設定します。 ▶**振り分け条件を選択** **ジャンル**・・・・・・・振り分けたいジャンルを選択します。 **タイトル**・・・・・・・振り分け条件とする、タイトル内の文字を入力します。 **インデックス**・・・振り分け条件とする、場所データ内の文字を入力します。 ●タイトル振分けでは全角20文字/半角40文字まで、インデックス振分けでは全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●すでに振り分け条件が設定されているフォルダの場合は振り分け条件が表示されます。MENU(サブメニュー)を押して「設定変更」または「解除」を選択すると、再度振り分け条件を設定または解除できます。
☆マーク一覧	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)からお気に入り(☆マーク)に登録したトルカの一覧画面を表示します。 ●iα(☆一覧)を押してもお気に入りに登録したトルカを表示できます。
全検索	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)から検索条件を指定して検索します。 ▶**検索条件を選択** **インデックス**・・・場所データ内の文字で検索したい文字を入力します。 **タイトル**・・・・・・・タイトル内の文字で検索したい文字を入力します。 ●インデックスでは全角10文字/半角20文字まで、タイトルでは全角20文字/半角40文字まで入力できます。

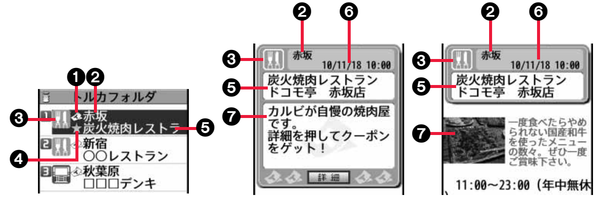
つづく↪

全フィルタ	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)からフィルタ条件を指定して表示します。 ▶**フィルタ条件を選択** **未読のみ** . . . 未読のトルカのみを表示します。 **既読のみ** . . . 既読のトルカのみを表示します。 **ジャンル** . . . 表示したいジャンルを選択します。
全表示	全検索や全フィルタ機能を解除し、FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)を表示します。
iC全送信	P.408参照
赤外線全送信	P.406参照
フォルダ削除	フォルダ内のトルカもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
保存件数確認	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)の件数を表示します。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
お預かりセンターに接続	P.138参照
トルカ全削除	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

お知らせ

<自動振分け設定>
- 複数の条件にあてはまる場合の優先順位は、「ジャンル」→「タイトル」→「インデックス」の順で、さらにトルカフォルダ一覧画面で並び順が上のフォルダに振り分けられます。

トルカ一覧画面・詳細画面の見かた



トルカ一覧画面　トルカ詳細画面（トルカの場合）　トルカ詳細画面（トルカ(詳細)の場合）

❶**トルカの状態を表示します。**

(NEW)※	未読のトルカ
(アイコン)	既読のトルカ

※サイトからダウンロードしたトルカは、未読にはなりません。
- 有効期限切れのトルカには「●」が付きます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているトルカには「▪▪▸×」が付きます。

❷**インデックスデータを表示します。**
トルカの情報を発行している発行元の場所データが表示されます。

❸**カテゴリを表示します。**
トルカの内容に応じたカテゴリアイコンが表示されます。

❹**お気に入りに登録すると表示します。**

❺**タイトルを表示します。**

❻**取得した時刻や日付を表示します。**

❼**トルカの情報を表示します。**
トルカの場合は簡単な説明文と詳細ボタンが、トルカ(詳細)の場合は発行元の情報が表示されます。

トルカ一覧画面のサブメニュー

項目		説明
フォルダ移動		
	1件移動	**▶移動先を選択▶YES** ●トルカ詳細画面では「YES」を選択する操作は不要です。
	選択移動	**▶移動先を選択▶移動したいトルカにチェック▶**[📷TV]([完了])**▶YES**
	全移動	**▶移動先を選択▶YES**
コピー		
	1件コピー	表示または選択中のトルカを別のフォルダにコピーします。 **▶コピー先を選択**
	選択コピー	**▶コピー先を選択▶コピーしたいトルカにチェック▶**[📷TV]([完了])**▶YES**
	全コピー	**▶コピー先を選択**
☆マーク一覧		フォルダ内のトルカからお気に入り(☆マーク)に登録したトルカを表示します。 ●[iα]([★一覧])を押してもお気に入りに登録したトルカを表示できます。
☆マーク／解除		トルカをお気に入りに登録します。お気に入りのトルカには「☆」が付きます。 ●[📷TV]([★マーク])を押してもお気に入りに登録できます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
検索		フォルダ内のトルカから検索条件を指定して検索します。 **▶検索条件を選択** **インデックス** . . . 場所データ内の文字で検索したい文字を入力します。 **タイトル**. . . . . . . タイトル内の文字で検索したい文字を入力します。 ●インデックスでは全角10文字/半角20文字まで、タイトルでは全角20文字/半角40文字まで入力できます。
フォルダ内全表示／全表示		検索やソート、フィルタ機能を解除し、フォルダ内のすべてのトルカを表示します。「全表示」の場合は、FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)を表示します。
ソート		表示される順番を変更します。 **▶順番を選択**
フィルタ		フォルダ内のトルカからフィルタ条件を指定して表示します。 **▶フィルタ条件を選択** **未読のみ**. . . .未読のトルカのみを表示します。 **既読のみ**. . . .既読のトルカのみを表示します。 **ジャンル**. . . .表示したいジャンルを選択します。
メール作成		トルカを添付し、iモードメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。
iC送信		P.407参照
赤外線送信		P.405参照
microSDへコピー		
	1件コピー	P.391参照
	選択コピー	P.391参照
	全コピー	P.391参照
本体へコピー		
	1件コピー	P.392参照

つづく↪

	選択コピー	P.392参照
	全コピー	P.392参照
保存件数確認		FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)の件数を表示します。
保存容量確認		保存容量(目安)を表示します。
トルカ情報		タイトル名や有効期限などを表示します。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶**削除したいトルカにチェック**▶📷TV(完了)▶YES
	全削除	フォルダ内のすべてのトルカを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES

お知らせ

<フォルダ移動>
- 「利用済みトルカ」フォルダには移動できません。

<コピー>
- 「利用済みトルカ」フォルダにはコピーできません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているトルカの場合は、コピーできません。

<メール作成>
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとして添付されます。
- トルカのサイズによっては、iモードメール添付できない場合があります。

トルカ詳細画面のサブメニュー

フォルダ移動		P.329「1件移動」参照
コピー		P.329「1件コピー」参照
メール作成		P.329参照
iC送信		P.407参照
赤外線送信		P.405参照
microSDへコピー		P.391参照
本体へコピー		P.392参照
更新		トルカの情報を再取得します。再取得したトルカ(詳細)は自動で上書き保存されます。 ▶YES ●トルカによってはトルカ更新できない場合があります。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。
画像保存		
	通常画像	トルカに表示されている画像を1件保存します。 ▶**画像を選択** P.208手順2へ進みます。
	背景画像	トルカの背景画像を保存します。 P.208手順2へ進みます。
電話帳登録		P.95参照
リプレイ		トルカ内のアニメーション画像やFlash画像を最初から再生します。 ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。
削除		▶YES

トルカについて設定する

1 MENU▶**おサイフケータイ**▶**設定**▶**以下の操作を行う**

<table>
<tr><td colspan="3">トルカ設定</td></tr>
<tr><td></td><td>ICカードから取得</td><td>ICカード機能を利用して読み取り機からトルカを取得したり、他のFOMA端末からiC送信でトルカを取得するかどうかを設定します。許容する場合、すでに同じトルカが取得済みかを確認するかどうかを設定します。
▶許容する・許容しない▶行う・行わない
行う ......確認を行い、取得済みの場合は再取得しません。
行わない ...確認を行わず、同じトルカでも再度取得します。
●「許容しない」を選択した場合は、「行う」または「行わない」を選択する操作は不要です。</td></tr>
<tr><td></td><td>自動読取設定</td><td>読み取り機にFOMA端末をかざした際に、利用可能なトルカを自動的に認識させるかどうかを設定します。
▶ON・OFF</td></tr>
<tr><td></td><td>スクロール設定</td><td>トルカ詳細画面で◎を押したときにスクロールする行数を設定します。
▶行数を選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">放送トルカ取得設定</td><td>ワンセグ視聴中にデータ放送からトルカを自動的に取得するかどうかを設定します。
▶取得する・取得しない
●ワンセグ視聴中のサブメニューで「ワンセグからトルカ取得」を操作した場合は、「許容する」または「許容しない」を選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ICカード通知設定</td><td>P.324参照</td></tr>
</table>

お知らせ

＜ICカードから取得＞

●同じトルカが取得済みかを確認する場合、「利用済みトルカ」フォルダに保存されているトルカや有効期限切れのトルカはチェック対象に含まれません。

お知らせ

＜自動読取設定＞

●「自動読取設定」を「OFF」に設定していると、トルカを利用できない場合があります。

＜放送トルカ取得設定＞

●取得済みのトルカは再取得しません。

地図・GPS機能

GPS機能のご利用について

- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末が圏外のときは、現在地確認を除き、GPS機能をご利用いただけません。

海外でのGPS機能利用

- 海外の3G/GPRSネットワーク圏内で現在地確認ができます。
- 海外では、「現在地通知」「位置提供」「オートGPS」の機能はご利用いただけません。
- 海外からGPSサービス利用設定に接続した場合はエラー画面が表示され、利用できません。ただし、パケット通信料はかかります。
- 海外では、各国･地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■地図

- 海外で地図を表示する場合、閲覧方法を選択する画面が表示されます。「ｉモードサイト」または「ｉアプリ」を選択すると地図が表示されます。ただし、地図が提供されていなかったり正しく表示できない場合があります。その場合でもパケット通信料はかかります。

■現在地確認

- 測位に失敗した場合、表示される画面から近隣の都市（地域、国、都市の順）を選択することで測位できる場合があります。
- あらかじめ、ｉモード海外利用設定が必要となります。（P.487参照）

■位置履歴

- 海外で測位した履歴には「」が表示されます。ただし、圏外で測位した場合は表示されません。

お知らせ

- 以下の場合はGPS機能を利用できません。（位置提供は可能です。）
  ･ダイヤルロック中　･キー操作ロック中　･おまかせロック中
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  ･建物の中や直下
  ･地下やトンネル、地中、水中
  ･かばんや箱の中
  ･ビル街や住宅密集地
  ･密集した樹木の中や下
  ･高圧線の近く
  ･自動車、電車などの室内
  ･大雨、雪などの悪天候
  ･FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
  ･FOMA端末の画面、ボタン、マイクやスピーカー周辺を手で覆い隠すように持っている場合

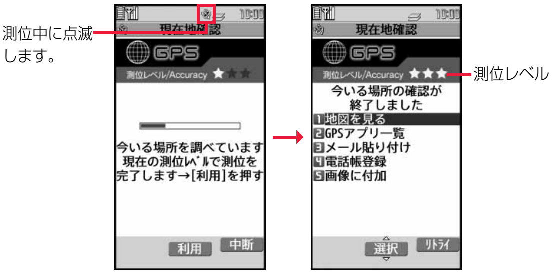
  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者や、ドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。

自分のいる場所を確認する

現在地を測位します。測位した位置情報を利用して地図を表示したり、位置情報をｉモードメールで送信したりできます。

●現在地確認をしたときのパケット通信料は無料です。ただし位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1 MENU▶地図／海外▶現在地確認／通知▶現在地確認



測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

☆☆☆：ほぼ正確な位置情報です。（誤差がおおむね50m未満）
☆☆★：比較的正確な位置情報です。（誤差がおおむね300m未満）
☆★★：おおよその位置情報です。（誤差がおおむね300m以上）

●📷TV（リトライ）を押すと、「品質重視モード」（P.342「測位モード設定」参照）で再度測位されます。
●測位中に画面下に「利用」が表示された場合、●（利用）を押すと、測位途中の情報で各機能を利用できます。
●待受画面で1を1秒以上押しても現在地を測位できます。測位後はP.342「GPSボタン設定」の設定に従って、手順2の項目が実行されます。

2 以下の操作を行う

地図を見る	「地図選択」で設定したGPS対応ｉアプリを起動して地図を表示します。
GPSアプリ一覧	位置情報をGPS対応ｉアプリで利用します。（P.336参照） ●機能によっては「地図・GPSアプリ」と表示される場合があります。
メール貼り付け	位置情報をURL化し、本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。 ▶YES P.144手順2へ進みます。 ●送付する位置情報のURLは、ｉモード対応端末でのみ表示されます。
電話帳登録	P.95参照
画像に付加	位置情報を画像に登録します。 ▶YES▶フォルダを選択▶画像を選択▶📷TV（完了） ▶YES・NO YES．．．．上書きして保存します。 NO．．．．．別データとして保存します。

お知らせ

●FOMA端末が圏外でも「現在地確認」を利用できる場合がありますが、時間がかかったり、周囲の状況によっては測位できないことがあります。

地図・GPS対応ｉアプリを利用する

地図を表示する

「地図選択」で設定したGPS対応ｉアプリを起動します。
お買い上げ時は「地図アプリ」が設定されており、現在地や指定した場所の地図を見たりできます。

1 MENU▶**地図**／**海外**▶**地図**

- 「地図選択」が設定されていない場合、地図を表示する際に利用するGPS対応ｉアプリを選択します。

GPS対応ｉアプリを起動する

GPS対応ｉアプリの一覧からｉアプリを選択して起動します。

1 MENU▶**地図**／**海外**▶**GPSアプリ一覧**▶**ｉアプリを選択**

- ソフト一覧画面についてはP.295参照。

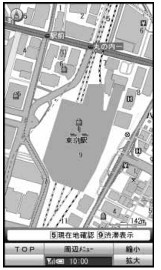
お知らせ

- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、「ソフト設定」の「位置情報利用」を「利用する」に設定してください。

地図アプリを利用する

「地図アプリ」は、位置情報を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地までのナビゲーションなどができる便利なｉアプリです。災害時に役立つ施設情報なども検索できます。また、オートGPS機能を利用すれば、自分の居場所に応じた便利な情報を受信することができます。





© 2010 ZENRIN DataCom CO., LTD.

■サービス利用料金について

本アプリの提供サービスは、以下に分類されます。

無料機能

- 地図表示、周辺情報の検索ができます。グルメクーポンの検索もできます。
- 自動的にGPSで測位した現在地情報に応じて、観光情報やグルメ情報など便利な情報をメッセージRで受信することができます。
- 過去にGPS測位した場所を、市区町村や都道府県単位で地図上に色を塗って表示します。訪れた街が一目でわかる機能です。

有料機能

はじめて地図アプリを起動した日から30日間は無料期間となり、運行情報のメール配信機能以外のすべてのサービスを無料でご利用いただけます。

無料期間終了後、株式会社ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン🏠いつもNAVI」のマイメニュー登録（有料）が必要です。

- 車・電車・徒歩を含めた総合的なナビゲーションができます。渋滞情報を考慮したルート検索も可能です。
- 電車の乗換案内や、時刻表の表示が可能です。
- 仲間の居場所を地図に表示しながら、メッセージのやり取りができます。
- 災害時に役立つ施設の検索が可能です。また、災害用地図アプリという、通信不要のｉアプリを利用できます。自宅周辺などのエリアの災害用地図をあらかじめダウンロードしておけば、いざという場合に役立ちます。

お知らせ

- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。本ソフトはｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめいたします。
- 本ソフトを削除した場合は、MENU▶地図／海外▶ｉエリア－周辺情報－からダウンロードしてください。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は、必ずドライバー以外の方が操作を行ってください。
- オートGPSを利用する場合は、無料のマイメニュー登録が必要となります。
- オートGPSを利用する場合は、アプリを起動していない場合でもパケット通信料がかかります。また、メッセージRを受信する場合のパケット通信料は有料です。
- 画像はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。

<位置提供>

要求に応えて現在の位置情報を提供する

現在地を知らせるように要求があった場合に、現在地を相手に通知できます。利用するサービスによっては、あらかじめ、GPSサービス利用設定を設定する必要があります。（P.342参照）また、「位置提供設定」で位置提供を許可する設定にしておく必要もあります。

<サービスごとの利用設定が「毎回確認」の場合>

1 位置提供要求を受信▶YES・NO

YES. . . 現在地を測位して位置情報を送信します。
NO . . . 位置情報の提供を拒否します。

- 約20秒間何も操作しないと、現在地を提供せず元の画面に戻ります。



<サービスごとの利用設定が「許可」の場合>

1 位置提供要求を受信▶◉（OK）

- ◉（OK）を押すか、約5秒経過すると、現在地の提供を開始します。
- 送信先の情報が表示されないこともあります。
- CLRを押すと提供を中止できます。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。



お知らせ

- 「イマドコサーチ」を利用した相手に位置情報を提供するには、ｉMenu→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「その他サービス設定・確認」→「位置情報利用設定」（イマドコサーチ設定）の設定が必要です。
- 「位置提供設定」を「位置提供OFF」以外に設定している場合は、FOMA端末を操作しなくても位置情報が送信され、検索者に通知されることがあります。

つづく↳

お知らせ

- 位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者には届いていないことがあります。
- 以下の場合は、画面表示されずに要求を拒否します。
  ・「位置提供設定」を「位置提供OFF」に設定している場合
  ・「位置提供設定」を「電話帳登録外拒否」に設定しているときに電話帳に登録されていない相手から位置提供の要求を受けた場合
  ・「位置提供設定」で設定した許可期間外に位置提供の要求を受けた場合
- GPSサービス利用設定で、位置提供を毎回確認に設定した場合、公共モード(ドライブモード)中は位置提供の要求に対して、位置情報は提供されません。
- GPSサービス利用設定で、位置提供を許可に設定した場合、公共モード(ドライブモード)中は鳴動音・バイブレータ・イルミネーションは動作せず、画面表示のみされ、位置情報が提供されます。
- 「イマドコかんたんサーチ」を利用した相手から位置情報の提供を要求されたとき、要求があるたびに今いる場所を送信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。「YES」を選択したあと、GPS測位画面が表示され、GPS測位後に精度の高い測位結果が通知されます。GPS測位中に位置提供を中止しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。
- 2in1のモードに関わらず、Aナンバーでのみ利用できます。
  相手からBナンバーで検索された場合は、位置提供は行われず、検索者には検索失敗が通知されます。
- 位置提供機能の機能利用料は無料です。
- 利用にあたっては、サービス提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。

<地図・GPSサービス>

ドコモが提供する位置情報サービスのサイトに接続する

「イマドコサーチ」は、事前に登録した相手の位置情報を地図で確認することができます。
「イマドコかんたんサーチ」は、探したい相手の電話番号を入力して、相手の位置情報を地図で確認することができます。
「ｉエリア－周辺情報－」を利用すると、自分のいる場所の地図や周辺情報を確認することができます。
各サービスの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

イマドコかんたんサーチ・イマドコサーチの場合

1 MENU▶**地図／海外**▶**イマドコサーチ**▶**イマドコかんたんサーチ・イマドコサーチ**▶**YES**

画面に従って操作を行います。

ｉエリア－周辺情報－の場合

1 MENU▶**地図／海外**▶**ｉエリア－周辺情報－**▶**YES**

画面に従って操作を行います。

<現在地通知>

現在の位置情報を通知する

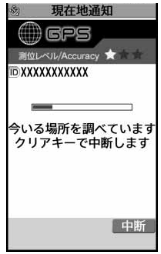
現在地をサービス提供者に通知します。

1 MENU▶**地図／海外**▶**現在地確認／通知**▶**現在地通知**▶**直接入力**▶**通知先を入力**▶◉（ OK ）

- 数字、#、＊で12文字まで入力できます。
- あらかじめ「現在地通知先登録」で通知先を登録しておくと、通知先を選択できます。
- 📷TV（ 中断 ）を押すと測位を中止できますが、タイミングによっては通知される場合があります。



→



2 **OK**

お知らせ

- 位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者には届いていないことがあります。
- 現在地通知機能の機能利用料は有料です。
- 現在地通知を利用するには、現在地通知に対応したサービス提供者への申し込みが必要となる場合があります。また、現在地通知に対応したサービスの利用は有料となる場合があります。
- 2in1のモードに関わらず、Aナンバーにて位置情報を通知します。

<位置履歴>

確認した位置情報の履歴を表示する

現在地確認・現在地通知・位置提供の履歴（通常測位履歴）とオートGPSで測位した履歴（オートGPS履歴）を表示します。通常測位履歴は50件、オートGPS履歴は800件まで記憶されます。

1 MENU▶**地図／海外**▶**地図・GPS設定／履歴**▶**位置履歴**

iαを押すごとに通常測位履歴とオートGPS履歴が切り替わります。

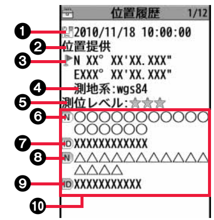
確認：現在地確認
通知：現在地通知
提供：位置提供
オートGPS：オートGPS



2 **位置履歴を選択**

❶測位日時
❷測位機能名
❸位置情報（緯度、経度）
❹wgs84（世界測地系）
- 地球上の位置を緯度・経度で表すための基準です。

❺測位レベル
❻位置提供先名／現在地通知先名
❼位置提供先ID／現在地通知先ID
❽位置提供の検索者名
❾位置提供の検索者ID
❿オートGPS通知先
- オートGPS履歴には、測位結果の他に通知先情報として、通知を行ったサービス名と通知日時を最大4件まで表示します。



お知らせ

- 履歴が最大記憶件数を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

地図・GPS機能

つづく↳

お知らせ

- 位置履歴に記録されている位置情報、測位レベルは、電波状況などにより位置提供先、現在地通知先、サービス提供者に送信された位置情報、測位レベルとは異なる場合があります。
- 現在地確認を途中で中止したときや測位に失敗したとき、「位置提供設定」の設定により位置提供の要求を拒否したときは履歴に記憶されません。
- 位置提供、現在地通知の履歴が記憶されていても、サービス提供者には届いていないことがあります。
- 位置提供や現在地通知の際に測位に失敗した履歴は「検索者に発信」、「検索者にメール作成」、「削除」以外操作できません。
- 位置提供利用時には、2in1の各モードで表示される電話帳と照合して位置提供検索者名が表示されます。

位置履歴表示中のサブメニュー

地図を見る		P.335参照
GPSアプリ一覧		P.335参照
メール貼り付け		P.335参照
検索者に発信		位置提供検索者へ電話をかけます。 （P.211「Phone To／AV Phone To 機能」参照）
検索者にメール作成		位置提供検索者へｉモードメールを作成します。 P.144手順3へ進みます。
電話帳登録		P.95参照
画像に付加		P.335参照
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したい位置履歴にチェック▶📷TV（完了） ▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

＜オートGPS＞

オートGPS機能を利用する

現在地を自動で測位し、位置情報を定期的にGPSサービス提供者に送信することで、お客様の居場所に合わせて、天気情報や店舗情報などの周辺情報や観光情報をお知らせするサービスなど、様々なサービスをご利用いただけます。

- オートGPS機能に対応しているサービスを利用するには、各サービスのオートGPS機能対応ｉアプリからオートGPSサービス情報を設定してください。ドコモが提供するサービスでオートGPS機能を利用するには、ドコモ提供サービス設定を「利用する」に設定してください。ｉアプリからオートGPSサービス情報は3件まで設定できます。
- オートGPS機能を利用すると、お客様の移動状況に基づき自動的に現在地を測位して、サービス提供者に位置情報を送信します（お客様の移動状況に応じて、おおむね5分に1回測位します）。

■オートGPS機能利用時のご注意

- 以下の場合はオートGPSは動作しません。

・ダイヤルロック中　・おまかせロック中　・キー操作ロック中
・セルフモード設定中　・国際ローミング中　・ｉモード未契約時
・時計未設定時　・FOMAカード未挿入時　・電源OFF時
・「ｉモード／web設定」の「接続先設定」が「ｉモード」以外に設定中
・「オリジナルロック」で「GPS」をロック中

オートGPS動作設定

オートGPS機能を利用するかどうかを設定します。（お買い上げ時は「ON」に設定されています。）
オートGPSでは、お客様の移動状況を判定する際に歩幅を利用するため、歩幅も設定します。

1 MENU▶**地図／海外**▶**地図・GPS設定／履歴**▶**オートGPS**▶**オートGPS動作設定**▶**ON・OFF**▶**歩幅（cm）を入力**

- 「030」～「120」の3桁を入力します。

お知らせ

- 「ON」に設定しても、オートGPSサービス情報を設定していない場合は、オートGPSは動作せず、位置情報は送信されません。
- オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置情報の送信には、別途パケット通信料がかかる場合があります。
- お客様のご利用状況によっては、定期的な通信を行うことにより、FOMA端末の消費電力が増加しますのであらかじめご了承ください。

ドコモ提供サービス設定

ｉコンシェルまたはドコモが提供する各種サービスと連動したオートGPSのサービスを利用するかどうかを設定します。

- 「利用する」に設定すると、FOMA端末の位置情報をドコモに定期的に自動で送信します。
- ｉコンシェルや各種サービスは別途お申し込みや利用設定が必要です。

1 MENU▶**地図／海外**▶**地図・GPS設定／履歴**▶**オートGPS**▶**ドコモ提供サービス設定**▶**利用する・利用しない**

お知らせ

- ｉコンシェルやドコモのオートGPSに関する各種サービスが未契約の場合でも、本機能を設定することはできます。

設定サービス一覧

オートGPSサービス情報が設定されているアプリ名やサービス名の一覧と、それらの利用状況(動作中・停止中)を表示します。

1 MENU▶**地図／海外**▶**地図・GPS設定／履歴**▶**オートGPS**▶**設定サービス一覧**

動作中:オートGPS動作中
停止中:オートGPS停止中

設定サービス一覧のサブメニュー

対象ｉアプリを起動		対象のｉアプリを起動します。 ● 📷TV(ｱﾌﾟﾘ起動)を押しても起動できます。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいサービスにチェック▶📷TV(完了)▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- 別のFOMAカードに差し替えると、登録されているオートGPSサービス情報はリセットされます。
- オートGPSサービス情報が設定されているｉアプリを削除したり、microSDカードに移動した場合、オートGPSサービス情報は削除されます。

低電力時動作設定

電池残量が少なくなった場合に、オートGPS機能を停止するかどうかを設定します。

- 「停止する」に設定すると、電池残量が少なくなった場合はオートGPS機能が停止します。また、オートGPSサービス情報の設定もできません。

1 MENU▶**地図／海外**▶**地図・GPS設定／履歴**▶**オートGPS**▶**低電力時動作設定**▶**停止する・停止しない**

お知らせ

- 「停止する」に設定していても充電中は停止しません。

<地図・GPS設定／履歴>

GPSの設定を行う

1 MENU▶**地図／海外**▶**地図・GPS設定／履歴**▶**以下の操作を行う**

項目		説明
位置履歴		P.339参照
地図設定		
	地図選択	「地図」や位置情報から地図を表示するときに利用するGPS対応ｉアプリを選択します。 ▶**ｉアプリを選択**▶**OK** ●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。
	地図起動時動作設定	地図を表示するときに現在地を測位してからGPS対応ｉアプリを起動するかどうかを設定します。 ▶**測位して起動・測位しないで起動**
GPSボタン設定		待受画面で1を1秒以上押して現在地を測位したあとに実行される機能を設定します。P.335手順2の項目から選択します。 ▶**機能を選択** ●「毎回確認」に設定すると、測位するごとに機能を選択できます。
位置提供設定		P.343参照
オートGPS		
	ドコモ提供サービス設定	P.341参照
	オートGPS動作設定	P.340参照
	設定サービス一覧	P.341参照
	低電力時動作設定	P.341参照
測位モード設定		現在地を測位する際のモードを「標準モード」または「品質重視モード」から選択します。 「品質重視モード」にすると時間をかけて測位を行います。その結果、測位の精度がよくなることがあります。 現在地確認・現在地通知・位置提供のそれぞれに測位モードを設定できます。オートGPS機能の測位モードは設定できません。 ▶**設定したい動作を選択**▶**標準モード・品質重視モード**
現在地通知先登録		P.344参照
サービス利用設定		GPSサービス利用設定（「サービス利用／接続先設定」で設定している接続先）に接続して、位置情報の検索許可やパスワードなど、位置提供に対応したサービスの設定を行います。 ●サイト表示中の操作についてはP.193参照。ただし、「再読み込み」と「文字コード変換」以外の機能は利用できません。 ●オートGPS機能が通信中は利用できません。
サービス利用／接続先設定		P.346参照
イルミネーション／鳴動音設定		P.347参照

お知らせ

<地図選択>

●測位した位置情報が選択したｉアプリの提供外の場合、地図が正しく表示されないことがあります。ただし、パケット通信料はかかります。

地図・GPS機能

位置提供設定

現在地を知らせるように要求があったときの動作を設定します。位置提供を許可する設定にした場合、許可する期間を設定できます。

1 MENU▶地図／海外▶地図・GPS設定／履歴▶位置提供設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

位置提供ON . . . . すべての検索者からの位置提供の要求を許可し、現在地を知らせます。
位置提供OFF . . . . . . 位置提供の要求を拒否します。設定が終了します。
電話帳登録外拒否 . . . 電話帳に登録されている相手からの位置提供の要求のみ許可し、現在地を知らせます。電話帳に登録されていない相手からの位置提供の要求は自動的に拒否されます。

2 許可する期間を設定する場合は「YES」を選択▶以下の操作を行う

開始時間	▶許可する開始時刻を入力
終了時間	▶許可する終了時刻を入力
繰り返し設定	▶繰り返しの種類を選択 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて📷TV(完了)を押します。
有効期間設定	繰り返す設定にしている場合は、有効にする期間を設定できます。 ▶設定・設定なし▶開始日を入力▶設定・設定なし▶終了日を入力

3 📷TV(完了)を押す

お知らせ

- 「初期設定」(P.56参照)でも「位置提供設定」を設定できます。
- 「位置提供設定」の設定により位置提供の要求を拒否した場合、位置履歴には履歴が記憶されません。

お知らせ

- 有効期間として設定できるのは、2004年1月1日から2037年12月31日までです。
- 「電話帳登録外拒否」に設定した場合、2in1のモードに関わらず、すべての電話帳に登録されている相手からの位置提供の要求を許可します。
- 起動中の機能によっては、「電話帳登録外拒否」に設定していても電話帳に登録されていない相手からの位置提供の要求を受信する場合があります。

■位置提供を許可する期間を設定したときの動作

<例>現在の日時が「11/18 12:00」のときに開始時刻を14:00、終了時刻を21:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	11/18 14:00～11/18 21:00
毎日	開始日：11/20 終了日：11/25	11/20～11/25の毎日 14:00～21:00
	開始日：11/15 終了日：11/25	11/18～11/25の毎日 14:00～21:00
	設定なし	11/18以降毎日 14:00～21:00
曜日指定	開始日：11/20 終了日：11/25	11/20～11/25の指定した曜日の14:00～21:00
	開始日：11/15 終了日：11/25	11/18～11/25の指定した曜日の14:00～21:00
	設定なし	11/18以降の指定した曜日の14:00～21:00

つづく

＜例＞現在の日時が「11/18 12:00」のときに開始時刻を10:00、終了時刻を21:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	11/18 12:00～11/18 21:00
毎日	開始日：11/20 終了日：11/25	11/20～11/25の毎日 10:00～21:00
	開始日：11/15 終了日：11/25	11/18 12:00～11/18 21:00と 11/19～11/25の毎日 10:00～21:00
	設定なし	11/18 12:00～11/18 21:00と 11/19以降毎日 10:00～21:00
曜日指定	開始日：11/20 終了日：11/25	11/20～11/25の指定した曜日の 10:00～21:00
	開始日：11/15 終了日：11/25	11/18が指定した曜日なら、 11/18 12:00～11/18 21:00と 11/19～11/25の指定した曜日の 10:00～21:00
	設定なし	11/18が指定した曜日なら、 11/18 12:00～11/18 21:00と 11/19以降の指定した曜日の10:00～21:00

＜例＞現在の日時が「11/18 12:00」のときに開始時刻を14:00、終了時刻を10:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	11/18 14:00～11/19 10:00
毎日	開始日：11/20 終了日：11/25	11/20～11/25の間 14:00～翌日10:00
	開始日：11/15 終了日：11/25	11/18～11/25の間 14:00～翌日10:00
	設定なし	11/18以降 14:00～翌日10:00
曜日指定	開始日：11/20 終了日：11/25	11/20～11/25の間、指定した曜日の 14:00～翌日10:00
	開始日：11/15 終了日：11/25	11/18～11/25の指定した曜日の 14:00～翌日10:00
	設定なし	11/18以降の指定した曜日の 14:00～翌日10:00

＜例＞現在の日時が「11/18 12:00」のときに開始時刻を10:00、終了時刻を10:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	11/18 12:00～11/19 10:00
毎日	開始日：11/20 終了日：11/25	11/20 10:00～11/26 10:00
	開始日：11/15 終了日：11/25	11/18 12:00～11/26 10:00
	設定なし	11/18 12:00～11/19 10:00と 11/19以降毎日 10:00～翌日10:00
曜日指定	開始日：11/20 終了日：11/25	11/20～11/25の指定した曜日の 10:00～翌日10:00
	開始日：11/15 終了日：11/25	11/18が指定した曜日なら、 11/18 12:00～11/19 10:00と 11/19～11/25の指定した曜日の 10:00～翌日10:00
	設定なし	11/18が指定した曜日なら、 11/18 12:00～11/19 10:00と 11/19以降の指定した曜日の 10:00～翌日10:00

現在地通知先登録

あらかじめ通知先を登録しておくと、現在地を通知する際に通知先を選択できます。また、登録した電話番号に電話をかけるときに、自動的に現在地を通知することもできます。5件まで登録できます。

1 MENU▶地図／海外▶地図・GPS設定／履歴▶現在地通知先登録

通知先一覧画面が表示されます。登録済みの通知先を選択すると、通知先詳細画面が表示されます。

- デスクトップに貼り付けられている通知先には「★」が付いています。

2 [カメラTV](新規)▶以下の操作を行う

通知先名	▶**通知先名を入力** ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。
通知先ID	▶**通知先IDを入力** ●数字、#、＊で12文字まで入力できます。 ●サービス提供者から指定された通知先IDを入力します。
電話番号	▶**電話番号を入力** ●26桁まで入力できます。 ●[MENU](ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押し、「電話帳参照入力」を選択すると、電話番号を電話帳から呼び出して入力できます。 ●「電話帳参照入力」から電話番号を入力すると、「通知先名」に電話帳の名前が入力されます。
発信時通知設定	登録している電話番号に音声電話やテレビ電話をかけるときに現在地を通知するかどうか設定します。 ▶**する・しない・発信時確認** ●電話をかけるたびに確認する場合は、「発信時確認」を選択します。

3 [カメラTV](完了)を押す

お知らせ

●発信時通知設定を「する」や「発信時確認」に設定していても、発信者番号を通知しないで電話をかけた場合は、現在地を通知しません。

通知先一覧画面・通知先詳細画面のサブメニュー

新規登録	P.344手順1へ進みます。
編集	P.345「現在地通知先登録」手順2へ進みます。 ●登録内容画面で[カメラTV](編集)を押しても編集できます。
デスクトップ貼付	P.38参照
microSDへコピー	FOMA端末に登録している通知先をmicroSDカードにコピーします。 ●「SD現在地通知先」フォルダに保存されます。フォルダが複数ある場合は、保存先フォルダを選択します。 ●通知先を選択する画面が表示された場合は、コピーしたい通知先にチェックを付けて[カメラTV](完了)を押します。
iC送信	P.407参照
赤外線送信	P.405参照
iC全送信	P.408参照
赤外線全送信	P.406参照
電話帳登録	現在地通知先に登録されている通知先名と電話番号を電話帳に登録します。(P.95参照)
お預かりセンターに保存	P.138参照
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶**削除したい通知先にチェック**▶[カメラTV](完了)▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES

microSDカード内の現在地通知先を表示する

1 通知先一覧画面▶[メール](microSD)

通知先フォルダ一覧画面が表示されます。

●[メール](本体)を押すと、FOMA端末内の通知先を表示します。

2 フォルダを選択

SD通知先一覧画面が表示されます。通知先を選択すると、SD通知先詳細画面が表示されます。

通知先フォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。 ▶フォルダ名を入力 ●全角31文字/半角63文字まで入力できます。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 ▶フォルダ名を入力 ●全角31文字/半角63文字まで入力できます。
フォルダ削除	選択しているユーザフォルダを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

SD通知先一覧画面・SD通知先詳細画面のサブメニュー

フォルダ移動		
	1件移動	microSDカード内の通知先をmicroSDカード内の別のフォルダに移動します。 ▶移動先を選択▶YES
	選択移動	▶移動先を選択▶移動したい通知先にチェック ▶📷TV(完了)▶YES
	全移動	▶移動先を選択▶YES
コピー		
	1件コピー	microSDカード内の通知先をmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶コピー先を選択
	選択コピー	▶コピー先を選択▶コピーしたい通知先にチェック ▶📷TV(完了)▶YES
	全コピー	▶コピー先を選択
本体へコピー		microSDカード内の通知先をFOMA端末にコピー(追加)します。 ●通知先を選択する画面が表示された場合は、コピーしたい通知先にチェックを付けて📷TV(完了)を押します。 FOMA端末内の登録件数が5件を超える件数分はチェックできません。
microSD情報表示		保存容量(目安)を表示します。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したい通知先にチェック▶📷TV(完了)▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<フォルダ移動>
●SD通知先詳細画面では、「1件移動」の動作になります。

GPSのサービスを利用する際の接続先を変更する

※通常は、設定を変更する必要はありません。

サービス利用設定の接続先を変更するときに設定します。

1 MENU▶地図/海外▶地図・GPS設定/履歴▶サービス利用/接続先設定▶<未登録>を選んで📷TV(編集)

●登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
●登録済みの接続先を削除するには、MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

2 端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う

接続先名称	▶接続先名称を入力 ●半角英数字で99文字まで入力できます。

接続先アドレス	▶URLを入力 ●半角英数字で100文字まで入力できます。

3 📷TV(完了)を押す

イルミネーション／鳴動音設定

現在地確認を行うときや位置情報の提供要求があったときなどに鳴る音を選択します。また、着信／充電ランプの色やバイブレータのパターンなども設定できます。

1 MENU▶地図／海外▶地図・GPS設定／履歴▶イルミネーション／鳴動音設定▶以下の操作を行う

音量	▶設定したい動作を選択▶◎で音量を調節
音選択	▶設定したい動作を選択▶メロディ・OFF ▶フォルダを選択▶着信音を選択 ●選択中は、確認のため選択している音が鳴ります。
バイブレータ	▶設定したい動作を選択▶バイブレータのパターンを選択 ●「メロディ連動」を選択するとメロディに合わせて振動します。 ●選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。
通知時間設定	測位鳴動音の鳴動時間を設定します。 ▶設定したい動作を選択▶ON・OFF ▶鳴動時間(秒)を入力 ●「01」～「30」の2桁を入力します。ただし、「位置提供/毎回確認」の場合のみ「01」～「20」の2桁を入力します。
イルミネーション選択	▶設定したい動作を選択▶項目を選択 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが光ります。

各機能から位置情報を利用する

位置情報は電話帳や画像などに登録することができます。また、位置情報を参照して、サイトやトルカなどのリンク先を選択した際に送信したり、i モードメールの本文にURL化して貼り付けたりできます。

位置情報を登録する

1 登録したいデータのサブメニュー▶位置情報付加▶項目を選択

現在地確認から付加 . . . 現在地を測位して位置情報を登録します。測位完了を確認し、◉(OK)を押します。
位置履歴から付加. . . . . 位置履歴から位置情報を選択して登録します。
電話帳から付加 . . . . . . 電話帳に登録されている位置情報を登録します。電話帳を選択します。
画像から付加 . . . . 画像に登録されている位置情報を登録します。フォルダを選択し、画像を選択します。
マイプロフィールから付加
. . . . プロフィールに登録している位置情報を登録します。端末暗証番号を入力し、◉(確定)を押します。

●登録済みの位置情報を確認する場合は「位置情報詳細」を、削除する場合は「位置情報削除」を選択します。
●電話帳に位置情報を登録する場合も同様の操作を行います。

位置情報を参照する

1 参照したい機能から位置情報を参照▶項目を選択

現在地確認／現在地確認から貼付
. . . . .現在地を測位して位置情報を取得し、参照します。

位置履歴より参照／位置履歴から貼付
. . . . .位置履歴から位置情報を選択して参照します。

電話帳より参照／電話帳貼付
. . . . .電話帳に登録されている位置情報を参照します。電話帳を選択します。

プロフィール貼付 . . .プロフィールに登録している位置情報を参照します。端末暗証番号を入力し、●(確定)を押します。

- メール本文入力画面ではサブメニュー「位置情報貼り付け」を選択します。また、項目を選択したあとは「YES」を選択します。

地図・GPS機能

データ管理

データBOX

データBOXには以下のような項目とフォルダがあります。種類に合わせてそれぞれのフォルダに保存されます。

マイピクチャ		
ｉモード		ダウンロードした静止画など
	ｉモードで探す	データサイトに接続
カメラ		カメラで撮影した静止画や撮影したキャラ電ピクチャなど
デコメピクチャ		デコメール®作成で使用できる静止画
	ｉモードで探す	データサイトに接続
デコメ絵文字	お気に入り※1	デコメール®作成で使用できる絵文字 ●お買い上げ時に保存されているデコメ絵文字®は削除できます。 「P-SQUARE」(P.209参照)のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.51参照)が設定されます。
	ｉ絵文字※1	
	装飾※1	
	ハート･キラキラ※1	
	天気･季節※1	
	移動･生活※1	
	電話･メール※1	
	食べ物※1	
	キャラクター※1	
	文字※1	
	ｉモードで探す	データサイトに接続
手書き	手書きフォト／メモ	手書きフォト／メモで保存した静止画
	テンプレート	手書きフォト／メモの背景に使用できる静止画
	手書きダイアリー※2	手書きダイアリーで保存した静止画
プリインストール		お買い上げ時に登録されている静止画
自動お預かり※3		お預かりセンターに自動保存したい静止画
ピクチャアルバム		ピクチャアルバムを起動
ユーザフォルダ※4		ユーザフォルダ内の静止画
自作アニメ		静止画連続再生機能
フレーム／スタンプ		フレーム、マーカースタンプに使用できる静止画
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD	ピクチャ	カメラで撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたDCF規格に準ずるJPEG形式、GIF形式の画像
	イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーション画像やDCF規格外のJPEG形式の画像
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある静止画
	デコメ絵文字	FOMA端末からコピーしたデコメール®用の絵文字

ミュージック		
ミュージックプレーヤー		ミュージックプレーヤーを起動
ｉモード	初期フォルダ	サイトから取得した着うたフル®などの音楽データ
	ユーザフォルダ※4	ユーザフォルダ内の着うたフル®などの音楽データ
	ｉモードで探す	データサイトに接続
	microSD	ダウンロードしたり、FOMA端末から移動した著作権のある着うたフル®などの音楽データ
WMA		パソコンから取り込んだWMAファイル
Music&Videoチャネル		
配信番組		Music&Videoチャネルでダウンロードした番組
保存番組		FOMA端末に保存した番組
microSD		FOMA端末から移動した番組
ｉモーション･ムービー		
ｉモード		サイトから取得したｉモーションなど
	ｉモードで探す	データサイトに接続
カメラ		カメラで録画したｉモーションや撮影したキャラ電の動画など
プリインストール		お買い上げ時に登録されているｉモーション
ボイスレコーダー		ボイスレコーダーで録音した音声
ユーザフォルダ※4		ユーザフォルダ内のｉモーション
BD／DVDレコーダー		HDDレコーダーから転送した動画
プレイリスト		プレイリスト再生
しおり		しおり再生
ムービー	フォルダ一覧	FOMA端末内のムービーのフォルダ一覧
	しおり	しおり再生
	再生履歴	ムービーの再生履歴
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD	SDビデオ	カメラで撮影した動画やFOMA端末からコピーしたｉモーション
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるｉモーション
	その他コンテンツ	カメラ機能を使って記録した音声のみのｉモーション※5、FOMA端末からコピーした音声のみのｉモーション※5、FOMA端末からコピーした映像が再生不可能なｉモーション※5
	SDムービー	ダウンロードしたり、FOMA端末から移動したムービー

メロディ		
ｉモード		ダウンロードした着信音に設定できるメロディなど
	ｉモードで探す	データサイトに接続
プリインストール		お買い上げ時に登録されている着信音に設定できるメロディ
ユーザフォルダ※4		ユーザフォルダ内の着信音に設定できるメロディ
おしゃべり		「おしゃべり機能」で録音したデータ
プログラム		プログラム再生
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD	メロディ	FOMA端末からコピーしたメロディ
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるメロディ
マイドキュメント		
ｉモード		お買い上げ時に登録されているPDFデータやダウンロードしたPDFデータ
ユーザフォルダ※4		ユーザフォルダ内のPDFデータ
microSD		ダウンロードしたPDFデータやFOMA端末からコピーしたPDFデータ
きせかえツール		
ｉモード		ダウンロードしたきせかえツールなど
	ｉモードで探す	データサイトに接続
プリインストール		お買い上げ時に登録されているきせかえツール
ユーザフォルダ※4		ユーザフォルダ内のきせかえツール
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD		ダウンロードしたきせかえツールやFOMA端末から移動したきせかえツール
マチキャラ		
ｉモード		お買い上げ時に登録されているマチキャラやダウンロードしたマチキャラ
	ｉモードで探す	データサイトに接続
ユーザフォルダ※4		ユーザフォルダ内のマチキャラ
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD		ダウンロードしたマチキャラやFOMA端末から移動したマチキャラ
キャラ電		
お買い上げ時に登録されているキャラ電やダウンロードしたキャラ電		

ワンセグ	
イメージ	ワンセグで録画した静止画
ビデオ	ワンセグで録画したビデオや、他のAV機器で作成したワンセグ対応の著作権保護対応動画
しおり	しおり再生
ドキュメントビューア	
メール(添付ファイル)から保存したドキュメントファイル	
SDその他ファイル	
SDその他	メール(添付ファイル)から保存した非対応のファイルやダウンロードしたBMP形式とPNG形式のファイル

※1 「フォルダ名編集」を行うと、フォルダ名が変更されます。また、デコメ絵文字®はフォルダに直接保存され、フォルダにはデコメ絵文字®以外は保存できません。

※2 手書きダイアリーを削除する際に静止画として保存した場合は、「月ダイアリーYYYYMM_XXX」フォルダや「全ダイアリーYYYYMMDD_XXX」フォルダが作成されます。(Y:西暦、M:月、D:日、X:数字)

※3 初めて「自動お預かり」フォルダを選択した場合、フォルダの説明とケータイデータお預かりサービスについての確認画面が表示されます。

※4 「フォルダ追加」で入力したフォルダ名が表示されます。

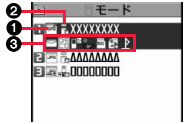
※5 AAC形式の音楽データを含みます。

つづく

■ファイル一覧表示中のアイコンについて



ピクチャ一覧



タイトル名一覧

❶ファイル種別

アイコン	種別	ファイル形式
	静止画	JPEG
	位置情報付き静止画	JPEG
	静止画／アニメーション画像	GIF
	フレーム	GIF
	マーカースタンプ	GIF
	Flash	SWF
(緑色)	ｉモーション	MP4(AMR)
(青色)	ｉモーション	MP4(AAC)
	ｉモーション	MP4(AAC+[HE-AAC])
	ｉモーション	MP4(Enhanced aacPlus)
(赤色)	ｉモーション	ASF
	ムービー	WMV、ASF
	インターネット上のムービー	WVX、ASX
	ムービー	WMA
	インターネット上のムービー	WAX
	視聴済み「BD／DVDレコーダー」フォルダ内動画	MP4
	未視聴「BD／DVDレコーダー」フォルダ内動画	MP4
	ビデオ	MPEG2-TS
	他の機器でプロテクトがかけられたビデオ	MPEG2-TS
	部分保存されているｉモーション	―

アイコン	種別	ファイル形式
	メロディ	SMF
	メロディ	MFi
	完全なPDFデータ	PDF
	部分的なPDFデータ	PDF
	不完全なPDFデータ	PDF
	壊れているPDFデータ	PDF
	きせかえツール	―
	部分保存されているきせかえツール	―
	マチキャラ	―
	部分保存されているマチキャラ	―
	キャラ電	―
	Wordファイル	WORD
	Excelファイル	EXCEL
	PowerPointファイル	POWERPOINT
	TEXTファイル	TEXT
	非対応ファイル	―

● ファイル制限が設定されているファイルの場合、アイコンに「 」が付きます。
● ファイルによっては、再生できる回数･期限･期間が制限されているものがあります。再生制限のあるファイルのアイコンには「 」、再生制限切れのファイルのアイコンには「 」が付きます。

❷取得元

アイコン	説明
※1	サイトやｉモードメール添付などから取得
	FOMA端末で撮影、ボイスレコーダーで録音、手書きフォト／メモ･手書きダイアリーで保存
	赤外線通信やiC通信、microSDカードなどから取得
	キャラ電撮影
	ワンセグで静止画録画
※2	ワンセグでビデオ録画
※3	ｉモードで再生したインターネット上のムービー
※3	フルブラウザで再生したインターネット上のムービー
※3	FOMA端末に保存したムービー
※3	microSDカードに保存したムービー

※1 著作権のあるファイルでmicroSDカードに移動可の場合は「 」が表示されます。
※2 未視聴の場合は「 」が表示されます。
※3「ムービー」フォルダの「しおり」内と「再生履歴」内でのみ表示されます。

❸ファイルの状態

アイコン	説明
	ｉモードメール添付が可能
	デコメール®に画像挿入や、デコメアニメ®作成が可能
	ピクチャ貼付が可能
	赤外線送信やiC送信が可能
	microSDカードへコピー可能
	アップロードが可能
	位置情報を利用可能
(グレー)※	お預かりセンターへの自動保存が未完了
(青色)※	お預かりセンターへの自動保存が完了
(赤色)※	お預かりセンターへの自動保存対象外

※「マイピクチャ」内の「自動お預かり」フォルダ内でのみ表示されます。

<ピクチャビューア>

画像を表示する

FOMA端末内またはmicroSDカード内に保存した静止画を表示します。

1 **MENU▶データBOX▶マイピクチャ▶フォルダを選択▶ファイルを選択**

- フォルダ一覧画面で を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- フォルダ一覧画面のサブメニューはP.401参照。
- 静止画一覧画面で (切替)を押すごとに表示方法を変更します。



フォルダ一覧画面



静止画一覧画面

- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。



- 他の機能でフォルダや静止画を選択するときは、機能によって表示されないフォルダや静止画があります。また、静止画を選択中に (デモ)を押して静止画を確認できる場合があります。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。

ワンセグで録画した静止画を表示する場合

1 **MENU▶データBOX▶ワンセグ▶イメージ▶ファイルを選択**

データ管理

つづく↳

■静止画再生時の操作

操作	ボタン操作
次のファイルを表示※1	(右キー)
前のファイルを表示※1	(左キー)
ズーム(拡大／縮小)※2※3	(決定キー)(ズーム)※4 ●ズーム中に(カメラ/TVキー)(＋)／(MENU)(－)で拡大／縮小 ●拡大中に(方向キー)でスクロール ●元に戻すには(決定キー)(戻る)
表示方向切替※2※5	(メールキー)(回転) ●押すごとに静止画を時計回りに90度ずつ回転

※1 静止画一覧画面の並び順で表示します。
※2 画像サイズやファイル形式によっては操作できない場合があります。
※3 400%まで拡大できます。ただし、拡大できる倍率は画像サイズにより異なります。
※4 Flash画像再生中は、一時停止／再生の操作になります。
※5「ｉモード」フォルダ、「カメラ」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ、microSDカードのフォルダ、「ワンセグ」の「イメージ」フォルダ内の静止画のみ操作できます。

■静止画再生の仕様について

ファイル形式	JPEG※1、GIF、Flash
拡張子	jpg、gif、swf、ifm
画素数	13M(3120×4160)以下のファイル※2
ファイルサイズ	8Mバイト以下の静止画

※1 再生できるJPEGファイルの種類は、Exif／CIFF／JFIF形式のBaselineとProgressiveです。
※2 Progressive形式のファイルの場合はVGA(480×640)以下、GIFファイルの場合は5M(1944×2592)以下のファイルまで表示できます。

●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。
●Flash画像は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で音が鳴ります。

静止画一覧画面のサブメニュー

項目		説明
メール添付／ブログ		
	ｉモードメール添付	P.144手順2へ進みます。 ●(カメラ/TVキー)(MAIL)を押してもｉモードメールを作成できます。
	デコメ作成	「デコメピクチャ」フォルダ、「デコメ絵文字」フォルダからデコメール®を作成します。 P.144手順2へ進みます。 ●デコメール®についてはP.147参照。
	ブログ投稿	「ブログ･メールメンバー」で設定済みの投稿先を宛先にしたｉモードメールを作成します。 P.144手順3へ進みます。
ピクチャ貼付		画像を待受画面などに貼り付けて表示します。 ▶**貼付先を選択** ●それぞれの貼付先を選択したときの操作についてはP.111、P.113参照。 ●貼付された項目には「★」マークが付きます。「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連の項目には、すでに貼付されていても表示されません。 ●「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目を選択した場合、状態に応じたメッセージが静止画の中央に表示されます。
ピクチャ情報		静止画のファイル名などを表示します。 ●自作アニメのピクチャ情報では、ピクチャ貼付の項目のみ表示されます。
赤外線送信		P.405参照
IrSS		P.405参照
iC送信		P.407参照
デスクトップ貼付		P.38参照
microSDへコピー		
	1件コピー	P.391参照

項目		内容
	選択コピー	P.391参照
	全コピー	P.391参照
本体へコピー		
	1件コピー	P.392参照
	選択コピー	P.392参照
	全コピー	P.392参照
お預かりセンターに保存		P.138参照
編集		
	ピクチャ編集	P.361参照
	タイトル編集	▶**タイトルを入力** ●FOMA端末内のファイルの場合、全角9文字/半角18文字まで入力できます。 ●microSDカード内のファイルの場合、全角18文字/半角36文字まで入力できます。
	ファイル名編集	▶**ファイル名を入力** ●半角英数字、記号(「.」、「-」、「_」のみ)で36文字まで入力できます。
	ファイル制限	ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。 ▶**なし・あり**
	お預かり済アイコンクリア	お預かりセンターへの自動保存が完了した静止画を一括で自動保存未完了に変更します。 ▶YES
microSDへ移動		
	1件移動	P.393参照
	選択移動	P.393参照
	全移動	P.393参照
本体へ移動		
	1件移動	P.394参照
	選択移動	P.394参照
	全移動	P.394参照
位置情報		
	位置情報付加	P.347参照
	位置情報削除	画像に登録済みの位置情報を削除します。 ▶YES
	位置情報詳細	位置情報の詳細を確認できます。 ●詳細を表示中にMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押すと、位置情報を利用した操作を実行することができます。(P.335参照)
フォルダ移動		
	1件移動	静止画・ｉモーション・ムービー・メロディ・PDFデータ・ドキュメントファイル・きせかえツール・マチキャラ・SDその他ファイルを別のフォルダに移動します。 ▶**移動先を選択**▶YES ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、📷TV( )を押すと表示できます。上の階層に戻すにはCLRを押します。
	選択移動	▶**移動先を選択**▶**移動したいファイルにチェック**▶📷TV(完了)▶YES
	全移動	▶**移動先を選択**▶YES
DPOF設定		P.416参照
スライドショー		フォルダ内の静止画を選択している静止画から順にすべて表示していきます。静止画が切り替わる速度を選択できます。 ▶**標準・スロー** ●(停止)を押すとスライドショーが停止します。再度●(再開)を押すとスライドショーが再開します。
コピー		

つづく

	1件コピー	microSDカード内の静止画･iモーション･ムービー･メロディ･PDFデータ･ドキュメントファイル･SDその他ファイルをmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶コピー先を選択
	選択コピー	▶コピー先を選択▶コピーしたいファイルにチェック▶📷TV(完了)
	全コピー	▶コピー先を選択
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート		表示される順番を変更します。 ▶順番を選択 ●microSDカード内のファイルはソートできません。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいファイルにチェック▶📷TV(完了) ▶YES
	全削除	フォルダ内に保存しているすべてのファイルを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<iモードメール添付><ブログ投稿>
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいJPEG画像(Progressive形式のファイルを除く)の場合は、2Mバイト以下に変換します。
- 画像によってはiモードメール作成できない場合があります。
- 「ブログ投稿」の場合、画像によっては、FOMA端末で表示されている向きから回転してアップロードされることがあります。

お知らせ

<デコメ作成>
- 画像サイズがSub-QCIF(96×128)より大きいときは、画像サイズの変更方法を選択する画面が表示されます。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。
  「そのまま添付」を選択すると画像サイズは変更しません。
  「Sub-QCIF縮小添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(96×128)以下に縮小します。
  「Sub-QCIF切出し添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(96×128)以下に縮小･切り出しします。
  ファイルサイズがデコメール®作成可能サイズを超える場合は、デコメール®作成可能サイズ以下に変換します。
- Sub-QCIF(96×128)に縮小または切り出しした場合、📷TV(取消)を押すかMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「取消」を選択すると再度縮小･切り出しを設定できます。また、●(確定)を押すか、MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「確定」を選択するとiモードメール作成画面が表示されます。
- 画像によってはデコメール®作成できない場合があります。

<ピクチャ貼付>
- Flash画像は待受画面、ウェイクアップ表示、音声電話／テレビ電話の発着信画面、メールの送受信画面、問い合わせ、メール／メッセージ着信結果以外には貼り付けできません。
- アニメーションGIF形式の画像はテレビ電話の発着信画面以外のテレビ電話関連項目には貼り付けできません。
- 画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと違う場合があります。
- ファイルによってはピクチャ貼付できない場合があります。

<タイトル編集>
- ファイルによってはタイトル編集できない場合があります。
- microSDカードの「デコメ絵文字」フォルダ、「移行可能コンテンツ」フォルダでは、「編集」メニューは表示されずに「タイトル編集」を選択する操作となります。

<ファイル名編集>
- ファイルによってはファイル名編集できない場合があります。
- ファイル名に半角スペースは使用できません。

お知らせ

＜ファイル制限＞
- ファイルによってはファイル制限を設定できない場合があります。
- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。

＜フォルダ移動＞
- 複数のファイルを移動中に着信があった場合、移動は途中でも中止されます。
- ビデオ、ドキュメントファイル、SDその他ファイルを「選択移動」する場合は、最大100件まで選択できます。

＜スライドショー＞
- Flash画像は表示されません。
- 画像によっては表示される間隔が異なる場合があります。

＜コピー＞
- 複数のファイルをコピー中に着信があった場合、コピーは途中でも中止されます。
- ビデオ、ドキュメントファイル、SDその他ファイルを「選択コピー」する場合は、最大100件まで選択できます。

＜削除＞
- 複数のファイルを削除中に着信があった場合は、削除は中止されます。
- ビデオ、ドキュメントファイル、SDその他ファイルを「選択削除」する場合は、最大100件まで選択できます。

静止画再生中のサブメニュー

ピクチャ編集		P.361参照
ピクチャ貼付		P.354参照
ピクチャ情報		P.354参照
位置情報		
	位置情報付加	P.347参照
	位置情報削除	P.355参照
	位置情報詳細	P.355参照
メール添付／ブログ		
	iモードメール添付	P.354参照
	デコメ作成	P.354参照
	ブログ投稿	P.354参照
赤外線送信		P.405参照
IrSS		P.405参照
iC送信		P.407参照
表示サイズ設定		静止画を本来のサイズ（等倍）で表示するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**標準・画面サイズで表示** ●「標準」に設定しても、画面サイズを超える静止画は画面サイズに縮小されます。また、QCIF（144×176）以下の静止画は、縦横2倍のサイズで表示されます。
デスクトップ貼付		P.38参照
microSDへコピー		P.391参照
本体へコピー		P.392参照
お預かりセンターに保存		P.138参照
DPOF設定		P.416参照
削除		P.356「1件削除」参照
リトライ		アニメーション、Flash画像を最初から再生します。

お知らせ

＜表示サイズ設定＞
- 「画面サイズで表示」に設定中にアニメーションGIFを表示した場合、「標準」での表示時よりアニメーションの動作が遅くなる場合があります。

ピクチャ表示設定

静止画一覧画面の表示方法を変更します。

1 MENU▶**本体設定**▶**画面・ディスプレイ**▶**ピクチャ表示設定**▶**ピクチャ一覧・タイトル名一覧**

<ピクチャアルバム>

ピクチャアルバムで画像を表示する

FOMA端末内またはmicroSDカード内に保存したJPEG形式の静止画を表示できます。再生中の静止画から人物の顔を検出して拡大したり、検出した顔に補正効果をかけることもできます。また、エフェクト機能を利用して表現力豊かなスライドショーを再生できます。

1 MENU▶データBOX▶マイピクチャ▶ピクチャアルバム



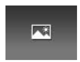
ピクチャアルバムが起動して、フォルダの一覧画面が表示されます。

- 画面の右下に「ガイド」が表示されているときは、📷TV(ガイド)を押すとボタン操作ガイドを表示します。

2 フォルダを選択▶ファイルを選択

- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。


NG画像


GIF画像


Flash画像

- 静止画再生中に◎を押すと、静止画の一覧画面の並び順で静止画を切り替えます。
- 再生中の静止画で人物の顔を検出できる場合は、📷TV(顔ズーム)を押すと検出した顔をズーム表示します。複数の顔を検出した場合は、📷TV(顔ズーム)を押すごとに別の顔をズーム表示します。
- 静止画再生中にiαを押すごとにアイコンの表示／非表示を切り替えます。

■ピクチャアルバムでの再生の仕様について

ファイル形式	JPEG※1
拡張子	jpg
画素数	13M(3120×4160)以下のファイル※2
ファイルサイズ	8Mバイト以下の静止画

※1 再生できるJPEGファイルの種類は、Exif／CIFF／JFIF形式のBaselineとProgressiveです。

※2 上記を超える画素数でも再生できる場合があります。

- 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

お知らせ

- ピクチャアルバムでは、「ｉモード」フォルダ、「カメラ」フォルダ、「手書き」フォルダ、「プリインストール」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ、「ピクチャ」フォルダ(microSD)内の静止画を表示できます。
- 静止画によっては、顔を検出できない場合や顔ではない場所を検出する場合があります。また、顔ズーム機能とビューティプラスでは検出する顔が異なる場合があります。

ピクチャアルバム起動中のサブメニュー

- ピクチャアルバム起動中はMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押すと、サブメニューが表示されます。

スライドショー	P.360参照
きせかえ	ピクチャアルバムのデザインを変更します。 ▶パターン1・パターン2

データ管理

ピクチャ分類	カメラのデジカメモードで撮影した静止画を、選択した項目に従って分類表示します。 ▶**項目を選択** **日付時刻**……静止画の撮影日時の情報をもとに、フォルダに分けて表示します。 **シーン**……静止画の内容をもとに、シーンの一覧に分類して表示します。 **色**……静止画の内容をもとに、色の一覧に分類して表示します。 **オートシャッター** ……静止画撮影時のオートシャッター利用情報をもとに、撮影方法の一覧を表示します。 ▶**条件を選択** 条件にあった静止画のみを一覧表示します。 ●情報は静止画を撮影した際に付与され、変更できません。また、情報がない静止画は表示されません。 ●「日付時刻」の場合、日付ごとに最大12枚まで表示されます。同じ日付で12枚を超えた場合は、時刻に基づき分類して表示します。 ●「シーン」の場合、静止画の内容によっては複数のシーンで表示される場合があります。 ●分類前の画面でCLRを押すと、分類を中止してすべての静止画を表示します。分類後の一覧画面でCLRを押すと分類を行う1つ前の画面に戻ります。 ●i α(分類解除)を押すと分類状態を解除して、すべての静止画を表示します。
ズーム	静止画を200%に拡大して表示します。 ●静止画再生中に●(ズーム)を押しても200%に拡大して表示します。 ●*、#を押すと、ズーム倍率を調節できます。 ●拡大した静止画をスクロールするには○を押します。 ●ズーム中に●(戻る)またはCLRを押すと、ズームを解除します。

回転		静止画を時計回りに90度回転します。
メール添付		P.354「iモードメール添付」参照
ブログ投稿		P.354参照
エフェクト		静止画再生中にファイルを切り替えたときの画面表示を設定します。 ▶**項目を選択**
削除		P.356「1件削除」参照
ピクチャ編集		
超解像		
	等倍補正	画像サイズがQCIF(144×176)から3M(1536×2048)までの静止画を、画像サイズはそのままでより高画質になるように補正します。 ▶📷TV(保存)▶OK 元の静止画とは別の静止画として保存します。 ●●(比較)を押すと、元の静止画を表示できます。●(戻る)またはCLRを押すと戻ります。 ●✉(ｷｬﾝｾﾙ)またはCLRを押すと、保存せずに終了します。
	待受拡大	画像サイズがQCIF(144×176)以上VGA(480×640)未満の静止画を、画質を落とさずに縦横比を保ったまま画像サイズを待受(480×854)を超えない大きさにまで拡大します。 ▶📷TV(保存)▶OK 元の静止画とは別の静止画として保存します。 ●✉(ｷｬﾝｾﾙ)またはCLRを押すと、保存せずに終了します。

	プリント拡大	画像サイズがVGA(480×640)以上2M(1200×1600)未満の静止画を、高画質でプリントできるように画質を落とさずに縦横比を保ったまま画像サイズを1200×1920ドットを超えない大きさにまで拡大します。 ▶[カメラ](保存)▶OK 元の静止画とは別の静止画として保存します。 ●[メール](ｷｬﾝｾﾙ)または[CLR]を押すと、保存せずに終了します。
暗部補正		暗く写った静止画を、より明るく鮮明な静止画になるように補正します。画像サイズがQCIF(144×176)から13M(3120×4160)までの静止画を編集できますが、3M(1536×2048)より大きい静止画は3M(1536×2048)以下に縮小されます。 ▶[カメラ](保存)▶OK 元の静止画とは別の静止画として保存します。 ●[メール](ｷｬﾝｾﾙ)または[CLR]を押すと、保存せずに終了します。
ビューティプラス		再生中の静止画で人物の顔を検出できる場合、検出した顔の目を大きくしたり、美肌や美白などの補正を行います。画像サイズが13M(3120×4160)までの静止画を編集できますが、待受(480×854)より大きい静止画は待受(480×854)以下に縮小されます。 ▶**補正したい顔を選択** 選択した顔に補正が行われます。 ●複数の顔を検出している場合は、[MENU](次の顔)を押すと次に補正する顔を選択できます。 ●[決定](比較)を押すと、元の静止画を表示できます。[決定](戻る)または[CLR]を押すと戻ります。 ▶[カメラ](保存)▶OK 元の静止画とは別の静止画として保存します。 ●[メール](ｷｬﾝｾﾙ)または[CLR]を押すと、保存せずに終了します。[終話]を押すと、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
	手書フォト／メモ	再生中の静止画を手書きフォト／メモの背景(P.420参照)に設定します。画像サイズが13M(3120×4160)までの静止画を設定できますが、待受(480×854)より大きい静止画は待受(480×854)以下に縮小されます。
ピクチャ貼付		P.354参照

お知らせ

<ピクチャ分類>
- 保存されている静止画の枚数によっては、分類に時間がかかる場合があります。また、分類した結果、すべての静止画が分類されないこともあります。
- 分類後にピクチャ編集を行う場合は、分類を解除するかどうかの確認画面が表示されます。また、ピクチャ編集を行った静止画は、分類できません。
- 分類の結果は、実際に撮影した時刻や、静止画の内容とは異なる場合があります。

<ズーム>
- 100%未満に縮小して表示することはできません。

<ピクチャ編集>
- 表示方向を切り替えた静止画を再生中に「ピクチャ編集」を行うと、元の表示方向に戻ります。
  ただし、表示方向を切り替えていた場合のほうが、大きく表示できる場合はそのままの表示方向で表示されます。表示方向を切り替えたまま編集し、保存した場合でも、静止画の縦横情報は変更されません。

スライドショーを再生する

すべてのフォルダ内の静止画を表示する場合

1 フォルダの一覧画面▶[MENU](ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶スライドショー

「i モード」フォルダ、「カメラ」フォルダ、「手書き」フォルダ、「プリインストール」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ、「ピクチャ」フォルダ(microSD)内の静止画のスライドショーが再生されます。
- フォルダセキュリティを設定しているフォルダ内の静止画は表示されません。

1つのフォルダ内の静止画を表示する場合

1 ファイルの一覧画面・静止画再生中▶MENU(サブメニュー)▶スライドショー

お知らせ

●電池残量が少ない状態でスライドショーを再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、再生するかどうかの確認画面が表示されます。

スライドショー一時停止中のサブメニュー

●スライドショー再生中に◉(II)を押すと、スライドショーが一時停止し、サブメニューが表示されます。再生を再開するには「 ▶ 」を選択します。

◀II		前のファイルを表示します。 ●スライドショー再生中や一時停止中に◎を押しても前のファイルを表示できます。 ●「ランダム」が「ON」の場合は、並べ替えられた順番で表示します。 ●前のファイルが表示中の静止画と違うフォルダ内の静止画の場合は、前のファイルを表示できません。
▶		スライドショーを再開します。
II▶		次のファイルを表示します。 ●スライドショー再生中や一時停止中に◎を押しても次のファイルを表示できます。 ●「ランダム」が「ON」の場合は、並べ替えられた順番で表示します。
設定		
	再生時間	スライドショー再生中に静止画が切り替わる時間を設定します。 ▶時間を選択
	エフェクト	静止画が切り替わるときの画面表示を設定します。 ▶項目を選択 ●本機能の設定に関わらず、別のフォルダ内の静止画を表示するときや、「リピート」でスライドショーを再開するときは、「Normal」のエフェクトになります。
	顔ズーム	スライドショー再生中の静止画に顔を検出したときに、顔にズームするかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
	ランダム	スライドショーの再生順をランダムにするかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
	リピート	スライドショーが終了後に再びスライドショーを開始するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
終了		スライドショーを終了します。

<ピクチャ編集>

静止画を編集する

1 静止画一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶編集▶ピクチャ編集

または

静止画再生中▶MENU(サブメニュー)▶ピクチャ編集

●待受(480×854)より大きい静止画の場合、待受(480×854)以下に縮小されます。



ピクチャ編集画面

2 MENU(サブメニュー)▶静止画を編集

操作方法についてはP.362～P.364をご覧ください。

3 ●(保存)▶YES・NO

YES . . . . .上書きして保存します。
NO . . . . .新しい静止画として保存します。

- microSDカード内の静止画を編集した場合は上書き保存できません。●(保存)を押すと変更元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。microSDカード内のデータがいっぱいの場合など、microSDカードに保存できないときは「iモード」フォルダに保存されます。
- 編集した静止画を保存しない場合は、CLRまたは⌒を押して「YES」を選択します。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。

お知らせ

- カメラで撮影した静止画やデータ通信で取得した静止画、ダウンロードもしくはiモードメールから取得した静止画で「ファイル制限」がなしのJPEGファイルのみピクチャ編集できます。
- 表示方向を切り替えた静止画を再生中に「ピクチャ編集」を選択すると、元の表示方向に戻ります。
- 静止画によってはピクチャ編集できなかったり、編集の効果が現れにくいものがあります。
- 画像編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなることがあります。
- 静止画によってはサイズ変更をするとピクチャ編集ができなくなる場合があります。
- 新規保存された静止画のファイル名、タイトル、保存先、取得元については以下のとおりです。
  - ・ファイル名:YYYYMMDDhhmmnnnn
    タイトル:YYYY/MM/DD hh:mm
    (Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分、n:番号)
  - ・保存先:変更元のファイルが保存されているフォルダ
  - ・取得元:変更元と同じ

ピクチャ編集画面のサブメニュー

マーカースタンプ	「フレーム/スタンプ」フォルダのマーカースタンプを合成します。 ▶**マーカースタンプを選択** ●編集中の静止画より小さいサイズのマーカースタンプのみ合成できます。 ●MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「右90度/左90度/180度」を選択すると、マーカースタンプを回転できます。「拡大/縮小」を選択すると、マーカースタンプを拡大・縮小できます。 ●📷TV(取消)を押すとマーカースタンプを選択し直せます。 ▶**○で位置を決めて●(配置)** ●📷TV(追加)を押すとマーカースタンプを追加できます。 ▶**●(確定)**
フレーム合成	▶**フレームを選択▶●(確定)** ●編集中の静止画と同じサイズのフレームのみ合成できます。 ●○を押すと、前または次のフレームを表示します。○を1秒以上押すと、連続して表示されます。 ●MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「180度回転」を選択すると、フレームを回転できます。 ●📷TV(取消)を押すとフレームを選択し直せます。

文字スタンプ	文字を合成します。 ▶文字を入力 全角15文字/半角30文字まで入力できます。ただし、静止画のサイズによっては入力できる文字数は少なくなります。 ●MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「文字色」を選択し、色を選択すると、文字の色を変更できます。iα(切替)を押して16色･256色を切り替えることができます。 「文字サイズ」を選択すると、文字を拡大･縮小できます。「文字入力」を選択すると、入力した文字を編集できます。 ▶◎で位置を決めて●(配置)▶●(確定) ●📷TV(取消)を押すと配置する位置を選択し直せます。
待受サイズ変換	画像サイズを待受(480×854)に変換します。 ▶YES▶●(確定) ●📷TV(取消)を押すと変換を中止します。
サイズ変更	▶変更したい画像サイズを選択 ●元の静止画と縦横比が異なるサイズを選択した場合は、元の静止画の縦横比を保ったまま、選択したサイズを超えない大きさに拡大／縮小します。 ▶●(確定) ●📷TV(取消)を押すとサイズを選択し直せます。

トリミング	一定の大きさに切り出します。 ▶切り出したい画像サイズを選択 ●編集中の静止画より大きいサイズは選択できません。 ●トリミングする静止画が、待受(480×854)より大きい場合は、編集中の静止画やトリミングする枠が縮小して表示されます。 ▶◎でトリミングする部分を決めて●(確定) ●📷TV(取消)を押すとトリミングするサイズを選択し直せます。 ▶●(確定) ●📷TV(取消)を押すとトリミングする部分を選択し直せます。
フォトレタッチ	静止画の質感や色合いなどを設定します。 ▶項目を選択 **シャープ**・・・・・・輪郭を強調します。 **ソフト**・・・・・・・輪郭をぼかします。 **セピア**・・・・・・・色調をセピアにします。 **浮き彫り**・・・・・・でこぼこの質感にします。 **ネガ**・・・・・・・・・色調を反転します。 **ミラー**・・・・・・・左右を反転します。 **スーパークリアシャドウ** ・・・・・・・・・・・・暗い静止画を見やすくします。 **記憶色補正**・・・・色やコントラストを補正します。 ▶●(確定) ●📷TV(取消)を押すと効果を選択し直せます。
回転	▶右90度･左90度･180度▶●(確定) ●📷TV(取消)を押すと角度を選択し直せます。
明るさ	−3(暗い)から＋3(明るい)で調節します。 ▶明るさを選択
メール添付／ブログ	

つづく↪

	ｉモードメール添付	編集した静止画を保存し、ｉモードメールを作成します。 ▶◉（確定） P.144手順2へ進みます。
	ブログ投稿	編集した静止画を保存し、「ブログ･メールメンバー」で設定済みの投稿先を宛先にしたｉモードメールを作成します。 ▶◉（確定） P.144手順3へ進みます。
保存		P.362参照

お知らせ

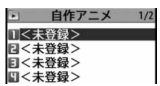
＜マーカースタンプ＞
- 編集する静止画より大きく拡大できません。

＜文字スタンプ＞
- 24×24ドットより小さい静止画は編集できません。
- 編集する画像によっては文字色との合成ができない色があります。その場合には別の色を選択してください。

＜自作アニメ＞
アニメを作成する

「ｉモード」フォルダ、「カメラ」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ内の待受（480×854）以下のJPEGファイルを最大20件（20コマ）選択し、アニメ再生できます。自作アニメは20件登録できます。

1 MENU▶データBOX▶マイピクチャ▶自作アニメ▶＜未登録＞



自作アニメ一覧画面

- 設定済みの自作アニメを変更する場合は、サブメニューから「自作アニメ設定」を選択します。

2 コマ順＜1コマ目＞～＜20コマ目＞を選択▶フォルダを選択▶静止画を選択

- 登録済みの静止画を解除する場合は「イメージ解除」を選択します。

3 手順2を繰り返す▶MENU（完了）

自作アニメ一覧画面のサブメニュー

タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角9文字/半角18文字まで入力できます。
自作アニメ設定	P.364手順2へ進みます。
ピクチャ表示	自作アニメを再生します。
ピクチャ貼付	P.354参照
ピクチャ情報	P.354参照
自作アニメ解除	▶YES

自作アニメ再生中のサブメニュー

ピクチャ貼付	P.354参照
表示サイズ設定	P.357参照
リトライ	再度自作アニメを再生します。

お知らせ

- 自作アニメに設定している静止画を削除すると、その静止画を含む自作アニメは解除されます。

＜ｉモーションプレーヤー＞＜ムービープレーヤー＞

ｉモーション・ムービーを再生する

FOMA端末内またはmicroSDカード内に保存したｉモーションや、インターネット上で公開されているパソコン向けの動画（ムービー）を再生します。

- ステレオイヤホンマイク（別売）を接続してステレオサウンドでｉモーション、ムービーの音声を再生できます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音声を再生できます。（P.449参照）

1 MENU▶データBOX▶ｉモーション・ムービー▶フォルダを選択▶ファイルを選択

- フォルダ一覧画面で[メール]を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- フォルダ一覧画面のサブメニューはP.401参照。
- ｉモーション一覧画面、ムービー一覧画面で[iα]（切替）を押すごとに表示方法を変更します。

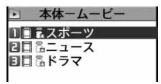


フォルダ一覧画面



ｉモーション一覧画面

- 他の機能でフォルダやｉモーションを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやｉモーションがあります。また、ｉモーションを選択中に[カメラTV]（デモ）を押してｉモーションを確認できる場合があります。



ムービー一覧画面

- ｉモーションによっては、設定されているチャプターを選択して再生できる場合があります。（P.369参照）
- 「BD／DVDレコーダー」フォルダについてはP.371参照。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。

- プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。



再生不可　プレビュー画像なし　再生制限期限切れなど※1　ダウンロード未完了※2

※1 ムービー一覧画面の場合、再生不可の画像が表示されます。
※2 ムービー一覧画面の場合、プレビュー画像が表示されます。

■ ｉモーション・ムービー再生時の操作

- サブメニューから操作する場合はP.369参照。

操作	ボタン操作
早見再生 ［ｉモーションのみ］	MENU（[早見]）（P.369参照）
早送り ［ムービーのみ］	MENU（[早送り]） ●再生するにはMENU（[▶]）
一時停止	[●]（[❚❚]）または[サイドキー]※1 ●再生するには[●]（[▶]）または[サイドキー]※1
コマ送り再生 ［ｉモーションのみ］	一時停止中に[カメラTV]（[コマ送]） ●押すごとにコマ送り
消音／消音解除	[カメラTV]
音量調節	[上下]
次のファイルまたはチャプターを表示※2	[右]
前のファイルまたはチャプターを表示※2	[左] ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し（チャプターがある場合はチャプターの頭出し）
サーチ（早送り） ［ｉモーションのみ］	[右]を押し続ける
サーチ（早戻し） ［ｉモーションのみ］	[左]を押し続ける
再生位置選択※3 ［ムービーのみ］	[左右]を押し続ける

データ管理

つづく↪

操作	ボタン操作
縦画面／横画面／全画面切替	i∝（横画面） ●押すごとに表示方法を切り替え
リ.マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	7 ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「トレイン」の順に切り替え

※1 ムービーのみ操作できます。

※2 チャプターがないｉモーションや、ムービーをｉモーション一覧画面･ムービー一覧画面の並び順で切り替えます。一覧画面から再生した場合のみ操作できます。ただし、ファイル形式がWVX、ASX、WAXのムービーはスキップされます。また、チャプターがあるｉモーションはチャプターの登録されている順でチャプターを切り替えます。

※3 早戻し中は操作できません。

- 状況によっては実行できない操作もあります。
- ムービーの横画面再生中に着信やアラーム通知があった場合、再生画面に戻ると画面表示が暗くなる場合がありますが、再生を再開してしばらくすると映像が表示されます。

ムービー再生時、一時停止時にイヤホンマイク（別売）のスイッチを使って下記の操作ができます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す
次のファイルを再生	連続2回押す
前のファイルを再生	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し

■ ｉモーション再生の仕様について

ファイル形式	MP4、ASF	
符号化方式	MP4ファイル	映像：MPEG4、H.263、H.264 音声：AMR、AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus
	ASFファイル	映像：MPEG4 音声：G.726
画素数	MPEG4：VGA（640×480）以下のファイル	
	H.263：Sub-QCIF（128×96）、QCIF（176×144）のファイルのみ	
	H.264：QVGA（320×240）以下のファイル	
拡張子	sdv、3gp、mp4、asf	

- 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

■ムービー再生の仕様について

ファイル形式	WMV、WMA、WVX、WAX、ASF、ASX		
拡張子	wmv、wma、wvx、wax、asf、asx		
コーデック	ビデオ	Windows Media Video 8～9※	
	オーディオ	Windows Media Audio 2～9	
ビットレート	映像	WMV8	768kbps
		WMV9	2Mbps
	音声		384kbps
ビデオサイズ	WMV8	CIF（352×288）以下のファイル	
	WMV9	ワイドVGA（800×480）以下のファイル	
フレームレート	30fps		

※ Windows Media Video 9の複合プロファイル（complex profile）には対応していません。

- 上記を超えるビットレートでも再生できる場合があります。
- 対応しているファイル形式であっても、ファイルによってはデータの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。
- 映像と音声どちらか一方が対応していないファイル形式であった場合、対応しているもう一方のみで再生を行う場合があります。

フォルダ一覧画面で「iモーション」または「ムービー」の「しおり」を選択したときは

しおりの選択画面が表示されます。iモーションの場合は「復旧しおり」または「指定しおり1･2」を選択できます。ムービーの場合は「復旧しおり」または「しおり1～9」を選択できます。しおりを選択すると、登録していた箇所からiモーション･ムービーが再生されます。

復旧しおり	iモーション･ムービー再生中に着信や各種アラーム動作があったとき、電池がなくなるとき、再生中にムービープレーヤーを終了したときなどに自動的に記憶されるしおりです。
指定しおり･しおり	あらかじめiモーション･ムービーの任意の場面に登録しておくもので、iモーションの場合は2つまで、ムービーの場合は9つまで作成できます。(P.368、P.370参照)

- 「しおり」の情報を表示するにはMENU(サブメニュー)を押して「しおり情報」を選択します。
- 「指定しおり」「しおり」を削除するにはMENU(サブメニュー)を押して「削除」を選択します。「しおり」の場合は「削除」を選択してから、「1件削除」「選択削除」「全削除」を選択します。「復旧しおり」は削除できません。
- 「指定しおり」「しおり」を登録したiモーション･ムービーを削除していた場合や他のフォルダに移動した場合、ムービーのファイル名を変更していた場合は再生できません。
- しおりから再生した場合でも、ムービーによっては、冒頭からの再生となる場合があります。

フォルダ一覧画面で「再生履歴」を選択したときは

ムービーを再生すると、ファイルのURLまたは保存場所が履歴として記憶されます。30件まで記憶され、これを超えると一番古い履歴に上書きされます。再生履歴を選択すると記憶された履歴情報に基づきムービーが再生されます。



再生履歴一覧画面

- 再生履歴に記憶されたムービーを削除していた場合や他のフォルダに移動した場合は再生できません。
- 取得したムービーを未保存状態のままデータ取得完了の画面から再生した場合は、再生履歴に記憶されません。

お知らせ

- サーチ(早送り･早戻し)やコマ送り再生中は無音となります。サーチ(早送り･早戻し)は、iモーションを一時停止･再生中(スロー再生･早見再生も含む)に実行できます。
- iモーションの再生中にメールやメッセージR/Fなどを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。
- wvx、wax、asxの拡張子を持つファイルは、インターネット上のムービーのURLが指定されているファイルです。これらのファイルを選択した場合、指定されたURLからストリーミングもしくはダウンロード再生を行います。

iモーション一覧画面･ムービー一覧画面･再生履歴一覧画面のサブメニュー

メール添付／ブログ		
	iモードメール添付	ファイルを添付してiモーションメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。 ●(TV)(MAIL)を押してもiモードメールを作成できます。
	ブログ投稿	「ブログ･メールメンバー」で設定済みの投稿先を宛先にしたiモードメールを作成します。 P.144手順3へ進みます。
iモーション貼付		
	着信音	iモーションを着信音に設定します。 ▶**着信の種類を選択** ●設定された項目には「★」マークが付きます。
	待受画面	iモーションを待受画面に設定します。 ▶YES
iモーション情報		iモーションのタイトル、ファイル名などを表示します。
コンテンツ情報		ムービーのタイトル、ファイル名などを表示します。
赤外線送信		P.405参照
iC送信		P.407参照
microSDへコピー		

つづく

1件コピー	P.391参照
選択コピー	P.391参照
全コピー	P.391参照
本体へコピー	
1件コピー	P.392参照
選択コピー	P.392参照
全コピー	P.392参照
microSDへ移動	
1件移動	P.393参照
選択移動	P.393参照
全移動	P.393参照
本体へ移動	
1件移動	P.394参照
選択移動	P.394参照
全移動	P.394参照
コピー	
1件コピー	P.356参照
選択コピー	P.356参照
全コピー	P.356参照
フォルダ移動	
1件移動	P.355参照
選択移動	P.355参照
全移動	P.355参照
お預かりセンターに保存	P.138参照
編集	
iモーション編集	P.372参照
タイトル編集	iモーションのタイトルを編集します。(P.355参照)
ファイル名編集	P.355参照
ファイル制限	P.355参照
タイトル初期化	iモーションのタイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶**YES**
デスクトップ貼付	P.38参照
履歴情報	再生履歴の情報が表示されます。
しおり登録	再生履歴に記憶されているムービーのURL情報をしおりに登録します。しおりから再生する際は先頭から再生されます。 ▶**登録したいしおりを選択** ●「復旧しおり」は選択できません。
説明表示	ムービーの説明を表示します。 ●全角1024文字/半角2048文字まで表示されます。
プログラム情報	「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画のタイトルなどを表示します。
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート	P.356参照
削除	
1件削除	P.356参照
選択削除	P.356参照
全削除	P.356参照
一覧表示切替	ムービー一覧画面の表示方法を変更します。 ▶**表示方法を選択**
きせかえ設定	「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画を再生中のデザインを変更します。 ▶**パターン1・パターン2**

お知らせ

<メール添付／ブログ>
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいときはメールサイズに切り出すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとｉモーションの先頭から約2Mバイトまでを切り出します。
- ｉモーションによってはｉモードメール作成できない場合があります。
- ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減する場合があります。
- ｉモーション編集画面から2Mバイトを超えるｉモーションは添付できません。ｉモードメールに添付できるサイズに切り出すには「メールサイズ切り出し」参照。

<ｉモーション貼付>
- 待受画面に設定した場合、VGA（640×480）以外のｉモーションはVGA（640×480）に拡大、または縮小されます。
- 取得元が「EX」のｉモーションは着信音や着信画面に設定できません。
- 着信音や着信画面に設定可能なｉモーションかどうかを確認するには「ｉモーション情報」参照。

一時停止中・再生終了時のサブメニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
チャプター一覧	ｉモーションに登録されているチャプターの一覧を表示し、再生したいチャプターを選択します。 ▶**再生したいチャプターを選択**
スロー再生	ｉモーションを通常の約1/2の速度で無音で再生します。 ● MENU（▶）を押すと通常再生に戻ります。
早見再生（1.25倍速）	ｉモーションを通常の約1.25倍の速度で再生します。 ● MENU（⏩）を押すと2倍速再生されます。 MENU（▶）を押すと通常再生に戻ります。
早見再生（2倍速）	ｉモーションを通常の約2倍の速度で再生します。 ● MENU（▶）を押すと通常再生に戻ります。
早送り	ムービーを早送り再生します。 ● MENU（▶）を押すと通常再生に戻ります。
早戻し	ムービーを逆方向に早戻し再生します。 ● MENU（▶）を押すと通常再生に戻ります。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	ｉモーション・ムービーの再生を開始する位置を設定します。 ▶**◎でタイムバーのカーソルを移動**▶●（確定） ● 中止する場合はCLRを押します。
画質モード設定	「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画を再生する際の画質を変更します。 ▶**項目を選択** **スタンダード**．．．標準的な画質 **スポーツ**．．．．．．．スポーツ番組などに適した画質 **シネマ**．．．．．．．．映画などに適した画質 **ダイナミック**．．．動きを強調したダイナミックな画質
サウンド効果	
リ．マスター設定	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶**ON・OFF**
リスニング設定	イヤホンやBluetooth機器からの音にリスニングの効果を設定します。 ▶**項目を選択** **サラウンド**．．．．．自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1・2**．．．イヤホン特有の閉塞感を補完し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 **OFF**．．．．．．．．．．リスニング設定をOFFにします。
イコライザー設定	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶**項目を選択** **ノーマル**．．．．．通常の音質です。 **H.BASS1**．．．低音を強調します。 **H.BASS2**．．．H.BASS1よりさらに低音を強調します。 **ボイス**．．．．．．会話を聞き取りやすくします。 **トレイン**．．．．．音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
コンテンツ情報	P.367参照

つづく↪

しおり登録	iモーション･ムービーにしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。 ▶**登録したいしおりを選択** ●「復旧しおり」は選択できません。
iモーション編集	P.372参照
メール添付／ブログ	
iモードメール添付	P.367参照
ブログ投稿	P.367参照
iモーション貼付	P.367参照
iモーション情報	P.367参照
赤外線送信	P.405参照
iC送信	P.407参照
本体へコピー	P.392参照
デスクトップ貼付	P.38参照
説明	ムービーの歌詞や説明を表示します。 ▶**歌詞表示･説明表示** ●それぞれ全角1024文字/半角2048文字まで表示されます。
URLコピー	インターネット上で公開されているムービーを再生中に、ムービーのURLをコピーします。 ●URLは半角512文字までコピーできます。
表示サイズ設定	iモーション･ムービーを本来のサイズで表示（等倍表示）するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**等倍表示･画面サイズで表示** ●「等倍表示」に設定しても、画面サイズを超えるiモーション･ムービーは画面サイズに縮小されます。また、QCIF（176×144）以下のiモーション･ムービーは、縦横2倍のサイズで表示されます。
全画面モード切替	iモーションの表示方法を切り替えます。項目を選択するごとに、縦画面での再生→画面サイズに合わせて横画面での再生→拡大して全画面での再生に切り替えられます。

お知らせ

<チャプター一覧>

●チャプター送り／戻し制限がかかっている場合、現在再生している地点より後／前のチャプターは選択できません。

<スロー再生>

●以下のiモーションはスロー再生できません。
･ストリーミングタイプのiモーション
･データを取得しながら再生中のiモーション
･待受画面から再生したiモーション

<早見再生>

●iモーションによっては、早見再生されない場合があります。
●早見再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

<早送り><早戻し>

●「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画の場合は、10倍速か30倍速を選択します。

<再生位置選択>

●iモーション･ムービーによっては、再生位置を選択できない場合があります。

<サウンド効果>

●イヤホンやBluetooth機器と接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。
●音声形式がAMRやG.726のiモーションの場合、サウンド効果が無効になる場合があります。

<しおり登録>

●iモーション･ムービーによっては、しおりを登録できない場合があります。
●ムービーによっては、一時停止した位置に関わらず、先頭が再生開始位置として登録される場合があります。

<全画面モード切替>

●QCIF（176×144）以下のiモーションは全画面では再生されません。

HDD(ハードディスク)レコーダーで録画した動画をFOMA端末で再生する

FOMA端末とHDDレコーダーをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02(別売)で接続することで、HDDレコーダーに保存されている動画をmicroSDカードに保存して、FOMA端末で再生することができます。

- FOMA端末とHDDレコーダーを接続する場合は、「USBモード」を「microSDモード」に設定してください。(P.397参照)
  動画を転送する方法についての詳細は、HDDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ステレオイヤホンマイク(別売)を接続してステレオサウンドで動画の音声を再生できます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音声を再生できます。(P.449参照)

1 **MENU▶データBOX▶ｉモーション・ムービー▶BD／DVDレコーダー▶ファイルを選択**

- 前回再生した情報がある場合は、前回停止した箇所から再生します。📷TV(先頭再生)を押すと先頭から再生されます。
- ファイルの一覧画面表示中のサブメニューについては、P.367参照。

■再生時の操作

- サブメニューから操作する場合はP.369参照。

操作	ボタン操作
消音／消音解除	📷TV
一時停止	●(❚❚) ●再生するには●(▶)
音量調節	○(上下)
次のチャプターを表示	○(右)
前のチャプターを表示	○(左) ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し(チャプターがある場合はチャプターの頭出し)
スキップ(送り)	再生中、一時停止中に○(右)(1秒以上) ●約30秒後方にスキップ
スキップ(戻し)	再生中、一時停止中に○(左)(1秒以上) ●約10秒前方にスキップ
早戻し※1	1 ●再生するには●(▶)
早送り※2	3 ●再生するには●(▶)
縦画面／横画面／全画面切替	iα(横画面) ●押すごとに表示方法を切り替え
リ.マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	7 ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「ボイス」→「トレイン」の順に切り替え

※1 10倍速で早送り中は通常再生、30倍速で早送り中は10倍速で早送りの操作になります。

※2 10倍速で早戻し中は通常再生、30倍速で早戻し中は10倍速で早戻しの操作になります。

プレイリストを利用する

ｉモーションをプレイリストに登録して、好きな順に連続で再生できます。プレイリストは5件まで作成でき、1件あたり30件のｉモーションを登録できます。

プレイリスト登録

1 **MENU▶データBOX ▶ｉモーション・ムービー ▶プレイリスト ▶プレイリスト1～5を選択**



プレイリスト一覧画面

2 **<1番目>～<30番目>を選択▶フォルダを選択 ▶ｉモーションを選択**

3 **手順2を繰り返す▶📷TV(完了)**

- 登録したｉモーションを解除するには、MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「1件解除」を選択します。「全解除」を選択すると、登録済みのすべてのｉモーションを解除できます。
- 登録したｉモーションの順番を変更するには、MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「曲順変更」を選択し、順番を変更したいｉモーションを選択します。つづいて変更先を選択すると順番を変更できます。

お知らせ

- 部分保存したｉモーションはプレイリストに登録できません。

プレイリスト再生

1 **プレイリスト一覧画面 ▶プレイリストを選んで📷TV(再生)**

プレイリスト一覧画面のサブメニュー

再生	P.372参照
プレイリスト編集	プレイリストを編集します。 P.372「プレイリスト登録」手順2へ進みます。
プレイリスト解除	プレイリストに登録されているｉモーションをすべて解除します。 ▶YES
プレイリスト名編集	プレイリスト名を編集します。 ▶**プレイリスト名を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

<ｉモーション編集>

ｉモーションを編集する

ｉモーションを編集します。編集したｉモーションは、編集元のｉモーションがあるフォルダに保存されます。

1 **ｉモーション一覧画面▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) ▶編集▶ｉモーション編集**

または

ｉモーション一時停止中・再生終了時 ▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶ｉモーション編集

- ◎で音量を調節できます。



ｉモーション編集画面

2 **MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶ｉモーションを編集**

操作方法についてはP.373～P.374をご覧ください。

3 **●(保存)を押す**

- 編集したｉモーションを保存しない場合は、CLRまたは⌒を押して「YES」を選択します。

データ管理

4 YES

●保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。

■ｉモーション編集中･デモ再生中の操作

操作	ボタン操作
早見再生	MENU(早見)(P.369参照)
一時停止	●(Ⅱ) ●再生するには●(▶)
早送り	○を押し続ける
早戻し	○を押し続ける
コマ送り	一時停止中に○または📷TV(ｺﾏ送)
コマ戻し	一時停止中に○
音量調節	○

●状況によっては実行できない操作もあります。

お知らせ

●以下のｉモーションは編集できません。
･サイトもしくはｉモードメールから取得した「ファイル制限」､「再生制限」がありのファイル
･VGA(640×480)､HVGAワイド(640×352)､QVGA(320×240)､QCIF(176×144)､Sub-QCIF(128×96)以外のファイル
･microSDカードに保存されているファイル
●ｉモーションによっては編集できない場合があります。
●ｉモーション編集により､画質が劣化したりファイルサイズが増減することがあります。
●編集中に電話がかかってきた場合､電池がなくなった場合は､編集内容を保存するかどうかの確認画面が表示されることがあります。

ｉモーション編集画面のサブメニュー

ｉモーション切り出し	ｉモーションから任意の範囲を切り出します。 ▶○で開始フレームを表示▶📷TV(始点) 開始フレームが設定され､ｉモーションが再生されます。 ▶切り出したいところまで再生したら●(Ⅱ) ｉモーションの再生が一時停止します。 ▶○で終了フレームを表示▶📷TV(終点) 切り出した範囲が再生されます。 ●ファイルサイズが約10Mバイトになると自動的に終了フレームが設定されます。 ▶●(確定) ●📷TV(デモ)を押すとデモ再生され､編集したｉモーションを確認できます。
ピクチャ切り出し	静止画を切り出して保存します。 ▶○でフレームを表示▶📷TV(確定)▶YES ▶フォルダを選択 ｉモーションが終了します。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。
メールサイズ切り出し	ｉモーションをｉモードメールに添付可能なサイズに切り出します。 ▶メールサイズ(小)･メールサイズ メールサイズ(小)．．．．約500Kバイト以下のサイズに切り出します。 メールサイズ．．．．．．．約2048Kバイト以下のサイズに切り出します。 ▶○で開始フレームを表示▶📷TV(始点) ｉモーションが再生されます。 約500Kバイトまたは2048Kバイトのサイズ､または再生終了時点になると､自動的に再生が停止します。 ▶●(確定) ●📷TV(デモ)を押すとデモ再生され､編集したｉモーションを確認できます。

つづく

メール添付／ブログ	
iモードメール添付	P.367参照
ブログ投稿	P.367参照
ファイル制限	P.355参照

お知らせ

<iモーション切り出し>
- iモーション切り出しを行うと、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

iモーション編集中のサブメニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で無音で再生します。
早見再生（1.25倍速）	通常の約1.25倍の速度で再生します。
早見再生(2倍速)	通常の約2倍の速度で再生します。
始点	iモーション切り出し、メールサイズ切り出しの開始フレームを設定します。
終点	iモーション切り出しの終了フレームを設定します。
確定	ピクチャ切り出しのフレームを設定します。
停止	停止します。

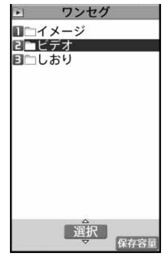
<ビデオプレーヤー>
ビデオを再生する

microSDカード内に保存したビデオを再生します。再生中にスタイルを変更するだけで、縦画面と横画面が自動で切り替わります。ノーマルスタイルでは[文字]を押して手動で切り替えることもできます。

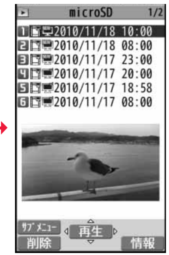
- ステレオイヤホンマイク（別売）を接続してステレオサウンドでビデオの音声を再生できます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音声を再生できます。（P.449参照）

1 [MENU]▶データBOX▶ワンセグ▶ビデオ▶ファイルを選択

- 前回再生した情報がある場合は、前回停止した箇所から再生します。[カメラTV]（先頭再生）を押すと先頭から再生されます。
- ビデオ一覧画面で分割ファイルを含むビデオを選択した場合、分割録画ビデオの一覧から再生するビデオを選択します。

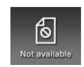


フォルダー一覧画面



ビデオ一覧画面

- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。
- 再生時は番組名やタイムバー（目安）などが表示されます。



再生不可



プレビュー画像なし

■ビデオ再生時の操作
- サブメニューから操作する場合はP.376参照。

操作	ボタン操作
早見再生※1	[MENU] ●押すごとに「1.25倍速」→「2倍速」→「あらすじ再生」→「通常再生」の順に切り替え

操作	ボタン操作
消音／消音解除	[カメラ/TV]
一時停止※1	[決定](一時停止)または[3] ●再生するには[決定](再生)または[3]
コマ送り再生※1	一時停止中に[カメラ/TV](コマ送) ●押すごとにコマ送り
音量調節※1	[上下]
早送り※1	[右] ●再生するには[決定](再生)または[3]
早戻し※1	[左] ●再生するには[決定](再生)または[3]
スキップ(送り)※1	再生中、一時停止中に[右](1秒以上)または[#] ●約30秒後方にスキップ
スキップ(戻し)※1	再生中、一時停止中に[左](1秒以上)または[＊] ●約10秒前方にスキップ
番組名表示※2	[発信] ●タイムバーなども表示 ●ボタン操作を行ったときやスタイルを切り替えたときにも表示
映像／字幕表示切替	番組名表示中に[発信] ●横画面表示では押すごとにアイコン表示のON／OFFと「横画面字幕表示設定」の設定を切り替え ●横画面表示では字幕の有無に関わらず、タイムバーの表示位置も切り替え
表示方向切替／全画面切替	[iα]※3 ●映像モードでは押すごとに表示方向を切り替え ●データ放送モードでは押すごとに半画面表示／全画面表示を切り替え
映像／データ放送切替	[メール]※4 ●押すごとに映像モードとデータ放送モードを切り替え

※1 データ放送モードでは操作できません。

※2 スキップ、早送り、早戻し、再生位置選択の直後に操作した場合、「ビデオ情報」に保存されている番組名が表示される場合があります。

※3 FOMA端末を閉じると縦画面表示に戻ります。また、ビューアスタイルでは自動的に横画面表示になり、縦画面表示にはできません。

※4 横画面表示中は番組名表示の操作になります。

ビデオのフォルダ一覧画面で「しおり」を選択したときは

しおりの選択画面が表示されます。「復旧しおり」または「指定しおり1･2」を選択すると、登録していた箇所からビデオが再生されます。

復旧しおり	ビデオ再生中に着信や各種アラーム動作があったとき、電池がなくなるときなどに自動的に記憶されるしおりです。
指定しおり	あらかじめビデオの任意の場面に登録しておくもので、2つまで作成できます。(P.377参照)

●「指定しおり」を削除するには[MENU](ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「削除」を選択します。「復旧しおり」は削除できません。

●しおりを登録したビデオを削除していた場合は再生できません。

お知らせ

●コマ送り再生中／スキップ中は無音です。また、字幕は表示されません。

●一時停止中、コマ送り再生中、スロー再生中、早見再生中は「サウンド設定」を「ON」にしていても効果音は鳴りません。

●ワンセグ視聴中やビデオ再生中にデータ放送の確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択している場合は、自動的にデータ放送の情報が更新され、パケット通信料がかかることがあります。(P.269参照)

●一時停止中、再生終了時はデータ放送のリンクなどを選択しても操作できない場合があります。

●横画面ではデータ放送を表示できません。

●電波状態が悪いため正しく録画できなかった部分は表示されず、正しく再生できる位置までスキップされます。その際、数秒間映像が表示されなかったり、乱れたりする場合があります。また、タイムバーが正しく表示されない場合があります。

つづく

お知らせ

- 電池残量が少ない状態で、ビデオを再生しようとした場合は、電池残量警告音が鳴り、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、電池残量警告音が鳴り、終了するかどうかの確認画面が表示されます。電池残量警告音は、「ボタン確認音」の設定に関わらず鳴ります。
- 編集機能が搭載された携帯電話やパソコンなどを利用してビデオを編集(分割)した場合、FOMA端末では正しく再生できないことがあります。

ビデオ一覧画面のサブメニュー

タイトル編集	▶**タイトルを入力** ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。
ビデオ情報	ビデオの番組名、チャンネル名などを表示します。 ●[iα](情報)を押してもビデオの番組名、チャンネル名などを表示できます。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
削除	
1件削除	▶YES ●[✉](削除)を押しても1件削除できます。
選択削除	▶**削除したいビデオにチェック**▶[📷TV](完了)▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
一覧表示切替	ビデオ一覧画面の表示方法を変更します。 ▶**表示方法を選択**

お知らせ

<削除>
- 複数のビデオを削除中に着信があった場合は、削除は中止されます。
- 録画時間の長いビデオは、削除に時間がかかることがあります。その場合、電池残量が十分にあることを確認してから行ってください。
- 他の機器でプロテクトがかけられたビデオは「1件削除」でのみ削除できます。
- FOMA端末に対応していないデータが含まれているビデオは削除できないことがあります。

<一覧表示切替>
- 電波状態が悪いため正しく録画できなかったビデオは、画像が表示されない場合があります。

一時停止中・再生終了時のサブメニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で無音で再生します。 ●[MENU](▶)を押すと通常再生に戻ります。
早見再生	早い速度で再生します。 ▶**項目を選択** **1.25倍速** ..... 通常の約1.25倍の速度で再生します。 **2倍速** .... 通常の約2倍の速度で再生します。 **あらすじ再生** ... ビデオの音声に合わせて再生速度が自動的に調節されます。 ●[MENU]を押すごとに「1.25倍速」→「2倍速」→「あらすじ再生」→「通常再生」の順に切り替わります。
早送り	早送り再生します。 ▶**10倍速・30倍速** ●[●](▶)または[?]を押すと通常再生に戻ります。
早戻し	逆方向に早戻し再生します。 ▶**10倍速・30倍速** ●[●](▶)または[?]を押すと通常再生に戻ります。

停止	再生を終了します。
再生位置選択	再生を開始する位置を設定します。 ▶でタイムバーのカーソルを移動▶(確定) ●中止する場合はCLRを押します。
しおり登録	ビデオにしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。 ▶しおり1に登録・しおり2に登録
ビデオ情報	P.376参照
映像／字幕表示	P.267参照
映像／データ放送切替 プレーヤー起動時 映像モード	縦画面で再生中に、映像モードとデータ放送モードを切り替えます。
アイコン常時表示設定	P.268参照
画質モード設定	P.268参照
音声設定	
サウンド効果	
自動音量設定	P.268参照
リ．マスター設定	P.268参照
リスニング設定	P.268参照
イコライザー設定	P.268参照
主／副音声設定 プレーヤー起動時 主音声	▶主音声・副音声・主／副同時
横画面字幕表示	P.267参照
データ放送操作	
コンテンツ再読み込み	表示中のデータ放送サイトを再読み込みします。 ●サイトによっては、入力したデータを再度送信するかどうかの確認画面が表示されます。
証明書表示	P.198参照
画像表示設定	P.213参照
サウンド設定	P.269参照
確認表示設定リセット	P.269参照
データ放送へ戻る	データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送に戻ります。

お知らせ

<早見再生>
- ●ビデオによっては、早見再生されない場合があります。
- ●早見再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

<再生位置選択>
- ●ビデオによっては、再生位置を選択できない場合があります。
- ●電波状態が悪いため正しく録画できなかった位置を選択した場合は、正しく再生できる位置まで移動します。

キャラ電

キャラ電とは、テレビ電話画像として相手に送れるお客様の分身キャラクタのことです。
キャラ電プレーヤーで再生、撮影することもできます。

- ●お買い上げ時に登録されているキャラ電は削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.209参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.51参照)が設定されます。
- ●キャラ電によっては、送話口に向かって話した音声に合わせて自動で動くものもあります。

<キャラ電プレーヤー>

キャラ電を表示して操作する

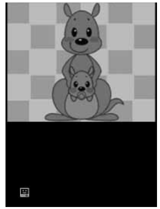
登録されているキャラ電を表示します。
ボタン操作によりキャラ電にアクションを付けることができます。

1 MENU▶データBOX▶キャラ電▶キャラ電を選択



キャラ電一覧画面

→


キャラ電表示画面

■**キャラ電操作のボタン割当**

「アクション一覧」で操作できるアクションを確認できます。

●操作できるアクション数はキャラ電により異なります。

ボタン操作	内容
1～9 #1～#9※1※2 （全体アクションモード時）	全体アクション：身体全体でアクションを表現します。
11～99※1 （パーツアクションモード時）	パーツアクション：身体の一部でアクションを表現します。
0	実行中のアクションを中断します。
＊	「アクション一覧」を表示します。
📷TV	全体アクションモードとパーツアクションモードを切り替えます。

※1 お買い上げ時に登録されているキャラ電では利用できません。
※2 1桁目の#を取り消すにはもう一度#を押します。

キャラ電一覧画面のサブメニュー

キャラ電発信		P.85参照
代替画像設定		P.85参照
キャラ電撮影		P.379参照
タイトル編集		▶タイトルを入力 ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。
キャラ電情報		キャラ電のタイトル、ファイル名などを表示します。
保存容量確認		保存容量（目安）を表示します。
デスクトップ貼付		P.38参照
画像表示設定		キャラ電を等倍で表示するか画面サイズで表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示
タイトル初期化		タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいキャラ電にチェック▶📷TV（完了） ▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時に登録されているキャラ電も削除されます。

お知らせ

<キャラ電情報>

●「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影により作成された静止画・動画のメールへの添付、microSDカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

<削除>

●代替画像に設定している「カンガルー」以外のキャラ電を削除した場合、代替画像は「カンガルー」に設定されます。「カンガルー」を削除した場合、「内蔵」の代替画像を送信します。

キャラ電表示画面のサブメニュー

キャラ電発信	P.85参照
代替画像設定	P.85参照
キャラ電撮影	P.379参照
キャラ電切替	▶表示したいキャラ電を選択 キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。
デスクトップ貼付	P.38参照
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●アクションを選んで●(選択)を押すとアクションを実行でき、📷TV(詳細)を押すとアクションの詳細を確認できます。
アクション切替 キャラ電表示時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード(□)またはパーツアクションモード(□)に切り替えます。 ●📷TVを押しても切り替えることができます。
キャラ電情報	P.378参照
画像表示設定	P.378参照

<キャラ電撮影>

キャラ電を撮影する

キャラ電を静止画や動画として撮影します。

1 キャラ電一覧画面・キャラ電表示画面▶MENU(サブメニュー)▶キャラ電撮影



キャラ電撮影画面

静止画を撮影する

●保存した静止画を再生するには、P.353参照。

1 キャラ電撮影画面で「📷」を表示して●(撮影)を押す

表示中のキャラ電の静止画を撮影します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

●「🎞」が表示されているときはMENU(サブメニュー)を押して「フォトモード」を選択し、「📷」を表示します。

2 ●(保存)を押す

撮影した静止画を「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダに保存します。

データ管理

動画を撮影する

●保存した動画を再生するには、P.365参照。

1 キャラ電撮影画面で「🎞」を表示して◉(撮影)を押す

表示中のキャラ電の録画を開始します。

●「📷」が表示されているときはMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「ムービーモード」を選択し、「🎞」を表示します。

2 ◉(終了)を押す

録画を終了します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

3 ◉(保存)を押す

撮影した動画を「ｉモーション・ムービー」の「カメラ」フォルダに保存します。

お知らせ

●動画撮影では、画像サイズはQCIF(176×144)に固定されます。

●マナーモード中や「着信音量」の「電話」が「消去」に設定されている場合は、シャッター音は鳴りません。

●「撮影種別設定」が「映像＋音声」に設定されている場合は、音声も録音されます。

キャラ電撮影画面のサブメニュー

キャラ電切替	P.379参照
代替画像設定	P.85参照
アクション一覧	P.379参照
アクション切替	P.379参照
画像表示設定	P.378参照
ムービーモード・フォトモード	撮影モードを切り替えます。
画像サイズ選択	キャラ電の静止画を撮影、保存する際の画像サイズを設定します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶**QCIF(176×144)・縮小サイズ(117×96)**
撮影種別設定	キャラ電の動画を撮影、保存する際の映像・音声の有無を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶**映像＋音声・映像のみ**
動画保存設定	キャラ電の動画を撮影、保存する際の画質を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶**項目を選択** **標準** . . . . .標準的な画質で保存します。 **画質優先**. . . . .より良い画質で保存します。 **時間優先**. . . . .標準よりも長時間の動画を保存します。 **動き優先**. . . . .スムーズな動きで保存します。 ●「画質優先」や「動き優先」に設定すると、「標準」に設定したときより撮影時間が短くなります。
画像保存設定	キャラ電の静止画を撮影、保存する際の画質を設定します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶**ノーマル・ファイン・スーパーファイン**
ファイルサイズ設定	キャラ電の動画を撮影、保存する際のファイルサイズを設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶**500KB以下・2MB以下**

キャラ電撮影のポストビュー画面のサブメニュー

メール作成	撮影したキャラ電を添付または挿入し、ｉモードメール・デコメール®を作成します。 P.144手順2へ進みます。 ●フォトモードのポストビュー画面から操作した場合は、「画像添付」でｉモードメールを作成するか、「画像挿入」でデコメール®を作成するかを選択します。 「画像サイズ選択」を「QCIF(176×144)」に設定して撮影した静止画を「画像挿入」する場合、「そのまま挿入」または「SubQCIF縮小挿入」を選択します。 ●📷TV(✉MAIL)を押してもメール作成できます。
再生確認	撮影した動画を確認します。

<マチキャラ>
マチキャラを表示する

- ●お買い上げ時に登録されているマチキャラは削除できます。「P-SQUARE」のサイト（P.209参照）から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能（P.51参照）が設定されます。

1 **MENU▶データBOX▶マチキャラ▶フォルダを選択▶マチキャラを選択**



マチキャラ一覧画面

- ●マチキャラのフォルダ一覧画面で[メール]を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダ一覧画面が切り替わります。
- ●フォルダ一覧画面のサブメニューはP.401参照。
- ●マチキャラ一覧画面で[iα]（切替）を押すごとに表示方法を変更します。
- ●プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。



プレビュー画像なし



ダウンロード未完了

- ●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。

マチキャラ一覧画面のサブメニュー

編集		
	タイトル編集	P.355参照
	タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
マチキャラ設定		マチキャラを設定します。（P.118参照） ●[カメラ/TV]（設定）を押してもマチキャラ設定できます。 ●microSDカード内のマチキャラはマチキャラ設定できません。
マチキャラ解除		設定中のマチキャラを解除します。
マチキャラ情報		マチキャラのタイトル、ファイル名などを表示します。
一括情報リセット		マチキャラに含まれる情報をリセットします。（P.118参照） ▶YES
microSDへ移動		
	1件移動	P.393参照
	選択移動	P.393参照
	全移動	P.393参照
本体へ移動		
	1件移動	P.394参照
	選択移動	P.394参照
	全移動	P.394参照
フォルダ移動		
	1件移動	P.355参照
	選択移動	P.355参照
	全移動	P.355参照
保存容量確認		保存容量（目安）／件数を表示します。
ソート		P.356参照
削除		
	1件削除	P.356参照
	選択削除	P.356参照

つづく↳

	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時に登録されているマチキャラも削除されます。

お知らせ

<タイトル編集>
- microSDカード内では、「編集」メニューは表示されずに「タイトル編集」を選択する操作となります。

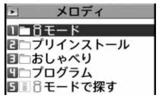
<マチキャラ設定>
- プリインストールマチキャラの「まめはかせ」に設定している場合は、2010年11月20日～12月25日および2011年11月20日～12月25日の間のみ、サンタバージョンで表示されます。

<メロディプレーヤー>

メロディを再生する

1 MENU▶データBOX▶メロディ

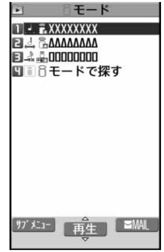
- フォルダ一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- フォルダ一覧画面のサブメニューはP.401参照。



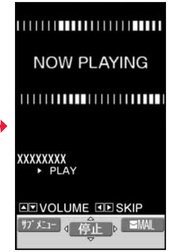
フォルダ一覧画面

2 フォルダを選択▶メロディを選択

- 他の機能でフォルダやメロディを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやメロディがあります。また、メロディ選択中は確認のためにメロディが再生される場合や、📷TV(デモ)を押してメロディを再生できる場合があります。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.209参照。



メロディ一覧画面



メロディ再生画面

プログラム再生

プログラム編集で選択したメロディを繰り返し再生します。

1 MENU▶データBOX▶メロディ▶プログラム

■メロディ再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	●(停止)、☎、0～9、＊、#、📷TV※1、✉、iα
音量調節	◎(上下)
次のファイルを再生※2	◎(右)
前のファイルを再生※2	◎(左)

※1 メールに添付できないメロディの場合のみ、停止します。
※2 メロディ一覧画面から再生した場合に有効です。

データ管理

お知らせ

- メロディは「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定されていると、「レベル2」で再生されます。ただし、メロディ選択中に再生されるメロディの場合は鳴りません。
- 再生中に音量を変更しても、メロディプレーヤーを終了すると「着信音量」の「電話」で設定されている音量に戻ります。

メロディ一覧画面のサブメニュー

メロディ再生	メロディを再生します。
iモードメール添付	選択しているメロディをiモードメールに添付して作成します。 P.144手順2へ進みます。 ●[TV]([MAIL])を押してもiモードメールを作成できます。
着信音設定	▶着信の種類を選択 ●設定された項目には「★」マークが付きます。
メロディ情報	メロディのタイトル、ファイル名などを表示します。
移動／コピー	
フォルダ移動	
1件移動	P.355参照
選択移動	P.355参照
全移動	P.355参照
microSDへ移動	
1件移動	P.393参照
選択移動	P.393参照
全移動	P.393参照
microSDへコピー	
1件コピー	P.391参照
選択コピー	P.391参照
全コピー	P.391参照
お預かりセンターに保存	P.138参照
本体へコピー	
1件コピー	P.392参照
選択コピー	P.392参照
全コピー	P.392参照
コピー	
1件コピー	P.356参照
選択コピー	P.356参照
全コピー	P.356参照
本体へ移動	
1件移動	P.394参照
選択移動	P.394参照
全移動	P.394参照
編集	
タイトル編集	▶タイトルを編集 ●FOMA端末内のファイルの場合、全角31文字/半角63文字まで入力できます。 ●microSDカード内のファイルの場合、全角18文字/半角36文字まで入力できます。
ファイル名編集	▶ファイル名を編集 ●半角英数字、記号(「.」、「-」、「_」のみ)で36文字(拡張子を除く)まで入力できます。

つづく

ファイル制限	選択したメロディのファイル制限を設定します。ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。 ▶なし・あり
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
ソート	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択 ●microSDカード内のファイルはソートできません。
デスクトップ貼付	P.38参照
赤外線／iC送信	
赤外線送信	P.405参照
iC送信	P.407参照
保存容量確認	保存容量（目安）／件数を表示します。
削除	
1件削除	P.356参照
選択削除	P.356参照
全削除	P.356参照

お知らせ

<ｉモードメール添付>

●取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のメロディ、100Kバイトを超えるメロディは添付できません。

<メロディ情報>

●メロディ情報のファイル制限が「なし」でも、ｉモードメールに添付できないことがあります。

<フォルダ移動>

●microSDカード内では、「移動／コピー」メニューは表示されずに「フォルダ移動」を選択する操作となります。

お知らせ

<タイトル編集>

●microSDカードの「移行可能コンテンツ」フォルダでは「編集」メニューは表示されずに「タイトル編集」を選択する操作となります。

<ファイル名編集>

●取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のアイコンが表示されているメロディはファイル名を変更できません。

●一部の文字や記号はファイル名に使用できません。

<ファイル制限>

●取得元アイコンが「」のメロディにのみファイル制限を設定できます。

●ファイル制限を設定することによって100Kバイトを超える場合、ファイル制限を設定できません。

●「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。

<削除>

●他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。（「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。）

●お買い上げ時に登録されているメロディは削除できません。

メロディ再生画面のサブメニュー

ｉモードメール添付	P.383参照
着信音設定	P.383参照
メロディ情報	P.383参照
microSDへコピー	P.391参照
本体へコピー	P.392参照
デスクトップ貼付	P.38参照
フルコーラス再生・ポイント再生	メロディの再生開始位置を一時的に切り替えます。

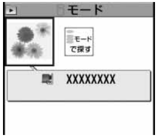
<きせかえツール>

きせかえツールを確認する

●お買い上げ時に登録されているきせかえツールは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.209参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.51参照)が設定されます。

1 **MENU▶データBOX▶きせかえツール▶フォルダを選択▶きせかえツールを選択**

きせかえツール詳細画面で項目を反転／選択すると、それぞれの設定内容がデモ再生されます。



きせかえツール一覧画面



きせかえツール詳細画面

- ●きせかえツールのフォルダ一覧画面で✉を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダ一覧画面が切り替わります。
- ●きせかえツール一覧画面でiα(切替)を押すごとに表示方法を変更します。
- ●フォルダ一覧画面のサブメニューはP.401参照。
- ●プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。
- ●「iモードで探す」を選択した場合はP.209参照。



再生不可



プレビュー画像なし

お知らせ

●時計表示はデモ再生できません。

きせかえツール一覧画面・詳細画面のサブメニュー

一括設定		きせかえツールを一括で設定します。(P.117参照) ●📷TV(一括設定)を押しても一括設定できます。 ●microSDカード内のきせかえツールは一括設定できません。
ファイル情報		きせかえツールのタイトル、ファイル名などを表示します。
編集		
	タイトル編集	P.355参照
	タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
microSDへ移動		
	1件移動	P.393参照
	選択移動	P.393参照
	全移動	P.393参照
本体へ移動		
	1件移動	P.394参照
	選択移動	P.394参照
	全移動	P.394参照
フォルダ移動		
	1件移動	P.355参照
	選択移動	P.355参照
	全移動	P.355参照
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート		P.356参照
削除		
	1件削除	P.356参照

つづく

	選択削除	P.356参照
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時に登録されているきせかえツールも削除されます。

お知らせ

<タイトル編集>

●microSDカード内では、「編集」メニューは表示されずに「タイトル編集」を選択する操作となります。

microSDカード

microSDカードをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。

●P-06Bでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。(2010年6月現在)
microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
・iモードから
P-SQUARE(2010年6月現在)
iMenu→メニューリスト
→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
・パソコンから
http://panasonic.jp/mobile/
なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

サイト接続用
QRコード

●カード処理を行っているときは「 」が表示されます。カード処理を行っているときは絶対にmicroSDカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。カード処理を行っていないことを確認してからFOMA端末の電源を切って、microSDカードを抜いてください。

●本体・microSDカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。

●microSDカードに保存可能な件数・時間についてはP.400参照。

●microSDカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなかったり、使用できなくなることがあります。

●FOMA端末では、画面メモや、ダウンロードしたファイル制限のある静止画、iモーション、ムービー、メロディ、きせかえツール、マチキャラ、Music&Videoチャネルの番組、着うたフル®、iアプリをmicroSDカードに保存できます。IP(サービス提供者)が許可していない場合は、保存できません。

お知らせ

●パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは使用できないことがあります。必ずP-06BでフォーマットしたmicroSDカードをご使用ください。

●フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

お知らせ

- 本FOMA端末以外の機器でmicroSDカードの読み書きを行うと、ご利用の機器や操作方法によってはmicroSDカードが使用できなくなる場合があります。
- パソコンなど他機器で使用しているmicroSDカードをP-06Bで使用すると、P-06Bで使用するための新しいファイルやフォルダが作成されます。

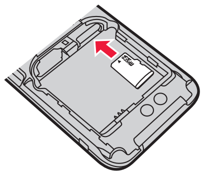
microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

microSDカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り付けます。(P.52参照)

取り付けかた

1 金属端子面を下にし、切り込みの部分が右側になっていることを確認して差し込む

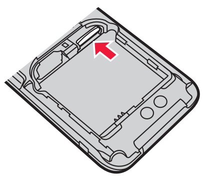
- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



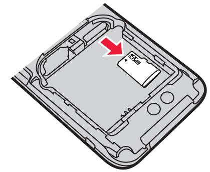
取り外しかた

1 microSDカードをいったん奥まで押し込む

- 奥まで押し込むとmicroSDカードが出ます。



2 microSDカードを抜き取る



■画面表示について

microSDカードを取り付けると以下のアイコンが表示されます。

:データを保存したり読み出したりできます。

:microSDカードにライトプロテクトがかかっています。データの保存、「microSDチェックディスク」、「microSDフォーマット」はできません。

:microSDカードを使用できません。microSDカードを取り外して、再度取り付けてください。
それでも「」が表示される場合は、「microSDチェックディスク」または「microSDフォーマット」を行ってください。

お知らせ

- microSDカードを取り付けたり取り外したりするときは、飛び出すことがありますのでご注意ください。
- microSDカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください。斜めに差し込むとmicroSDカードが破損する恐れがあります。
- microSDカードを取り付けたあと、最初の読み込みまたは書き込みができるまで時間がかかることがあります。

<microSD>

microSDカードのデータを表示する

microSDカードに登録している電話帳、スケジュール、ToDoリスト、メール、メモ帳、Bookmark、文字入力学習データ、単語登録を表示します。

- 電話帳、メールの詳細画面では、FOMA端末内のデータを表示した場合と同様の操作ができます。
  電話帳の詳しい操作についてはP.99参照。
  メールの詳しい操作についてはP.173参照。

1 MENU▶便利ツール▶microSD▶microSDデータ参照▶分類を選択

- 「スケジュール」を選択すると、ToDoリストも表示されます。



分類一覧表示画面

→



microSDファイル画面
（メモ帳の場合）

2 ファイルを選択▶データを選択



データ一覧画面
（メモ帳の場合）

→



データ詳細画面
（メモ帳の場合）

分類一覧表示画面・microSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面のサブメニュー

項目		操作・説明
タイトル編集		▶タイトルを入力 ●全角15文字/半角31文字まで入力できます。
本体へ追加コピー		
	1件コピー	P.390参照
	選択コピー	P.390参照
	全コピー	P.390参照
本体へ上書コピー		
	1件コピー	P.391参照
	選択コピー	P.391参照
	全コピー	P.390参照
本体へ1件追加コピー		P.390参照
本体へ全件追加コピー		P.390参照
本体へ全件上書コピー		P.390、P.391参照
microSDへコピー		P.389参照
microSD情報表示		P.397参照
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいファイルにチェック▶📷TV（完了）▶YES
	全削除	現在表示している分類にあるファイルをすべて削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
プロパティ表示		データ詳細画面を表示します。
microSDフォーマット		P.396参照

microSDチェックディスク	P.397参照

お知らせ

<本体へ上書コピー>
- 文字入力学習データの場合は、「全コピー」の動作になります。

FOMA端末内のデータをmicroSDカードへコピーする

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、ToDoリスト、メール、メモ帳、Bookmark、文字入力学習データ、単語登録をmicroSDカードにコピーします。

microSDへ1件または複数件コピー

FOMA端末内のデータをmicroSDカードに1件ずつコピーします。コピーしたデータは、1件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 コピーしたいデータのサブメニュー ▶microSDへコピー・1件コピー・選択コピー▶YES

- 「選択コピー」の場合は、コピーしたいファイルを選択して📷(完了)を押します。

microSDへ全件コピー

FOMA端末内のデータをmicroSDカードに全件コピーします。
分類一覧画面やmicroSDファイル画面から各分類のデータをmicroSDカードに全件コピーすることもできます。
コピーしたデータは、全件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 コピーしたいデータのサブメニュー ▶microSDへ全コピー・microSD全コピー・全コピー ▶端末暗証番号を入力▶YES

または

分類一覧表示画面・microSDファイル画面 ▶MENU(サブメニュー)▶microSDへコピー ▶端末暗証番号を入力▶YES

- 分類一覧表示画面、microSDファイル画面でスケジュールをコピーするときは、「スケジュール」・「ToDoリスト」・「すべて」(スケジュールとToDoリスト)のいずれかを選択します。
- 分類一覧表示画面、microSDファイル画面でBookmarkをコピーするときは、「iモードブラウザ」・「フルブラウザ」・「すべて」(iモードとフルブラウザ)のいずれかを選択します。
- 電話帳の場合は、「プロフィール」の内容もコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- シークレットで登録されているデータを1件コピーした場合、通常のデータとしてコピーされます。
- データを全件コピーした場合、シークレットで登録されているデータもコピーされます。
- スケジュールを全件コピーしても、iコンシェルでダウンロードしたiスケジュールはコピーされません。iコンシェルでダウンロードしたiスケジュールを1件コピーした場合は、通常のスケジュールとしてコピーされます。
- メールのコピーを行った場合、メールに添付されているファイルは種類によっては削除されることがあります。

つづく

お知らせ

- ｉアプリを起動させるリンクのあるメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。

microSDカード内のデータをFOMA端末にコピーする

microSDカードに保存している電話帳、スケジュール、ToDoリスト、メール、メモ帳、Bookmark、文字入力学習データ、単語登録をFOMA端末にコピーします。

●microSDカードに保存できる件数についてはP.400参照。

本体へ1件追加コピー

データ一覧画面で選択しているデータや、データ詳細画面で表示しているデータをFOMA端末にコピーします。

1 **データ一覧画面・データ詳細画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ1件追加コピー▶YES**

本体へ全ファイル追加コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 **分類一覧表示画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ全件追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES**
または
microSDファイル画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ追加コピー▶全コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

本体へ1ファイル追加コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 **microSDファイル画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ追加コピー▶1件コピー▶端末暗証番号を入力▶YES**
または
データ一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ全件追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

- microSDファイル画面のサブメニューで「本体へ追加コピー」の「選択コピー」を選択した場合は、コピーしたいファイルを選択して📷TV(完了)を押します。

本体へ全ファイル上書コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 **分類一覧表示画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ全件上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES**
または
microSDファイル画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ上書コピー▶全コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

本体へ1ファイル上書コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 **microSDファイル画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ上書コピー▶1件コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES**
または
データ一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ全件上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

- microSDファイル画面のサブメニューで「本体へ上書コピー」の「選択コピー」を選択した場合は、コピーしたいファイルを選択して📷(完了)を押します。
- 電話帳の場合は、先頭のデータをプロフィールに設定するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- コピー中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でコピーが中断されます。コピー済みのデータは登録されます。
- 電話帳を追加コピー時、microSDファイルに登録されているグループ番号・グループ名がFOMA端末に登録されているグループ番号・グループ名と異なる場合、グループは設定されません。
- 受信メールを1件コピーしたときに最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い受信メールから順に削除されます。ただし、未読または保護している受信メールは削除されません。
- 送信メールを1件コピーしたときに最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- 他の機種で保存したファイルをコピーすると、フォルダ分けの設定などが反映されない場合があります。
- 「本体へ全件追加コピー」した場合、同じURLのBookmarkはコピーされません。

お知らせ

- 文字入力学習データを「本体へ上書コピー」した場合、FOMA端末内の単語登録も上書きされます。
- microSDカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。

静止画や動画などをコピーする

FOMA端末内のファイルをmicroSDカードへコピーする

コピー先とファイル名は以下のとおりです。

静止画(DCF規格)	「ピクチャ」内の保存先フォルダ DCIMXXXX(Xは数字)
静止画(DCF規格外)	「イメージボックス」内の保存先フォルダ STILXXXX(Xは数字)
静止画(デコメ絵文字®)	「デコメ絵文字」内の保存先フォルダ DIMGXXXX(Xは数字)
ｉモーション(映像あり)	「SDビデオ」内の保存先フォルダ MOLXXX(Xは英数字)
ｉモーション(映像なし)	「その他コンテンツ」内の保存先フォルダ MMFXXXX(Xは数字)
メロディ	保存先フォルダ RINGXXXX(Xは数字)
PDF	保存先フォルダ FOMA端末内のファイル名と同じ
デコメアニメ®テンプレート	保存先フォルダ DEATXXXX(Xは数字)
トルカ	保存先フォルダ TORUCXXX(Xは数字)

- FOMA端末、microSDカード間でコピー、移動すると、ファイル形式が変換される場合があります。

つづく↪

1 コピーしたいデータのサブメニュー▶microSDへコピー・1件コピー・選択コピー・全コピー

- トルカ詳細画面のサブメニューで「microSDへコピー」を選択した場合は、コピーしたいフォルダを選択します。
- 「選択コピー」の場合は、コピーしたいファイルを選択して📷TV(完了)を押します。
- 「全コピー」の場合は、端末暗証番号を入力します。

お知らせ

- 「ｉモード」フォルダ、「カメラ」フォルダ、「デコメピクチャ」フォルダ、「デコメ絵文字」フォルダ、「手書きフォト／メモ」フォルダ、「手書きダイアリー」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ内のファイルやデコメアニメ®テンプレート、トルカをコピーできます。
- 保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されて保存されます。静止画、デコメアニメ®テンプレート以外の場合は、コピーが完了すると「保存先フォルダXXXXXXXに変更しました」(XXXXXXXはフォルダ名)と表示されます。
- 以下のファイルはコピーできません。
  - ･「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したファイル
  - ･FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ･再生制限付きファイル
  - ･部分保存したｉモーションまたは着うたフル®
  - ･ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータ
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータまたはFOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとしてコピーされます。
- トルカのサイズによっては、コピーできない場合があります。
- microSDカードへコピーすると、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

microSDカード内のファイルをFOMA端末にコピーする

microSDカード内にあるファイルを、本体内の「ｉモード」フォルダにコピーします。(デコメ絵文字®の場合は「デコメ絵文字」フォルダの「お気に入り」フォルダに、デコメアニメ®テンプレートの場合は「デコメアニメ」フォルダに、トルカの場合は「トルカフォルダ」にコピーされます。)

1 コピーしたいデータのサブメニュー▶本体へコピー・1件コピー・選択コピー・全コピー

- 「選択コピー」の場合は、コピーしたいファイルを選択して📷TV(完了)を押します。
- 「全コピー」の場合は、端末暗証番号を入力します。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。

お知らせ

- コピー処理中はmicroSDカードを抜かないでください。
- JPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイル、ASFファイル、MFiファイル、SMFファイル、PDFデータ、デコメアニメ®テンプレート、トルカをコピーできます。ただし、100Kバイトを超えるメロディ、500Kバイトを超えるSWFファイルはコピーできません。
- ASF形式のｉモーション、VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)のｉモーション、10Mバイトを超えるｉモーションは、複数コピーできません。
- ｉモーションコピー時はｉモーションを切り出し･変換･縮小を行うため、ファイルサイズが増減することがあります。ただし、映像コーデックがH.264のｉモーションは変換、縮小を行わずコピーします。
- 10Mバイトを超えるVGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)のｉモーションをコピーする場合、QVGA(320×240)に変換します。また、10Mバイトを超えるVGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)のｉモーションやASFファイルをコピーすると、時間がかかる場合があります。

お知らせ

- 10Mバイトを超えるｉモーションやASFファイルで以下の場合はコピーできません。
  ・映像コーデックがH.264のとき
  ・音声コーデックがAAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlusのとき
  ・動画像ビットレートが制限を超えるとき
  ・サーチ(早送り・早戻し)ができないとき
  ・VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)、QVGA(320×240)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)以外のファイルのとき
  上記の条件以外でもｉモーションによってはコピーできない場合があります。
- ASFファイルをコピーすると、再生時間が長くなる場合があります。
- トルカのサイズによっては、コピーできない場合があります。
- コピー後のファイルのタイトルはmicroSDカード内で設定したタイトルになります。ただし、microSDカード内でタイトルを設定していない場合や初期タイトルが不明な場合はファイル名になります。

<コンテンツ移行対応>

著作権のあるファイルを移動する

FOMA端末内のファイルをmicroSDカードへ移動する

サイトから取得した著作権のあるファイルを暗号化してmicroSDカードに移動します。移動したファイルは「移行可能コンテンツ」フォルダ内の保存先フォルダ(着うたフル®の場合は保存先に設定されているフォルダ)に保存されます。
microSDカードに移動したファイルには、移動したときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じFOMAカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

- 移動できるファイルは以下のファイルです。

・静止画	・ｉモーション	・ムービー
・マチキャラ	・メロディ	・きせかえツール
・画面メモ	・着うたフル®	・Music&Videoチャネルの番組

1 移動したいデータのサブメニュー▶microSDへ移動・microSD・1件移動・選択移動・全移動

- 「選択移動」の場合は、移動したいファイルを選択して[カメラ/TV](完了)を押します。

お知らせ

- 静止画、ｉモーション、マチキャラ、メロディ、きせかえツール、着うたフル®の場合、取得元アイコンが「[アイコン]」のファイルのみmicroSDカードへ移動できます。
- 部分保存したデータや、取得完了の画面の画面メモはmicroSDカードへ移動できません。
- 他の機能で設定しているファイルを移動すると、設定が解除されます。

microSDカード内のファイルをFOMA端末へ移動する

microSDカード内の著作権のあるファイルをFOMA端末に移動します。

1 移動したいデータのサブメニュー ▶本体へ移動・1件移動・選択移動・全移動

- 「選択移動」の場合は、移動したいファイルを選択して📷TV(完了)を押します。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。

お知らせ

- 著作権のあるファイル(ファイル制限あり)で本体へ移動「可」または「可(同一機種間)」のファイルのみFOMA端末へ移動できます。また、「可(同一機種間)」のファイルはP-06B以外のFOMA端末には移動できません。本体へ移動「可」「不可」「可(同一機種間)」を確認するには「ピクチャ情報」「iモーション情報」「マチキャラ情報」「メロディ情報」「きせかえツール情報」「ファイル情報」「ミュージック情報」参照。
- 他の機能で設定しているファイルを移動すると、設定が解除されます。
- 移動したファイルは「iモード」フォルダに保存されます。ただし、着うたフル®は「iモード」フォルダの「初期フォルダ」に、画面メモはiモードブラウザ、フルブラウザそれぞれの「画面メモ」フォルダに保存されます。

FOMA端末内のiアプリをmicroSDカードへ移動する

iアプリによってはmicroSDカードに移動して保存しておけるものがあります。
microSDカードに移動したiアプリは起動することはできません。再度、FOMA端末に移動すると起動できます。ただし、移動したときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じFOMAカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

1 ソフト一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶microSDへ移動▶YES

microSDカード内のiアプリをFOMA端末へ移動する

microSDカード内のiアプリをFOMA端末に移動します。

1 ソフト一覧画面▶MENU(サブメニュー)▶本体へ移動▶YES▶OK

データを一括してバックアップ/復元する

FOMA端末内に登録している電話帳、スケジュール、ToDoリスト、メール、メモ帳、Bookmark、FOMA端末の設定内容・情報を一括してmicroSDカードにバックアップします。バックアップデータはそれぞれの分類ごとに1ファイルとして保存されます。復元する場合も、それらのデータを一括してFOMA端末に復元します。

- 「microSDへバックアップ」を行うごとにバックアップデータは削除され、新しいバックアップデータが作成されます。
- バックアップは分類のデータを一括して行うため、データが1件も登録されていない分類のデータもバックアップデータが作成されます。そのようなバックアップデータを復元した場合、データが1件も登録されていない分類のデータも上書きされます。
- 以下の機能の設定内容や情報がバックアップ/復元されます。ただし、復元後に一部の設定内容や情報が、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。

・リダイヤル	・メール選択受信設定	・添付ファイル自動再生設定
・着信履歴	・送信アドレス一覧	・署名
・伝言メモ設定	・受信アドレス一覧	・メッセージ自動表示設定
・フォント設定の「メール」	・自動振分け設定	・緊急速報「エリアメール」設定の「受信設定」「ブザー鳴動時間」「マナー/公共モード時設定」
・個別発着信動作選択の「指定着信拒否」「指定着信許可」	・ブログ・メールメンバー	・アラーム
・着信拒否設定	・メール/メッセージ問合せ設定	・単語登録
	・受信時動作設定	
	・添付ファイル優先受信設定	

データ管理

データをmicroSDカードにバックアップする

1 MENU▶便利ツール▶microSD▶バックアップ／復元▶microSDへバックアップ

- FOMA端末内にバックアップ可能なデータが1件も登録されていない場合は、バックアップできません。

2 端末暗証番号を入力▶YES

- 「Cancel」を選択してバックアップを中止した場合、それまでに作成されたバックアップデータは削除されます。
- バックアップが完了すると、バックアップデータの保存日時が表示されます。

お知らせ

- バックアップ中に電池がなくなった場合などは、バックアップが中断され、それまでに作成されたバックアップデータがバックアップ中断データとして保存されます。ただし、続きからバックアップを再開することはできませんので、バックアップを完了させるには、最初からやり直してください。
- バックアップ中にmicroSDカードの容量がいっぱいになった場合は、それまでに作成されたバックアップデータを削除してから、バックアップを中断します。この場合、microSDカード内の不要なデータを削除するなどしてから、再度バックアップを行ってください。
- すでにバックアップデータやバックアップ中断データがmicroSDカード内にある場合は、バックアップに時間がかかることがあります。

バックアップデータをFOMA端末に復元する

1 MENU▶便利ツール▶microSD▶バックアップ／復元▶本体へ復元

- microSDカード内にバックアップデータがない場合や、バックアップ中断データしかない場合は復元できません。

2 端末暗証番号を入力▶YES

復元が終了すると、復元された設定内容･情報が表示されます。

●(OK)またはCLR、↩を押すと学習履歴を作成するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「学習履歴作成」を行います。

- 「Cancel」を選択して復元を中止した場合、すでに復元済みのデータはFOMA端末内に登録された状態となりますが、続きからは復元できません。すべてのデータを復元するには、再度「本体へ復元」を行ってください。
- 送信メールが1件もないバックアップデータを復元した場合は、学習履歴を作成するかどうかの確認画面は表示されません。

お知らせ

- FOMA端末の容量よりバックアップデータの容量が大きい場合は、バックアップデータの一部は復元されません。
- 本FOMA端末に未対応のデータがバックアップデータに含まれる場合は、未対応のデータは復元されません。
- P-06B以外のFOMA端末に復元した場合、すべてのバックアップデータ、設定内容･情報が復元されないことがあります。

バックアップデータを削除する

microSDカード内のバックアップデータ、またはバックアップ中断データを削除します。

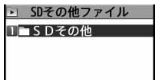
1 MENU▶便利ツール▶microSD▶バックアップ／復元▶バックアップデータ削除▶端末暗証番号を入力▶YES

<SDその他ファイル>
非対応ファイルを管理する

FOMA端末では対応していないさまざまなファイルやサイトからダウンロードしたBMP形式とPNG形式のファイルをmicroSDカードに保存できます。(P.163、P.207参照)
保存したファイルはｉモードメールに添付して送信したり、パソコンなどで確認できます。

1 **MENU▶データBOX▶SDその他ファイル▶フォルダを選択**

- フォルダ一覧画面のサブメニューはP.401参照。
- FOMA端末でファイルの内容は表示できません。



フォルダ一覧画面

→



SDその他ファイル一覧画面

SDその他ファイル一覧画面のサブメニュー

タイトル編集		P.355参照
ファイル情報		ファイル名やファイル種別などを表示します。
ｉモードメール添付		ファイルを添付してｉモードメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。 ● 📷TV(✉MAIL)を押してもｉモードメールを作成できます。
コピー		
	1件コピー	P.356参照
	選択コピー	P.356参照
	全コピー	P.356参照
フォルダ移動		
	1件移動	P.355参照
	選択移動	P.355参照
	全移動	P.355参照
保存容量確認		保存容量(目安)を表示します。
削除		
	1件削除	P.356参照
	選択削除	P.356参照
	全削除	P.356参照

<microSDフォーマット>
microSDカードをフォーマットする

microSDカードを初めて利用するときには、フォーマット(初期化)する必要があります。フォーマットは必ずP-06Bで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは正常に使用できない場合があります。
フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 **MENU▶便利ツール▶microSD▶microSDデータ参照▶MENU(サブメニュー)▶microSDフォーマット▶端末暗証番号を入力▶YES**

お知らせ

- フォーマット中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
- microSDフォーマット中に📷TV(中止)や終話キーを押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合はフォーマットは中止されます。再度フォーマットしてください。
- フォーマットを中止したmicroSDカードに保存したデータは不確定となります。
- 未対応のメモリーカードはフォーマットできません。

データ管理

お知らせ

- フォーマット後にmicroSDカードにデータを保存するときは、必要なフォルダが自動的に作成されます。

<microSDチェックディスク>

microSDカードをチェックする

microSDカードのチェックを行い、修復します。

1 MENU▶便利ツール▶microSD▶microSDデータ参照▶MENU(サブメニュー)▶microSDチェックディスク▶YES

お知らせ

- チェックディスク中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
- フォーマットされていないmicroSDカードや、未対応のメモリーカードはチェックディスクできません。
- microSDカードのチェックディスクを行った場合、microSDカードの状態により正常に修復できなかったり、チェックディスク前に存在したデータが削除されたり、カード全体が初期化されることがあります。
- microSDチェックディスク中に📷TV(中止)や⌒を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合は、チェックディスクは中止されます。
- microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDカード内のデータにより、時間がかかる場合があります。

<microSD情報表示>

microSDカードの容量を表示する

microSDカード全体の容量と保存容量(目安)を表示します。

1 MENU▶便利ツール▶microSD▶microSDデータ参照▶MENU(サブメニュー)▶microSD情報表示

お知らせ

- microSDカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されているため、データを保存していなくても保存容量はmicroSDカードに表示された容量より少なくなります。

microSDカードをパソコンなどで使う

microSDカードをmicroSDカードアダプタに接続すると、SDカード対応のパソコンなどで利用できます。
microSDカードアダプタをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。
microSDカードアダプタの取り付けかたなどは、microSDカードアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使う

microSDカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDカード内のデータを読み込み/書き込みできます。
以下の機器が必要です。

- 接続ケーブル:FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)
- パソコン:FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)が使用できるUSBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠)が使用可能なパソコン
- 対応OS:Windows XP、Windows Vista、Windows 7(各日本語版)

1 MENU▶本体設定▶外部接続▶USBモード▶microSDモード

- 「microSDモード」に設定すると、待受画面に「SD」が表示されます。
- パソコン内のWMAファイルをmicroSDカードに保存する場合は「MTPモード」に設定します。「MTPモード」に設定すると、待受画面に「▯」が表示されます。
- パケット通信、64Kデータ通信、データ送受信(OBEX™通信)やUSBハンズフリー対応機器での通話で使用する場合は「通信モード」に設定します。

つづく↪

2 FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続する

パソコンがmicroSDカードを認識します。

- デスクトップに「 」が表示され、待受画面に「 」が表示されます。また、microSDカードを装着中は「 」が表示されます。

お知らせ

- 「microSDモード」「MTPモード」に設定している場合、データの読み込み／書き込み中は着信／充電ランプが光ります。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていない場合や、FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中は本機能を設定できません。また、読み込み／書き込み中に「設定リセット」、「端末初期化」は行わないでください。microSDカードの故障の原因となります。
- 「通信モード」に設定し、パソコンに接続して通信中は「USBモード」を変更できません。
- 本機能を「MTPモード」に設定していると、「設定リセット」を行ってもリセットされません。また、電池を取り外したあと電源を入れると「通信モード」に設定されます。
- FOMA端末から読み込み／書き込み中はパソコンからは読み込み／書き込みできません。また、パソコンからの読み込み／書き込み中はFOMA端末からは読み込み／書き込みできません。
- ドコモケータイdatalinkを使用する場合は、「通信モード」にしてください。

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末はmicroSDカード内に次のようなフォルダを作成し、ファイルをそのフォルダ内に保存します。パソコンなどからmicroSDカードにファイルを書き込んで使用する場合は、指定のフォルダ構成、ファイル名で書き込む必要があります。

- 他のFOMA端末でmicroSDカードにファイルを保存した場合、ファイルによってはフォルダ構成が異なるため、本FOMA端末では表示できないことがあります。表示させるにはパソコンなどで指定のフォルダの構成に変更、移動してください。

aaa　　　：100～999の3桁の半角数字
bbb　　　：001～999の3桁の半角数字
ccc　　　：001～FFFの3文字の半角英数字（16進数※）
ddddd　　：00001～65535の5桁の半角数字
eeee、ffff：0001～FFFFの4文字の半角英数字（16進数※）
gggg　　 ：0001～9999の4桁の半角数字
###　　　：拡張子

※ 10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数えかたです。0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いて表します。

- PDFファイル、SDその他ファイル、ムービーファイル、Word、Excel、PowerPointファイルの場合、パソコンでファイル名を64バイト（拡張子を含む）までの自由な文字で書き込むこともできます。ただし、以下の文字は使用できません。
「¥」、「/」、「:」、「*」、「?」、「"」、「<」、「>」、「|」

DCIM（DCF規格静止画用フォルダ）
└ aaa_DCIM
　└ DCIMgggg.###（拡張子はJPG、GIF）

MISC（DPOF用フォルダ〔P.416「DPOF設定」を設定するときに自動作成されるフォルダです。〕）

SD_VIDEO（動画用フォルダ）
├ PRLccc（ｉモーション用フォルダ）
│└ MOLccc.###（拡張子は3GP、SDV、ASF、MP4）
├ MGR_INFO（ビデオ管理情報フォルダ）
└ PRGccc（ビデオ・HDDレコーダー動画用フォルダ）

DEVPROF（HDDレコーダー管理ファイル用フォルダ）

- PRIVATE
  - DOCOMO
    - STILL（DCF規格外静止画フォルダ）
      - SUDbbb
        - STILgggg.###（拡張子はJPG、GIF、SWF）
    - DOCUMENT（PDF用フォルダ）
      - PUDbbb
        - PDFDCbbb.PDF
    - RINGER（メロディ用フォルダ）
      - RUDbbb
        - RINGgggg.###（拡張子はMLD、SMF）
    - TORUCA（トルカ用フォルダ）
      - TRCbbb
        - TORUCbbb.TRC
    - MMFILE（SD-VIDEO規格外動画用フォルダ〔AAC形式の音楽データ含む〕）
      - MUDbbb
        - MMFgggg.###（拡張子は3GP、SDV、ASF、MP4）
      - WM_SYSTEM
      - WM
    - DECOIMG（デコメ絵文字®用フォルダ）
      - DUDbbb
        - DIMGgggg.###（拡張子はJPG、GIF）
    - OTHER（SDその他ファイル用フォルダ）
      - OUDbbb
        - OTHERbbb.###（拡張子はFOMA端末が認識できない3桁までの半角英字）
    - MOVIE（ムービー用フォルダ）
      - MVUDbbb
        - MOVIEbbb.###（拡張子はWMV、WMA、WVX、WAX、ASF、ASX）
    - DECO_A_T（デコメアニメ®テンプレート用フォルダ）
      - DTUDbbb
        - DEATgggg.VGT
    - LCSCLIENT（現在地通知先用フォルダ）
      - LSCbbb
        - LSCDCbbb.LSC
    - DICT（単語登録用フォルダ）
      - DICTbbb.SVD
    - IM_DATA（文字入力学習データ用フォルダ）
      - IPMbbb.IPM
    - BACKUP（一括バックアップ用フォルダ）
      - SD_PIM
        - ADDRESS（電話帳一括バックアップ用フォルダ）
          - ADDRESS.VCF
        - SCHEDULE（スケジュール、ToDoリスト一括バックアップ用フォルダ）
          - SCHEDULE.VCS
        - MAIL
          - INBOX（受信メール一括バックアップ用フォルダ）
            - INBOX.VMG
          - SENTBOX（送信メール一括バックアップ用フォルダ）
            - SENTBOX.VMG
          - OUTBOX（未送信メール一括バックアップ用フォルダ）
            - OUTBOX.VMG
        - NOTE（メモ帳一括バックアップ用フォルダ）
          - NOTE.VNT
        - BOOKMARK（Bookmark一括バックアップ用フォルダ）
          - BOOKMARK.VBM
        - SETTING（設定情報一括バックアップ用フォルダ）
          - SETTING.VNT
    - TABLE（付加情報フォルダ）
  - DCMOPPL
    - DOCUMENT（Word、Excel、PowerPoint、TEXT用フォルダ）
      - DOCbbb
        - DOCDCbbb.###（拡張子はXLS、XLSX、DOC、DOCX、PPT、PPTX、TXT）
    - TABLE
      - DOCUMENT

- SD_PIM（電話帳、スケジュール、ToDoリスト、メール、メモ帳、Bookmark用フォルダ）
  - PIMddddd.###（拡張子は電話帳：VCF、スケジュール・ToDoリスト：VCS、メール：VMG、メモ帳：VNT、Bookmark：VBM）

- SD_AUDIO（SDオーディオ用フォルダ）

- SD_BIND（ｉアプリや移行可能コンテンツ用フォルダ）
  - SVCddddd
    - eeeeffff

つづく

■microSDカードに保存可能な件数・時間

ファイル	フォルダ	保存可能数・時間
静止画(DCF規格)	DCIM	P.550参照
動画(ｉモーション)	SD_VIDEO	P.552参照
動画(ビデオ)	SD_VIDEO	P.262参照
SDオーディオ	SD_AUDIO	P.284参照
静止画(DCF規格外)	STILL	約65500件
動画(SD-VIDEO規格外)	MMFILE	
ムービー	MOVIE	
メロディ	RINGER	
PDFデータ	DOCUMENT	
Word、Excel、PowerPoint、TEXTファイル	DCMOPPL	
トルカ	TORUCA	
デコメ絵文字®	DECOIMG	
デコメアニメ®テンプレート	DECO_A_T	
SDその他ファイル	OTHER	
現在地通知先	LCSCLIENT	
単語登録	DICT	
文字入力学習データ	IM_DATA	
電話帳、スケジュール、ToDoリスト、メール、メモ帳、Bookmark	SD_PIM	
ｉアプリ、移行可能コンテンツ	SD_BIND	

- 使用するmicroSDカードの容量によって、保存件数・時間は変わります。フォルダを追加して保存場所を変えると、より多くのファイルを保存できます。
- ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。
- microSDカードの空き容量と保存容量は「microSD情報表示」で確認できます。

お知らせ

- お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。
- パソコンの設定で拡張子や隠しフォルダなどが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

お知らせ

- microSDカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。P-06BでmicroSDカードを読めなくなることがあります。
- 「SD_AUDIO」・「SD_BIND」・「PRGccc」フォルダ内のファイルは暗号化されているため、パソコンで見ることはできません。
- パソコンで「PRGccc」フォルダ内にデータを保存すると、FOMA端末でビデオを削除できなくなる場合があります。
- パソコンでファイルの削除や上書き、書き込みを行う場合は、一度使用したファイル名は使用しないでください。例え、そのファイルを削除していたとしても、別のファイル名を使用してください。
- 「BACKUP」フォルダ内のフォルダとファイルは「microSDへバックアップ」を行うたびにすべて削除され、新しいバックアップデータが作成されます。また、「バックアップデータ削除」を行った場合も、「BACKUP」フォルダ内のフォルダとファイルはすべて削除されます。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
- microSDリーダーライターおよびPCカードリーダーアダプタについては、microSDカードの動作を各メーカにご確認のうえお買い求めください。

フォルダを管理する

データBOX内のデータによっては、それぞれフォルダでデータを管理できるものがあります。

- ミュージックのフォルダ操作についてはP.286参照。
- 「移行可能コンテンツ」フォルダの場合は、フォルダ内のデータ一覧画面でも、フォルダ一覧画面のサブメニュー項目が表示されます。

フォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。 ▶**フォルダ名を入力** ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	ユーザフォルダやFOMA端末の「デコメ絵文字」フォルダ内のフォルダ名を編集します。 ▶**フォルダ名を入力** ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	
1件削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
選択削除	▶**削除したいフォルダにチェック**▶[カメラ/TV]([完了]) ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
全削除	表示しているデータのユーザフォルダをすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
フォルダセキュリティ [マイピクチャ・iモーション・ムービー]	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES** フォルダが「[鍵付きフォルダ]」に変わります。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
赤外線全件送信 [マイピクチャ・iモーション・ムービー・メロディ・マイドキュメント]	P.406参照
フォルダ内全削除 [マイピクチャのみ]	「iモード」・「カメラ」・「デコメピクチャ」・「デコメ絵文字」・「手書きフォト/メモ」・「手書きダイアリー」・「自動お預かり」・「ユーザフォルダ」で選択しているフォルダに保存されているすべてのファイルを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
プログラム編集 [メロディのみ]	メロディなどを10曲まで選択して、好きな順にプログラム編集します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶**プログラム順<1曲目>～<10曲目>を選択** ▶**フォルダを選択**▶**メロディを選択** ●登録済みのメロディを解除する場合は「メロディ解除」を選択します。 ▶**操作を繰り返してプログラム編集を完了させる** ▶[カメラ/TV]([完了])
プログラム解除 [メロディのみ]	編集したプログラムをすべて解除します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶**YES**
保存先フォルダ選択	microSDカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。 ▶**YES**
保存容量確認	保存容量(目安)/件数を表示します。 ●[iα]([保存容量])を押しても表示できます。

お知らせ

<フォルダ追加>

●FOMA端末内では20件まで追加できます。ただし、「iモーション・ムービー」内は18件までです。

●microSDカード内で以下の場合はフォルダ追加できません。
- ・「ピクチャ」内フォルダ数が900件のとき
- ・「SDビデオ」内フォルダ数が4095件のとき
- ・「イメージボックス」・「デコメ絵文字」・「SDムービー」・「メロディ」・「その他コンテンツ」・「マイドキュメント」・「ドキュメントビューア」・「SDその他ファイル」内フォルダ数が999件のとき

つづく

お知らせ

＜フォルダ名編集＞
- フォルダセキュリティが設定されたフォルダは、フォルダ名編集できません。

＜フォルダ削除＞
- フォルダ内のファイルもすべて削除されます。
- microSDカード内では「1件削除」の動作になります。

＜フォルダセキュリティ＞
- 「ｉモード」「カメラ」「手書き」「自動お預かり」「ユーザフォルダ」「ボイスレコーダー」にのみ設定できます。
- フォルダセキュリティを設定したフォルダを選択すると、端末暗証番号の入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると、一時的にフォルダセキュリティが解除されます。

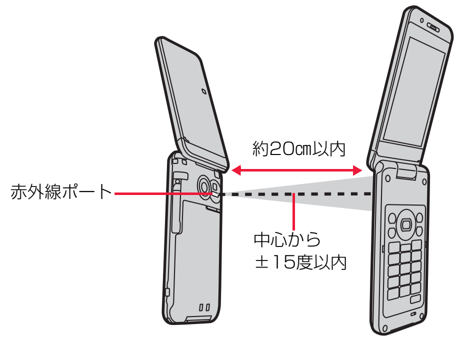
＜プログラム編集＞
- プログラムに登録したメロディのファイル名、タイトルや内容を変更したり削除したりすると、プログラムは全解除されます。

＜保存先フォルダ選択＞
- 保存先に設定されたフォルダには以下のアイコンが表示されます。
  「 」. . . .「ピクチャ」フォルダ･「SDビデオ」フォルダ内のフォルダ
  「 」. . . .「ドキュメントビューア」･「SDその他ファイル」内のフォルダ
  「イメージボックス」フォルダ･「デコメ絵文字」フォルダ･「ムービー」フォルダ･「メロディ」フォルダ･「マイドキュメント」フォルダ内のフォルダ
  「 」. . . .「きせかえツール」･「マチキャラ」内のフォルダ
  「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダ
  「 」. . . .「その他コンテンツ」フォルダ内のフォルダ
- microSDカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成･編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

赤外線通信を利用する

FOMA端末はIrMC™バージョン1.1規格に準拠しています。
赤外線通信機能を持つ機器との間でデータを送受信できます。ただし、相手機器によっては送受信できないデータがあります。

- 赤外線の通信距離は、約20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- FOMA端末を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下･赤外線装置の近くではその影響により、正常に通信できない場合があります。
- 受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。
- 通信中は、圏外と同じ状態になるため、音声電話、テレビ電話、ｉモード･メールなどのパケット通信、データ通信などは利用できません。



■転送できるデータの一覧

転送条件／転送可能データ	1件	全件
電話帳※1	○	1000件まで
スケジュール※2	○	2500件まで
ToDoリスト	○	100件まで
受信メール※3※4	○	2500件まで
送信メール※4	○	1000件まで
保存メール※4	○	20件まで
デコメアニメ®テンプレート	○	100件まで
メモ帳	○	20件まで
メロディ※5	○	3500件まで
静止画※6※7	○	3500件まで
ｉモーション※8	○	3500件まで
PDFデータ※5※9	○	3500件まで
トルカ※4※5	○	495件まで
Bookmark※4	○	600件まで
現在地通知先	○	5件まで
単語登録	○	100件まで
定型文	○	50件まで

○：転送できます。　×：転送できません。
※1　プロフィールも含みます。
※2　休日は送受信できません。
※3　エリアメールは別に100件送受信できます。(合計2600件)
※4　フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
※5　ファイルによっては送受信できません。
※6　Flash画像も含みます。
※7　自作アニメやワンセグで録画した静止画は送受信できません。
※8　ASFファイルやワンセグで録画したビデオは送受信できません。
※9　ｉモードしおりが消去される場合があります。

■受信したデータの保存場所や保存順

データ		保存場所／保存順
電話帳	1件受信	電話帳のメモリ番号「010」～「999」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「999」がすべて登録されているときは、「000」～「009」(「ツータッチダイヤル」)の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
	全件受信	送信元と同じメモリ番号で登録されます。
スケジュール	1件受信	スケジュールの開始日時に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時に登録されます。
ToDoリスト	1件受信	ToDoリストの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ順番で登録されます。
受信メール	1件受信	「受信フォルダ一覧」の「メール」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
送信メール	1件受信	「送信フォルダ一覧」の「送信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
保存メール	1件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
デコメアニメ®テンプレート	1件受信	「メール」内の「デコメテンプレート」内の「デコメアニメ」フォルダに登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で登録されます。
メモ帳	1件受信	<未登録>の1番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。

つづく

データ		保存場所／保存順
メロディ	1件受信	「データBOX」内の「メロディ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
静止画	1件受信	「データBOX」内の「マイピクチャ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
ｉモーション	1件受信	「データBOX」内の「ｉモーション・ムービー」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
PDFデータ	1件受信	「データBOX」内の「マイドキュメント」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
トルカ	1件受信	「トルカフォルダ」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
Bookmark	1件受信	「Bookmark」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
現在地通知先	1件受信	<未登録>の1番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。
単語登録	1件受信	単語登録の1番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。
定型文	1件受信	送信元と同じフォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。

お知らせ

- 以下のデータは送信できません。
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ・部分保存ファイル
  - ・FOMAカード内の電話帳やSMS
- お買い上げ時に登録されているデータBOX内のデータは全件送信では送信できません。
- microSDカード内のデータは送信できません。FOMA端末にコピーまたは移動してから送信してください。
- スケジュールを全件送信しても、ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールは送信されません。ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールを1件送信した場合は、通常のスケジュールとして送信されます。
- 静止画、ｉモーション、PDFデータのタイトルは、全角9文字/半角18文字、メロディのタイトルは、全角25文字/半角50文字まで送受信されます。
- メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルも送信されます。ただし、種類によっては送信されないことがあります。
- 受信側の端末によってはメールの題名をすべて受信できない場合があります。
- 未取得の添付ファイルがあるメールや、ｉアプリを起動させるリンク情報があるメールはそれらが削除されて送信されます。
- 受信メールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い受信メールから順に削除されます。ただし、未読または保護している受信メールは削除されません。
- 送信メールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているファイルを含むデコメアニメ®テンプレートの場合、それらのファイルまたは本文データを削除して送信します。
- 赤外線通信でトルカ(詳細)の送信を行った場合は、詳細も含めて転送するかどうかの確認画面が表示されます。その場合、「YES」を選択すると詳細も含めて送信され、「NO」を選択すると詳細を取得する前のトルカとして送信されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとして送信されます。
- 指定発信制限を設定中に、電話帳は受信できません。送信の際には、指定発信制限を設定した電話帳データ、プロフィールデータを送信できます。

お知らせ

- データの大きさによっては、転送に長い時間がかかることがあります。また、受信できないことがあります。
- 静止画やｉモーションは10Mバイト、メロディは100Kバイト、PDFデータは2Mバイト、デコメアニメ®テンプレートは100Kバイト、トルカは1Kバイト、トルカ(詳細)は100Kバイトをそれぞれ超えたデータの場合、登録できません。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)が接続されている場合、赤外線通信ができないことがあります。
- 受信側の端末が対応していないデータは、送信できません。

データを1件送受信する

赤外線でデータを1件ずつ送受信します。

■送受信時のご注意

- シークレットモード時はシークレットデータも送信できます。ただし、シークレット専用モード時はシークレットデータのみ送信できます。
- シークレット登録した電話帳を、シークレットモード／シークレット専用モード中に受信した場合、通常の電話帳として登録されます。
- 2in1のモードがデュアルモード中に電話帳を受信した場合は、電話帳2in1設定を変更できます。
- 電話帳データを1件送信する場合、登録したシークレットコードは送信されません。

データを1件送信する

- JPEG形式の静止画を送信するときは、高速赤外線通信(IrSS™送信)で送信できます。

1 **送信したいデータのサブメニュー▶赤外線送信･IrSS**

2 **YES**

データを1件受信する

1 **MENU▶便利ツール▶赤外線受信**

- 赤外線受信機能をデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.38参照)

2 **受信▶YES**

お知らせ

- ソフトを起動する指示を受信した場合、対応するソフトがダウンロード済みであればそのソフトが起動します。ただし、ｉアプリ To 設定で「赤外線からｉアプリ To」にチェックを付けていない場合は起動しません。

データを全件送受信する

赤外線でデータを全件送受信できます。
全件送信するには、認証パスワード（任意の4桁の番号）の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

■全件送受信時のご注意

- 全件受信を行うと、登録していたデータはシークレットデータや保護データも含めすべて削除され、受信したデータで上書きされます。「シークレットモード」で登録していたデータも削除されます。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
  ただし、デコメアニメ®テンプレート、データBOX内のデータ、トルカの場合、元のデータは削除されずに追加登録されます。
- 2in1利用中に電話帳を全件受信した場合は、送信側の電話帳2in1設定のまま登録されます。
- 電話帳を全件送信するとプロフィールのデータも一緒に送信されます。受信側の「プロフィール」は、自局番号以外はすべて書き替わります。メールアドレスも送信側のアドレスに書き替わりますので、受信側のメールアドレスに変更してください。
- シークレットモード時に限らず「シークレットデータ」として登録されている電話帳も送信されます。送信した「シークレットデータ」は受信側でも「シークレットデータ」として登録されます。
- 受信した電話帳のグループ名も登録されますので、「グループ設定」のデータも上書きされます。
- ToDoリストに対応していない端末にToDoリストを全件送信すると、受信側のスケジュールデータがすべて削除されますのでご注意ください。
- 保護されている受信メール、送信メールも送受信されます。
- 対応していないデータが含まれていた場合、受信が中断することがあります。

データを全件送信する

1 送信したいデータのサブメニュー ▶赤外線全送信・赤外線全件送信▶端末暗証番号を入力 ▶認証パスワードを入力▶YES

- データBOX内のデータを送信する場合は、送信できないデータが含まれている旨の確認画面が表示されます。送信する場合は、「YES」を選択してください。
- 認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

データを全件受信する

1 MENU▶便利ツール▶赤外線受信

- 赤外線受信機能をデスクトップに貼り付けておくこともできます。（P.38参照）

2 全件受信▶端末暗証番号を入力 ▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力 ▶YES▶YES

お知らせ

- 静止画が登録された電話帳やファイルが添付されたメールを受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

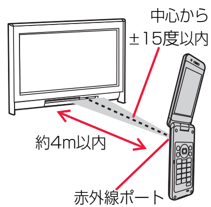
赤外線リモコン機能を利用する

ｉアプリを起動してFOMA端末をテレビのリモコンとして使用できます。

- リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。（お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は赤外線リモコン機能に対応しています。）また、リモコンのボタン操作はソフトにより異なります。
- 機器によっては操作できないものもあります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。

リモコン操作について

- 機器の正面にFOMA端末の赤外線ポートを向けて操作してください。操作ができる範囲は正面で約4m以内です。
- 赤外線放射角度は中心から±15度以内です。



＜電話帳画像転送＞

通信の設定を行う

赤外線、iC通信、microSDカード、Bluetooth、ドコモケータイdatalinkで電話帳を転送したときに、登録されている静止画もあわせて転送するかどうかを設定します。

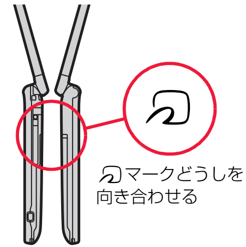
1 MENU▶**電話機能**▶**電話帳**▶**電話帳画像転送**▶**する・しない**

＜iC送信＞

iC通信機能について

iC通信とは、FeliCa リーダー／ライター機能を利用して他のFOMA端末とデータを送受信できる機能です。iC通信機能対応の他のFOMA端末と、マークどうしを向き合わせることでデータを送受信します。ただし、相手のFOMA端末によっては送受信できないデータがあります。

- 転送できるデータの種類と転送条件などは赤外線通信と同様です。（P.403参照）ただし、デコメアニメ®テンプレートとデータBOX内のデータの全件送信はできません。
- 「ICカードロック」を設定中はiC通信はできません。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。



- 通信中は、圏外と同じ状態になるため、音声電話、テレビ電話、ｉモード･メールなどのパケット通信、データ通信などは利用できません。

データを1件送受信する

iC通信でデータを1件ずつ送受信します。

- P.405「■送受信時のご注意」もご覧ください。

データを1件送信する

- 充電中はご利用できません。

1 **送信したいデータのサブメニュー**▶**iC送信・送信**▶**YES**

データを1件受信する

●マルチタスク中はご利用できません。

1 **待受画面を表示した受信側端末の マークと送信側端末の マークを向き合わせる▶YES**

データを全件送受信する

iC通信で電話帳、スケジュール、ToDoリスト、メモ帳、Bookmark、メール、現在地通知先、単語登録、定型文のデータを全件送受信できます。
全件送信するには、認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

●P.406「■全件送受信時のご注意」もご覧ください。

データを全件送信する

●充電中はご利用できません。

1 **送信したいデータのサブメニュー▶iC全送信・全送信▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶YES**

●認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

データを全件受信する

●マルチタスク中はご利用できません。

1 **待受画面を表示した受信側端末の マークと送信側端末の マークを向き合わせる**

2 **端末暗証番号を入力▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力▶YES**

お知らせ

●静止画が登録された電話帳を受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

<ボイスレコーダー>

ボイスレコーダーを利用する

音声を録音する機能です。会議中の音声などをメモ代わりに録音できます。

●ムービーモードで「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定した場合と同様の機能です。

●保存した音声は「データBOX」の「ｉモーション・ムービー」から再生します。再生方法や再生中の操作についてはP.365参照。

●録音時間の目安についてはP.551参照。

1 **[MENU]▶便利ツール▶ボイスレコーダー**



ボイスレコーダー
録音画面

2 **●(録音)または[O]を押す**

録音を開始します。

3 **●(終了)または[O]を押す**

録音を終了します。ボイスレコーダー保存確認画面が表示されます。

4 ◉(保存)または○を押す

お知らせ

●録音開始時・終了時にはマナーモードなどの設定に関わらず録音開始音・終了音が鳴ります。録音開始音・終了音の音量は変更できません。

ボイスレコーダー録音画面のサブメニュー

容量設定		▶**項目を選択** **メール制限(小)**. . . .500Kバイトまで録音できます。 **メール制限(大)**. . . .2Mバイトまで録音できます。 **長時間**. . . . . .長時間録音できます。microSDカードに保存します。
保存設定		
	保存先設定	録音した音声の保存先を設定します。 「本体」のときは「ｉモーション・ムービー」フォルダ内の「ボイスレコーダー」に、「microSD」のときは「その他コンテンツ」の「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダ内に保存されます。 ▶**本体・microSD** ●9を押しても保存先を設定できます。
	自動保存設定	録音終了後、自動的に保存するかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF**
	ファイル制限	P.243参照
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。
デスクトップ貼付		P.38参照

ボイスレコーダー保存確認画面のサブメニュー

再生		録音した音声を再生して確認できます。 ●再生時の操作についてはP.365参照。 ●✉(再生)を押しても音声を再生できます。
保存		P.409参照
メール添付／ブログ		
	ｉモードメール添付	録音した音声を保存し、ｉモードメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。 ●📷TV(✉MAIL)を押してもｉモードメールを作成できます。
	ブログ投稿	録音した音声を保存し、「ブログ・メールメンバー」で設定済みの投稿先を宛先にしたｉモードメールを作成します。 P.144手順3へ進みます。
保存先設定		P.409参照
ファイル制限		P.243参照
取消		録音した音声を保存しません。

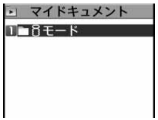
＜PDF対応ビューア＞

PDFデータを表示する

登録されているPDFデータを表示します。iモード、フルブラウザでサイト上のPDFデータを表示することもできます。

1 [MENU]▶**データBOX**▶**マイドキュメント**▶**フォルダを選択**▶**PDFデータを選択**

- フォルダ一覧画面で[✉]を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- PDFデータ一覧画面で[iα]（切替）を押すごとに表示方法を変更します。

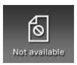


フォルダ一覧画面



PDFデータ一覧画面

- フォルダ一覧画面のサブメニューはP.401参照。
- プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。



表示不可



プレビュー非対応
（「[PDF]」や「[PDF]」のPDFデータ）



プレビュー非対応
（「[PDF]」のPDFデータ）

- すべてのページをダウンロードしないと表示されないPDFデータの場合、すべてダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択して保存したいフォルダを選択します。
- PDFデータによっては表示する際にパスワードの入力画面が表示される場合があります。パスワードを入力して「OK」を選択します。
- PDFデータ表示中は画面にポインタが表示されます。ポインタについてはP.195参照。
- [📷TV]（アクション）を押すと、アクションメニューが表示されます。アクションメニューについてはP.199参照。

■PDFデータ表示中の操作

- サブメニューから操作する場合はP.411参照。

操作	ボタン操作
上スクロール	[上]
下スクロール	[下]
左スクロール	[左]
右スクロール	[右]
前のページ	[✉]、[4]
次のページ	[iα]、[6]
ズームアウト	[1]
ズームイン	[3]
全体表示	[2]

お知らせ

- 本体・microSDカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。また、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
- データによっては、正しく表示されないことがあります。
- 部分的にダウンロードしたPDFデータを表示中に、ダウンロードしていないページを表示しようとすると、そのページをダウンロードします。
- 複数のタブでPDFデータを表示することはできません。

PDFデータ一覧画面のサブメニュー

タイトル編集	P.355参照
ドキュメント情報	PDFデータのタイトル、保存日時などを表示します。
iモードメール添付	PDFを添付してiモードメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。 ●[📷TV]（[✉MAIL]）を押してもiモードメールを作成できます。
赤外線送信	P.405参照
iC送信	P.407参照
microSDへコピー	
1件コピー	P.391参照
選択コピー	P.391参照

データ管理

全コピー	P.391参照
本体へコピー	
1件コピー	P.392参照
選択コピー	P.392参照
全コピー	P.392参照
コピー	
1件コピー	P.356参照
選択コピー	P.356参照
全コピー	P.356参照
フォルダ移動	
1件移動	P.355参照
選択移動	P.355参照
全移動	P.355参照
デスクトップ貼付	P.38参照
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート	P.356参照
削除	
1件削除	P.356参照
選択削除	P.356参照
全削除	P.356参照

PDFデータ表示中のサブメニュー

表示	
ズームイン	PDFデータ表示サイズを拡大します。 1000%まで拡大できます。
ズームアウト	PDFデータ表示サイズを縮小します。 8%まで縮小できます。
倍率指定	PDFデータの表示倍率を指定します。 ▶**倍率を入力** ●8～1000%まで指定できます。
全画面表示	PDFデータを全画面表示します。 ●全画面表示を解除するにはCLRを押します。
全体表示	PDFデータを全体表示します。
実際の大きさ	PDFデータを倍率100%で表示します。
幅にあわせる	PDFデータの表示倍率をページの幅に合わせて自動的に設定します。
表示を回転	▶**右90°回転・左90°回転・180°回転**
ページレイアウト ビューア起動時 単一ページ	PDFデータの表示レイアウトを変更します。 ▶**単一ページ・見開きページ・連続ページ**
リンク表示	PDFデータ内に設定されているリンクを表示します。リンクの種類には内部リンク(表示中のPDFデータ内に設定されているリンク)、Web To、Mail To、Phone To／AV Phone Toがあります。 ▶**リンクを選択** ●画面内に複数のリンクがある場合は、Oで選べます。 ●内部リンクを選択するとPDFデータ内のリンクされているページへ移動できます。その他のリンクについてはP.211参照。
表示情報設定 ビューア起動時 表示する	PDFデータを表示する際に、表示倍率、ページ番号、スクロールバーを表示するかどうかを設定します。 ▶**項目を選択**▶**表示する・表示しない**
残り全てを取得	ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータや、通信が途中で切断されダウンロードに失敗したPDFデータなどの、ダウンロードしていない部分をすべてダウンロードします。 ▶**YES**

つづく

ページ移動		PDFデータ内の他のページに移動します。 ▶**移動したいページを選択** ●「指定のページ」を選択した場合は、ページ番号欄に移動したいページ数を入力します。
検索		指定した文字列でPDFデータ内を検索します。 ▶**検索文字列の欄を選択**▶**検索したい文字を入力** ●全角8文字/半角16文字まで入力できます。 ▶**指定したい検索条件にチェック**▶[カメラ/TV]([検索]) 指定した文字列と一致した箇所が黄緑色にマーキングされます。 ●[メール]([前検索])や[iα]([次検索])を押すと、同じ条件で続けて検索できます。 ●[カメラ/TV]([編集])を押すと検索文字列や条件を編集できます。
保存		P.413参照
画面切り出し		画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存します。 ▶**YES**▶**フォルダを選択** ●保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。
しおり		
	しおり表示	P.413参照
	iモードしおり追加	現在表示しているページにしおり(iモードしおり)を設定します。しおりを選択して目的のページを簡単に表示できます。10件まで設定できます。 ▶**タイトルの欄を選択**▶**タイトルを入力**▶**OK** PDFデータが自動的に保存されます。 ●全角64文字/半角128文字まで入力できます。 ●しおりがいっぱいのときはP.413参照。
マーク		
	マーク表示	P.413参照
	マークの追加	現在表示しているページ番号とページ内の位置をマークとして登録します。ポイントとなる箇所の目印などとして利用できます。10件まで設定できます。 ▶**YES** PDFデータが自動的に保存されます。 ●マークがいっぱいのときはP.413参照。
プロパティ表示		PDFデータのタイトルや作成者などを表示します。
ファイル情報表示		P.410「ドキュメント情報」参照
コピー		PDFデータの文字を選択してコピーします。 ▶**始点を選択**▶**終点を選択** ●全角1000文字/半角2000文字までコピーできます。 ●コピーした文字を貼り付けるにはP.460参照。
操作ガイド		ボタン操作のガイドを表示します。
タブ操作		
	新しいタブで開く	P.195参照
	タブを閉じる	P.198参照
	タブ切替	P.198参照
メール作成		PDFを添付してiモードメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。

お知らせ

＜表示＞
- 表示方法を変更して保存すると、次に起動したときは保存したときの倍率やレイアウトで表示されます。
- 部分的なPDFデータの場合はページレイアウトの変更はできません。

＜検索＞
- 各検索条件の動作は次のとおりです。
  完全一致：単語単位で完全に一致した文字列を検索します。
  大文字小文字区別：大文字、小文字を区別して検索します。
  ページ内検索：現在表示中のページ内でのみ検索します。

お知らせ

<画面切り出し>
- PDFデータのセキュリティ設定によっては、画面の切り出しができない場合があります。

<コピー>
- PDFデータのセキュリティ設定によっては、コピーできない場合があります。

しおり表示

PDFデータに設定されているしおりと追加で設定したｉモードしおりを一覧表示します。
しおりを選択すると設定されているページを表示できます。

1 PDFデータ表示中▶MENU(サブメニュー)▶しおり▶しおり表示▶しおり・ｉモードしおり▶しおりを選択

- あらかじめ設定されているしおりには階層が分かれているものがあります。📷TV(次へ)を押すと、下階層のしおりを表示できます。

ｉモードしおり一覧表示中のサブメニュー

タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角64文字/半角128文字まで入力できます。
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいしおりにチェック▶📷TV(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

マーク表示

PDFデータに登録されているマークのページと位置を一覧表示します。
マークを選択すると登録されているマークのページを表示できます。

1 PDFデータ表示中▶MENU(サブメニュー)▶マーク▶マーク表示▶マークを選択

マーク一覧表示中のサブメニュー

1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいマークにチェック▶📷TV(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

保存

PDFデータを保存します。ダウンロードした新たなページを保存できます。
容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.553参照)

1 PDFデータ表示中▶MENU(サブメニュー)▶保存▶YES

一度FOMA端末またはmicroSDカードに保存しているPDFデータの場合は、保存するたびに上書き保存されます。(手順2の操作は不要です。)
FOMA端末またはmicroSDカードに保存されていないPDFデータの場合は、新規保存されます。
- サーバ側の変更により最初のページから再度ダウンロードしたPDFデータの場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると上書き保存されます。「NO」を選択すると新規保存されます。

2 保存したいフォルダを選択

- 保存しているデータがいっぱいのときはP.210参照。

しおり・マークがいっぱいのときは

すでにしおり・マークが10件設定されているPDFデータにしおり・マークを追加しようとした場合や、しおり・マークが11件以上設定されているPDFデータを保存しようとした場合は、不要なしおり・マークを削除してから追加／保存するかどうかの確認画面が表示されます。

1. 「YES」または「OK」を選択
2. 削除するしおり・マークを選択
   または
   削除するしおり・マークにチェック▶📷TV(完了)▶YES
   - 「完了」が表示されるまでチェックを付けます。

<ドキュメントビューア>

Word、Excel、PowerPoint、Text ファイルを表示する

メールに添付されたドキュメントファイルや、microSDカードに保存したドキュメントファイルを表示します。(P.398参照)

■表示できるドキュメントの種類

ドキュメントの種類	拡張子
Excel	XLS、XLSX
Word	DOC、DOCX
PowerPoint	PPT、PPTX
Text	TXT

1 MENU▶**データBOX**▶**ドキュメントビューア**▶**フォルダを選択**▶**ファイルを選択**

- フォルダ一覧画面のサブメニューはP.401参照。
- ドキュメントファイル表示中は画面にポインタが表示されます。ポインタについてはP.195参照。



フォルダ一覧画面

→



ドキュメント一覧画面

■ドキュメントファイル表示中の操作

- サブメニューから操作する場合はP.415参照。

操作	ボタン操作
上スクロール	(上)
下スクロール	(下)
右スクロール	(右)
左スクロール	(左)
操作ガイド	0
ズームアウト	1
全体表示	2

操作	ボタン操作
ズームイン	3
前のページ	✉、4
次のページ	iα、6
右90°回転	5
幅にあわせる	8
スクロール設定	#

お知らせ

- データによっては、正しく表示されないことがあります。
- ドキュメントビューアではポインタのドラッグモードによる操作はできません。

ドキュメント一覧画面のサブメニュー

タイトル編集	P.355参照
ファイル情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。
iモードメール添付	ドキュメントファイルを添付してiモードメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。 ● 📷TV(✉MAIL)を押してもiモードメールを作成できます。
コピー	
1件コピー	P.356参照
選択コピー	P.356参照
全コピー	P.356参照
フォルダ移動	

データ管理

	1件移動	P.355参照
	選択移動	P.355参照
	全移動	P.355参照
保存容量確認		保存容量(目安)を表示します。
削除		
	1件削除	P.356参照
	選択削除	P.356参照
	全削除	P.356参照

ドキュメントファイル表示中のサブメニュー

表示	ファイルの表示方法を変更します。 ▶**表示方法を選択** ●「倍率指定」を選択した場合は倍率を入力します。8〜1000%まで指定できます。 ●「表示を回転」を選択した場合は回転方法を選択します。
ページ移動	ファイル内の他のページに移動します。 ▶**移動したいページを選択** ●「指定のページ」を選択した場合は移動したいページ数を入力します。
検索	指定した文字列でファイル内を検索します。 ▶**検索文字列の欄を選択**▶**検索したい文字を入力** ●全角8文字/半角16文字まで入力できます。 ▶**指定したい検索条件にチェック**▶📷TV(検索) 指定した文字列と一致した箇所が反転表示されます。 ●✉(前検索)やiα(次検索)を押すと、同じ条件で続けて検索できます。 ●📷TV(編集)を押すと検索文字列や条件を編集できます。
保存	表示中のファイルをmicroSDカードに保存します。 ▶YES
スライドショー	Microsoft PowerPointファイルのスライドショーを実行します。 ●スライドショー実行中は◉または◎で次のスライドを、◎で前のスライドを表示できます。
操作ガイド	ボタン操作のガイドを表示します。

表示設定		
	ステータスバー設定	表示倍率、ページ番号、スクロール設定の設定を表示するステータスバーを表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
	スクロールバー設定	スクロールバーを表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
	マップ設定	現在の表示範囲を示す縮小画像(マップ)を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
	スクロール設定	Microsoft Wordファイル、Textファイルのスクロール方法を設定します。 ▶**項目を選択** 2way . . . . 上下の2方向でスクロールします。ステータスバーに「2Way」が表示されます。 4way . . . . 上下左右の4方向でスクロールします。
メール作成		ドキュメントファイルを添付してｉモードメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。
ファイル情報表示		ファイル名やファイル種別などを表示します。

お知らせ

<検索>

●各検索条件の動作は次のとおりです。
完全一致:単語単位で完全に一致した文字列を検索します。
大文字小文字を区別:大文字、小文字を区別して検索します。
行方向に検索(Excelファイルのみ):
列方向に検索(チェックなし)するか、行方向に検索(チェックあり)するかを設定します。

つづく

お知らせ

<マップ設定>

- Textファイルではマップを表示できません。

保存した画像を印刷する

microSDカードに保存されている画像の印刷方法を設定する

DPOFとは、デジタルカメラで撮影された静止画用のプリント情報を記録するための指定方式です。microSDカード内の静止画にプリントするかどうかの情報とその枚数を設定します。プリントサービスショップに持ち込んだり、DPOFに対応したプリンタで設定どおりに印刷できます。

1 静止画一覧画面・静止画再生中▶MENU(サブメニュー)▶DPOF設定▶プリント指定▶プリント枚数を入力

- 「01」〜「99」の2桁を入力します。
- 静止画一覧画面のサブメニューから操作した場合は、「1件DPOF設定」または「選択DPOF設定」を選択します。「選択DPOF設定」を選択した場合は、設定したい静止画にチェックを付けて📷TV(完了)を押します。
- プリント指定を解除するには「プリント指定解除」または「プリント指定全解除」を選択します。

お知らせ

- DPOF設定した画像は種別アイコンが「JPG」になります。
- 999件までの画像にDPOF設定を設定できます。
- 8Mバイトを超える画像や13M(3120×4160)を超える画像には設定できません。
- microSDカードの空き容量が少ない場合、DPOFが設定されないことがあります。(アイコン表示とピクチャ情報は設定済みとなります。)
- P-06Bで撮影した静止画はPRINT Image MatchingⅢにも対応しています。

便利な機能

<歩数計>

歩数計を使う

FOMA端末を持ち歩いている間の歩数を計測し、計測結果に基づいて歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量を表示します。

■歩数計利用時のご注意

- メイン時計設定を行っていない場合は、利用できません。
- キャリングケースL 01(別売)に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。
- かばんなどに入れるときは、固定できるポケットや仕切りの中に入れてください。

■計測について

- 一定のペースで歩行していただくと、より正確に歩数を計測できます。毎分100〜120歩程度で歩くことをおすすめします。
- 歩きかたや計測できない状況などで歩数に誤差が生じる場合があります。また、歩行距離、消費カロリー、脂肪燃焼量は歩数と入力した体重、歩幅をもとに算出されます。あくまで目安としてご活用ください。
- 誤カウントを防ぐため、歩き始めや歩くペースを変えた直後は数値が変わりません。目安として10歩以上歩くとそこまでの歩数が一度に加算されます。
- 電源が入っていないときやソフトウェア更新中は計測されません。
- 以下の場合は歩数が正確に計測されないことがあります。
  - ･FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たっていたり、FOMA端末を腰やかばんからぶら下げたりして不規則に動くとき
  - ･すり足のような歩きかたをしたり極端にゆっくり歩いたとき
  - ･歩行以外のスポーツやジョギングをしたとき

計測履歴を表示する

歩数を計測するには、「歩数計設定」を「ON」に設定します。(お買い上げ時は「ON」に設定されています。)歩数の計測は「歩数計設定」を「OFF」に設定するまでは、常に計測されます。

1 MENU▶**便利ツール**▶**歩数計**

- ◉を押すごとに1日ごとの表示→1週間ごとの表示→1ヶ月ごとの表示に変更できます。
- ◎を押すと前後の日、週、月の計測履歴を表示します。
- 📷TVを押すごとに計測データの項目を変更できます。
- 1週間ごとの表示や1ヶ月ごとの表示の際に、✉を押すごとにテキスト表示→リスト表示→グラフ表示を変更できます。



歩数計測履歴画面

お知らせ

- 計測履歴は、「MENU▶便利ツール▶歩数計」の操作を行うごとに最新の状態に更新されます。待受画面に歩数などを表示するFlash画像を設定している場合は、Flash画像が再生されたときにも更新されます。歩数計測履歴画面を表示中や、待受画面のFlash画像が停止中は更新されません。
- 表示されるデータの項目とその1日当たりの最大値は以下のとおりです。
  - ･歩数 999999歩
  - ･歩行距離 1000000m
  - ･消費カロリー. . . . 7000.0kcal
  - ･脂肪燃焼量 900.0g
  - ･それぞれの目標　･目標までの残り　･達成度
- 目標歩数の値に従ってそれぞれの項目の目標が算出されます。また、目標歩数の達成度に応じて画面の表示が変化します。
- 0:00〜23:59までを1日分の計測履歴として保存します。計測履歴は1ヶ月ごとに最大3ヶ月分(92日)まで保存されます。

お知らせ

- 計測履歴は約15分ごとに保存されます。ただし、電池パックを外した場合、最後に保存された計測履歴から電池パックが外されるまでの歩数は計測履歴には保存されません。

歩数計測履歴画面のサブメニュー

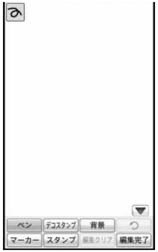
歩数計設定	歩数の計測を開始／停止します。 ▶**ON・OFF** ●「OFF」に設定しても計測履歴はリセットされません。再度「ON」に設定すると続きとして計測を再開します。
ユーザ情報設定	体重と歩幅を設定します。ユーザ情報は歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量の算出に使用します。 ▶**体重(kg)を入力**▶**歩幅(cm)を入力** ●「030」～「120」の3桁を入力します。
目標歩数	目標とする1日分の歩数を設定します。 ▶**歩数を入力** ●「000000」～「999999」の6桁を入力します。
履歴全削除	計測履歴をすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
デスクトップ貼付	P.38参照

＜手書きフォト／メモ＞

手書きフォト／メモを作成する

タッチパネルで画像に手書きの絵や文字を書いたり、デコレーションしたりできます。
作成した手書きフォト／メモはJPEG画像として、「マイピクチャ」内の「手書き」フォルダ内の「手書きフォト／メモ」フォルダに保存されます。

1 **ノーマルメニュー▶手書き▶手書きフォト／メモ**



- ノーマルメニューで「メール▶手書きメール」の操作を行っても手書きフォト／メモが起動します。
- タッチペンについての確認画面が表示された場合は、「OK」をタッチします。「以後確認しない」にチェックを付けると、以後同様の確認画面は表示されません。

2 **以下の操作を行う**

ペン	ペンで絵や文字を書きます。 ▶**ペンパレットで太さ・色・ペン種を設定** ▶**スライドして絵や文字を書く** ●ひと筆で書ける長さには制限があります。
マーカー	マーカーで絵や文字を書きます。マーカーの色は透けて表示されます。 ▶**マーカーパレットで太さ・色を設定** ▶**スライドして絵や文字を書く** ●ひと筆で書ける長さには制限があります。

つづく

デコスタンプ	スライドした部分にデコスタンプを配置します。 ▶デコスタンプパレットで画像を設定 ▶スライドしてデコスタンプを配置 ●「ちりばめ」のデコスタンプは大きさや角度がランダムに配置され、「ころころ」のデコスタンプは一定の規則で配置されます。 ●ひと筆で書ける長さには制限があります。
スタンプ	タッチした部分にスタンプを配置します。 ▶スタンプパレットで画像を設定 ▶タッチしてスタンプを配置 配置したスタンプに枠が表示されます。枠内をスライドするとスタンプを移動でき、四隅をスライドするとスタンプを拡大／縮小／回転できます。 ●枠内や四隅以外の箇所をタッチすると枠が消え、スタンプが確定します。一度確定したスタンプを再度移動／拡大／縮小／回転することはできません。 ●「マイピクチャ」内のJPEG画像をスタンプとして配置することもできます。
背景	背景の色または画像を変更します。編集した内容はすべて取り消されます。 ▶背景パレットで色・画像を設定▶YES ●「マイピクチャ」内のJPEG画像を背景にすることもできます。 ●「⊞」をタッチして画像を回転することもできます。
編集クリア	編集した内容をすべて取り消します。 ▶YES
↺	編集した内容を10回まで元に戻します。 ●「スタンプ」の移動／拡大／縮小／回転、「背景」、「編集クリア」などは元に戻せません。

3 編集完了▶縦向き保存・横向き(左90度)保存

●ノーマルメニューの「メール」から操作した場合はデコメール®を作成します。P.144手順2へ進みます。

4 項目を選択

ピクチャーに保存....手書きフォト／メモを保存します。
メール添付.........iモードメールを作成します。P.144手順2へ進みます。
デコメール作成.....デコメール®を作成します。P.144手順2へ進みます。(デコメール®についてはP.147参照。)
ブログ投稿.........「ブログ・メールメンバー」で設定済みの投稿先を宛先にしたiモードメールを作成します。P.144手順3へ進みます。
カスタマイズメニューに登録
.................カスタマイズメニューにショートカットアイコンとして登録します。
保存しないで終了....保存せずに終了します。

お知らせ

●「▲」「▼」をタッチしてコントロールボタンの表示／非表示を切り替えることができます。また、「☒」をタッチしてパレットを非表示にできます。
●保存した手書きフォト／メモの画像サイズは待受(480×854)になります。
●FOMA端末の空き容量が500Kバイトより少ないと手書きフォト／メモを起動できません。空き容量を増やしてから起動してください。

<手書きダイアリー>

手書きダイアリーでスケジュールを管理する

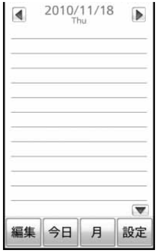
タッチパネルで手書きの絵や文字が入ったダイアリーを作成します。ダイアリーは月ごとまたは日ごとに作成でき、月ダイアリーを48件まで、日ダイアリーを1460件まで登録してスケジュールを管理できます。

1 ノーマルメニュー▶手書き▶手書きダイアリー

- タッチペンについての確認画面が表示された場合は、「OK」をタッチします。「以後確認しない」にチェックを付けると、以後同様の確認画面は表示されません。
- 「月」「日」をタッチすると月ダイアリー画面と日ダイアリー画面を切り替えることができます。
- 「今日」をタッチすると当日のダイアリーが表示されます。



月ダイアリー画面



日ダイアリー画面

- 「◀」「▶」をタッチすると前後の月日のダイアリーが表示されます。
- 月ダイアリー画面で日付をタッチ（ロングタッチ）すると表示を拡大／縮小できます。スライドレバーをスライドまたは「＋」「－」をタッチしても拡大／縮小できます。

2 編集▶以下の操作を行う

ペン	P.419参照
マーカー	P.419参照
デコスタンプ	P.420参照
スタンプ	P.420参照
表示範囲	月ダイアリーの編集画面を拡大／縮小できます。
キャンセル	編集した内容をすべて取り消します。
↺	P.420参照

3 保存

- 日ダイアリーを登録する場合、スケジュールで確認できるようにするかどうかの確認画面が表示されます。「以後確認しない」にチェックを付けると、以後同様の確認画面は表示されません。

お知らせ

- 「▲」「▼」をタッチしてコントロールボタンの表示／非表示を切り替えることができます。また、「☒」をタッチしてパレットを非表示にできます。

手書きダイアリーの設定を行う

1 月ダイアリー画面・日ダイアリー画面▶設定▶以下の操作を行う

データ操作		
	データ削除（月）・データ削除（日）	▶YES ●削除する月に日ダイアリーが登録されている場合は、同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。
	ダイアリーデータ全削除	すべての月ダイアリーと日ダイアリーを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
	保護設定	
	保護／保護解除（月）・保護／保護解除（日）	ダイアリーを削除されないように保護します。保護すると「🔒」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
	保護データ全解除	▶YES
	静止画として保存	ダイアリーをJPEG画像として、「マイピクチャ」内の「手書き」フォルダ内の「手書きダイアリー」フォルダに保存します。 ▶YES

つづく↪

スケジュール登録設定	日ダイアリーを登録したときに、スケジュールで確認できるようにするかどうかを設定します。 ▶YES
登録件数確認	登録件数を表示します。

お知らせ

<データ削除(月)・データ削除(日)><ダイアリーデータ全削除>
- 日ダイアリーを削除するとスケジュールも削除されます。
- 削除するダイアリーを静止画として保存することもできます。
  「データ削除(月)」で日ダイアリーも同時に削除する場合は「月ダイアリーYYYYMM_XXX」フォルダ、「ダイアリーデータ全削除」の場合は「全ダイアリーYYYYMMDD_XXX」フォルダに作成されます。(Y:西暦、M:月、D:日、X:数字)
  フォルダは50件まで作成されます。

<静止画として保存>
- 月ダイアリーの画像サイズは1440×2562ドット、日ダイアリーの画像サイズは待受(480×854)になります。

<マルチアクセス>

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話・パケット通信・SMSの3回線を同時に使用できる機能です。
画面を切り替えるときは(タスク)を押してタスクメニューから切り替えます。(P.423参照)
マルチアクセスの組み合わせパターンについての詳細は、P.524参照。

音声電話	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

お知らせ

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話をかける

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話をかけることができます。

1 ｉモード中・パケット通信中▶(タスク)▶待受画面

2 電話をかける

- ｉモード中にテレビ電話をかけると、ｉモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。
  テレビ電話を終了すると、ｉモードの画面に戻ります。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると電話着信画面が表示される▶(発信)で電話に出る

- 電話に出ないでｉモードやパケット通信の画面に戻るには(タスク)を押してタスクメニューを表示し、機能を切り替えます。もう一度(タスク)を押すとタスクメニューから電話着信画面に戻れます。
  相手にはメッセージは流れず、呼び出し中になります。

音声電話中に他の通信を利用する

音声電話を終了せずにｉモードやメールの送受信などができます。

1 音声電話中▶(タスク)▶MENUを開く

アイコンを選択して各機能の操作を行います。

お知らせ

- 通話中にメールやメッセージR/Fを受信した場合、「受信時動作設定」の設定に関わらず、着信音は鳴らず、着信イルミネーションも光りません。

お知らせ

- 「受信時動作設定」を「通知優先」に設定しているときは、以下の場合を除いて、着信音が鳴り受信結果画面が表示されます。
  ・通話中　　　　　　　・カメラ起動中
  ・ワンセグ視聴中（「メールテロップ表示設定」が「OFF」以外の場合）
  ・ｉアプリ待受画面に設定したｉアプリを通常のｉアプリとして実行中
- パソコンをつないだパケット通信を利用する場合は、音声電話中にパソコンから発信操作を行います。

＜マルチタスク＞

マルチタスク

FOMA端末は、複数の機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。メニュー機能（P.41参照）はグループに分けられていて、各グループの中から1つずつ、最大3つの機能を同時に使えます（ワンセグ／ミュージックグループを除く）。
マルチタスクの組み合わせパターンについては、P.525参照。

グループ	主な機能
メールグループ	メール
ｉモードグループ	ｉモード／web トルカ
ｉアプリグループ	ｉアプリ
ツールグループ	電話帳 発着信履歴 カメラ データBOX 便利ツール 地図・GPS機能
設定グループ	各種設定機能
ｉコンシェルグループ	ｉコンシェル
ワンセグ／ミュージックグループ	ワンセグ ミュージックプレーヤー Music&Videoチャネル
グループに属さない機能	音声電話 テレビ電話 64kデータ通信

新しい機能を実行する

1 各種機能を実行中▶ ▶MENUを開く▶新しい機能を実行

使用している機能が1つのときは「 」のアイコンが表示されます。複数の機能を使用中は「 」のアイコンが表示されます。

- すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されているときは、機能を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると元のメニュー機能は終了し、新しいメニュー機能が呼び出されます。

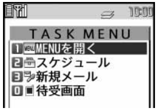
お知らせ

- 通話中に他の機能を同時に使っている間でも、通話料金は加算されます。
- 他の機能が起動中に着信があった場合、正しく着信動作しないことがあります。その場合、「伝言メモ」や「転送でんわサービス」などが設定した呼出時間よりも短い時間で動作することがあります。
- 処理負荷の高い機能を実行中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、表示などの動作に遅れが発生することがあります。

画面を切り替える

を押すと、タスクメニューが表示されます。タスクメニューから機能を選択して切り替えることができます。

- 「MENUを開く」を選択するか（MENU）を押すと、メインメニューが表示されます。
- 「待受画面」を選択するか（待受画面）を押すと、待受画面が表示されます。



タスクメニュー

お知らせ

- 複数のメニュー機能が起動しているときは、[タスク]を1秒以上押して、タスクメニューを表示せずに画面を切り替えることができます。
- [タスク]で画面を切り替えても、起動中のメニュー機能が終了したり、電話が切れたりすることはありません。また、文字入力（編集）画面から他のメニューに切り替え、そのメニューで文字編集などを行っても、タスクを切り替えれば、元の文字編集を続けることができます。

機能を終了する

各機能の画面が表示されている状態で[終話]を押すと、その機能が終了します。

- タスクメニューで機能を選んで[終話]を押し、「YES」を選択すると選んだ機能が終了します。[カメラ/TV]（[END ALL]）を押し、「YES」を選択すると起動中の機能がすべて終了し、待受画面に戻ります。
- バックグラウンド再生中の待受画面で[終話]を押すと、バックグラウンド再生中の機能を終了するかどうかの確認画面が表示されます。

<自動電源ON><自動電源OFF>

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る

1 **[MENU]▶本体設定▶時計▶自動電源ON・自動電源OFF▶ON・OFF▶時刻を入力▶項目を選択**

繰り返しなし. . . .設定した時刻に1回のみ電源をON／OFFします。
毎日繰り返し. . . .設定した時刻に毎日電源をON／OFFします。

お知らせ

- アラームやスケジュールアラームなどと同時刻に「自動電源OFF」を設定すると、アラームやスケジュールアラームなどが優先されます。
- 「自動電源OFF」を設定しても、待受画面以外を表示中に指定した時刻になった場合は電源は切れません。起動中のそれぞれの機能を終了したあと、電源が切れます。なお、待受画面にFlash画像を設定すると、Flash画像が動いている間は電源が切れないことがあります。

お知らせ

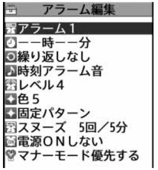
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

<アラーム>

アラームを利用する

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーション、イルミネーションでお知らせします。10件まで登録できます。

1 **[MENU]▶便利ツール▶アラーム▶アラームを選んで[カメラ/TV]（[編集]）▶以下の操作を行う**



項目	操作
タイトル	▶タイトルを入力 ●全角6文字/半角12文字まで入力できます。
時刻	▶アラームを鳴らす時刻を入力
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて[カメラ/TV]（[完了]）を押します。
アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択▶アラーム音を選択
アラーム音量	▶[上下]で音量を調節 ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
イルミネーション	▶項目を選択 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが光ります。

便利な機能

パターン	▶固定パターン・メロディ連動 ●「メロディ連動」を選択すると、メロディに合わせて着信／充電ランプが光ります。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが光ります。
スヌーズ通知	▶スヌーズ通知する・スヌーズ通知しない **スヌーズ通知する** . . . . 鳴動回数(回)と鳴動間隔(分)を「01」～「10」の2桁で入力します。 **スヌーズ通知しない** . . . 鳴動時間(分)を「01」～「10」の2桁で入力します。 ●スヌーズ通知の動作についてはP.426参照。
自動電源ON	電源を切っているときにアラーム時刻になった場合、自動的に電源をONにしてアラーム通知するかどうかを設定します。 ▶電源ONする・電源ONしない
アラーム音優先	マナーモード中のアラーム音量について設定します。 ▶項目を選択 **マナーモード優先する** . . . アラーム音は鳴りません。 **アラーム優先する** . . . . . . 本機能で設定した音量で鳴ります。 ●オリジナルマナー設定時はP.111「アラーム音量」の設定に従って鳴ります。

2 (完了)を押す

●他のアラームが同じ時刻で登録されている場合は、設定OFFで登録するかどうかの確認画面が表示されます。
●設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
D：毎日繰り返し
W：曜日指定繰り返し

アラーム表示中のサブメニュー

編集	P.424「アラームを利用する」手順1へ進みます。
詳細表示	登録内容を表示します。 ●(選択)を押しても表示できます。
完了(1件ON)	登録済みのアラームをONにします。 ●(ON/OFF)を押してもON／OFFできます。
1件OFF	登録済みのアラームをOFFにします。 ▶YES ●(ON/OFF)を押してもON／OFFできます。
全件OFF	登録済みのアラームをすべてOFFにします。 ▶YES

お知らせ

●通話中にアラームが鳴ったときはいずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。もう一度いずれかのボタンを押すとスヌーズを含めてアラームが終了します。通話中の相手が電話を切った場合は、スヌーズを含めてアラームが終了します。
●通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
●スヌーズ中に以下の動作が発生した場合、スヌーズは解除されます。
・音声電話、テレビ電話の着信があった場合
・「位置提供設定」やサービスごとの利用設定で位置提供を許可する設定にしているときに、位置提供の要求を受信した場合
・「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合
●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDoリスト」のアラームを設定したときは

待受画面にアイコンが表示されます。
「 」. . . . 当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合に表示されます。
「 」. . . . 明日以降の設定のみの場合に表示されます。
●スケジュール・ToDoリストの「アラーム通知」を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDoリスト」で設定した時刻になったときは

アラーム音が約5分間(「アラーム」は設定した時間)鳴り、イルミネーションが光ります。また、「バイブレータ設定」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、アラームメッセージと選択したアイコンに連動したアニメーションまたはｉモーションが表示されます。

- アラームの「スヌーズ通知」を「スヌーズ通知する」に設定したときは
  [終話]を押してスヌーズを解除するまで「スヌーズ通知」の設定に従って動作します。1回に付き約1分間アラーム音が鳴ります。
- 通話中は
  受話口から専用のアラームが3回繰り返し鳴ります。
- 操作中は
  「アラーム通知設定」の設定に従って動作します。(P.432参照)
- アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときは
  「アラーム」→「録画予約」→「ToDoリスト」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。
- 電源OFFのときは
  <アラーム>
  自動電源の設定を「電源ONする」に設定している場合は、自動的に電源をONにしてアラーム通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源はOFFのままでアラーム通知しません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
  <スケジュール･ToDoリスト>
  アラーム通知はしません。
  電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
- マナーモード中は
  アラーム音量とバイブレータについてはマナーモードの設定に従って動作します。(P.110参照)
- ダイヤルロック中、オリジナルロックで「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」をロック中、おまかせロック中は
  アラーム通知はしません。
- 赤外線通信中、iC通信中、ソフトウェア更新中はアラーム通知はしません。

お知らせ

- 「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。

お知らせ

- ｉモーション／着うたフル®によってはアラーム音に設定できない場合があります。
- アラーム音に設定したｉモーションによってはアラーム通知時に音声のみが再生される場合があります。
- 着うたフル®をアラーム音に設定した場合は、アラーム通知時に音声のみが再生されます。
  また、アラーム音選択時のデモ再生時とアラーム通知時のイルミネーションが異なる場合があります。

アラーム音／アラームメッセージ･アニメーション／ｉモーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーション／ｉモーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたまま残ります。もう一度いずれかのボタン(アラームの「スヌーズ通知」を「スヌーズ通知する」に設定した場合は[終話])を押すと消せます。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。

- スケジュールのアラームメッセージが複数あるときは、アラーム音を停止したあとに[決定]を押して表示を切り替えることができます。

「アラーム通知」がされなかったときは

デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されることがあります。そのアイコンから通知できなかったアラームの内容(未通知アラーム情報)を確認できます。
未通知アラーム情報は通知できなかった最新のものを表示します。

便利な機能

<スケジュール>

カレンダーでスケジュールを管理する

1ヶ月単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。

2000年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。

●アラーム通知の動作についてはP.426参照。

スケジュールを登録する

指定した日付・時刻になるとアラーム音やイルミネーション、スケジュールの件名・詳細および設定したアイコンに対応したアニメーションでお知らせします。

スケジュールはｉスケジュールを含めて2500件まで登録できます。

1 MENU▶**便利ツール**▶**スケジュール**▶MENU(サブメニュー)▶**新規登録**▶**スケジュール**▶**以下の操作を行う**

項目	操作
件名	▶件名を入力 ●全角25文字/半角50文字まで入力できます。 ▶アイコンを選択 アラーム通知のとき、選択したアイコンに対応したアニメーションが表示されます。
終日	開始日時や終了日時を入力しない、一日中のスケジュールにするかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「ON」に設定すると、自動的に開始日時の時刻が「0:00」、終了日時の時刻が「23:59」に設定されます。
日時	▶開始日時、終了日時を入力
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「毎週」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて📷TV(完了)を押します。 ●繰り返す設定にしても、件数は1件としてカウントされます。
アラーム通知	▶通知方法を選択 通知する . . . . . . .スケジュールの開始日時に通知します。通知の設定が終了します。 事前通知する . . .設定した事前通知時刻にのみ通知します。 通知しない . . . . .通知しません。通知の設定が終了します。 ▶事前通知時間(分)を入力 ●「01」～「99」の2桁を入力します。
アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択▶アラーム音を選択
イルミネーション	▶項目を選択 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが光ります。
パターン	▶固定パターン・メロディ連動 ●「メロディ連動」を選択すると、メロディに合わせて着信／充電ランプが光ります。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが光ります。
場所	▶場所を入力 ●全角25文字/半角50文字まで入力できます。
詳細	▶詳細を入力 ●全角300文字/半角600文字まで入力できます。

2 📷TV(完了)**を押す**

お知らせ

●「開始日時」に29日以降の日付を入力し、「繰り返し」を「毎月」または「毎年」に設定した場合、該当の日がない月では月末の日にスケジュールが設定されます。

●シークレット登録したスケジュールの場合、通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)では、アラーム通知時にアラームメッセージは表示されません。シークレットのアニメーションが表示されます。

●待受中のアラーム音は、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量で鳴ります。

休日を登録する

休日は100件まで登録できます。(お買い上げ時に登録されている国民の休日を除く)
同じ日に複数の休日を登録することはできません。

1 MENU▶**便利ツール**▶**スケジュール**▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶**新規登録**▶**休日**▶**以下の操作を行う**

年月日	▶年月日を入力
繰り返し	▶設定なし・毎年 ●繰り返す設定にしても、件数は1件としてカウントされます。
休日	▶休日の内容を入力 ●全角10文字/全角20文字まで入力できます。

2 📷TV(完了)**を押す**

スケジュールの内容を確認する

スケジュール、休日を確認します。電話帳に登録した誕生日も確認できます。

1 MENU▶**便利ツール**▶**スケジュール**

カレンダー画面が表示されます。
- ✉(前月)、iα(翌月)を押すと前後の月のカレンダーが表示されます。
- iコンシェルで週間天気予報を受信した場合は、それらの情報も表示されます。



カレンダー画面

2 **日付を選択**

選択した日付のスケジュール、休日、誕生日の一覧が表示されます。



スケジュール一覧画面

3 **項目を選択**

- 画面に電話番号、メールアドレス、URLが表示されている場合は、Phone To／AV Phone To、Mail To、Web To 機能が利用できます。



スケジュール詳細画面

お知らせ

- お買い上げ時に登録されている祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成17年法律第43号までのもの)」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。(2010年6月現在)
- 電話帳に登録した誕生日は、スケジュールでは編集／削除できません。編集／削除する場合は、電話帳から行ってください。(P.100、P.101参照)
- 手書きダイアリーで登録したスケジュールはコピーできません。また、メール／赤外線／iC／Bluetoothで送信することもできません。

カレンダー画面のサブメニュー

新規登録	P.427手順1へ進みます。
お預かりセンターに接続	P.138参照
iスケジュール一覧	P.430手順1へ進みます。 ●📷TV(iｽｹｼﾞｭｰﾙ)を押しても表示できます。

フィルタ	選択したアイコンで登録されているスケジュールのみを表示します。 ▶**アイコンを選択/解除**
フィルタ解除	フィルタ機能を解除して、すべてのスケジュールを表示します。
登録件数確認	スケジュール(iスケジュールを含む)、休日の件数を表示します。シークレットモード/シークレット専用モード中は、シークレット登録されているスケジュールの件数も表示します。
iC全送信	P.408参照
赤外線全送信	P.406参照
Bluetooth全送信	P.450参照
休日リセット	登録した休日を削除し、祝日をお買い上げ時の状態に戻します。 ▶YES
削除	
選択削除	▶**削除したいスケジュールにチェック**▶📷TV(完了)▶YES ●繰り返す設定にしたスケジュールを削除した場合、繰り返しデータがすべて削除されます。
全削除	すべてのスケジュールや休日を削除します。フィルタ機能でスケジュールを表示しているときでもすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**スケジュール・休日・すべて**▶YES
前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールや休日を削除します。 ▶**スケジュール・休日・すべて**▶YES

お知らせ

<削除>

- iコンシェルでダウンロードしたiスケジュールは削除されません。
- 「全削除」で「休日」や「すべて」を選択すると、祝日はお買い上げ時の状態に戻ります。

スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面のサブメニュー

新規登録	P.427手順1へ進みます。 ●📷TV(新規)を押しても新規登録できます。
編集	P.427手順1へ進みます。 ●📷TV(編集)を押しても編集できます。
コピー	スケジュールをコピーして別の日付に登録します。 ▶**貼り付け先の日付、時刻を入力** P.427手順1へ進みます。 ●繰り返す設定にしたスケジュールをコピーした場合、編集画面での「繰り返し」は「設定なし」になります。
手書きダイアリー	手書きダイアリーの日ダイアリーが登録されている場合は、内容を確認できます。 ●iα(手書き)を押しても確認できます。
お預かりセンターに接続	P.138参照
クイック検索	P.200参照
iスケジュール一覧	P.430手順1へ進みます。 ●iα(iｽｹｼﾞｭｰﾙ)を押しても表示できます。
フィルタ	P.429参照
フィルタ解除	P.429参照
シークレット解除	シークレット登録されたスケジュールをシークレット解除します。 ▶YES

つづく

メール作成	スケジュールの開始日時と詳細が本文に入力されたｉモードメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。
メール添付	スケジュールをｉモードメールに添付して送信します。 P.144手順2へ進みます。 ●[✉]（[✉MAIL]）を押してもｉモードメールに添付できます。
デスクトップ貼付	P.38参照
iC送信	P.407参照
赤外線送信	P.405参照
Bluetooth送信	P.450参照
iC全送信	P.408参照
赤外線全送信	P.406参照
Bluetooth全送信	P.450参照
microSDへコピー	
1件コピー	P.389参照
選択コピー	P.389参照
全コピー	P.389参照
削除	
1件削除	▶YES ●繰り返す設定にしたスケジュールを削除した場合、繰り返しデータがすべて削除されます。 ●祝日も削除できます。
選択削除	P.429参照
全削除	P.429参照
前日まで削除	P.429参照

お知らせ

<削除>
- ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールは削除されません。

ｉスケジュールを表示する

ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールの内容を確認します。

1 カレンダー画面・スケジュール一覧画面▶[MENU]（[ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ]）▶ｉスケジュール一覧

ｉスケジュールの一覧が表示されます。
- 「ｉスケジュールリストへ」または「スケジュールリストへ」を選択した場合はP.209「ｉモードで探す」参照。



ｉスケジュール一覧画面

2 ｉスケジュールを選択

- 画面に電話番号、メールアドレス、URLが表示されている場合は、Phone To／AV Phone To、Mail To、Web To 機能が利用できます。



ｉスケジュール詳細画面

ｉスケジュール一覧画面・ｉスケジュール詳細画面のサブメニュー

クイック検索 ［ｉスケジュール詳細画面のみ］	P.200参照
デスクトップ貼付	P.38参照
削除	

	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいｉスケジュールにチェック ▶📷TV(完了)▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<ToDoリスト>

ToDoリストでスケジュールを管理する

予定をリストで管理し、設定の時刻にアラームでお知らせします。ToDoリストを100件まで登録してスケジュールを管理できます。

●アラーム通知の動作についてはP.426参照。

1 **MENU▶便利ツール▶ToDoリスト▶📷TV(新規)▶以下の操作を行う**

●登録済みのToDoリストを選択すると登録内容を確認できます。

項目	操作
To Doリスト	▶ToDoリストの内容を入力 ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。
期日	▶項目を選択 **直接入力**............期日(期限)を直接入力します。 **カレンダーから入力**...カレンダーから期日(期限)を選択します。期日を確認し、◉(確定)を押します。 **なし**...............期日(期限)を設定しません。アラーム通知しません。
優先度	▶優先度を選択 ●期日順／完了日順でソートしたときに、同一日付の場合優先度の高い順に表示されます。
カテゴリー	▶カテゴリーを選択
アラーム通知	▶通知方法を選択 **通知する**.......設定した時刻になるとアラームで通知します。通知の設定が終了します。 **事前通知する**...設定した事前通知時刻にのみ通知します。 **通知しない**.....通知しません。通知の設定が終了します。 ▶事前通知時間(分)を入力 ●「01」～「99」の2桁を入力します。
アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択 ▶アラーム音を選択
イルミネーション	▶項目を選択 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが光ります。
パターン	▶固定パターン・メロディ連動 ●「メロディ連動」を選択すると、メロディに合わせて着信／充電ランプが光ります。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが光ります。

2 **📷TV(完了)を押す**

高：優先度高い
低：優先度低い

●ToDoリストの内容を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。

ToDoリスト表示中のサブメニュー

新規登録	P.431手順1へ進みます。
編集	P.431手順1へ進みます。 ●📷TV(編集)を押しても編集できます。 ●ToDoリストの「状態」が「完了」に設定されていて「完了日」を編集する場合は、「完」を選択し、P.431「期日」と同様の操作を行います。

つづく↵

状態	ToDoリストの一覧では設定した状態が状態アイコンで表示されます。 ▶**状態を選択** ●状態アイコンは、期日を過ぎると色が変わります。 ●「完了」を選択した場合は、P.431「期日」と同様の操作を行います。
カテゴリー別表示	▶**表示したいカテゴリーを選択** ●表示された一覧からToDoリストを選択すると登録内容を確認できます。
ソート／フィルタ	並べ替えて表示します。また、状態別にも表示できます。 ▶**表示したい順番や状態を選択**
デスクトップ貼付	P.38参照
メール添付	ToDoリストをｉモードメールに添付して送信します。P.144手順2へ進みます。
iC送信	P.407参照
赤外線送信	P.405参照
Bluetooth送信	P.450参照
iC全送信	P.408参照
赤外線全送信	P.406参照
Bluetooth全送信	P.450参照
microSDへコピー	
1件コピー	P.389参照
選択コピー	P.389参照
全コピー	P.389参照
お預かりセンターに保存	P.138参照
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいToDoリストにチェック▶📷TV(完了)▶YES
完了済み削除	状態が「完了」に設定されているToDoリストを削除します。 ▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

●待受中のアラーム音は、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量で鳴ります。

<アラーム通知設定>
アラームで通知するときの状況を設定する

他の機能が起動中でも「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」のアラーム通知をするかどうかを設定します。

1 MENU▶**本体設定**▶**その他設定**▶**アラーム通知設定**▶**操作優先・通知優先**

操作優先 . . . . 他の機能が起動中はアラーム通知を行いません。
通知優先 . . . . FOMA端末を操作しているときや通話中もアラーム通知を行います。

お知らせ

●アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。

<プライベートメニュー設定>

オリジナルのメニューを使う

よく使う機能を「プライベートメニュー」に登録します。メインメニューの各機能（P.498参照）から12件まで登録できます。

プライベートメニューから機能を選択する

1 MENU▶i α（プライベート）

プライベートメニューが表示されます。

- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。



プライベートメニュー

2 **アイコンを選択**

選択した機能の画面が表示されます。

プライベートメニュー一覧を表示する

1 **プライベートメニュー▶📷TV（設定）**



プライベートメニュー一覧画面

プライベートメニュー一覧画面のサブメニュー

メニュー登録	プライベートメニューによく使う機能を登録します。 ▶**登録する機能を選択** ● ◎を押すとメニュー機能の大項目もしくは中項目ごとに登録できる機能が表示されます。◎を押して登録する機能を選びます。
背景イメージ変更	▶**フォルダを選択**▶**画像を選択**
デスクトップ貼付	P.38参照
プライベートメニュー初期化	プライベートメニューをお買い上げ時の項目に戻します。 ▶YES
解除	▶YES
全解除	▶YES

お知らせ

<背景イメージ変更>

- 設定できる画像はJPEG画像、GIF画像です。ただし、GIF画像や著作権のあるJPEG画像で待受（480×854）を超える画像サイズまたは500Kバイトを超えるファイルサイズの場合、プライベートメニューの背景に設定できません。
- 選択した画像によっては、設定可能な画像サイズ、ファイルサイズに変換した画像が新規保存され、背景イメージに設定されます。

<プロフィール>

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

契約の電話番号（自局番号）の他にお客様の個人データとして名前とフリガナ、電話番号（3件）、メールアドレス（3件）、住所、位置情報、誕生日、メモ、静止画を登録できます。

メールアドレスを変更またはシークレットコードを登録したときは、本機能のメールアドレスも変更してください。

1 **MENU▶プロフィール▶📷TV（編集）▶端末暗証番号を入力**

P.92手順2の操作を行って個人データを登録します。



プロフィール画面

→



- 自局番号は変更、削除できません。
- 名前、フリガナは姓と名に分けて入力します。
- 1番目のメールアドレスを登録する場合、「自動取得」で自動的に入力するか、「直接入力」で入力するかを選択できます。「自動取得」を選択すると、ｉモード接続が行われ、ご契約のメールアドレスが自動的に入力されます。
- 住所は都道府県、市町村など、項目ごとに入力欄を選択して入力します。
- 「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

2 **📷TV（完了）を押す**

お知らせ

- 自局番号以外の項目はFOMA端末に登録されるため、他のFOMAカードをセットしても表示されます。
- 本機能で変更するメールアドレスは、プロフィールで表示するメールアドレスだけです。実際のメールアドレスは変更されません。

お知らせ

- 2in1がONの場合に1番目のメールアドレスの自動取得を行うと、2in1のモードに関わらずAアドレス、Bアドレスがそれぞれのモードでの1番目のメールアドレスとして入力されます。

プロフィール画面のサブメニュー

プロフィール編集	P.434手順1へ進みます。
全データ表示	登録した電話番号やメールアドレスなどをすべて表示します。 **▶端末暗証番号を入力** ◎でそれぞれの項目を表示します。
名前コピー	名前をコピーします。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・位置情報コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ●プロフィール画面で◎を押してコピーする項目を選びます。選んだ項目によって表示されるサブメニュー項目は異なります。
メール添付	プロフィールをｉモードメールに添付して送信します。 P.144手順2へ進みます。
GPSアプリ一覧	P.335参照
地図を見る	P.335参照
メール貼り付け	P.335参照
画像に付加	P.335参照
iC送信	P.407参照
赤外線送信	P.405参照 ●iα（赤外線）を押しても赤外線送信できます。
Bluetooth送信	P.450参照
microSDへコピー	P.389参照

拡大表示･標準表示	電話帳･プロフィールの文字サイズを切り替えます。 （P.120「電話帳」参照）
2in1	2in1契約の問い合わせを行い、契約済みの場合はBナンバーを保存します。
プロフィール初期化	自局番号以外の電話番号やメールアドレスなど、登録したすべての個人データを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。
電話番号削除･ メールアドレス削除･ 住所削除･ 位置情報削除･ 誕生日削除･ メモ削除･ 静止画削除	各項目を削除します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。 ●プロフィール画面でⓄを押して削除する項目を選びます。選んだ項目によって表示されるサブメニュー項目は異なります。

<通話中音声メモ><音声メモ録音>

通話中、待受中の声を音声メモとして録音する

音声メモには、通話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ」と、待受中に自分の声を録音する「音声メモ録音」の2つがあります。
録音できる件数は、「通話中音声メモ」または「音声メモ録音」のどちらか一方で1件、録音時間は約20秒間です。

●「通話中音声メモ」「音声メモ録音」の再生／消去についてはP.84参照。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中▶i α（メモ）

「ピッ」と鳴って録音が始まります。

●録音を途中で止めるときは◉（停止）またはCLRを押します。
●録音中に⌒を押すと、録音が停止し、通話が終了します。
●録音時間（約20秒間）が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

●「通話中音声メモ」「音声メモ録音」のどちらかがすでに保存されているときに録音をした場合は、再生･未再生に関わらず上書きされます。
●サブメニューの各項目の操作中などは録音できません。

待受中に自分の声を録音する

1 MENU▶電話機能▶伝言メモ／音声メモ▶音声メモ録音▶YES

「ピッ」と鳴って録音が始まります。送話口に向かってお話しください。

●録音を途中で止めるときは◉（停止）、CLRまたは⌒を押します。
●録音時間（約20秒間）が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。

つづく↳

お知らせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音が中断されます。

<自動音声メモ>

通話中の音声を自動的に録音する

音声電話中の通話の終わり部分約60秒間の相手の声を自動的に録音するように設定します。2件まで録音でき、古いものから順に自動的に上書きされます。

- 「自動音声メモ」の再生／消去についてはP.84参照。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中詳細設定**▶**自動音声メモ**▶**ON・OFF**

- 自動音声メモ設定中は「 」～「 」が表示されます。

お知らせ

- 以下の場合は、それまでの録音内容は破棄され、音声通話を再開した時点で新たに録音を開始します。
  - ・音声電話からテレビ電話に切り替えたとき
  - ・通話を保留にしたとき
  - ・通話中に着信があったとき（通話の相手を切り替えた場合は、最後の通話が録音されます。）
  - ・通話中に着信履歴、リダイヤル、電話帳検索画面を表示したとき
  - ・マルチタスクで機能を切り替えたとき

<通話時間・料金>

通話時間と通話料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間・料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 通話時間は、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「￥0」もしくは「￥＊＊」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。

1 MENU▶**電話機能**▶**通話時間・料金**▶**通話時間・料金**

通話時間

直前の通話の通話時間を表示します。

通話料金

音声通話：直前の音声電話の通話料金を表示します。
デジタル呼（AV呼）：直前のテレビ電話の通話料金を表示します。
デジタル呼（非制限デジタル）：直前の64Kデータ通信の通話料金を表示します。

積算時間

音声通話：積算時間リセット時から現在までの音声電話の通話時間を表示します。
デジタル呼（AV呼）：積算時間リセット時から現在までのテレビ電話の通話時間を表示します。
デジタル呼（非制限デジタル）：積算時間リセット時から現在までの64Kデータ通信の通話時間を表示します。

積算通話料金

積算料金リセット時から現在までの通話料金を表示します。

前回積算時間リセット日時
前回積算時間リセットを行った日付時刻を表示します。
前回積算料金リセット日時
前回積算料金リセットを行った日付時刻を表示します。

お知らせ

- 通話時間、積算時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、通話時間には音声電話とテレビ電話の合計が表示され、通話料金には音声電話とテレビ電話の料金が個別に表示されます。「切替中」(P.65参照)が表示されている間は料金は課金されません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモード契約時にお渡しする「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 着信を受けたり電源を入れ直したりすると、通話料金の表示は「￥＊＊」になります。また、電源を入れ直すと通話時間の表示は「0秒」になります。

＜積算リセット＞
積算時間／積算通話料金をリセットする

1 MENU▶**電話機能**▶**通話時間・料金**▶**積算リセット**▶**端末暗証番号を入力**▶**以下の操作を行う**

積算時間リセット	通話時間および積算時間を「0秒」に戻します。 ▶YES
積算料金リセット	通話料金および積算通話料金を「￥0」に戻します。 ▶YES▶PIN2コードを入力 ●PIN2コードについてはP.125参照。

＜積算料金自動リセット＞
積算通話料金を自動リセットする

毎月1日の0時に積算通話料金を自動的にリセットするように設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**通話時間・料金**▶**積算料金自動リセット**▶**端末暗証番号を入力**▶**自動リセット設定**▶**ON・OFF**▶**PIN2コードを入力**

- PIN2コードについてはP.125参照。

お知らせ

- 本機能を「ON」に設定している場合、「メイン時計設定」で月を変更しても積算通話料金はリセットされます。
- 次の場合、積算料金自動リセットは「OFF」に設定されます。
  - ・FOMAカードを未挿入のまま、電源ONにした場合
  - ・PIN2コードの入力画面でCLRを押した場合
  - ・PIN2コードがロックされている場合
  - ・FOMAカードに異常がある場合

＜通話料金通知＞
通話料金の上限値を設定する

積算通話料金の上限値を設定し、金額が上限料金を超えたときにお知らせします。

1 MENU▶**電話機能**▶**通話時間・料金**▶**通話料金通知**▶**端末暗証番号を入力**▶**以下の操作を行う**

￥料金上限値	▶**上限料金を入力** ●10円から100000円まで、10円単位で設定できます。
上限値通知	上限料金を超えたときに、アラーム通知するかどうかを設定します。 ▶**通知する・通知しない**

便利な機能

つづく

♪ アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択 ▶アラーム音を選択
アラーム音量	▶◎で音量を調節

2 **📷TV（ 完了 ）を押す**

積算通話料金が上限料金を超えると

「上限値通知」を「通知する」に設定している場合は、通話を終了して約3秒後にアラーム音が約5分間鳴ります。画面には、上限料金を超えた旨のアラームメッセージが表示されます。いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止します。CLRまたは⌒を押すとアラームメッセージが消え、デスクトップに「¥上限」が表示されます。

- 「アラーム音」を「OFF」に設定している場合、アラーム通知はしません。「¥上限」でのみお知らせします。
- 「¥上限」を選択すると通話料金の情報が表示されます。

お知らせ

- 設定リセット、端末初期化を行うと、「¥上限」は消去されます。
- 上限料金を超えた場合、設定した上限値で再度通知させたいときは、積算通話料金をリセットしてください。

＜電卓＞

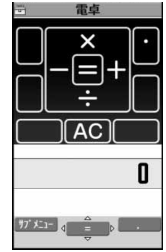
電卓を使う

電卓を表示して四則演算（＋、－、×、÷）を行います。10桁まで表示できます。

1 **MENU▶便利ツール▶電卓▶以下の操作で計算を行う**

- 電卓をデスクトップに貼り付けておくこともできます。（P.38参照）

キー	操作	キー	操作
◎（右）	＋	◎（上）	×
◎（左）	－	◎（下）	÷
◎（中央）	＝	📷TV	小数点
CLR	C（クリア）：直前に入力した数字を取り消します。		
	AC（オールクリア）：入力した計算をすべて取り消します。		



お知らせ

- 計算の途中に負数は入力できません。
- 計算結果が10桁を超えた場合や0で割り算をするなど誤った計算を行った場合は、「.E」を表示します。
- ビューアスタイルで電卓を起動した場合は、計算の履歴が3件まで表示されます。また、パーセント計算や数値のコピー・貼り付けもできます。

<メモ帳>

メモ帳を作成する

メモ帳を20件まで登録できます。

1 MENU▶便利ツール▶メモ帳▶<未登録>▶メモを入力

- 全角256文字/半角512文字まで入力できます。
- 登録済みのメモ帳を選択すると登録内容を確認でき、📷TV(編集)を押すと編集できます。

メモ帳表示中のサブメニュー

編集	P.439「メモ帳を作成する」手順1へ進みます。
メール作成	メモ帳の内容が本文に入力されたｉモードメールを作成します。 P.144手順2へ進みます。
スケジュール作成	メモ帳の内容が入力されたスケジュールを作成します。 P.427手順1へ進みます。
デスクトップ貼付	P.38参照
iC送信	P.407参照
赤外線送信	P.405参照
Bluetooth送信	P.450参照
iC全送信	P.408参照
赤外線全送信	P.406参照
Bluetooth全送信	P.450参照
microSDへコピー	
1件コピー	P.389参照
選択コピー	P.389参照
全コピー	P.389参照
メモ帳情報	メモ帳の作成日時や最終更新日時などを表示します。
分類	メモ帳をカテゴリー別に設定します。 ▶分類を選択 ●設定しない場合は「なし」になります。
お預かりセンターに保存	P.138参照
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいメモ帳にチェック▶📷TV(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<辞典>

英和／和英／国語辞典を利用する

1 MENU▶便利ツール▶辞典▶以下の操作を行う

- 辞典機能をデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.38参照)
- 送信メール詳細画面のサブメニューから操作した場合、「範囲選択」を選択すると、検索する始点と終点を選択できます。

直接入力	▶検索語を入力 ●全角32文字/半角64文字まで入力できます。
検索履歴	▶履歴を選択 ●検索履歴は10件まで記憶されます。 ●検索履歴を削除するにはMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 辞典を選択▶検索結果を選択

- 「再検索」が表示されているときは、📷TV(再検索)を押すと再度「直接入力」または「検索履歴」を選択できます。
- 「終了」が表示されているときは、📷TV(終了)を押すと辞典を終了します。

便利な機能

辞典表示中のサブメニュー

コピー	検索結果をコピーします。 ●検索結果の詳細画面から操作した場合は、コピーする始点と終点を選択します。
結果詳細から検索	表示されている文字を選択し、辞典で検索します。 ▶**始点を選択**▶**終点を選択** P.439手順2へ進みます。
別の辞典で検索	P.439手順2へ進みます。

<FOMAカード(UIM)操作>

FOMAカードと本体の間でデータをコピー・削除する

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末(本体)やFOMAカードに保存している電話帳やSMSのデータを削除します。
FOMAカードには、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件まで保存できます。

データをコピー・削除する

1 MENU▶**電話機能**▶**電話帳**▶**FOMAカード(UIM)操作**▶**端末暗証番号を入力**

端末暗証番号を入力すると「 圏外 」が表示され、電話やメールの機能は使えません。
●端末暗証番号入力前に着信があった場合は、FOMAカード(UIM)操作が終了します。

2 **コピー・削除**▶**コピー先や削除元を選択**▶**電話帳・SMS**

電話帳
電話帳を検索し、一覧画面を表示します。

SMS
受信BOX . . . .受信BOX内のデータをコピー･削除します。
送信BOX . . . .送信BOX内のデータをコピー･削除します。
フォルダを選択し、一覧画面を表示します。

3 **コピー・削除したいデータにチェック**▶📷TV(完了)▶**YES**

電話帳またはSMS一覧表示中のサブメニュー

コピー開始・削除開始	コピー･削除を開始します。 ▶YES
1件選択	1件選択します。
全選択	全選択します。
1件解除	選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。
詳細表示	電話帳またはSMSの詳細画面を表示します。

電話帳のサブメニューからコピーする

1 **電話帳詳細画面**▶MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶**FOMAカード(UIM)コピー・本体へコピー**▶**YES**

メールのサブメニューから移動・コピーする

1 **送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶MENU（サブメニュー）▶移動／コピー▶FOMAカード操作▶移動またはコピーする方法を選択▶YES**

「SMS」はFOMA端末内のSMSを表します。
「カード」はFOMAカード内のSMSを表します。

お知らせ

- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2つ目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、住所などFOMAカードに登録できないデータもコピーできません。
- FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合、名前は全角10文字/半角21文字まで、フリガナは半角12文字までのデータが全角カタカナに変換されてコピーされ、残りのデータはコピーされません。
- シークレット登録された電話帳は、シークレットモード／シークレット専用モード中もFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名を設定している場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名を設定していない場合は、グループは設定されません。
- SMS送達通知の移動・コピーはできません。
- FOMAカードへ移動・コピーしたSMSは保護できません。保護しているSMSをFOMAカードへ移動・コピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- FOMA端末からFOMAカードへSMSを移動・コピーした場合は、「メール」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
  また、2in1を利用中は、現在のモードに関わらず、すべてAナンバーのSMSとして保存されます。
- FOMAカードからFOMA端末へSMSを移動・コピーした場合は、「メール」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへ移動・コピーされます。

<スイッチ付イヤホンマイク>

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使って電話をかけたり、受けたりします。

- 別売りのイヤホンマイク 01、スイッチ付イヤホンマイク P001/P002、平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02、平型ステレオイヤホンセット P01も同様の操作で使用できます。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

外部接続端子のカバーを開けて、ステレオイヤホンマイク 01の接続プラグを差し込んでください。（P.28参照）

<イヤホンマイク>

イヤホンをつないだときに使うマイクを選ぶ

ステレオイヤホンマイク 01（別売）を接続しているときに使うマイクを、FOMA端末（本体）側のマイクにするか、イヤホンマイク側のマイクにするかを設定します。

1 **MENU▶本体設定▶外部接続▶イヤホンマイク▶本体マイク・イヤホンマイク**

お知らせ

- マイクのないイヤホンを接続する場合は、「本体マイク」に設定してください。
- 「本体マイク」に設定しているときにステレオイヤホンマイクを接続すると、FOMA端末（本体）側のマイクの感度が高くなります。

スイッチを使って電話をかける

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 **ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す▶相手が出たら話す**
「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
- ビューアスタイルでも利用できます。
- FOMA端末の操作でも、電話をかけることができます。
- ステレオイヤホンマイクのスイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。

3 **お話が終わったら、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する**
「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

スイッチを使って電話を受ける

1 **着信中▶ステレオイヤホンマイクのスイッチを押す**
「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
テレビ電話の場合、相手には代替画像が送信されます。テレビ電話中にサブメニューから「カメラ画像切替」「代替画像切替」を選択すると、代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。(P.86参照)
- FOMA端末を閉じた状態やビューアスタイルでも利用できます。
- FOMA端末の操作でも、電話を受けることができます。
- 「オート着信設定」を「オート着信あり」に設定していると、呼出時間経過後に自動的に応答します。

2 **お話が終わったら、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する**
「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

お知らせ
- 「ボタン確認音」の設定に関係なく、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴ってからステレオイヤホンマイクを接続するときに、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- 応答保留中、通話保留中にステレオイヤホンマイクのスイッチを押すと、保留を解除できます。(テレビ電話を保留していた場合、代替画像が送信され、テレビ電話が開始されます)
- ステレオイヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
- キャッチホンを契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合は、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話する相手を切り替えることができます。ただし、スイッチでは終了できません。

<イヤホンスイッチ発信設定>
イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ

「イヤホンスイッチ発信設定」を「音声発信」に設定しておくと、待受画面でステレオイヤホンマイク 01(別売)のスイッチを1秒押すだけで音声電話の発信ができます。

1 **MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶イヤホン機能設定▶イヤホンスイッチ発信設定▶音声発信・OFF**

2 **電話帳を検索▶電話帳を選択**

お知らせ
- FOMA端末(本体)の電話帳のみ設定できます。

<オート着信設定>
イヤホンをつないで自動で電話を受ける

ステレオイヤホンマイク 01(別売)を接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答します。

1 MENU ▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**着信詳細設定**▶**オート着信設定**▶**音声着信・テレビ電話**▶**オート着信あり・オート着信なし**▶**呼出時間(秒)を入力**

- 「001」~「120」の3桁を入力します。
- オート着信設定、伝言メモ設定の呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

お知らせ

- テレビ電話をオート着信した場合、相手には代替画像が送信されます。テレビ電話中にサブメニューから「カメラ画像切替」「代替画像切替」を選択すると、代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。(P.86参照)
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスとオート着信設定を同時に設定する場合、オート着信設定を優先させるには、オート着信設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- ステレオイヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。
- 64Kデータ通信中は、オート着信は行われません。

<Bluetooth機能>
Bluetooth機能を利用する

Bluetooth機器どうしをワイヤレスで接続できます。例えばFOMA端末とワイヤレスイヤホンセット 02(別売)をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

- Bluetooth接続を使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

Bluetooth機能でできること

FOMA端末では、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービス、オブジェクトプッシュサービス、シリアルポートサービスの6つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ/ビデオリモートコントロールサービス(Ver.1.3)も利用できる場合があります。(対応しているBluetooth機器のみ)

対応バージョン
Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR準拠※1
対応プロファイル※2(対応サービス)
HSP:Headset Profile (ヘッドセットプロファイル) HFP:Hands-Free Profile (ハンズフリープロファイル) A2DP:Advanced Audio Distribution Profile (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル) AVRCP:Audio/Video Remote Control Profile (オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル) DUN:Dial-up Networking Profile (ダイヤルアップネットワーキングプロファイル) OPP:Object Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル) SPP:Serial Port Profile (シリアルポートプロファイル)

つづく

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth機能の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■ヘッドセットで通話する

ワイヤレスイヤホンセット 02(別売)やBluetoothヘッドセット(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、ワイヤレスで通話できます。

・ご利用にはヘッドセットサービスを使います。

■ハンズフリーで通話する

カーナビなどのBluetooth通信対応機器(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカーを利用してハンズフリーで通話できます。

・ご利用にはハンズフリーサービスを使います。

■オーディオ機器で再生する

ワイヤレスイヤホンセット P01/02(別売)やBluetooth通信対応オーディオ機器(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、高音質なステレオサウンドをワイヤレスで再生できます。

ただし、ワンセグやビデオの音声に関しては対応する機器が制限されます。(詳しくはP.448「ワンセグの音声を再生する」のお知らせ参照。)

・ご利用にはオーディオサービスを使います。

■ワイヤレスで通信する

Bluetooth通信対応パソコンとFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行えます。

・ご利用にはダイヤルアップ通信サービスを使います。

・詳しくはPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

■Bluetooth通信でデータを送信する

Bluetooth機器とFOMA端末をBluetooth通信で接続して、電話帳、メール、Bookmark、スケジュール、ToDoリスト、メモ帳、プロフィールを送信できます。

・ご利用にはオブジェクトプッシュサービスを使います。

■ｉアプリからBluetooth通信を利用する

Bluetooth通信を利用して他の携帯電話やBluetooth通信対応機器と接続することにより、ｉアプリで対戦ゲームを行ったり、データを管理したりできます。同時に3台まで接続できます。

・ご利用にはシリアルポートサービスを使います。

■Bluetooth機器から出力される音

		接続しているサービス		
		HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音		○	○	×
音声電話・テレビ電話着信音		○※1※2	○※2	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音		○	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声		○	○	×
伝言メモ録音・録画中の相手の音声		○	○	×
ワンセグの音声		×	×	○
ｉモーション再生音		×	×	○
ムービー再生音		×	×	○
ビデオ再生音		×	×	○
「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画の再生音		×	×	○
ミュージックプレーヤー再生音		×	×	○
Music&Videoチャネル再生音		×	×	○
アラーム通知音	通知優先	○※3	○※3	×
	操作優先	×※4	×※4	×※4
メール着信音	通知優先	×	×	×
	操作優先	×※4	×※4	×※4

○:Bluetooth機器から出力されます

×:Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります

※1 「イヤホン切替設定」を「イヤホンとスピーカー」に設定していると、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から着信音が鳴ります。

※2 「着信音送出設定」を「送らない」に設定している場合、FOMA端末から着信音が鳴ります。

※3 通話中のみBluetooth機器から鳴ります。Bluetooth機器から鳴る音はアラーム音に設定した音ではなく「ピッピピッ」という通知音が鳴ります。
※4 待受画面以外を表示中はアラーム通知音／メール着信音は鳴りません。
●お使いのBluetooth機器によっては、上記の動作にならない場合があります。

お知らせ

●Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

●他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
●他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください。（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。）近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります。）
●放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
●Bluetooth機器を鞄やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
●FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
●10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

■Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。

場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
・電車内　・航空機内　・病院内
・自動ドアや火災報知機から近い場所
・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

機器登録

Bluetooth機器をFOMA端末に登録します。10件まで登録できます。

1 MENU▶便利ツール▶Bluetooth

Bluetoothメニュー画面が表示されます。
●「MENU▶本体設定▶外部接続▶Bluetooth」の操作を行ってもBluetoothメニュー画面が表示されます。

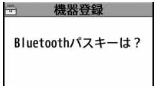
2 新規機器登録▶OK

FOMA端末の周辺にあるBluetooth機器を探します。登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておいてください。
Bluetooth機器が見つかると、登録機器リスト画面に最大20件まで表示されます。
●登録機器リスト画面で📷TV（サーチ）を押しても、Bluetooth機器を検索します。
●サーチ中に中止する場合は📷TV（中止）を押します。

3 登録したいBluetooth機器を選択▶YES

●ワイヤレスイヤホンセット 02を登録する場合は、手順5へ進みます。

4 Bluetoothパスキーを入力



●半角英数字で4～16文字まで入力できます。
●BluetoothパスキーについてはBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
●Bluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーが不要なものがあります。その場合、手順5へ進みます。

便利な機能

つづく

5 接続したいサービスを選択



サービス選択画面

Bluetooth機器と接続され「(青色)」が点滅します。一定時間、Bluetooth機器との通信がないと、低消費電力状態となり「(黒色)」の点灯に変わります。

- 複数のサービスで接続できるBluetooth機器の場合は、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。
- 接続中は「(黒色)」、接続待機中は「(グレー)」がサービス名の横に表示されています。
- 「ダイヤルアップ」を選択した場合は、FOMA端末を接続待機中にします。
- 接続を解除するには、接続中のサービスを選択して「YES」を選択します。
- 接続待機中のサービスを解除するには、P.447「接続待機」参照。

お知らせ

- すでに10件のBluetooth機器が登録されている場合は、保護設定、優先機器設定に設定されておらず、接続中または接続待機中以外で通信日時の最も古いBluetooth機器に上書きされます。よく利用するBluetooth機器や上書きされたくないBluetooth機器には保護設定を行うことをおすすめします。
- セルフモード設定中はBluetooth機能は起動できません。

接続

登録したBluetooth機器とFOMA端末を接続します。

1 Bluetoothメニュー画面▶登録機器リスト▶接続したいBluetooth機器を選択▶接続したいサービスを選択

- 詳細については、P.446手順5参照。



登録機器リスト画面



サービス選択画面

■登録機器リスト画面について



登録機器リスト画面

❶機器種別

- :パソコン
- :ネットワーク機器
- :周辺機器
- :その他
- :電話
- :オーディオ機器
- :イメージング機器

❷機器名称

Bluetooth機器の名称が表示されます。
サーチ時に名称が検出できなかった場合はBluetoothアドレスが表示されます。

❸接続状態

:接続中　:再検出　(グレー):未接続　NEW:未登録

❹保護

登録内容が保護されている場合に表示されます。

❺プロファイル状態

表示例	文字色	背景色	枠色	状態
HSP	白	グレー	なし	未接続(未登録)
HSP	白	グレー	グレー	未接続(登録済み)
HSP	白	緑	白	接続中
HSP	白	グレー	白	接続待機中
HSP	白	薄緑	グレー	優先機器設定
HSP	グレー	グレー	なし	未対応

お知らせ

- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に時間がかかることがあります。
- ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービスで接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中または接続待機中にFOMA端末の電源をOFFにした場合も、次回電源を入れたときに接続待機中になります。

登録機器リスト画面のサブメニュー

機器登録	P.445手順4へ進みます。
優先機器設定	電話がかかってきたときに優先して接続するBluetooth機器に設定します。設定できるのはヘッドセットサービスに対応しているBluetooth機器のみです。 ●すでに他のBluetooth機器を設定していた場合、その設定は解除され、選択したBluetooth機器が優先機器に設定されます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
保護／解除	登録したBluetooth機器を削除･上書きされないように保護します。5件まで保護できます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
機器名称変更	登録しているBluetooth機器の名称を変更します。 ▶**機器名称を入力** ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。
デスクトップ貼付	P.38参照
登録機器情報	Bluetooth機器の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。
登録機器削除	登録しているBluetooth機器を削除します。 ▶YES

お知らせ

＜機器登録＞
- すでに登録済みのBluetooth機器を選択すると登録情報が更新されます。(機器名称を変更していた場合は元に戻ります。)登録済みと異なるプロファイルを選択した場合は、プロファイルが追加登録されます。

＜優先機器設定＞
- 優先機器設定を設定していても、ヘッドセットサービスを接続待機中にしていないと接続されません。また、他のBluetooth機器がヘッドセットサービスで接続中の場合は、接続中のBluetooth機器が優先されます。

＜登録機器削除＞
- Bluetooth機器の状態が接続中または接続待機中の場合は削除できません。

接続待機

登録しているすべてのBluetooth機器の接続状態を各サービスごとに接続待機に設定します。

1 Bluetoothメニュー画面▶接続待機▶待機中にしたいサービスにチェック▶📷TV(完了)

- 解除する場合は解除したいサービスのチェックを外し📷TV(完了)を押します。
- 接続待機中は「(青色)」が点灯します。

Bluetoothオフ

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、FOMA端末のBluetooth機能を停止します。

1 Bluetoothメニュー画面▶Bluetoothオフ▶YES

- FOMA端末のBluetooth機能を有効にするには「Bluetoothオン」を選択します。Bluetooth機器の各サービスも接続待機に設定されます。

ダイヤルアップ登録待機

Bluetooth通信対応のパソコンやカーナビなどとFOMA端末をワイヤレス接続して、通話や通信を行います。詳しくは、PDF版「パソコン接続マニュアル」の「Bluetooth通信を準備する」をご覧ください。

通話する

FOMA端末をBluetooth機器とヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続すると、ワイヤレスで通話できます。

1 Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

- Bluetooth機器との接続方法についてはP.446参照。

2 Bluetooth機器で電話をかけるまたは受ける

Bluetooth機器で通話中は「」が点滅します。

- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを切り替えるには

通話中に[発信キー]を1秒以上押します。

- 通話中に[MENU]([サブメニュー])を押して「通話機切替」を選択しても切り替えられます。
- Bluetooth機器側からの操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth機器に切り替えても、USBハンズフリー対応機器やイヤホンマイク(別売)接続中は、Bluetooth機器で通話できません。

お知らせ

- ダイヤルロック、おまかせロック中はBluetooth機器での着信への応答ができません。
- Bluetooth機器をヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもBluetooth機器から着信音が鳴ります。
- Bluetooth機器で通話中はFOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- Bluetooth機器で通話中は「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。
- Bluetooth機器で通話中にBluetooth通信が切断されたときは、「切断時通話設定」の設定に従って動作します。ただし、FOMA端末を閉じているときに切断され、「切断時通話設定」が「本体で通話継続」に設定されている場合は、「クローズ動作設定」の設定に従います。「クローズ動作設定」が「終話」に設定されている場合は、「ミュート」の動作になります。

ワンセグの音声を再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、ワンセグの音声をBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

- Bluetooth機器との接続方法についてはP.446参照。

2 ワンセグを視聴する

Bluetooth機器から音声が出力されます。出力中は「[Bluetoothアイコン]」が点滅します。

- 一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続すると接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、オーディオサービスで接続しなくても、ワンセグを視聴する際に自動でBluetooth機器と接続しようとします。接続が成功するとBluetooth機器から音声が出力されます。接続に失敗した場合は、FOMA端末から音声を出力するかどうかの確認画面が表示されます。
  接続履歴はBluetooth機器をオーディオサービスで接続するたびに上書きされます。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみワンセグの音声を再生できます。
- 音声をBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- イヤホンマイク(別売)接続中は、Bluetooth機器で再生できません。
- Bluetooth機器から再生中に音声が停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
  - ･Bluetooth機器との接続が途切れたとき
  - ･GPSの位置提供要求を受信したとき
  - ･メールやメッセージR/Fを受信したとき
  - ･電池切れアラームが鳴ったとき
  - ･「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき

  このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。

ｉモーションの音声や音楽などを再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、ｉモーションの音声やミュージックプレーヤーの音楽などをBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

- Bluetooth機器との接続方法についてはP.446参照。
- オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行った場合、ミュージックプレーヤーが自動で起動されます。ただし、「ミュージックプレーヤー設定」を「自動起動／終了なし」に設定している場合は、自動で起動されません。また、待受画面以外を表示中や、他の機能が起動中は、自動で起動されないことがあります。

2 ファイルを再生する

Bluetooth機器から音が出力されます。出力中は「」が点滅します。

- Bluetooth機器への出力を開始するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
- 一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続すると接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、オーディオサービスで接続しなくても、ファイルを再生する際に自動でBluetooth機器と接続しようとします。接続が成功するとBluetooth機器から音が出力されます。接続に失敗した場合は、FOMA端末から音を出力するかどうかの確認画面が表示されます。ただし、ストリーミングタイプ以外のｉモーションの場合は自動で接続できません。
  接続履歴はBluetooth機器をオーディオサービスで接続するたびに上書きされます。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみビデオや、「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画の音声を再生できます。
- 音声や音楽をBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。

お知らせ

- ミュージックプレーヤーやMusic&Videoチャネルをバックグラウンド再生している場合でも、Bluetooth機器のリモコン操作は有効です。
- イヤホンマイク（別売）接続中は、Bluetooth機器で再生できません。
- Bluetooth機器から再生中に音声や音楽が停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
  ･Bluetooth機器との接続が途切れたとき
  ･GPSの位置提供要求を受信したとき
  ･メールやメッセージR/Fを受信したとき
  ･電池切れアラームが鳴ったとき
  ･「アラーム」「スケジュール」「ToDoリスト」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき
  このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。
- Bluetooth機器と接続してミュージックプレーヤーを起動中に、FOMA端末を閉じた状態でBluetooth機器との接続が切れた場合は、ミュージックプレーヤーが終了します。ただし、「ミュージックプレーヤー設定」を「自動起動／終了なし」に設定している場合はミュージックプレーヤーは終了しません。

データを送信する

FOMA端末をBluetooth機器とオブジェクトプッシュサービスで接続すると、電話帳などのデータを送信できます。

■送信できるデータの一覧

送信条件／送信可能なデータ	1件	全件
電話帳※1	○	○
スケジュール※2	○	○
ToDoリスト	○	○
受信メール※3	○	○
送信メール※3	○	○
保存メール※3	○	○

つづく

送信可能なデータ ＼ 送信条件	1件	全件
メモ帳	○	○
Bookmark※3	○	○
プロフィール	○	×

○：送信できます。　×：送信できません。

※1 プロフィールも含みます。

※2 休日、i コンシェルでダウンロードした i スケジュールは送信できません。

※3 フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。

お知らせ

- FOMAカード内の電話帳やSMSは送信できません。
- microSDカード内のデータは送信できません。FOMA端末にコピーまたは移動してから送信してください。
- メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルも送信されます。ただし、種類によっては送信されないことがあります。
- 未取得の添付ファイルがあるメールや、i アプリを起動させるリンク情報があるメールはそれらが削除されて送信されます。
- 指定発信制限を設定中は、指定発信制限を設定した電話帳データ、プロフィールのデータを送信できます。
- データの大きさによっては、送信に長い時間がかかることがあります。
- 受信側のBluetooth機器が対応していないデータは、送信できない場合があります。

■1件送信時のご注意

- シークレットモード時はシークレットデータも送信できます。ただし、シークレット専用モード時はシークレットデータのみ送信できます。
- 電話帳データを1件送信する場合、登録したシークレットコードは送信されません。

■全件送信時のご注意

- 電話帳を全件送信するとプロフィールのデータも一緒に送信されます。
- シークレットモード時に限らず「シークレットデータ」として登録されている電話帳も送信されます。
- ToDoリストに対応していないBluetooth機器にToDoリストを全件送信すると、受信側のスケジュールデータがすべて削除されますのでご注意ください。
- 保護されている受信メール、送信メールも送信されます。

Bluetooth送信

1 送信したいデータのサブメニュー ▶Bluetooth送信・送信・Bluetooth全送信・全送信

- Bluetooth機器が1件も登録されていない場合は、FOMA端末の周辺にあるBluetooth機器を探すかどうかの確認画面が表示されます。

2 接続したいBluetooth機器を選択▶YES

- 未登録のBluetooth機器を選択した場合は、Bluetooth機器を登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- Bluetoothパスキーの入力を求められた場合は、Bluetoothパスキーを入力します。
- 全件送信時は端末暗証番号を入力します。
- 「全件転送パスワード設定」を「パスワードあり」に設定している場合は、全件送信時に認証パスワードの入力が必要です。認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

Bluetooth設定

1 Bluetoothメニュー画面▶Bluetooth設定▶以下の操作を行う

●通話中やデータ通信中は操作できません。

セキュリティ設定	電話帳などのデータを送信するときの認証の有無を設定します。認証する場合はデータを暗号化するかどうかを設定します。 **▶セキュリティ設定あり・セキュリティ設定なし** **▶暗号化あり・暗号化なし**
全件転送パスワード設定	電話帳などのデータを全件送信する際にパスワードを入力するかどうかを設定します。 **▶パスワードあり・パスワードなし**
サーチ時間	FOMA端末周辺のBluetooth通信対応機器を検索する時間を設定します。 **▶サーチ時間(秒)を入力** ●「05」～「20」の2桁を入力します。
着信音送出設定	接続しているヘッドセット機器やハンズフリー機器に、音声電話とテレビ電話の着信音を送信するかどうかを設定します。「優先機器設定」で優先機器を設定している場合は、その機器が接続待機中でも接続を行い着信音を送信します。 **▶送る・送らない**
切断時通話設定	ヘッドセット機器やハンズフリー機器で通話中にBluetooth通信が切断されたとき、通話を終了するかFOMA端末で通話するかを設定します。 **▶通話終了・本体で通話継続**
ヘッドセット操作による発信	ヘッドセット機器のスイッチで電話をかけることができるかどうか設定します。 **▶有効・無効**
ミュージックプレーヤー設定	待受画面からBluetooth機器とオーディオサービスで接続、切断する際に、同時に自動でミュージックプレーヤーも起動または終了するかどうかを設定します。 **▶自動起動／終了あり・自動起動／終了なし**
自局情報	FOMA端末に搭載しているBluetooth機能の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。また、機器名称の変更もできます。 ●機器名称を変更する場合は、📷TV(編集)を押して機器名称を入力します。全角16文字/半角32文字まで入力できます。

お知らせ

＜セキュリティ設定＞

●電話帳などのデータを送信するBluetooth機器とオブジェクトプッシュ以外のサービスで接続中のときは、本機能の設定に関わらず認証あり・暗号化ありで送信します。

●接続中や接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

＜着信音送出設定＞

●ヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中または接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

＜自局情報＞

●機器名称に絵文字を設定した場合、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

<フェムトセル>

フェムトセルを利用する

「フェムトセル利用設定」を「ON」にすることにより、ドコモが提供する「マイエリア」を利用できます。
「マイエリア」は、ご自宅にフェムトセル小型基地局を設置し、ご自宅専用FOMAエリアを作ることで、安定した通話と通信がご利用いただけるサービスです。

- 「マイエリア」はお申し込みが必要な有料サービスです。
- 「マイエリア」の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 6(1秒以上)▶以下の操作を行う

フェムトセル利用設定	フェムトセルを利用するかどうかを設定します。また、通常の通信とフェムトセルを使った通信の両方が可能な場合、フェムトセルを優先的に使うかどうかも設定します。 ▶**ON・OFF**▶**フェムトセル優先在圏設定**▶**ON・OFF** ▶カメラTV(完了)
フェムトセルサーチ	フェムトセルのネットワークに接続します。 ▶**OK**

便利な機能

文字入力

「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内またはドコモのホームページ上の「区点コード一覧」(PDF形式)をご覧ください。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

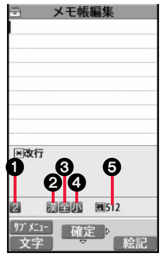
<文字入力>

文字を入力する

FOMA端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

文字入力(編集)画面

文字入力(編集)画面には、入力方式や入力モード、残文字数などの情報が表示されます。



❶入力方式
2:2タッチ方式
- かな方式のときは表示されません。

❷入力モード
漢:漢字ひらがな入力モード
ｶﾅ:カタカナ入力モード
英:英字入力モード
数:数字入力モード
- 句点入力時は「区」と表示されます。

❸全角／半角
全:全角入力モード
半:半角入力モード

❹大文字／小文字
小:小文字入力モード
- 大文字入力モードのときは表示されません。

❺入力可能な残りバイト数
- 機能によっては「入力済み文字数」が表示される場合があります。
- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 半角文字の濁点「゛」半濁点「゜」は、1文字分としてカウントされます。

入力方式を選択する

入力方式には、次の2種類の方式があります。

かな方式 P.454参照
1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すごとに文字が変わります。

2タッチ方式 . . . P.461参照
2つの数字の組み合わせで文字を入力します。

1 **MENU▶本体設定▶文字表示／入力▶文字入力機能▶入力方式▶かな方式・2タッチ方式**

文字入力(編集)画面で入力方式を切り替えるには

✉(文字)を1秒以上押すかサブメニューから「入力方式切替」を選択します。

<かな方式>

かな方式で文字を入力する

文字入力(編集)画面で✉(文字)を押して入力モードを選択します。入力する機能によっては選択できない入力モードがあります。

文字を入力する

少ない文字を入力するだけで予測される文字の変換候補を表示する予測変換候補や、文節間の関係から次の文節の変換候補を表示する関係候補を利用して文字を入力できます。
- 文字を学習することにより予測変換候補や関係候補が増えます。

<例>メモ帳に「タダの菓子」を入力する

1 **MENU▶便利ツール▶メモ帳▶<未登録>**
「予測機能」を「ON」に設定している場合は予測変換モードで、「OFF」に設定している場合は通常変換モードで文字入力(編集)画面が表示されます。

2 ひらがなを入力

た→4を1回、○を1回
だ→4を1回、＊を1回
の→5を5回
か→2を1回
し→3を2回

- 一度に20文字まで入力できます。
- 同じボタンで入力する文字が続く場合は、○を押すか同じボタンを1秒以上押して次の文字を入力します。
  「自動カーソル移動」を設定すると、カーソルを移動する操作が省略できます。
- 文字を入力したあとに＊を押すと、大文字･小文字の切り替えや、濁点･半濁点の入力ができます。
- ☎を押すと、押すごとに逆順に文字が表示されます。
- 「予測機能」を「ON」に設定している場合、MENUを押すごとに通常変換モードと予測変換モードが切り替わります。
- 📷TV（英数カナ）を押すと英数字、カタカナの候補リストが表示されます。入力した文字によっては、日付／時刻の候補も表示されます。
- ｉモードメールの本文を編集中に「絵D」が表示されている場合は、✉（絵D）を押すと入力した文字に対応するデコメ絵文字®の候補リストが表示されます。
- 変換せずにそのまま確定する場合は●（確定）を押します。
- 予測変換候補から選択する場合は○を、関係候補から選択する場合は○を押して候補リストにカーソルを移動したあと候補を選択します。

3 ○で「の」までカーソルを移動

自動的に通常変換モードに切り替わります。

4 ○で候補リストにカーソルを移動 ▶○で「タダの」を選んで●（選択）

- 候補を選択中にCLRを押すと文字入力（編集）画面に戻ります。

5 ○で候補リストにカーソルを移動 ▶○で「菓子」を選んで●（選択）

選択した文字が確定します。

お知らせ

- 数字入力モードで0を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。
- 学習機能により、最大1000単語分まで記憶され、変換率の高い文字は表示順位が上がります。
- 候補の文字列は、通常の変換を行った文字やダウンロードした辞書から表示されます。
  ･お買い上げ時は、少数の文字列しか登録されていないため候補を表示しない場合があります。通常の変換を行うことにより、それが候補に加えられます。
  ･辞書をサイトからダウンロードして候補に加えることもできます。ただし、ダウンロードした辞書を削除すると、候補からも削除されます。（P.208、P.461参照）
- デコメ絵文字®の候補リストには、お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字®のみが表示され、ダウンロードしたデコメ絵文字®は表示されません。お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字®を削除して、再びダウンロードした場合でも、候補リストには表示されません。
- 変換できる漢字には限りがあるため、変換できない漢字もあります。変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。入力できるのは、JIS第一水準漢字、第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は一部を変形もしくは省略しています。

文字を修正する

1 カーソルを修正したい文字の左側へ移動▶CLR

カーソルの右側の文字が削除されます。
CLRを1秒以上押すとカーソル以降の文字がすべて削除されます。

- カーソルの右側に文字がない場合は、カーソルの左側の文字が削除されます。CLRを1秒以上押すとすべての文字が削除されます。

2 正しい文字を入力

カーソルの位置に文字が挿入されます。

編集中のデータについて

電池切れアラームが鳴ったときは
編集中のデータが自動的に確定して保存されます。充電するか、充電済みの電池パックと交換したあとにもう一度編集できます。ただし、変換中の確定していない文字は保存されません。
[終話]を押したときは
編集中のデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。
電話がかかってきたり、メールを受信したときは
マルチタスク機能が働くため編集中のデータはそのままで応対できます。[タスク]を押してタスクメニューを表示し、編集中の機能を選択するとデータの編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、データの編集画面に戻ります。

予測機能

候補リストに予測変換候補、関係候補を表示するかどうかを設定します。

1 **[MENU]▶本体設定▶文字表示／入力▶文字入力機能▶予測機能(学習辞書)▶ON・OFF**

- 文字入力(編集)画面のサブメニューから操作した場合、設定は入力中の文字入力(編集)画面にのみ有効です。

予測変換候補について

少ない文字を入力するだけで候補リストに予測変換候補が表示されます。
- ｉモードメールの本文を入力するときは、書き始めに適した候補が表示されます。ただし、冒頭文や署名が貼り付いているときは表示されません。
- ｉモードメールやSMSの返信時は、受信メールの題名･本文にある単語が変換候補に表示されます。
- 2タッチ方式でも予測変換候補は表示されます。

関係候補について

文字を確定後、関係候補となる文字列がある場合は、候補リストに関係候補が表示されます。
- 2タッチ方式でも関係候補は表示されます。

文字入力(編集)中のサブメニュー

デコレーション [メール本文入力画面のみ]	P.148参照
範囲選択 [メール本文入力画面のみ]	入力済みの文字を選択してデコレーションを設定･変更したり、選択した文字をコピー･切り取りしたりできます。 **▶始点を選択** ● [＊]を1秒以上押しても始点選択の画面を表示できます。 ● [カメラ]([全選択])を押して「YES」を選択すると全文を選択できます。 **▶終点を選択▶項目を選択** **デコレーション** . . . デコレーションを設定･変更します。(P.147「デコレーション変更」参照) **コピー** . . . . 選択した文字をコピーします。(P.459参照) **切り取り** . . . . 選択した文字を切り取ります。(P.459参照)
デコメール読込み [メール本文入力画面のみ]	P.146参照
カメラ起動 [メール本文入力画面のみ]	カメラを起動して撮影した画像をメール本文に挿入します。 **▶静止画を撮影** ● 撮影方法についてはP.236参照。 ● 画像に位置情報が付いている場合は、本文に位置情報のURLを貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。
コピー	P.459参照
切り取り	P.459参照
貼り付け	P.460参照

元に戻す	確定、削除、貼り付けなどをした文字を5回まで元に戻します。 ●(発信キー)を1秒以上押しても戻せます。 ●メール本文入力画面ではデコレーションも戻せます。
クイック検索 [メール本文入力画面のみ]	P.200参照
音声で文字入力	P.462参照
絵文字／記号入力	
絵文字入力	▶**絵文字を選択** CLRを押して文字入力(編集)画面に戻ります。 ●(発信キー)を押すと全画面表示に切り替わります。 ●MENU(←)または(カメラ/TV)(→)を押すと表示内容が切り替わります。 ●文字入力(編集)画面で(iα)(絵記)を押しても絵文字などを入力できます。
記号入力	▶**記号を選択** CLRを押して文字入力(編集)画面に戻ります。 ●(発信キー)を押すと全画面表示に切り替わります。 ●MENU(←)または(カメラ/TV)(→)を押すと表示内容が切り替わります。 ●文字入力(編集)画面で(iα)(絵記)を押しても記号などを入力できます。
顔文字入力	▶**顔文字を選択** ●MENU(←)または(カメラ/TV)(→)を押すと表示内容が切り替わります。 ●文字入力(編集)画面で(iα)(絵記)を押しても顔文字などを入力できます。
改行入力	改行します。 ●文末にカーソルがあり、文字が確定されているときは、(下キー)を押しても改行できます。また、数字入力モード以外で(*)を押しても改行できます。

スペース入力	全角入力モードのときは全角スペース、半角入力モードのときは半角スペースを入力します。ただし、メール本文入力画面では、常に半角スペースを入力します。 ●文末にカーソルがあり、文字が確定されているときは、(右キー)を押してもスペースを入力できます。
定型文／引用	
定型文入力	▶**フォルダを選択**▶**定型文を選択**▶(決定)(選択) ●「セキュリティフォルダ」を選択した場合は、端末暗証番号を入力します。
区点入力	区点コード一覧表(付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」参照)にある文字･数字･記号を入力します。 ▶**区点コード(4桁)を入力** ●入力した区点コードに対応する文字がないときは、スペースが入力されます。
電話帳引用	電話帳を呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 <FOMA端末内> 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモ ｉコンシェルで取得した住所、URL、メモ <FOMAカード内> 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス ▶**電話帳を検索**▶**電話帳を選択** ▶**引用したい項目にチェック**▶(カメラ/TV)(完了)
プロフィール引用	お客様の個人データを呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモ ▶**端末暗証番号を入力**▶**引用したい項目にチェック** ▶(カメラ/TV)(完了)
位置情報貼り付け [メール本文入力画面のみ]	位置情報を参照してURL化し、ｉモードメール本文に貼り付けます。(P.348参照)
バーコードリーダー	バーコードリーダーを起動します。(P.248参照)

つづく

文字入力設定		
	入力方式切替	P.454参照
	予測機能OFF・予測機能ON	P.456参照
	自動カーソル移動	かな方式で文字入力中に、入力した文字を自動的に確定するかどうかを設定します。また、確定するまでの時間を選択できます。 ▶**速い・普通・遅い・OFF**
JUMP		カーソルを文頭または文末に移動します。 ▶**文頭へJUMP・文末へJUMP**
プロパティ [メール本文入力画面のみ]		メール本文に挿入している画像のファイル情報を表示します。
プレビュー [メール本文入力画面のみ]		送信する前に本文の内容を確認します。

お知らせ

＜元に戻す＞
- 「元に戻す」で元に戻したあと、「元に戻す」の取り消しはできません。
- 文字入力(編集)画面を終了すると、「元に戻す」で元には戻せません。

＜絵文字入力＞
- 文字入力(編集)画面によっては絵文字を入力できない場合があります。
- 入力した絵文字の履歴がある場合は、先頭に履歴が表示されます。また、デコメ絵文字®はｉモードメールの本文を編集中に表示されます。
- デコメ絵文字®は20件まで入力できますが、他に画像を挿入する場合は、挿入した画像の数だけ入力できる件数が少なくなります。

＜記号入力＞
- 文字入力(編集)画面によっては、入力できない記号があります。
- 入力した記号の履歴がある場合は、先頭に履歴が表示されます。

＜改行入力＞
- 改行は、全角1文字分としてカウントされます。
- 文字入力(編集)画面によっては改行できない場合があります。

お知らせ

＜定型文入力＞
- 文字入力(編集)画面によっては定型文を入力できない場合があります。
- FOMA端末にあらかじめ登録された定型文は入力モードによって呼び出される内容が異なります。

＜電話帳引用＞
- 住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

＜プロフィール引用＞
- 住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。
- 2in1のモードがAモードの場合はAナンバーの個人データ、Bモードの場合はBナンバーの個人データが引用されます。デュアルモードの場合はどちらの個人データを引用するかを選択します。

＜位置情報貼り付け＞
- 半角512文字まで貼り付けでき、貼り付けたURLはメール本文の文字数としてカウントされます。
- 貼り付けたURLの前には「 」が挿入されます。ただし、編集時に削除できます。

＜自動カーソル移動＞
- 自動カーソル移動の設定とボタン操作の速さによっては、うまく入力できない場合があります。

＜定型文＞

定型文を使用する

FOMA端末にあらかじめ登録された定型文や自作の定型文を文字入力(編集)画面から呼び出して入力できます。
定型文は6つのフォルダに分かれていて、各フォルダに10件ずつ登録できます。登録されている定型文を編集し、自作の定型文として保存できます。

定型文を表示する

1 MENU▶**便利ツール**▶**定型文／単語登録**
- 「✉▶メール設定▶定型文／単語登録」の操作を行っても定型文を表示できます。

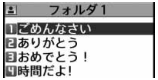
2 定型文▶フォルダを選択

●「セキュリティフォルダ」を選択した場合は、端末暗証番号を入力します。

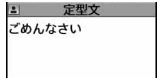


定型文フォルダ一覧画面

3 定型文を選択



定型文一覧画面



定型文画面

お知らせ

- メールの作成時に使用する自作の定型文には、「半角カタカナ」と「絵文字」は使わないでください。正しく表示されない場合があります。（ｉモードメールどうしでは絵文字を使用できます。）
- FOMA端末にあらかじめ登録されている定型文は、漢字ひらがな入力モードでは漢字ひらがな表現、それ以外の入力モードでは半角カタカナ表現で呼び出されます。

定型文フォルダ一覧画面のサブメニュー

フォルダ名編集	▶フォルダ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ名初期化	フォルダ名をお買い上げ時のフォルダ名に戻します。 ▶YES
iC全送信	P.408参照
赤外線全送信	P.406参照

お知らせ

＜フォルダ名編集＞

- フォルダ名に入力した文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時のフォルダ名に戻ります。
- 「セキュリティフォルダ」のフォルダ名は編集できません。

定型文一覧画面・定型文画面のサブメニュー

編集	▶定型文を入力 ●全角64文字/半角128文字まで入力できます。 ●[カメラ/TV]（編集）を押すか＜未登録＞を選択しても編集できます。 ●「セキュリティフォルダ」の定型文を編集した場合は、定型文一覧画面に表示されるタイトルを入力します。全角10文字/半角20文字まで入力できます。
iC送信	P.407参照
赤外線送信	P.405参照
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

＜編集＞

- あらかじめ登録されている定型文の文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時の定型文に戻ります。

＜1件削除＞＜全削除＞

- あらかじめ登録されている定型文を削除した場合は、お買い上げ時の定型文に戻ります。

文字の切り取り・コピーと貼り付け

切り取り・コピー

文字を最大全角5000文字/半角10000文字まで切り取り・コピーできます。

1 文字入力(編集)画面▶[MENU]（サブメニュー）▶切り取り・コピー▶始点を選択▶終点を選択

●[＊]を1秒以上押して範囲を選択しても、文字を切り取り・コピーできます。

つづく

お知らせ

- デコメール®本文入力中に切り取り･コピーして貼り付けた場合、デコレーションの情報も貼り付けられます。(デコレーションによっては、通常の文字で貼り付けられる場合があります。)
- デコメール®の本文などでは、データの容量によってメモリが不足するため、切り取り･コピーできない場合があります。

貼り付け

切り取り･コピーした文字を貼り付けます。

1 文字入力(編集)画面▶カーソルを貼り付け開始位置へ移動▶MENU(サブメニュー)▶貼り付け

- #を1秒以上押しても文字を貼り付けることができます。

<単語登録>

単語を登録する

よく使う単語に好きな読み(ひらがな)を付けて100件まで登録できます。

1 MENU▶便利ツール▶定型文／単語登録

- 「✉▶メール設定▶定型文／単語登録」の操作を行っても単語を登録できます。

2 単語登録▶<新規登録>▶単語を入力

- 登録済みの単語を選択すると、登録内容を確認できます。
- 全角10文字/半角20文字まで入力できます。ただし、改行は入力できません。

3 読みを入力

- ひらがなで10文字まで入力できます。また、「長音(ー)」以外の記号は登録できません。
- スペースを入力しても、自動的につめて登録されます。

単語登録表示中のサブメニュー

編集	P.460手順2へ進みます。 ● 📷TV(編集)を押しても編集できます。
iC送信	P.407参照
赤外線送信	P.405参照
iC全送信	P.408参照
赤外線全送信	P.406参照
microSDへコピー	
1件コピー	P.389参照
選択コピー	P.389参照
全コピー	P.389参照
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい単語にチェック▶📷TV(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<学習履歴クリア>

学習履歴を初期状態に戻す

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする学習履歴をお買い上げ時の初期状態に戻します。

1 MENU▶本体設定▶文字表示／入力▶文字入力機能▶学習履歴クリア▶端末暗証番号を入力

学習履歴を1件削除するには

候補リストに表示されている予測変換候補や関係候補を選んでCLRを1秒以上押し、「YES」を選択します。

<ダウンロード辞書>
ダウンロードした辞書を使用する

サイトからダウンロードした辞書(P.208参照)を有効にします。

1 MENU▶**便利ツール**▶**ダウンロード辞書**▶**ダウンロード辞書を選択**

選択したダウンロード辞書が有効になり、「★」マークが付きます。
- ダウンロード辞書を無効にするには、同様の操作を行います。
- お買い上げ時に登録されている辞書は削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.209参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.51参照)が設定されます。

ダウンロード辞書表示中のサブメニュー

タイトル編集	▶タイトルを編集 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
辞書ファイル設定	辞書を有効/無効にします。操作するごとに有効/無効が切り替わります。
辞書情報	辞書のタイトル、バージョンなどを表示します。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<タイトル編集>
- タイトルに入力した文字をすべて削除した場合は、元のタイトルに戻ります。

<2タッチ方式>
2タッチ方式で文字を入力する

2桁の数字をダイヤルボタンで押すと、それに対応した文字(記号)が入力されます。
- ダイヤルボタンの文字割り当て(2タッチ方式)についてはP.519参照。
- 「2タッチ方式」への切り替えについてはP.454参照。

入力モードの切替(2タッチ方式)

文字入力(編集)画面で✉(文字)を押して全角入力モード/半角入力モードを切り替えます。入力する機能によっては切り替えできない場合があります。

文字を入力する

<例>メモ帳に「タダの菓子」を入力する

1 MENU▶**便利ツール**▶**メモ帳**▶**<未登録>**

文字入力(編集)画面が表示されます。

2 **ひらがなを入力**

た→4 1
だ→4 1、*
の→5 5
か→2 1
し→3 2
- 文字を入力したあとに*を押すと、大文字・小文字の切り替えや、濁点・半濁点の入力ができます。
- 8 0と押すと、大文字/小文字入力モードが切り替わります。

ひらがなを入力後、P.455手順3へ進みます。

<音声入力>

音声で文字を入力する

音声を文字に変換してメール作成やクイック検索を行います。

1 **文字入力(編集)画面▶MENU(サブメニュー)▶音声で文字入力**

または

クイック検索画面▶音声入力

- 通信するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES(以後非表示)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。
- ✉(ガイド)を押すと音声入力時の注意事項を確認できます。
- 📷TV(終了)を押すと音声入力が終了します。

2 **●(開始)▶バイブレータが振動したら発声する**

バイブレータが振動してから30秒以内(クイック検索画面から操作した場合は10秒以内)に発声してください。

- 中止する場合は📷TV(中止)またはCLRを押します。

3 **●(確定)を押す**

バイブレータが振動し、認識結果が表示されます。

- 約3秒間何も発声しなかった場合も認識結果が表示されます。

4 **○で候補リストにカーソルを移動▶候補を選択**

- ○で変換する文節を選べます。文節を選んでCLRを押すと文節を削除できます。
- 音声入力し直す場合は、📷TV(再入力)を押して「YES」を選択します。
- 変換範囲は変更できません。

5 **iα(全確定)を押す**

すべての文節が確定します。

- ✉(✉編集)を押すとすべての文節が確定し、音声入力が終了します。

お知らせ

- 発声するときの送話口と口の距離は、10cm程度にしてください。送話口から離れた状態ではうまく音声が認識できない場合があります。
- なるべくはっきりと発声してください。
- 発声の前後に、咳払い、「エー」、舌打ち音、息の音、その他雑音など、発声とは無関係の音を出さないでください。
- 周囲の雑音の少ない、なるべく静かな場所で発声してください。
- 発声するときに送話口の穴を指でふさがないでください。また、ボタンを押したり、こすったりしないでください。

ネットワークサービス

■利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	要	有料	464
キャッチホン	要	有料	466
転送でんわサービス	要	無料	467
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	469
発信者番号通知サービス	不要	無料	59
番号通知お願いサービス	不要	無料	469
デュアルネットワークサービス	要	有料	470

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
英語ガイダンス	不要	無料	470
マルチナンバー	要	有料	472
2in1	要	有料	474
公共モード(ドライブモード)	不要	無料	81
公共モード(電源OFF)	不要	無料	82
OFFICEED	要	有料	479
メロディコール	要	有料	107

- 「OFFICEED」は申し込みが必要な有料サービスです。ご不明な点はドコモの法人向けサイト(http://www.docomo.biz/html/service/officeed/)をご覧ください。
- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。(P.480参照)
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。

＜メッセージ問合せ＞

新しい伝言メッセージがあるか確認する

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っているかどうかを確認します。

1 MENU▶**電話機能**▶**留守番電話サービス**▶**メッセージ問合せ**

問い合わせ結果について

- 伝言メッセージがあるときは「留守番電話あり」のアイコン（ ）と留守番電話アイコン（ など）を表示してお知らせします。
- 伝言メッセージがあることを示す留守番電話アイコン（ など）は、留守番電話サービスセンターに電話をかけて伝言メッセージの保存または消去の操作をするか、「メッセージ有無表示消去」の操作を行うと消去されます。
- 留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージの件数によって、 、 、 … （10件以上）と表示が変わります。表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- 「件数増加鳴動設定」を設定すると、伝言メッセージが増加したときに着信音が鳴ります。
- 伝言メッセージの再生のしかたについてはP.465参照。

「 圏外 」が表示されているときは

伝言メッセージの問い合わせができません。「 圏外 」が消える場所で利用してください。

＜留守番電話サービス＞

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり約3分間、20件まで録音／録画でき、最大72時間保存されます。
- 伝言メモ（P.83参照）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記録され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 留守番電話サービスは音声電話、テレビ電話に有効です。
- キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作ができません。サブメニューからDTMF送信モードに切り替えてください。（P.88参照）
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音（「着信音選択」で設定した着信音）が鳴ります。（着信音が鳴る時間は変更可能です。P.465参照）その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続します。
- かかってきた電話をボタン操作だけで留守番電話サービスセンターに接続できます。また、通話中にかかってきた電話も接続できます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた方が伝言を録音／録画する※
ステップ3：伝言メッセージを再生する

※急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「＃」を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。

留守番電話サービスを利用する

1 MENU▶**電話機能**▶**留守番電話サービス**▶**以下の操作を行う**

留守番メッセージ再生	留守番電話に録音された伝言メッセージを再生します。 ▶**再生(音声電話)・再生(テレビ電話)**▶**YES** ▶**音声ガイダンスに従って操作**
留守番サービス開始	▶**YES**▶**YES**▶**呼出時間(秒)を入力** ●「000」~「120」の3桁を入力します。
留守番サービス停止	▶**YES**
留守番呼出時間設定	留守番電話サービスセンターに接続するまでの呼出時間を設定します。 ▶**呼出時間(秒)を入力** ●「000」~「120」の3桁を入力します。
留守番設定確認	留守番電話サービスの設定内容を確認します。
留守番サービス設定	留守番電話サービスの設定内容を切り替えます。 ▶**設定(音声電話)・設定(テレビ電話)**▶**YES** ▶**音声ガイダンスに従って操作**
メッセージ問合せ	P.464参照
件数増加鳴動設定	伝言メッセージが増えたときに確認音を5秒間鳴らすように設定します。 ▶**YES・NO**
メッセージ有無表示消去	待受画面にある留守番電話アイコン(など)を消去します。 ▶**YES**
着信通知開始	電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報(着信日時や発信者番号)をSMSにてお知らせします。 ▶**項目を選択**▶**YES** **全着信** . . . . . . すべての着信についてお知らせします。 **発番号あり** . . . 相手の電話番号が通知された着信についてのみお知らせします。
着信通知停止	▶**YES**
着信通知開始設定確認	着信通知の設定内容を確認します。
留守番テレビ電話設定	かかってきた電話がテレビ電話でも留守番電話サービスを利用するかどうかを設定します。 ▶**テレビ電話対応ON・テレビ電話対応OFF**▶**YES** ●「テレビ電話対応ON」に設定しても、留守番電話サービスを「開始」に設定していないと利用できません。

お知らせ

<留守番メッセージ再生><留守番サービス設定>
- 通話中は操作できません。
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作(0~9、*、#)を行った場合、を押しても通話が終わらないことがあります。この場合はをもう一度押してください。

<留守番呼出時間設定>
- 0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

<メッセージ有無表示消去>
- 留守番電話アイコンを消去しても、留守番電話サービスセンターに保存されているメッセージは消去されません。

<着信通知開始>
- SMS一括拒否を設定している場合でも着信履歴は通知されます。

着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で留守番電話サービスセンターに接続できます。留守番電話サービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って留守番電話を利用できます。

1 **着信中**▶MENU(サブメニュー)▶**留守番電話**

- 着信中にMENU(サブメニュー)を押し、#を押してもかかってきた電話が留守番電話サービスセンターに接続されます。

指定留守番電話

電話帳に登録されている電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定に関わらず、留守番電話サービスセンターへ自動的に接続できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
「番号通知お願いサービス」もあわせて設定することをおすすめします。

1 電話帳詳細画面▶MENU（サブメニュー）▶個別発着信動作選択▶端末暗証番号を入力▶指定留守番電話

- 指定留守番電話を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 本機能を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから留守番電話サービスセンターに接続します。このとき電話がかかってきたことをデスクトップのアイコン（P.36、P.82参照）と「着信履歴」でお知らせします。
- 本機能を設定していても、留守番電話サービス停止中に「オリジナルロック」で「電話帳」をロックすると、すべての電話が留守番電話サービスセンターに接続されなくなります。

<キャッチホン>

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」（P.471参照）を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。

キャッチホンサービスを利用する

1 MENU▶電話機能▶その他ネットワークサービス▶キャッチホン▶以下の操作を行う

開始	▶YES
停止	▶YES
設定確認	キャッチホンの設定内容を確認します。

通話中にかかってきた電話に出る

1 通話中着信▶[通話キー]または◉（通話）

最初の方との通話は自動的に保留になり、あとからかかってきた電話を受けることができます。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- [通話キー]を押すか、MENU（サブメニュー）を押して「保留呼切替」を選択するたびに通話する相手が切り替わります。

お知らせ

- 保留中に着信があった場合は、保留が解除されます。
- テレビ電話中に着信があった場合は、以下のような動作になります。
  ･着信時の画像に設定されたｉモーション、Flash画像は表示されません。
  ･バイブレータは動作しません。
- 117にかけているときに音声電話がかかってきた場合、通話中着信音は鳴りますが電話に出ることはできません。着信履歴には不在着信として残ります。

通話を終了してかかってきた電話に出る

1 通話中着信▶[終話キー]

着信音が鳴ります。かかってきた電話に応答できます。

お知らせ

- キャッチホンを利用できない通話や着信の場合、着信画面で応答操作を行うと、通話中の電話を終了してかかってきた電話に応答します。

元の通話を続ける

1 通話中着信▶MENU(サブメニュー)▶以下の操作を行う

着信拒否	着信を拒否し、元の通話に戻ります。
転送でんわ	かかってきた電話を転送先に転送し、元の通話に戻ります。
留守番電話	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続し、元の通話に戻ります。

お知らせ

- テレビ電話接続中、応答保留中、伝言メモ動作中の着信は拒否されます。元の通話を終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴が残ります。(留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスの契約および設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。)

通話を保留して電話をかける

1 通話中に別の相手の電話番号を入力▶[発信]

新しくかけた相手とお話しができます。
最初の方との通話は自動的に保留になります。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- [発信]を押すか、MENU(サブメニュー)を押して「保留呼切替」を選択するたびに通話する相手が切り替わります。

通話中の電話を終了して保留中の電話に出る

1 マルチ接続中▶[終話]

着信音が鳴ります。

2 [発信]または●(通話)を押す

- 通話中の相手が通話を終了したときは、[発信]または●(通話)を押して保留中の相手と通話します。

保留中の電話を終了する

1 マルチ接続中▶MENU(サブメニュー)▶保留呼切断

お知らせ

- マルチ接続中に別の電話がかかってきた場合、着信画面が表示されます。MENU(サブメニュー)を押して「保留呼切断」を選択すると保留中の電話が終了します。[終話]を押すとお話し中の電話が終了します。

<転送でんわ>

転送でんわサービスを利用する

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ(P.83参照)を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、「伝言メモ設定」の呼出時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音(「着信音選択」で設定した着信音)が鳴ります。(着信音が鳴る時間は変更可能です。P.468参照)その間に応答すれば、そのまま通話できます。
- かかってきた電話をボタン操作だけで転送できます。また、通話中にかかってきた電話も転送できます。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1:　転送先の電話番号を登録する
ステップ2:　転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3:　お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4:　電話に出ないと指定した転送先へ自動的に転送される

転送でんわサービスを利用する

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**転送でんわ**▶**以下の操作を行う**

転送サービス開始	▶転送先設定▶転送先の電話番号を入力 ●Ⓞを押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。(P.96参照) ▶呼出時間設定▶呼出時間(秒)を入力 ●「000」~「120」の3桁を入力します。 ▶開始▶YES
転送サービス停止	▶YES
転送先変更	▶転送先の電話番号を入力▶項目を選択 転送先変更 . . . 現在転送でんわサービスを使っているときに選択します。 転送先変更+転送開始 . . . 転送でんわサービス停止中で、転送先の変更と同時に転送でんわサービスを開始したいときに選択します。 ●Ⓞを押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。(P.96参照)
転送先通話中時設定	転送先が通話中のときは留守番電話に録音するように設定します。 ▶YES
転送サービス設定確認	転送先の電話番号や呼出時間などを確認します。

お知らせ

- 電波の届かない場合や、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスの契約者の負担となります。
- 転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 ①④②⑨▶☎▶**音声ガイダンスに従って操作**

着信中の電話を転送する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で「転送先」に設定した電話番号に転送できます。転送でんわサービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って転送できます。

1 **着信中**▶MENU(サブメニュー)▶**転送でんわ**

指定転送でんわ

指定した電話帳に登録されている電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始/停止の設定に関わらず、着信音を約1秒間鳴らしてから自動的に転送できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
「番号通知お願いサービス」もあわせて設定することをおすすめします。

1 **電話帳詳細画面**▶MENU(サブメニュー)▶**個別発着信動作選択**▶**端末暗証番号を入力**▶**指定転送でんわ**

- 指定転送でんわを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 本機能を設定していても、転送でんわサービス停止中に「オリジナルロック」で「電話帳」をロックすると、すべての着信が転送されなくなります。
- 転送先が未設定の場合、転送でんわサービス未契約の場合は、不在着信となります。

＜迷惑電話ストップ＞

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

■迷惑電話ストップサービスに設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	迷惑電話拒否登録した方からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 （メッセージはお預かりしません）
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 （転送先には転送されません）
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード（ドライブモード）	着信拒否ガイダンスが流れます。 （公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れません）

1 MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶迷惑電話ストップ▶以下の操作を行う

迷惑電話着信拒否登録	最後に着信応答した相手の電話番号を着信できないように拒否登録します。 ▶YES▶OK
電話番号指定拒否登録	指定した電話番号を着信できないように拒否登録します。 ▶電話番号を入力▶YES▶OK ●◯を押すと電話帳検索画面、◯を押すとリダイヤル一覧画面、◯を押すと着信履歴一覧画面から電話番号を選択できます。
迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶YES▶OK
迷惑電話全登録削除	▶YES▶OK
拒否登録件数確認	拒否登録している件数を確認します。

＜番号通知お願いサービス＞

番号通知お願いサービスを利用する

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

■番号通知お願いサービスが「開始」中の着信と各サービスとの関係

サービス名	発信者番号を通知しない方からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。 （メッセージはお預かりしません）
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。 （転送先には転送されません）
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード（ドライブモード）	番号通知お願いガイダンスが流れます。 （公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れません）

1 MENU▶電話機能▶発着信・通話設定▶番号通知お願いサービス▶以下の操作を行う

開始	▶YES▶OK
停止	▶YES▶OK

つづく

設定確認	番号通知お願いサービスの設定内容を確認します。

お知らせ

- FOMA端末の「着信拒否設定」を「拒否」に設定しているときに本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。
- 本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

＜デュアルネットワーク＞

デュアルネットワークサービスを利用する

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末を利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

1 MENU ▶電話機能▶その他ネットワークサービス▶デュアルネットワーク▶以下の操作を行う

デュアルネットワーク切替	FOMA端末を利用できるように切り替えます。FOMA端末がFOMAエリア内にあるときに操作してください。 ▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号についてはP.124参照。
デュアルネットワーク状態確認	デュアルネットワークサービスの設定内容を確認します。

＜英語ガイダンス＞

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

■**発信時**（お客様ご自身へのガイダンス）

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
英語	英語でガイダンスします。

■**着信時**（お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンス）

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
日本語＋英語	日本語でガイダンスしたあとに英語でガイダンスします。
英語＋日本語	英語でガイダンスしたあとに日本語でガイダンスします。

1 MENU ▶電話機能▶その他ネットワークサービス▶英語ガイダンス▶以下の操作を行う

ガイダンス設定	▶項目を選択 **発信時＋着信時**. . . .発信時と着信時のガイダンスを一度に設定します。 **発信時**. . . . . .発信時のガイダンスを設定します。 **着信時**. . . . . .着信時のガイダンスを設定します。 ▶ガイダンスに設定する言語を選択▶YES ●「発信時＋着信時」を選択した場合は、発信時のガイダンスを設定したあとに、着信時のガイダンスを設定します。
ガイダンス設定確認	英語ガイダンスの設定内容を確認します。

お知らせ

- 発信者側･着信者側ともに本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

ネットワークサービス

お知らせ

- 本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<ドコモへのお問合せ>
ドコモに問い合わせる

ドコモ総合案内･受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 **MENU ▶便利ツール▶ドコモへのお問合せ▶問い合わせ先を選択▶●(発信)**

- **ドコモ故障問合せ** …… 故障お問い合わせ先に電話をかけます。
- **ドコモ総合案内･受付** … 総合お問い合わせ先に電話をかけます。
- **海外紛失･盗難等** …… 海外から紛失、盗難などの問い合わせ先に電話をかけます。
- **海外故障** …… 海外から故障問い合わせ先に電話をかけます。

<通話中の着信動作選択>
通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」を契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話、および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中の着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。なお、キャッチホンを「開始」に設定している場合は、通話中着信設定を「開始」にする必要はございません。

1 **MENU ▶電話機能▶発着信･通話設定▶通話中の着信動作▶通話中の着信動作選択▶以下の操作を行う**

留守番電話	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
転送でんわ	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。
通常着信	音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中(「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき)、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。 ●通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。 ●通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、サブメニューから手動で操作できます。 ●「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

通話中の着信動作選択で選択した機能の使用を開始／停止したり、設定内容を確認できます。

1 MENU▶**電話機能**▶**発着信・通話設定**▶**通話中の着信動作**▶**通話中着信設定**▶**以下の操作を行う**

開始	▶YES
停止	▶YES
設定確認	着信動作の設定内容を確認します。

お知らせ

- 本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<遠隔操作設定>

遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外でネットワークサービスを利用する場合は、あらかじめ「遠隔操作設定」を「開始」に設定してください。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**遠隔操作設定**▶**以下の操作を行う**

開始	▶YES
停止	▶YES
設定確認	遠隔操作の設定内容を確認します。

お知らせ

- 本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<マルチナンバー>

付加番号を設定する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加して利用いただけます。

- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定(名称、電話番号など)が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー(基本契約番号／付加番号1／付加番号2)に対応した名称が表示されます。
- リダイヤル、発信履歴、着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーの名称が表示され、この番号で発信されます。

電話番号設定

電話番号や登録名を編集します。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**マルチナンバー**▶**電話番号設定**▶**電話番号を選択**

- MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「編集」を選択、または📷TV(編集)を押しても設定／編集できます。
- 設定済みの付加番号を選択すると、登録名と電話番号を確認できます。
- 設定済みの付加番号を削除するにはMENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 **登録名を入力**▶**電話番号を入力**

- 登録名は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
- 「基本契約番号」の電話番号は設定できません。

ネットワークサービス

通常発信番号設定

通常発信番号設定を切り替えることにより、すべての発信先に設定した番号で電話をかけることができます。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**マルチナンバー**▶**通常発信番号設定**▶**電話番号を選択**

基本契約番号. . . . . 契約の電話番号で発信します。
付加番号1･2. . . . . 付加番号で発信します。

- 登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

2 **YES**

電話をかけるときに発信番号を設定する

電話をかける前に、サブメニューから相手に通知する番号を選択して発信します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳･リダイヤル･発信履歴･着信履歴の詳細画面を表示

2 MENU(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)▶**マルチナンバー･2in1／マルチナンバー**▶**電話番号を選択**

- 電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「2in1／マルチナンバー」を選択します。
- 付加した電話番号を消去する場合は、「設定消去」を選択します。

通常発信番号設定確認

通常発信番号を確認します。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**マルチナンバー**▶**通常発信番号設定確認**

着信音設定

付加番号に着信した場合の着信音を設定します。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**マルチナンバー**▶**着信音設定**▶**付加番号を選択**

P.104手順2へ進みます。
「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」または「テレビ電話」で設定した着信音になります。

<2in1>

2in1を利用する

1つの携帯電話で、2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。
2in1には次の3種類のモードがあります。

Aモード
お客様電話番号(Aナンバー)での発信とｉモードメールアドレス(Aアドレス)での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。

Bモード
2in1電話番号(Bナンバー)での発信とｉモードメールアドレス(Bアドレス)での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。

デュアルモード
Aモード･Bモード両方の機能を備えたモードです。

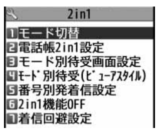
- 2in1の詳細は「ご利用ガイドブック(2in1編)」をご覧ください。
- ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- 2in1とマルチナンバーはどちらか一方のみの契約となります。
- 2in1利用中にFOMAカードの差し替えを行う場合、正しいBナンバーを取得するには「2in1機能OFF」(P.475参照)を行ってから再度2in1をONにするか、プロフィール画面のサブメニューから「2in1」(P.435参照)を行ってください。
- 各モードごとの動作についてはP.477をご覧ください。

2in1をONにする

1 **MENU▶電話機能▶2in1▶端末暗証番号を入力▶YES**

2in1がONに設定されると、2in1メニュー画面が表示されます。

- 待受画面で2を1秒以上押してから端末暗証番号を入力しても表示されます。



2in1メニュー画面

2in1の設定をする

1 **2in1メニュー画面▶以下の操作を行う**

項目		説明
モード切替		利用するモードに切り替えます。 **▶モードを選択** ●2in1がONのときは、待受画面で2を1秒以上押して端末暗証番号を入力しても、モードを選択する画面が表示されます。 ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合は、着信回避設定も変更されます。
電話帳2in1設定	電話帳2in1設定	FOMA端末(本体)に登録した電話帳の電話帳2in1設定を変更します。 **▶電話帳を検索▶電話帳を選択▶**📷TV**(完了)** ●電話帳を選択するごとにA(A設定)→B(B設定)→AB(共通設定)の順に切り替わります。 ●MENU(サブメニュー)を押して「詳細表示」を選択すると、電話帳詳細画面が表示されます。 ●電話帳一覧画面のサブメニューから操作した場合は、端末暗証番号を入力します。
	グループ2in1設定	グループ内のすべての電話帳の電話帳2in1設定を変更します。 **▶グループを選択▶**📷TV**(完了)** ●グループを選択するごとに「設定なし」→AB(共通設定)→A(A設定)→B(B設定)の順に切り替わります。 ●MENU(サブメニュー)を押して「メンバー表示」を選択すると、グループ内の電話帳の一覧が表示されます。 ●電話帳一覧画面のサブメニューから操作した場合は、端末暗証番号を入力します。

モード別待受画面設定		待受画面をモードごとに設定します。
モード別待受(ビューアスタイル)		▶モードを選択▶待受画面を設定 ●待受画面の設定方法についてはP.111、P.112参照。 ●📷TV(解除)を押すと、お買い上げ時の状態に戻ります。
番号別発着信設定		
	発着信番号表示設定	発着信中などの文字の色をAナンバー(Aアドレス)、Bナンバー(Bアドレス)それぞれに設定します。 ▶Aナンバー(Aアドレス)・Bナンバー(Bアドレス) ▶文字色を設定 ●文字色の設定方法についてはP.121参照。
	着信設定	着信があったときの動作をAナンバー(Aアドレス)、Bナンバー(Bアドレス)それぞれに設定します。 ▶Aナンバー(Aアドレス)・Bナンバー(Bアドレス) ▶着信の種類を選択▶動作を設定 ●着信音の設定方法についてはP.104参照。 ●着信画面の設定方法についてはP.113参照。 ●イルミネーションの設定方法についてはP.119参照。 ●バイブレーションの設定方法についてはP.106参照。 ●応答メッセージの設定方法についてはP.83参照。 ●📷TV(解除)を押すと、お買い上げ時の状態に戻ります。
2in1機能OFF		2in1をOFFにします。 ▶YES
着信回避設定		
	着信回避設定変更	Aナンバー、Bナンバーそれぞれの着信回避設定を手動で設定します。 ▶Aナンバー着信回避・Bナンバー着信回避 ▶項目を選択 着信しない . . . 選択した電話番号への着信を回避します。 着信する . . . . . 選択した電話番号への着信を受けます。 変更しない . . . 着信回避設定を変更しません。 ▶📷TV(決定) ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、「停止」に切り替える必要がある旨の確認画面が表示されます。
	着信回避設定確認	着信回避設定を確認します。 ▶YES
	モード切替連動設定	モード切替連動設定の開始/停止を切り替えます。「開始」に設定すると、2in1のモード切替に連動して着信回避設定が自動的に変更され、AモードのときはAナンバーへの着信のみ、BモードのときはBナンバーへの着信のみ、デュアルモードのときはAナンバー・Bナンバー両方への着信を受けることができます。 ▶YES
	着信回避設定(海外)	海外から着信回避設定を操作します。 ▶YES▶音声ガイダンスに従って操作 ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、「停止」に切り替える必要がある旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

<モード別待受画面設定><モード別待受(ビューアスタイル)>
- データBOXから設定した場合や、サイトからデータをダウンロードしたあとに設定した場合は、それぞれのモードでの待受画面が設定されます。

つづく↪

お知らせ

<着信設定>
- データBOXから設定した場合や、サイトからデータをダウンロードしたあとに設定した場合は、2in1のモードに関わらず、Aナンバー(Aアドレス)の着信音や着信画面に設定されます。
- 相手が発信者番号を通知せずにBナンバーに電話がかかってきたときは、「着信拒否設定」で設定している着信音や着信画面が動作します。

<モード切替連動設定>
- 「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、圏外では2in1のモードを切り替えることができません。

デュアルモード中に電話をかける

デュアルモード中は、A設定/共通設定の電話帳またはAナンバーの発着信履歴から電話をかける場合はAナンバー発信、B設定の電話帳またはBナンバーの発着信履歴から電話をかける場合はBナンバー発信が初期状態になります。また、以下の操作で電話をかける前に相手に通知する番号を選択できます。

電話番号を入力してかける場合

1 電話番号を入力▶[発信]
- [TV]([テレビ電話])を押すとテレビ電話発信になります。

2 Aナンバー・Bナンバー
- 中止する場合は「キャンセル」を選択します。

電話帳や履歴画面から発信番号を選択する場合

1 電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示▶[MENU]([サブメニュー])▶2in1/マルチナンバー▶Aナンバー・Bナンバー
- 電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「2in1/マルチナンバー」を選択します。
- 中止する場合は「設定消去」を選択します。

デュアルモード中にｉモードメールを送信する

デュアルモード中にｉモードメールを作成する場合、送信者アドレスを「Aアドレス」「Bアドレス」から選択できます。
- 以下の場合は、電話帳の2in1設定、発着信した電話番号、送受信したメールアドレスに従って、初期状態の送信者アドレスが自動的に設定されます。
  - ･電話帳に登録されているメールアドレスを宛先に設定した場合(共通設定の電話帳の場合はAアドレスが初期状態になります。複数の宛先がある場合は最後の宛先メールアドレスの2in1設定に従います。)
  - ･リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧からのｉモードメール作成
  - ･ｉモードメールの返信、引用返信、転送、再編集

1 メール作成画面・デコメアニメ®作成画面▶[MENU]([サブメニュー])▶送信アドレス切替A/B▶Aアドレス・Bアドレス

ｉモードメール作成の場合はP.144手順2へ進みます。
デコメアニメ®作成の場合はP.151手順2へ進みます。

■モードごとに利用できるサービスについて

●モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています。（Aモードと共通の動きをするものは除いています）

項目		Aモード	Bモード	デュアルモード
音声電話 テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
	着信	すべて可※2		
電話帳※3	表示	A設定／共通設定の電話帳	B設定／共通設定の電話帳	すべての電話帳
	名前変換※4	A設定／共通設定の電話帳	B設定／共通設定の電話帳	すべての電話帳
	新規登録時の2in1設定	A設定の電話帳	B設定の電話帳	登録時に選択可
	赤外線／iC／microSDカードからの全件受信	送信元の2in1設定をコピー※5		
	赤外線／iCでの1件受信	A設定の電話帳	B設定の電話帳	登録時に選択可
	microSDカードからの1件コピー	A設定の電話帳	B設定の電話帳	A設定の電話帳
	「FOMAカードへコピー」	「FOMAカードへコピー」時には、2in1設定は共通設定		
	FOMAカードから「本体へコピー」	A設定の電話帳	B設定の電話帳	A設定の電話帳
リダイヤル 発信履歴 着信履歴 受信アドレス履歴 着もじの送信メッセージ履歴	表示	Aナンバー／Aアドレスの履歴	Bナンバー／Bアドレスの履歴	すべての履歴
ｉモードメール	表示※6	Aアドレスで送受信したｉモードメール	Bアドレスで送受信したｉモードメール	すべてのｉモードメール
	送信	Aアドレスからのｉモードメール	Bアドレスからのｉモードメール	送信時に選択可※7
	受信	Aアドレス宛のｉモードメール（鳴動あり） Bアドレス宛のｉモードメール（鳴動なし）	Aアドレス宛のｉモードメール（鳴動なし） Bアドレス宛のｉモードメール（鳴動あり）	すべてのｉモードメール（鳴動あり）
	赤外線／iC／microSDカードからの全件受信	送信元の状態をコピー※5		
	赤外線／iC／microSDカードからの1件受信	Aアドレスのｉモードメール		

つづく

項目		Aモード	Bモード	デュアルモード
SMS	表示※6	AナンバーでSMS送受信したSMS	Bナンバーで受信したSMS	すべてのSMS
	送信	AナンバーからのSMS	利用不可	AナンバーからのSMS
	受信	Aナンバー宛のSMS（鳴動あり） Bナンバー宛のSMS（鳴動なし）	Aナンバー宛のSMS（鳴動なし） Bナンバー宛のSMS（鳴動あり）	すべてのSMS（鳴動あり）
	赤外線／iC／microSDカードからの全件受信	送信元の状態をコピー※5		
	赤外線／iC／microSDカードからの1件受信	AナンバーのSMS		
	「FOMAカードへコピー」	AナンバーのSMS		
	「FOMAカードからコピー」	AナンバーのSMS	表示不可	AナンバーのSMS
iアプリ		すべて利用可	利用可※8	利用可※9
プロフィール		Aナンバー	Bナンバー	Aナンバー／Bナンバー
留守番電話	伝言メッセージの録音	すべて可※10		
	サービスへの接続番号※11	Aナンバー	Bナンバー※12	発信時に選択可
転送でんわ	転送先への転送	すべて可		
	サービスへの接続番号※11	Aナンバー	Bナンバー※13	発信時に選択可

※1　A設定／共通設定の電話帳の場合はAナンバー発信、B設定の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。
※2　「指定着信許可」を設定している場合、現在のモードに関わらず、指定先からのみ着信します。
　　「指定着信拒否」を設定している場合、現在のモードに関わらず、指定先からの着信のみを拒否します。
※3　電話帳にシークレット登録をしている場合、シークレットモードが優先されます。
※4　発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳との照合により、各番号･各アドレスが登録されている電話帳の名前に変換して表示する機能です。
※5　送信元が2in1非対応機種の場合、すべてA設定になります。
※6　microSDカード内のメール･SMSは、Bモード中はBモード属性情報が無いものは表示されません。
※7　A設定／共通設定の電話帳からｉモードメールを作成した場合はAアドレスからの送信、B設定からの電話帳からｉモードメールを作成した場合はBアドレスからの送信が初期状態になります。
※8　メッセージｉアプリ、ｉアプリ待受画面は除きます。
※9　ｉアプリ待受画面は除きます。
※10　AナンバーとBナンバーへの伝言メッセージをそれぞれ40件（音声電話20件＋テレビ電話20件）まで録音できます。
　　Aナンバーへの伝言メッセージがある場合に「」などが表示され、Bナンバーへの伝言メッセージがある場合に「」などが表示されます。
※11　AナンバーとBナンバーそれぞれにおいてサービスの開始／停止などが設定できます。
※12　「留守番設定確認」を実行すると、AナンバーとBナンバーどちらの番号で発信するかの確認画面が表示されます。
※13　「転送サービス設定確認」を実行すると、AナンバーとBナンバーどちらの番号で発信するかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- Aモード中にB設定の電話帳(Bモード中の場合はA設定の電話帳)に設定されている画像やメロディデータを削除またはmicroSDカードに移動する場合や、設定中の2in1のモード以外で待受画面に設定されている画像を削除またはmicroSDカードに移動する場合、機能設定中である旨のメッセージは表示されません。
- Bモード中は以下のメール機能を利用できません。
  ・SMS作成　・SMSの転送　・SMSの返信
  ・ｉモードメール本文からのｉアプリ To機能
- デュアルモード中はBナンバー発信のリダイヤル／発信履歴、Bナンバー着信の着信履歴からはSMS作成を利用できません。
- デュアルモード中はBナンバー宛のSMSから「返信」はできません。
- 現在のモードに関わらず、緊急通報110番／119番／118番への発信時は、Aナンバーを通知します。
- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、Aモード、デュアルモード中はAナンバー、Bモード中はBナンバーでの発信になります。
- 現在のモードに関わらず、受信BOXに保存できるのはすべてのｉモードメール・SMSを合わせて2500件、送信BOXに保存できるのはすべてのｉモードメール・SMSを合わせて1000件、保存BOXに保存できるのはすべてのｉモードメール・SMSを合わせて20件までです。
- Bナンバー宛のSMSは返信不可となりますが、「返信不可振分け」に設定したフォルダには保存されません。
- 「受信メール全削除」「送信メール全削除」「フォルダ内メール全削除」は、2in1のモードに関わらず、Aモード・Bモードのすべてのｉモードメール・SMSが対象となります。
- 現在のモードに関わらず、電話帳の「全削除」はすべての電話帳が対象となります。

＜OFFICEED＞

OFFICEEDを利用する

「OFFICEED」は指定されたIMCS(屋内基地局設備)で提供されるグループ内定額サービスです。
ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けサイト(http://www.docomo.biz/html/service/officeed/)をご確認ください。

OFFICEED圏外転送機能を利用する

OFFICEED圏外転送機能を利用して、OFFICEED着信をOFFICEEDエリア外へ転送することができます。

1 MENU▶**電話機能**▶**その他ネットワークサービス**▶**OFFICEED**▶**以下の操作を行う**

エリア表示設定	OFFICEEDエリア内にいるとき、「OFFICEED」を表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「ON」を選択した場合、エリア表示設定を「ON」にするかどうかの確認画面が表示されます。
圏外転送開始	OFFICEED圏外転送機能を開始します。 ▶YES
圏外転送停止	OFFICEED圏外転送機能を停止します。 ▶YES
圏外転送設定確認	OFFICEED圏外転送機能の設定を確認します。

<追加サービス>

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

サービスを登録する

1 **MENU▶電話機能▶その他ネットワークサービス▶追加サービス▶追加サービス▶<未登録>を選んでMENU(サブメニュー)▶設定追加**

- MENU(サブメニュー)を押して「設定変更」を選択すると、登録済みのサービスの設定を変更できます。
- 登録済みのサービスを削除するにはMENU(サブメニュー)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」→「OK」と選択します。
- 12件まで登録できます。

2 **サービス名を入力▶特番・USSD**

追加するサービス内容によって「特番」または「USSD」を選択します。
- 全角10文字/半角20文字まで入力できます。

3 **特番またはサービスコード(USSD)を入力▶YES**

お知らせ

- サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」の確認・入力が必要です。
  特番
  . . . サービスセンターに接続するための番号です。
  サービスコード(USSD)
  . . . FOMA端末ではUSSDとして入力します。サービスセンターに通知するためのコードです。

登録したサービスを利用する

1 **MENU▶電話機能▶その他ネットワークサービス▶追加サービス▶追加サービス▶サービスを選択▶TV(送信)**

サービスセンターに発信します。

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード(USSD)に対応した応答メッセージを12件まで登録できます。登録したコマンドが応答として返ってきたときに応答メッセージ名が表示されます。

1 **MENU▶電話機能▶その他ネットワークサービス▶追加サービス▶応答メッセージ設定▶<未登録>を選んでMENU(サブメニュー)▶設定追加**

- 登録済みの応答メッセージを選択すると、設定を確認できます。
- MENU(サブメニュー)を押して「設定変更」を選択すると、登録済みの応答メッセージの設定を変更できます。
- 登録済みの応答メッセージを削除するにはMENU(サブメニュー)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」→「OK」と選択します。

2 **コマンドを入力**

- ドコモから通知されたコード(USSD)を入力します。

3 **応答メッセージ名を入力▶YES**

- 全角10文字/半角20文字まで入力できます。

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、iモードメールは設定の変更なくご利用になれます。

- 対応エリアについて
  本FOMA端末は3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  ・「MENU▶地図/海外▶海外ご利用ガイド」またはデータBOXの「マイドキュメント」にプリインストールされている「海外ご利用ガイド」
  ・「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」
  ・ドコモの「国際サービスホームページ」

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
SMS※2	○	○	○
iモード※3	○	×	○
iモードメール	○	×	○
iチャネル※3※4	○	×	○
iコンシェル※5	○	×	○
iウィジェット※6	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○
GPSの現在地確認※7	○	×	○

○:利用できます。 ×:利用できません。

※1 2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。

※2 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。

※3 iモード海外利用設定が必要となります。(P.487参照)

※4 iチャネル海外利用設定が必要となります。(P.487参照)ベーシックチャネルの情報の自動更新もパケット通信料がかかります(日本国内ではiチャネル利用料に含まれます)。

※5 iコンシェルの海外利用設定が必要となります。(P.487参照)インフォメーションの受信ごとにパケット通信料がかかります。

※6 iウィジェットローミング設定が必要となります。(P.318参照)iウィジェット画面を表示すると複数のウィジェットアプリが通信する場合があり、この場合1通信ごとにパケット通信料がかかります。

※7 GPS測位は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国･地域および海外通信事業者については、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

ご利用時の準備

ご出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について
- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■充電について
- 海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。
- ACアダプタ（別売）の取り扱い上のご注意についてはP.19参照。
- ACアダプタ（別売）での充電方法についてはP.52、P.54参照。

■料金について
- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。

事前設定

■ｉモードについて

ｉモード海外利用設定を「利用する」に設定する必要があります。（P.487参照）

■ｉモードメールについて

ｉモードメールについては受信方法が選べます。（P.487参照）

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス･転送でんわサービス･番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。
- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。（P.472参照）
- 渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。（P.489参照）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■接続について

「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。

■ディスプレイの表示について
- 画面の上部には利用中のネットワークの種類が表示されます。
  - 3G⇋：パケット通信に対応している3Gネットワーク
  - 3G／：パケット通信に対応していない3Gネットワーク
  - GSM：GSMネットワーク
  - GPRS：GPRSネットワーク
- 「オペレータ名表示設定」を「表示あり」に設定しているときは、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。（P.487参照）

■時計について

「メイン時計設定」の「自動時刻時差補正」や時差の補正方法を「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻･時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- メイン時計設定についてはP.57参照。

■お問い合わせについて
- FOMA端末やFOMAカードを海外で紛失･盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失･盗難されたあとに発生した通話･通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。
- 「3G/GSM切替」を「自動」に設定してください。（P.485参照）
- 「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。（P.486参照）

滞在国で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。0を1秒以上押して「＋」を入力し、国際電話をかけます。

- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

滞在国から日本に電話をかける

1 0(1秒以上)▶81→市外局番→相手先電話番号の順に入力▶発信キー

- 市外局番が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。
- カメラ/TVキー(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

電話帳を利用して国際電話をかける

1 電話帳詳細画面▶発信キー▶発信

電話番号の先頭の「0」が「＋81」に置き換わって発信されます。

- カメラ/TVキー(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。
- 「元の番号で発信」を選択した場合は、電話帳に登録されている電話番号のままの発信になります。

お知らせ

- 電話番号が「0」で始まる場合のみ有効です。また、あらかじめP.73「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能」を「ON」および「日本(81)」に設定しておく必要があります。(お買い上げ時の設定)
- リダイヤルや発信履歴などからも、また直接ダイヤル入力しても同様の操作で国際電話をかけることができます。

滞在国から他国(日本以外)に電話をかける

1 0(1秒以上)▶国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶発信キー

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- カメラ/TVキー(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

国名称を選択して国際電話をかける

1 電話番号を入力

または

電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 MENU(サブメニュー)▶国際電話発信▶国名称を選択▶発信キー

- 電話帳の場合は、サブメニューから「発信設定」→「国際電話発信」を選択します。
- 電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面では●(発信)を押しても発信できます。
- カメラ/TVキー(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

お知らせ

- あらかじめP.73「国番号」で国番号を登録しておく必要があります。
- 通信事業者によっては発信者番号が通知されなかったり、正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかけるように、相手の電話番号を入力して音声電話やテレビ電話をかけます。

1 電話番号を入力▶［発信］

- ●［カメラ/TV］（［テレビ電話］）を押すとテレビ電話発信になります。
- ●電話帳を利用して滞在国内に電話をかける場合は、P.484「電話帳を利用して国際電話をかける」の手順で「元の番号で発信」を選択してください。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

電話を受ける

日本国内での操作と同じ操作で海外でも音声電話やテレビ電話を受けることができます。(P.77参照)

■日本から電話をかけてもらうときは

日本国内で通常と同じように、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらうだけで、海外で日本からかかってきた電話を受けることができます。

「090(または080)−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

■日本以外の国から電話をかけてもらうときは

滞在国に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本への国際電話と同じように「発信国の国際電話アクセス番号」と「81」(日本の国番号)を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

「発信国の国際電話アクセス番号−81−90(または80)−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

お知らせ

- ●相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。

お知らせ

- ●海外での利用時には、「着信設定」、「個別発着信動作選択(指定発信制限は除く)」が動作しない可能性があります。また、「通話中の着信動作選択」の設定に関わらず、「通常着信」として動作する可能性があります。
- ●国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本からの国際転送になります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には着信料がかかります。

<3G/GSM切替>

利用するネットワークを設定する

1 ［MENU］▶地図/海外▶海外ネットワークサーチ▶3G/GSM切替▶ネットワークの種類を選択

自動	3G、GSM、GPRSネットワークを利用します。(3Gネットワークが優先されます。)
3G	3Gネットワークを利用します。
GSM/GPRS	GSM、GPRSネットワークを利用します。

お知らせ

- ●「自動」や「3G」に設定している場合、日本国内ではFOMAネットワークを利用します。「GSM/GPRS」に設定している場合、FOMAネットワークには接続されず圏外になります。
- ●「3G」や「GSM/GPRS」に設定して圏外になっている場合、電源を入れたあと、「自動」に切り替えるかどうかの確認画面が表示されることがあります。

<ネットワークサーチ設定>
通信事業者の検索方法を設定する

利用中のネットワークが圏外になった場合に、自動的にネットワークを検索して他の通信事業者に接続し直すかどうかを設定します。

1 MENU▶地図／海外▶海外ネットワークサーチ▶ネットワークサーチ設定▶項目を選択

オート……自動的に他の通信事業者に接続し直します。設定が終了します。
マニュアル……一覧で表示される通信事業者に手動で接続します。
利用できない通信事業者には「⊗」が表示されます。
ネットワーク再検索……「オート」に設定しているときは、自動的に接続先が切り替わり、設定が終了します。
「マニュアル」に設定しているときは、通信事業者の一覧が表示されます。

2 通信事業者を選択

- 「3G/GSM切替」の設定により、表示される通信事業者は異なります。
- 📷TV(更新)を押すと再度通信事業者の一覧が表示されます。

お知らせ

- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。
- 「マニュアル」に設定しているときに圏外になった場合は、デスクトップに「検索」が表示されます。「検索」を選択するとネットワーク再検索を行い、通信事業者の一覧が表示されます。
- 「マニュアル」に設定しているときに圏外でFOMA端末の電源を入れ直した場合は、圏内で再度通信事業者を選択してください。
- 渡航先でネットワークを「マニュアル」に設定して接続した場合は、帰国後に設定を「オート」に設定してください。

<優先ネットワーク設定>
優先的に接続する通信事業者を設定する

「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定しているときに接続する通信事業者の優先順位を設定します。通信事業者は20件まで登録できます。

1 MENU▶地図／海外▶海外ネットワークサーチ▶優先ネットワーク設定

- 登録済みの通信事業者を選択すると、登録内容を確認できます。

2 MENU(サブメニュー)▶リストから登録

- 国名で通信事業者を検索する場合は、📷TV(検索)を押して国名を選択します。国選択リストで再度📷TV(検索)を押し、国名を入力して検索することもできます。

3 通信事業者を選択▶●(確定)▶ネットワークの種類を選択▶YES▶📷TV(完了)▶YES

優先ネットワーク設定表示中のサブメニュー

マニュアル登録	国番号(オペレータコード(MCC))とネットワーク番号(オペレータコード(MNC))を入力して通信事業者を登録します。リストにない通信事業者も登録できます。 ▶3桁のオペレータコード(MCC)と2～3桁のオペレータコード(MNC)を入力 ▶ネットワークの種類を選択▶YES▶📷TV(完了) ▶YES
リストから登録	P.486「優先的に接続する通信事業者を設定する」参照
在圏ネットワーク登録	現在接続している通信事業者を登録します。 ▶YES▶📷TV(完了)▶YES
優先順位変更	▶変更後の優先順位を選択▶📷TV(完了)▶YES

削除		
	1件削除	▶YES▶📷TV(完了)▶YES
	選択削除	▶削除したい通信事業者にチェック▶📷TV(完了)▶YES▶📷TV(完了)▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES▶📷TV(完了)▶YES

お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、「DOCOMO」のネットワークが利用可能な場合は、優先的に接続されます。
- 本機能の設定はFOMAカードに保存されます。
- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。

＜オペレータ名表示設定＞

通信事業者名を待受画面に表示する

現在接続している通信事業者名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 **MENU▶地図／海外▶海外ネットワークサーチ▶オペレータ名表示設定▶表示あり・表示なし**

お知らせ

- 「表示あり」に設定しても、「DOCOMO」のネットワークを利用している場合は表示されません。

＜在圏状態表示＞

通信方式を確認する

現在接続している通信事業者で通話やパケット通信が利用できるかどうかを表示します。

1 **MENU▶地図／海外▶海外ネットワークサーチ▶在圏状態表示**

＜ｉモードサービス利用設定＞

ローミング中のｉモードの設定を行う

海外でのｉモードなどの利用に関する設定を行います。

1 **MENU▶地図／海外▶海外設定▶ｉモードサービス利用設定▶以下の操作を行う**

ｉモード海外利用設定	▶YES 画面に従って操作を行います。 ●日本国内では無料で設定できます。海外での設定にはパケット通信料がかかります。
お預かりサービス／ｉコンシェル	
ｉチャネル海外利用設定	
ｉウィジェット海外利用設定	P.318参照

＜メール／メッセージ利用設定＞

ローミング中のメールやメッセージの設定を行う

海外でのｉモードメールやメッセージRの利用に関する設定を行います。

1 **MENU▶地図／海外▶海外設定▶メール／メッセージ利用設定▶以下の操作を行う**

メール選択受信	P.159「メール選択受信設定」参照
メッセージR海外利用設定	▶YES 画面に従って操作を行います。 ●日本国内では無料で設定できます。海外での設定にはパケット通信料がかかります。

<ローミングガイダンス>

ローミング中のガイダンスを設定する

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

- ローミングガイダンスを設定した場合でも、海外通信事業者により、外国語のガイダンスが流れる場合があります。
- ガイダンスの設定を行わない場合でも、海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。
- 日本国内で設定してください。(滞在国でローミングガイダンスの操作をするにはP.489参照。)

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ローミングガイダンス▶以下の操作を行う

開始	▶YES
停止	▶YES
設定確認	「ローミングガイダンス」の設定内容を確認します。

<ローミング着信通知>

ローミング中に着信履歴を通知する

国際ローミング中に、電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報(着信日時や発信者番号)をSMSにてお知らせします。

- SMSの受信料は無料です。

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ローミング着信通知▶以下の操作を行う

通知開始	▶YES
通知停止	▶YES
通知設定確認	「ローミング着信通知」の設定内容を確認します。

<ローミング時着信規制>

ローミング中に着信を受け付けないように設定する

- 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ローミング時着信規制▶以下の操作を行う

規制開始	▶全着信規制･テレビ電話／データ呼規制▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号についてはP.124参照。
規制停止	▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号についてはP.124参照。
規制確認	「ローミング時着信規制」の設定内容を確認します。

お知らせ

- 「全着信規制」では、音声、SMS、メール自動受信を含むすべての着信が、「テレビ電話／データ呼規制」ではテレビ電話の着信のみが規制されます。
- ｉモードサイト表示とメール送信は可能です。
- 「全着信規制」に設定しても、発信、ｉモード接続･ｉチャネルの自動更新、留守番電話･転送でんわは規制されません。また、パケット通信を行うと、メールなどを受信する場合があります。

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスの一部を利用します。
また、ローミング着信通知やローミングガイダンスの設定も行うことができます。

- 2in1の「着信回避設定」についてはP.475参照。
- 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。

滞在国で遠隔操作の設定をする

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ネットワークサービス▶遠隔操作(有料)▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在国で番号通知お願いサービスの操作をする

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ネットワークサービス▶番号通知お願い(有料)▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在国でローミング着信通知の操作をする

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ネットワークサービス▶ローミング着信通知(有料)▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在国でローミングガイダンスの操作をする

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ネットワークサービス▶ローミングガイダンス(有料)▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在国で留守番電話サービスの操作をする

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ネットワークサービス▶留守番電話(有料)▶項目を選択▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

- 「再生」または「設定」を選択した場合は、音声電話／テレビ電話どちらの操作を行うかを選択します。

滞在国で転送でんわサービスの操作をする

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶ネットワークサービス▶転送でんわ(有料)▶項目を選択▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

お知らせ

- 海外から操作した場合は、利用した国の日本向け通話料がかかります。
- あらかじめ「遠隔操作設定」を「開始」にする必要があります。(P.472参照)

<お問合せ(海外)>

ローミング中にドコモに問い合わせる

海外からドコモの問い合わせ先に電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU▶地図／海外▶海外設定▶お問合せ(海外)▶問い合わせ先を選択▶◉(発信)

海外紛失・盗難 . . . . 海外から紛失、盗難などの問い合わせ先に電話をかけます。
海外故障 . . . . 海外から故障問い合わせ先に電話をかけます。

パソコン接続

データ通信の詳細については、付属のCD-ROM内またはドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

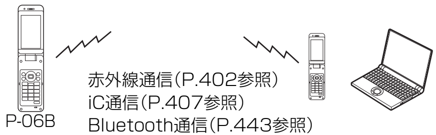
FOMA端末から利用できるデータ通信

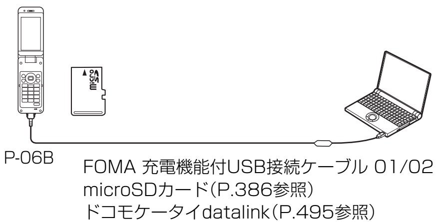
FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、データ転送（OBEX™通信）とパケット通信・64Kデータ通信に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- データ通信中に他の機能を起動したり操作したりできないことがあります。詳しくはP.524「マルチアクセスの組み合わせ」をご覧ください。
- 海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください。（PPP接続ではパケット通信できません。）

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。





パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。（受信最大7.2Mbps、送信最大2.0Mbpsのベストエフォート方式）※ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）やBluetooth通信で接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。

※技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなる場合があります。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信方式です。FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）やBluetooth通信で接続し、通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

お知らせ

- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」に接続してデータ通信を行うことができます。
- Bluetooth機能を利用してデータ通信を行う場合は、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機能の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaの接続先には接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でFOMA端末による通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)が利用できるパソコンであること
- Bluetooth通信で接続する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDRのDial-up Networking Profile(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)に対応していること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

■パソコン本体

PC/AT互換機

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使用する場合:
　USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠)

Bluetooth通信を使用する場合:
　Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)

ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。

- ドコモ コネクションマネージャは1024×768ドット以上を推奨。

■OS

Windows XP(日本語版)
Windows Vista 32ビット版/64ビット版 (日本語版)
Windows 7 32ビット版/64ビット版 (日本語版)

■必要メモリ

Windows XP:128Mバイト以上
Windows Vista:512Mバイト以上
Windows 7 32ビット版:1Gバイト以上
Windows 7 64ビット版:2Gバイト以上

■ハードディスク容量

5Mバイト以上の空き容量

- ドコモ コネクションマネージャは10Mバイト以上の空き容量
- ドコモ コネクションマネージャを利用するための動作環境はInternet Explorer 6.0以上、メールソフトは「Windowsメール」および「Outlook Express 6.0」です。
- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。
- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)※
- 付属のCD-ROM「P-06B用CD-ROM」

※USB接続の場合

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02」または、「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送(OBEX™通信)の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)をご利用になる場合には、「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールしてください。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロード、インストールする
- 付属のCD-ROMからインストール、またはドコモのホームページからダウンロードしてインストールします。

↓

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。
以下のような流れになります。
詳しくはPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

USB接続の場合

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロード、インストールする
- 付属のCD-ROMからインストール、またはドコモのホームページからダウンロードしてインストールします。

↓

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続する

↓

インストール後の確認をする

Bluetooth接続の場合

パソコンとFOMA端末をBluetooth通信でワイヤレス接続する

↓

モデムの確認をする

↓

「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールする

または

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに手動で通信の設定をする

↓

接続する

お知らせ

- USB接続でデータ通信を行うには「USBモード」を「通信モード」に設定してください。(P.397参照)

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。

- ATコマンドの詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMを利用する

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書(PDF)が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

警告画面が表示されたときは

CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
「はい」をクリックしてください。

ドコモケータイdatalinkのご紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへの接続も可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- 「ドコモケータイdatalink」をご利用になるには、あらかじめ「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールしておく必要があります。また、別途USB接続ケーブル(別売)が必要となります。
- ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。

付録／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

機能一覧表

P.139「端末初期化」を行うと、各種機能の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。　　の項目はP.139「設定リセット」、※1の項目はP.179「メール設定リセット」、※2の項目はP.216「ｉモード設定リセット」、※3の項目はP.269「TV設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。

●端末初期化を行っても、削除したプリインストールｉアプリは元に戻りません。

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
メール	受信BOX		プリインストールデータのみ（FOMAカード内は除く） ユーザ作成フォルダ：なし	163
	送信BOX		メールなし（FOMAカード内は除く） ユーザ作成フォルダ：なし	164
	保存BOX		メールなし	165
	送受信BOX		メールなし アドレス登録：未登録	165
	新規メール作成		－	144
	新規デコメアニメ作成		－	151
	デコメテンプレート	デコメール	プリインストールデータのみ	153
		デコメアニメ	プリインストールデータのみ	154
	新規SMS作成		－	185
	メール／メッセージ問合せ		－	160
	SMS問合せ		－	187
	メール選択受信		－	160
	メール設定	受信設定※1	メール選択受信設定：OFF	159
			添付ファイル優先受信設定：すべてチェックあり	178
			添付ファイル自動再生設定：自動再生する	178
		表示設定※1	受信時動作設定：通知優先	179
			メッセージ自動表示設定：メッセージR優先	181
			スクロール設定：1行スクロール	179
			文字サイズ設定：中	120
			メール一覧表示設定 表示行数：1行+本文表示　表示内容：名前表示	179
			メッセージ一覧表示設定：2行表示	179
			メール本文表示設定：通常表示	179
		冒頭文／署名設定※1	冒頭文編集：未入力	180
			署名編集：未入力	180
			引用符編集：〉	180
			自動貼付設定：すべてチェックあり	180

付録／困ったときには

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
メール	メール設定	定型文／単語登録	「便利ツール」→「定型文／単語登録」と同じ	507
		BOXロック※1	すべてチェックなし	134
		メール／メッセージ問合せ設定※1	すべてチェックあり	179
		アドレス・迷惑メール設定	−	179
		編集時自動保存設定※1	ON	179
		SMS設定※1	送達通知設定：要求しない	187
			有効期間設定：3日	187
			本文入力設定：日本語入力（70文字）	188
			センター設定：ドコモ	188
		緊急速報「エリアメール」設定※1	受信設定：利用する	184
			ブザー鳴動時間：10秒	184
			マナー／公共モード時設定：マナー／公共モード時でも鳴動	184
			その他 受信登録：緊急地震速報、災害・避難情報	185
		メール設定確認	−	179
		メール設定リセット	−	179
iモード／web	iMenu・検索		−	190
	Bookmark		未登録	202
	画面メモ		未登録	204
	サイト閲覧履歴		履歴なし	201
	URL入力	URL入力	−	201
		URL入力履歴	履歴なし	202
	iチャネル	iチャネル一覧	データなし	225
		テロップ表示設定	テロップ表示設定：表示する	226
			テロップ文字サイズ設定：中	226
			テロップ色設定：パターン1	226
			テロップ速度：標準	226
		iチャネル初期化	−	226
	iモード／web設定	iモードブラウザ設定※2	画像表示設定※3：表示する	213
			サウンド設定：ON（レベル3）	213
			動画自動再生設定：自動再生する	224
			ページ内動画取得設定：毎回確認	213
			Script動作設定：有効	213
			端末情報利用設定：利用する	213

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
iモード／web	iモード／web設定	iモードブラウザ設定※2	文字サイズ設定:中	120
			Cookie設定:有効	217
			Referer設定:有効	217
			タブ自動起動設定:自動起動する	213
			ポインタ表示設定:表示しない	213
		フルブラウザ設定※2	画像表示設定:表示する	213
			サウンド設定:ON(レベル3)	213
			動画自動再生設定:自動再生する	224
			ページ内動画取得設定:毎回確認	213
			Script動作設定:有効	213
			端末情報利用設定:利用する	213
			文字サイズ設定:中	120
			Cookie設定:有効	217
			Referer設定:有効	217
			タブ自動起動設定:自動起動する	213
			ポインタ表示設定:表示する	213
			フルブラウザホーム設定:ホームURL　http://www.google.co.jp	214
			表示モード設定:PCレイアウトモード	193
			フルブラウザ確認表示:毎回表示	214
			自動通信サイズ設定:毎回確認	214
			フルブラウザ利用設定:利用しない	215
			拡大縮小表示:100%	215
			ショートカット 1:ズームアウト　5:PagePilot　9:次のページへ進む 2:上ページスクロール　6:右ページスクロール　0:Bookmark一覧 3:ズームイン　7:前のページへ戻る　*:左タブに切替 4:左ページスクロール　8:下ページスクロール　#:右タブに切替	215
			検索サイト設定:プリインストールデータのみ(Google検索)	215
		共通設定※2	証明書設定:すべて有効	218
			接続先設定:iモード	216
			セキュア通信サービス設定 センター接続先設定:ドコモ	220
			iモードボタン設定:iMenu･検索接続	215
			スクロール設定:1行スクロール	215
			表示履歴設定:表示しない	215
			PagePilot表示設定:移動中に表示する	215

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
ｉモード／web	ｉモード／web設定	共通設定※2	ポインタ移動距離設定：普通	216
			ポインタ加速度設定：普通	216
			Bookmark表示設定：サムネイル	216
		ｉモード設定確認	－	216
		ｉモード設定リセット	－	216
	フルブラウザホーム		－	192
ｉアプリ	ソフト一覧（本体）		プリインストールｉアプリのみ	295
			画面表示：アイコン表示	296
			サブメニュー 自動起動時刻設定：すべてチェックなし	313
			サブメニュー 省電力設定：有効にする	298
	ｉアプリ（microSD）	ソフト一覧（microSD）	－	296
		ｉアプリ使用データ	－	316
	ｉアプリコール履歴		履歴なし	314
	ｉアプリ実行情報	待受画面終了情報	情報なし	316
		ウィジェットアプリ終了情報	情報なし	319
		セキュリティエラー履歴	履歴なし	297
		自動起動情報	情報なし	313
		トレース情報	情報なし	297
	ｉアプリ設定	自動起動設定	許可しない	313
		ソフト情報表示設定	表示しない	295
		ｉウィジェット海外利用設定	通信しない	318
		ｉウィジェット効果音設定	ON	318
		オートGPS優先設定	OFF	312
		ｉアプリコール機能設定	ｉアプリコールダウンロード設定：拒否しない	315
			ｉアプリコール音設定 着信鳴動音選択：着信音3　鳴動時間設定：5秒 バイブレータ選択：OFF　イルミネーション選択：色2	315
		ｉアプリ音量設定	レベル4	312
		ｉアプリ音優先設定	ミュージック／ワンセグ優先	312
		α照明設定	システム依存	312
		α省電力設定	設定しない	312
		αバイブレータ	システム依存	312
		ｉアプリ設定確認	－	312

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
カメラ／TV／MUSIC	カメラ	デジカメモード	アイコン表示：ON	231
			サブメニュー 撮影モード選択 Myオリジナル設定：未登録	246
			サブメニュー 画像サイズ設定：2Mワイド（1080×1920）	242
			サブメニュー 画質設定：スーパーファイン	242
			サブメニュー 保存先設定：本体（カメラ）	243
			サブメニュー タッチAF／AE設定：有効	243
			サブメニュー きせかえ設定：パターン1	243
			サブメニュー オートレビュー：2秒	243
		フォトモード・ムービーモード	サブメニュー 撮影モード選択 Myオリジナル設定：未登録	246
			サブメニュー 画像サイズ設定：待受（480×854）（フォトモード） VGA（480×640）（連写モード） QVGA（320×240）（ムービーモード）	242
			サブメニュー 動画容量設定：メール制限（大）	242
			サブメニュー 画質設定：スーパーファイン	242
			サブメニュー 撮影設定 手ブレ補正：オート　シャッター音選択：シャッター音1 ちらつき補正設定：自動	242
			サブメニュー 保存設定 保存先設定：本体（カメラ）　自動保存設定：OFF　ファイル制限：なし	243
			サブメニュー 連写設定 連写モード設定：オート　撮影間隔：0.5秒 撮影枚数 VGA（480×640）：4枚（固定） QVGA（240×320）・QCIF（144×176）・Sub-QCIF（96×128）：5枚	244
			サブメニュー 表示サイズ設定：等倍表示	244
			サブメニュー アイコン表示：ON	244
		フォト再生	「データBOX」→「マイピクチャ」→「ピクチャアルバム」と同じ	504
		ムービー再生	「データBOX」→「ｉモーション・ムービー」と同じ	504
	ワンセグ	ワンセグ視聴	起動時の確認表示：免責事項の確認画面を表示する	252
			データ放送の確認表示：免責事項の確認画面を表示する	269
			放送用保存領域：未登録	252
			音量調節：レベル12	257
		番組表	－	259
		視聴予約リスト	未登録	263

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
カメラ／TV／MUSIC	ワンセグ	録画予約リスト	未登録	264
			録画予約時の確認表示:免責事項の確認画面を表示する	264
		予約録画結果	未登録	267
		テレビリンク	未登録	261
		チャンネルリスト選択	未登録	255
		チャンネル設定	−	254
		ユーザ設定	表示設定※3 映像／字幕表示設定:映像+字幕+データ放送 横画面字幕表示設定:下部に表示 アイコン常時表示設定:すべて表示 メールテロップ表示設定:受信通知のみ	267
			映像設定※3 モバイルWスピード:ON　画質モード設定:ダイナミック	268
			照明設定※3:常時点灯	268
			音声設定 サウンド効果 自動音量設定:ON　リ.マスター設定:OFF リスニング設定:OFF　イコライザー設定:ノーマル クローズ音声継続設定※3:ON	268
			録画設定※3 電池少量時録画設定:録画を継続する　視聴中着信録画設定:OFF	269
			データ放送設定※3 画像表示設定※2:表示する　サウンド設定:ON	269
			ワンセグecoモード※3:解除	269
	ミュージックプレーヤー		データなし	281
			プレイリスト:未登録	289
			前回再生した曲の情報:なし	281
			音量調節:レベル12	283
			サブメニュー 再生モード変更:ノーマル	286
	Music&Videoチャネル		データなし	274

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
データBOX	マイピクチャ		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	353
			自作アニメ:未登録	364
			画面表示:画像	353
			サブメニュー フォルダセキュリティ:すべて解除	401
			サブメニュー ピクチャ編集 文字スタンプ 文字色:16色、黒色　文字サイズ:通常サイズ	363
			サブメニュー ソート:新しい順	356
			サブメニュー 表示サイズ設定:標準	357
			ピクチャアルバム アイコン表示:ON サブメニュー きせかえ:パターン1 サブメニュー エフェクト:Slide	358
			ピクチャアルバムのスライドショー サブメニュー 設定 再生時間:2秒　エフェクト:Random　顔ズーム:ON ランダム:ON　リピート:ON	361
	ミュージック		データなし ユーザ作成フォルダ:なし	282
			画面表示:タイトル+画像	282
			音量調節:レベル12	283
	Music&Videoチャネル		データなし	274
	iモーション・ムービー		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	365
			プレイリスト:未登録	372
			しおり:未登録	367
			再生履歴:履歴なし	367
			画面表示:タイトル+画像	365
			音量調節 iモーション:レベル4　ムービー:レベル12	365
			サブメニュー フォルダセキュリティ:すべて解除	401
			サブメニュー iモーション貼付:すべて解除	367
			サブメニュー ソート:新しい順	356
			サブメニュー 表示サイズ設定:画面サイズで表示	370
			サブメニュー 全画面モード切替:縦画面再生	370

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
データBOX	メロディ		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	382
			プログラム:未登録	401
			サブメニュー着信音設定:すべて解除	383
	マイドキュメント		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	410
			画面表示:画像	410
			サブメニューソート:新しい順	356
	きせかえツール		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	385
			画面表示:画像	385
			サブメニューソート:新しい順	356
	マチキャラ		プリインストールデータのみ	381
			画面表示:画像	381
			サブメニューソート:新しい順	356
	キャラ電		プリインストールデータのみ	377
			サブメニュー代替画像設定:カンガルー	85
			サブメニューキャラ電撮影 カメラモード:フォトモード　画像サイズ選択:QCIF(176×144) 撮影種別設定:映像+音声　動画保存設定:標準 画像保存設定:ファイン　ファイルサイズ設定:2MB以下	379
			サブメニュー画像表示設定:画面サイズで表示	378
	ワンセグ	イメージ	データなし	353
			画面表示:画像	353
			サブメニューソート:新しい順	356
			サブメニュー表示サイズ設定:標準	357
		ビデオ	音量調節:レベル12	375
			サブメニュー一覧表示切替:タイトル+画像	376
		しおり	未登録	375
	ドキュメントビューア		−	414
	SDその他ファイル		−	396

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
便利ツール	バーコードリーダー	コード読み取り	－	248
		保存データ一覧	未登録	250
	電卓		－	438
	アラーム		未登録	424
			設定：すべてOFF	424
	赤外線受信	受信	－	405
		全件受信	－	406
	スケジュール		未登録	427
	メモ帳		未登録	439
	ToDoリスト		未登録	431
	歩数計		サブメニュー 歩数計設定：ON	419
			計測履歴：履歴なし	418
			サブメニュー ユーザ情報設定 体重：60kg　歩幅：60cm	419
			サブメニュー 目標歩数：10000歩	419
	ケータイデータお預かりサービス	データ確認／ダウンロード	－	138
		電話帳等を更新	－	138
		画像を更新	－	138
		設定情報を更新	－	138
		詳細設定／通信履歴	電話帳画像送信設定：OFF	139
			通信履歴確認：履歴なし	139
	microSD	microSDデータ参照	－	388
		バックアップ／復元	－	394
	使いかたガイド		検索履歴：履歴なし	50
	ボイスレコーダー		サブメニュー 容量設定：メール制限（大）	409
			サブメニュー 保存設定 保存先設定：本体　自動保存設定：OFF　ファイル制限：なし	409
	Bluetooth	登録機器リスト	未登録	446
			サブメニュー 優先機器設定：未設定	447
		新規機器登録	－	445
		Bluetoothオン・Bluetoothオフ	－	447
		接続待機	－	447
		ダイヤルアップ登録待機	－	447

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
便利ツール	Bluetooth	Bluetooth設定	セキュリティ設定:セキュリティ設定なし	451
			全件転送パスワード設定:パスワードなし	451
			サーチ時間:5秒	451
			着信音送出設定:送る	451
			切断時通話設定:通話終了	451
			ヘッドセット操作による発信:有効	451
			ミュージックプレーヤー設定:自動起動／終了あり	451
			自局情報 機器名称:P06B	451
	おしゃべり機能		未登録	106
	辞典	直接入力	−	439
		検索履歴	履歴なし	439
	定型文／単語登録	定型文	フォルダ1･2:初期状態 フォルダ3〜5:未登録 セキュリティフォルダ:未登録	458
		単語登録	未登録	460
	ダウンロード辞書		プリインストールデータのみ	461
	ドコモへのお問合せ		−	471
電話機能	電話帳	電話帳検索	サブメニュー 個別着信音／画像:すべて解除	101
			サブメニュー 個別発着信動作選択:すべて解除	134
		電話帳登録	未登録	92
		FOMAカード(UIM)操作	−	440
		電話帳設定･確認	ブログ･メールメンバー:未登録	155
			グループ設定 グループ名:グループ01〜19(FOMAカード内は除く) サブメニュー グループ着信音／画像:すべて解除	96
		電話帳画像転送	する	407
	伝言メモ／音声メモ	メモの再生／消去	未登録	84
		テレビ電話メモの再生／消去	未登録	85
		音声メモ録音	−	435
		伝言メモ設定	OFF 応答メッセージ:すべて標準(ON設定時)　呼出時間:すべて13秒(ON設定時)	83
	発着信履歴	発信履歴	履歴なし	66
		着信履歴	履歴なし	67
		リダイヤル	履歴なし	66

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
電話機能	発着信・通話設定	迷惑電話ストップ	—	469
		番号通知お願いサービス	—	469
		発信者番号通知	—	59
		通話中の着信動作	通話中の着信動作選択:通常着信	471
		発信詳細設定	ポーズダイヤル:未登録	71
			サブアドレス設定:ON	75
			プレフィックス設定:WORLD CALL(009130010)	74
		着信詳細設定	着信アンサー設定:エニーキーアンサー	78
			オート着信設定:すべてオート着信なし 呼出時間:すべて6秒(オート着信あり設定時)	443
			オープン時自動応答設定:OFF	79
			呼出時間表示設定 無音時間設定:OFF 無音時間:1秒(ON設定時) 時間内不在着信表示:表示する	136
			電話帳画像着信設定:ON	114
			不在/新着確認設定:ON	120
			発着信番号表示設定 Aモード 本体色「Magenta」「Black」:白色　本体色「White」:黒色 Bモード:グレー	121
		通話中詳細設定	受話音量:レベル4	80
			自動音声メモ:OFF	436
			しっかりトーク:ON	75
			ノイズキャンセラ:ON	75
			通話品質アラーム:アラームなし	107
			再接続機能:アラームなし	75
			保留音設定 応答保留音:応答保留音1　通話中保留音:通話中保留音	81
			クローズ動作設定:終話	79
		イヤホン機能設定	イヤホンスイッチ発信設定:OFF	442
			イヤホン切替設定:イヤホンとスピーカー	108
		着信拒否設定	「本体設定」→「ロック・セキュリティ」→「着信拒否設定」と同じ	513
	テレビ電話設定	受信画質設定	標準	88
		画像選択	応答保留選択:内蔵　通話保留選択:内蔵　代替画像選択:キャラ電(カンガルー) 伝言メモ選択:内蔵　伝言メモ準備選択:内蔵　音声メモ選択:内蔵	89
		音声自動再発信	OFF	89

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
電話機能	テレビ電話設定	テレビ電話切替機能通知	－	90
		テレビ電話着信拒否	OFF	137
		ハンズフリー切替	ON	88
		パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	90
	通話時間・料金	通話時間・料金	通話時間・積算時間：0秒　通話料金：￥＊＊ 前回積算時間リセット日時・前回積算料金リセット日時：--/-- --:--	436
		通話料金通知	料金上限値：－－　上限値通知：通知しない アラーム音：時刻アラーム音　アラーム音量：レベル4	437
		積算リセット	－	437
		積算料金自動リセット	OFF	437
	着もじ	メッセージ作成	初期状態	68
		メッセージ表示設定	番号通知ありのみ	70
	2in1		OFF	474
			モード切替：デュアルモード	474
	メロディコール		－	107
	留守番電話サービス	留守番メッセージ再生	－	465
		留守番サービス開始	－	465
		留守番サービス停止	－	465
		留守番呼出時間設定	－	465
		留守番設定確認	－	465
		留守番サービス設定	－	465
		メッセージ問合せ	－	464
		件数増加鳴動設定	YES	465
		メッセージ有無表示消去	－	465
		着信通知開始	－	465
		着信通知停止	－	465
		着信通知開始設定確認	－	465
		留守番テレビ電話設定	－	465
	その他ネットワークサービス	転送でんわ	－	467
		キャッチホン	－	466
		英語ガイダンス	－	470
		遠隔操作設定	－	472
		マルチナンバー	電話番号設定：未登録	472
			着信音設定：すべて通常着信音と同じ	473
		デュアルネットワーク	－	470

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
電話機能	その他ネットワークサービス	追加サービス	追加サービス:未登録	480
			応答メッセージ設定:未登録	480
		OFFICEED	エリア表示設定:OFF	479
本体設定	画面・ディスプレイ	きせかえツール設定	「データBOX」→「きせかえツール」と同じ	505
		待受画面設定	待受画面・Aモード待受画面 本体色「Magenta」:レース　本体色「White」:アイランド 本体色「Black」:アース	111
			Bモード待受画面 本体色「Magenta」:アース　本体色「White」:レース 本体色「Black」:アイランド	111
			デュアルモード待受画面 本体色「Magenta」:アイランド　本体色「White」:アース 本体色「Black」:レース	111
			待受画面(ビューアスタイル)・Aモード待受画面(ビューアスタイル) 本体色「Magenta」:レース(ワイド)　本体色「White」:アイランド(ワイド) 本体色「Black」:アース(ワイド)	112
			Bモード待受画面(ビューアスタイル) 本体色「Magenta」:アース(ワイド)　本体色「White」:レース(ワイド) 本体色「Black」:アイランド(ワイド)	112
			デュアルモード待受画面(ビューアスタイル) 本体色「Magenta」:アイランド(ワイド)　本体色「White」:アース(ワイド) 本体色「Black」:レース(ワイド)	112
			アイコンパターン 電池アイコン・アンテナアイコン 本体色「Magenta」:パターン5　本体色「White」:パターン2 本体色「Black」:パターン1	113
			デスクトップ:デスクトップ1 貼付アイコン:使いかたガイド、iコンシェル、クイック検索、 きせかえツールを作ろう!、P-SQUARE(メーカーサイト)、 季節のデコメをプレゼント、歩数計 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ デスクトップ表示設定:使用時のみ表示 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ アイコン変更:すべて初期アイコン	36
		カラーテーマ設定	本体色「Magenta」:Magenta　本体色「White」:Gray　本体色「Black」:Black	116
		各種画面設定	ウェイクアップ表示:Wake up	113
			電話発信・電話着信・テレビ電話発信・テレビ電話着信・メール送信・メール受信・ 問合せ・メール受信結果 本体色「Magenta」:パターン3　本体色「White」:パターン2 本体色「Black」:パターン1	113
		マチキャラ設定	ON(まめはかせ)	118

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
本体設定	画面・ディスプレイ	ソフトキー	本体色「Magenta」:Magenta　本体色「White」:Gray　本体色「Black」:Black	116
		プライベートメニュー設定	プロフィール、着信音量、マチキャラ、地図、アラーム、きせかえツール、バイブレータ設定、iモード／web、フォント設定、スケジュール	433
		メニューテーマ	メニュー	116
		ピクチャ表示設定	ピクチャ一覧	357
		表示アイコン説明	ー	40
		表示アイコン設定	ON	38
		ビューブラインド	OFF	115
		表示画質モード設定	ダイナミック	116
		液晶AI	ON	115
		インフォメーション表示設定	表示する	227
	音／バイブ／マナー	着信音量	すべてレベル4	105
		着信音選択	電話・テレビ電話 Aモード:着信音1　Bモード:着信音4	104
			メール Aモード:着信音2　Bモード:着信音5	104
			メッセージR・メッセージF・iコンシェル:着信音3	104
		その他音設定	ボタン確認音:ON	107
			充電確認音:ON	107
			メール／メッセージ鳴動:すべてON 鳴動時間設定:すべて5秒	108
		バイブレータ設定	すべてOFF	106
		マナーモード設定	マナーモード選択:マナーモード オリジナルマナー設定時 伝言メモ:OFF　バイブレータ:ON　電話着信音量:消去 メール着信音量:消去　アラーム音量:消去　iアプリ音量:消去 メモ確認音:ON　ボタン確認音:OFF　通話中マイク感度:アップ 低電圧アラーム:OFF	110
			マナー起動時間設定・マナー解除時間設定:すべてOFF	109
		ステレオ・3Dサウンド設定	ON	105
	照明・イルミネーション	照明設定	通常時:ON 点灯時間:10秒　省電力移行時間設定:45秒	114
			充電時:通常時と同じ	114
			範囲:液晶＋ボタン	114
			明るさ:自動調整ON(レベル6)	114

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
本体設定	照明・イルミネーション	イルミネーション設定	着信イルミネーション 　着信イルミネーション選択 　　本体色「Magenta」 　　　電話・テレビ電話：B-Signal 　　　メール・メッセージR・メッセージF・ｉコンシェル：B-Rhythm 　　本体色「White」 　　　電話・テレビ電話：A-Signal 　　　メール・メッセージR・メッセージF・ｉコンシェル：A-Rhythm 　　本体色「Black」 　　　電話・テレビ電話：C-Signal 　　　メール・メッセージR・メッセージF・ｉコンシェル：C-Rhythm 　パターン設定：固定パターン 　カラー設定：初期状態 　不在お知らせ：24時間後に消灯	119
			通話中イルミネーション：OFF	118
			Music&Video Chイルミネーション：OFF	118
			時報イルミネーション：OFF	118
			ミュージックイルミネーション：ON	118
			Bluetoothイルミネーション：ON	119
	文字表示／入力	フォント設定	太さ：太字	120
			文字サイズ：すべて中	120
		文字入力機能	入力方式：かな方式	454
			予測機能（学習辞書）：ON	456
		Select language	日本語	121
	時計	メイン時計設定	自動時刻時差補正：すべて自動	57
			サマータイム：OFF	57
		サブ時計設定	表示方法：自動（ローミング時自動表示）	58
			サマータイム：OFF	58
			エリア名表示：表示する	58
		待受時計表示	表示方法：日本語　　表示サイズ：大きく表示 文字色 　本体色「Magenta」：ブラック　　本体色「White」「Black」：ホワイト	121
		自動電源ON	OFF	424
		自動電源OFF	OFF	424
	ロック・セキュリティ	ロック	OFF	127 129
			オリジナルロック（高）・オリジナルロック（中）・オリジナルロック（低）：初期状態	129
		キー操作ロック	すべてOFF	132

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
本体設定	ロック・セキュリティ	シークレットモード	解除	133
		シークレット専用モード	解除	133
		着信拒否設定	登録外着信拒否:許可 非通知設定・公衆電話・通知不可能:許可 着信音:通常着信音と同じ　着信画面:通常着信画面と同じ	136
		端末暗証番号変更	0000	126
		PIN設定	−	126
		スキャン機能	スキャン機能設定:すべてON	546
	電池残量		−	55
	外部接続	USBモード	通信モード	397
		Bluetooth	「便利ツール」→「Bluetooth」と同じ	506
		イヤホンマイク	イヤホンマイク	441
		フェムトセル	フェムトセル利用設定:OFF	452
	その他設定	スタイル連動設定	タッチメニュー	30
		モーションコントロール設定	ON	31
		タッチパネル調整	−	47
		サイドボタン設定	閉じた時有効	133
		アラーム通知設定	通知優先	432
		セルフモード	解除	128
		設定リセット	−	139
		端末初期化	−	139
		ソフトウェア更新	自動更新設定:自動で更新 曜日:指定なし　時刻: 03:00	542
		クイック検索接続先設定	Google検索、Google画像検索、Googleニュース検索	200
地図／海外	地図		−	336
	イマドコサーチ	イマドコかんたんサーチ	−	338
		イマドコサーチ	−	338
	ｉエリア−周辺情報−		−	338
	GPSアプリ一覧		プリインストールｉアプリのみ	336
	現在地確認／通知	現在地確認	−	335
		現在地通知	−	339
	地図・GPS設定／履歴	位置履歴	履歴なし	339
		地図設定	地図選択:地図アプリ	342
			地図起動時動作設定:測位して起動	342
		GPSボタン設定	地図を見る	342
		位置提供設定	位置提供OFF	343

つづく↪

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
地図／海外	地図･GPS設定／履歴	オートGPS	ドコモ提供サービス設定：利用しない	341
			オートGPS動作設定：ON 歩幅登録：60cm	340
			低電力時動作設定：停止する	341
		測位モード設定	測位モード設定：すべて標準モード	342
		現在地通知先登録	未登録	344
		サービス利用設定	－	342
		サービス利用／接続先設定	契約時接続先	346
		イルミネーション／鳴動音設定	音量：すべてレベル4	347
			音選択：すべて着信音1	347
			バイブレータ：すべてパターン1	347
			通知時間設定 現在地確認：OFF　現在地通知：ON（鳴動時間：5秒） 位置提供／許可･位置提供／毎回確認：ON（鳴動時間：20秒）	347
			イルミネーション選択 現在地確認：OFF　現在地通知･位置提供／許可･位置提供／毎回確認：色5	347
	海外ネットワークサーチ	3G/GSM切替	自動	485
		ネットワークサーチ設定	オート	486
		優先ネットワーク設定	－	486
		オペレータ名表示設定	表示あり	487
		在圏状態表示	－	487
	海外設定	お問合せ（海外）	－	489
		ローミング時着信規制	－	488
		ローミング着信通知	－	488
		ローミングガイダンス	－	488
		国際ダイヤルアシスト	自動変換機能：ON	73
			国番号：日本（81）	73
			国際プレフィックス：WORLD CALL（009130010）	74
		iモードサービス利用設定	－	487
		メール／メッセージ利用設定	メール選択受信：OFF	487
		ネットワークサービス	－	489
	海外ご利用ガイド		－	482
iコンシェル			－	227
プロフィール			未登録（自局番号は除く）	434

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
おサイフケータイ	ICカード一覧		プリインストールｉアプリのみ	323
	DCMX		－	302
	トルカ		データなし ユーザ作成フォルダ：なし	326
	ICカードロック設定	ICカードロック	解除	324
		電源OFF時ICロック設定	直前の状態を保持	324
	設定	トルカ設定	ICカードから取得：許容する 重複チェック：行う	331
			自動読取設定：ON	331
			スクロール設定：1行スクロール	331
		放送トルカ取得設定	取得する	331
		ICカード通知設定	イルミネーション：ON	324
			バイブレータ：OFF	324
	ICオーナー確認		－	324
	ICオーナー変更		－	325
	ｉモードで探す		－	209
その他	文字入力		サブメニュー 文字入力設定 自動カーソル移動：普通	458
			学習履歴：履歴なし	460
	ホームメニュー		ショートカットアイコン： カメラ、ｉモード／web、手書きフォト／メモ、ピクチャアルバム、メール、 手書きダイアリー	49
	カスタマイズメニュー		ショートカットアイコン：P-SQUARE	49

シンプルメニュー機能一覧表

きせかえツールで「シンプルメニュー」に設定すると、メインメニューに以下の機能が表示されます。

大項目	中項目／小項目		参照先
電話	電話帳登録		92
	電話帳検索		96
	伝言メモ／音声メモ	メモの再生／消去	84
		テレビ電話メモの再生／消去	85
		音声メモ録音	435
		伝言メモ設定	83
	発着信履歴	発信履歴	66
		着信履歴	67
	通話時間・料金		436
	留守番電話	留守番メッセージ再生	465
		留守番サービス開始	465
		留守番サービス停止	465
		留守番呼出時間設定	465
		留守番設定確認	465
		留守番サービス設定	465
		メッセージ問合せ	464
		件数増加鳴動設定	465
		メッセージ有無表示消去	465
		着信通知開始	465
		着信通知停止	465
		着信通知開始設定確認	465
		留守番テレビ電話設定	465
	電話番号表示		59
メール	受信メール		163
	送信メール		164
	保存メール		165
	新規メール作成		144
	センター問合せ		160
i モード	i メニュー		190
	Bookmark		203
	画面メモ		205
	サイト閲覧履歴		201

大項目	中項目／小項目		参照先
i モード	URL入力	URL入力	201
		URL入力履歴	202
	フルブラウザホーム		192
カメラ	写真をとる		234
	動画をとる		238
	写真を見る		358
	動画を見る		365
ワンセグ	ワンセグ視聴		256
	録画予約		264
	チャンネル設定		254
データBOX	写真・静止画		353
	動画		365
	音楽・メロディ	ミュージック	282
		メロディ	382
	ワンセグ	イメージ	353
		ビデオ	374
		しおり	375
	Music&Videoチャネル		274
	きせかえツール		385
	マチキャラ		381
	その他データ	マイドキュメント	410
		ドキュメントビューア	414
		キャラ電	377
		SDその他ファイル	396
便利ツール	スケジュール		427
	アラーム		424
	電卓		438
	メモ帳		439
	赤外線受信	受信	405
		全件受信	406
	使いかたガイド		49

大項目	中項目／小項目		参照先
設定	着信音設定	着信音量(電話)	105
		着信音量(メール)	105
		着信音(電話)	104
		着信音(メール)	104
	画面	きせかえツール設定	117
		待受画面設定	39 111 121
		カラーテーマ設定	116
		各種画面設定	113
		マチキャラ設定	118
		ソフトキー	116
		プライベートメニュー設定	433
		メニューテーマ	116
		ピクチャ表示設定	357
		表示アイコン説明	40
		表示アイコン設定	38
		ビューブラインド	115
		表示画質モード設定	116
		液晶AI	115
		インフォメーション表示設定	227
	セキュリティ	ロック	127 129
		キー操作ロック	132
		シークレットモード	133
		シークレット専用モード	133
		着信拒否設定	136
		端末暗証番号変更	126
		PIN設定	126
		スキャン機能	546
	日付時刻	メイン時計設定	57
		サブ時計設定	58
		待受時計表示	121
		自動電源ON	424
		自動電源OFF	424

ノーマルメニュー機能一覧表

ビューアスタイルではノーマルメニューに以下の機能が表示されます。

大項目	中項目／小項目		参照先
メール	受信BOX		163
	送信BOX		164
	保存BOX		165
	新規メール作成		144
	手書きメール		419
	新規SMS作成		185
	メール／メッセージ問合せ		160
	SMS問合せ		187
iモード／web	iMenu･検索		190
	Bookmark		203
	画面メモ		205
	サイト閲覧履歴		201
	URL入力	URL入力	201
		URL入力履歴	202
	iチャネル	iチャネル一覧	225
		テロップ表示設定	226
		iチャネル初期化	226
	フルブラウザホーム		192
iアプリ			295
カメラ			234
ピクチャアルバム			358
iモーション･ムービー			365
iコンシェル			227
手書き	手書きフォト／メモ		419
	手書きダイアリー		421
電卓			438
iウィジェット			317
ワンセグ	ワンセグ視聴		256
	ビデオ	ビデオ	374
		しおり	375
タッチ操作ガイド			47

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式）

表示 ボタン	漢	カナ	英	数
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ1	. / @ - : ￣※1 ～※2 _ 1	1
2	かきくけこ	カキクケコ2	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ	サシスセソ3	d e f D E F 3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ4	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ5	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ6	m n o M N O 6	6
7	まみむめも	マミムメモ7	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ8	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ9	w x y z W X Y Z 9	9
0	わをんゎー	ワヲンヮ※2ー 0	0	0
*	改行※3	改行※3	改行※3	*
#	、。？！・□（スペース）	、。？！・□（スペース）	, . ? ! ' - & ( ) ¥ □（スペース）	#

※1：半角で文字を入力しているときに表示
※2：全角で文字を入力しているときに表示
※3：文字を入力したあとに(*)を押すと、大文字･小文字の切り替えや、濁点･半濁点の入力ができます。

- 文字を入力後、(発信)を押すと押すごとに逆順に文字が変わります。
- 数字入力モードで(0)を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。
- 英字入力モードで大文字を入力したあとに続けて入力すると、大文字→小文字の順で表示されます。また、機能によっては大文字→小文字の順で表示されます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧(2タッチ方式)

全角入力モード

<大文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ
2	か	き	く	け	こ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ
3	さ	し	す	せ	そ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
4	た	ち	つ	て	と	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ
5	な	に	ぬ	ね	の	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Ｚ	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃		♥	■
9	ら	り	る	れ	ろ	１	２	３	４	５
0	わ	を	ん	゛	゜	６	７	８	９	０

<小文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
2						ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ
3						ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
4			っ			ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ
5						ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
6						ｚ				
7										
8	ゃ		ゅ		ょ					■
9										
0	ゎ			、	。					

半角入力モード

<大文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		♥	■
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

<小文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ｬ		ｭ		ｮ					■
9	@	/	-	_	:	.ne.jp	.co.jp	.ac.jp	@docomo.ne.jp	
0	~	'		,	.	www.	.com	.html	http://	https://

■：大文字入力モード／小文字入力モードの切り替え

お知らせ

- 文字割り当てのない空白部分の入力操作をするとスペースが入力されます。
- 文字を入力したあとに(＊)を押すと、大文字･小文字の切り替えや、濁点･半濁点の入力ができます。

記号一覧表

文字入力(編集)画面で「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示されます。以下の読みを入力して変換しても記号を入力できます。

読み	記号
あっと あっとまーく	＠
あんど	＆
いこーる	＝
えん	￥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	（）［］｛｝‘’“”「」『』【】〔〕＜＞《》
から	～
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	▲△▼▽
しかく	■□◆◇
しめ	〆
しゃせん	／＼
たす	＋
てん	・…
どう	〃ヽヾゝゞ々
ぱーせんと	％
はてな	？
ひく	－
ひしがた	◆◇
びっくり	！
ぷらす	＋
ぷらすまいなす	±
ほし	☆★
まいなす	－
まる	○◎●
むげん	∞
めす	♀
やじるし	↑→↓←
ゆうびん	〒
るーと	√
るん	♪
わる	÷

絵文字一覧表

以下の読みを入力して変換しても絵文字を入力できます。

絵文字	読み
	うれしい、かお、わーい
	おこる、かお、いかり、ちっ
	かお、かなしい、がく、らくたん
	かお、かなしい、やだ、もうやだ
	うーん、かお、かんがえる、うーむ
	かお、ほっ
	あせ、かお、にがわらい、ひやあせ
	あせ、かお、ひやあせ
	かお、ふくれる、いかり、ぷー、ぷっくっく
	かお、ぼー、ぼけー
	かお、はーと
	あかんべー、あっかんべー、かお、あかんべ、べー
	ういんく、かお、うぃんく
	うれしい、かお、きゃー、にこ
	かお、がまん
	かお、ねこ、どうぶつ
	えーん、かお、かなしい、なく、なみだ、なき
	かお、かなしい、なみだ、なき
NG	えぬじー、だめ
	うまい、かお、たべる
	いひひ、うれしい、かお、にやり、わらい、うっしっし
	がーん、かお、げっそり、さけび、むんく
	はーと
	はーと
	しつれん、はーと
	はーと
	かお、しょっく、びっくり、ふらふら
	ぐっど、やじるし、や、うえ
♪	おんぷ、るんるん
	はな、かわいい
	きす、くちびる、きすまーく、ちゅっ
	きらきら、ぴかぴか、あたらしい、きら、ぴか
	でんきゅう、ひらめき、きら、ぴか
	いかり、むかっ
	ぐー、て、ぱんち、いかり
	ばくだん、ばくはつ、いかり
	おんぷ、むーど
	おちこむ、だうん、やじるし、ばっど、や、した
zzz	おやすみ、ねむい、すいみん、ねる、ぐー
!	えくすくらめーしょん、びっくり、おどろき
!?	えくすくらめーしょん、びっくり、おどろき
!!	えくすくらめーしょん、びっくり、おどろき
	しょうげき、どんっ
	あせ、とびちる、あせあせ
	あせ、たらーっ
	だっしゅ、にげろ、はしる、はしりだす
	のばす、ー
	のばす、ー
	だっしゅ、はしる、ひと、はしるひと、にげる
	め、みる、みて
	みみ、きく
	ぐー、て
	ちょき、て、ぴーす
	て、ぱー
	あし、あしあと
	めがね
	おーけー、おっけー、ぐー、ぐっど、らじゃー、て
♈	おひつじざ、せいざ
♉	おうしざ、せいざ
♊	せいざ、ふたござ
♋	かにざ、せいざ
♌	ししざ、せいざ、がっかり
♍	おとめざ、せいざ
♎	せいざ、てんびんざ
♏	さそりざ、せいざ
♐	いてざ、せいざ
♑	せいざ、やぎざ
♒	せいざ、みずがめざ
♓	うおざ、せいざ
	ぽけべる、ぽけっとべる、べる
	かめら、しゃしん
	おでかけ、かばん、ばっぐ、かいもの
	でんわ
	けいたい、でんわ、けいたいでんわ、けーたい
	めも
♥	はーと、とらんぷ
♠	すぺーど、とらんぷ
♦	だいや、とらんぷ
♣	くらぶ、とらんぷ
	くるまいす
	かちんこ、かっと、かんとく
	ふくろ
	ぺん、めも
	ひとかげ
	いす

つづく

絵文字	読み
	じかん、とけい
	めーる、てがみ、あどれす、めーるする
	あいでぃー
	かぎ、ぱすわーど
	かいぎょう、つぎ、りたーん、じこうあり
	くりあ
	さーち、むしめがね、しらべる
	にゅー、にゅう、あたらしい
	いちじょうほう、はた、ふらっぐ、いち
	ふりーだいやる
	しゃーぷだいやる、しゃーぷ
	もばきゅー
	おーけー、おっけー、けってい
	あいあぷり、あぷり
	あいあぷり、あぷり
	けっこん、べる、ちゃぺる、かね
	どあ、とびら
	かね、どる、どるぶくろ、おかね
	ぱそこん、ぴーしー
	てがみ、らぶれたー、らぶめーる、めーる
	せってい、れんち、しゅうり
	くりっぷ、てんぷ
©	こぴー、こぴーらいと
™	とれーどまーく
	ひみつ、まるひ
	くりかえし、りさいくる
®	とうろくしょうひょう、れじすたーどとれーどまーく、れじすとれっど
	きけん、けいこく、ちゅうい
	きんし
	あき、くうしつ、くうせき、くうしゃ
	ごうかく
	まんせき、まんしつ、まんしゃ、いっぱい
	たいよう、てんき、はれ、いいきぶん
	くも、くもり、てんき、もやもや
	あめ、かさ、てんき、ゆううつ
	てんき、ゆき、ゆきだるま
	かみなり、てんき、ぴか
	うずまき、たいふう、てんき、まる、ぐるぐる
	きり、てんき
	あめ、かさ、てんき、こさめ
	しんげつ、つき、まる
	つき、みかづき
	つき、はんげつ、はんつき
	つき、ややかけつき
	つき、まんげつ、まる
	おやすみ、つき、よる
	うみ、なみ、うぇーぶ
	くろーばー、よつば、はな
	ちゅーりっぷ、はな
	め、は
	いどう、でんしゃ、のりもの
	ちかてつ、のりもの、めとろ
	しんかんせん、のりもの
	いどう、くるま、せだん、のりもの
	あーるぶい、いどう、くるま、のりもの
	いどう、のりもの、ばす
	のりもの、ふね、ぼーっ
	のりもの、ひこうき
	いえ、たてもの、うち
	かいしゃ、びる、たてもの
	ゆうびんきょく、ゆうびん
	びょういん
	ぎんこう、ばんく
	えーてぃーえむ、ばんく
	ほてる
	こんびにえんす、こんびに
	がそりんすたんど、がすすたんど、がす
	ちゅうしゃじょう、ぱーきんぐ、ぴー
	しんごう
	といれ、べんじょ
	しょくじ、れすとらん、ごはん、めし
	とこや、はさみ、びよういん
	おんせん、いいきぶん
	がっこう
	おちゃ、かっぷ、きっさてん、しょくじ、さてん
	かくてる、かんぱい、ぐらす、ばー、しょくじ、さけ
	かんぱい、じょっき、びーる、しょくじ、さけ
	たべもの、ばーがー、はんばーがー、ふぁーすとふーど、しょくじ
	おちゃ、まったり、ゆのみ、ちゃ
	さくらんぼ、ちぇりー、はな
	たべもの、ばなな
	あっぷる、たべもの、りんご
	おにぎり、たべもの、おむすび
	けーき、たべもの、しょーとけーき
	かんぱい、さけ、とっくり、にほんしゅ、おちょこ
	ごはん、たべもの、どんぶり、らーめん、しょくじ
	しょくぱん、たべもの、ぱん、しょくじ
	かんぱい、ぐらす、さけ、わいん、わいんぐらす
	いぬ、どうぶつ
	ねこ、どうぶつ
	かたつむり、どうぶつ

付録／困ったときには

絵文字	読み
	ひよこ、どうぶつ
	ぺんぎん、どうぶつ
	さかな、どうぶつ
	うま、どうぶつ、けいば
	ぶー、ぶた、どうぶつ
	はいひーる、ぶてぃっく、くつ、ふく
	くつ
	しゃつ、ふく、てぃーしゃつ
	さいふ、かね、おかね、がまぐち
	くちべに、けしょう
	じーんず、ずぼん、ふく
	えんぴつ、めも
	おうかん、かんむり、おう
	ゆびわ、りんぐ
	すなどけい、じかん
	うでどけい、とけい、じかん
	しゃつ、すぽーつ、らんにんぐ、ふく
	ぼーる、やきゅう、すぽーつ
	くらぶ、ごるふ、すぽーつ
	てにす、らけっと、すぽーつ
	さっかー、ぼーる、すぽーつ
	すきー、すぽーつ
	ばすけっとぼーる、すぽーつ、ばすけ、ばすけっと、かれし
	ごーる、はた、もーたーすぽーつ、ふらっぐ、えふわん、しゅうごう
	からおけ、まいく、うた
	えいが、むーびー、びでお
	もくば、ゆうえんち
	おんがく、へっどほん、きく
	あーと、ぱれっと、かいが
	えんげき、しばい
	いべんと
	きっぷ、ちけっと
	きつえん、たばこ
	きんえん、たばこ
	ほん
	りぼん
	ぷれぜんと、おめでとう
	きゃんどる、たんじょうび、ろうそく、ばーすでー、おめでとう
	てれび
	げーむ、こんとろーらー
	しーでぃー
	ふね、よっと、りぞーと
	くりすます、つりー、き
	さーふぃん、すのぼ、すのーぼーど、すぽーつ
	じてんしゃ、ちゃり、のりもの
	ふじさん、やま
	もみじ、は
	さくら、はな
↗	みぎななめうえ、やじるし、うえ
↘	みぎななめした、やじるし、した
↖	ひだりななめうえ、やじるし、うえ
↙	ひだりななめした、やじるし、した
	あいもーど、あい
	あいもーど、あい
1	いち、すうじ
2	に、すうじ
3	さん、すうじ
4	し、よん、すうじ
5	ご、すうじ
6	ろく、すうじ
7	なな、しち、すうじ
8	はち、すうじ
9	きゅう、く、すうじ
0	ぜろ、れい、すうじ
↔	さゆう、やじるし、や
↕	じょうげ、やじるし、や
soon	すーん
ON!	おん
end	えんど、おわり
	けいたいでんわ、でんわ、でんわばんごう、でんわする
	めーる、あどれす、めーるする
FAX	ふぁっくす
	どこもていきょう、どこも
	どこもぽいんと、どこも
¥	えん、ゆうりょう、かね
FREE	ふりー、むりょう、ただ

お知らせ

- 絵文字はすべて全角文字でカウントされます。
- 絵文字は、ｉモード対応端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されません。また、ｉモード対応携帯電話であっても、機種によっては正しく表示されないことがあります。

マルチアクセスの組み合わせ

通信状態＼通信イベント	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール		SMS※1		iアプリ	iアプリソフト動作中	パケット通信（データ通信）		64Kデータ通信	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信	送信	受信	発信	発信	送信	受信	送信	受信
音声電話	△※2	△※3	×	×※4	○	○	△※5	○	△※5	×	×	○	△※5	×	×※4
テレビ電話	×	×※4	×	×※4	×	×	×	×	△※5	×	×	×	×	×	×※4
iモード	○	○	△※6	△※7	△	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
iモードメール	○	○	△※6	△※7	○	×	×	×	△※5※8	×	×	×	×	×	×
SMS※1	○	○	○	○	○	×	△※5※8	×	△※5	○	○	○	△※5	○	△※5
iアプリ※9	×	○	×	△※7	×	×	△※5	×	△※5	×	×	×	×	×	×
iアプリソフト動作中	○	○	△※6	△※7	×	○	△※5	○	△※5	×	×	×	×	×	×
パケット通信（データ通信）	○	○	×	×※10	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
64Kデータ通信	×	×※4	×	×※4	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×※4

○：起動できます。
△：条件により起動できます。
×：起動できません。現在の通信状態を継続します。（発生した通信は拒否されます。）
※1　：iコンシェルのインフォメーション、iアプリコールを含みます。
※2　：「キャッチホン」を契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信できます。
※3　：最大音声回線数＋1の状態のとき、留守番電話、キャッチホン、転送でんわを起動できます。（P.464、P.466、P.467参照）
※4　：「キャッチホン」、「留守番電話」、「転送でんわ」を契約されている場合、通話／通信を終了したあと、着信に応答できます。（P.471参照）
※5　：画面に「」「」「」などを表示して受信をお知らせします。
※6　：iモード接続を切断し、発信します。
※7　：「パケット通信中着信設定」に従って動作します。
※8　：iモードメールとSMSは1回線ずつ同時使用が可能です。
※9　：iアプリのバージョンアップ、iアプリをダウンロード中の場合です。
※10：不在着信として着信履歴に残ります。

マルチタスクの組み合わせ

同じグループの機能が競合したとき（表中の　　部分）は、起動中の機能を切り替える画面が表示されます。

使用中の機能＼発生した機能	音声電話	テレビ電話	メールグループ	ｉモードグループ	ｉアプリグループ	ツールグループ	設定グループ	ｉコンシェルグループ	ワンセグ／ミュージックグループ
音声電話	×	×	○	○	×	○	×	×	×
テレビ電話	×	×	×	×	×	×	×	×	×
メールグループ	○	○	×	○	○	○	○	○	○
ｉモードグループ	○	○	○	×	○	○	○	○	○
ｉアプリグループ	○	○	○	○	×	○	○	○	○
ツールグループ	○	○	○	○	○	×	○	○	○
設定グループ	○	○	○	○	○	○	×	○	○
ｉコンシェルグループ	○	○	○	○	○	○	○	×	○
ワンセグ／ミュージックグループ	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○：同時に起動できます。　×：同時に起動できません。

お知らせ

● 機能の組み合わせや操作によっては、上記の動作にならない場合があります。

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料+通話料） ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料+通話料）	（局番なし）106

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2010年6月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2010年6月現在）
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）

お知らせ

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック P22
・リアカバー P44
・タッチペン P01
・卓上ホルダ P40
・FOMA ACアダプタ 01/02※1
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1
・FOMA DCアダプタ 01/02
・FOMA 補助充電アダプタ 01
・FOMA乾電池アダプタ 01
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02※2
・FOMA USB接続ケーブル※2
・FOMA室内用補助アンテナ※3
・FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※3
・キャリングケースL 01
・車内ホルダ 01
・イヤホンマイク 01
・ステレオイヤホンマイク 01
・スイッチ付イヤホンマイク P001/P002※4
・平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02※5
・平型ステレオイヤホンセット P01※5
・イヤホンジャック変換アダプタ P001※5
・外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
・イヤホン変換アダプタ 01
・平型コネクタ・ステレオミニジャック変換アダプタ P01※5
・Bluetoothヘッドセット F01※6
・Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
・ワイヤレスイヤホンセット P01/02
・骨伝導レシーバマイク 01※5/02
・車載ハンズフリーキット 01※7
・FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01

※1 ACアダプタでの充電方法についてはP.52、P.54参照。
※2 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※3 日本国内で使用してください。
※4 イヤホンジャック変換アダプタ P001と外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※5 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※6 Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。
※7 P-06Bを充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。

動画再生ソフトのご紹介

Apple Inc.のQuickTimePlayer（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）を使用すると、パソコンで動画（MP4形式のファイル）を再生できます。
QuickTimeは下記のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

お知らせ

- ダウンロードするにはインターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては、別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページを参照してください。

AV機器とのリンク

他の機器からmicroSDカードに保存したASF形式の動画をFOMA端末で再生できる場合があります。FOMA端末で録画した動画を他の機器で再生できる場合もあります。対応AV機器とのリンクに関する情報はこちらをご覧ください。
http://panasonic.jp/mobile/

対応AV機器とのリンクに関するお問い合わせ先

■パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社　お客様ご相談センター
一般電話からは 0120-15-8729
携帯電話・PHSからは　045-938-4023
受付時間　午前9:00～午後5:00（土・日・祝日・所定の休日は除く）
- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。ソフトウェア更新についてはP.541参照。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

電源

FOMA端末の電源が入らない

…電池パックが正しく取り付けられていますか。（P.52参照）
…電池切れになっていませんか。（P.52参照）

充電

充電ができない（充電ランプが点灯しない、または点滅する）

…電池パックが正しく取り付けられていますか。（P.52参照）
…アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
…アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。（P.54参照）
…ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。（P.54参照）
…卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れているときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
…充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して着信／充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。（P.52参照）

端末操作

操作中・充電中に熱くなる

…操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

電池の使用時間が短い

…圏外の状態で長い時間放置するようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態になるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。（P.56参照）
…電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。（P.52参照）
…電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。（P.52参照）

電源断・再起動が起きる

…電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れているときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

ボタンを押しても動作しない

…ダイヤルロックを設定していませんか。（P.127参照）
…キー操作ロックを設定していませんか。（P.132参照）
…サイドボタン設定を「閉じた時無効」に設定していませんか。（P.133参照）

ボタンを押したときの画面の反応が遅い

…FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

FOMAカードが認識されない

…FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。（P.50参照）

通話

ダイヤルボタンを押しても発信できない

…指定発信制限を設定していませんか。（P.135参照）
…オリジナルロックで「ダイヤル発信」をロックしていませんか。（P.129参照）
…ダイヤルロックを設定していませんか。（P.127参照）
…セルフモードを設定していませんか。（P.128参照）

着信音が鳴らない

…着信音量を「消去」にしていませんか。（P.105参照）
…公共モード、マナーモード、セルフモードを設定していませんか。（P.81、P.108、P.128参照）
…指定着信拒否、指定着信許可、着信拒否設定、呼出時間表示設定を設定していませんか。（P.135、P.136参照）
…留守番電話サービス、転送でんわサービス、伝言メモ設定のいずれかの呼出時間を0秒にしていませんか。（P.83、P.465、P.468参照）

通話ができない
(場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)

…電源を入れ直すか、電池パックまたはFOMAカードを入れ直してください。(P.50、P.52、P.56参照)
…電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は「Yill」を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
…指定着信拒否、指定着信許可など着信制限を設定していませんか。(P.135参照)
…電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

画面

ディスプレイが暗い

…照明設定の明るさを変更していませんか。「自動調整ON」に設定している場合は周囲の明るさによって変わります。(P.114参照)
…省電力モードになっていませんか。(P.114参照)
…ecoモードを設定していませんか。(P.115参照)
…ワンセグecoモードを設定していませんか。(P.269参照)
…ビューブラインドが「ON」になっていませんか。(P.115参照)

音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

…受話音量を変更していませんか。(P.80参照)
…しっかりトーク、ゆったりトークの設定を変更すると、相手の声が聞き取りやすくなります。(P.75参照)

メール

メールを自動で受信しない

…メール設定のメール選択受信設定を「ON」に設定していませんか。(P.159参照)

添付ファイルが削除されて画像を見ることができない

…添付ファイル優先受信設定を確認してください。(P.178参照)
…メールサイズ制限の設定を確認してください。詳しくは「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

iモード

iモード、iモードメール、iアプリ、iチャネル、iコンシェルに接続できない

…接続先設定を「iモード」以外に設定していませんか。(P.216参照)
…iモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。(P.56参照)

iモードマークが点滅したまま消えない

…メール/メッセージ問合せ・メール送受信などのあとや途中でiモード接続が途切れたときは、iモードマークは点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、[終話キー]を押せばすぐに終了できます。

カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

…近くの被写体を撮影するときは、フォーカス設定を「接写」に設定してください。(P.242参照)
…ビューアスタイルで撮影するときは、タッチAF/AE設定を利用してください。(P.243参照)
…人物を撮影するときは、フォーカス設定を「顔認識」に設定してください。(P.242参照)
…手ブレ補正を「オート」に設定して撮影してください。(P.242参照)
…カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。(P.230参照)

ワンセグ

ワンセグの視聴ができない

…地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。(P.252参照)
…チャンネル設定をしていますか。(P.254参照)

おサイフケータイ

おサイフケータイ対応iアプリが削除できない

…ICカード内データを削除しないと、削除できないiアプリがあります。ICカード内データを削除してからiアプリを削除してください。削除できない場合、ドコモショップなどまでお問い合わせください。なお、「iD 設定アプリ」は削除できません。

おサイフケータイが使えない

…電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。(P.52、P.127参照)
…ICカードロックを起動していませんか。(P.324参照)
…FOMA端末の[FeliCa]マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。(P.323参照)

つづく

海外利用

「圏外」が表示され、国際ローミングサービスが利用できない

…国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
…利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」などの国際サービスガイドで確認してください。
…ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。（P.486参照）
…日本国内から海外へ移動したあとに3G/GSM切替を「自動」または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で「自動」にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。（P.56、P.485参照）

海外での利用中に音声電話やテレビ電話がかかってこない

…ローミング時着信規制を「開始」に設定していませんか。（P.488参照）
…パケット通信中着信設定を「テレビ電話優先」以外に設定していませんか。（P.90参照）
…GSM/GPRSネットワーク利用中にテレビ電話は利用できません。（P.482参照）

海外で利用中に突然、発信や着信ができない

…ドコモ インフォメーションセンターで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を清算していただくことで、サービスを再開します。
…3G/GSM切替の設定を確認してください。「自動」に設定されていると、特定のネットワークを受信してしまうため、利用できない場合があります。設定を滞在中の国や地域に対応するネットワーク（3GまたはGSM/GPRS）に変更してください。（P.485参照）

相手の電話番号が通知されない

相手の電話番号とは違う番号が通知される

電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

…相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。

データ管理

データ転送が行われない

…USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない

…microSDチェックディスクを行ってください。（P.397参照）

データ表示

各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する

…画像やメロディなどの取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されていますか。（P.51参照）

画像表示しようとすると「×」が表示される、またはデモやプレビューで「×」が表示される

…画像データが壊れている場合は「×」が表示される場合があります。

Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない

サーチしても見つからない

…Bluetooth通信対応機器（市販品）側を登録待機状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。（P.447参照）

カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない

…相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。（P.56参照）

地図・GPS機能

オートGPSサービス情報が設定できない

…電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。
「低電力時動作設定」により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。（P.52、P.341参照）
…オートGPS動作設定が「OFF」になっていませんか。（P.340参照）
…オートGPS機能が動作しない状態になっていませんか。（P.340参照）

こんな表示が出たら

- エラーメッセージの中の「(数字)」は、i モードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

ア

相手を発見できませんでした
…Bluetooth機器からの応答がないため、登録または接続できませんでした。

一部移動できませんでした
…選択したファイルに移動できないファイルが含まれていたため、一部移動できませんでした。

一部コピーできませんでした
…選択したファイルにコピーできないファイルが含まれていたため、一部コピーできませんでした。

一部保存できませんでした
…選択したファイルにFOMA端末またはmicroSDカードにコピーできないファイルが含まれていたため、一部保存できませんでした。

移動しようとしたページは未取得のため移動できません
…PDFデータにリンクが設定されていて、そのリンク先がダウンロードされていないため表示できませんでした。

移動に失敗しました
…FOMA端末に移動することのできない i アプリのためmicroSDカードからFOMA端末に移動できませんでした。

今いる場所の確認に失敗しました
…圏外などエラーが発生したため、現在地の確認または位置提供に失敗しました。電波の強い場所で再度操作してください。

応答がありませんでした(408)
…サイトやインターネットホームページからの応答がないため接続できませんでした。再度操作してください。

同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません
該当するサービスを削除しますか？

同じサービスを利用するソフトがあるためバージョンアップできません
該当するサービスを削除しますか？
…同じICカードを使ったサービスを利用するソフトがすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスをダウンロードまたはバージョンアップできません。「YES」を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。

オリジナルロック設定中です
…オリジナルロックが設定されています。オリジナルロックを解除してから再度操作してください。(P.129参照)

オリジナルロック中です
内蔵代替画像を送信します
…オリジナルロックが設定されているときは「内蔵」の代替画像が送信されます。

カ

書換え失敗しました
…ソフトウェア更新に失敗しました。ドコモ指定の故障取扱窓口にお問い合わせください。

画像が登録できなかった電話帳があります
…画像がいっぱいになったため一部の電話帳の画像が登録できませんでした。

画像表示設定が表示しないになっています
…画像表示設定が「表示しない」に設定されているため画像を取得できません。設定を「表示する」にしてから再度操作してください。(P.213参照)

切替に失敗しました
…通話中に、音声をBluetooth機器に切り替える際に、Bluetooth機器との接続に失敗しました。

圏外です
…電波が届いていません。電波の強い場所で再度操作してください。

現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないため移動できません

現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないため起動できません

現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないため削除できません

現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないためダウンロードできません

現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないためバージョンアップできません
…ICカードに対応付けしたFOMAカードとは異なるFOMAカードが挿入されているため移動、起動、削除またはダウンロード、バージョンアップできません。ICカードに対応付けしたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。(P.51参照)

限定視聴のため視聴できません
…限定受信放送のため視聴できません。

このカードでは無効な機能です
…挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。

このカードは使用できません
…FOMAカードが正しく取り付けられていないか、使用できないカードが挿入されています。なお、本FOMA端末ではFOMAカード(青色)はご使用できません。(P.50参照)
…P-06Bでは使用できないメモリーカードです。P-06Bに対応したmicroSDカードをご利用ください。(P.386参照)

つづく↓

このカードは使用できません
再起動します
…FOMAカードを正しく認識できなかったため再起動します。

この画像は保存できません
…正常に表示できなかった画像のため保存できません。また、正常に表示された場合でも、ファイルの形式によっては保存できない場合があります。

この機能は利用できません
…挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。

このサイトとのSSL/TLS通信は無効です
…改ざんされたSSL/TLS証明書を受信したため接続できませんでした。

このソフトは現在利用できません
…使用期限が過ぎたかサーバ側から使用停止状態に設定されているため起動できません。

このソフトは最新です
…目的のソフトが更新されていないため実行できません。

このデータはダウンロードできません
…データが不正なためダウンロードできません。
…すでに最大保存件数まで保存しているか、メモリの空きが不足しているため番組をダウンロードできません。

このメールは再送信できません
再編集して送信してください
…宛先が不正であったり、メール本文が入力可能なサイズを超えているため再送信できません。再編集してから送信してください。(P.170参照)

これ以上機能を起動できません
…マルチタスクで使用できる最大数の機能が起動しています。使っていない機能を終了してから再度操作してください。(P.424参照)

サ

再生可能日前です
再生できません
…再生可能日前のためファイルを再生できません。

最大サイズを超えたので中断しました
…データ量が最大サイズを超えたので正常にダウンロードできませんでした。

最大サイズを超えています
受信できません(452)
…最大サイズを超えるデータを受信しようとしたため、受信できませんでした。

最大サイズを超えているためダウンロードできません
…最大サイズを超えるPDFデータをダウンロードしようとしたため、ダウンロードできませんでした。

サイトに接続できませんでした(403)
…サイトやインターネットホームページに接続できません。

削除される挿入画像ファイルがあります
…FOMA端末外への出力が禁止されている画像がメール本文に貼り付けられているため削除されました。

削除される添付ファイルがあります
…FOMA端末外への出力が禁止されているファイルがメールに添付されているため削除されました。

作成可能サイズを超えるため一部削除されます
…宛先･題名･本文のいずれか(または複数)が入力可能文字数を超えていたため、一部削除されました。

シークレットデータのため呼び出せません
…シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えていないため呼び出せません。シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えてから操作してください。(P.133参照)

システムを再起動しました
…エラーが発生したため再起動しました。

システムを再起動しました
電源ON時の電池の抜き差しや電池の金属部分の汚れは再起動の原因となります
金属部分は定期的な清掃をお勧めします
…電源を入れたままでの電池パックの付け直しや、電池パックの金属部分の汚れにより、接触が悪くなったため再起動しました。電池パックの金属部分が汚れているときは、乾いた綿棒などで拭いてください。

システムを再起動しました
FOMAカードの金属部分の汚れは再起動の原因となります
金属部分は定期的な清掃をお勧めします
…FOMAカードの金属部分の汚れにより、接触が悪くなったため再起動しました。FOMAカードの金属部分を乾いた綿棒などで拭いてください。

指定サイトがみつかりません(404)
…サイトやインターネットホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLを確認してから再度操作してください。(P.201参照)

指定したサイトへは接続できませんでした(504)
…サーバからの応答がなかったため接続できません。

自動時刻時差補正情報を受信していないため再生できません
…自動時刻時差補正情報を受信していないため、再生期間･再生期限付きのファイルを再生できませんでした。

自動変換機能設定中
削除できません

自動変換機能設定中
全削除できません
…自動変換機能で設定されている国番号や国際電話アクセス番号は削除できません。設定を変更／解除してから再度操作してください。(P.73参照)

しばらくお待ちください
…音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

しばらくお待ちください
(パケット)
…パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

しばらくたってから操作してください
…現在、起動できない状態になっています。しばらくしてから再度操作してください。

受信可能なチャンネルがサーチできませんでした
…現在その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。

詳細を保存することができません
…トルカの詳細データが非対応データのため保存できませんでした。

シリアルポート登録待機できませんでした
…シリアルポート登録待機中にエラーが発生したためシリアルポート登録待機できませんでした。

スケジュールがいっぱいです
…FOMA端末内のスケジュールがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なスケジュールを削除してから再度操作してください。(P.429、P.430参照)

すでに他の機能が起動中です
起動できません

すでに他の機能が起動中です
設定できません
…マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。(P.424参照)

すべて保護のため削除できません
…すべて保護されているため削除できません。保護を解除してから再度操作してください。(P.171、P.182参照)

赤外線送信できませんでした
…エラーが発生したため赤外線送信ができませんでした。

セキュリティエラーのため終了しました

セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました
…ｉアプリDXが強制終了しました。(P.297参照)

接続相手が見つかりません
…iC通信の際に、接続先が見つかりませんでした。

接続先が対応していません
…接続先設定で設定した接続先アドレスが対応していないため操作できません。設定を確認してから再度操作してください。(P.216参照)
…ユーザ証明書を操作中のため接続できません。ユーザ証明書の操作を終了してから再度操作してください。

接続できませんでした
…ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。

接続できませんでした
相手機器の状況を確認してください
…接続しようとしたサービスが、相手のBluetooth機器で有効になっていないため接続できませんでした。
…FOMA端末が対応しているサービスにBluetooth機器が対応していないため、登録できませんでした。

接続できませんでした(503)

接続できませんでした(562)
…ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。

設定値が範囲外です
…通話料金通知の上限料金は10～100000円の間で設定してください。(P.437参照)

前回のソフトウェア更新は正しく終了されませんでした
ソフトウェア更新を最初から実行してください
…ソフトウェア更新中にFOMA端末の電源が切られました。再度ソフトウェア更新を行ってください。(P.541参照)

選局情報がありません
…チャンネル情報が取得できないためお勧めメールを作成できません。

選択できません
…「ｉモーション切り出し」で終点を選択する際に、始点より前または始点と同位置を選択したため選択できませんでした。もう一度始点から選択し直してください。(P.373参照)

つづく↳

操作が行われていない可能性があります
…処理中にmicroSDカードが取り外されたため、またはエラーが発生したため操作が行われていない可能性があります。「ムービー」フォルダ内のデータを確認してください。（P.365参照）

操作内容をご確認ください
…エラーが発生したため操作できませんでした。

送信先にデータを登録できません
…送信相手がデータをロックしています。

送信できない宛先があります

送信できなかった宛先があります（561）
…いくつかの宛先が正しくありません。宛先を正しく入力してから送信してください。（P.144参照）

送信できませんでした

送信できませんでした（552）

送信できませんでした（XXX）
…メールが正しく送信できませんでした。XXXには3桁の数字が表示されます。

送信できませんでした
宛先を確認してください（451）
…メールが正しく送信できませんでした。宛先を確認してから再度操作してください。（P.144参照）

送信に失敗しました
…現在地通知中に圏外になるなどで、現在地の通知に失敗しました。電波の強い場所で再度操作してください。

送信不可のファイルが添付されているため再送信できません
…メールにFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているため、再送信できませんでした。

挿入画像が削除されます
…FOMA端末外への出力が禁止されている画像がメール本文に貼り付けられているため削除されました。

ソフトに誤りがあります

ソフトに誤りがあるためダウンロードできません
…ソフトのデータが不正なためダウンロードやバージョンアップができません。

ソフトを起動しICカード内データを削除後ソフトを削除してください
…ICカード内にデータが残っているためおサイフケータイ対応ｉアプリを削除できません。おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して登録データを削除してから再度操作してください。

タ

対応機種ではありません
…ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトがFOMA端末に対応していません。

対応ソフトがあるため削除できません
…対応するメール連動型ｉアプリがあるため削除できません。

対応ソフトが削除されています
フォルダ内表示を参照してください
…対応するメール連動型ｉアプリが削除されています。

タイトル変更できません
…タイトルを編集することによって保存可能サイズを超えてしまったため変更できませんでした。

タイムアウトしました
…Bluetoothパスキー入力中に相手のBluetooth機器から切断されました。
…Bluetooth機器からの応答がないため登録または接続できませんでした。
…ダイヤルアップ登録待機の最大待機時間が経過したためダイヤルアップ登録待機を終了しました。

ダウンロード済みデータがあります
ネットワーク接続できません
…ムービー取得完了の画面で保存を行い、データ取得完了の画面を終了してください。（P.224参照）

ダウンロードできませんでした

ダウンロードできませんでした
更新を中止します
…他の機能が起動中、またはエラーが発生したためダウンロードができませんでした。

ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用ください
…ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合、一定時間内に大量の通信を行うと、一定時間接続できなくなることがあります。しばらくしてから再度操作してください。

ただいまｉモードメールが混みあっています
しばらくお待ち下さい（553）
…回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

チャンネルは見つかりませんでした
…現在その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。

データが不足しているため起動できません
…起動しようとしたｉアプリが部分データしか保存されていないため起動できませんでした。ｉアプリをすべてダウンロードしてから再度操作してください。（P.294参照）

添付ファイルが削除されます

…FOMA端末外への出力が禁止されているファイルがメールに添付されているため削除されました。

電話帳がいっぱいです

…FOMA端末内の電話帳がいっぱいになったため受信できませんでした。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。(P.101参照)

登録外着信拒否設定中です

…着信拒否設定の「登録外着信拒否」が「拒否」に設定されています。設定を「許可」にしてから再度操作してください。(P.136参照)

登録機器がいっぱいです

上書きできる機器がありません

…Bluetooth機器が最大登録台数まで登録されているためこれ以上登録できません。不要なBluetooth機器を削除してください。(P.447参照)

ナ

入力形式が正しくありません

…入力したIDに間違いがあります。正しいIDを入力してください。(P.345参照)

…入力したUSSDが間違っています。正しいUSSDを入力してください。(P.480参照)

入力データまたはURLが長すぎます

…入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから再度送信してください。(P.196参照)

入力データをご確認ください(205)

…入力内容が間違っています。入力内容を確認してから再度操作してください。

認証タイプに未対応です(401)

…対応していない認証タイプのため接続できません。

認証できませんでした

…認証エラーが発生しました。

ネットワークを見つけられません

…指定したネットワークに接続できません。ただし、その後アンテナマークが表示されればネットワークに接続できています。

ノーマルスタイルで操作してください

…ビューアスタイルでは操作できません。ノーマルスタイルに切り替えてから操作してください。(P.30参照)

残りのデータを取得できません

データを削除しました

…部分的に保存したファイルの残りのデータをダウンロードする際に、エラーが発生してダウンロードできないため、データが削除されました。

ハ

バージョンアップできません

バージョンアップできませんでした

…エラーが発生したためバージョンアップができませんでした。

倍率が不正です

…倍率が入力されていません。倍率を入力してから再度操作してください。(P.411参照)

発信／着信機能オリジナルロック設定中です

…オリジナルロックで「ダイヤル発信」がロックされています。ロックを解除してから再度操作してください。(P.129参照)

発信できません

…エラーが発生したため発信できませんでした。

発信できません

ノーマルスタイルに切り替えて発信してください

…ビューアスタイルでは発信できません。ノーマルスタイルに切り替えてから再度操作してください。(P.30参照)

番組更新中です

…Music&Videoチャネルの番組更新中のため、ダウンロードまたは再生ができません。しばらくたってから再度操作してください。

ファイル名変更できません

…ファイル名が入力されていないため変更できません。ファイル名を入力してから再度操作してください。(P.355参照)

フォーマットエラーです

正しいフォーマットのカードを挿入してください

…P-06B未対応フォーマットのmicroSDカードです。P-06Bでフォーマットしてください。(P.396参照)

振分け条件がいっぱいのため登録できません

…すでに最大件数設定されています。不要な設定を解除してから再度操作してください。(P.178参照)

ページ番号が不正です

…入力されたページ番号は無効です。正しいページ番号を入力して再度操作してください。(P.412参照)

編集中のため削除できません

…他の機能で使用しているため削除できません。他の機能を終了してから再度操作してください。(P.424参照)

他の機能が起動中のため起動できません

…マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。(P.424参照)

保護のため削除できません

…保護されているデータのため削除できませんでした。保護を解除してから再度操作してください。(P.171、P.182参照)

保存可能サイズを超えているため設定できません

…「ファイル制限」を設定することによって保存可能サイズを超えてしまったため設定できませんでした。

つづく↳

保存期限が過ぎたためファイルを受信できません(492)
…未取得の添付ファイルがｉモードセンターの保存期間を過ぎているため取得できませんでした。

マ

見つかりませんでした
…FOMA端末の周辺にBluetooth機器が1台も見つかりませんでした。

無音時間設定中です
…呼出時間表示設定の「無音時間設定」が「ON」に設定されています。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。(P.136参照)

無効なデータです
…ムービーを再生する際にデータが以下のような場合、再生できません。
- Windows Media以外のデータ、またはファイルの中身が不正なデータの場合
- 画像サイズが800ドット×480ドットより大きい、または画像ビットレートが2Mbpsより大きい、または音声ビットレートが384kbpsより大きいデータの場合
- 保存可能なデータをダウンロードする際にサーバから不明な応答があった場合
- 対応していないストリーミングサーバであった場合(FOMA端末で対応するストリーミングサーバはWindows Media Services 4.1、Windows Media Services 9のみ)

無効なデータを受信しました

無効なデータを受信しました(XXX)
…受信したデータにエラーがあるため表示または保存できません。受信したデータは破棄されます。
XXXには3桁の数字が表示されます。

メールフォルダ利用中のため起動できません

メールフォルダ利用中のため削除できません

メールフォルダ利用中のためダウンロードできません
…対応するソフトが使用中です。ソフトを終了してから再度操作してください。(P.296参照)

メール／メッセージ問合せがすべて無効に設定されています
…メール／メッセージ問合せ設定の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。(P.179参照)

メモリ機能動作中
設定できません
…microSDカードが使用中のため設定できません。

メモリ番号:XXX
書き換えできません
…シークレット登録した電話帳のメモリ番号と同じメモリ番号のため登録できません。違うメモリ番号に登録してください。
XXXには3桁の数字が表示されます。(P.94参照)

メモリ不足です
更新を中止します
…ソフトウェア更新に失敗しました。ドコモ指定の故障取扱窓口にお問い合わせください。

メモリ不足です
コンテンツのトップページに戻ります

メモリ不足です
チャンネルのトップページに戻ります

メモリ不足です
フォルダ一覧に戻ります

メモリ不足です
ページを表示できません
…メモリが不足したため処理の継続ができませんでした。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。(P.56参照)

メモリ不足のため表示できません
…メモリが不足したため処理の継続ができませんでした。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。(P.56参照)

メロディが設定されていません
…プログラム編集がされていない状態でプログラムを再生しようとしたときに表示します。プログラムを編集後、プログラム再生してください。(P.401参照)

ヤ

容量不足です
…保存容量がいっぱいのため操作できません。

読み込みできませんでした
…microSDカードの情報読み込み中にエラーが発生しました。

予約起動できませんでした
…ソフトウェア更新が正常に完了していない可能性がありますので、ドコモ指定の故障取扱窓口にお問い合わせください。

ラ

ライセンス取得できませんでした
…ムービーのライセンス情報の取得ができなかったため再生できません。

利用可能なピクチャがありません
…サイズに合ったフレームがありません。

録画準備中です
録画できません
…録画終了直後は録画できません。しばらくしてから再度操作してください。

英数字

ACMmax規制中です
発信できません
…積算通話料金が上限を超えました。積算通話料金をリセットしてください。(P.437参照)

BOXロック設定中のためダウンロードできません
…BOXロック設定中のためダウンロードできません。BOXロックを解除してから再度操作してください。(P.134参照)

FOMAカード(UIM)が異なるため起動できませんでした
…FOMAカードセキュリティ機能によりｉアプリを起動できません。ｉアプリダウンロード時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。(P.51参照)

FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません
…FOMAカードセキュリティ機能により操作できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。(P.51参照)

FOMAカード(UIM)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした
…FOMAカードセキュリティ機能によりｉアプリを起動できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。(P.51参照)

FOMAカード(UIM)もしくは楽曲データのライセンス情報が異なるため再生できません
…FOMAカードセキュリティ機能により再生できません。着うたフル®の取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。FOMAカードが着うたフル®の取得時に挿入していたFOMAカードである場合、FOMA端末内の楽曲ライセンス情報が不正なため再生できません。端末初期化を行ってから再度操作してください。(P.139参照)

FOMAカード(UIM)を挿入/再確認してください
…FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。(P.50参照)

ｉアプリ To 設定されていません
…「ｉアプリ To 設定」でチェックが付いていないためｉアプリを起動できません。チェックを付けてから再度操作してください。(P.298参照)

ｉモードセンターが混み合っています
しばらくお待ちください(555)
…回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

ICカード機能停止中のためダウンロードできません
…ICカードロック中のためダウンロードやバージョンアップができませんでした。ICカードロックを解除してから再度操作してください。(P.324参照)

ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません
いずれかのサービスを削除しますか?
…おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ICカード内データの容量が足りない場合に表示されます。
「YES」を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイのサービス名と、ICカード内の容量(バイト数)が表示されますので、不足エリアサイズを確認したあと、削除するサービスを選択し、ｉアプリを起動して削除してください。

ICカードロック設定中です
…ICカードロックが設定されています。ICカードロックを解除してから再度操作してください。(P.324参照)

microSDが抜かれました
…microSDカードの情報読み込み中にmicroSDカードが抜かれました。microSDカードを装着してから再度操作してください。(P.387参照)

microSDに書き込み保護がかけられています
…microSDカードがライトプロテクトされているため書き込みできません。外部機器などでmicroSDカードのライトプロテクトを解除してから再度操作してください。

microSDの交換またはチェックディスクをおすすめします
…microSDカードのフォーマットが異常です。microSDカードをチェックディスクしてください。(P.397参照)

PIN1がロックされました
PINロック解除コードを入力してください
…PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。(P.126参照)

PIN1コードが違います
…入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを入力してください。(P.125参照)

つづく↳

PIN1コードが認識できませんでした

PIN1コードがロックされています

…PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。(P.126参照)

PINロック解除コードが認識できませんでした

PINロック解除コードがロックされています

PINロック解除コードがロックされました

…PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

SMSセンターを設定してください

…センター設定でSMSセンターが正しく設定されていません。センター設定を設定してから再度操作してください。(P.188参照)

SSL/TLS通信が切断されました

…改ざんされたSSL/TLS証明書を受信したか、SSL/TLSエラーが発生したため接続できませんでした。

SSL/TLS通信が無効です

…サーバの認証エラーのため接続できません。

SSL/TLS通信が無効に設定されています

…証明書設定でそのサーバのSSL/TLS証明書が無効に設定されています。有効に設定してから再度操作してください。(P.218参照)

Toの宛先を設定してください

…「To」に宛先が入力されていません。「To」に宛先を入力してから再度操作してください。(P.144、P.146参照)

To Doリストがいっぱいです

…FOMA端末内のToDoリストがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なToDoリストを削除してから再度操作してください。(P.432参照)

URLが不正です

…URLが不正なためサイトやインターネットに接続できません。

＋の位置が不正です

…「＋」の位置が間違っています。電話番号の先頭に入力してください。(P.72参照)

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※本FOMA端末は、電話帳やｉモーション、ｉアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
  ※本FOMA端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  ※パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.495参照）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

◎調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶画面・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

・故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

つづく

◎お願い

●FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
・火災・けが・故障の原因となります。
・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいたうえでお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

●FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

●各種機能の設定や積算時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって、クリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

●FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所:スピーカー、受話口部

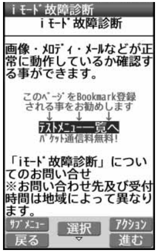
●P-06Bは防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

◎メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います。(一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります。)
※FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。



TOP画面



テストメニュー一覧画面

●「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
ｉモードサイト:
ｉMenu→お知らせ→サービス・機能
→ｉモード→ｉモード故障診断

サイト接続用QRコード

●ｉモード故障診断時のパケット通信料は無料となります。(海外からのアクセスの場合は有料になります)
●FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
●各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
●ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報(機種名やメールアドレスなど)が自動的にサーバ(ｉモード故障診断サーバ)に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
●ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

<ソフトウェア更新>

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
FOMA端末を操作するうえで重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。
※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内させていただきます。
ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

【自動更新】：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
【即時更新】：更新したいときすぐに更新を行います。
【予約更新】：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

■ご利用にあたって

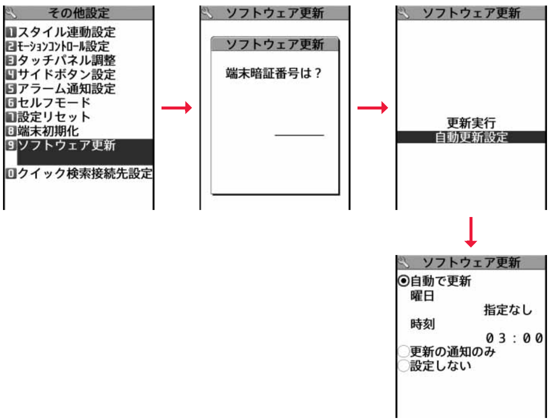
- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新ができます。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・電源が入っていないとき
  - ・日付時刻を設定していないとき
  - ・通話中
  - ・圏外にいるとき
  - ・PIN1コードロック中
  - ・おまかせロック中
  - ・セルフモード設定中
  - ・他の機能が起動中のとき
  - ・FOMAカードを挿入していないとき
  - ・パソコンなどの外部機器と接続中のとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。（ダウンロード中は音声着信・着信転送・伝言メモ操作が可能です。）
- ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社のサイト）へSSL/TLS通信を行います。SSL/TLS証明書を有効にしておいてください。（お買い上げ時：有効　設定方法についてはP.218参照。）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

ソフトウェア更新を自動で行う＜自動更新設定＞

新しいソフトを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
書き換え可能な状態になると、「書き換え予告アイコン」が表示され、書き換え時刻の確認を行い、書き換え時刻の変更や今すぐ書き換えをするかを選択できます。
「書き換え予告アイコン」が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、「書き換え予告アイコン」は消去されます。

自動更新日時の設定

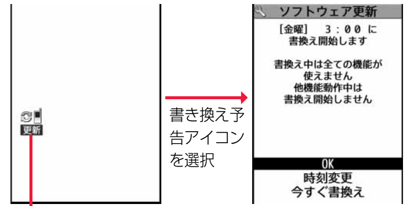
1 MENU▶**本体設定**▶**その他設定**▶**ソフトウェア更新**▶**端末暗証番号を入力**▶**自動更新設定**



更新が必要な場合

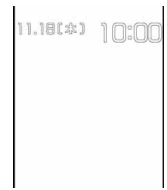
1 **待受画面で「書き換え予告アイコン」を選択し、書き換え時刻の確認、書き換え時刻の変更、今すぐ書き換えのいずれかを選択します。**

- 書き換え予告アイコンは、設定時刻に書き換えを開始することを通知します。



書き換え予告アイコン

2 **「OK」を選択します。**



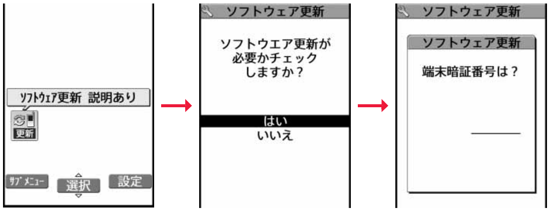
- 選択後は一度待受画面に戻り、設定時刻に書き換えを開始します。
- 「時刻変更」を選択した場合は、書き換えを行う曜日と時刻を設定します。
- 「今すぐ書換え」を選択した場合の操作についてはP.544「すぐにソフトウェアを更新する（即時更新）」参照。
- 書き換え予告アイコンは、一度確認すると消えます。

ソフトウェア更新を起動する

「自動更新設定」で「更新の通知のみ」を選択した場合、ソフトウェア更新が必要になると「更新お知らせアイコン」でお知らせします。
ソフトウェア更新を起動するには「更新お知らせアイコン」を選択して行う方法とメニュー画面から行う方法があります。

「更新お知らせアイコン」を選択してソフトウェア更新を起動する

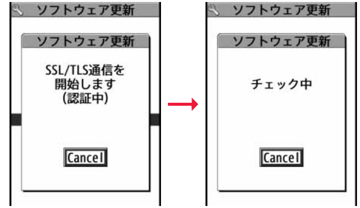
1 待受画面で「更新お知らせアイコン」を選択します。



- 「いいえ」を選択すると、お知らせアイコンを消去するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「更新お知らせアイコン」は以下の場合に表示されます。
  - ・ドコモから通知があった場合
  - ・手順3で「更新が必要です」と表示された場合
  - ・予約起動でソフトウェア更新実行時に電源を切っていたり、更新処理が失敗した場合
  - ・ソフトウェア更新の予約を取り消した場合

2 ソフトウェア更新が必要かチェックします。

- チェック中は音声電話を受けることができます。



3 ソフトウェア更新が不要の際は「更新は必要ありません」と表示されますので、そのままご利用ください。更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示されます。このとき、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択できます。



ソフトウェア更新画面



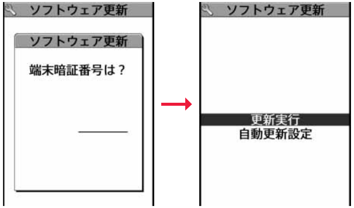
※更新が必要ない場合の画面



※サーバが混み合っていて、ソフトウェア更新ができない場合の画面（しばらく待ってから再度ソフトウェア更新を起動してください。）

メニューからソフトウェア更新を起動する

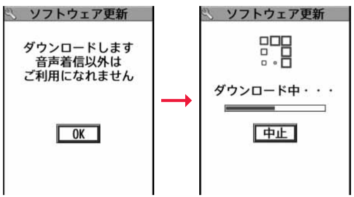
1 **MENU▶本体設定▶その他設定▶ソフトウェア更新▶端末暗証番号を入力▶更新実行**



2 **P.543手順2へ進みます。**

すぐにソフトウェアを更新する(即時更新)

1 **「今すぐ更新」を選択すると「ダウンロードします」と表示され、しばらくするとダウンロードを開始します。(「OK」を選択するとすぐにダウンロードを開始します。)**



- ダウンロード中は音声電話を受けることができます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても更新処理が実行されます。

2 **ダウンロードが終わると、ソフトウェアを書き換えます。(「OK」を選択すると、すぐに書き換えを開始します。)書き換えが終わると、自動的に再起動します。**



- 書き換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 書き換え中は電話を受けることもできません。

※ソフトウェア書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
また、ACアダプタ(別売)などを接続していても、一時的に充電を停止します。

3 **更新の完了を確認したら「OK」を選択して終了です。**

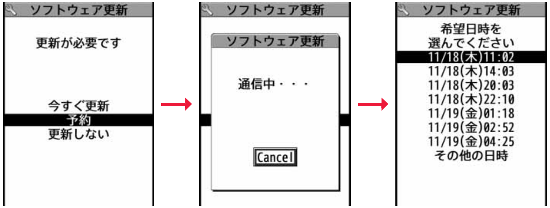


- 更新完了時に「OK」を選択しなかった場合、待受画面に更新が完了したことを表す「書き換え完了アイコン」が表示されます。
「書き換え完了アイコン」は、一度確認すると消去されます。

日時を予約してソフトウェアを更新する(予約更新)

ダウンロードに時間がかかる場合、サーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する時刻をサーバと通信して設定しておけます。

1 ソフトウェア更新画面で「予約」を選択します。



予約可能な日時が表示されます。

- ソフトウェア更新の予約では、サーバの時刻が表示されます。

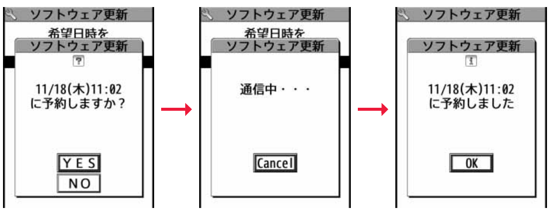
「その他の日時」を選択した場合

サーバと通信をしたあと、希望日と時間帯を選べます。時間帯を選択する画面には各時間帯の予約空き状況が

○:空きあり、△:空きわずか、×:空きなし

のように表示されます。希望する時間帯を1つ選択すると、再びサーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

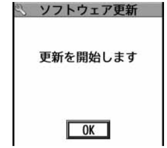
2 選択した日時の確認を行います。「YES」を選択します。再度サーバと通信を行い、予約は完了です。



予約した時刻になったときは

右の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します。

予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。



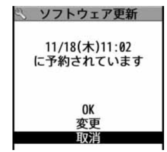
お知らせ

- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- アラームなどが起動している場合には、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。
- 予約が完了したあとにP.139「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。
  再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約した日時を確認・変更・取り消す

設定メニューから「ソフトウェア更新」を選択し、端末暗証番号を入力して「更新実行」を選択すると、予約時刻を確認できます。

予約を確認した画面から予約日時の変更や予約を取り消せます。変更する場合には「変更」を選択します。取り消す場合には「取消」を選択します。



ソフトウェアの更新を終了する

各画面で「Cancel」を選択した場合は、操作終了の画面が表示されます。

「YES」を選択すると、ソフトウェア更新を終了して待受画面に戻ります。「NO」を選択すると前の画面に戻ります。

お知らせ

- 操作中に電池残量が少なくなった場合、ソフトウェアの書き換えは行われず、操作が終了します。

＜スキャン機能＞
有害なデータをチェックする

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。（P.546参照）
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防げませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。
- 海外ではパターンデータの更新はできません。

スキャン機能を設定する＜スキャン機能設定＞

スキャン機能を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックできます。SMSにスキャン機能を実行するかどうかを設定することもできます。

1 **MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶スキャン機能▶スキャン機能設定▶項目を選択**

スキャン機能. . . . . .スキャン機能を実行するかどうかを設定します。
メッセージスキャン . . .SMSにスキャン機能を実行するかどうかを設定します。

- 「スキャン機能」を「OFF」に設定しているときは、「メッセージスキャン」は設定できません。

2 **ON・OFF▶YES**

- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。（P.547参照）

お知らせ
- 留守番電話サービスの着信通知機能などのSMSはスキャン対象外となります。

パターンデータを更新する＜パターンデータ更新＞

1 **MENU▶本体設定▶ロック・セキュリティ▶スキャン機能▶パターンデータ更新▶YES▶YES**

- ｉモード接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。

2 **OK**

- パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

お知らせ
- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 以下の場合はパターンデータを更新できません。
  ・日付時刻を設定していないとき　・通話中　・圏外にいるとき
  ・FOMAカードを挿入していないとき　・ダイヤルロック中
  ・他の機能が起動中のとき
  ・パソコンなどの外部機器と接続中のとき　・セルフモード設定中
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

パターンデータを自動的に更新するように設定する <自動更新設定>

パターンデータが新しくなったときに、FOMA端末内のパターンデータを自動的に更新するかどうかを設定します。

1 MENU ▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**スキャン機能**▶**自動更新設定**▶**有効・無効**

2 **YES**▶**OK**

- 手順1で「有効」を選択した場合は、自動更新時に携帯電話情報を送信する旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

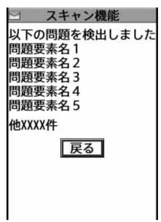
- 自動更新設定および自動更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 自動更新が終了すると、デスクトップに「更新」（パターンデータ更新完了）が表示されます。更新できなかった場合には「更新」（パターンデータ更新 説明あり）が表示されます。「更新」を選択すると、更新結果の内容が表示されます。

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は警告画面が表示されます。警告画面でi α（詳細）を押すと問題要素の名前が表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。
- 検出した問題要素によっては、「詳細」が表示されない場合があります。



■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2
スキャン機能 正常に動作できない場合があります	スキャン機能 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？	スキャン機能 正常に動作できない場合があるため終了します
●（OK）を押すと、動作を継続します。	●（YES）を押すと、動作を中止して終了します。 TV（NO）を押すと、動作を継続します。	●（OK）を押すと、動作を中止して終了します。
警告レベル3	**警告レベル4**	
スキャン機能 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？	スキャン機能 正常に動作できないためデータを削除します	
TV（YES）を押すと、データを削除して終了します。 ●（NO）を押すと、動作を中止して終了します。	●（OK）を押すと、データを削除して終了します。	

- 上記以外の警告画面が表示される場合もあります。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 MENU ▶**本体設定**▶**ロック・セキュリティ**▶**スキャン機能**▶**バージョン表示**

主な仕様

■本体

品名			P-06B
サイズ(閉じたとき)			高さ :約114mm 幅　 :約51mm 厚さ :約19.9mm(最厚部:約21mm)
質量(電池パック装着時)			約148g
連続待受時間	FOMA/3G	3G/GSM切替[3G]	移動時:約350時間
		3G/GSM切替[自動]	静止時:約540時間 移動時:約340時間
	GSM	3G/GSM切替[自動]	静止時:約240時間
連続通話時間	FOMA/3G		音声電話時　:約190分 テレビ電話時:約120分
	GSM		音声電話時　:約230分
ワンセグ視聴時間			約210分 (モバイルWスピード OFF時:約260分) (ワンセグecoモード時:約290分)
充電時間			ACアダプタ:約120分 DCアダプタ:約120分
液晶部	方式		TFT　262,144色
	サイズ		約3.1inch
	画素数		409,920画素(480ドット×854ドット)
撮像素子	種類		CMOS
	サイズ		1/2.4inch
カメラ部	有効画素数		約1320万画素
	記録画素数(最大時)		約1300万画素

記録部	静止画記録枚数※1	最大約2400枚(お買い上げ時)
	静止画連続撮影	デジカメモード連写設定時 3M:6枚　2Mワイド:8枚 2M:8枚　待受:8枚 連写モード時 VGA:4枚　QVGA:5～10枚 QCIF:5～20枚　Sub-QCIF:5～20枚
音楽再生	連続再生時間※2	SDオーディオ(バックグラウンド再生対応):約6500分※3 着うたフル®(バックグラウンド再生対応):約6000分※3 ｉモーション(着うた®を含む):約1260分※3 WMAデータ(バックグラウンド再生対応):約4600分 Music&Videoチャネル(バックグラウンド再生対応) 音声:約6000分 動画:約290分
保存容量	着うた®	約210Mバイト(お買い上げ時)※4
	着うたフル®	

※1:画像サイズ:QVGA(320×240)、画質:ノーマル、ファイルサイズ:25Kバイト

※2:連続再生時間とは、FOMA端末を閉じた状態で、ステレオイヤホンマイク01(別売)を使用して再生できる時間の目安です。

※3:ファイル形式:AAC形式

※4:静止画、ｉモーション、メロディ、PDFデータ、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、トルカ、ｉアプリと共有

■電池パック

品名	電池パック P22
使用電池	Li-ion(リチウムイオン)電池
電圧	3.7V
容量	800mAh

静止画撮影の仕様

ファイル形式	JPEG
圧縮方式	Baseline方式
拡張子	jpg
タイトル／ファイル名	保存日時と枚数により自動設定(2010年11月18日10時00分1枚目に撮影した場合) タイトル 「2010/11/18 10:00」 ファイル名 「20101118100000000」(保存先設定:本体) 「P1000001」(保存先設定:microSD)
最大ファイルサイズ	8Mバイト
メール添付･出力	メール添付やmicroSDカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約210Mバイト(本体)

保存できる静止画枚数の目安

保存できる枚数は撮影環境により異なります。
※本体･microSDカードには保存可能なファイル数に上限があります。

■P-06Bに保存可能な枚数

画質設定／画像サイズ	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
13M(3120×4160)	約27枚	約54枚	約100枚
9.7Mワイド(2336×4160)	約36枚	約73枚	約120枚
正方形(大)(3120×3120)	約36枚	約73枚	約120枚
8M(2448×3264)	約78枚	約100枚	約130枚
5M(1944×2592)	約120枚	約160枚	約210枚
3M(1536×2048)	約210枚	約270枚	約300枚
2Mワイド(1080×1920)	約310枚	約430枚	約530枚
2M(1200×1600)	約310枚	約430枚	約530枚
待受(480×854)	約1400枚	約1900枚	約2400枚
VGA(480×640)	約2000枚	約2400枚	約2400枚
正方形(小)(480×480)	約2000枚	約2400枚	約2400枚
QVGA(240×320)	約2400枚	約2400枚	約2400枚
QCIF(144×176)	約2400枚	約2400枚	約2400枚
Sub-QCIF(96×128)	約2400枚	約2400枚	約2400枚

●お買い上げ時の保存可能枚数です。

つづく

■microSDカード(2Gバイト)に保存可能な枚数

画像サイズ＼画質設定	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
13M(3120×4160)	約250枚	約499枚	約991枚
9.7Mワイド(2336×4160)	約334枚	約668枚	約1117枚
正方形(大)(3120×3120)	約334枚	約668枚	約1117枚
8M(2448×3264)	約714枚	約991枚	約1254枚
5M(1944×2592)	約1117枚	約1536枚	約1982枚
3M(1536×2048)	約1982枚	約2458枚	約2793枚
2Mワイド(1080×1920)	約2793枚	約3841枚	約4728枚
2M(1200×1600)	約2793枚	約3841枚	約4728枚
待受(480×854)	約12293枚	約15366枚	約20488枚
VGA(480×640)	約15366枚	約20488枚	約20488枚
正方形(小)(480×480)	約15366枚	約20488枚	約20488枚
QVGA(240×320)	約30733枚	約30733枚	約61466枚
QCIF(144×176)	約61466枚	約61466枚	約61466枚
Sub-QCIF(96×128)	約61466枚	約61466枚	約61466枚

動画撮影の仕様

ファイル形式	MP4、ASF(「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合)
符号化方式	映像:MPEG4　音声:AMR、G.726
拡張子	3gp、asf
タイトル／ファイル名	撮影日時により自動設定(2010年11月18日10時00分に撮影した場合) タイトル 「2010/11/18 10:00」 ファイル名 「201011181000」(保存先設定:本体) 「MOL001」(保存先設定:microSD)
最大ファイルサイズ	2Mバイト(保存先設定:本体) 撮影時にｉモーションメール添付可能なサイズに制限できます。(P.242参照)
メール添付・出力	メール添付やmicroSDカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約210Mバイト(本体)

録画時間の目安

撮影できる時間は撮影環境により異なります。撮影画面に表示される記録可能時間･容量も参考にしてください。

■P-06Bに録画可能な時間（ボイスレコーダーの録音時間は「音声のみ」をご覧ください）

画像サイズ	動画容量設定	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間			総録画可能時間		
			画質設定			画質設定		
			スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
VGA（640×480）	メール制限（小）	通常	約2秒	約4秒	約8秒	約13分	約26分	約50分
		映像のみ	約2秒	約4秒	約8秒	約13分	約26分	約51分
		音声のみ	約305秒			約2165分		
	メール制限（大）	通常	約8秒	約16秒	約30秒	約13分	約26分	約50分
		映像のみ	約8秒	約16秒	約30秒	約13分	約26分	約51分
		音声のみ	約20分			約2165分		
HVGAワイド（640×352）	メール制限（小）	通常	約3秒	約5秒	約10秒	約17分	約33分	約67分
		映像のみ	約3秒	約5秒	約10秒	約17分	約34分	約68分
		音声のみ	約305秒			約2165分		
	メール制限（大）	通常	約11秒	約20秒	約40秒	約17分	約33分	約67分
		映像のみ	約11秒	約20秒	約40秒	約17分	約34分	約68分
		音声のみ	約20分			約2165分		
QVGA（320×240）	メール制限（小）	通常	約4秒	約5秒	約15秒	約26分	約33分	約100分
		映像のみ	約4秒	約5秒	約15秒	約26分	約34分	約103分
		音声のみ	約305秒			約2165分		
	メール制限（大）	通常	約16秒	約20秒	約59秒	約26分	約33分	約100分
		映像のみ	約16秒	約20秒	約60秒	約26分	約34分	約103分
		音声のみ	約20分			約2165分		
QCIF（176×144）	メール制限（小）	通常	約10秒	約35秒	約69秒	約66分	約244分	約483分
		映像のみ	約10秒	約39秒	約78秒	約68分	約275分	約550分
		音声のみ	約305秒			約2165分		
	メール制限（大）	通常	約39秒	約141秒	約279秒	約66分	約244分	約483分
		映像のみ	約40秒	約159秒	約318秒	約68分	約275分	約550分
		音声のみ	約20分			約2165分		
Sub-QCIF（128×96）	メール制限（小）	通常	約19秒	約62秒	約122秒	約129分	約439分	約861分
		映像のみ	約20秒	約78秒	約159秒	約137分	約550分	約1101分
		音声のみ	約305秒			約2165分		
	メール制限（大）	通常	約75秒	約254秒	約497秒	約129分	約439分	約861分
		映像のみ	約80秒	約318秒	約10分	約137分	約550分	約1101分
		音声のみ	約20分			約2165分		

●お買い上げ時の録画可能時間です。

つづく

■microSDカード(2Gバイト)に録画可能な時間(ボイスレコーダーの録音時間は「音声のみ」をご覧ください)

画像サイズ	動画容量設定	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間			総録画可能時間		
			画質設定			画質設定		
			スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
VGA(640×480)	長時間	通常	約120分	約180分	約180分	約120分	約236分	約448分
		映像のみ	約122分	約180分	約180分	約122分	約244分	約476分
		音声のみ	約180分			約20464分		
HVGAワイド(640×352)		通常	約159分	約180分	約180分	約159分	約305分	約586分
		映像のみ	約162分	約180分	約180分	約162分	約317分	約635分
		音声のみ	約180分			約20464分		
QVGA(320×240)		通常	約180分	約180分	約180分	約236分	約305分	約847分
		映像のみ	約180分	約180分	約180分	約244分	約317分	約953分
		音声のみ	約180分			約20464分		
QCIF(176×144)		通常	約180分	約180分	約180分	約586分	約1907分	約3051分
		映像のみ	約180分	約180分	約180分	約635分	約2543分	約5086分
		音声のみ	約180分			約20464分		
Sub-QCIF(128×96)		通常	約180分	約180分	約180分	約1089分	約3051分	約4359分
		映像のみ	約180分	約180分	約180分	約1271分	約5086分	約10172分
		音声のみ	約180分			約20464分		

FOMA端末の保存・登録・保護件数

機能		保存・登録件数 ＜保護件数＞	参照先
電話帳		1000※1	92
ワンセグ	テレビリンク	50	261
	視聴予約	100	263
	録画予約	100	264
手書きダイアリー	月ダイアリー	48 ＜48＞	421
	日ダイアリー	1460 ＜1460＞	421
スケジュール	スケジュール	2500※2	427
	休日	100	428
ToDoリスト		100	431
メモ帳		20	439
メール （SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大2500※3、※4、※5、※6 ＜最大2500※4＞	163
	送信メール	最大1000※4、※5、※6 ＜最大500※4＞	164
	保存メール※7	最大20※4	165
	ユーザ作成フォルダ（受信BOX）	22	169
	ユーザ作成フォルダ（送信BOX）	22	169
エリアメール		最大100※4	163
テンプレート	デコメール®	最大100※3、※4	153
	デコメアニメ®	最大100※3、※4	154
メッセージ	メッセージR	最大100※4 ＜最大50※4＞	182
	メッセージF	最大100※4 ＜最大50※4＞	182
Bookmark	Bookmark	600	202
	Bookmarkフォルダ	40（「Bookmark」を含む）	203
画面メモ		最大3500※4 ＜最大3500※4＞	204

機能		保存・登録件数 ＜保護件数＞	参照先
静止画		最大3500※4、※8、※9	353
	ユーザ作成フォルダ	20	401
ｉモーション		最大3500※4、※8、※9	365
	ユーザ作成フォルダ	18	401
メロディ		最大3500※4、※8、※9	382
	ユーザ作成フォルダ	20	401
キャラ電		3※3	377
PDFデータ		最大3500※4、※8、※9	410
	ユーザ作成フォルダ	20	401
Music&Videoチャネル	配信番組	2	274
	保存番組	最大10※4、※9	274
きせかえツール		最大3500※4、※8、※9	385
	ユーザ作成フォルダ	20	401
マチキャラ		最大3500※4、※8、※9	381
	ユーザ作成フォルダ	20	401
トルカ		最大495※4、※9	325
	ユーザ作成フォルダ	20	327
ｉアプリ		最大100※4、※9	294
	メール連動型ｉアプリ	5	294

※1：50件までFOMAカードに保存できます。
※2：ｉスケジュールも含めます。
※3：お買い上げ時に登録されているデータも含めます。
※4：データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※5：ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※6：SMSは、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。（P.440参照）
※7：作成中の未送信メールを保存できます。
※8：お買い上げ時に登録されているデータのうち、デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャ、PDFデータ、きせかえツール、マチキャラのみ保存・登録件数に含まれます。
※9：静止画、ｉモーション、メロディ、PDFデータ、ミュージック、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、トルカ、ｉアプリのファイルは保存・登録件数や容量を共有しています。

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率(SAR)

この機種P-06Bの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機P-06BのSARの値は0.567W/kgです。
この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/
ドコモのホームページ:
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:
http://panasonic.jp/mobile/

※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.431 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

CE0168

The product "P-06B" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.net/pmc/support/index.html.

※The European RTTE approval of this product is limited to the use of the P-06B handset, Battery Pack and FOMA AC Adapter for Global use (100 to 240 V AC) only. Other accessories are not part of the approval.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and
  (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. government's requirements for exposure to radio waves.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in various positions and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.678 W/kg, and when worn on the body in a holster or carry case, is 0.456 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID UCE210028A.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

- 「FOMA」「mova」「着もじ」「iモード」「iアプリ」「iアプリDX」「iモーション」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「着モーション」「キャラ電」「トルカ」「きせかえツール」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「iチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「iモーションメール」「iエリア」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「マルチナンバー」「DoPa」「sigmarion」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「ケータイお探しサービス」「マチキャラ」「IMCS」「OFFICEED」「うた・ホーダイ」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「デコメアニメ®」「iコンシェル」「iウィジェット」「iアプリコール」「iスケジュール」「iアプリタッチ」「docomo STYLE series」「ドコモwebメール」「i Bodymo」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「DCMX」ロゴ「iC」ロゴ「iD」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- ナビダイヤルサービス名称およびナビダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。また、「AXIS」フォントはタイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- IrSimple™、IrSimpleShot™、IrSS™はInfrared Data Associationの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「VIERA®」はパナソニック株式会社の登録商標です。
- Google、モバイルGoogleマップは、Google Inc.の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewer、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright © 2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。
  IrFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  The IrDA Feature Trademark is owned by the Infrared Data Association and used under license therefrom.
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite®およびAdobe Reader® Mobile テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright © 2003-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader Mobile Copyright © 1993-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。

- 「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。
- 本製品にはGNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2010 All Rights Reserved.
- テキストプロファイラはオムロン株式会社の商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・MPEG-4 Visual、AVC、VC-1の規格に準拠する動画(以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ)を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生する場合
  - ・MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品に搭載しているWindows Media Technologyはマイクロソフト社および第三者の知的財産権により保護されています。本製品以外にマイクロソフト社およびその関連会社の許可なくその技術を使用することおよび頒布することは禁止されています。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権により保護されています。マイクロソフトもしくはマイクロソフトによる承認を受けた子会社からのライセンスを得ずに、本製品以外で技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
- コンテンツプロバイダーは、本製品に含まれるWindows Mediaデジタル著作権管理技術(WM-DRM)によってコンテンツの内容を保護し(以下、“保護コンテンツ”といいます)、そのコンテンツの著作権を含む知的財産権が不正に利用されないようにしています。本製品は、保護コンテンツの再生にWM-DRMソフトウェアを使用しています。本製品のWM-DRMソフトウェアの安全性が損なわれた場合、保護コンテンツの所有者はWM-DRMソフトウェアによる本製品の保護コンテンツの複製、表示、再生を可能にする新ライセンス取得権の無効化をマイクロソフトに要求できます。無効化は、WM-DRMソフトウェアによる保護コンテンツ以外のコンテンツの再生能力に影響するものではありません。インターネットもしくはパソコンから保護コンテンツのライセンスをダウンロードする際に、無効化されたWM-DRMソフトウェアリストが製品に送付されます。Microsoftはライセンスとともに、保護コンテンツ所有者に代わり無効化リストを製品にダウンロードする場合があります。

索引

索引

索引の引きかた

●本索引は、本書に記載されている用語や記載内容を要約した用語を50音順に収録しています。知りたい内容が見つからない場合は、別の用語で探してください。

<例：ｉアプリの「ソフト設定」でｉアプリ待受画面を設定したいとき>

ソフト設定……298
　アイコン情報……298
　位置情報利用……298
　オートGPS許可……298
　地図設定……298
　着信音／画像変更……298
　通信設定……298
　電話帳／履歴参照……298
　トルカ参照……298
　番組表ボタン設定……298
　待受画面設定……315

待受画面設定(カメラ)……239
待受画面設定(ｉアプリ)……315
待受サイズ変換……363

ｉアプリバンキング……307
ｉアプリ待受画面……111, 315
ｉアプリメール……295

◆◇◆ ア ◆◇◆

◆◇◆ カ ◆◇◆

◆◇◆ サ ◆◇◆

◆◇◆ タ ◆◇◆

◆◇◆ ナ ◆◇◆

◆◇◆ ハ ◆◇◆

◆◇◆ マ ◆◇◆

◆◇◆　ヤ　◆◇◆

◆◇◆　ラ　◆◇◆

ご契約内容の確認･変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

i モードから	i Menu ▶ お客様サポート ▶ お申込･お手続き ▶ 各種お申込･お手続き	パケット通信料無料
パソコンから	My docomo (http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種お申込･お手続き	

※ i モードからご利用になる場合、｢ネットワーク暗証番号｣が必要となります。
※ i モードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、｢docomo ID／パスワード｣が必要となります。
※｢ネットワーク暗証番号｣および｢docomo ID／パスワード｣をお持ちでない方･お忘れの方は取扱説明書裏面の｢総合お問い合わせ先｣にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで｢かけ直す｣ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■劇場･映画館･美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声･着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード(ドライブモード／電源OFF)(P.81)
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

●伝言メモ機能(P.83)
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

●バイブレータ(P.106)
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

●マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー(P.108)
ボタン確認音･着信音などFOMA端末から鳴る音を消します(マナーモード･スーパーサイレント)。
マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ･着信音の設定の変更もできます(オリジナルマナー)。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス(P.464)、転送でんわサービス(P.467)などのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
＜ドコモ インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、ｉモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

ｉモードサイト　ｉMenu ▶ お客様サポート ▶ ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて
＜ドコモ インフォメーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P-06Bからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
＜ネットワークオペレーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P-06Bからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ

製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

Li-ion 00

VEGETABLE OIL INK

'10.7（第1.3版）
3TR100287AAA
F0610-1